

宇土市こども計画
(第3期宇土市子ども・子育て支援事業計画)

作成のためのアンケート調査
結果報告書

令和6年7月

宇土市

～目 次～

調査の概要	1
I 調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査の対象者・調査方法	2
(1) 対象者	2
(2) 調査方法	2
3. 調査期間	3
4. 回収結果	3
5. 標本誤差	4
6. 報告書の見方	5
第1章 就学前児童・小学生	7
I 就学前児童の調査結果	8
1. 家族の状況について	8
(1) 居住地	8
(2) 子どもの年齢	8
(3) 子どもの人数	9
(4) 回答者	10
(5) 回答者の配偶者の有無	10
(6) 同居者	11
(7) 子育て（教育を含む）を主に行っている人	11
(8) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況	12
(9) 子育て（教育を含む）を気軽に相談できる人や場所の有無	12
(10) 子育て（教育を含む）の相談先	13
(11) 経済的なゆとりがあるか	14
2. 保護者の就労状況について	15
(1) 母親の就労状況	15
(2) 母親の就労日数・就労時間	16
(3) 母親の家を出る時刻・帰宅時刻	17
(4) 母親のフルタイムへの転換希望	18
(5) 母親の就労希望	19
(6) 父親の就労状況	21
(7) 父親の就労日数・就労時間	22
(8) 父親の家を出る時刻・帰宅時刻	23
(9) 父親のフルタイムへの転換希望	24
(10) 父親の就労希望	25
3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	26

(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無	26
(2) 定期的に利用している事業	27
(3) 教育・保育事業の利用状況（日数・時間）	28
(4) 教育・保育事業の実施場所	32
(5) 教育・保育事業を利用していない理由	33
(6) 今後、利用したい教育・保育事業	34
(7) 教育・保育事業を利用したい場所	35
(8) 特に幼稚園の利用を強く望むことの有無	35
4. 地域の子育て支援事業の利用状況について	36
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	36
(2) 今後の地域子育て支援拠点事業の利用意向	37
(3) 支援サービスの認知度・利用状況と今後の利用意向	38
5. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	40
(1) 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	40
(2) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	44
6. 病気の際の対応について	46
(1) 病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった経験の有無	46
(2) 病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった際の対処方法・日数	47
(3) 病児・病後児のための保育施設などの利用意向	49
(4) 病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由	50
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	51
(1) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業	51
(2) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業を利用していない理由	53
(3) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業を利用する必要性	54
(4) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要があると思うか	56
8. 育児休業など職場の両立支援制度について	58
(1) 育児休業の取得状況	58
(2) 育児休業取得後の職場復帰状況	59
(3) 子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があった際の職場復帰の意向	60
(4) 育児休業を取得していない理由	61
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	63
(1) 小学生になった時の平日の放課後に過ごさせたいと思う場所	63
(2) 平日、土曜日、日・祝日及び長期休暇中の放課後児童クラブの利用意	

向.....	66
10. 子育て施策全般について.....	74
(1) 宇土市は子育てしやすいまちだと思うか.....	74
(2) こども誰でも通園制度（仮称）の利用意向.....	74
(3) 子どもの権利の概念の認識.....	76
(4) 子どもの権利の中で特に大切だと思うこと.....	77
(5) 子どもの意見や要望を聞き、取り入れるよう意識しているか.....	78
(6) 宇土市の子ども・子育てに関する取組の満足度.....	79
(7) 子どもを健やかに生み育てるために宇土市に期待すること.....	80
(8) 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関しての意見（自由記述）.....	81
II 小学生の調査結果.....	82
1. お子さんご家族の状況について.....	82
(1) 居住地.....	82
(2) 学年.....	82
(3) 回答者.....	83
(4) 回答者の配偶者の有無.....	83
(5) 同居者.....	84
(6) 子育て（教育を含む）を主に行っている人.....	84
(7) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況.....	85
(8) 子育て（教育を含む）を気軽に相談できる人や場所の有無.....	85
(9) 子育て（教育を含む）の相談先.....	86
(10) 経済的なゆとりがあるか.....	87
2. 保護者の就労状況について.....	88
(1) 母親の就労状況.....	88
(2) 母親の就労日数・就労時間.....	89
(3) 母親の家を出る時刻・帰宅時刻.....	90
(4) 母親のフルタイムへの転換希望.....	91
(5) 母親の就労希望.....	92
(6) 父親の就労状況.....	94
(7) 父親の就労日数・就労時間.....	95
(8) 父親の家を出る時刻・帰宅時刻.....	96
(9) 父親のフルタイムへの転換希望.....	97
(10) 父親の就労希望.....	98
3. 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について.....	100
(1) 支援サービスの認知度・利用状況と今後の利用意向.....	100
4. 病気の際の対応について.....	102
(1) 病気やけがで学校を休まなければならなかった経験の有無.....	102
(2) 病気やけがで学校を休んだり、事業の利用ができなかった際の対処方.....	

法・日数.....	103
(3) 病児・病後児のための保育施設などの利用意向.....	105
(4) 病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由.....	106
5. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について.....	107
(1) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業.....	107
(2) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業を利用する必要性.....	108
(3) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要があると思うか.....	110
6. 通信端末の利用について.....	112
(1) 通信端末を持たせているか.....	112
(2) 携帯電話等を利用する場合のルールを決めているか.....	112
7. 放課後の過ごし方について.....	113
(1) 平日の放課後に過ごしている場所.....	113
(2) 平日、土曜日、日・祝日及び長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況.....	116
(3) 長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）で昼食提供があった場合の利用意向.....	124
8. 習いごとについて.....	125
(1) 習いごとをしているか.....	125
(2) 習いごとをしていない理由.....	126
(3) 無料の学習塾があれば通わせたいと思うか.....	127
9. 子育てを支援する生活環境の整備について.....	128
(1) 外出先であった困った経験.....	128
(2) 地域におけるこどもの遊び場の満足度.....	129
(3) 地域のこどもの遊び場について日頃感じること.....	130
10. 育児休業など職場の両立支援制度について.....	131
(1) 育児休業の取得状況.....	131
(2) 育児休業を取得していない理由.....	132
11. 子育て全般について.....	134
(1) 子育てをどのように思うか.....	134
(2) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか.....	134
(3) 家族間でコミュニケーションができているか.....	135
(4) 家族で協力して子育てをしているか.....	135
(5) 近所づきあいの程度.....	136
(6) 地域の人から子どものことで声をかけてもらえる頻度.....	136
(7) 子育てに感じる不安感や負担感.....	137
(8) 宇土市は子育てしやすいまちだと思うか.....	137
(9) 宇土市の子ども・子育てに関する取組の満足度.....	138

(10) 子どもの権利の概念の認識	139
(11) 子どもの権利の中で特に大切だと思うこと	140
(12) 子どもの意見や要望を聞き、取り入れるよう意識しているか	141
(13) 子どもを健やかに生み育てるために宇土市に期待すること	142
(14) 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（自由記述）	143
第2章 小学5年生・中学2年生とその保護者	145
I 小学5年生・中学2年生の調査結果	146
1. 属性	146
(1) 学年	146
(2) 性別	146
(3) 居住地	147
(4) 同居者	148
2. 学校や勉強のことについて	149
(1) 学校生活は楽しいと思うか	149
(2) 学校生活を楽しくないと思う理由	150
(3) 学校生活を楽しくないと思う理由を改善したいか	151
(4) 学校の授業の理解度	152
(5) 誰に勉強を教えてもらうか	153
(6) どの段階までの進学を希望しているか	154
(7) 将来なりたい職業（自由記述）	155
(8) 外国に興味があるか	156
3. 放課後や休日のことについて	157
(1) 放課後や休日に過ごしている場所とホッとできる・安心できる場所	157
(2) 放課後や休日に一番過ごしている場所とホッとできる・安心できる場所	159
(3) 公共の場所や制度の利用経験の有無	161
(4) 公共の場所や制度の利用後の変化	165
(5) 放課後や休日に行ってみたい場所	172
(6) 放課後や休日に体を動かしているか	173
(7) 放課後や休日に運動している場所	174
(8) スマートフォンなどの保有状況	175
(9) スマートフォンなどの使用目的	177
(10) 学校以外でのインターネットの利用時間	182
4. ふだんの生活のことについて	183
(1) 朝食・夕食・学校が休みの日の昼食の頻度	183
(2) 朝食を食べない時がある理由	185
(3) 学校がある日の起床・就寝時間	186

(4) 健康状態.....	187
(5) 親（保護者）と十分な時間を過ごしているか.....	188
(6) 自分自身について.....	189
(7) 生活の満足度.....	196
(8) 悩んだり、困っていること.....	197
(9) 悩んだり、困った時の相談先.....	198
(10) 相談窓口や心を休める学校以外の教室の認知度.....	199
5. 家族のお世話の状況について.....	201
(1) 家族の中でお世話をしている人がいるか.....	201
(2) お世話をしている人の種類.....	202
(3) お世話の内容.....	203
(4) お世話をしているなかで経験したこと.....	204
(5) お世話の悩みについての相談経験の有無.....	205
(6) お世話の悩みについて相談したことがない理由.....	206
(7) ヤングケアラーの概念の認識.....	207
6. 宇土市のことについて.....	208
(1) 宇土市が好きか.....	208
(2) 宇土市が好きだったり嫌いだったりする理由（自由記述）.....	209
(3) 宇土市に今後も住み続けたいと思うか.....	210
(4) 毎日の生活や学校について感じていること（自由記述）.....	211
II 小学5年生・中学2年生の保護者の調査結果.....	212
1. 子どもやご自身について.....	212
(1) 子どもの学年.....	212
(2) 子どもの性別.....	212
(3) 回答者.....	213
(4) 家族構成.....	214
(5) 子育て（教育を含む）を主に行っている人.....	217
(6) 居住地.....	218
(7) 居住形態.....	219
2. お子さんの学習状況などについて.....	220
(1) 平日の学校以外の場での勉強時間.....	220
(2) 子どもの不登校の経験の有無.....	221
(3) 子どもが不登校だった経験がある場合の相談先.....	222
(4) 子どもが熱中していること、頑張っていることはあるか.....	223
3. 子育ての状況について.....	224
(1) 学習・体験活動の機会や子どもの居場所を利用させたいと思うか.....	224
(2) 教育で特に負担に感じるもの.....	226
(3) 子どもに進学してほしい段階.....	227
(4) 子どもの進路で困りごとがあるか.....	227

(5) 子どもの進路について困っている内容（自由記述）	228
(6) 自身の親から子育てについてのサポートを受けた経験の有無	229
(7) 子育てに関する情報の入手方法	230
(8) 子育てについて悩んでいること	231
(9) 子どもと十分な時間を過ごしているか	232
(10) 子どもの悩みを知っているか	233
(11) 子どもの将来の夢を知っているか	234
(12) 子どもの所有物の状況	235
4. 家庭の状況などについて	242
(1) 地域付き合いの程度	242
(2) 子育て等の相談先の有無	243
(3) 子育て等の相談先	244
(4) 相談窓口や心を休める学校以外の教室の認知度	245
(5) 健康状態	246
(6) 母親と父親の帰宅時間	247
(7) 世帯全員の収入合計額	249
(8) 暮らしの状況	250
(9) 生活の満足度	251
5. 子どもの家族のお世話の状況について	252
(1) 子どもが家族の中でお世話をしている人がいるか	252
(2) 子どもがお世話をしている人の種類	253
(3) 子どもが行っているお世話の内容	254
(4) 子どもがお世話をしているなかで経験したこと	255
(5) 子どもがお世話をしている家族のことや悩みについての相談経験の有無	256
(6) 子どもがお世話をしている家族のことや悩みについて相談したことがない理由	257
(7) ヤングケアラーの概念の認識	258
6. 宇土市のことについて	259
(1) 宇土市のいいと思うところ（自由記述）	259
(2) 子育てしやすいまちだと思うか	260
(3) 宇土市に今後も住みたいと思うか	261
(4) 毎日の生活や学校について感じていること（自由記述）	262
第3章 こども・若者（18～39歳）	263
I こども・若者（18～39歳）の調査結果	264
1. 属性	264
(1) 性別	264
(2) 年齢	264
(3) 居住地	265

(4) 同居者.....	265
(5) 居住年数.....	266
(6) 生計の主体者.....	266
(7) 職業.....	267
(8) 最終学歴.....	267
(9) 家庭の経済状況での進路変更の有無.....	268
2. 普段の生活について.....	269
(1) 地域活動への参加状況.....	269
(2) 参加している地域活動.....	270
(3) 地域活動に参加していない理由.....	271
(4) 友人の有無.....	272
(5) 平日・休日の自由な時間の過ごし方.....	273
(6) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になった経験があるか.....	274
(7) 社会生活や日常生活を円滑に送るための改善に役立ったこと...	275
(8) ヤングケアラーの概念の認識.....	276
(9) 宇土市青少年センター「ヤングテレホン」の認知度.....	276
(10) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談したいと思う人や場所、条件.....	277
(11) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外の誰にも相談したくない理由.....	278
3. 職業経験について.....	279
(1) 就業状況、就業経験.....	279
(2) 就業場所.....	279
(3) 雇用形態.....	280
(4) 職場の満足度.....	280
(5) 就職または進学希望の有無.....	281
(6) 仕事を選ぶ上で重視していること.....	282
4. 現在の生活に対する考えについて.....	283
(1) 今、幸せだと思うか.....	283
(2) 自分のことが好きか.....	283
(3) 周りの人から大切にされていると感じるか.....	284
(4) 孤独感.....	284
(5) 自分らしくいられる居場所.....	285
(6) あればよいと思う居場所.....	286
(7) 生活の満足度.....	286
5. 将来への考えについて.....	287
(1) 将来への不安感.....	287
(2) 将来に不安を感じる主な要因.....	287
(3) 理想とする生き方.....	288

(4) 婚姻状況.....	288
(5) 結婚への気持ち.....	289
(6) 結婚を考えたときに気になること.....	290
(7) 独身でいる理由.....	291
(8) 婚活の方法.....	292
(9) 理想と実際に持つ子どもの人数.....	293
(10) 子どもを持つつもりがない理由.....	294
(11) 実際に持つつもりの子どもの人数が理想より少ない理由.....	295
6. 宇土市のことについて.....	296
(1) 宇土市のいいと思うところ（自由記述）.....	296
(2) 宇土市に住み続けたいと思うか.....	297
(3) 宇土市に住み続けたくない理由.....	297
(4) もっと住みやすいまちにするために必要なこと（自由記述）... ..	298
資料編.....	299
I 調査票.....	300
1. 子育て支援に関するアンケート.....	300
(1) 就学前児童.....	300
(2) 小学生.....	307
2. 子どもの生活に関するアンケート.....	313
(1) 小学生5年生・中学生2年生.....	313
(2) 小学生5年生・中学生2年生の保護者.....	319
3. こども・若者生活実態等アンケート.....	323
(1) こども・若者（18～39歳）.....	323

調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

子育て家庭の実態や子育て支援ニーズ、子育てや少子化に関する意識等を把握することにより、今後の子育て支援施策の充実に活かすとともに、「宇土市こども計画」（第3期宇土市子ども・子育て支援事業計画）策定の基礎資料とするため。

2. 調査の対象者・調査方法

(1) 対象者

就学前児童	本市在住の就学前児童から無作為抽出
小学生	本市在住の小学生から無作為抽出
小学校5年生・中学校2年生	本市在住の小学生・中学生から無作為抽出
小学校5年生・中学校2年生の保護者	
こども・若者（18～39歳）	本市在住の18～39歳の男女から無作為抽出

(2) 調査方法

就学前児童	就学前児童の保護者へ郵送または園（市内保育園・幼稚園に入園中の方）を通じて配布を行い、郵送又は園での回収、調査票へQRコードを掲載しWEBによる回答方法で行った。
小学生	小学生の保護者へ郵送での発送を行い、郵送での回収、調査票へQRコードを掲載しWEBによる回答方法で行った。
小学校5年生・中学校2年生	QRコードを掲載したアンケート案内チラシを配布しWEBによる回答方法で行った。
小学校5年生・中学校2年生の保護者	
こども・若者（18～39歳）	郵送による配布・回収

3. 調査期間

就学前児童	令和6年4月11日～令和6年5月20日
小学生	
小学校5年生・中学校2年生	令和6年2月21日～令和6年3月18日
小学校5年生・中学校2年生の保護者	
こども・若者（18～39歳）	令和6年2月28日～令和6年4月12日

4. 回収結果

	配布数	有効回答数	有効回収率
就学前児童	1,000件	602件	60.2%
小学生	1,000件	599件	59.9%
小学校5年生・中学校2年生	720件	262件	36.4%
小学校5年生・中学校2年生の保護者	720件	233件	32.4%
こども・若者（18～39歳）	1,000件	353件	35.3%

5. 標本誤差

本調査は、対象となる母集団の中から、無作為に選ばれた一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」です。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する際に誤差がともないます。

調査で生じた標本誤差（b）はおおよそ下表のとおりとなります。標本誤差（b）の値は、母集団数（N）、比率算出の基数（n）、及び回答の比率（P）によって異なります。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

今回の調査結果の標本誤差は、下記のようになります。

回答比率	就学前児童	小学生
10%または 90%	±2.0	±2.1
20%または 80%	±2.6	±2.7
30%または 70%	±3.0	±3.1
40%または 60%	±3.2	±3.4
50%	±3.3	±3.4

回答比率	小学5年生・中学2年生	小学5年生・中学2年生 保護者
10%または 90%	±3.0	±3.2
20%または 80%	±3.9	±4.3
30%または 70%	±4.5	±4.9
40%または 60%	±4.8	±5.3
50%	±4.9	±5.4

回答比率	こども・若者（18～39歳）
10%または 90%	±3.1
20%または 80%	±4.2
30%または 70%	±4.8
40%または 60%	±5.1
50%	±5.2

※たとえば就学前児童の調査結果で、保護者（回答者数 602 人）がある選択肢を選んだ割合が 20%であった場合、その回答に対する誤差範囲は±2.6%以内（17.4～22.6%）となります。

6. 報告書の見方

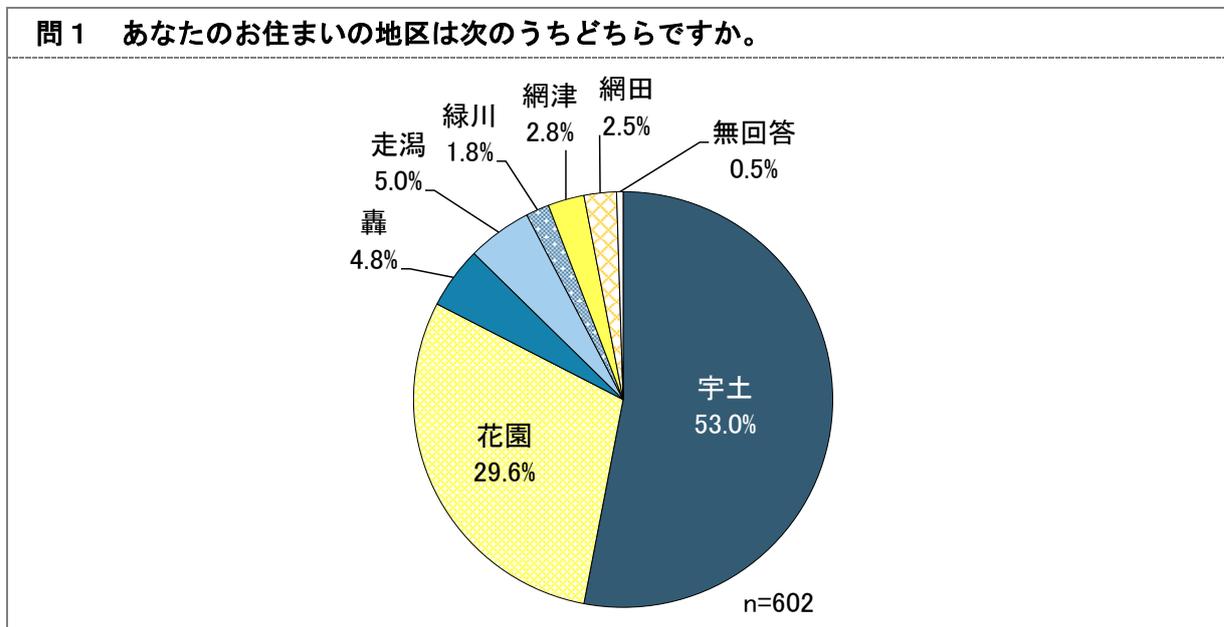
- 回答比率（相対度数）は、百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にならないことがある。
- 2つ以上の回答を求めた（複数回答）の質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- 数表に記入された「n」は、比率算出上の基数（標本数）である。
- 文中では選択肢を「 」で示した2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』とした。
- 文中やグラフ内の選択肢が長文の場合は簡略している箇所がある。

第1章 就学前児童・小学生

I 就学前児童の調査結果

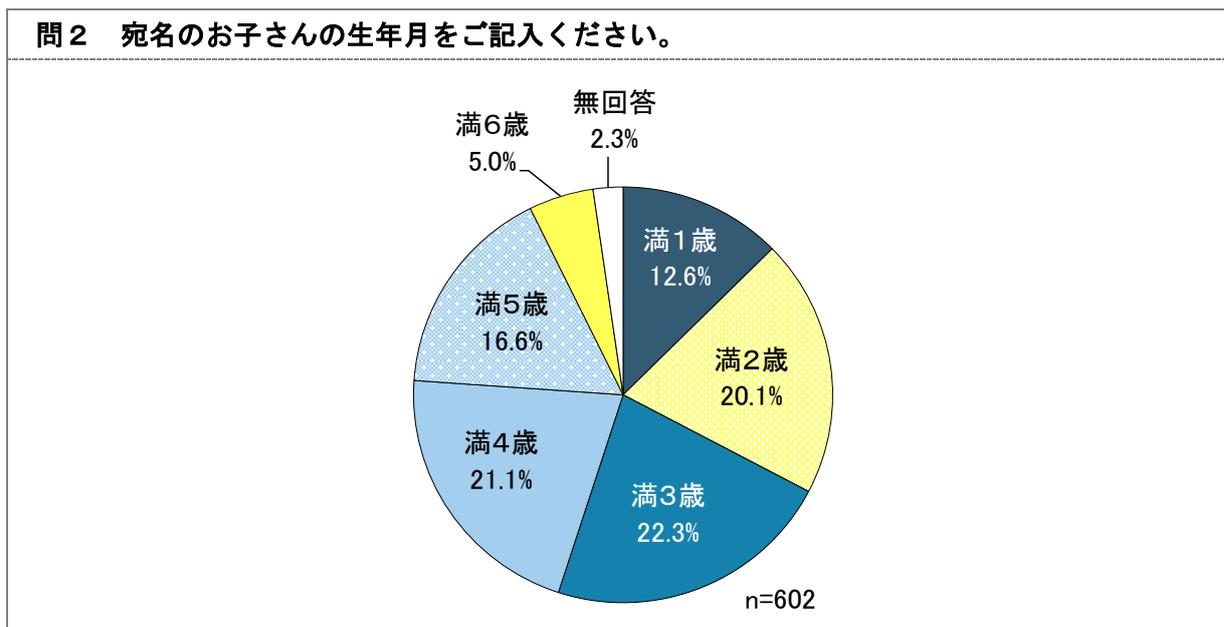
1. 家族の状況について

(1) 居住地



居住地は、「宇土」が53.0%と最も高く、次いで「花園」が29.6%、「走潟」が5.0%となっている。

(2) 子どもの年齢

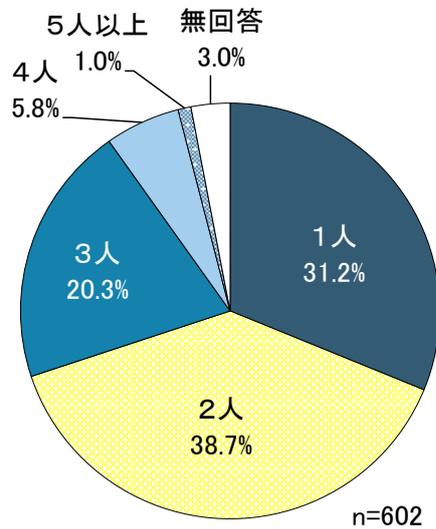


子どもの年齢は、「満3歳」が22.3%と最も高く、次いで「満4歳」が21.1%、「満2歳」が20.1%となっている。

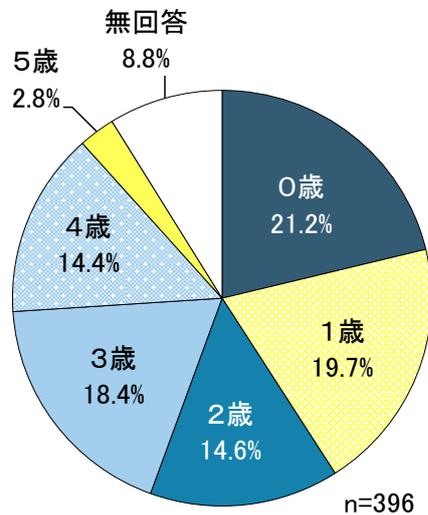
(3) 子どもの人数

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

【子どもの人数】



【末子の年齢】

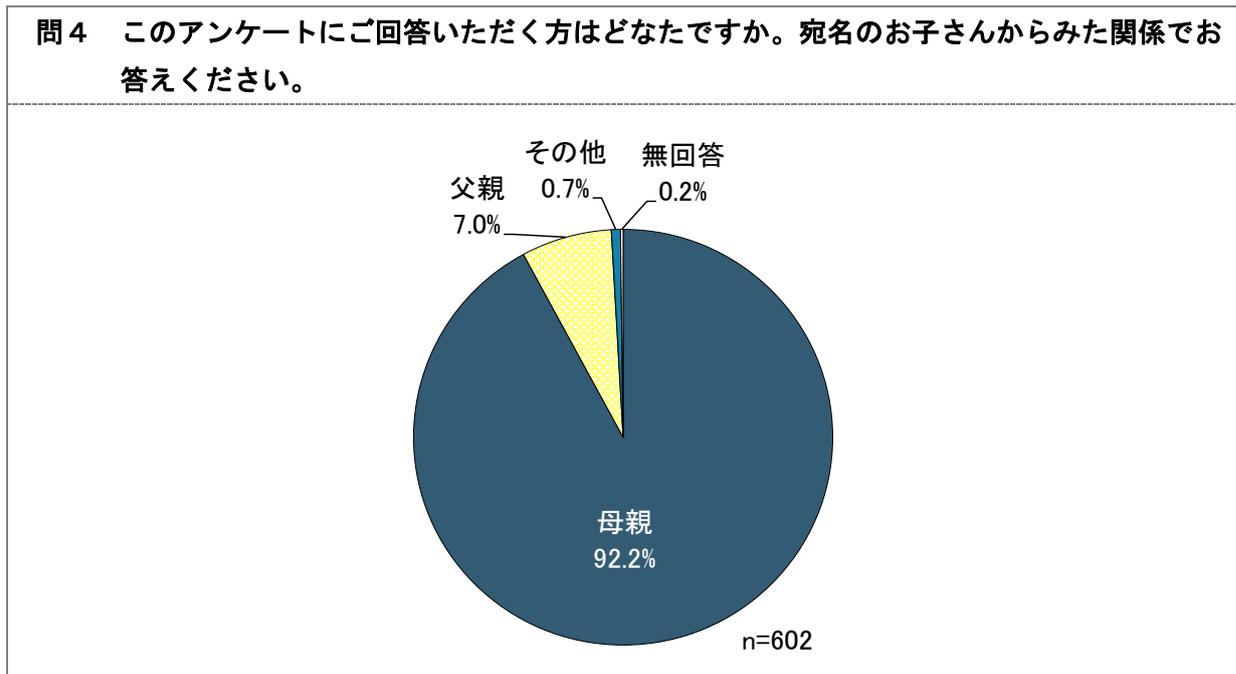


子どもの人数は、「2人」が38.7%と最も高く、次いで「1人」が31.2%、「3人」が20.3%となっている。

末子の年齢は、「0歳」が21.2%と最も高く、次いで「1歳」が19.7%、「3歳」が18.4%となっている。

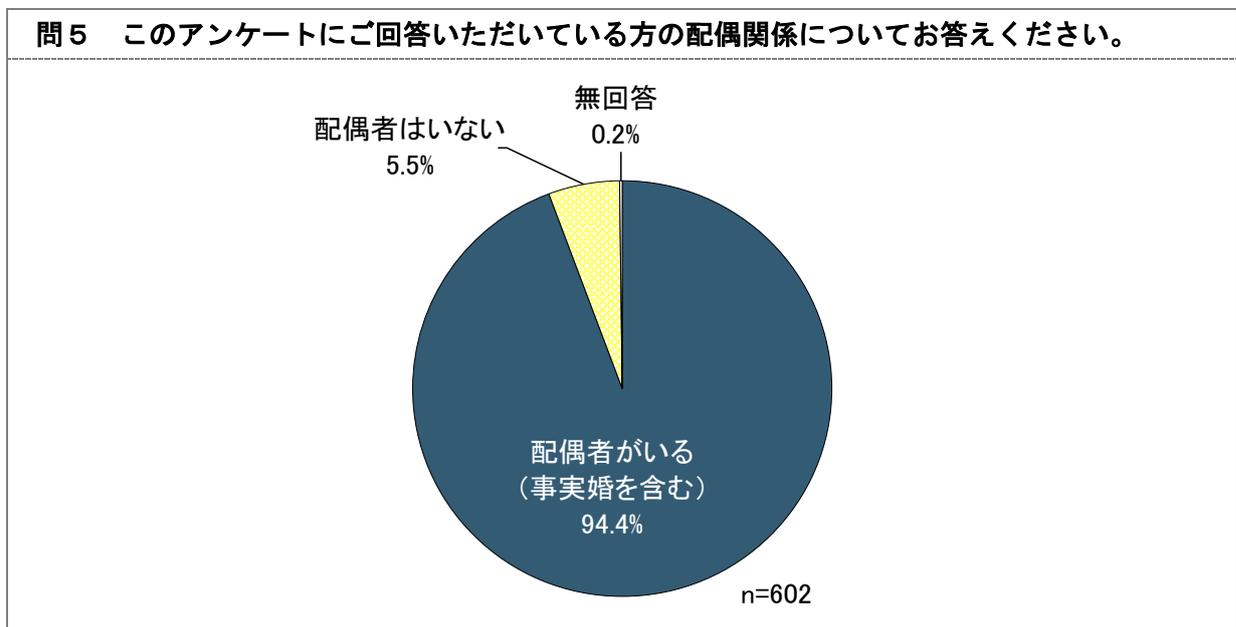
第1章 就学前児童

(4) 回答者



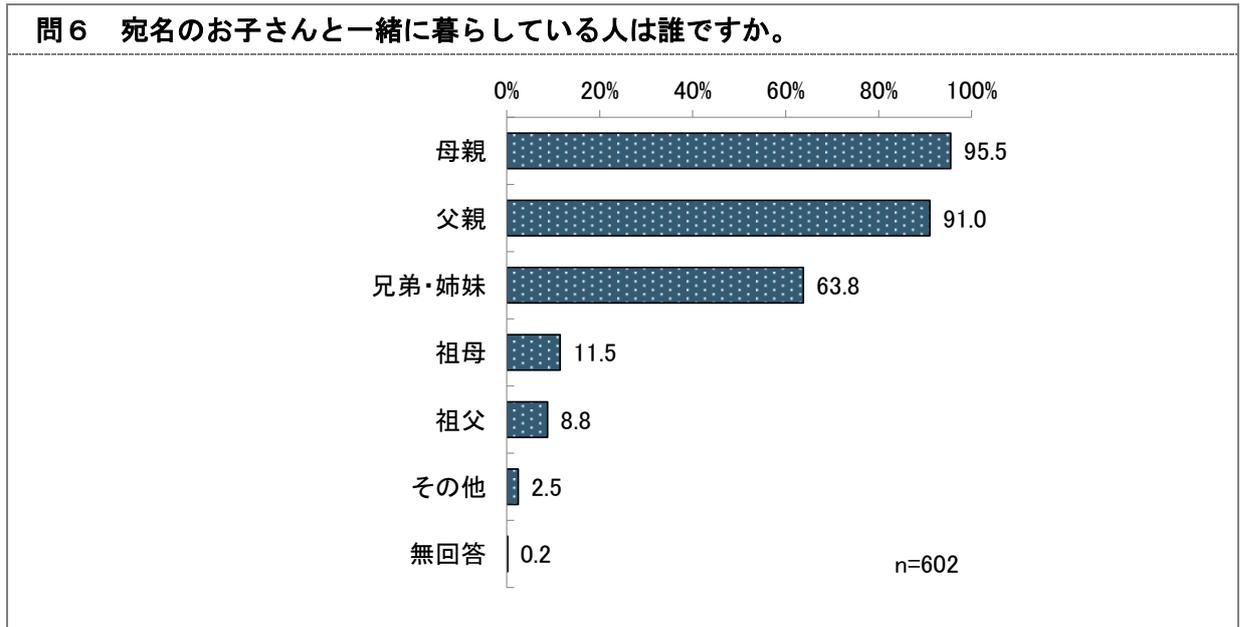
回答者は、「母親」が92.2%、「父親」が7.0%となっている。

(5) 回答者の配偶者の有無



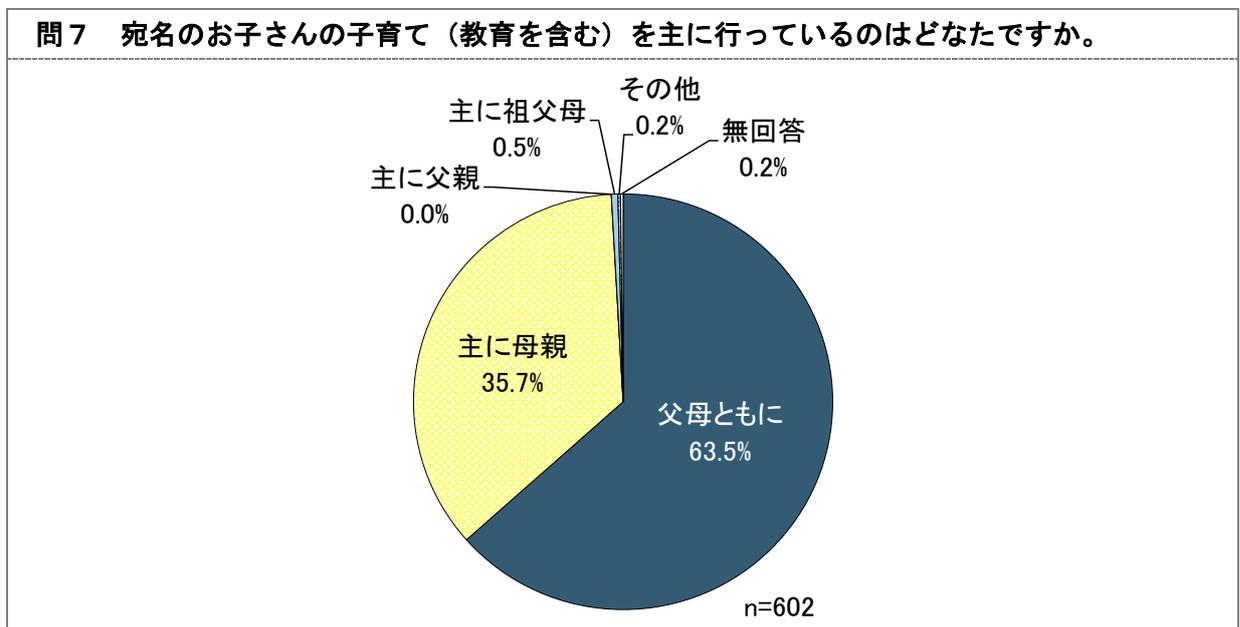
回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる（事実婚を含む）」が94.4%、「配偶者がいない」が5.5%となっている。

(6) 同居者



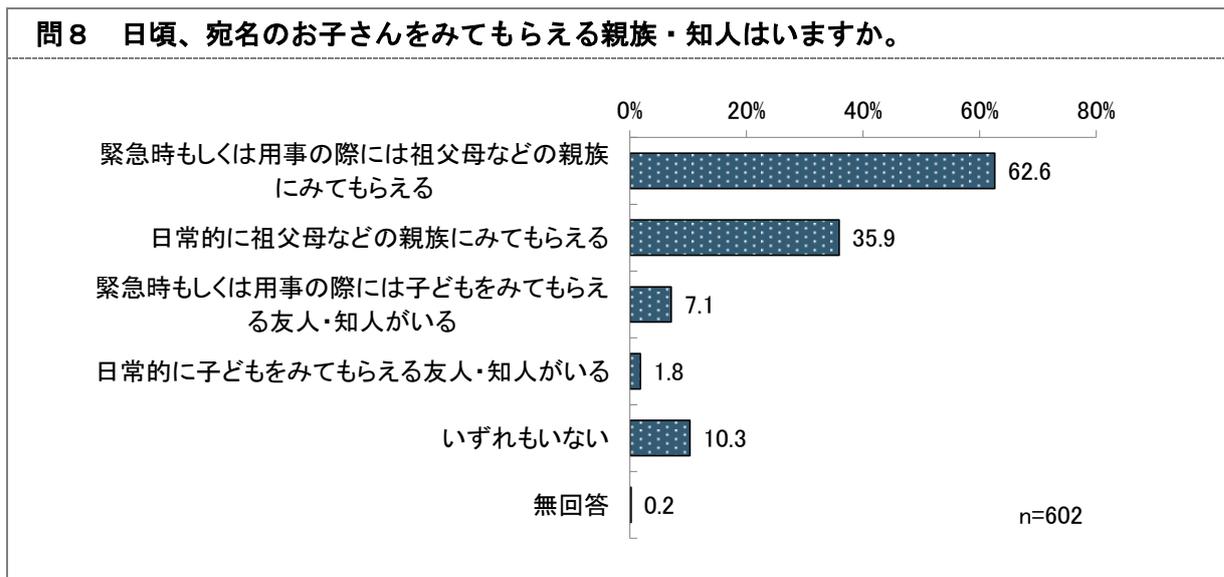
同居者は、「母親」が95.5%と最も高く、次いで「父親」が91.0%、「兄弟・姉妹」が63.8%となっている。

(7) 子育て（教育を含む）を主に行っている人



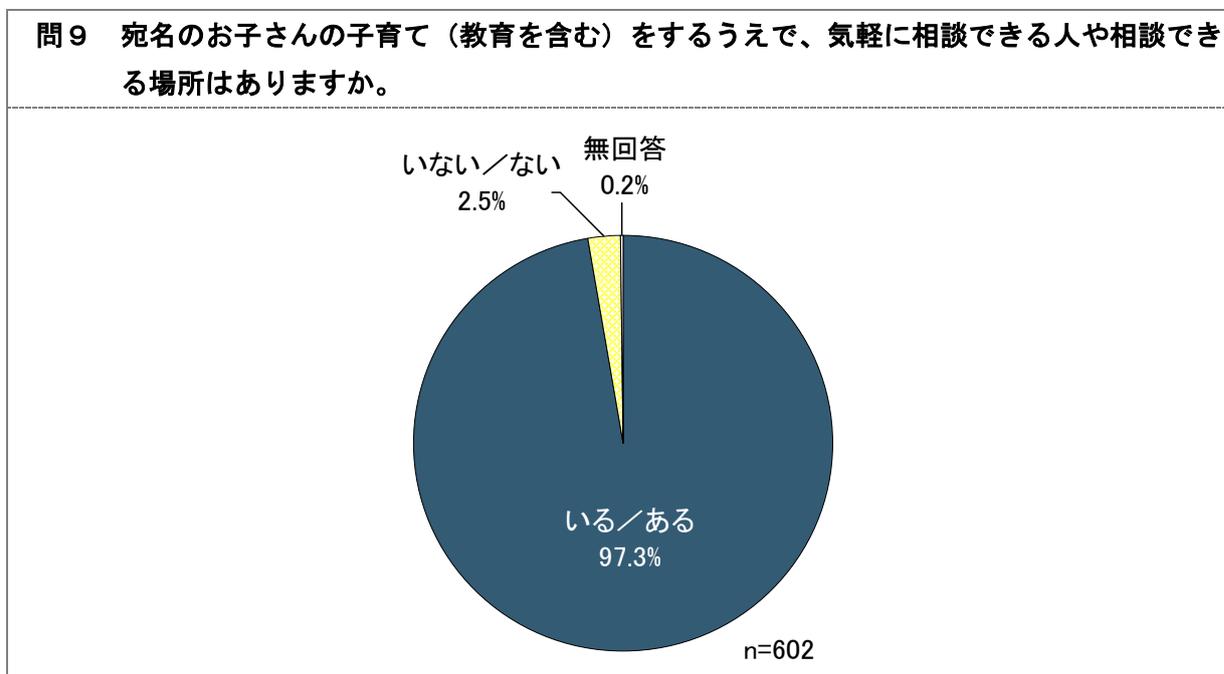
子育て（教育を含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が63.5%と最も高く、次いで「主に母親」が35.7%、「主に祖父母」が0.5%となっている。

(8) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況



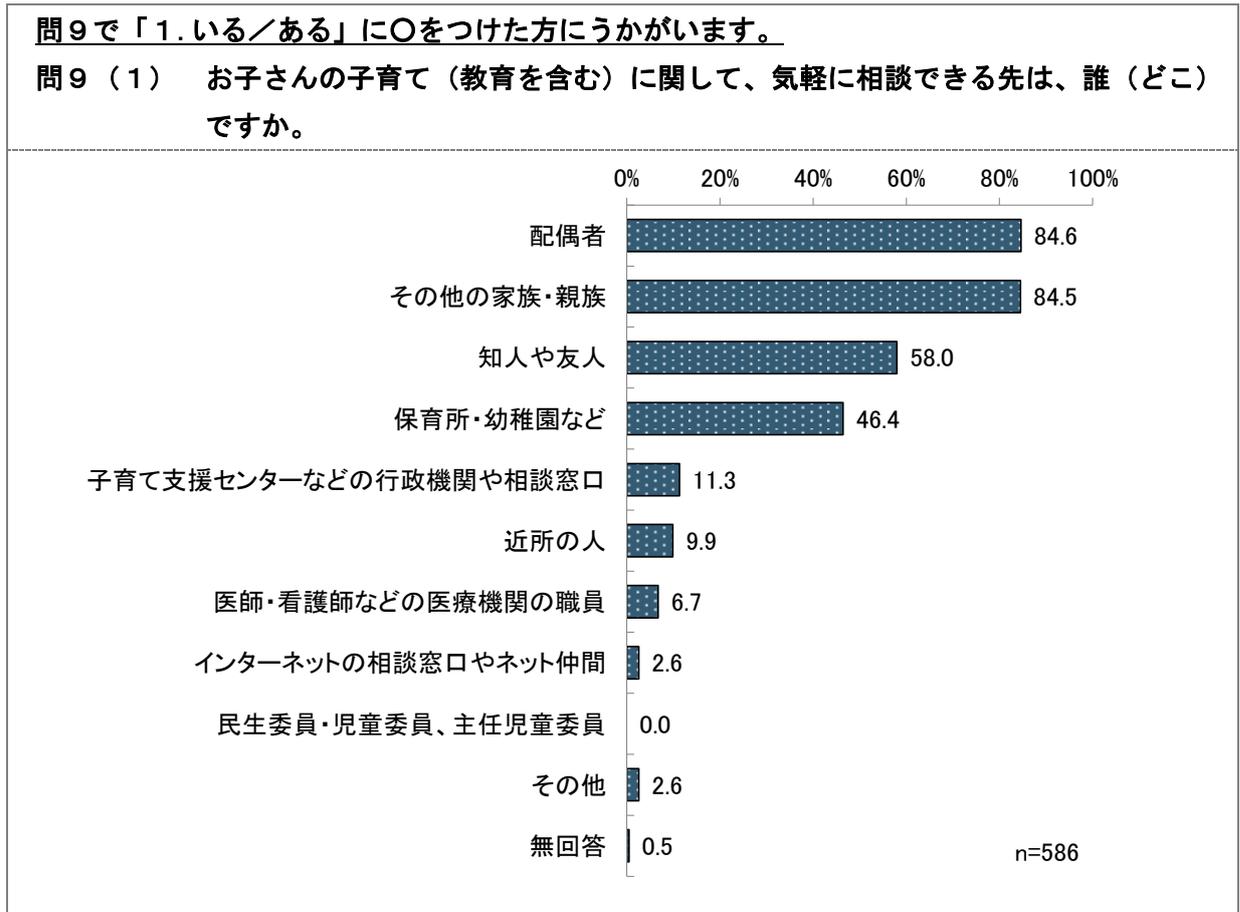
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が 62.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が 35.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 7.1%となっている。「いずれもない」は 10.3%となっている。

(9) 子育て（教育を含む）を気軽に相談できる人や場所の有無



子育て（教育を含む）を気軽に相談できる人や場所の有無は、「いる／ある」が 97.3%、「いない／ない」が 2.5%となっている。

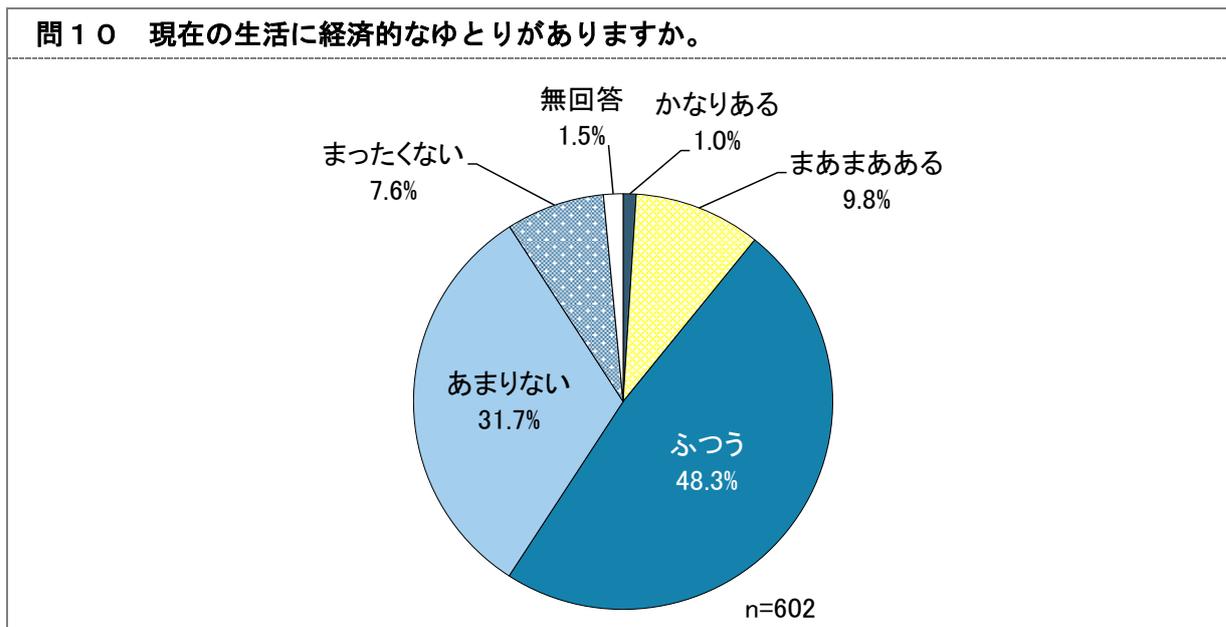
(10) 子育て（教育を含む）の相談先



子育て（教育を含む）の相談先は、「配偶者」が84.6%と最も高く、次いで「その他の家族・親族」が84.5%、「知人や友人」が58.0%となっている。

第1章 就学前児童

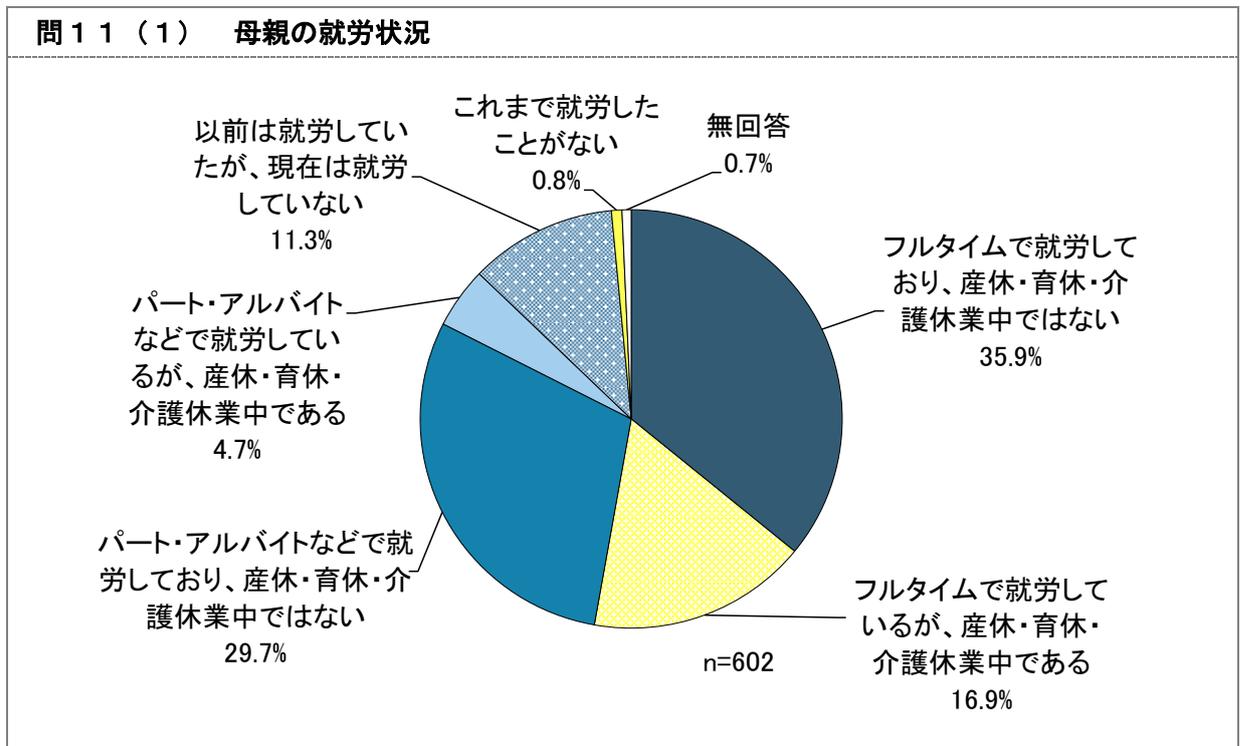
(11) 経済的なゆとりがあるか



経済的なゆとりがあるかは、「ふつう」が48.3%と最も高く、次いで「あまりない」が31.7%、「まあまあある」が9.8%となっている。

2. 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況



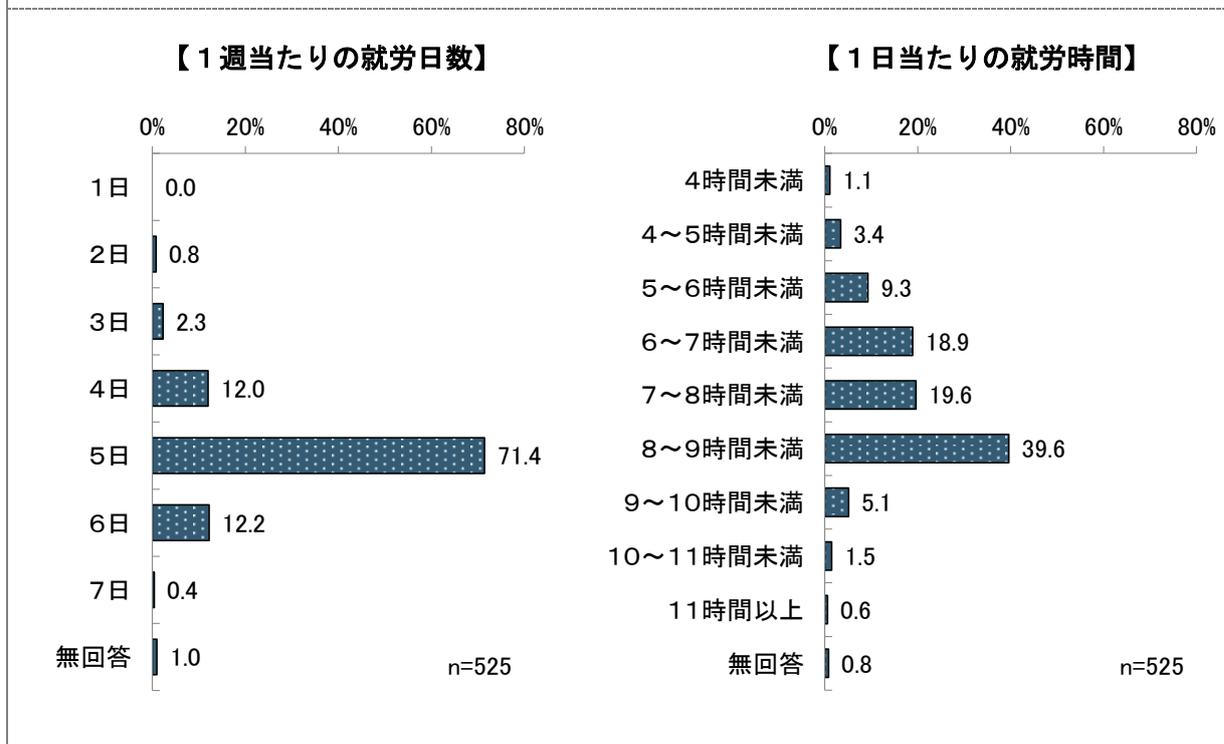
母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が35.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.7%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が16.9%となっている。

(2) 母親の就労日数・就労時間

問11(1)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11(1)－1 「就労日数」、「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

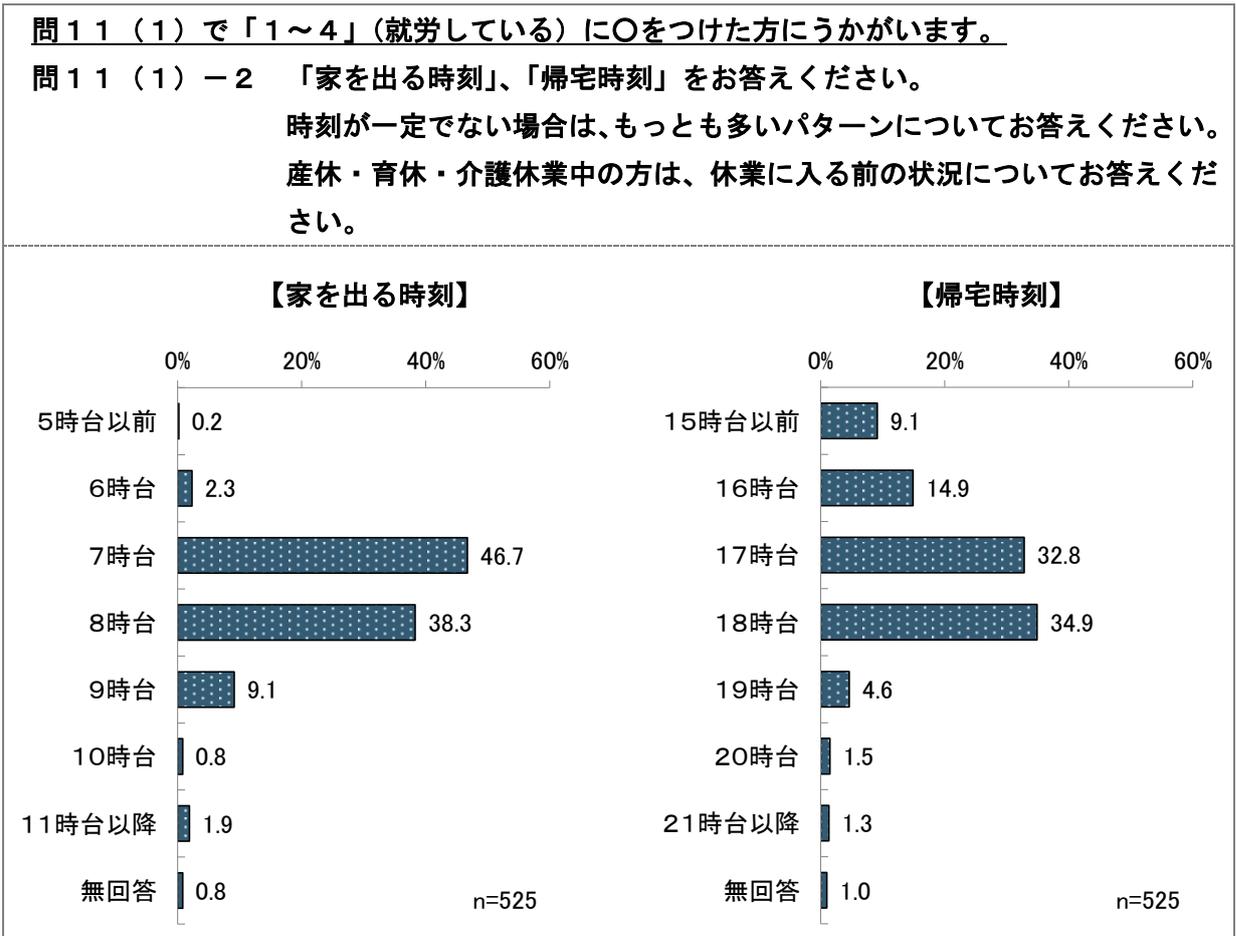
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が71.4%と最も高く、次いで「6日」が12.2%、「4日」が12.0%となっている。

母親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が39.6%と最も高く、次いで「7～8時間未満」が19.6%、「6～7時間未満」が18.9%となっている。

(3) 母親の家を出る時刻・帰宅時刻



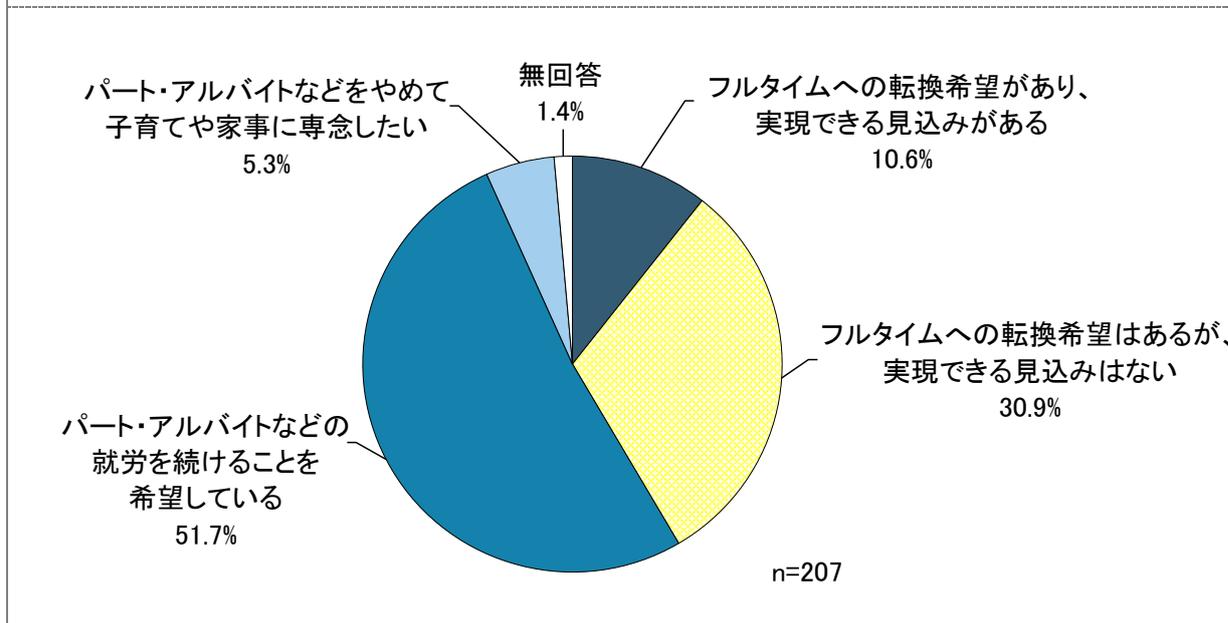
母親の家を出る時刻は、「7時台」が46.7%と最も高く、次いで「8時台」が38.3%、「9時台」が9.1%となっている。

母親の帰宅時刻は、「18時台」が34.9%と最も高く、次いで「17時台」が32.8%、「16時台」が14.9%となっている。

(4) 母親のフルタイムへの転換希望

問11(1)で「3、4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11(1)－3 フルタイムへの転換(就労形態の転換)希望はありますか。

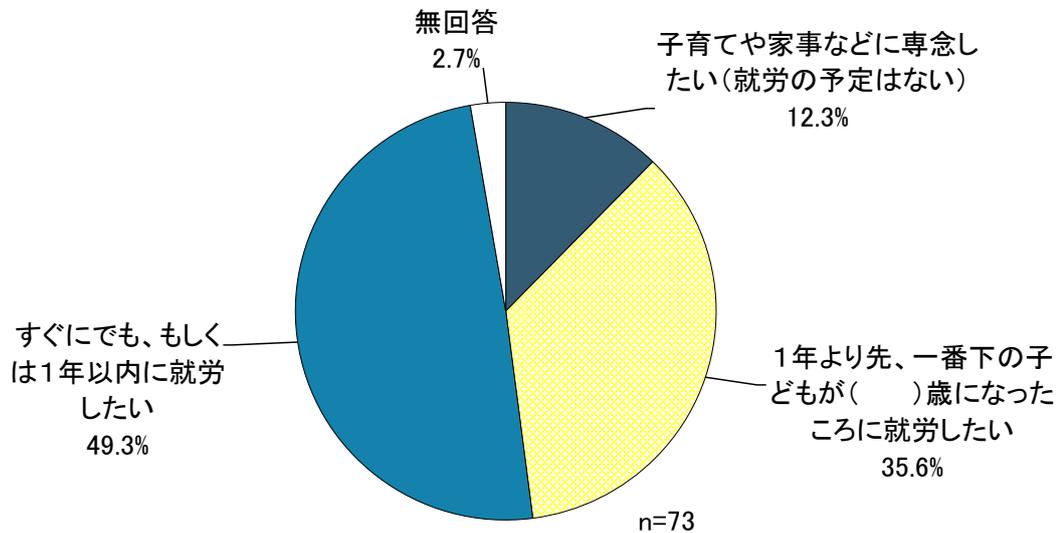


母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している」が51.7%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.6%となっている。

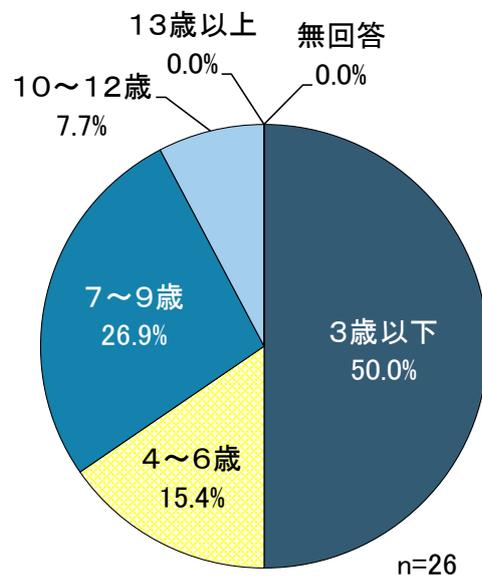
(5) 母親の就労希望

問11(1)で「5、6」に○をつけた方にうかがいます。

問11(1)-4 就労したいという希望はありますか。



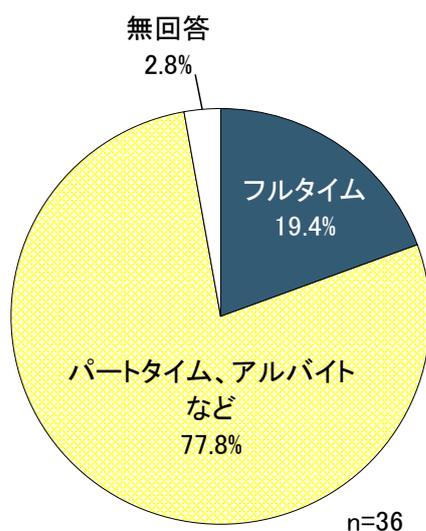
【1年より先、就労を希望する時の一番下の子どもの年齢】



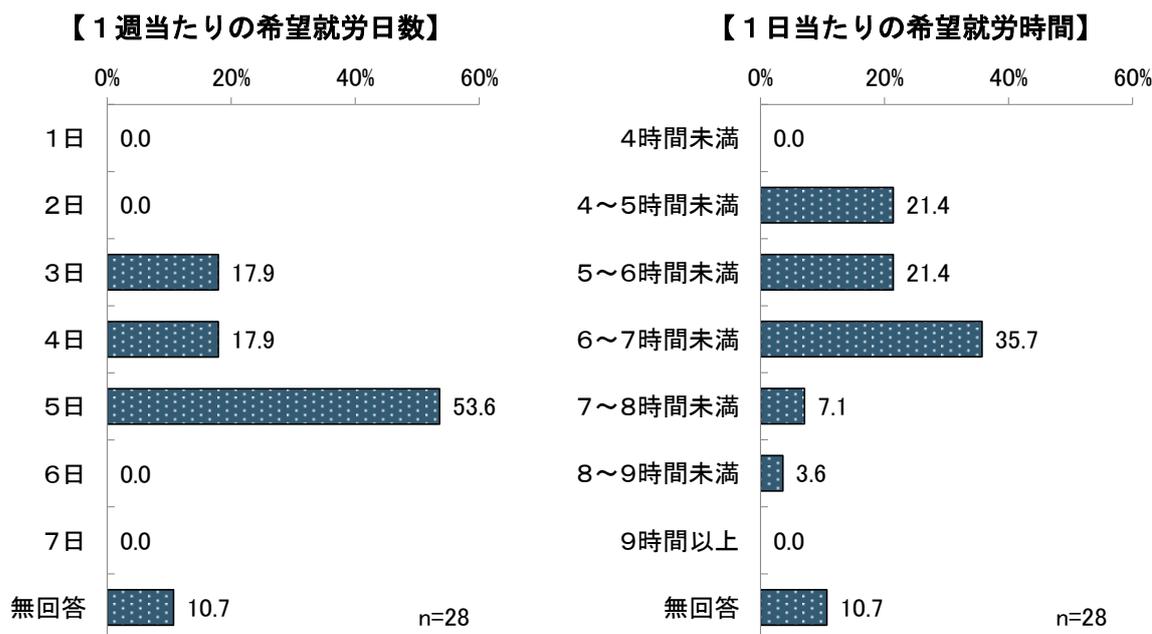
母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が49.3%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が35.6%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が12.3%となっている。

1年より先、就労を希望する時の一番下の子どもの年齢は、「3歳以下」が50.0%と最も高く、次いで「7~9歳」が26.9%、「4~6歳」が15.4%となっている。

■すぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態



■希望する就労形態がパートタイム・アルバイトの就労日数・就労時間

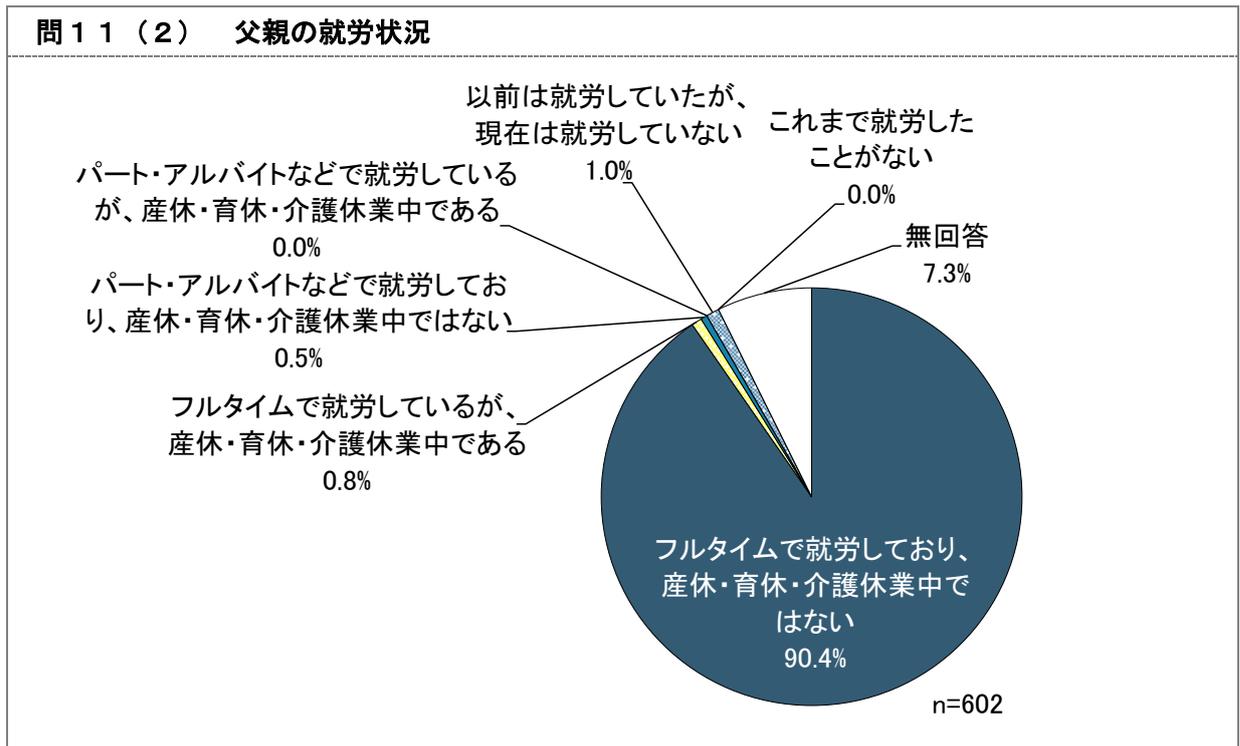


母親のすぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が77.8%、「フルタイム」が19.4%となっている。

すぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態がパートタイム・アルバイトの1週当たりの希望就労日数は、「5日」が53.6%と最も高く、次いで「3日」「4日」がそれぞれ17.9%となっている。

1日当たりの希望就労時間は、「6～7時間未満」が35.7%と最も高く、次いで「4～5時間未満」「5～6時間未満」がそれぞれ21.4%、「7～8時間未満」が7.1%となっている。

(6) 父親の就労状況



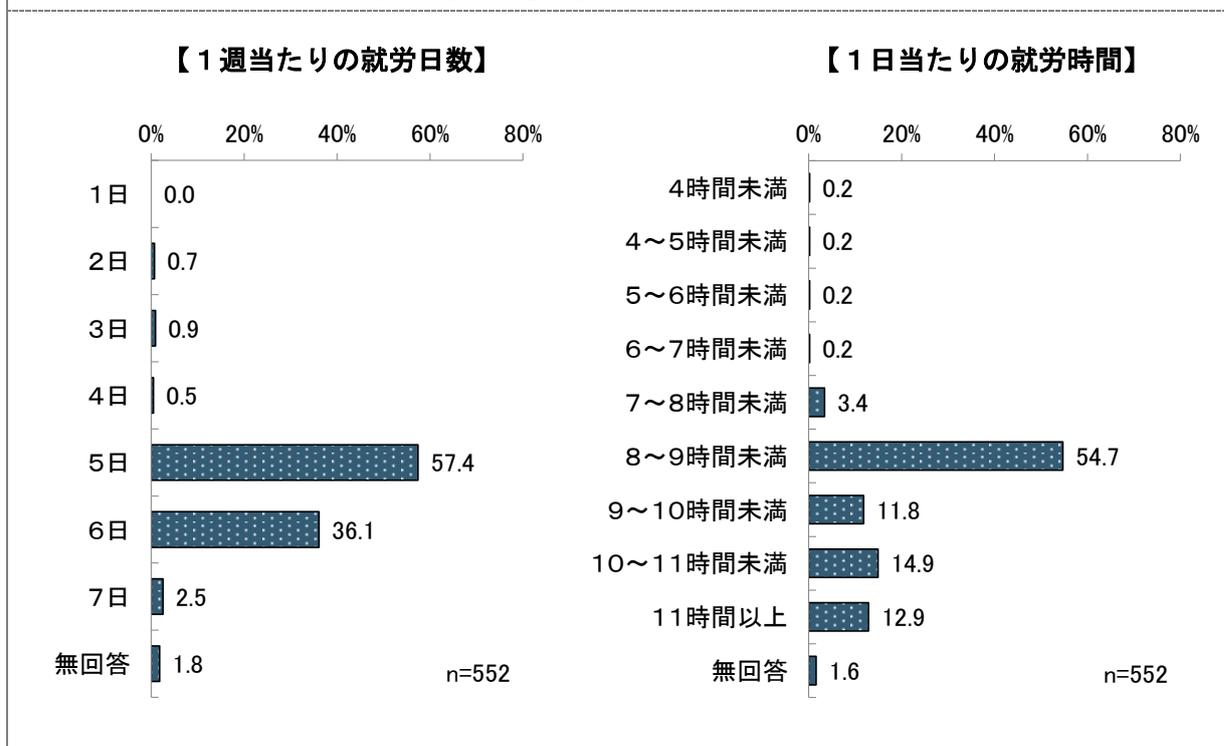
父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が90.4%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.0%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.8%となっている。

(7) 父親の就労日数・就労時間

問11(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11(2)-1 「就労日数」、「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が57.4%と最も高く、次いで「6日」が36.1%、「7日」が2.5%となっている。

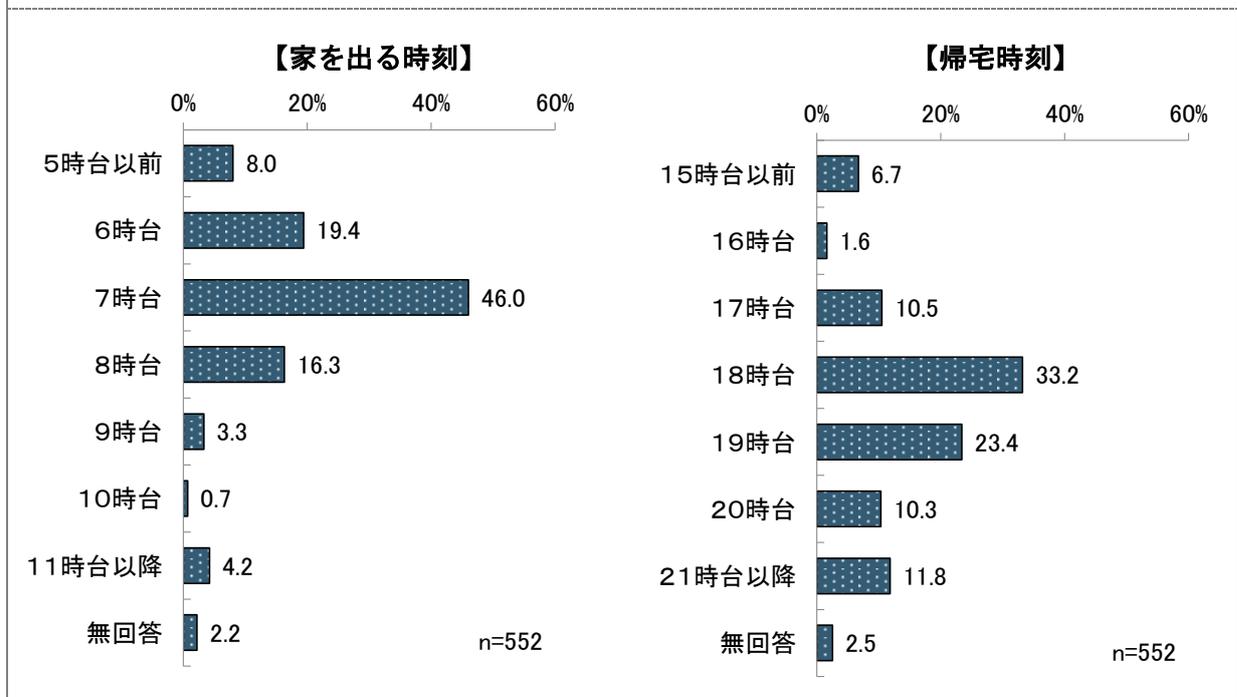
父親の1日当たりの就労時間は、「8~9時間未満」が54.7%と最も高く、次いで「10~11時間未満」が14.9%、「11時間以上」が12.9%となっている。

(8) 父親の家を出る時刻・帰宅時刻

問11(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11(2)-2 「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。

時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



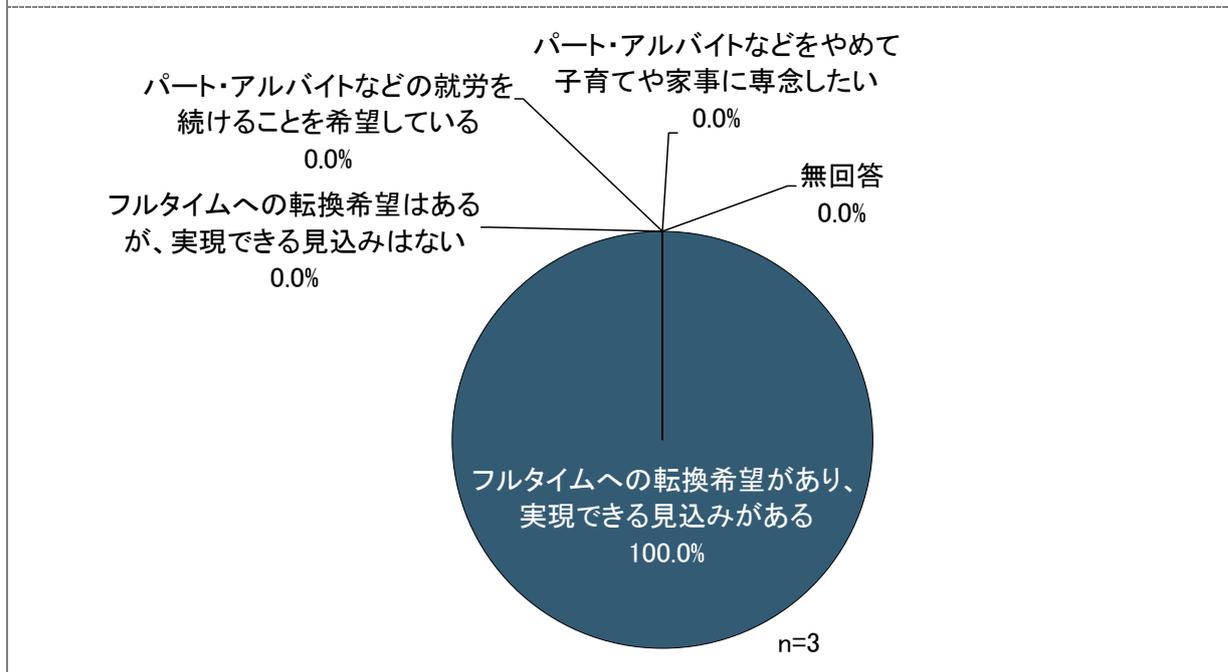
父親の家を出る時刻は、「7時台」が46.0%と最も高く、次いで「6時台」が19.4%、「8時台」が16.3%となっている。

父親の帰宅時刻は、「18時台」が33.2%と最も高く、次いで「19時台」が23.4%、「21時台以降」が11.8%となっている。

(9) 父親のフルタイムへの転換希望

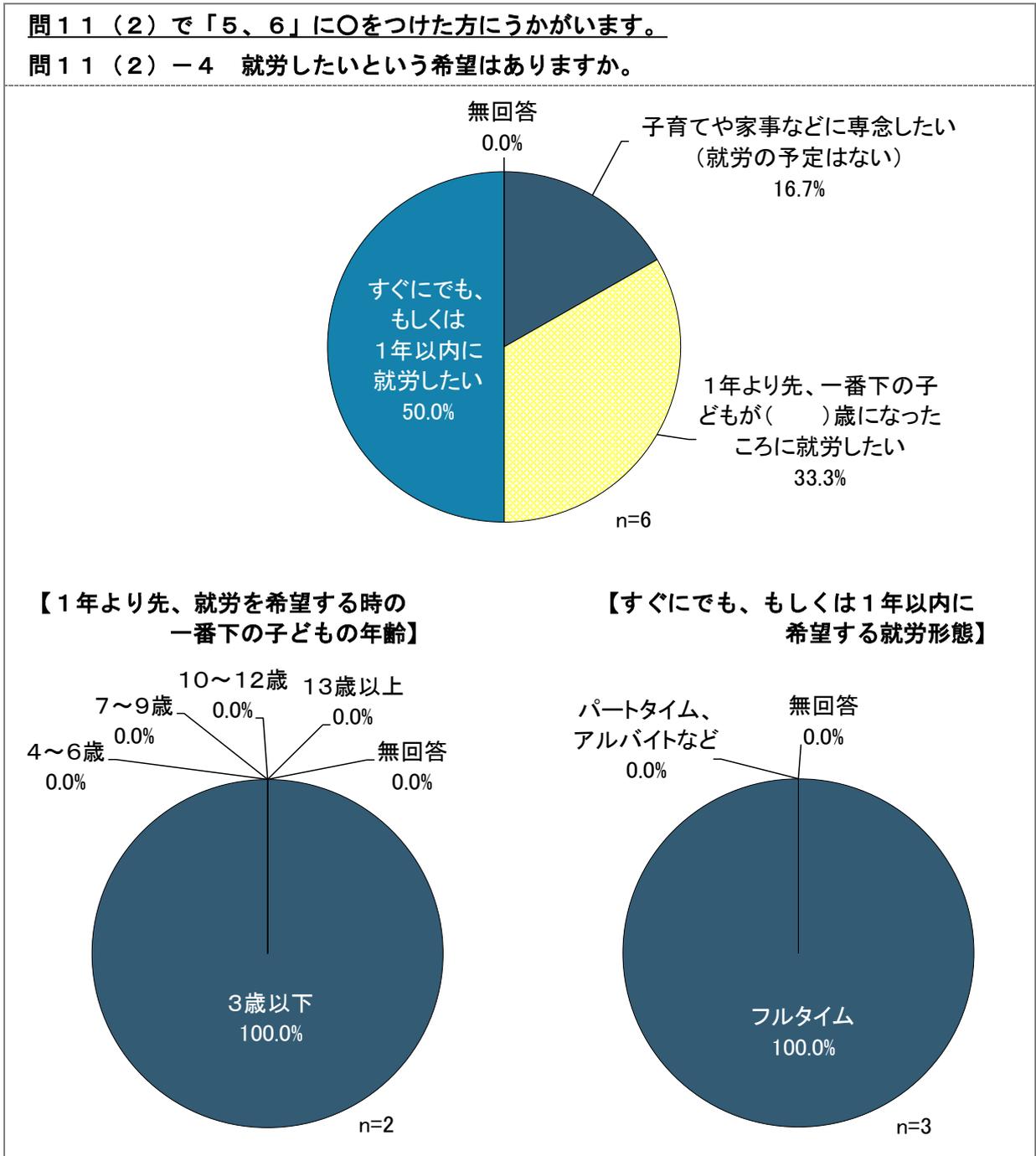
問11(2)で「3、4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問11(2)-3 フルタイムへの転換(就労形態の転換)希望はありますか。



父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が100.0%となっている。

(10) 父親の就労希望



父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」が33.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が16.7%となっている。

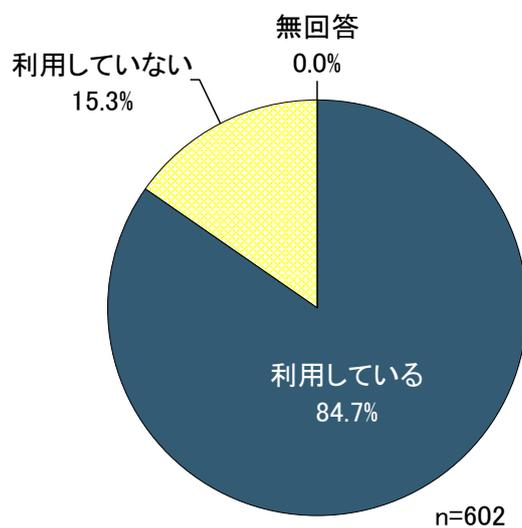
1年より先、就労を希望する時の一番下の子どもの年齢は、「3歳以下」が100.0%となっている。

父親のすぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態は、「フルタイム」が100.0%となっている。

3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

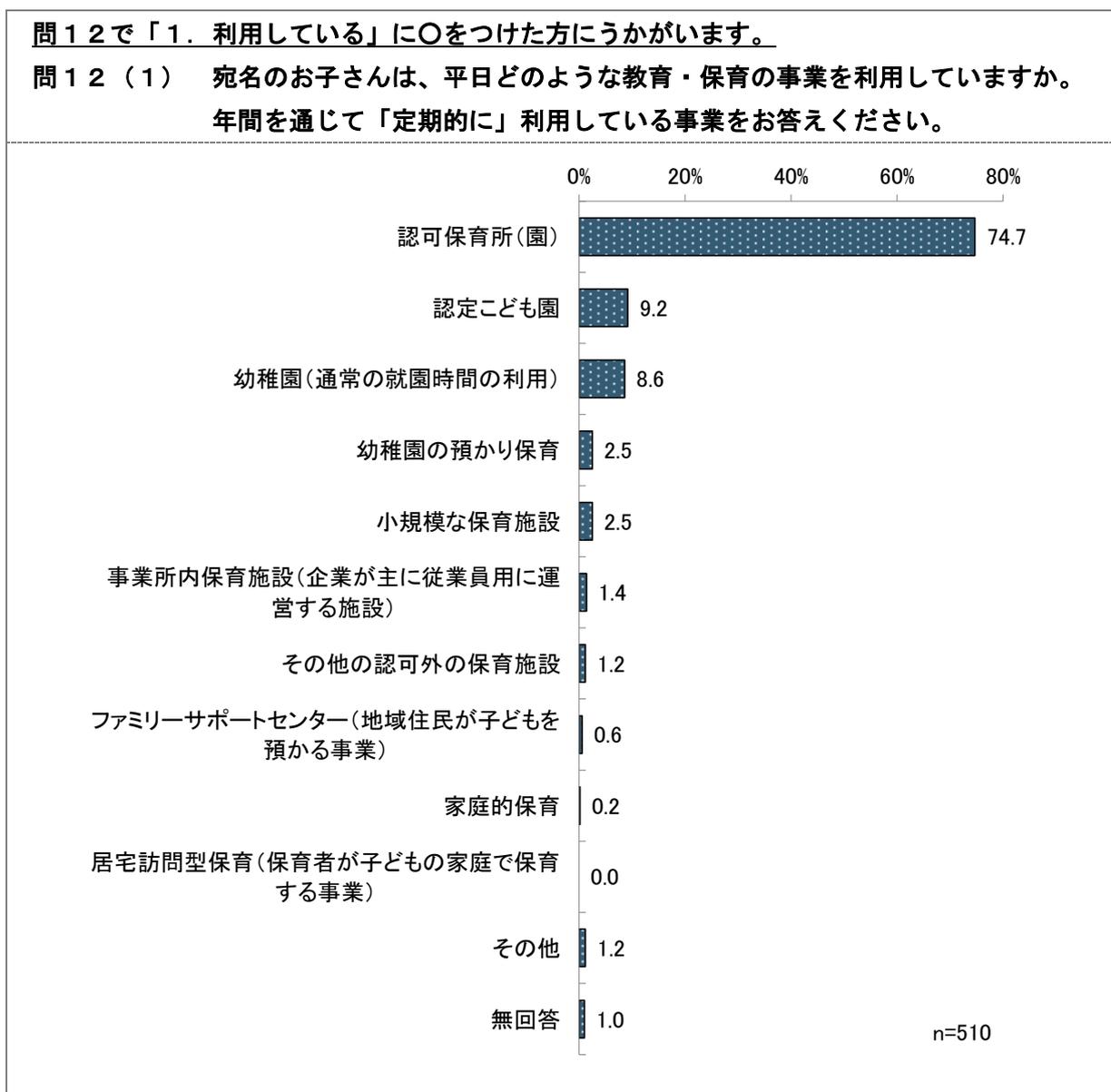
(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無

問12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。



定期的な教育・保育事業の利用の有無は、「利用している」が84.7%、「利用していない」が15.3%となっている。

(2) 定期的に利用している事業



定期的に利用している事業は、「認可保育所(園)」が74.7%と最も高く、次いで「認定こども園」が9.2%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が8.6%となっている。

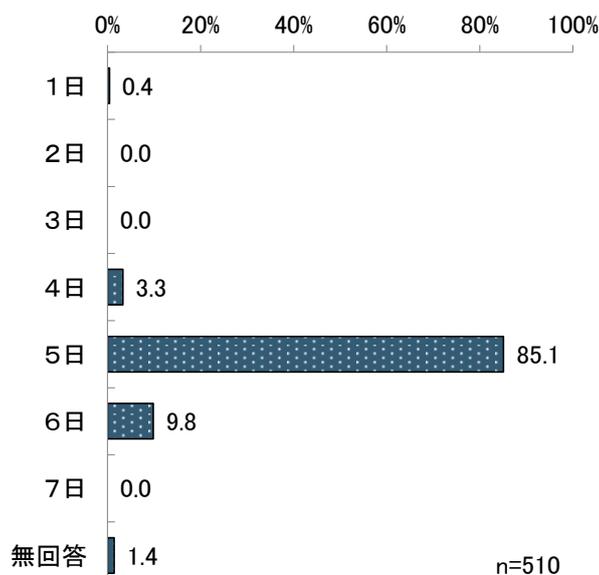
(3) 教育・保育事業の利用状況（日数・時間）

問12で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

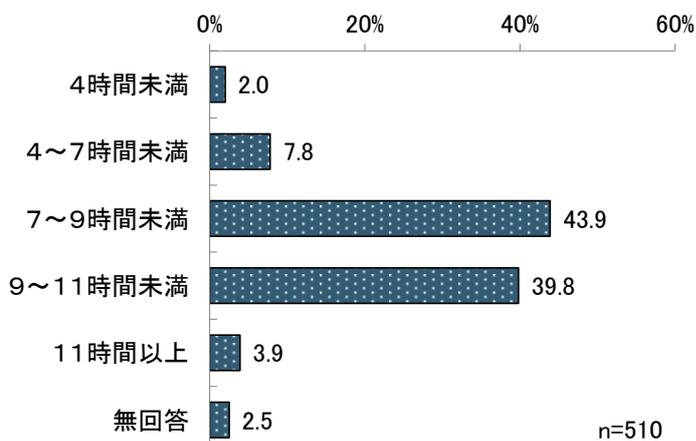
問12(2) 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

■現在、利用している教育・保育事業の利用日数・利用時間

【1週当たりの利用日数】

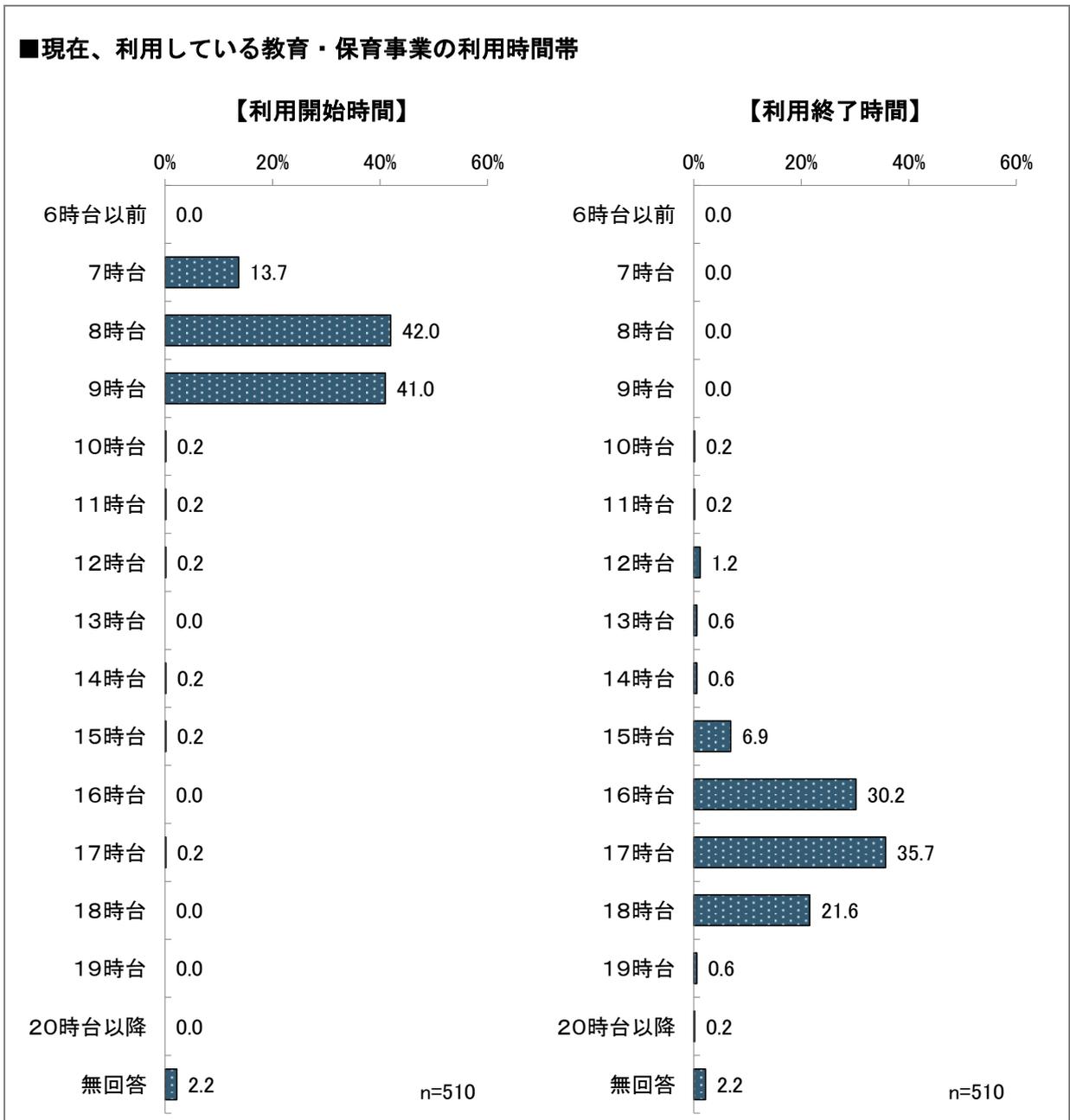


【1日当たりの利用時間】



現在、利用している教育・保育事業の1週当たりの利用日数は、「5日」が85.1%と最も高く、次いで「6日」が9.8%、「4日」が3.3%となっている。

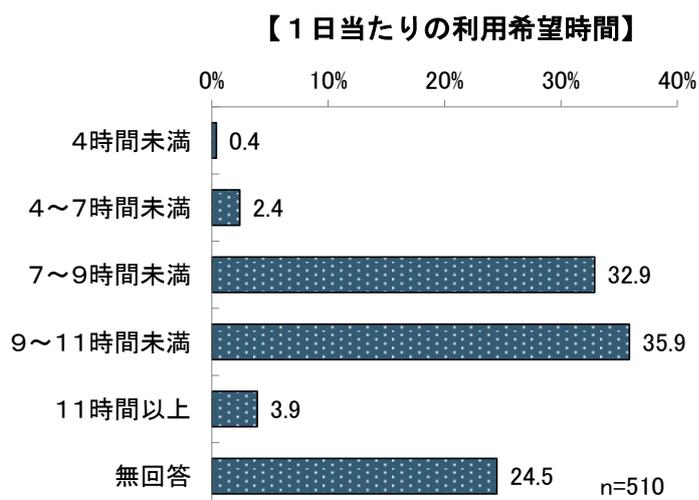
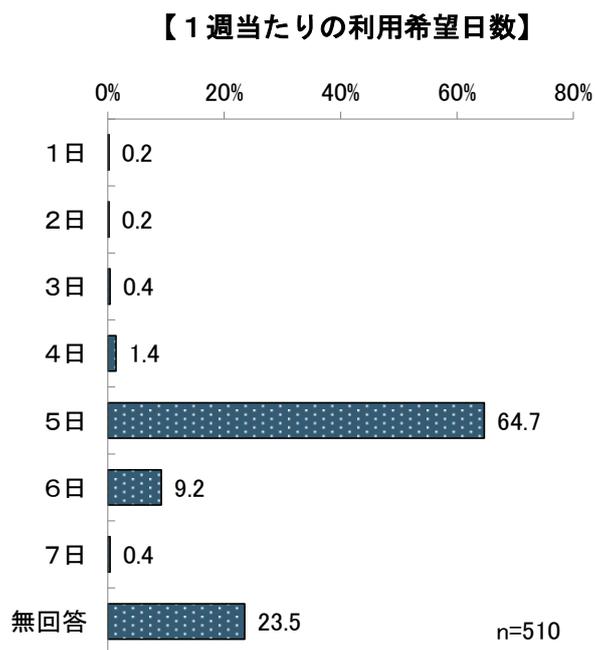
現在、利用している教育・保育事業の1日当たりの利用時間は「7~9時間未満」が43.9%と最も高く、次いで「9~11時間未満」が39.8%、「4~7時間未満」が7.8%となっている。



現在、利用している教育・保育事業の利用開始時間は、「8時台」が42.0%と最も高く、次いで「9時台」が41.0%、「7時台」が13.7%となっている。

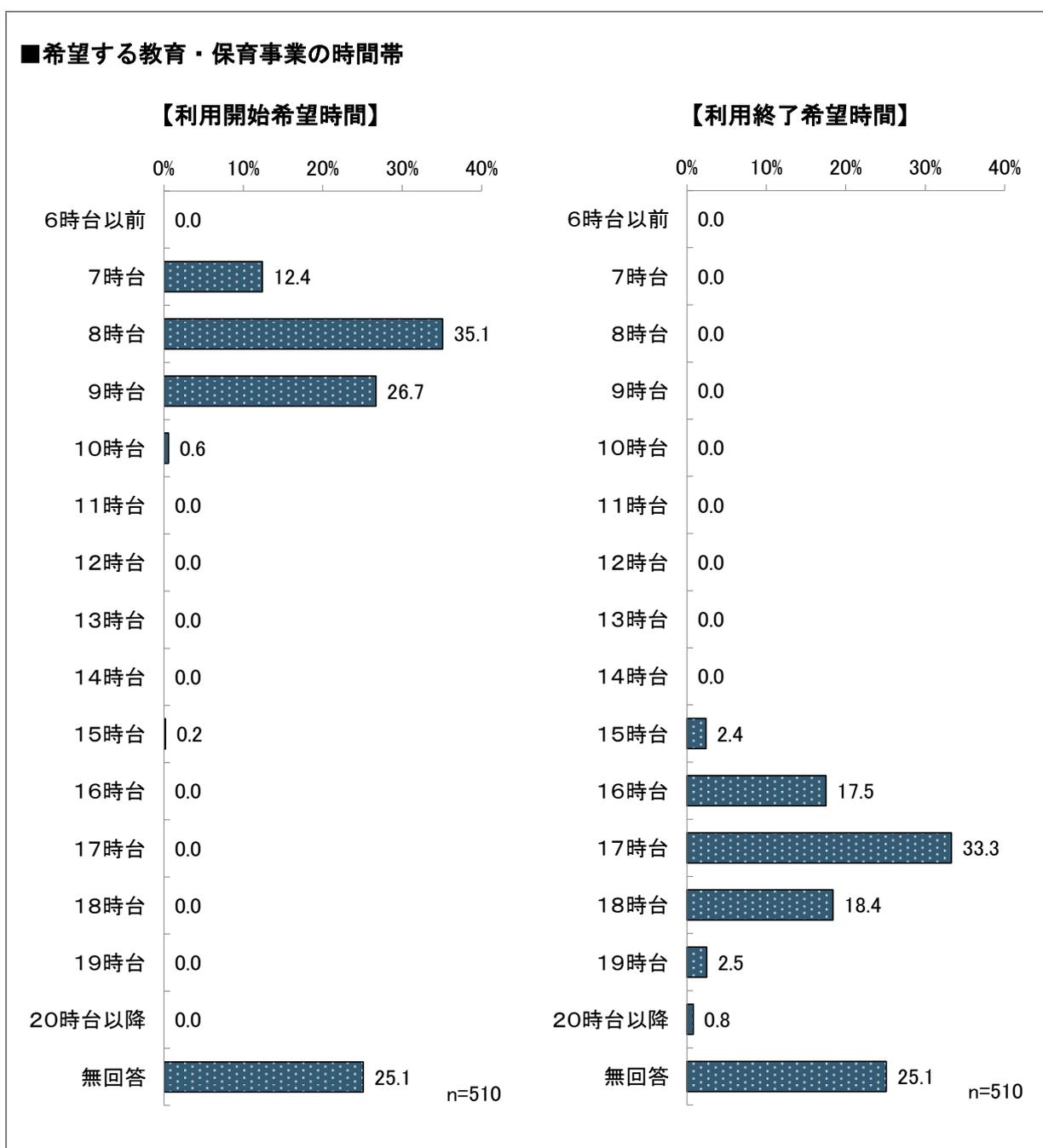
現在、利用している教育・保育事業の利用終了時間は、「17時台」が35.7%と最も高く、次いで「16時台」が30.2%、「18時台」が21.6%となっている。

■希望する教育・保育事業の利用日数・利用時間



希望する教育・保育事業の1週当たりの利用日数は、「5日」が64.7%と最も高く、次いで「6日」が9.2%、「4日」が1.4%となっている。

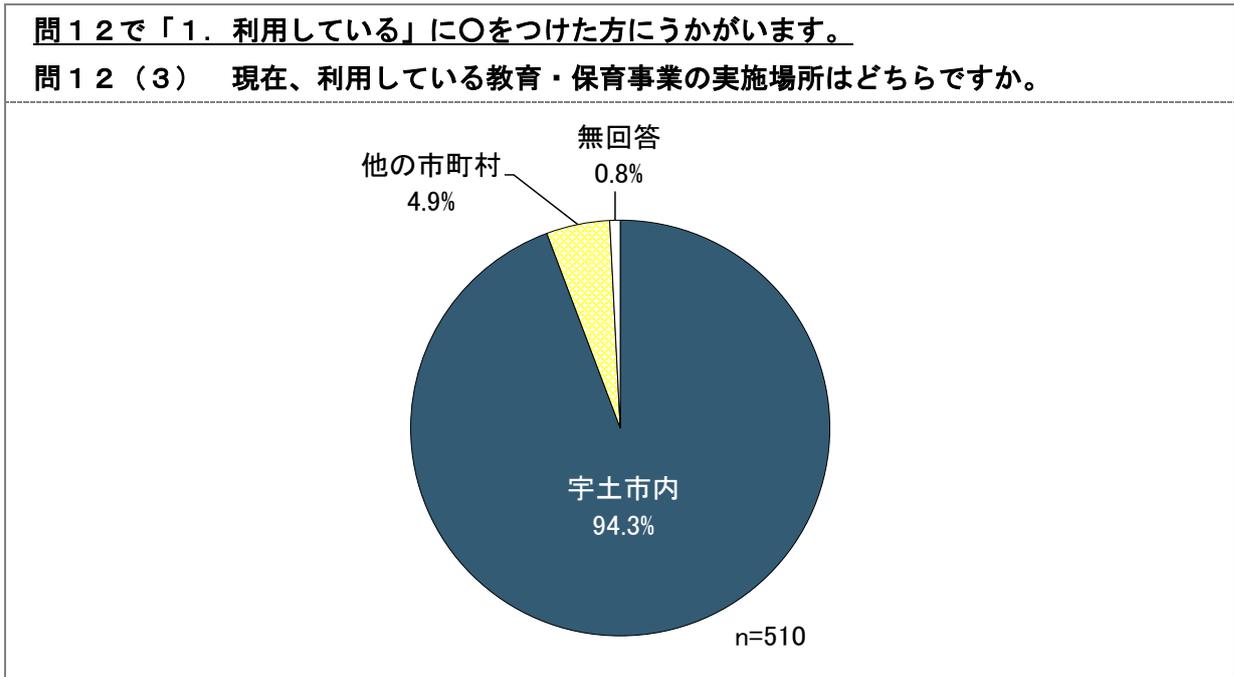
希望する教育・保育事業の1日当たりの利用時間は「9～11時間未満」が35.9%と最も高く、次いで「7～9時間未満」が32.9%、「11時間以上」が3.9%となっている。



希望する教育・保育事業の利用開始時間は、「8時台」が35.1%と最も高く、次いで「9時台」が26.7%、「7時台」が12.4%となっている。

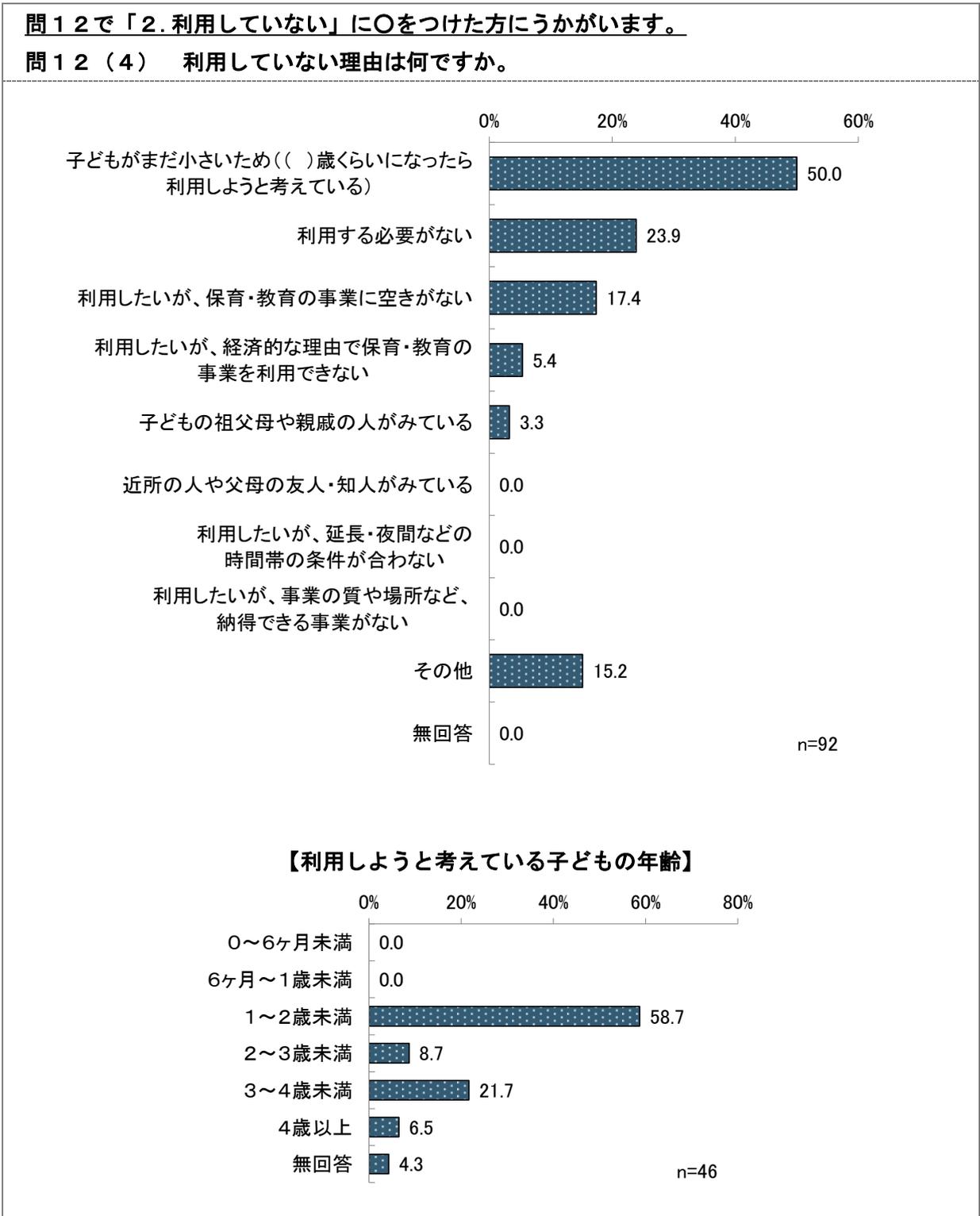
希望する教育・保育事業の利用終了時間は「17時台」が33.3%と最も高く、次いで「18時台」が18.4%、「16時台」が17.5%となっている。

(4) 教育・保育事業の実施場所



教育・保育事業の実施場所は、「宇土市内」が 94.3%、「他の市町村」が 4.9%となっている。

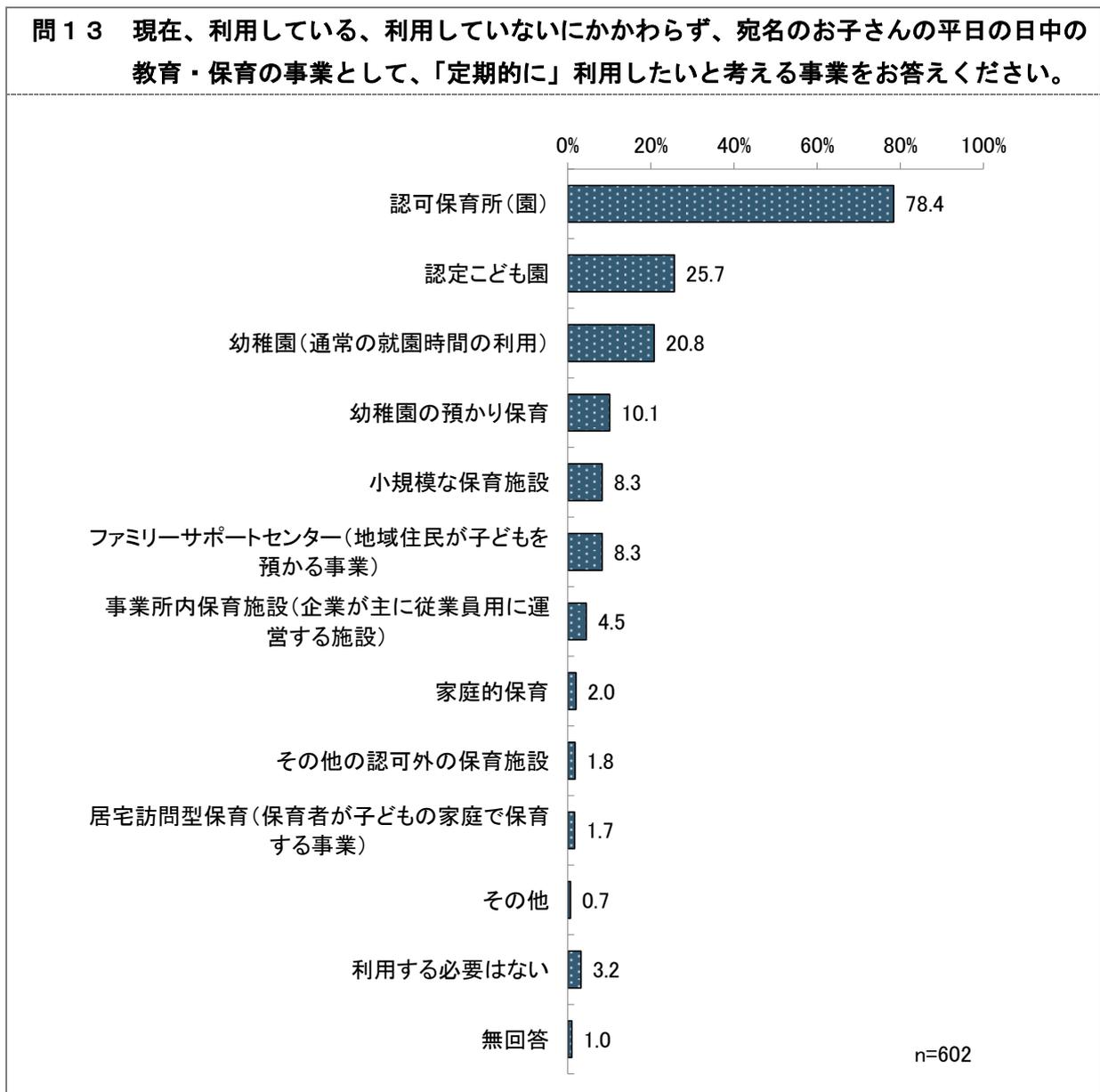
(5) 教育・保育事業を利用していない理由



教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」が50.0%と最も高く、次いで「利用する必要がある」が23.9%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が17.4%となっている。

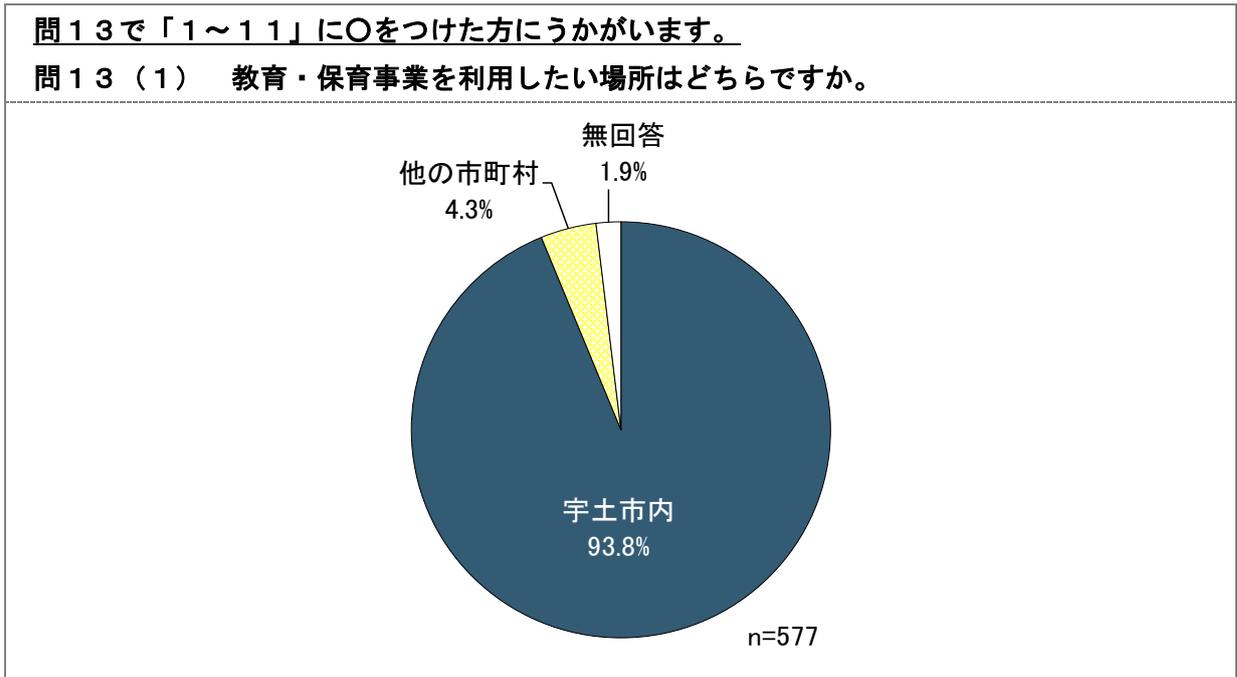
利用しようと考えている子どもの年齢は、「1~2歳未満」が58.7%と最も高く、次いで「3~4歳未満」が21.7%、「2~3歳未満」が8.7%となっている。

(6) 今後、利用したい教育・保育事業



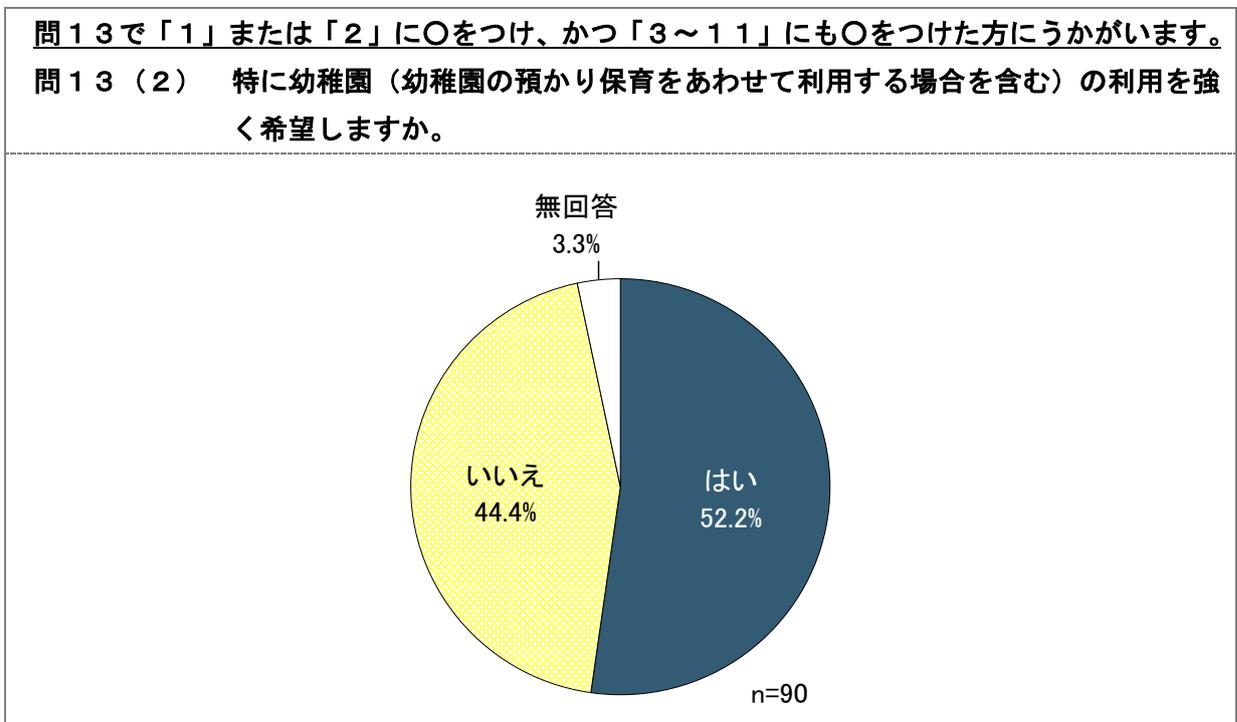
今後、利用したい教育・保育事業は、「認可保育所(園)」が78.4%と最も高く、次いで「認定こども園」が25.7%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が20.8%となっている。

(7) 教育・保育事業を利用したい場所



教育・保育事業を利用したい場所は、「宇土市内」が93.8%、「他の市町村」が4.3%となっている。

(8) 特に幼稚園の利用を強く望むことの有無

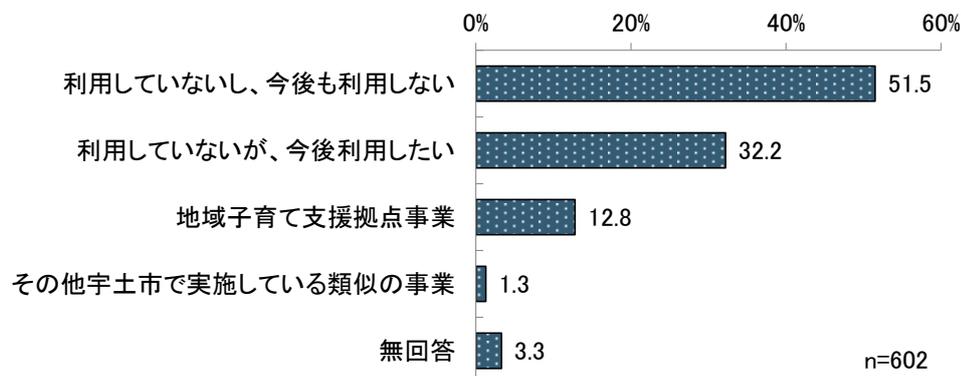


特に幼稚園の利用を強く望むことの有無は、「はい」が52.2%、「いいえ」が44.4%となっている。

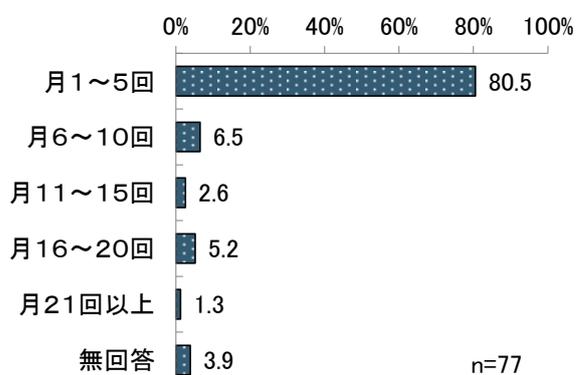
4. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

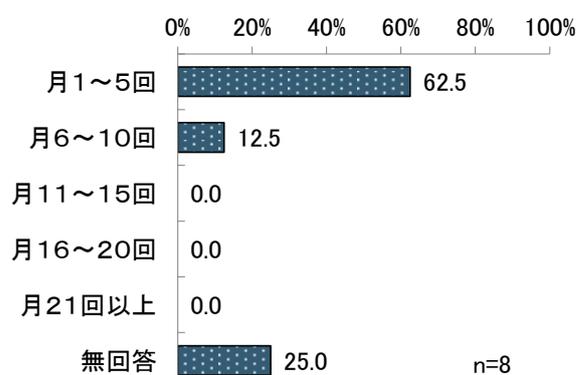
問14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。



【地域子育て支援拠点事業の利用頻度】



【宇土市で実施している類似事業の利用頻度】

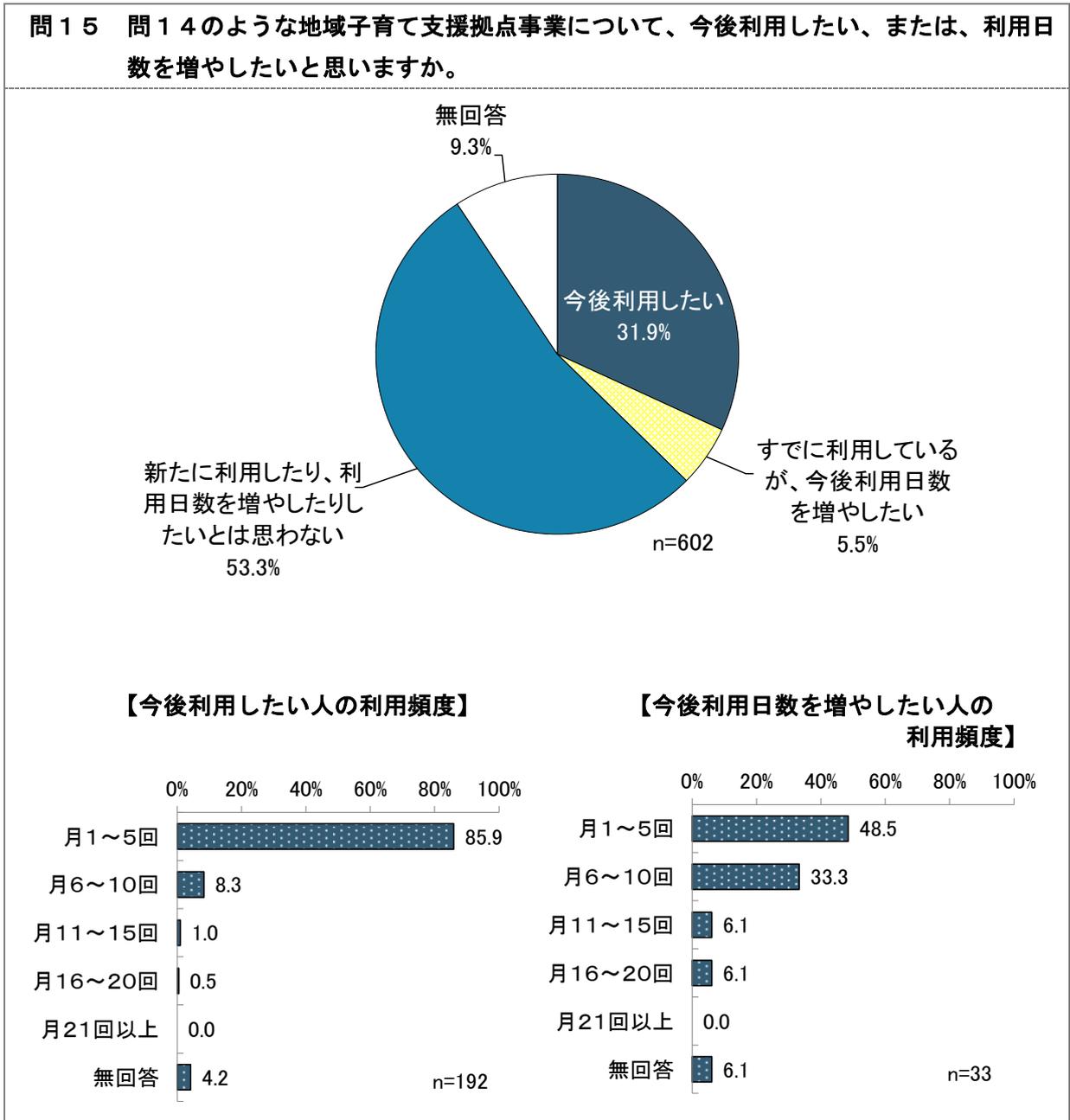


地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していないし、今後も利用しない」が51.5%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が32.2%、「地域子育て支援拠点事業」が12.8%となっている。

地域子育て支援拠点事業の利用頻度は、「月1~5回」が80.5%と最も高く、次いで「月6~10回」が6.5%、「月16~20回」が5.2%となっている。

宇土市で実施している類似事業の利用頻度は、「月1~5回」が62.5%と最も高く、次いで「月6~10回」が12.5%となっている。

(2) 今後の地域子育て支援拠点事業の利用意向

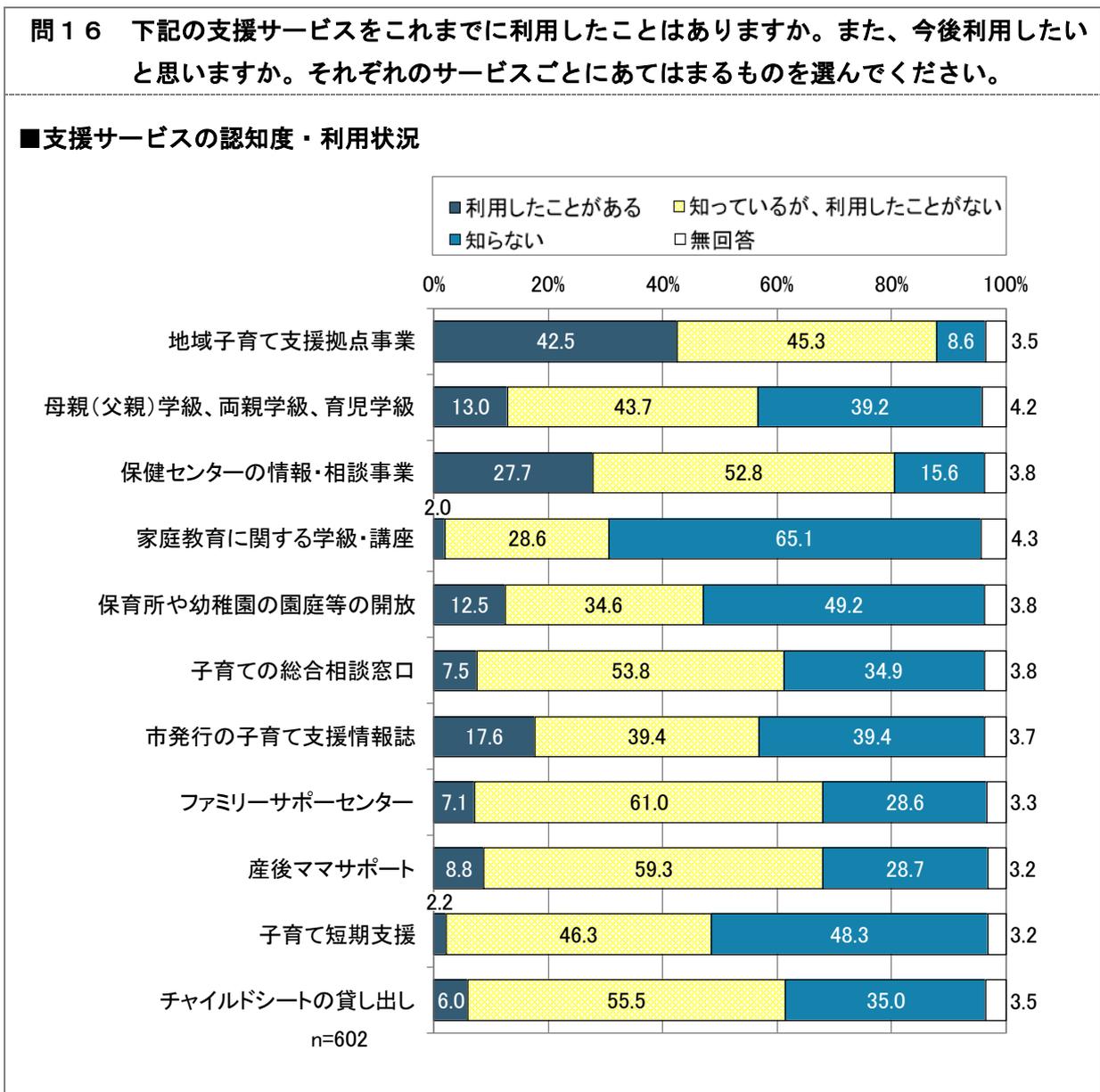


今後の地域子育て支援拠点事業の利用意向は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が53.3%と最も高く、次いで「今後利用したい」が31.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.5%となっている。

今後利用したい人の利用頻度は、「月1～5回」が85.9%と最も高く、次いで「月6～10回」が8.3%、「月11～15回」が1.0%となっている。

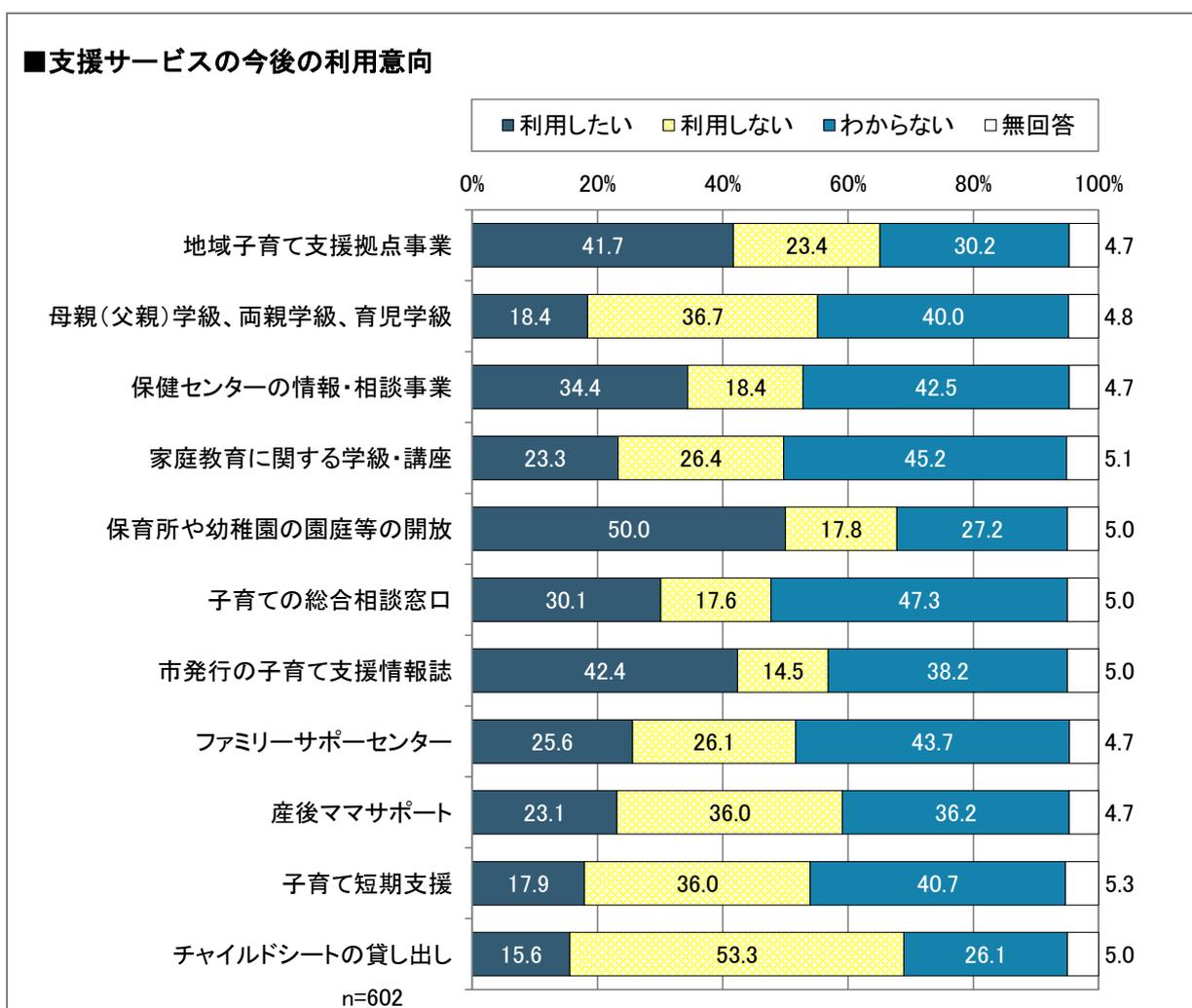
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人の利用頻度は、「月1～5回」が48.5%と最も高く、次いで「月6～10回」が33.3%、「月11～15回」「月16～20回」がそれぞれ6.1%となっている。

(3) 支援サービスの認知度・利用状況と今後の利用意向



支援サービスの「利用したことがある」が高い項目は、「地域子育て支援拠点事業」が42.5%と最も高く、次いで「保健センターの情報・相談事業」が27.7%、「市発行の子育て支援情報誌」が17.6%となっている。

一方、「知らない」が高い項目は、「家庭教育に関する学級・講座」が65.1%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が49.2%、「子育て短期支援」が48.3%となっている。



今後、支援サービスを「利用したい」が高い項目は、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が50.0%と最も高く、次いで「市発行の子育て支援情報誌」が42.4%、「地域子育て支援拠点事業」が41.7%となっている。

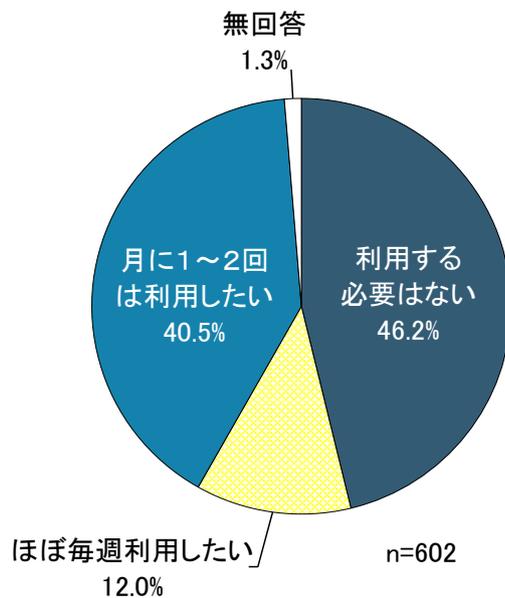
一方、今後「利用しない」が高い項目は、「チャイルドシートの貸し出し」が53.3%と最も高く、次いで「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が36.7%、「産後ママサポート」「子育て短期支援」がそれぞれ36.0%となっている。

5. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

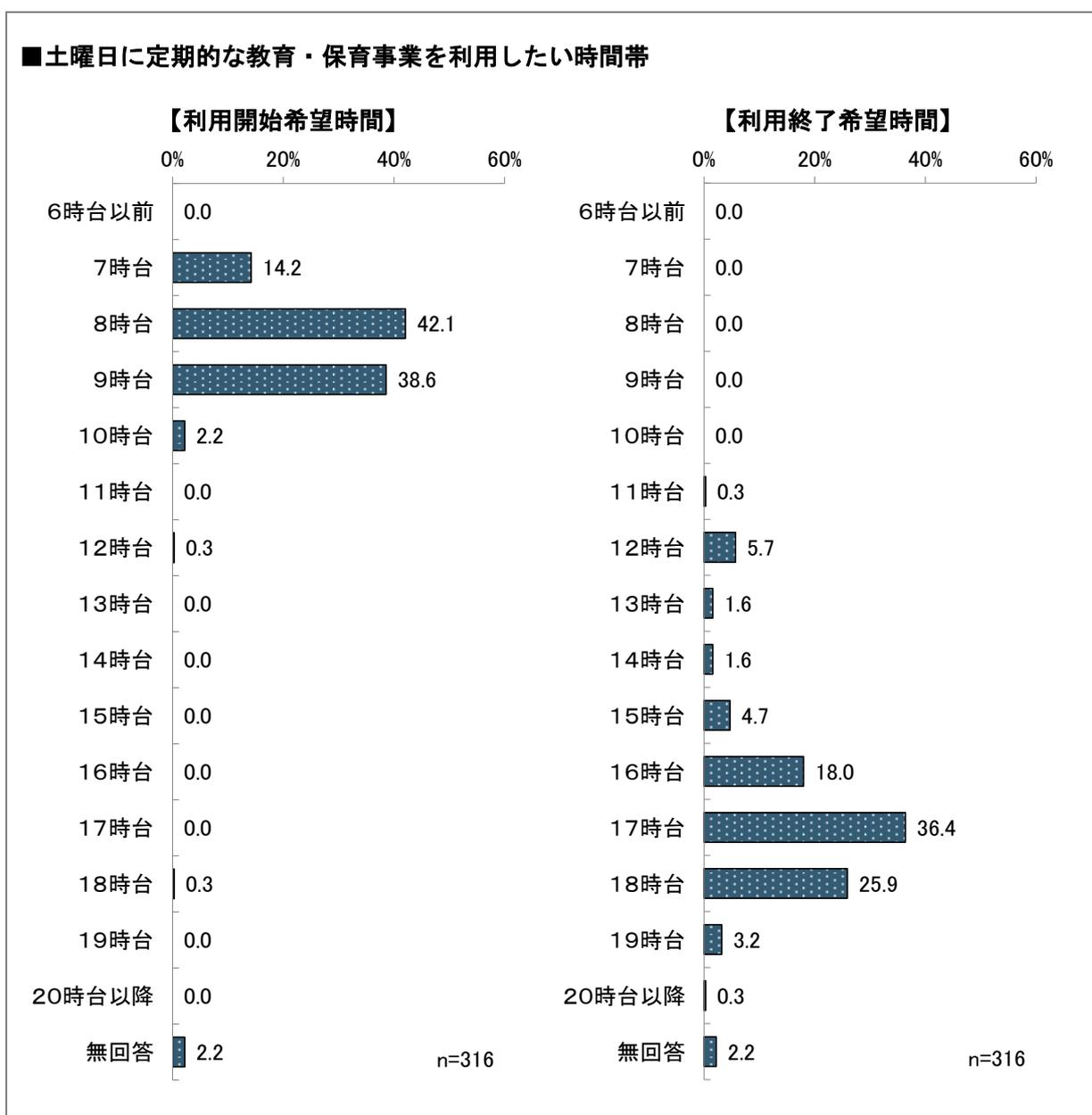
(1) 土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

■土曜日の利用希望



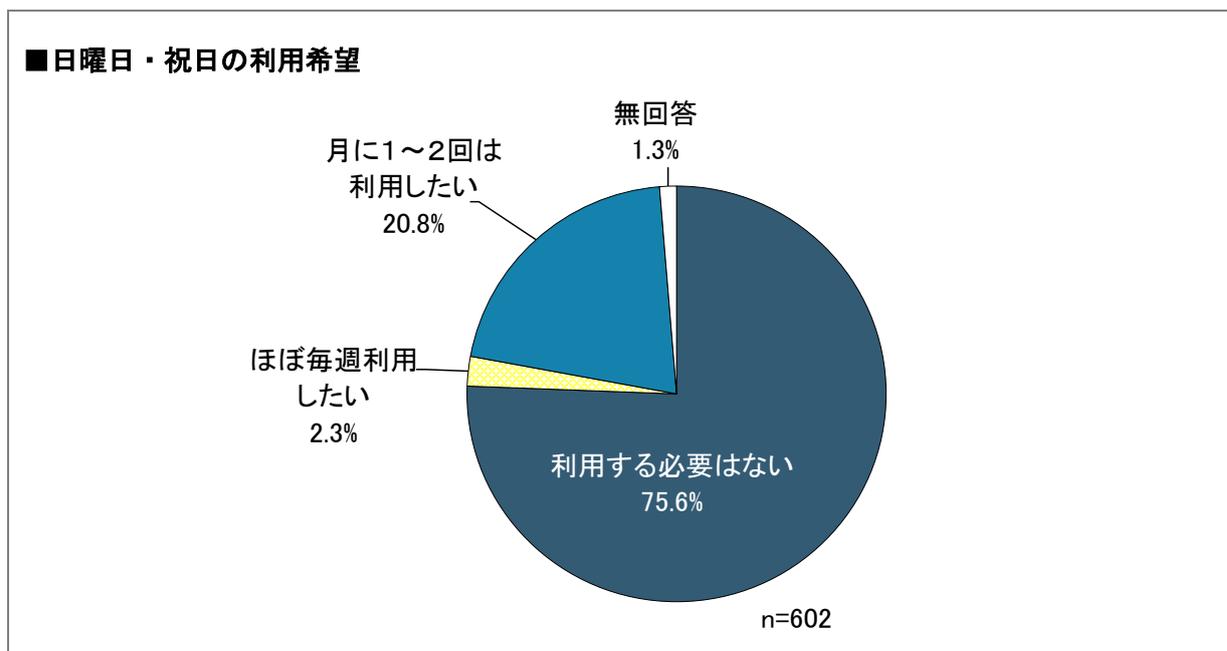
土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が46.2%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が40.5%、「ほぼ毎週利用したい」が12.0%となっている。



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用開始希望時間は、「8時台」が42.1%と最も高く、次いで「9時台」が38.6%、「7時台」が14.2%となっている。

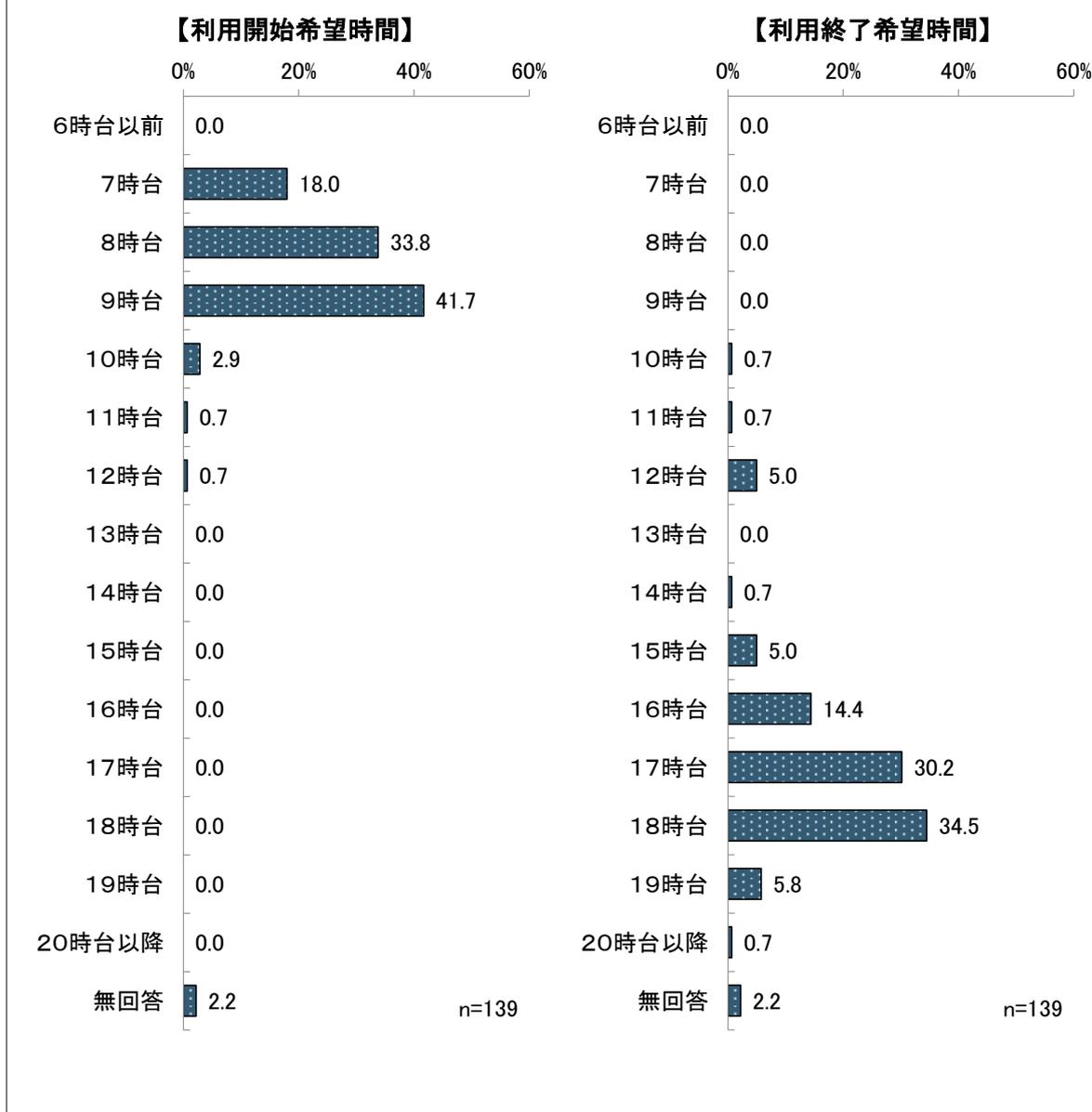
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用終了希望時間は、「17時台」が36.4%と最も高く、次いで「18時台」が25.9%、「16時台」が18.0%となっている。

第1章 就学前児童



日曜日・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が75.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が20.8%、「ほぼ毎週利用したい」が2.3%となっている。

■日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯



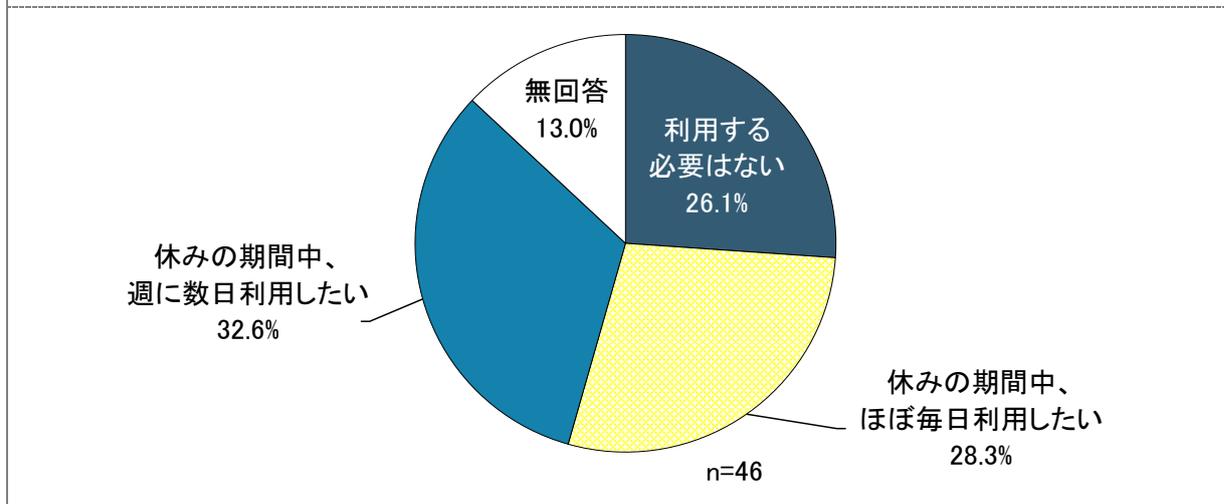
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用開始希望時間は、「9時台」が41.7%と最も高く、次いで「8時台」が33.8%、「7時台」が18.0%となっている。

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用終了希望時間は、「18時台」が34.5%と最も高く、次いで「17時台」が30.2%、「16時台」が14.4%となっている。

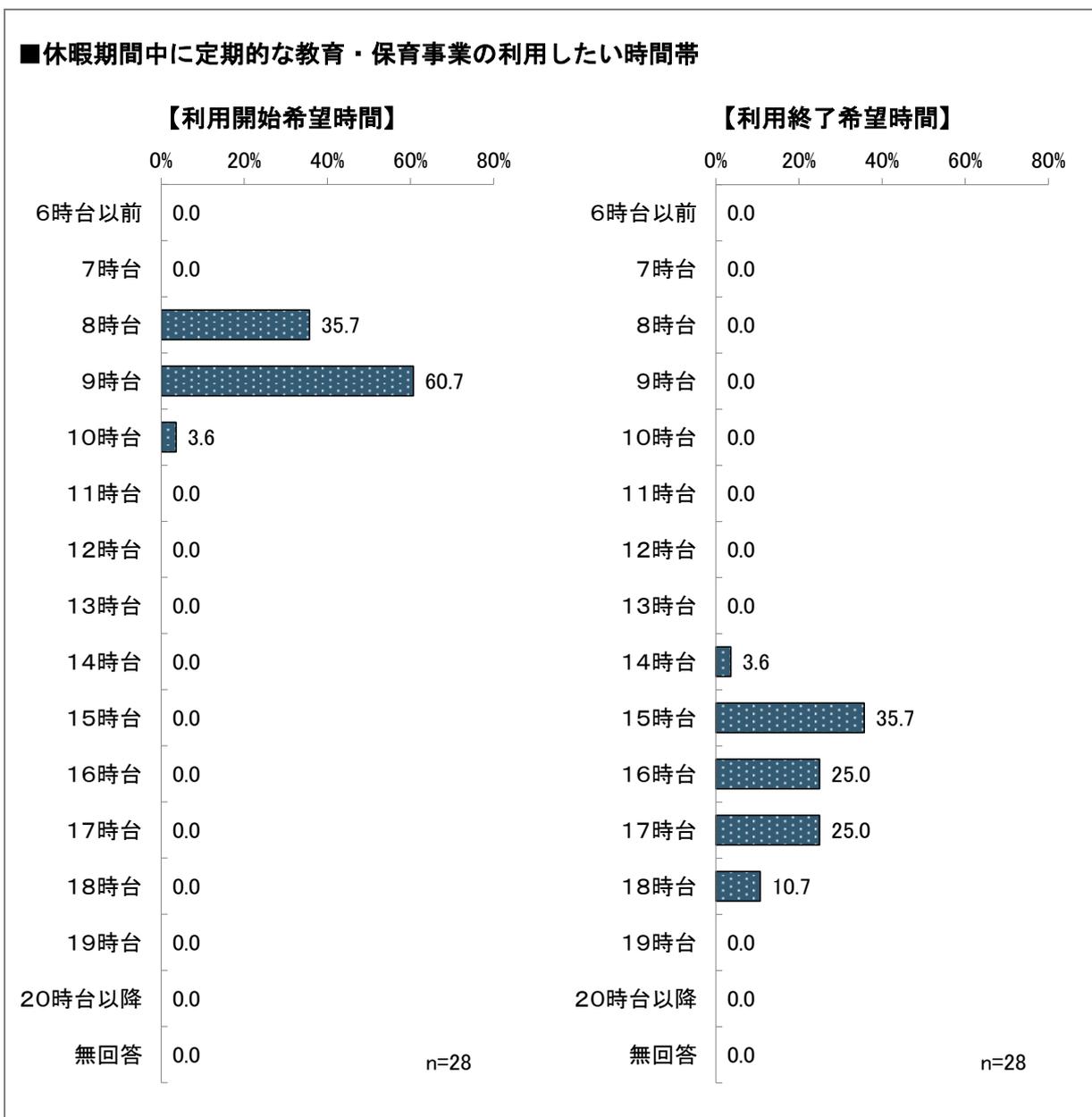
(2) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問18 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。



長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が32.6%と最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が28.3%、「利用する必要はない」が26.1%となっている。



休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用開始希望時間は、「9時台」が60.7%と最も高く、次いで「8時台」が35.7%、「10時台」が3.6%となっている。

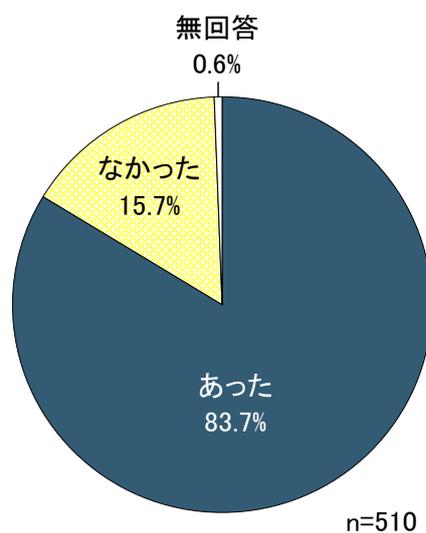
休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用終了希望時間は、「15時台」が35.7%と最も高く、次いで「16時台」「17時台」がそれぞれ25.0%、「18時台」が10.7%となっている。

6. 病気の際の対応について

(1) 病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった経験の有無

問12で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問19 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったことはありますか。



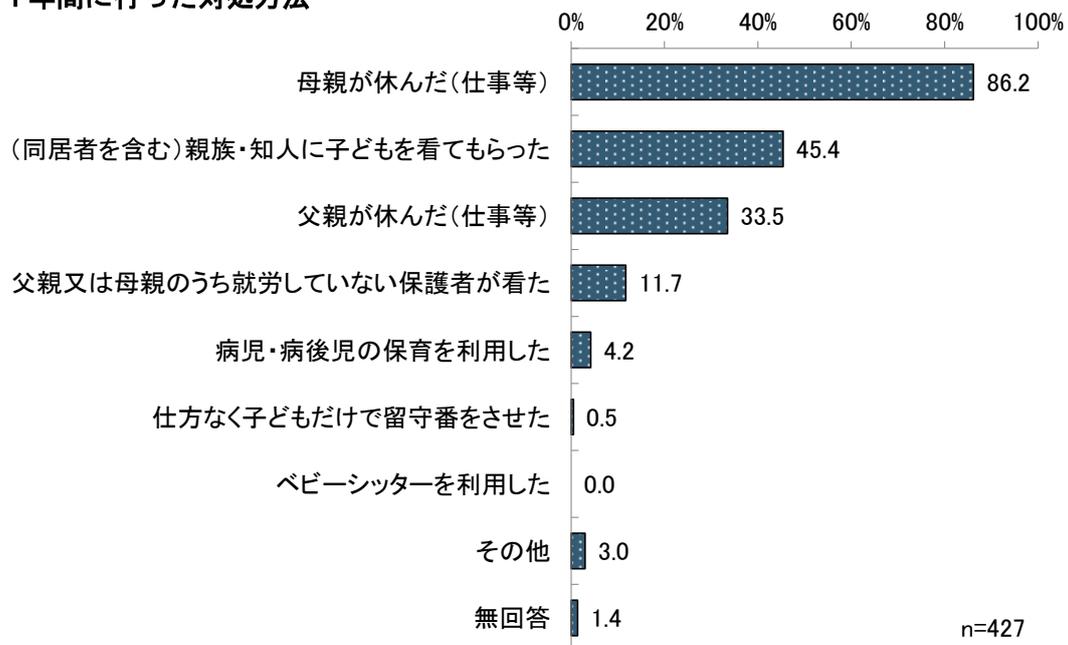
病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった経験の有無は、「あった」が83.7%、「なかった」が15.7%となっている。

(2) 病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった際の対処方法・日数

問19で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問19(1) 宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

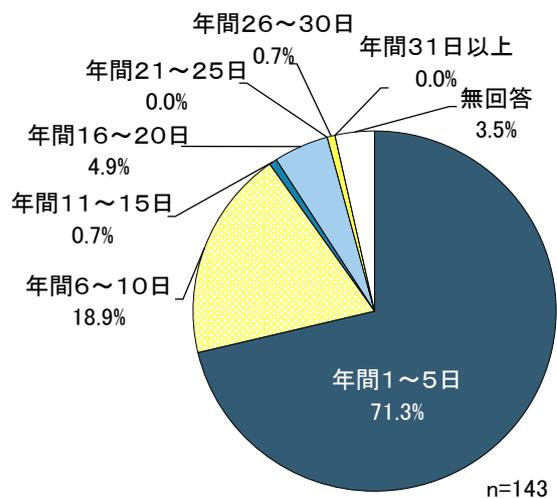
■ 1年間に行った対処方法



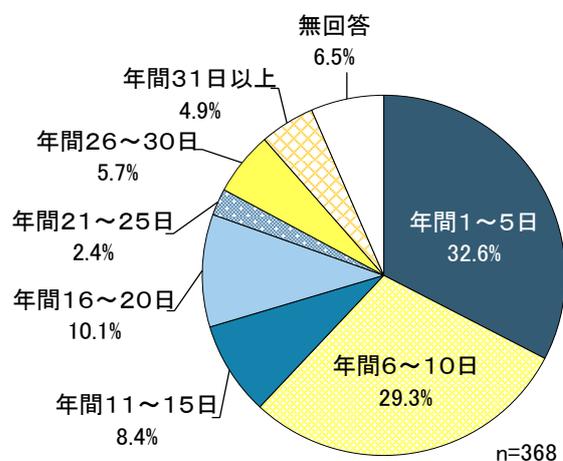
病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった際の対処方法は、「母親が休んだ(仕事等)」が86.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が45.4%、「父親が休んだ(仕事等)」が33.5%となっている。

■ 1年間に行った対処方法別の日数（対処方法の上位3項目）

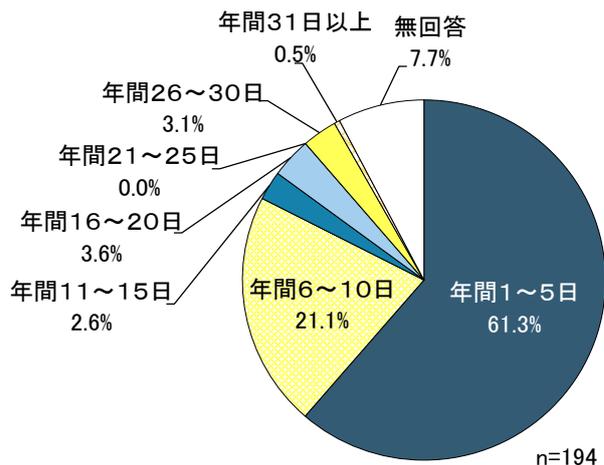
【父親が休んだ（仕事等）】



【母親が休んだ（仕事等）】



【親族・知人に子どもを看てもらった】



病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった際の対処方法別の対処日数は、「父親が休んだ（仕事等）」では「年間1～5日」が71.3%と最も高く、次いで「年間6～10日」が18.9%、「年間16～20日」が4.9%となっている。

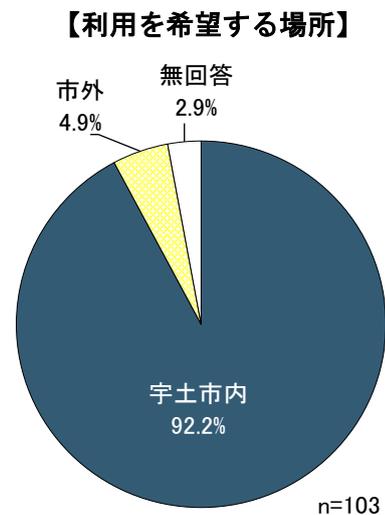
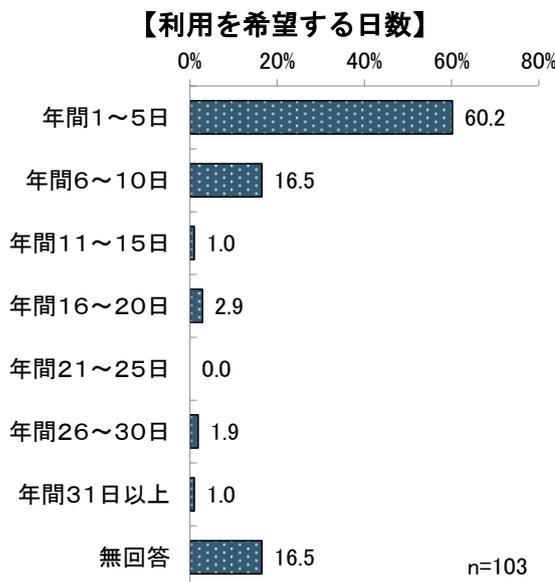
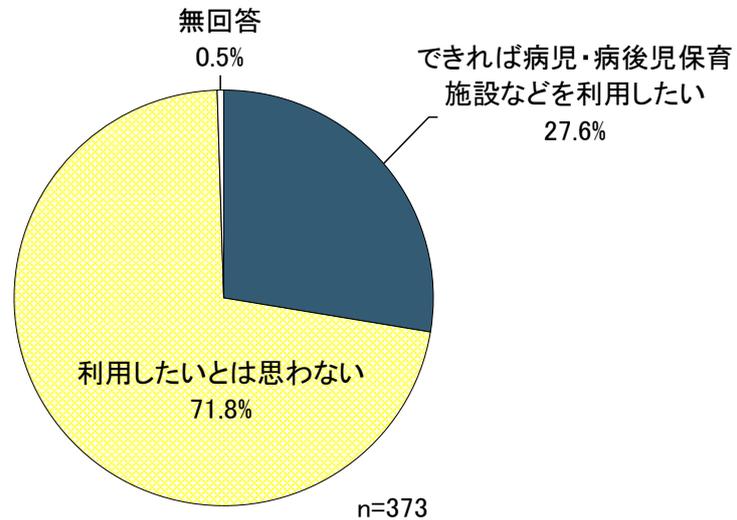
「母親が休んだ（仕事等）」では「年間1～5日」が32.6%と最も高く、次いで「年間6～10日」が29.3%、「年間16～20日」が10.1%となっている。

「親族・知人に子どもを看てもらった」では「年間1～5日」が61.3%と最も高く、次いで「年間6～10日」が21.1%、「年間16～20日」が3.6%となっている。

(3) 病児・病後児のための保育施設などの利用意向

問19(1)で「ア. 父親が休んだ(仕事等)」「イ. 母親が休んだ(仕事等)」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問19(2) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

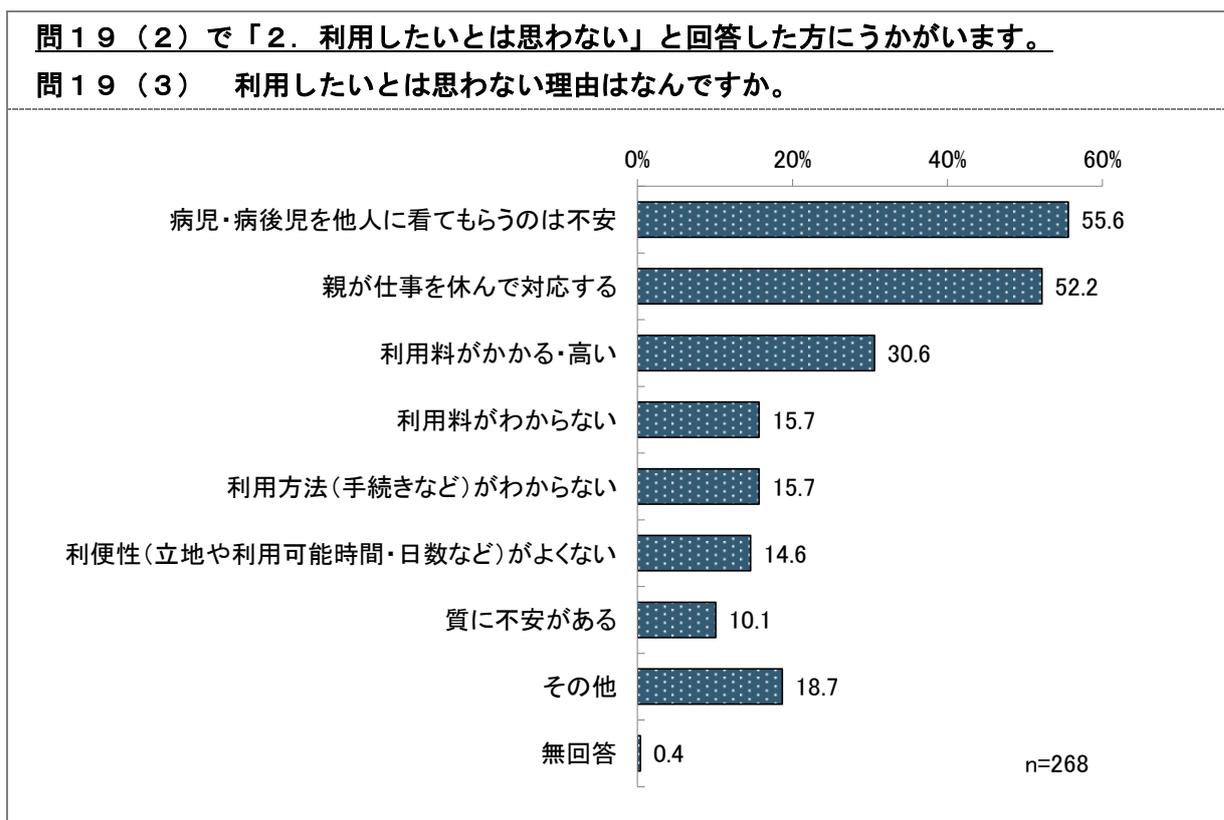


病児・病後児のための保育施設などの利用意向は、「利用したいとは思わない」が71.8%、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が27.6%となっている。

利用を希望する日数は、「年間1~5日」が60.2%と最も高く、次いで「年間6~10日」が16.5%、「年間16~20日」が2.9%となっている。

利用を希望する場所は、「宇土市内」が92.2%、「市外」が4.9%となっている。

(4) 病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由



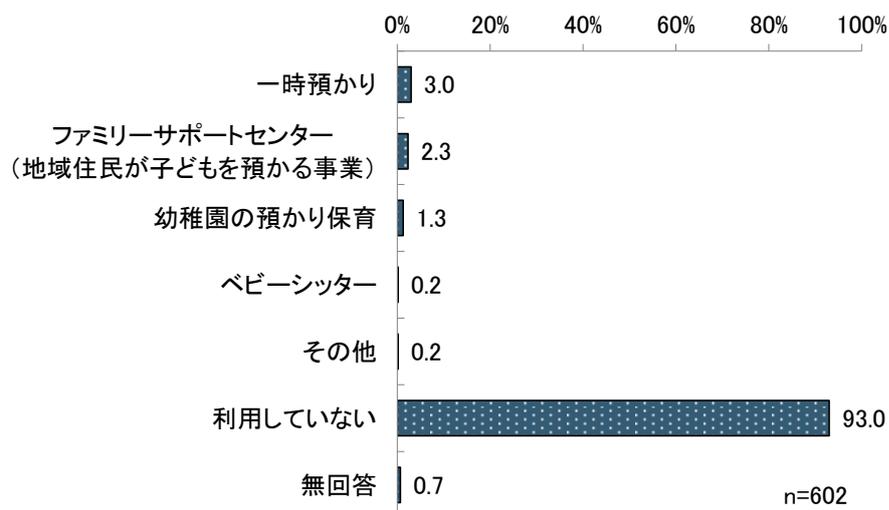
病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が55.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が52.2%、「利用料がかかる・高い」が30.6%となっている。

7. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

(1) 私用、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期的に利用している事業

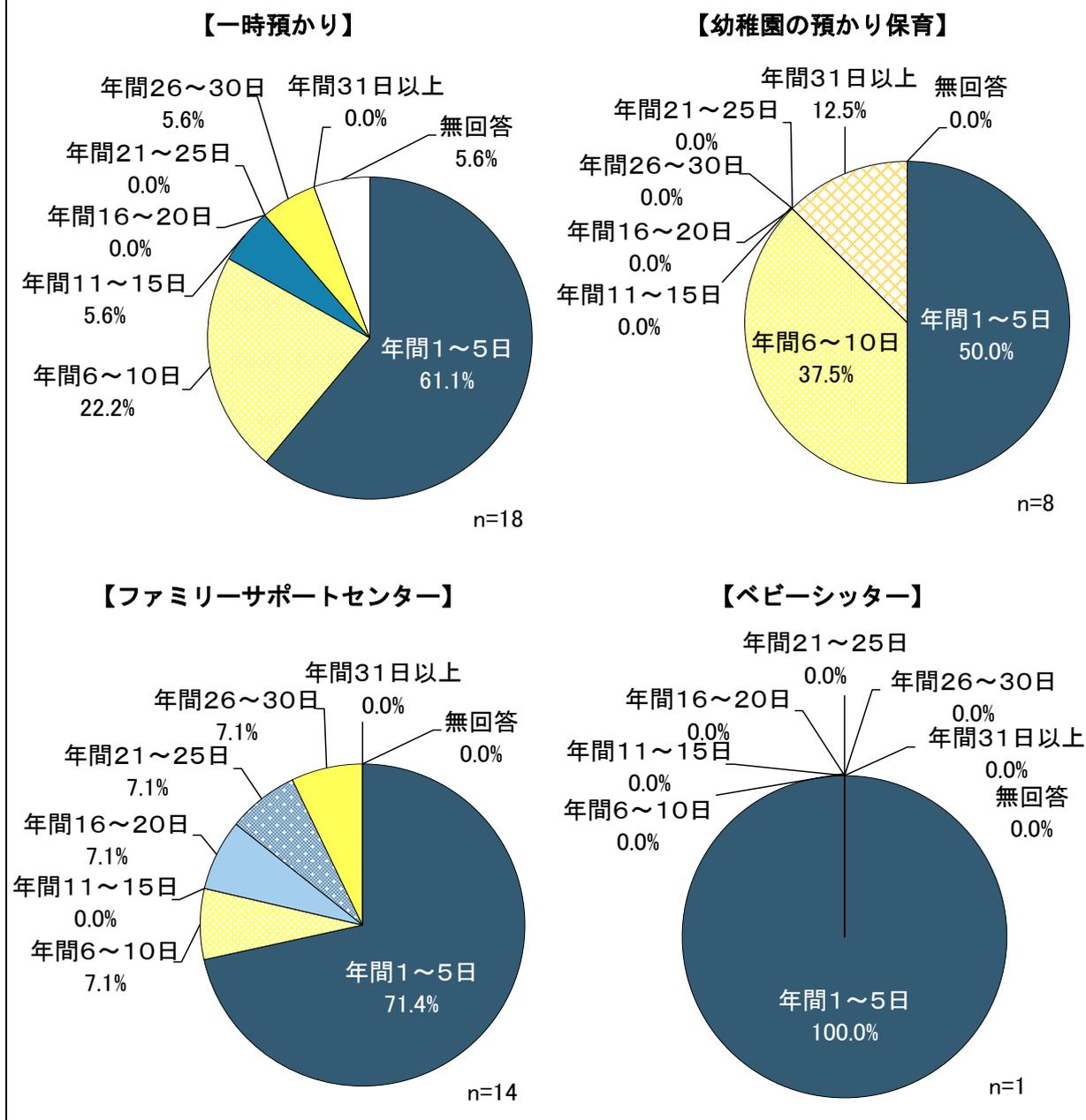
問20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期的に利用している事業はありますか。

■ 1年間の不定期的に利用している事業



私用、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期的に利用している事業は、「一時預かり」が3.0%と最も高く、次いで「ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）」が2.3%、「幼稚園の預かり保育」が1.3%となっている。「利用していない」は、93.0%となっている。

■ 1年間の不定期に利用している事業別の日数



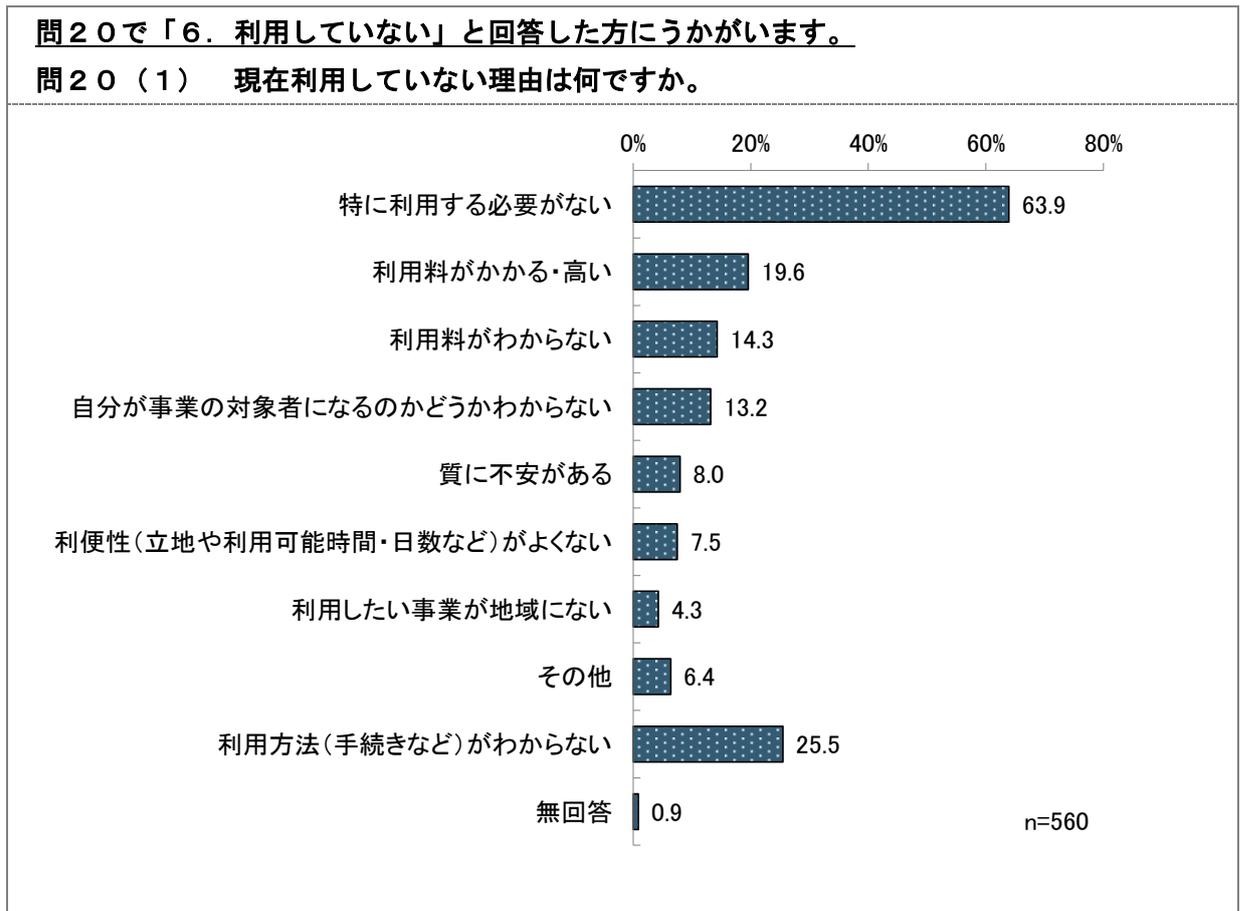
1年間の不定期に利用している事業別の日数は、「一時預かり」では「年間1～5日」が61.1%と最も高く、次いで「年間6～10日」が22.2%、「年間11～15日」「年間26～30日」がそれぞれ5.6%となっている。

「幼稚園の預かり保育」では「年間1～5日」が50.0%と最も高く、次いで「年間6～10日」が37.5%、「年間31日以上」が12.5%となっている。

「ファミリーサポートセンター」では「年間1～5日」が71.4%と最も高く、次いで「年間6～10日」「年間16～20日」「年間21～25日」「年間26～30日」がそれぞれ7.1%となっている。

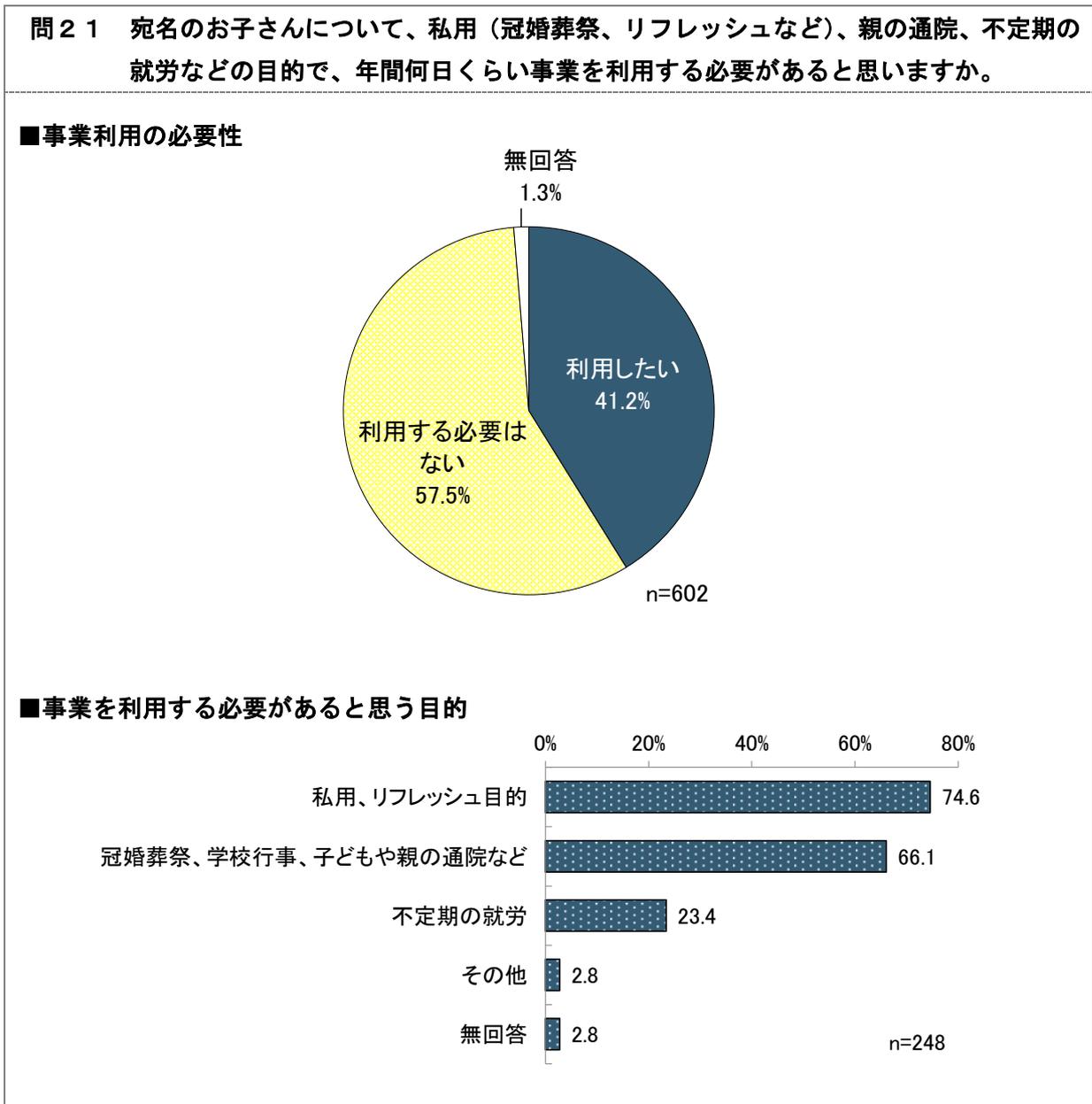
「ベビーシッター」では「年間1～5日」が100.0%となっている。

(2) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業を利用していない理由



私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が63.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が19.6%、「利用料がわからない」が14.3%となっている。

(3) 私用、親の通院、不特定の就労などの目的で事業を利用する必要性

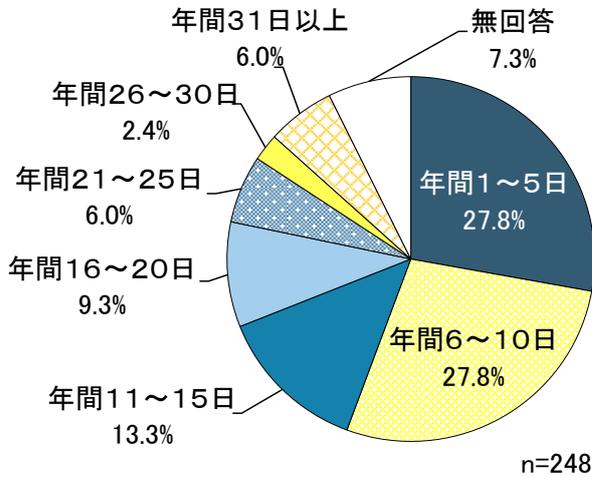


事業利用の必要性は、「利用する必要はない」が57.5%、「利用したい」が41.2%となっている。

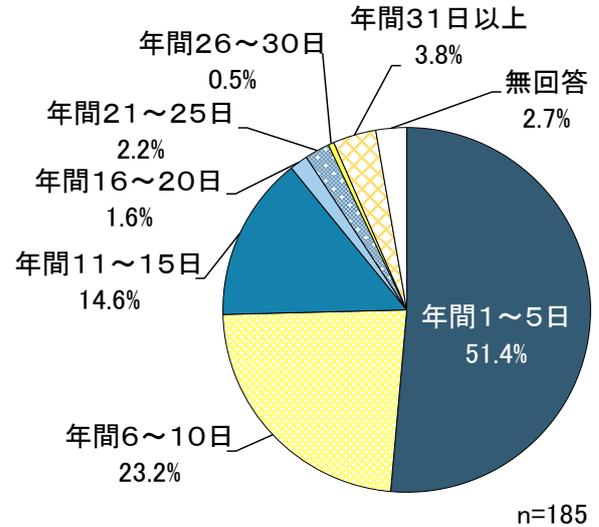
事業を利用する必要があると思う目的は、「私用、リフレッシュ目的」が74.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が66.1%、「不特定の就労」が23.4%となっている。

■事業を利用する必要があると思う目的別の日数

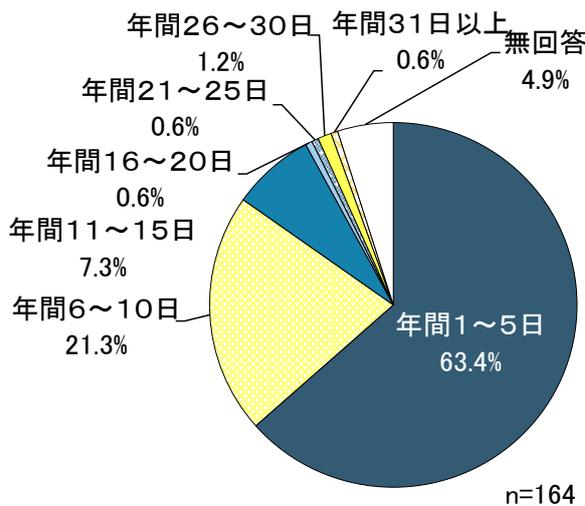
【目的別の日数の合計】



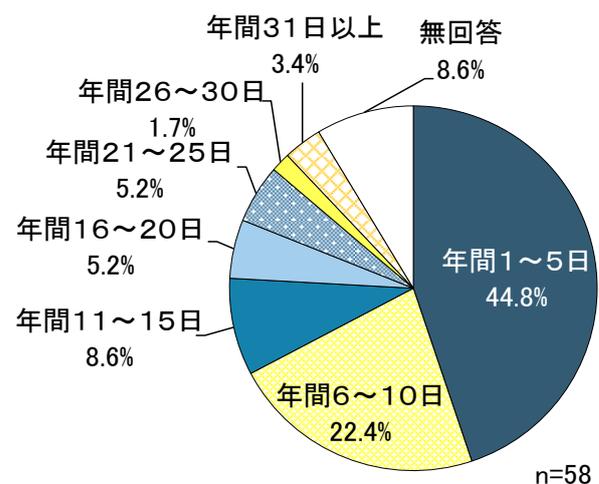
【私用、リフレッシュ目的】



【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など】



【不定期の就労】



事業を利用する必要があると思う目的別の日数の合計は、「年間1～5日」「年間6～10日」がそれぞれ27.8%と最も高く、次いで「年間11～15日」が13.3%、「年間16～20日」が9.3%となっている。

「私用、リフレッシュ目的」では「年間1～5日」が51.4%と最も高く、次いで「年間6～10日」が23.2%、「年間11～15日」が14.6%となっている。

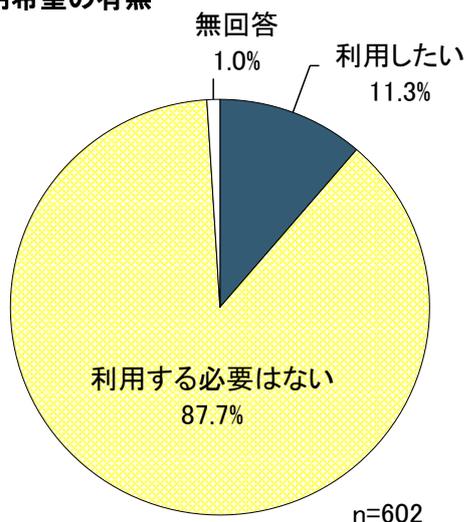
「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」では「年間1～5日」が63.4%と最も高く、次いで「年間6～10日」が21.3%、「年間11～15日」が7.3%となっている。

「不定期の就労」では「年間1～5日」が44.8%と最も高く、次いで「年間6～10日」が22.4%、「年間11～15日」が8.6%となっている。

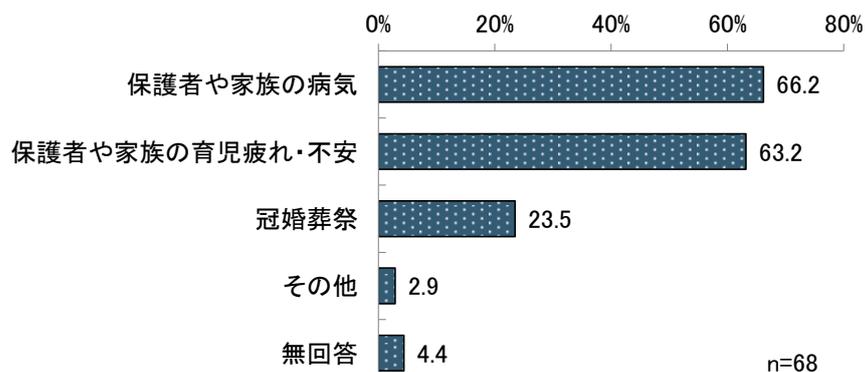
(4) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要があると思うか

問22 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）。

■短期入所生活援助事業の利用希望の有無



■短期入所生活援助事業を利用する必要があると思う目的

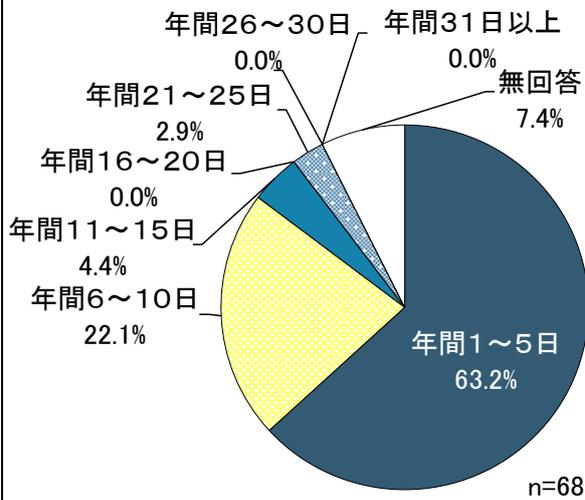


短期入所生活援助事業の利用希望の有無は、「利用する必要がある」が 87.7%、「利用したい」が 11.3%となっている。

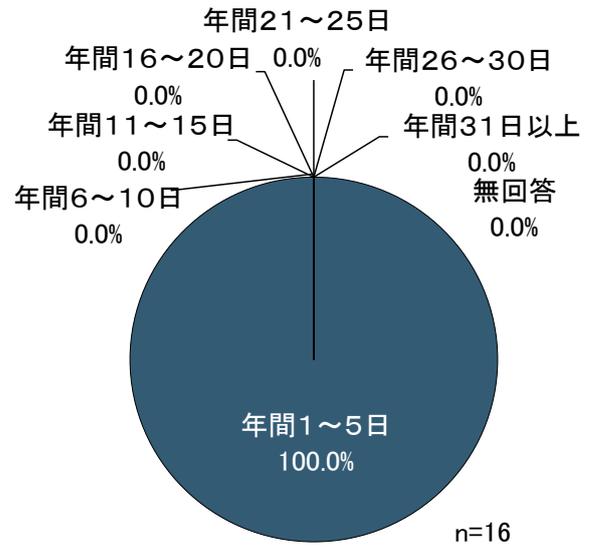
短期入所生活援助事業を利用する必要があると思う目的は、「保護者や家族の病気」が 66.2%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 63.2%、「冠婚葬祭」が 23.5%となっている。

■短期入所生活援助事業を利用する必要があると思う目的別の泊数

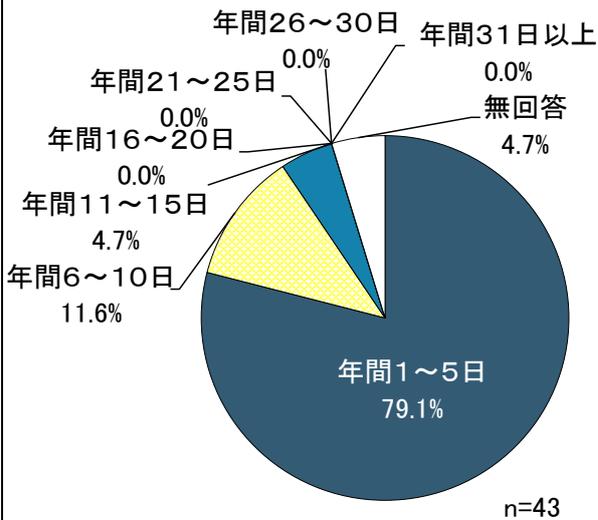
【目的別の泊数の合計】



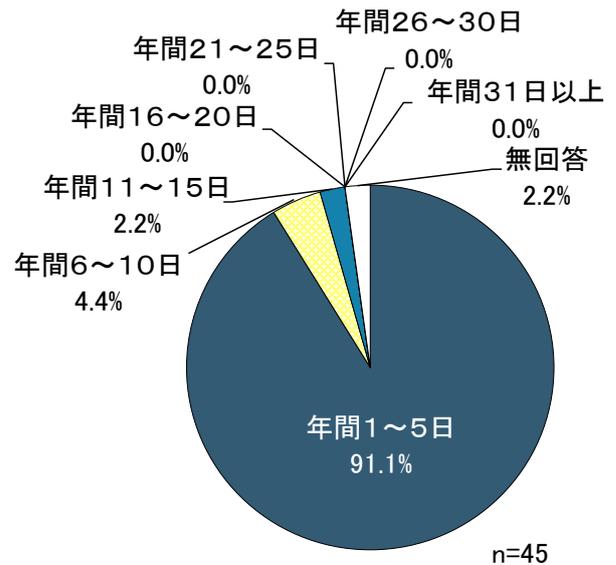
【冠婚葬祭】



【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



事業を利用する必要があると思う目的別の泊数の合計は、「年間1～5日」が63.2%と最も高く、次いで「年間6～10日」が22.1%、「年間11～15日」が4.4%となっている。

「冠婚葬祭」では「年間1～5日」が100.0%となっている。

「保護者や家族の育児疲れ・不安」では「年間1～5日」が79.1%と最も高く、次いで「年間6～10日」が11.6%、「年間11～15日」が4.7%となっている。

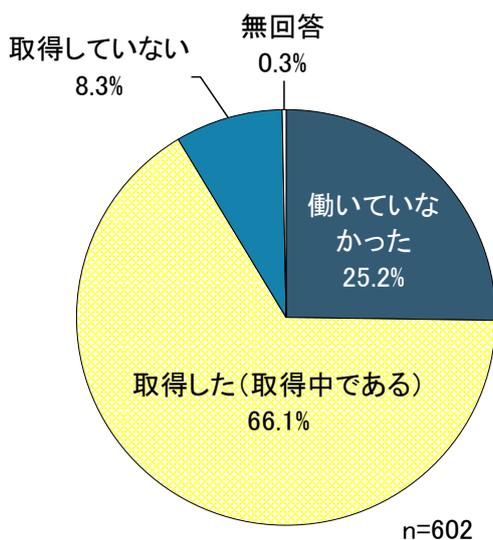
「保護者や家族の病気」では「年間1～5日」が91.1%と最も高く、次いで「年間6～10日」が4.4%、「年間11～15日」が2.2%となっている。

8. 育児休業など職場の両立支援制度について

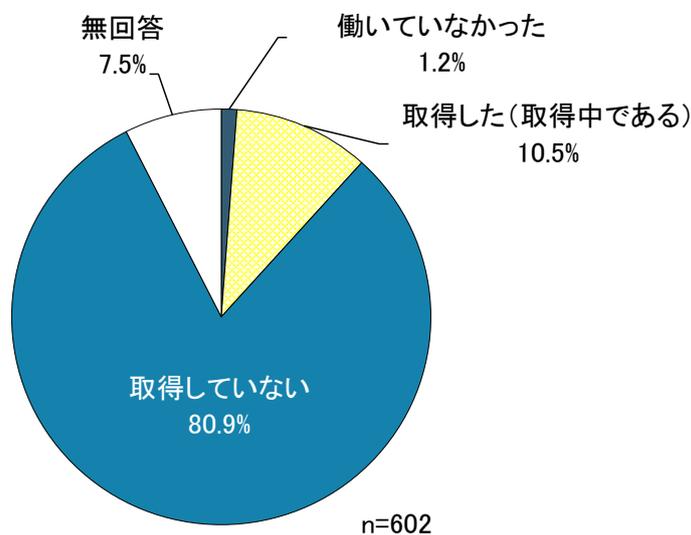
(1) 育児休業の取得状況

問23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、お答えください（ひとり親家庭の場合は、いずれかで結構です）。

■母親の育児休業の取得状況



■父親の育児休業の取得状況



母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が 66.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」が 25.2%、「取得していない」が 8.3%となっている。

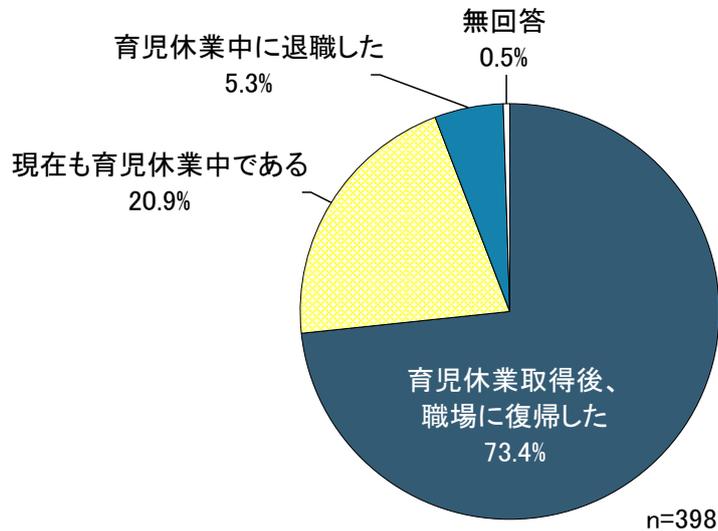
父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が 80.9%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が 10.5%、「働いていなかった」が 1.2%となっている。

(2) 育児休業取得後の職場復帰状況

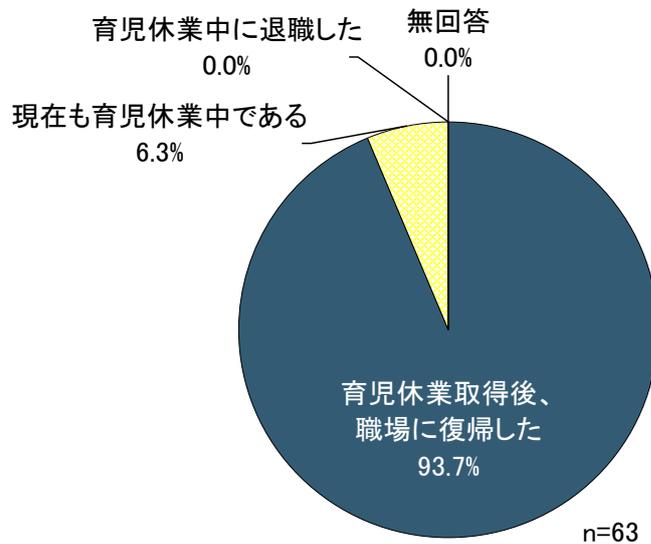
問23で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問23（1） 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

■母親の育児休業取得後の職場復帰状況



■父親の育児休業取得後の職場復帰状況



母親の育児休業取得後の職場復帰状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が73.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が20.9%、「育児休業中に退職した」が5.3%となっている。

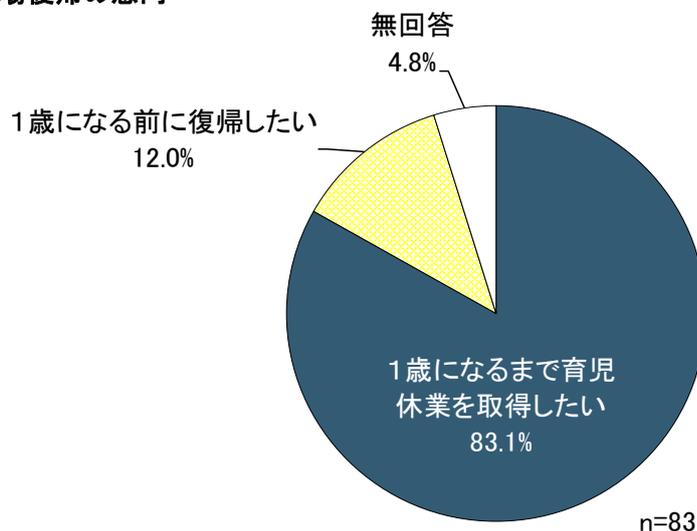
父親の育児休業取得後の職場復帰状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が93.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が6.3%となっている。

(3) 子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があった際の職場復帰の意向

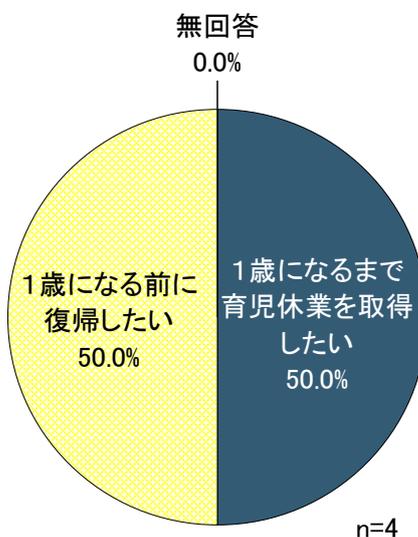
問23(1)で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問23(2) 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

■母親の職場復帰の意向



■父親の職場復帰の意向



母親の子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があった際の職場復帰の意向は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が83.1%、「1歳になる前に復帰したい」が12.0%となっている。

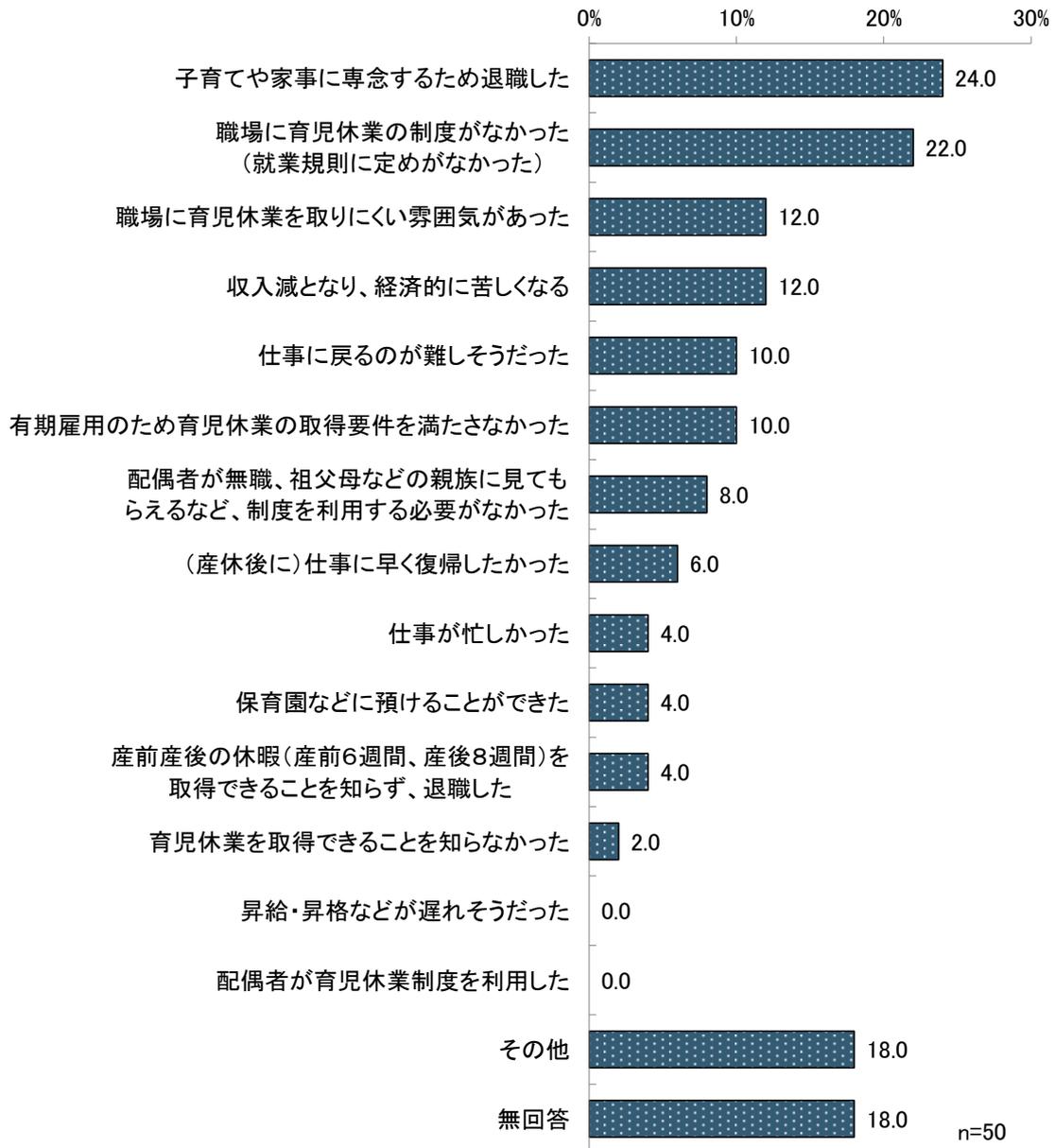
父親の子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があった際の職場復帰の意向は、「1歳になるまで育児休業を取得したい」「1歳になる前に復帰したい」がそれぞれ50.0%となっている。

(4) 育児休業を取得していない理由

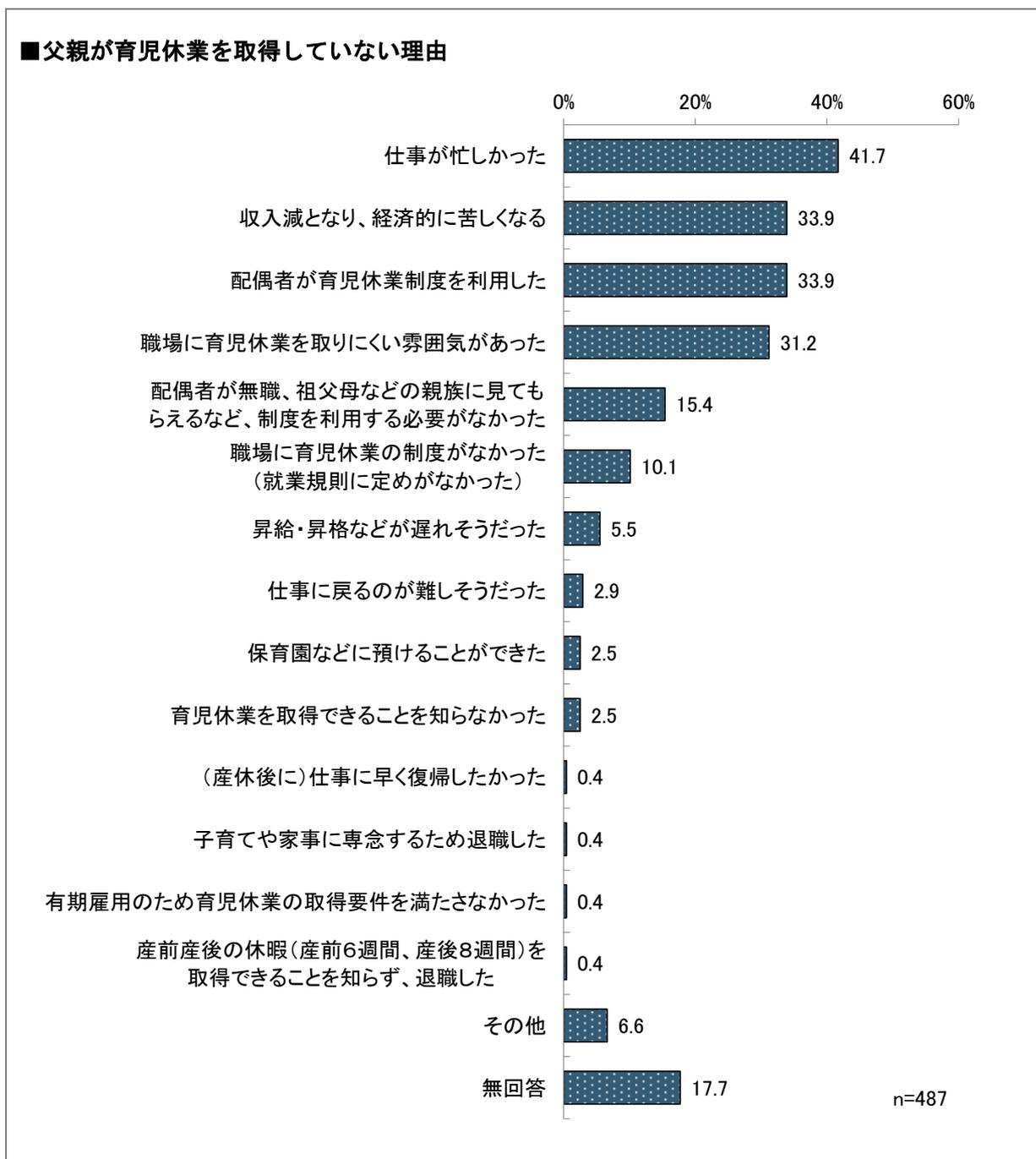
問23で「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問23(3) 取得していない理由は何ですか。

■母親が育児休業を取得していない理由



母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が24.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が22.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」がそれぞれ12.0%となっている。また、「その他」として、「自営業のため」等の回答があった。



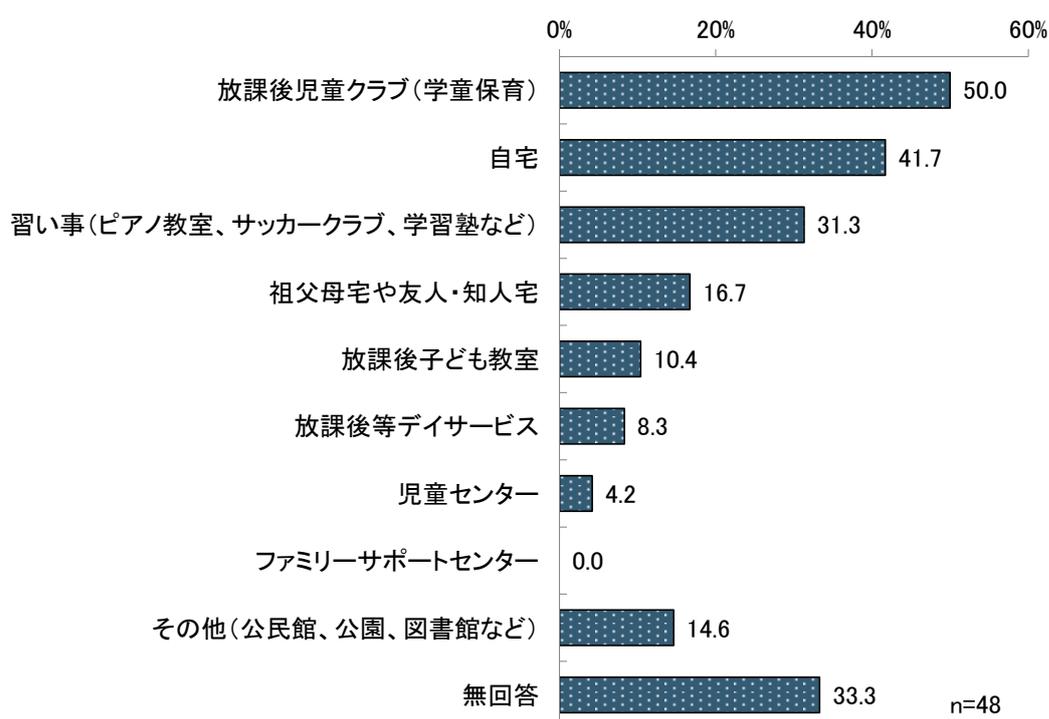
父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が多忙だった」が41.7%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が育児休業制度を利用した」がそれぞれ33.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.2%となっている。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学生になった時の平日の放課後に過ごさせたいと思う場所

宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。

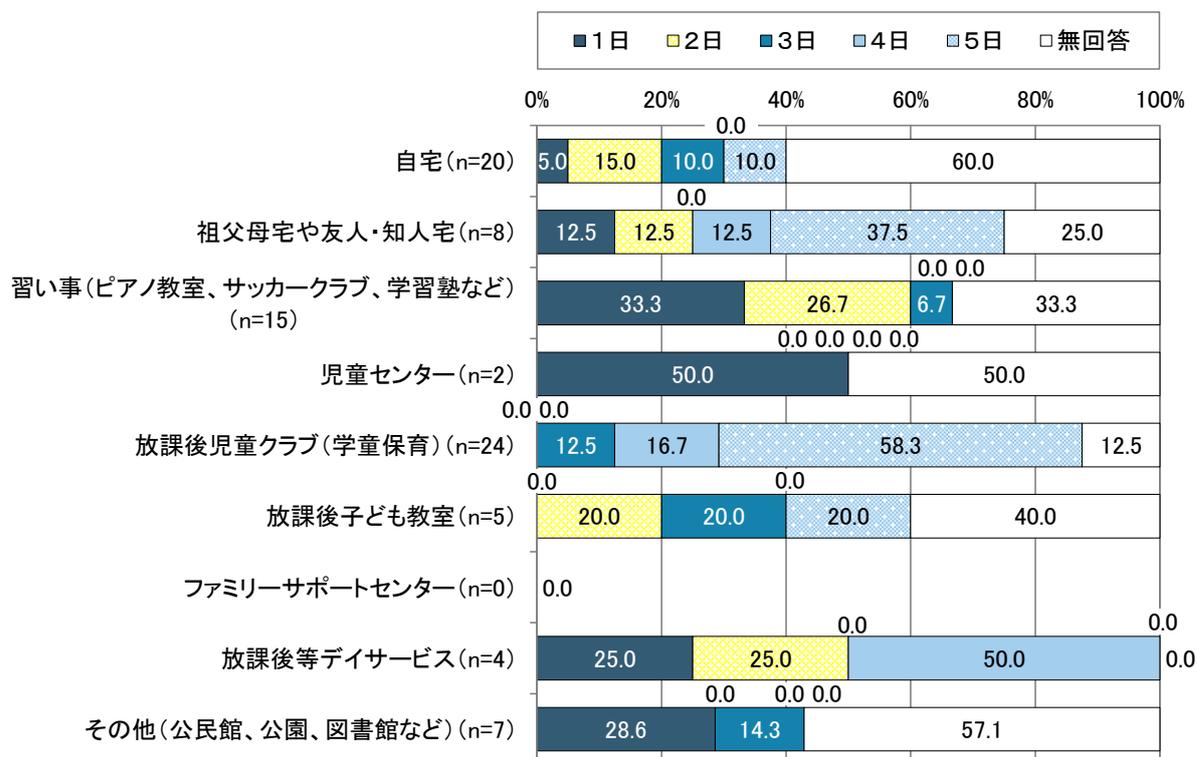
問24 お子さんが小学生になられた時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）それぞれの欄であてはまる番号すべてに○をつけ、希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。



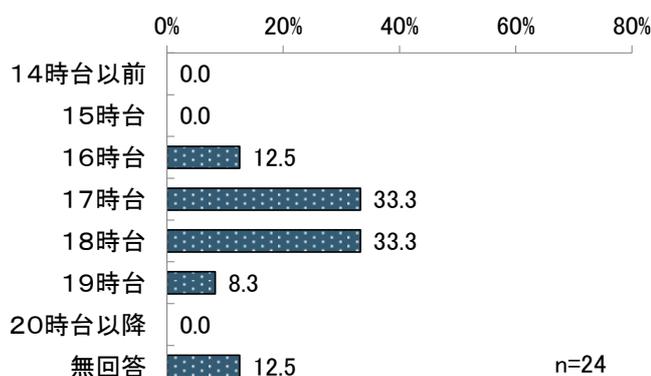
小学生になった時の平日の放課後に過ごさせたいと思う場所は、「放課後児童クラブ(学童保育)」が50.0%と最も高く、次いで「自宅」が41.7%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が31.3%となっている。

■平日の放課後に過ごさせたいと思う場所別の週あたりの日数

【低学年（1～3年生）】



【放課後児童クラブで過ごさせたいと思う下校時からの利用終了時間】

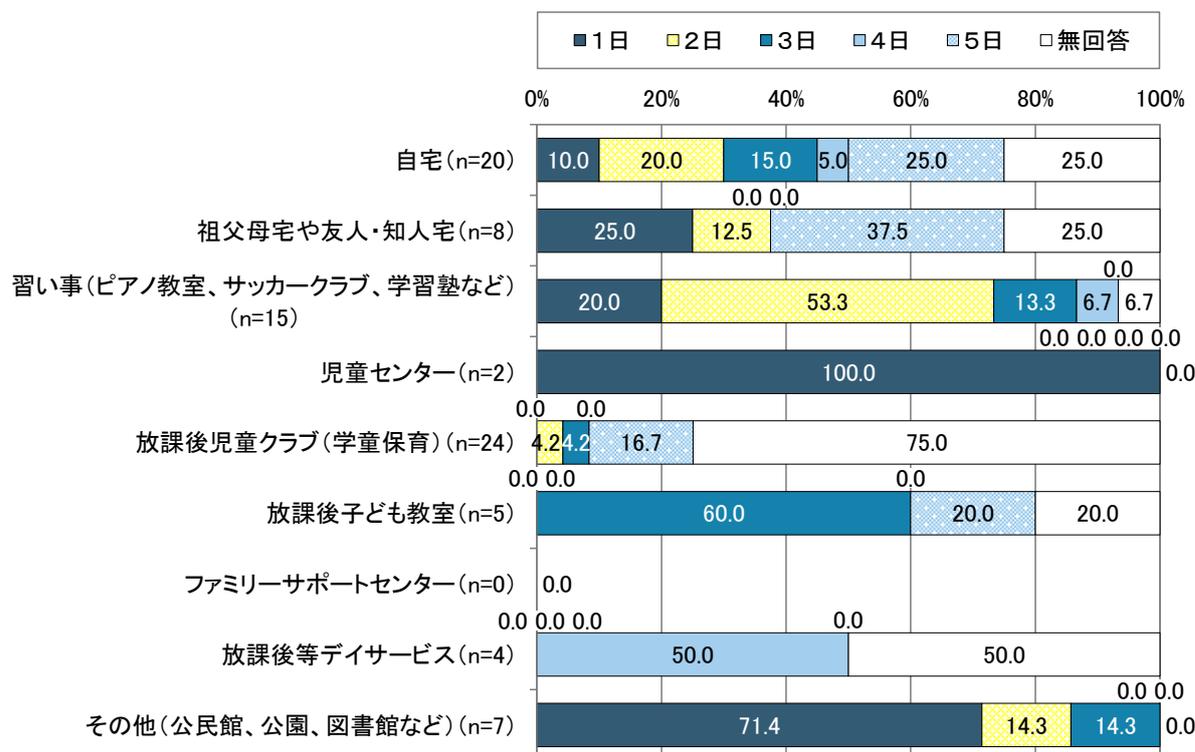


低学年の平日の放課後に過ごさせたいと思う場所別の週あたりの日数は、自宅は「2日」（15.0%）、祖父母宅や友人・知人宅は「5日」（37.5%）、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）は「1日」（33.3%）、児童センターは「1日」（50.0%）、放課後児童クラブ（学童保育）は「5日」（58.3%）、放課後子ども教室は「2日」「3日」「5日」（それぞれ20.0%）、放課後等デイサービスは「4日」（50.0%）がそれぞれ最も高くなっている。

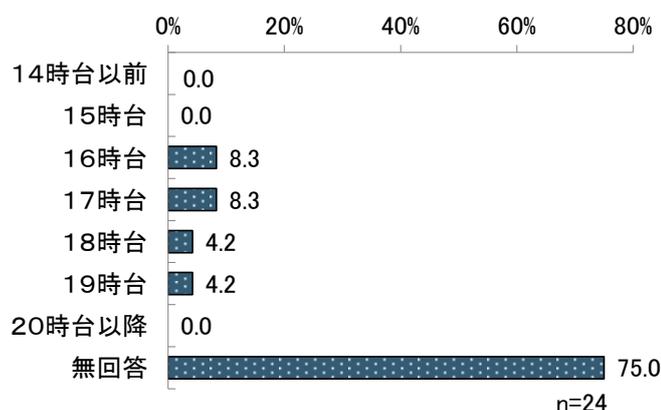
放課後児童クラブで過ごさせたいと思う下校時からの利用終了時間は、「17時台」「18時台」がそれぞれ33.3%と最も高くなっている。

■平日の放課後に過ごさせたいと思う場所別の週あたりの日数

【高学年（4～6年生）】



【放課後児童クラブで過ごさせたいと思う下校時からの利用終了時間】



高学年の平日の放課後に過ごさせたいと思う場所別の週あたりの日数は、自宅は「5日」(25.0%)、祖父母宅や友人・知人宅は「5日」(37.5%)、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)は「2日」(53.3%)、児童センターは「1日」(100.0%)、放課後児童クラブ(学童保育)は「5日」(16.7%)、放課後子ども教室は「3日」(60.0%)、放課後等デイサービスは「4日」(50.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

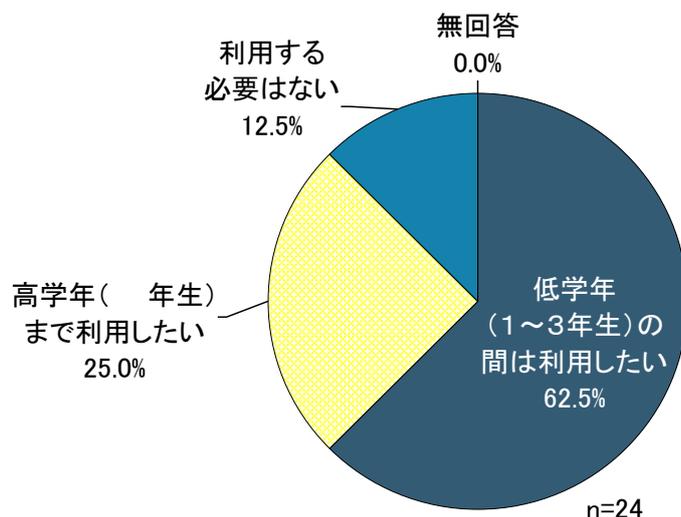
放課後児童クラブで過ごさせたいと思う下校時からの利用終了時間は、「16時台」「17時台」がそれぞれ8.3%と最も高くなっている。

(2) 平日、土曜日、日・祝日及び長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向

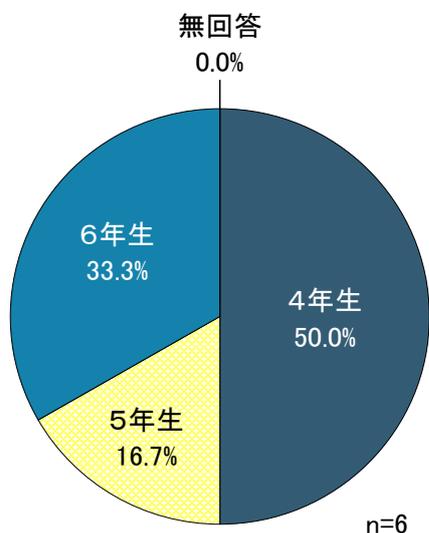
問24で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）に○をつけた方にうかがいます。」

問25 宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて回答してください。

■平日の利用意向

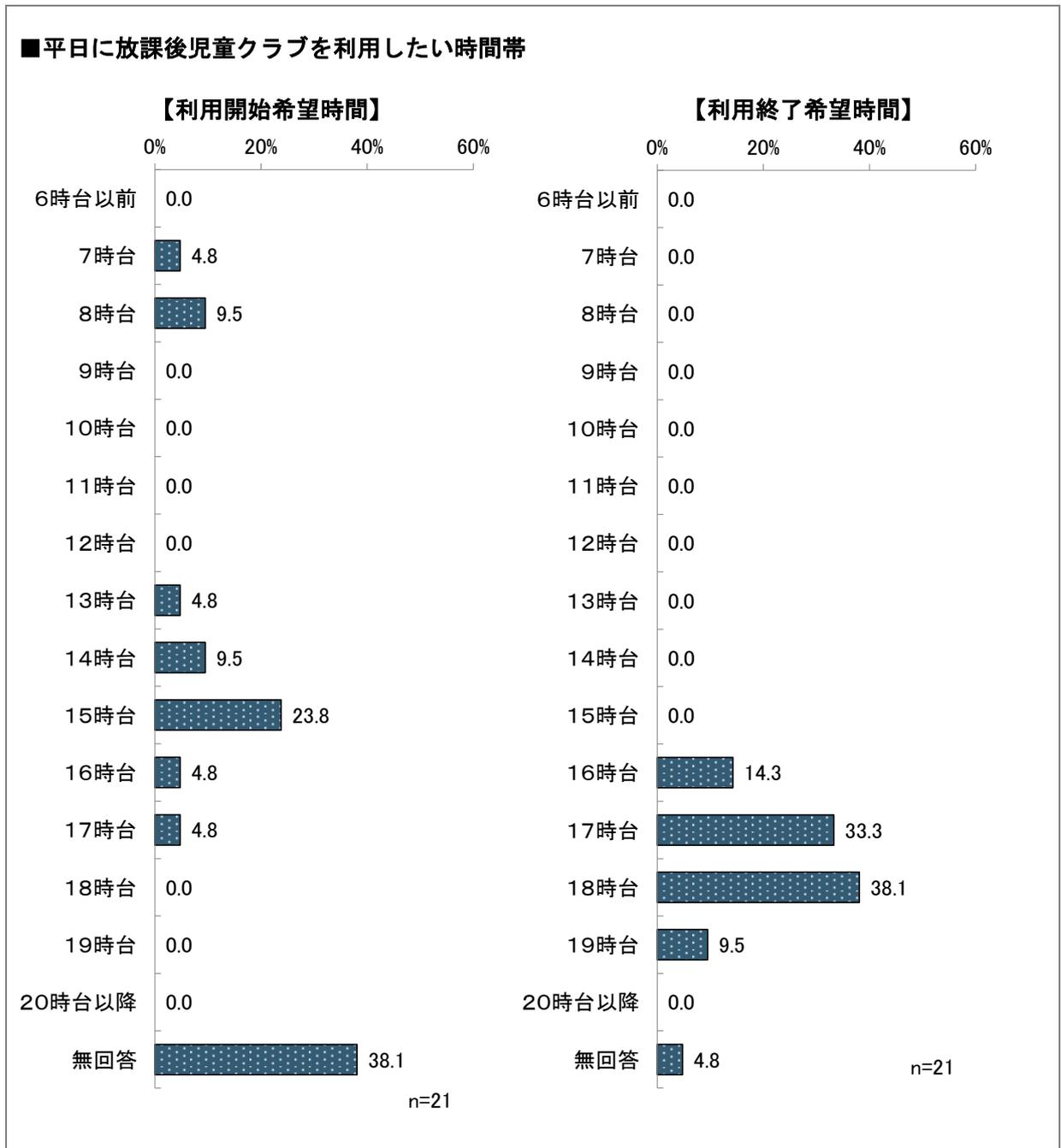


【高学年まで利用したい場合の学年】



平日の放課後児童クラブの利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が62.5%と最も高く、次いで「高学年（4年生）まで利用したい」が25.0%、「利用する必要はない」が12.5%になっている。

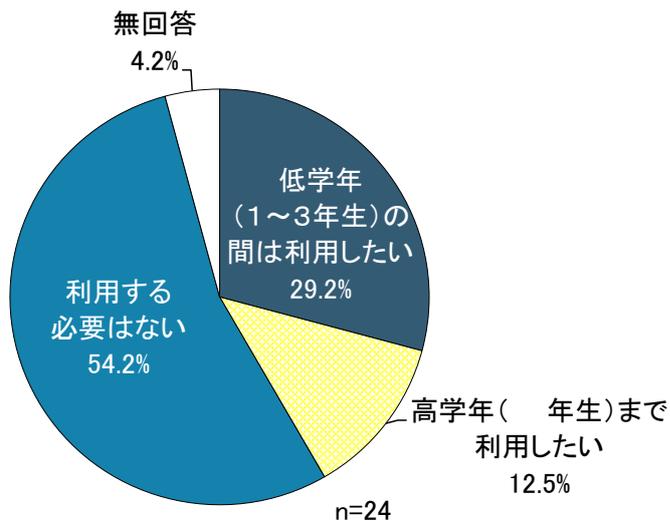
平日の放課後児童クラブを高学年まで利用したい場合の学年は、「4年生」が50.0%と最も高く、次いで「6年生」が33.3%、「5年生」が16.7%となっている。



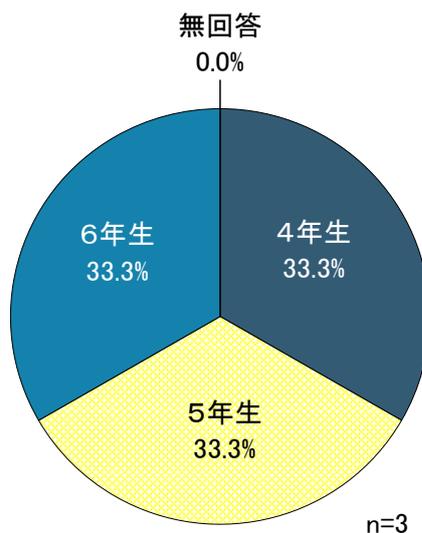
平日の放課後児童クラブの利用開始希望時間は、「15時台」が23.8%と最も高く、次いで「8時台」「14時台」がそれぞれ9.5%、「7時台」「13時台」「16時台」「17時台」がそれぞれ4.8%となっている。

平日の放課後児童クラブの利用終了希望時間は、「18時台」が38.1%と最も高く、次いで「17時台」が33.3%、「16時台」が14.3%となっている。

■土曜日の利用意向

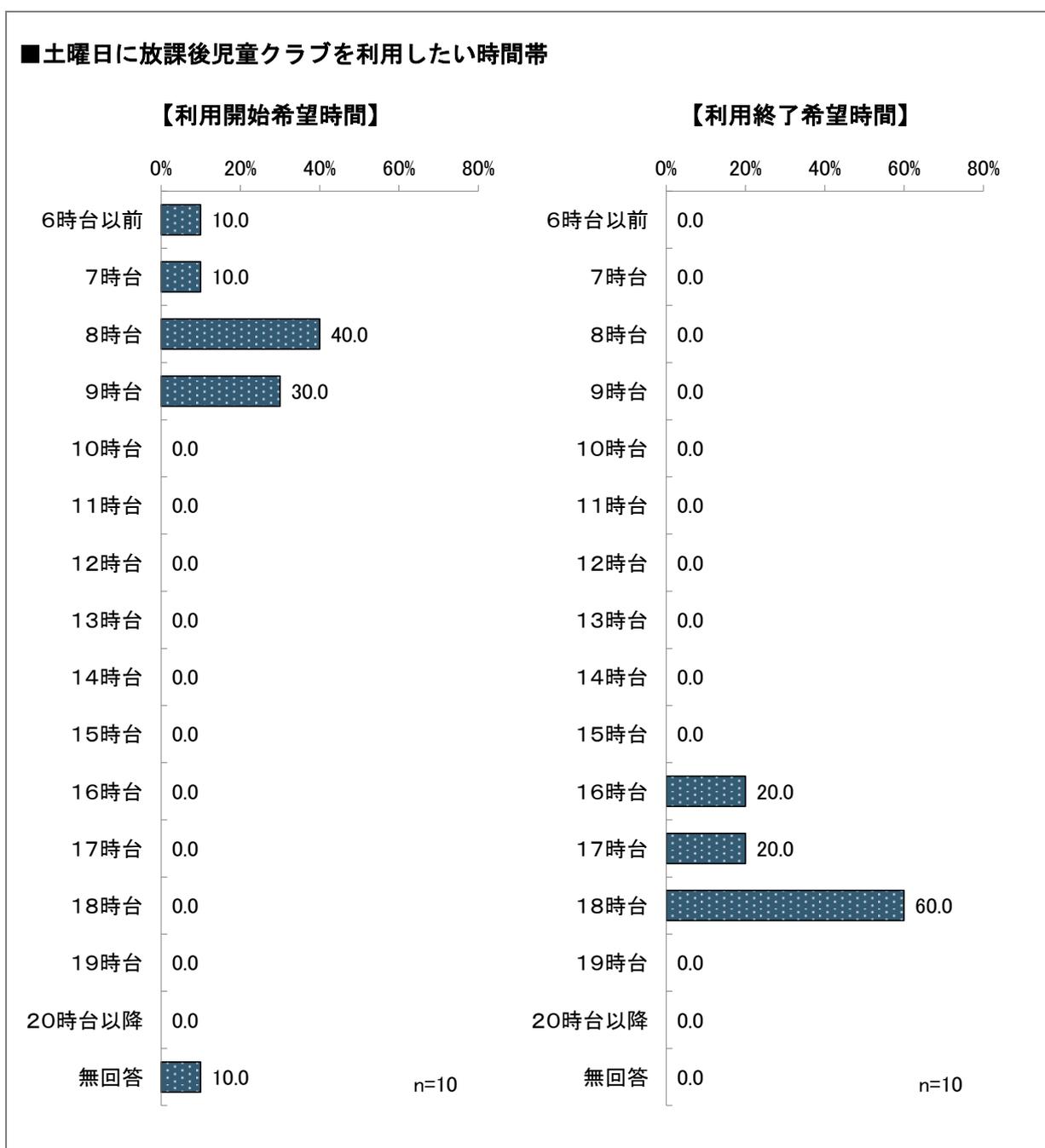


【高学年まで利用したい場合の学年】



土曜日の放課後児童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が54.2%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が29.2%、「高学年（ 年生）まで利用したい」が12.5%になっている。

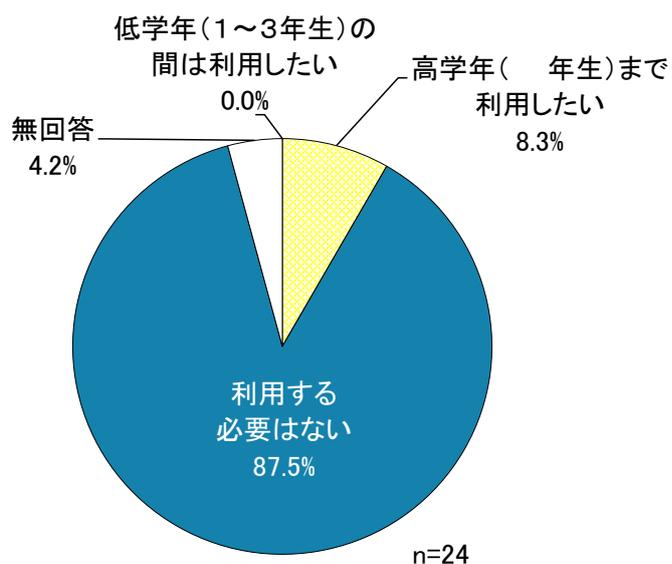
土曜日の放課後児童クラブを高学年まで利用したい場合の学年は、「4年生」「5年生」「6年生」がそれぞれ33.3%となっている。



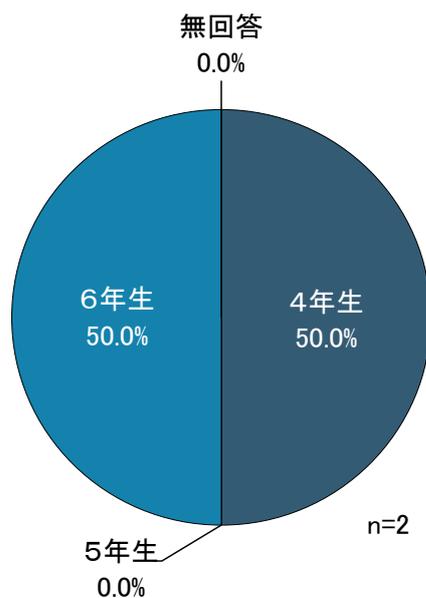
土曜日の放課後児童クラブの利用開始希望時間は、「8時台」が40.0%と最も高く、次いで「9時台」が30.0%、「6時台以前」「7時台」がそれぞれ10.0%となっている。

土曜日の放課後児童クラブの利用終了希望時間は、「18時台」が60.0%と最も高く、次いで「16時台」「17時台」がそれぞれ20.0%となっている。

■日曜日・祝日の利用意向

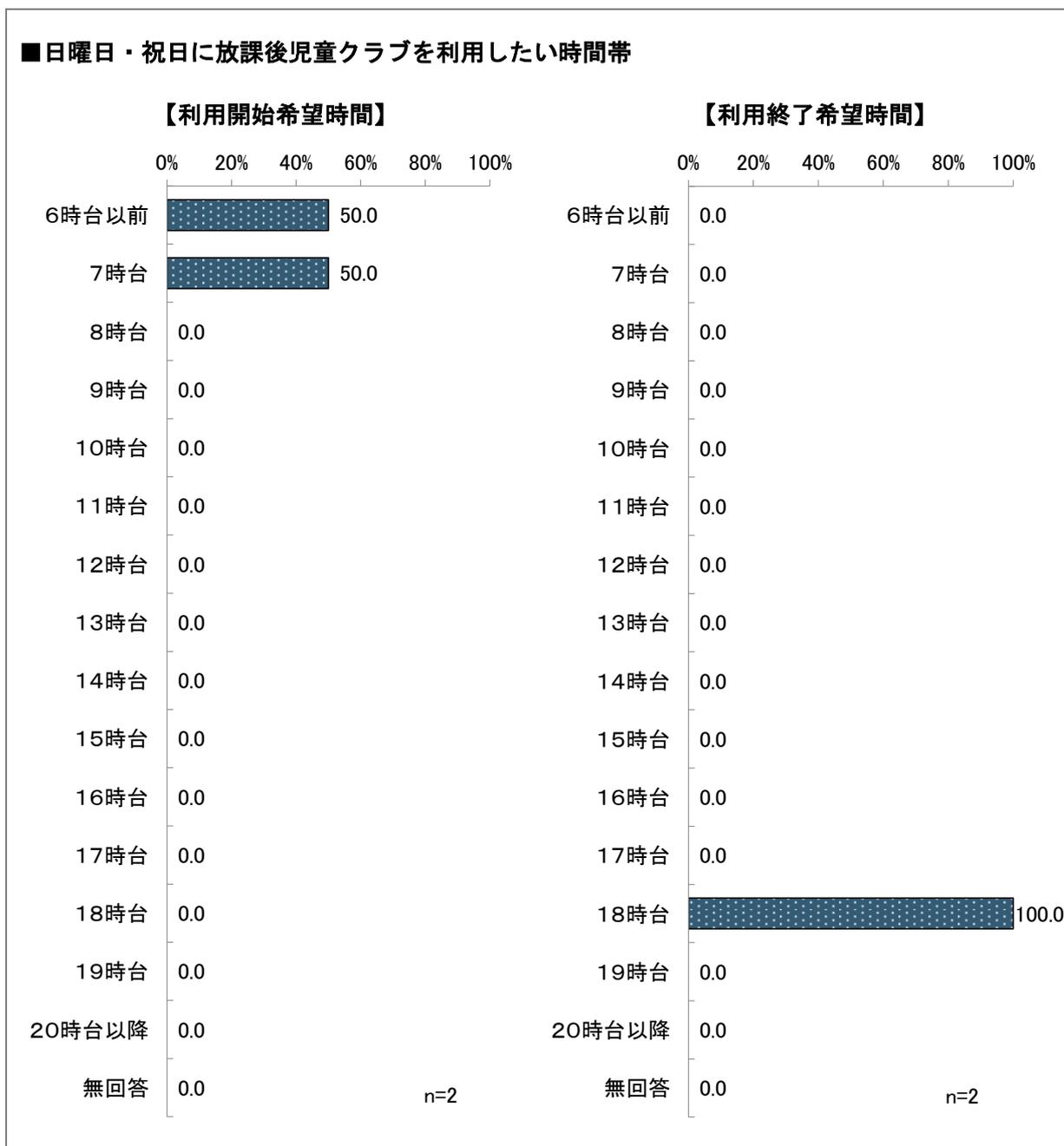


【高学年まで利用している・したい場合の学年】



日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向は、「利用する必要はない」が87.5%と最も高く、次いで「高学年（ 年生）まで利用したい」が8.3%となっている。

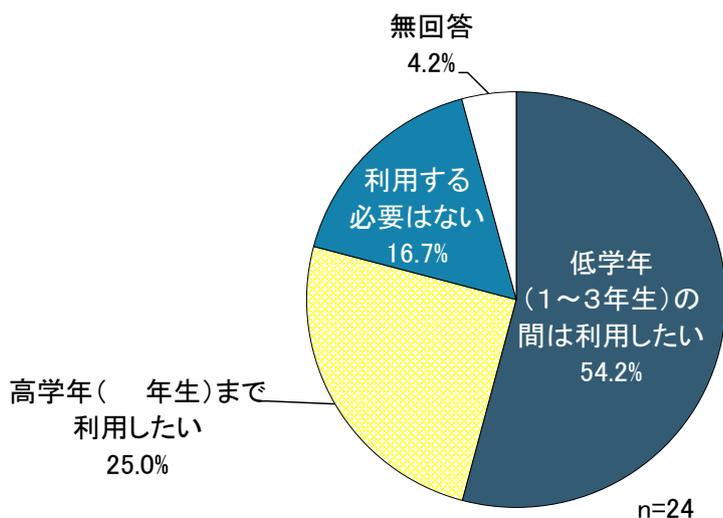
日曜日・祝日の放課後児童クラブを高学年まで利用したい場合の学年は、「4年生」「6年生」がそれぞれ50.0%となっている。



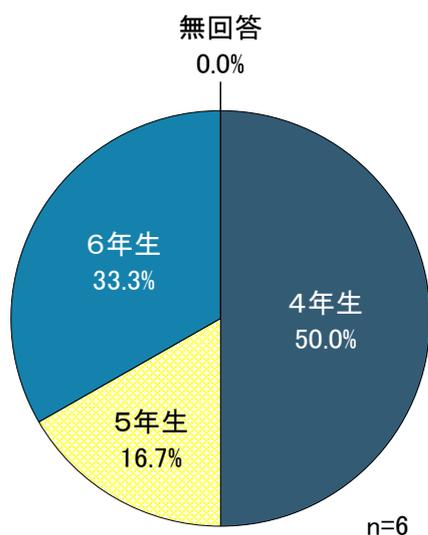
日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用開始希望時間は、「6時台以前」「7時台」がそれぞれ50.0%となっている。

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用終了希望時間は、「18時台」が100.0%となっている。

■長期休暇中の利用意向



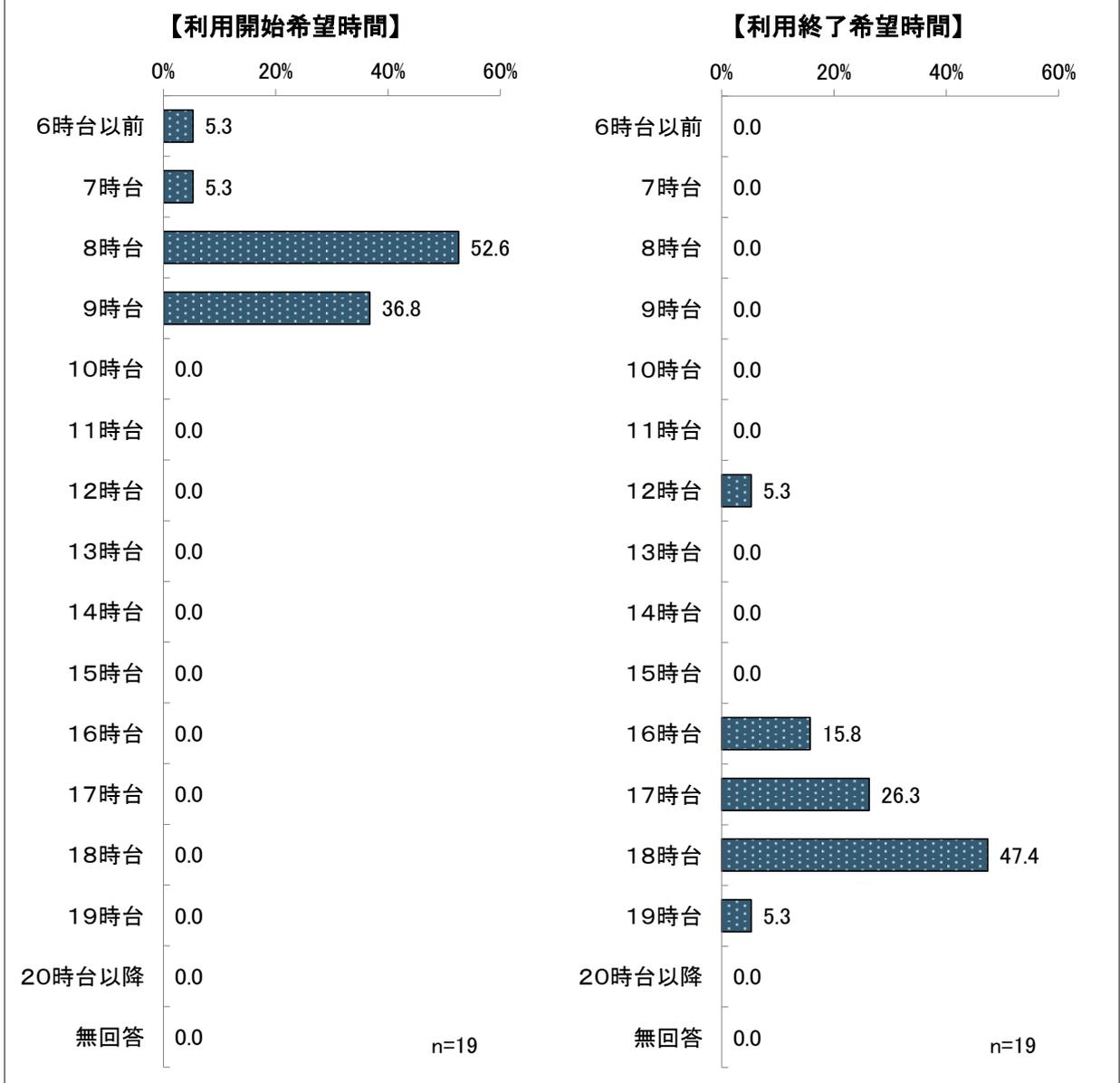
【高学年まで利用している・したい場合の学年】



長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が54.2%と最も高く、次いで「高学年（ 年生）まで利用したい」が25.0%、「利用する必要はない」が16.7%となっている。

長期休暇中の放課後児童クラブを高学年まで利用したい場合の学年は、「4年生」が50.0%と最も高く、次いで「6年生」が33.3%、「5年生」が16.7%となっている。

■長期休暇中に放課後児童クラブを利用したい時間帯

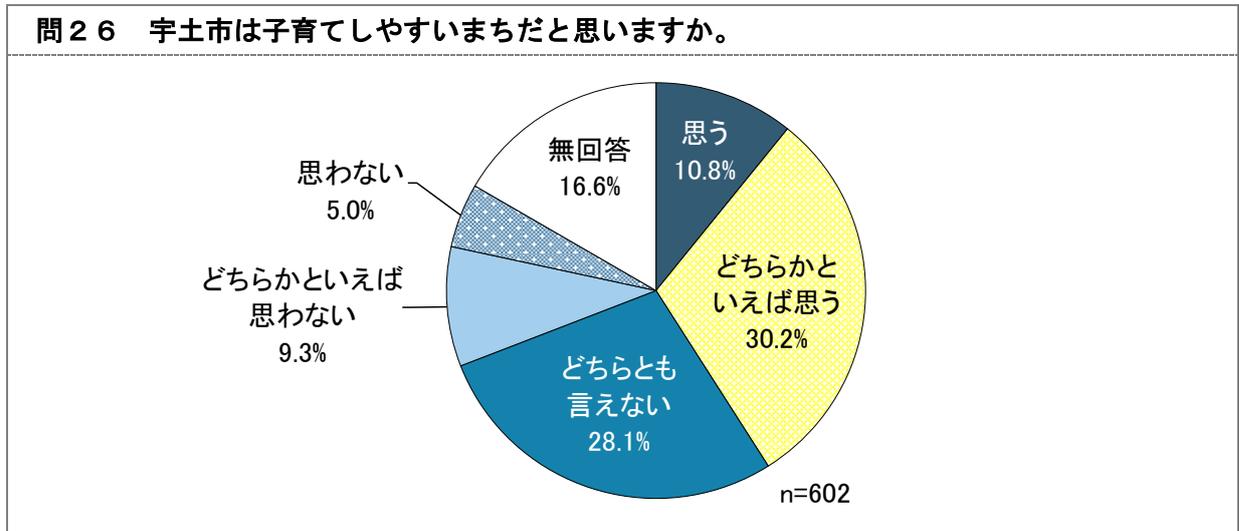


長期休暇中の放課後児童クラブの利用開始希望時間は、「8時台」が52.6%と最も高く、次いで「9時台」が36.8%、「6時台以前」「7時台」がそれぞれ5.3%となっている。

長期休暇中の放課後児童クラブの利用終了希望時間は、「18時台」が47.4%と最も高く、次いで「17時台」が26.3%、「16時台」が15.8%となっている。

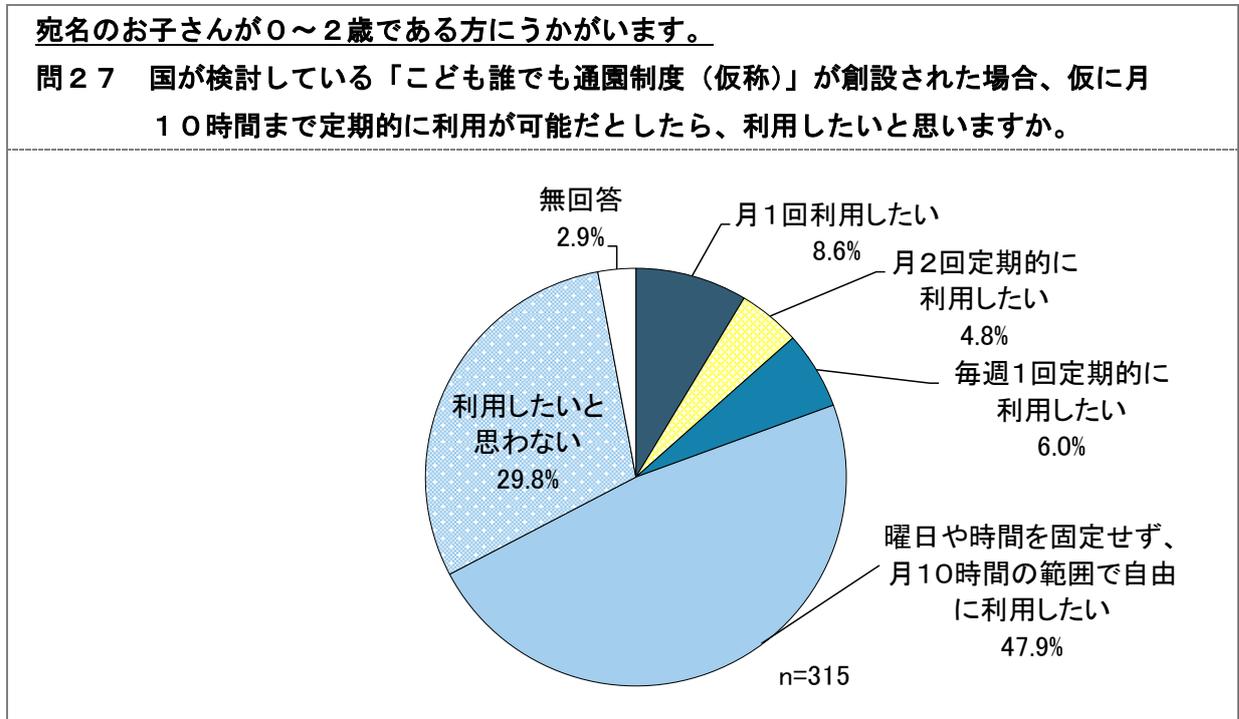
10. 子育て施策全般について

(1) 宇土市は子育てしやすいまちだと思うか

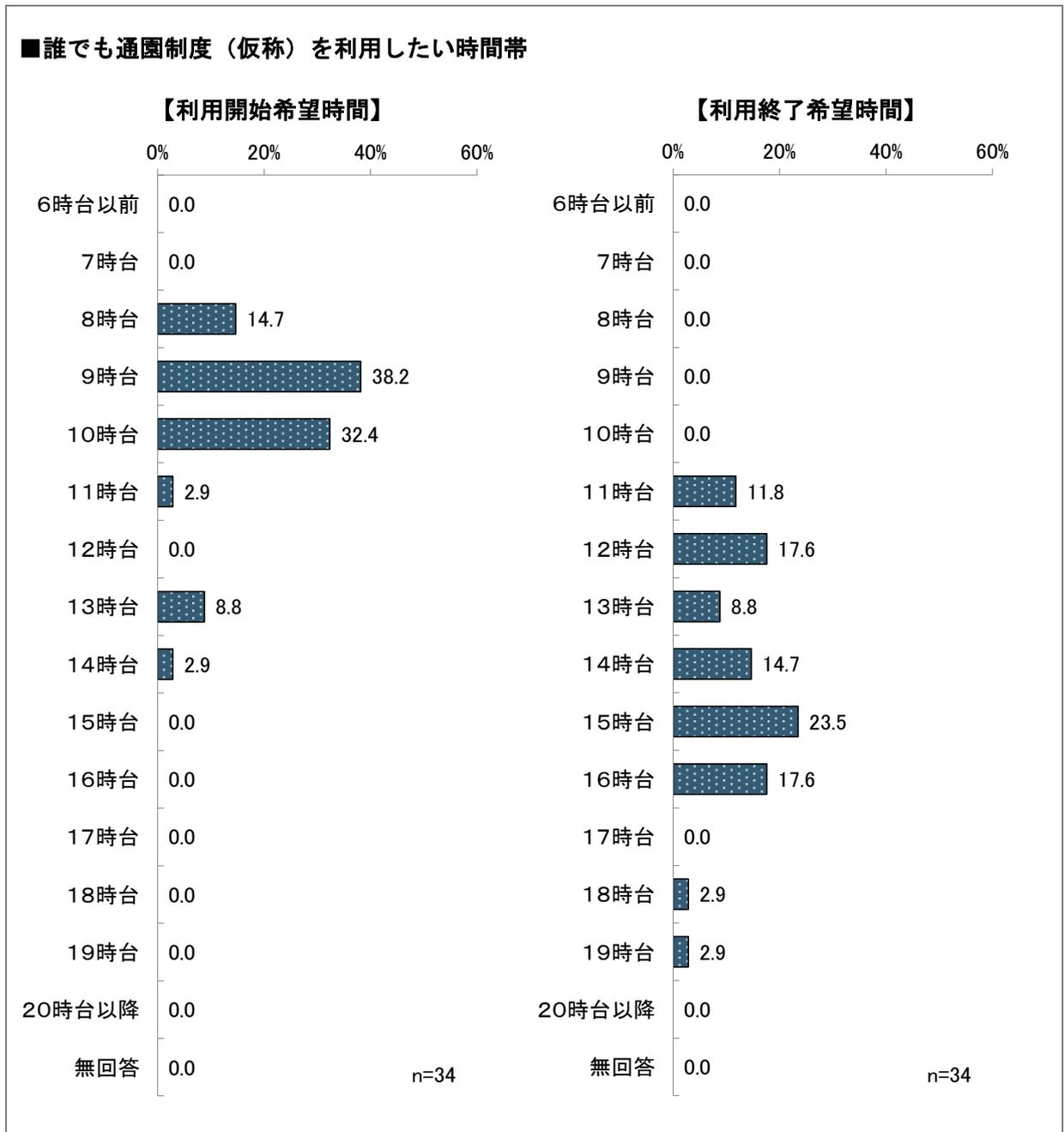


宇土市は子育てしやすいまちだと思うかは、「どちらかといえば思う」が30.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が28.1%、「思う」が10.8%となっている。

(2) こども誰でも通園制度（仮称）の利用意向



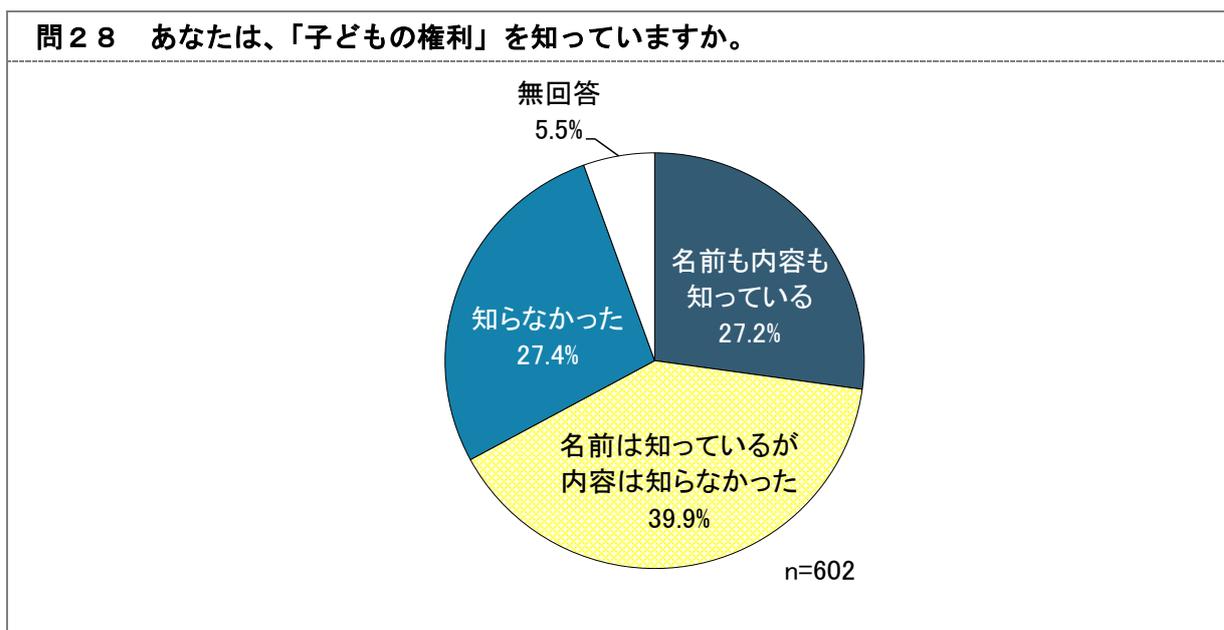
こども誰でも通園制度（仮称）の利用意向は、「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」が47.9%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が29.8%、「月1回利用したい」が8.6%となっている。



誰でも通園制度（仮称）の利用開始希望時間は、「9時台」が38.2%と最も高く、次いで「10時台」が32.4%、「8時台」が14.7%となっている。

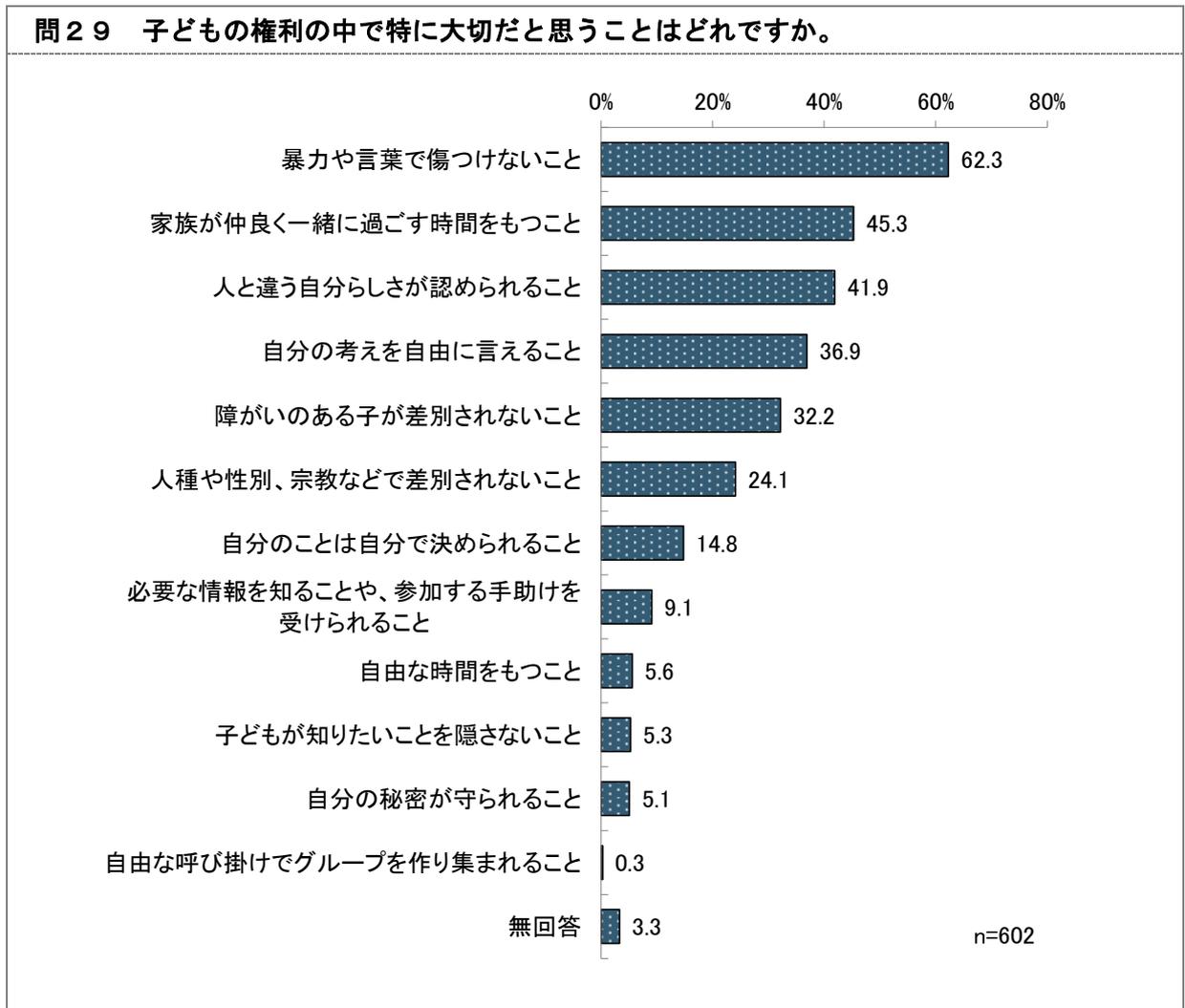
誰でも通園制度（仮称）の利用終了希望時間は、「15時台」が23.5%と最も高く、次いで「12時台」「16時台」がそれぞれ17.6%、「14時台」が14.7%となっている。

(3) 子どもの権利の概念の認識



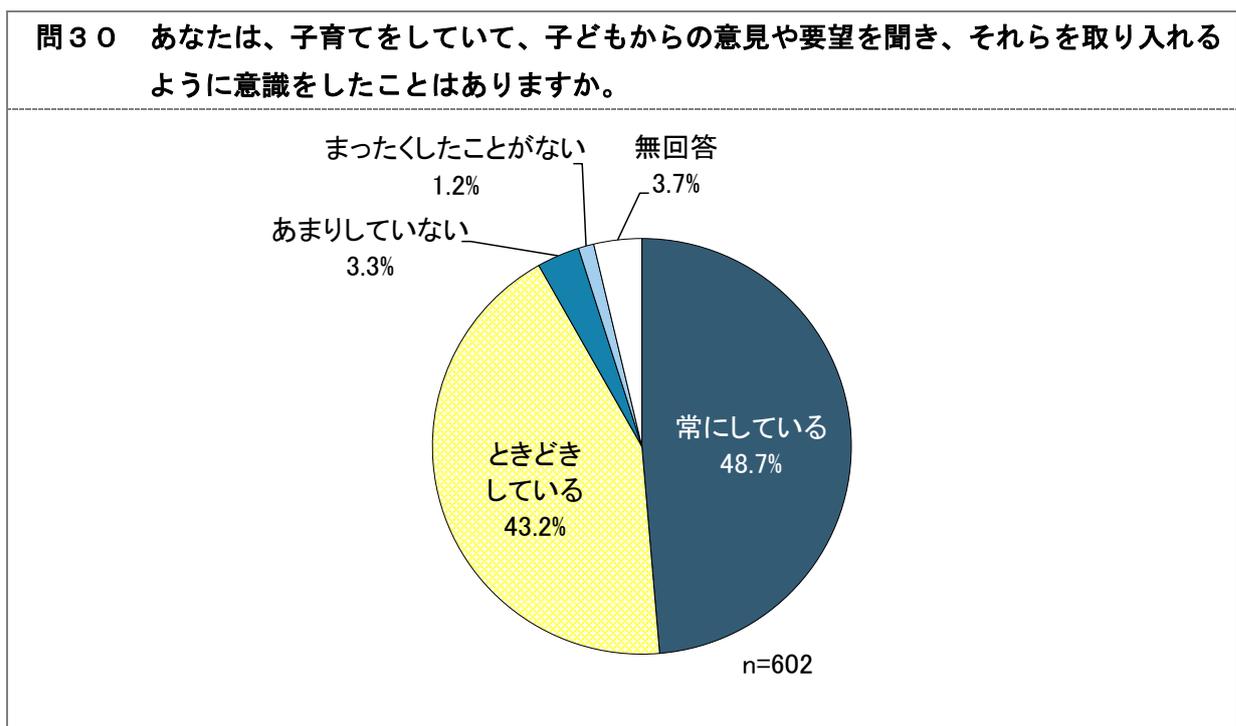
子どもの権利の概念の認識は、「名前を知っているが内容は知らなかった」が39.9%と最も高く、次いで「知らなかった」が27.4%、「名前も内容も知っている」が27.2%となっている。

(4) 子どもの権利の中で特に大切だと思うこと



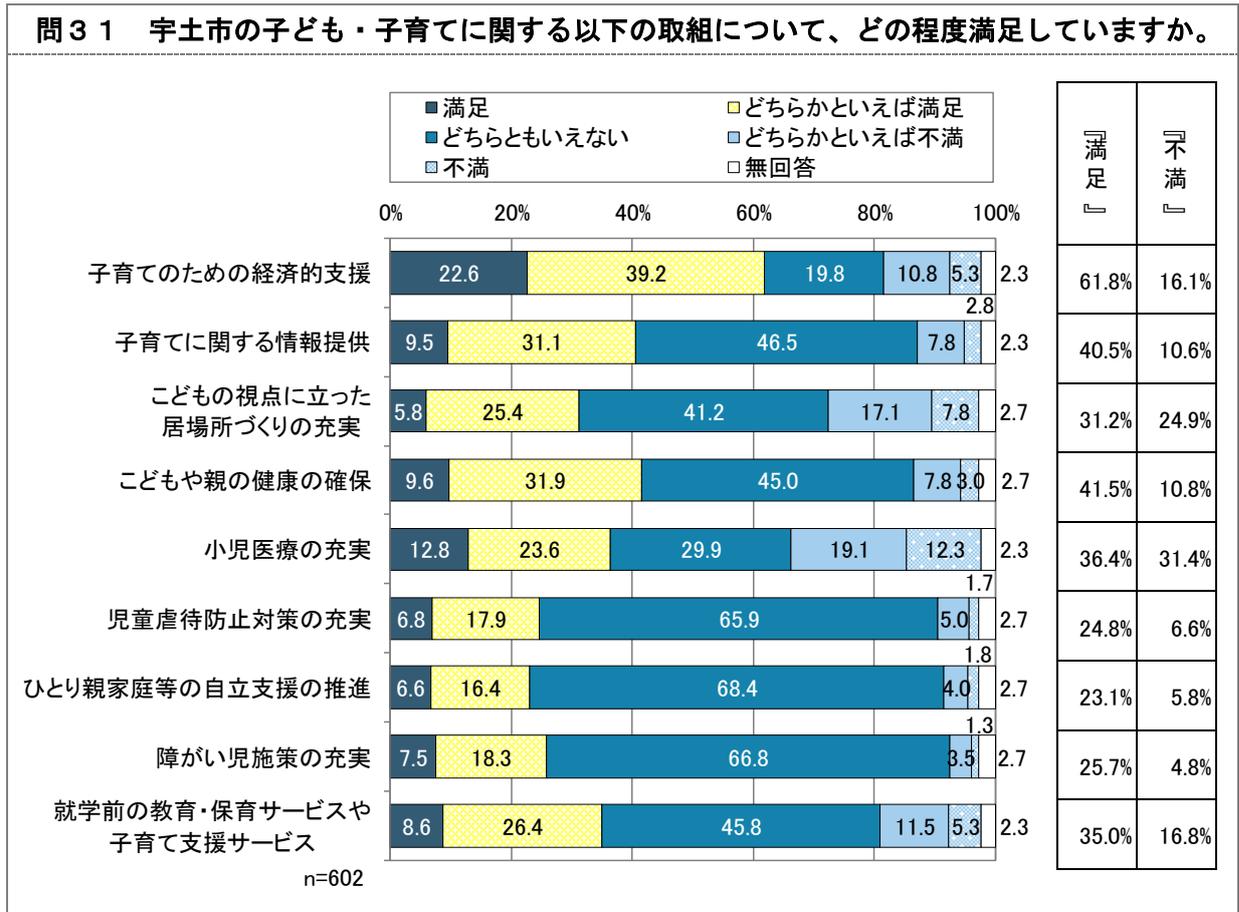
子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「暴力や言葉で傷つけないこと」が62.3%と最も高く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」が45.3%、「人と違う自分らしさが認められること」が41.9%となっている。

(5) 子どもの意見や要望を聞き、取り入れるよう意識しているか



子どもの意見や要望を聞き、取り入れるよう意識しているかは、「常にしている」が48.7%と最も高く、次いで「ときどきしている」が43.2%、「あまりしていない」が3.3%となっている。

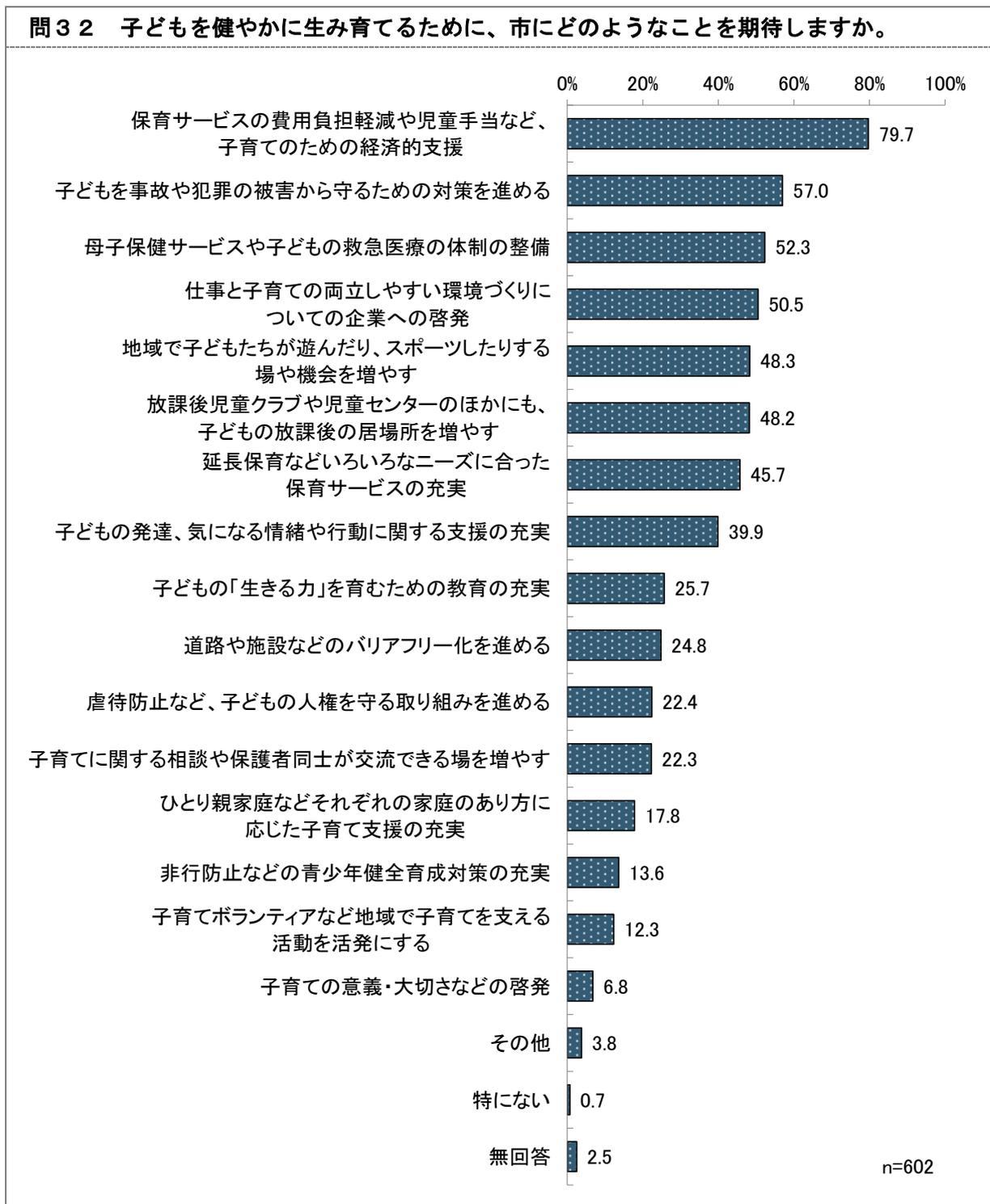
(6) 宇土市の子ども・子育てに関する取組の満足度



宇土市の子ども・子育てに関する取組として満足度の高い『満足』（「満足」「どちらかといえ
ば満足」を合わせた回答率）の項目は、「子育てのための経済的支援」が 61.8%と最も高く、
次いで「こどもや親の健康の確保」が 41.5%、「子育てに関する情報提供」が 40.5%となっ
ている。

一方、宇土市の子ども・子育てに関する取組として満足度の低い『不満』（「どちらかといえ
ば不満」「不満」を合わせた回答率）の項目は、「小児医療の充実」が 31.4%と最も高く、次い
で「こどもの視点に立った居場所づくりの充実」が 24.9%、「就学前の教育・保育サービスや
子育て支援サービス」が 16.8%となっている。

(7) 子どもを健やかに生み育てるために宇土市に期待すること



子どもを健やかに生み育てるために宇土市に期待することは、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援」が79.7%と最も高く、次いで「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」が57.0%、「母子保健サービスや子どもの救急医療の体制の整備」が52.3%となっている。

(8) 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（自由記述）

問33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

主な内容は、下記のとおりである。

【公園整備】

- ・未就学児が遊べる施設や遊具が豊富な公園など増やして欲しい（いつも市外の施設を利用している）。
- ・公園遊具の点検、公園の環境整備
- ・公園の遊具やトイレをきれいにしてほしい（公園のトイレが和式だと子どもが行けない）。
- ・大きな公園を作ってほしい。

等

【保育園の待機児童や混雑、利用に関する規則】

- ・0歳児からの保育園入所の待機をなくしてほしい。
- ・待機児童や保育園利用に関する規則が多く仕事と子育ての両立が難しい。
- ・希望の保育園へ入園できなかったのが心残りです。
- ・兄弟別々の保育園で不満を感じています。

等

【保育園の無償化、減免】

- ・第2子で第1子が小学校にあがると保育料全額になるのは負担がかかる。
- ・無償化が0歳からできたら経済的に助かります。
- ・3才児未満の保育料減額など進んでいるが宇土市は遅れている。このままでは、子供を2人、3人と産みたいと思った時、宇土市で育てられるか悩む。
- ・0～2歳児の保育料や年少～小中学の給食費なども無償とまではいかななくても補助金などあれば助かります。（無償なら尚有り難いです。）

等

【子ども達が遊べる場所や施設】

- ・子どもが安全に遊べる場所を充実させてほしい。選択肢が少なすぎる。
- ・屋内屋外、無料の遊び場がすぐに欲しい。
- ・雨の日でも無料で利用できる子供が自由に遊べる施設をつくってほしい。

等

【土曜・休日や長期休暇中の事業の利用】

- ・保育園や学童などの土日開設。
- ・土曜保育のあずかりに関して考えてほしい。就労が基本なのは分かるが、保育料も支払っているし、どうしても預けたい時もある。

等

【道路環境整備】

- ・道路、歩道の整備。横断歩道などのラインが消えたままで道路環境が悪い。
- ・歩道橋でしか渡れない道路はベビーカーや車椅子も行けるように（登りは良くても下りが無理）なだらかな坂にしてほしい。

等

【その他の意見】

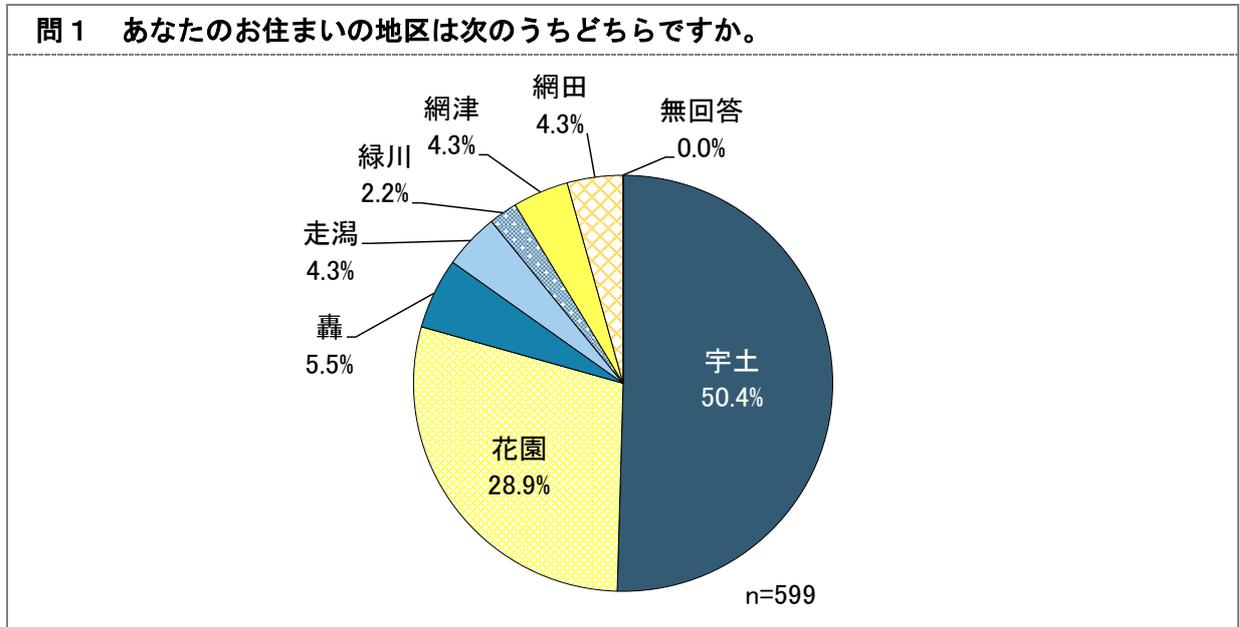
- ・図書館や児童センター、子育て支援センターの改修、整備。
- ・経済的支援（給食費、副食費、全ての子育て世帯への支援金・給付金の支給、児童手当 等）
- ・保育士の確保や負担軽減、勤務環境の改善。
- ・医療機関の充実（小児科、夜間医療）。
- ・未就園児も一時預かりをしてくれる機会があったらとても助かる。

等

Ⅱ 小学生の調査結果

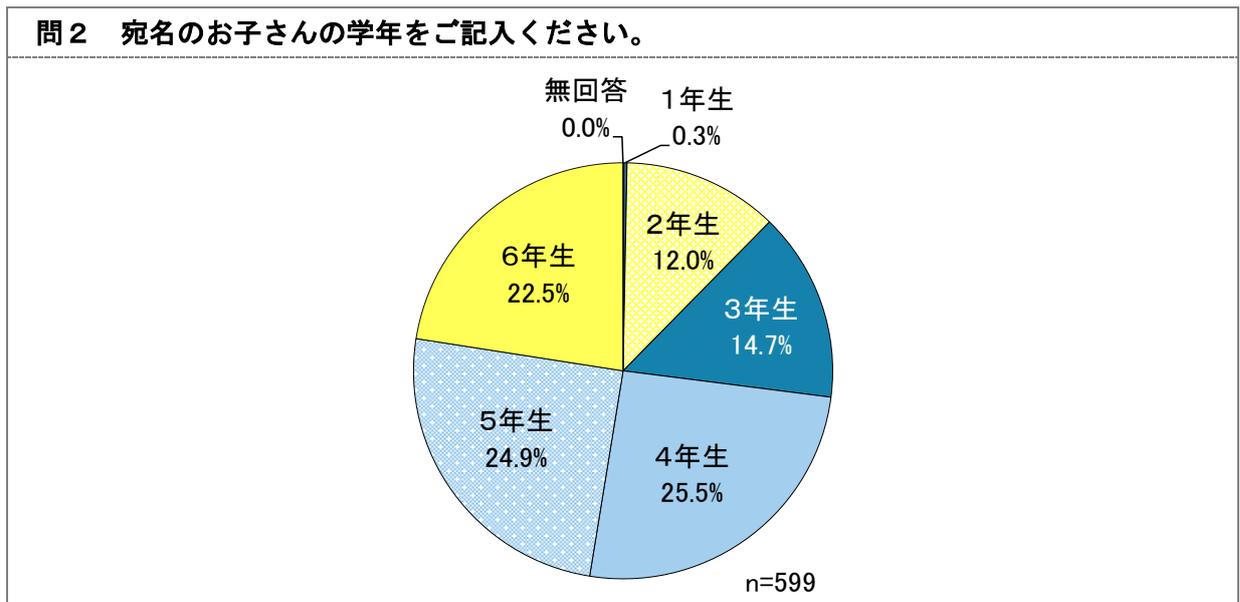
1. お子さんご家族の状況について

(1) 居住地



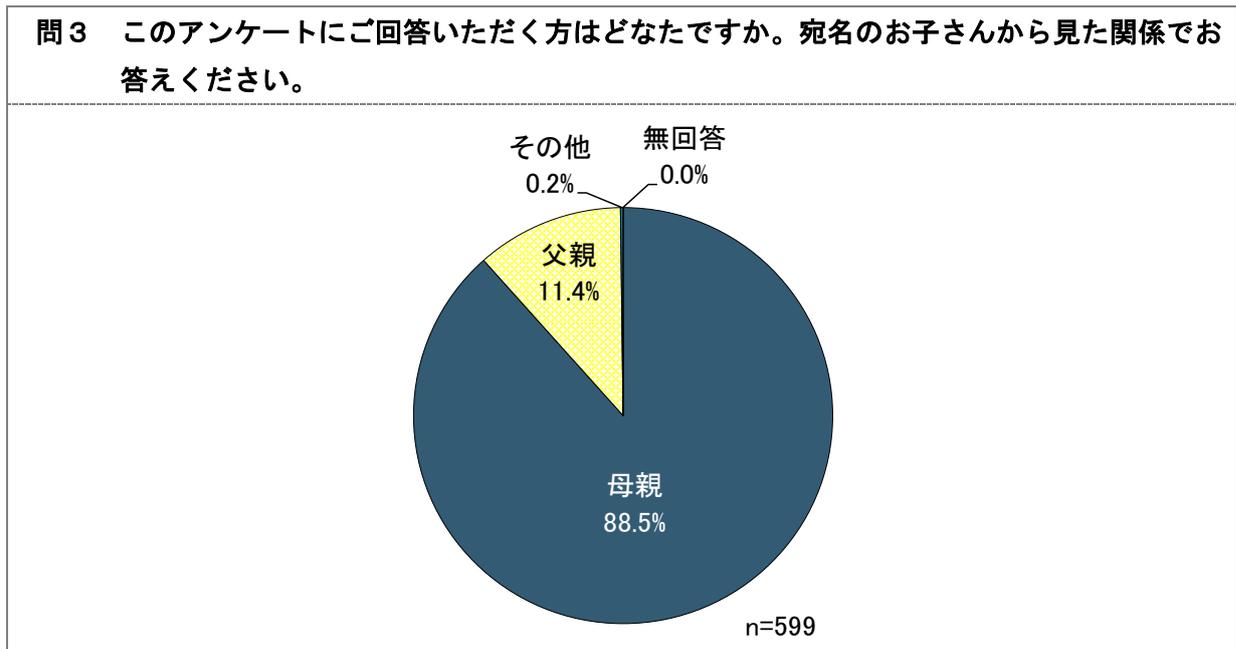
居住地は、「宇土」が50.4%と最も高く、次いで「花園」が28.9%、「轟」が5.5%となっている。

(2) 学年



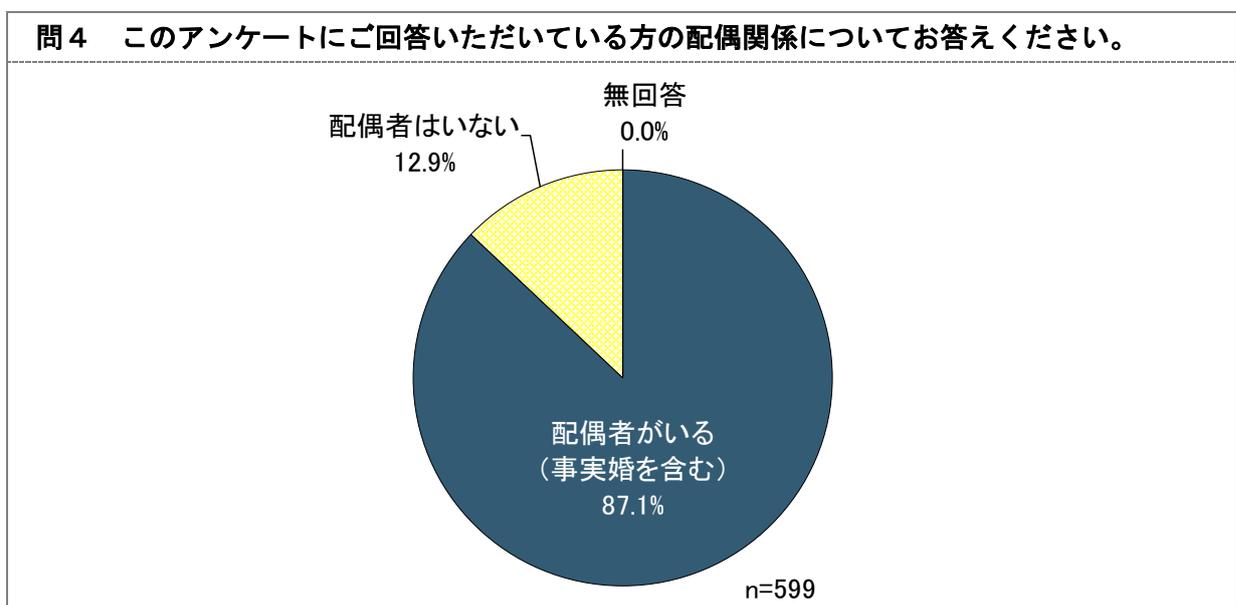
学年は、「4年生」が25.5%と最も高く、次いで「5年生」が24.9%、「6年生」が22.5%となっている。

(3) 回答者



回答者は、「母親」が88.5%、「父親」が11.4%となっている。

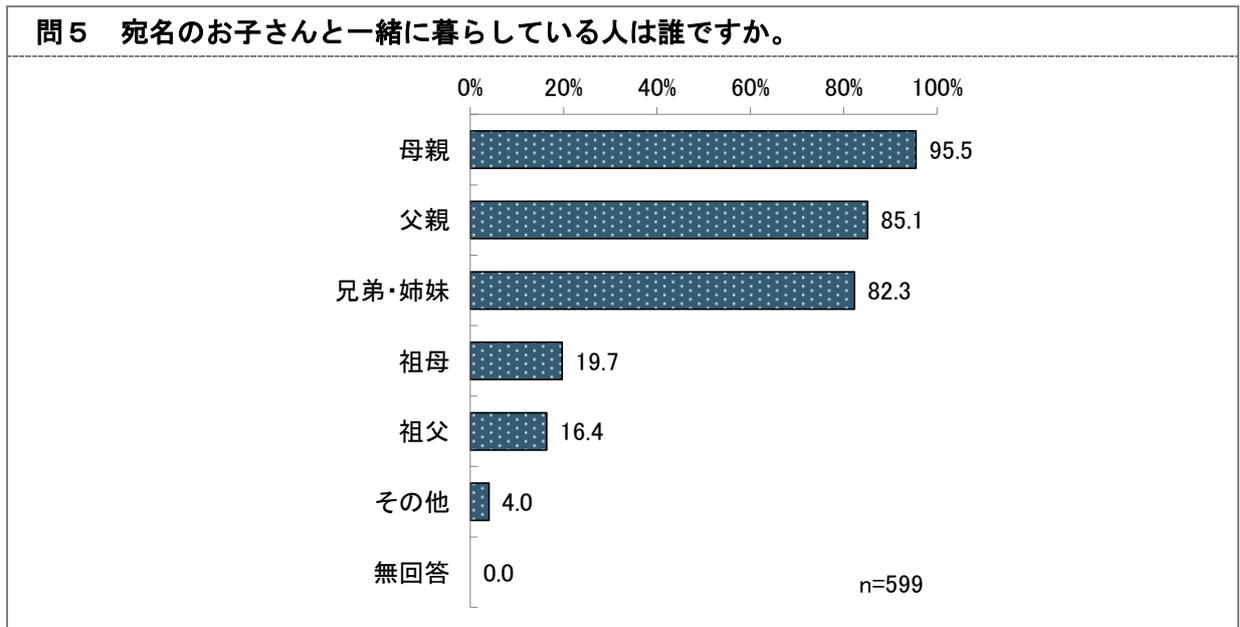
(4) 回答者の配偶者の有無



回答者の配偶者の有無は、「配偶者がいる（事実婚を含む）」が87.1%、「配偶者はいない」が12.9%となっている。

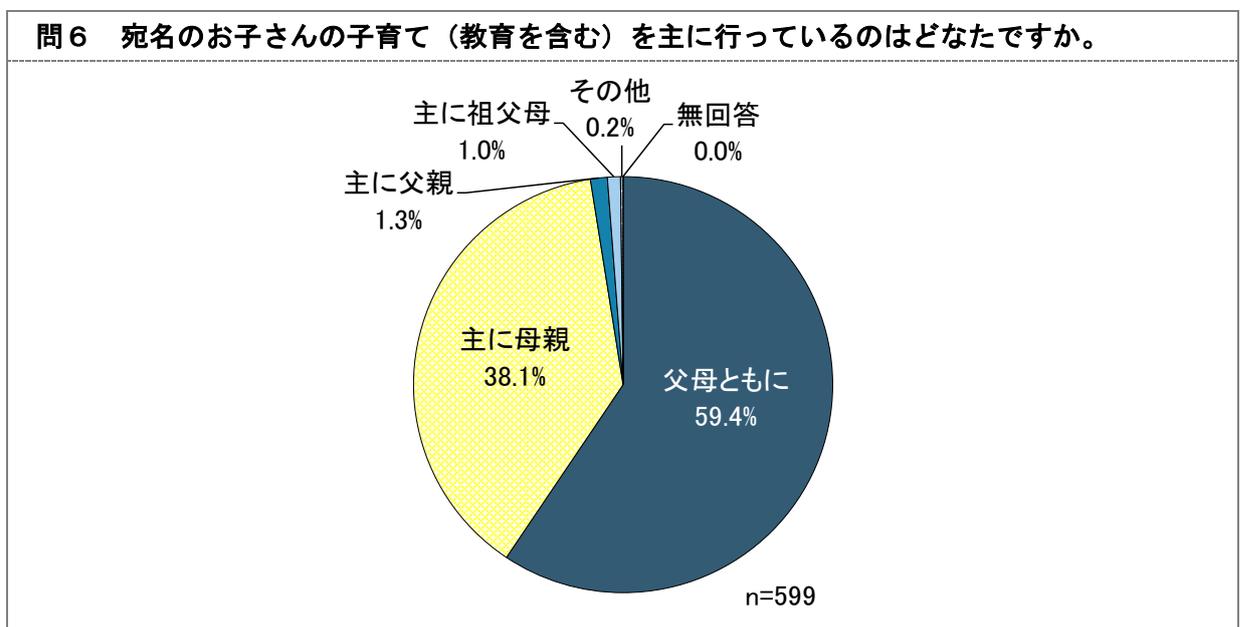
第1章 小学生

(5) 同居者



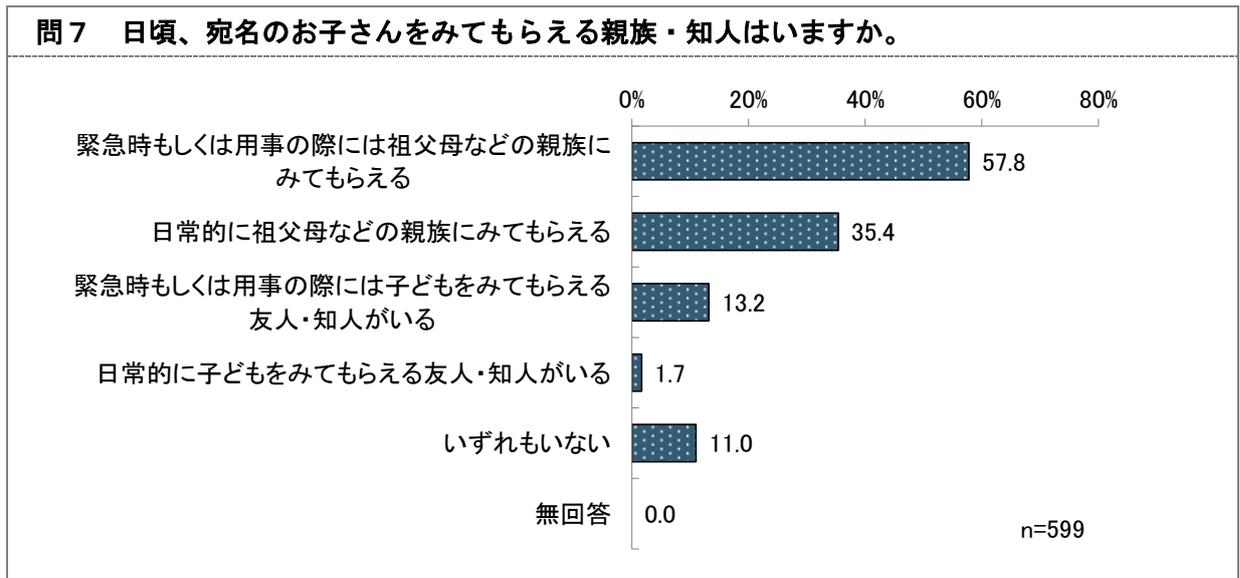
同居者は、「母親」が95.5%と最も高く、次いで「父親」が85.1%、「兄弟・姉妹」が82.3%となっている。

(6) 子育て（教育を含む）を主に行っている人



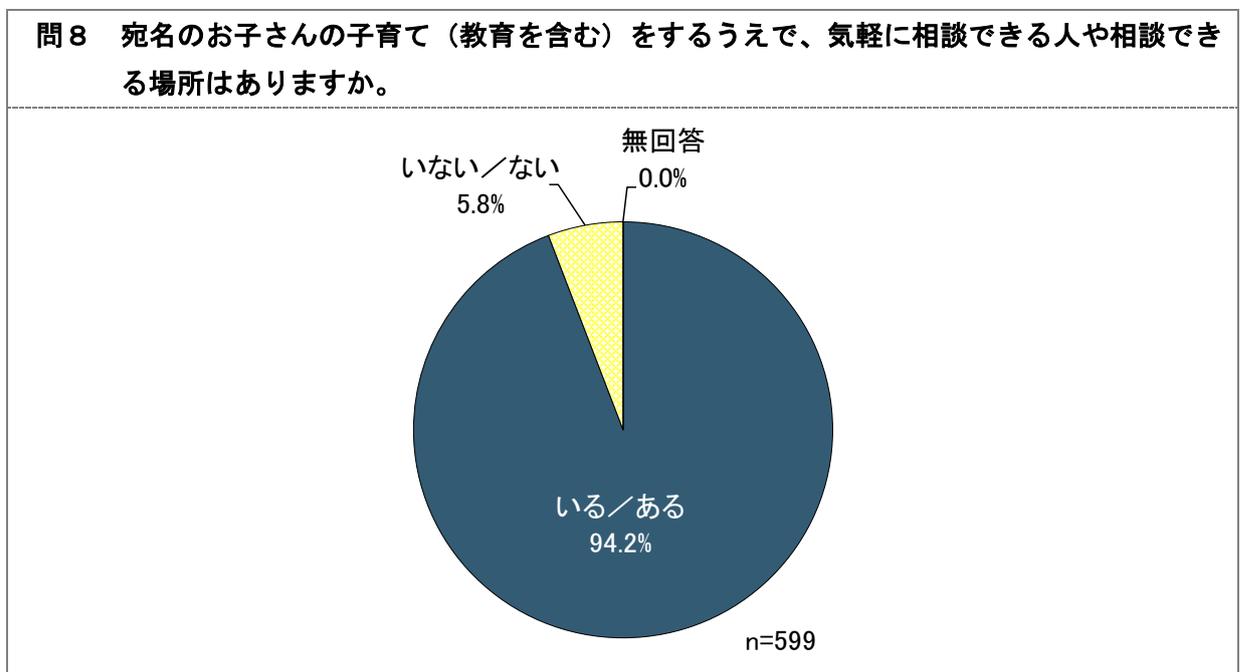
子育て（教育を含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が59.4%と最も高く、次いで「主に母親」が38.1%、「主に父親」が1.3%となっている。

(7) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況



日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が 57.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が 35.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 13.2%となっている。

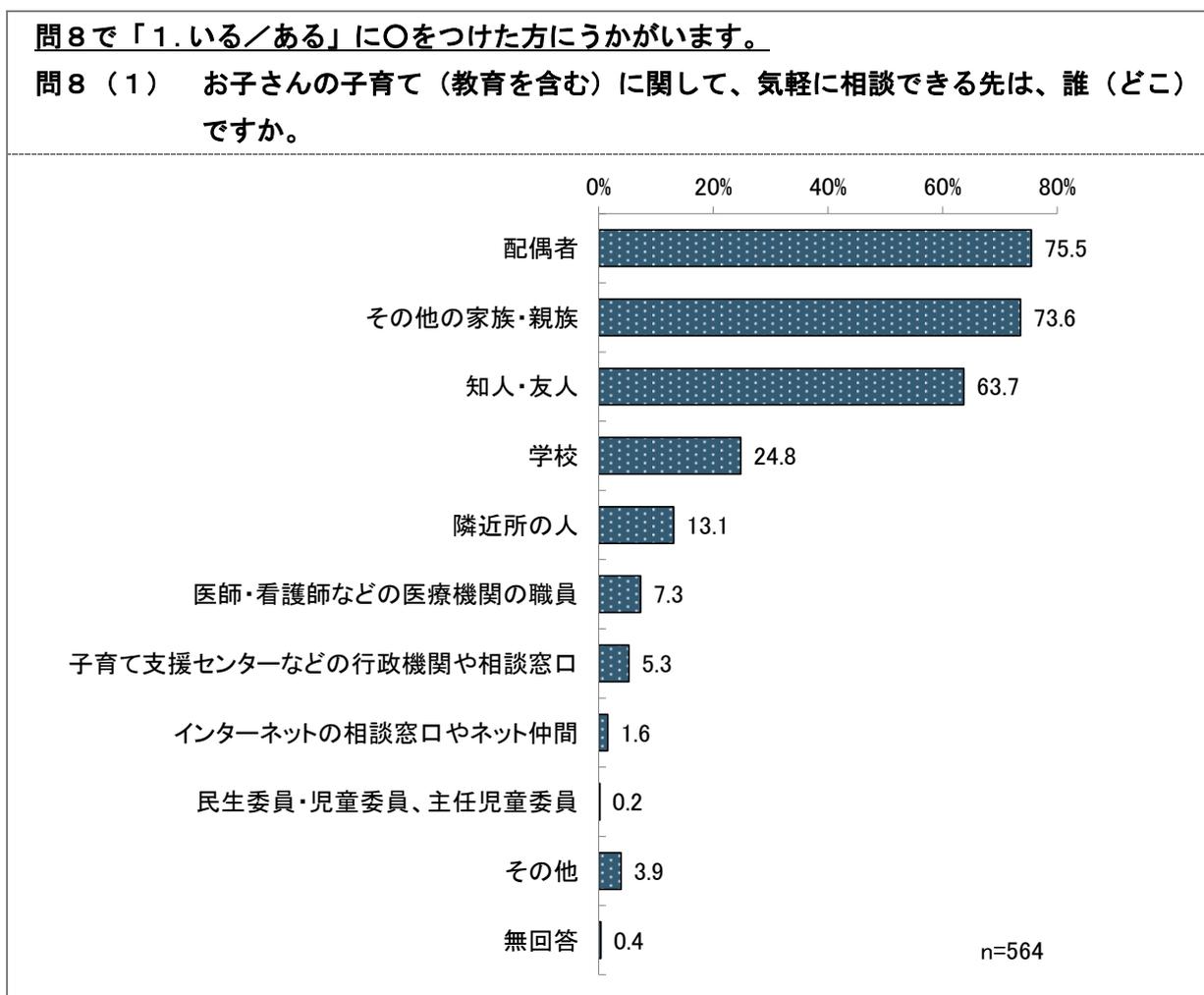
(8) 子育て（教育を含む）を気軽に相談できる人や場所の有無



子育て（教育を含む）を気軽に相談できる人や場所の有無は、「いる／ある」が 94.2%、「いない／ない」が 5.8%となっている。

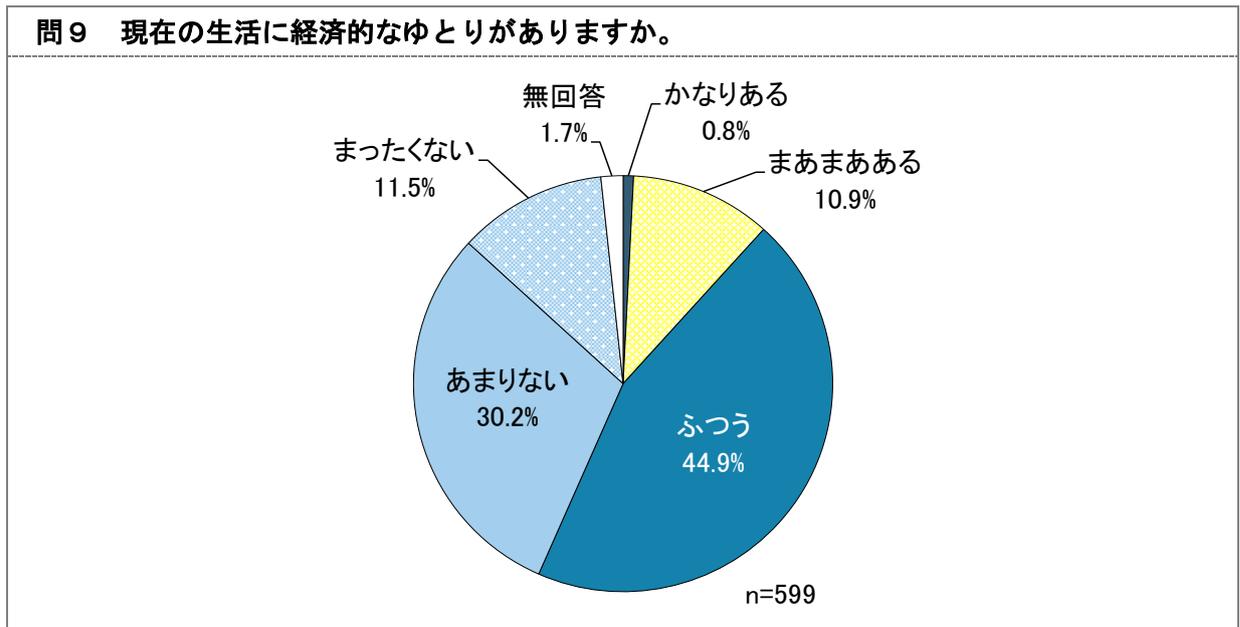
第1章 小学生

(9) 子育て（教育を含む）の相談先



子育て（教育を含む）の相談先は、「配偶者」が75.5%と最も高く、次いで「その他の家族・親族」が73.6%、「知人・友人」が63.7%となっている。

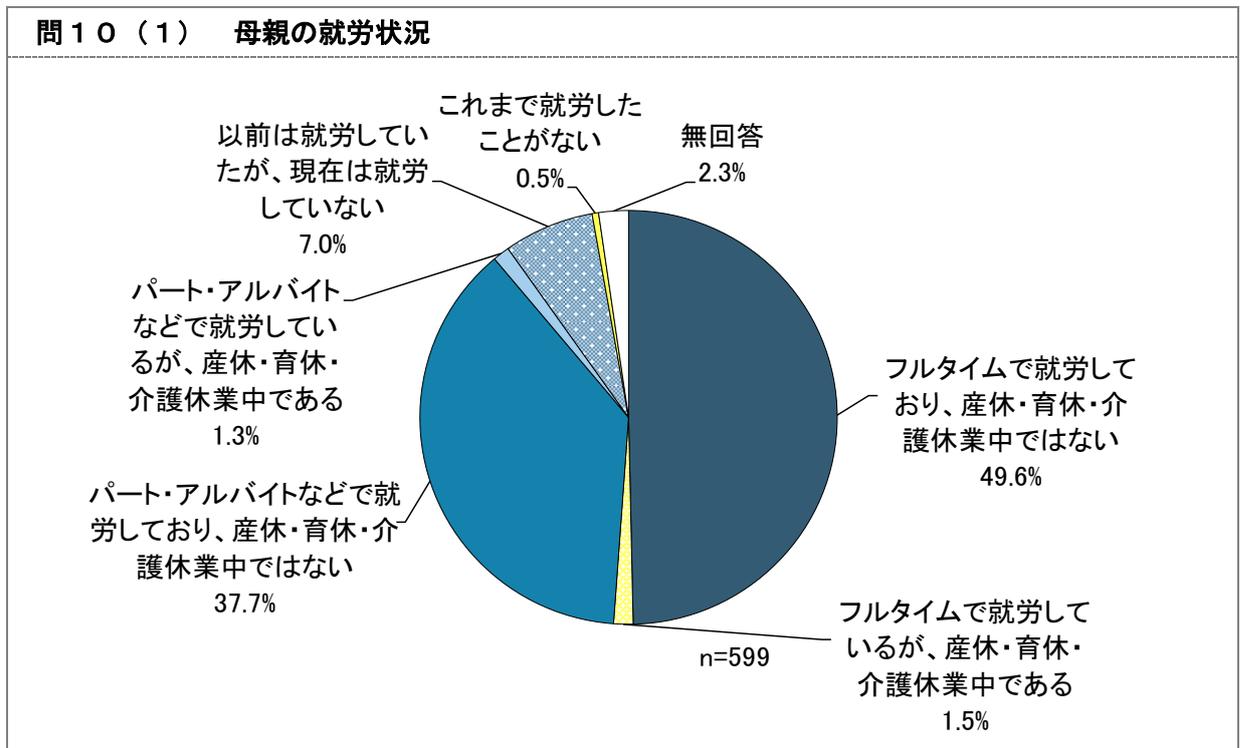
(10) 経済的なゆとりがあるか



経済的なゆとりがあるかは、「ふつう」が44.9%と最も高く、次いで「あまりない」が30.2%、「まったくない」が11.5%となっている。

2. 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況



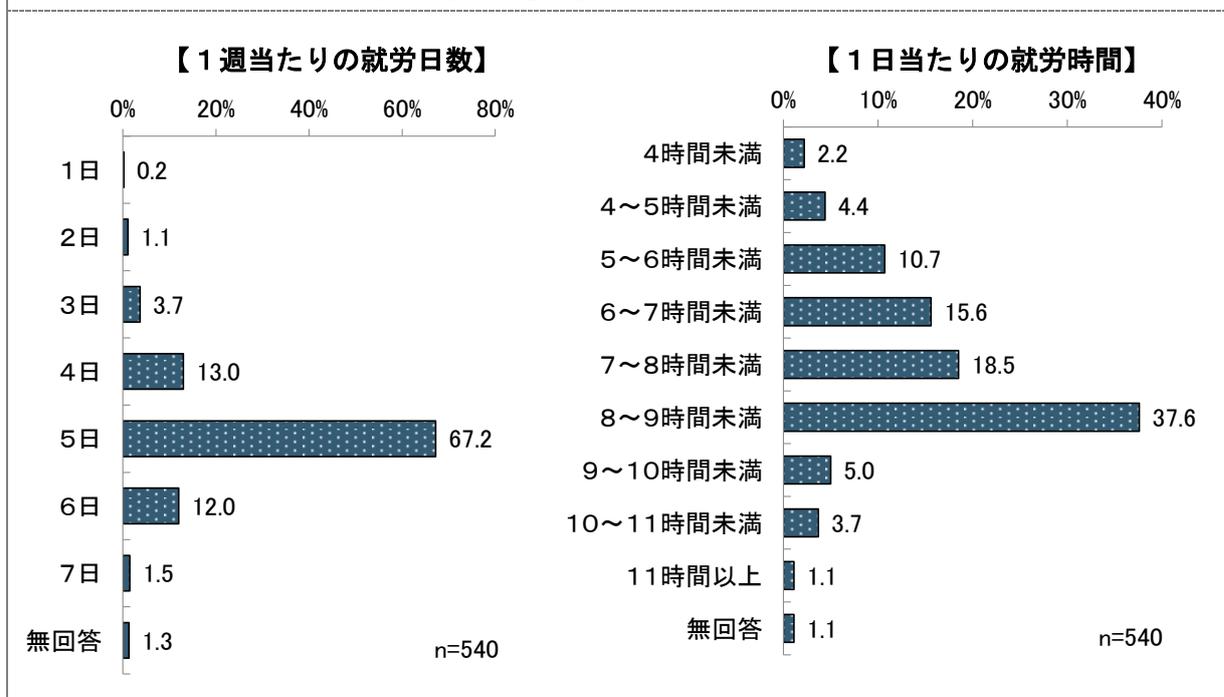
母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が49.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が7.0%となっている。

(2) 母親の就労日数・就労時間

問10(1)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10(1)－1 「就労日数」、「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が67.2%と最も高く、次いで「4日」が13.0%、「6日」が12.0%となっている。

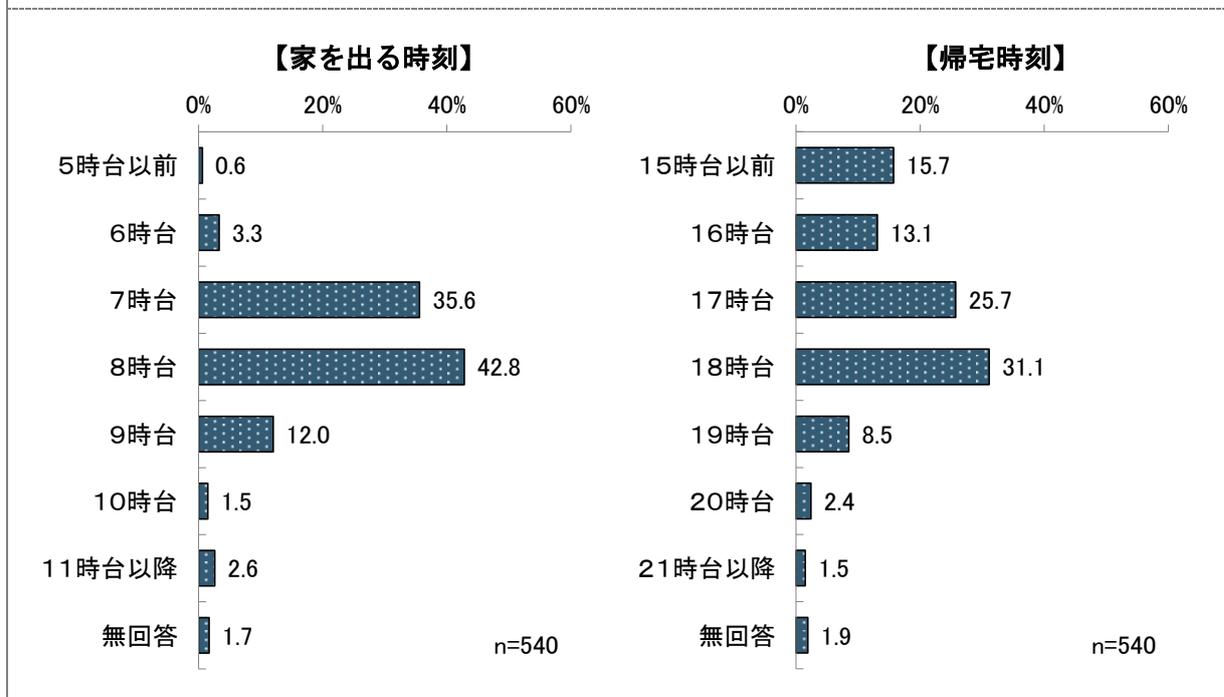
母親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が37.6%と最も高く、次いで「7～8時間未満」が18.5%、「6～7時間未満」が15.6%となっている。

(3) 母親の家を出る時刻・帰宅時刻

問10(1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10(1)-2 「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。

時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



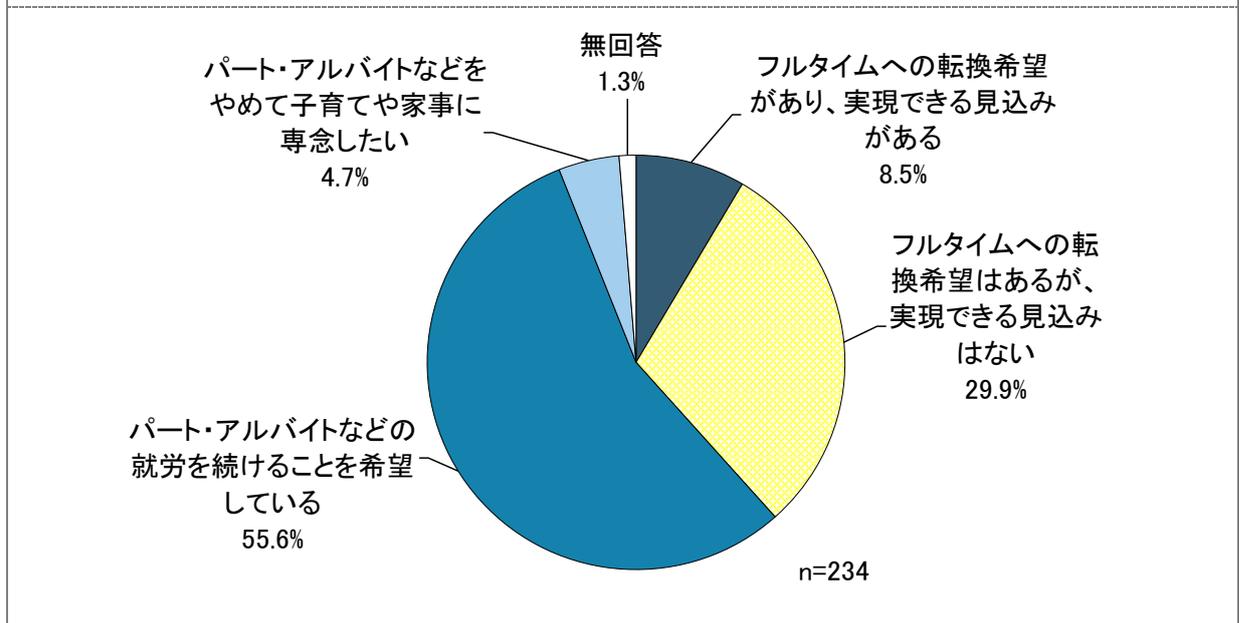
母親の家を出る時刻は、「8時台」が42.8%と最も高く、次いで「7時台」が35.6%、「9時台」が12.0%となっている。

母親の帰宅時刻は、「18時台」が31.1%と最も高く、次いで「17時台」が25.7%、「15時台以前」が15.7%となっている。

(4) 母親のフルタイムへの転換希望

問10(1)で「3、4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10(1)－3 フルタイムへの転換(就労形態の転換)希望はありますか。

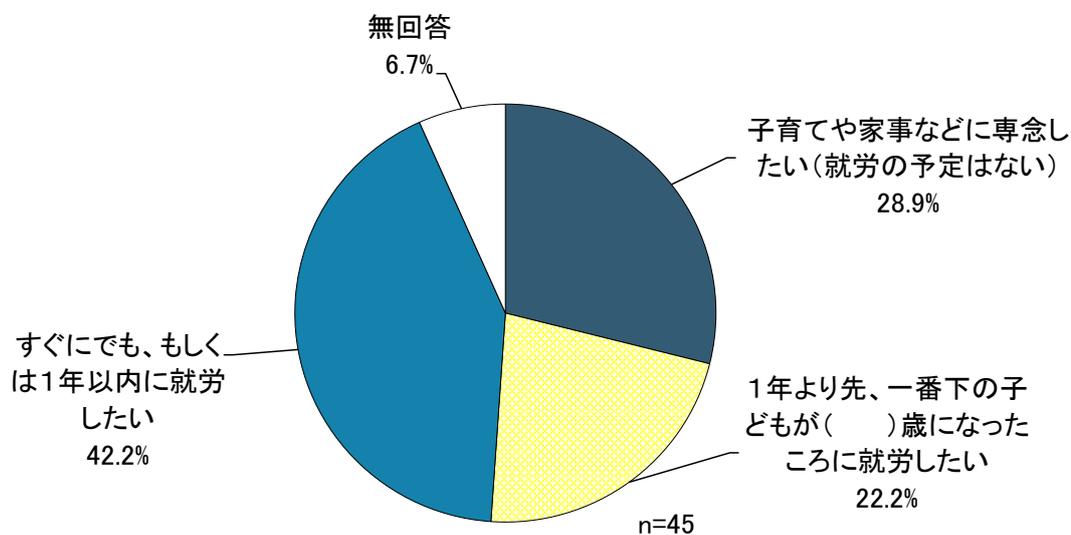


母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している」が55.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.5%となっている。

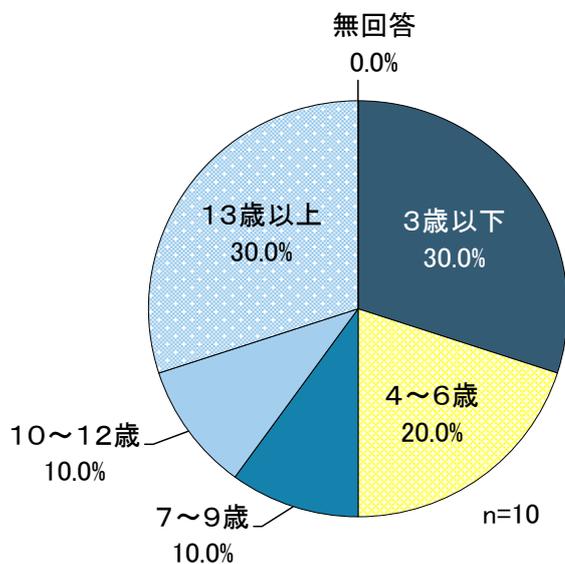
(5) 母親の就労希望

問10(1)で「5、6」に○をつけた方にうかがいます。

問10(1)－4 就労したいという希望はありますか。



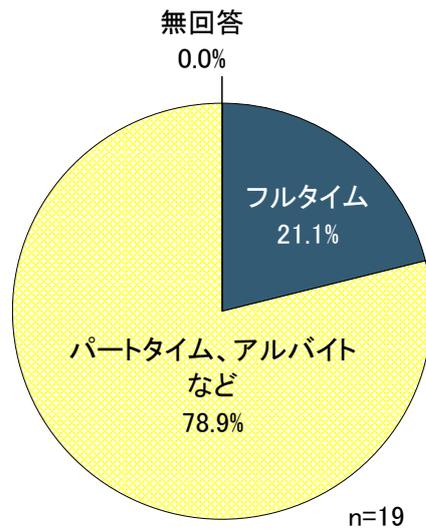
【1年より先、就労を希望する時の一番下の子どもの年齢】



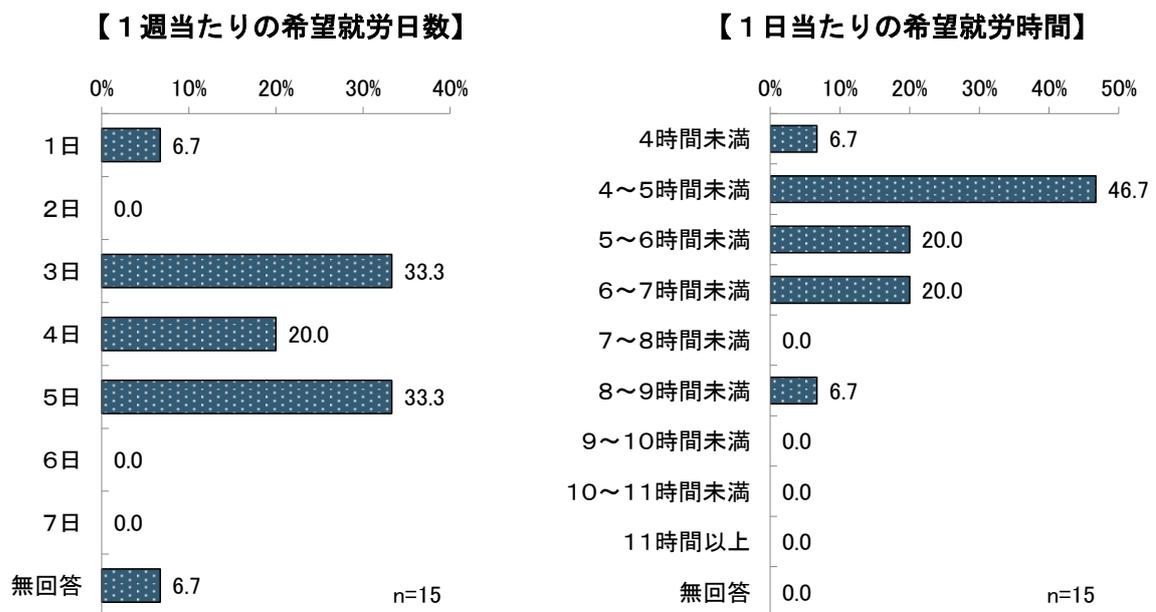
母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が42.2%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が28.9%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」が22.2%となっている。

1年より先、就労を希望する時の一番下の子どもの年齢は、「3歳以下」「13歳以上」がそれぞれ30.0%と最も高く、次いで「4～6歳」が20.0%、「7～9歳」「10～12歳」がそれぞれ10.0%となっている。

■すぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態



■希望する就労形態がパートタイム・アルバイトの就労日数・就労時間

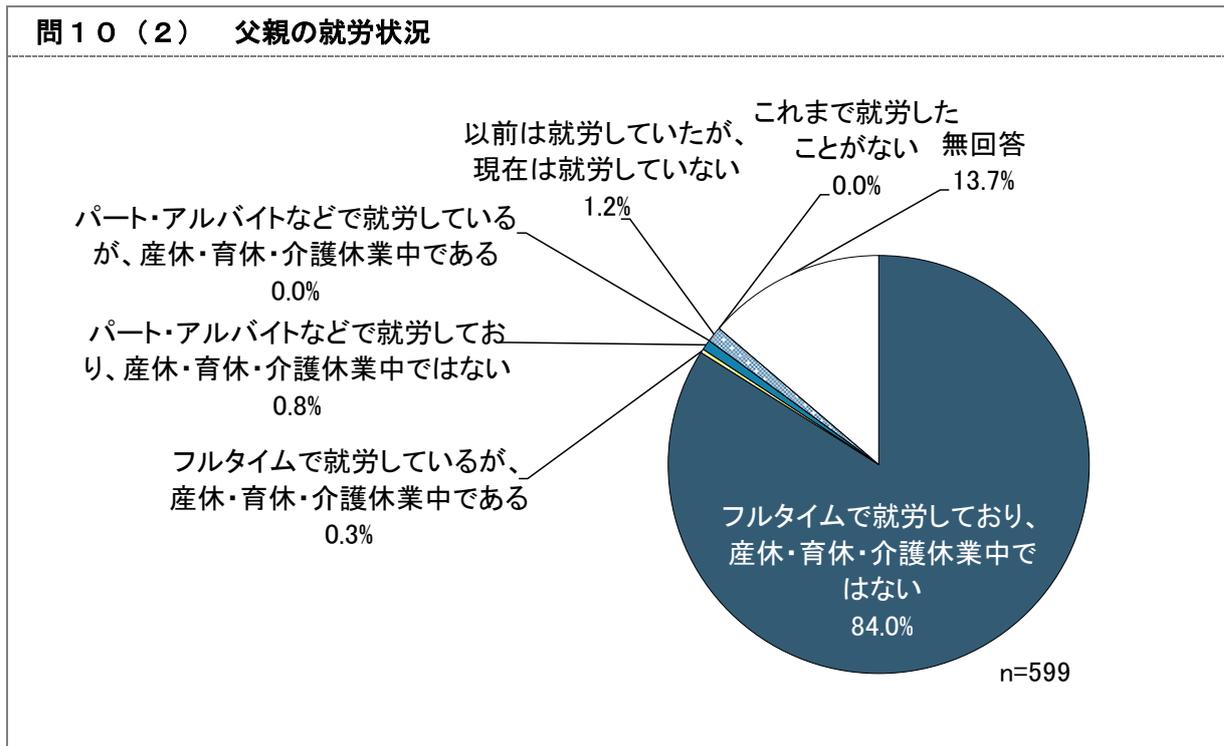


母親のすぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が78.9%、「フルタイム」が21.1%となっている。

すぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態がパートタイム・アルバイトの1週当たりの希望就労日数は、「3日」「5日」がそれぞれ33.3%と最も高く、次いで「4日」が20.0%、「1日」が6.7%となっている。

1日当たりの希望就労時間は、「4～5時間未満」が46.7%と最も高く、次いで「5～6時間未満」「6～7時間未満」がそれぞれ20.0%、「4時間未満」「8～9時間未満」がそれぞれ6.7%となっている。

(6) 父親の就労状況



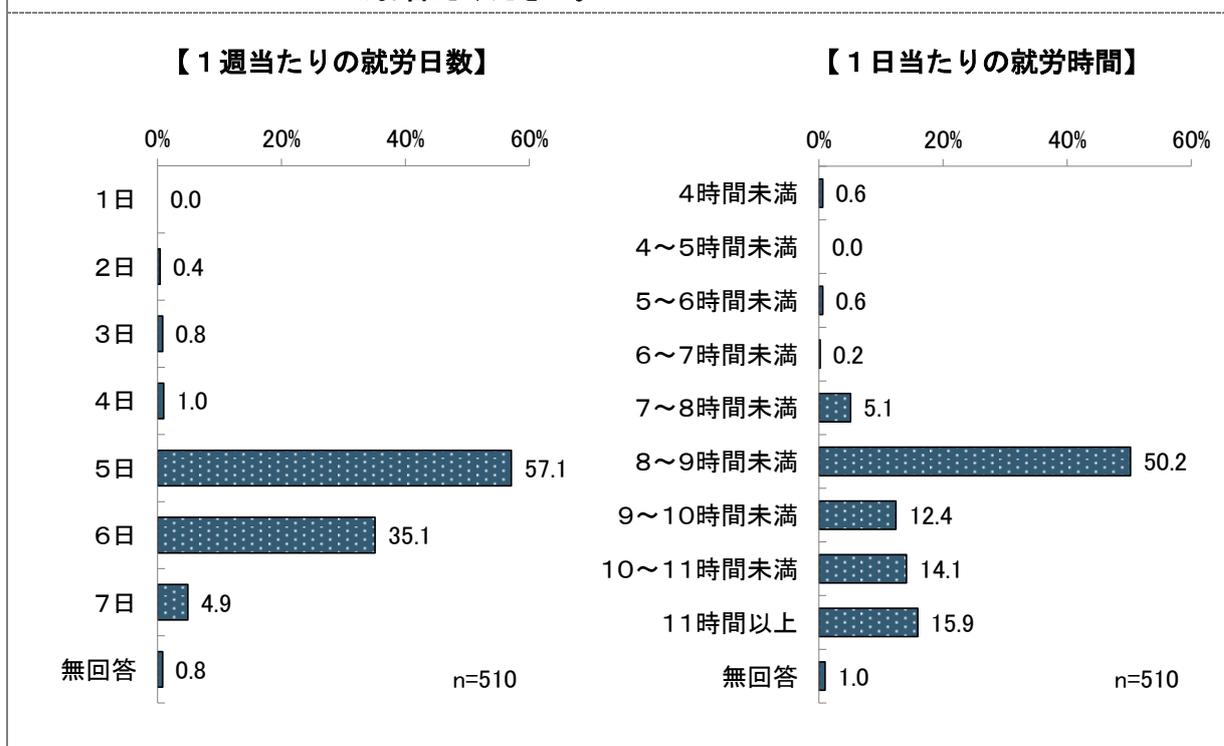
父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が84.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.2%、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.8%となっている。

(7) 父親の就労日数・就労時間

問10(2)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10(2)－1 「就労日数」、「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が57.1%と最も高く、次いで「6日」が35.1%、「7日」が4.9%となっている。

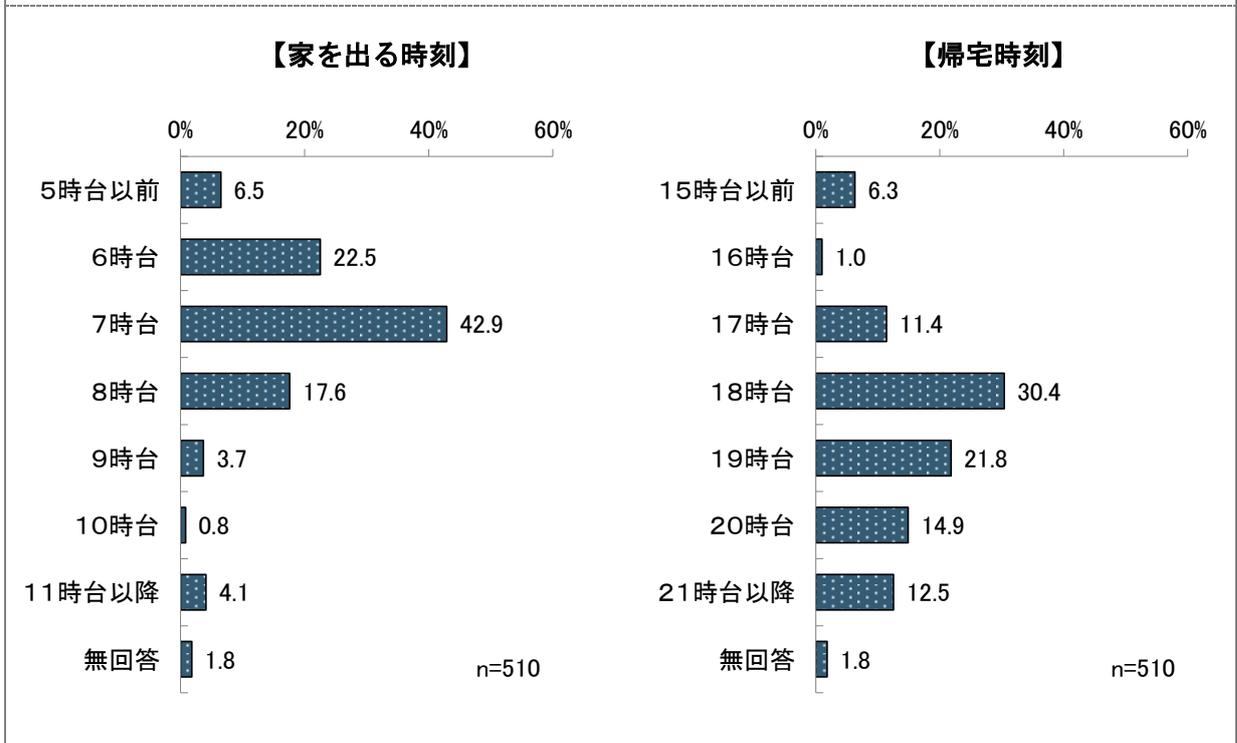
父親の1日当たりの就労時間は、「8～9時間未満」が50.2%と最も高く、次いで「11時間以上」が15.9%、「10～11時間未満」が14.1%となっている。

(8) 父親の家を出る時刻・帰宅時刻

問10(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10(2)-2 「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。

時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。



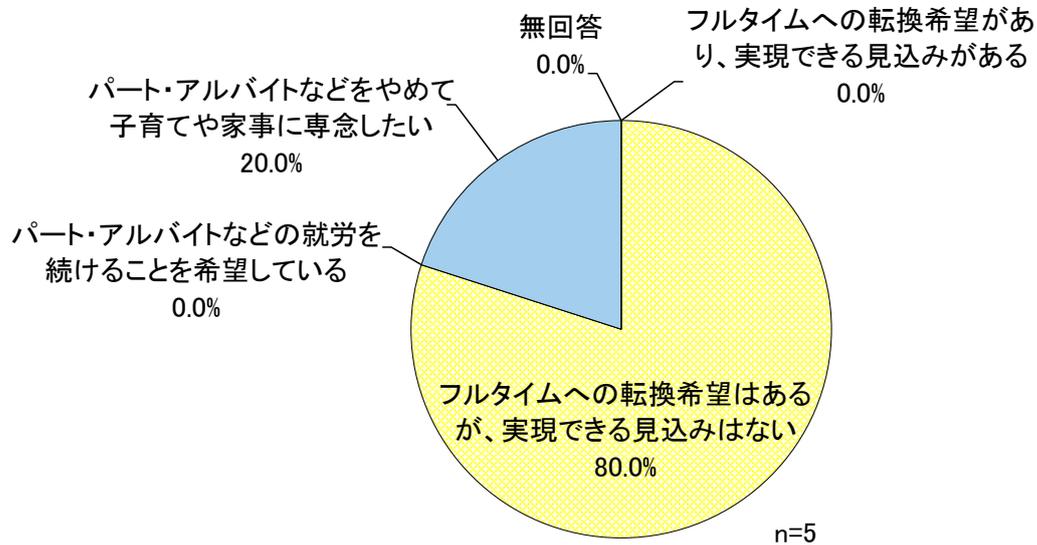
父親の家を出る時刻は、「7時台」が42.9%と最も高く、次いで「6時台」が22.5%、「8時台」が17.6%となっている。

父親の帰宅時刻は、「18時台」が30.4%と最も高く、次いで「19時台」が21.8%、「20時台」が14.9%となっている。

(9) 父親のフルタイムへの転換希望

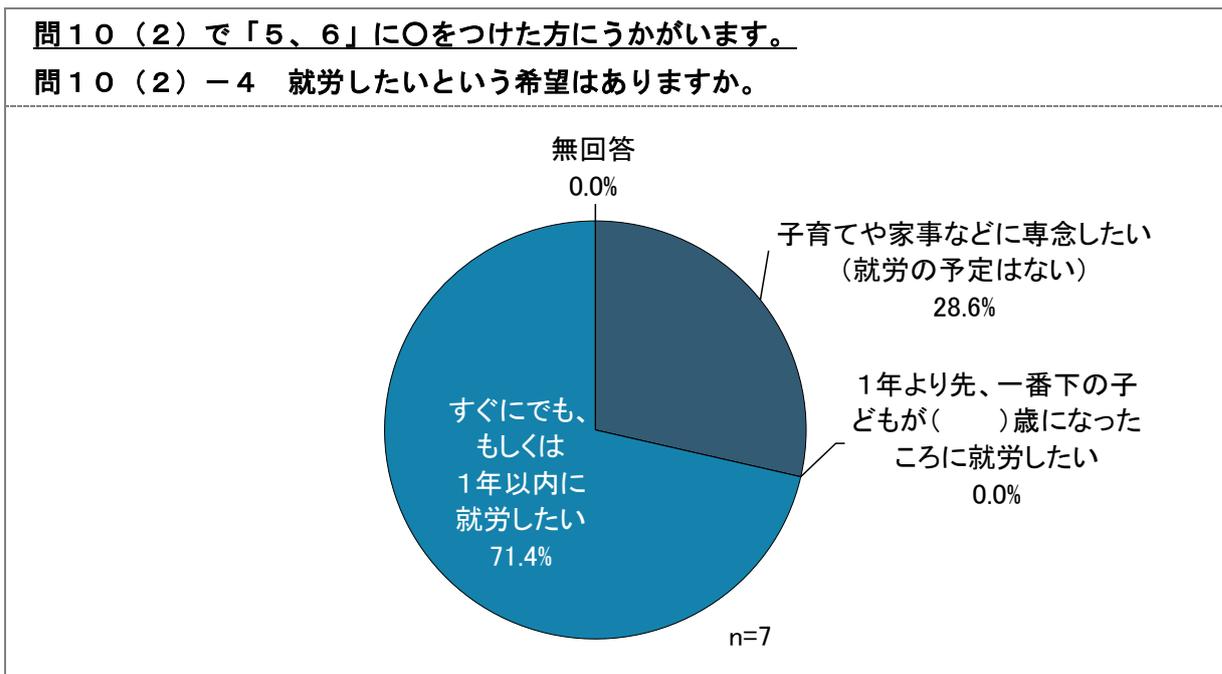
問10(2)で「3、4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10(2)-3 フルタイムへの転換(就労形態の転換)希望はありますか。



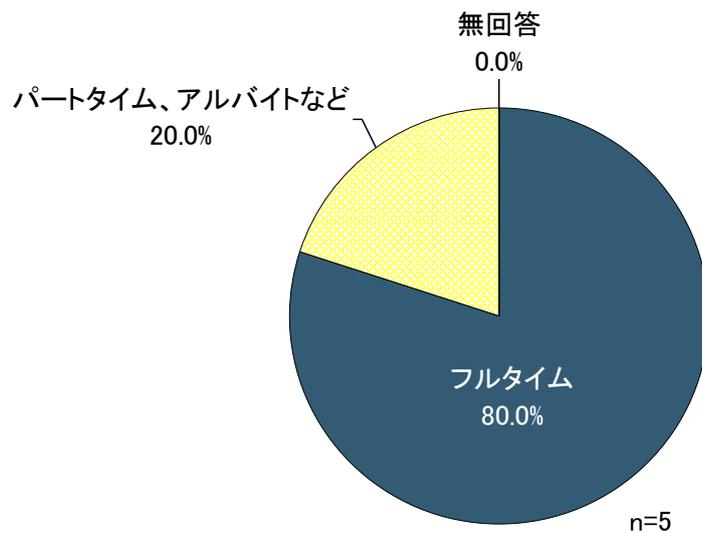
父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が80.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい」が20.0%となっている。

(10) 父親の就労希望

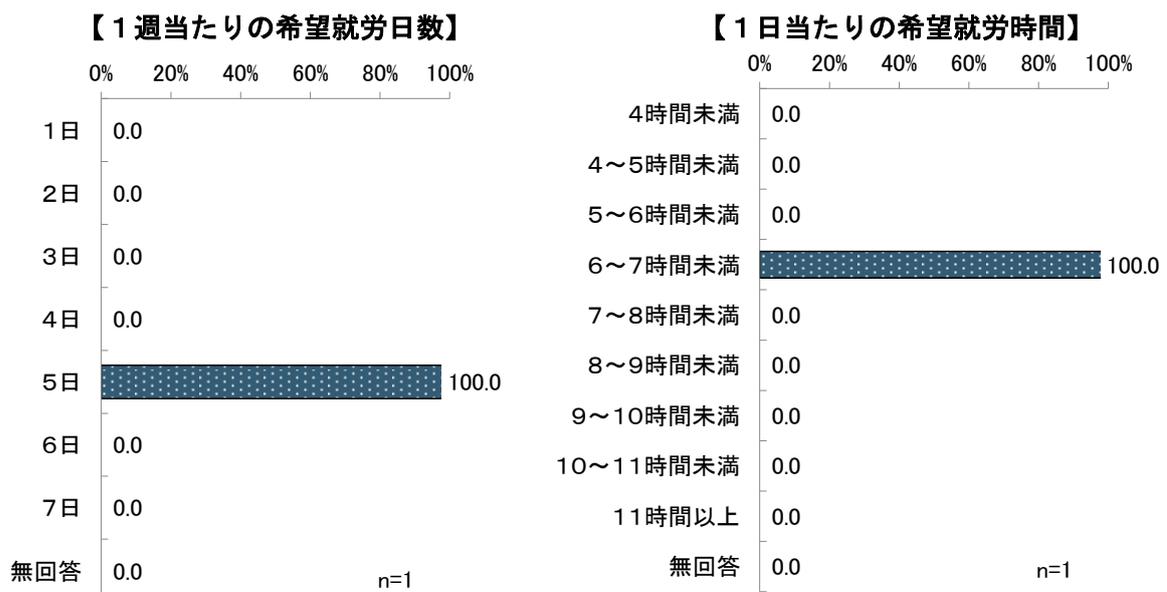


父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が71.4%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が28.6%となっている。

■すぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態



■希望する就労形態がパートタイム・アルバイトの就労日数・就労時間



父親のすぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態は、「フルタイム」が80.0%、「パートタイム・アルバイトなど」が20.0%となっている。

すぐにでも、もしくは1年以内に希望する就労形態がパートタイム・アルバイトの1週当たりの希望就労日数は、「5日」が100.0%となっている。

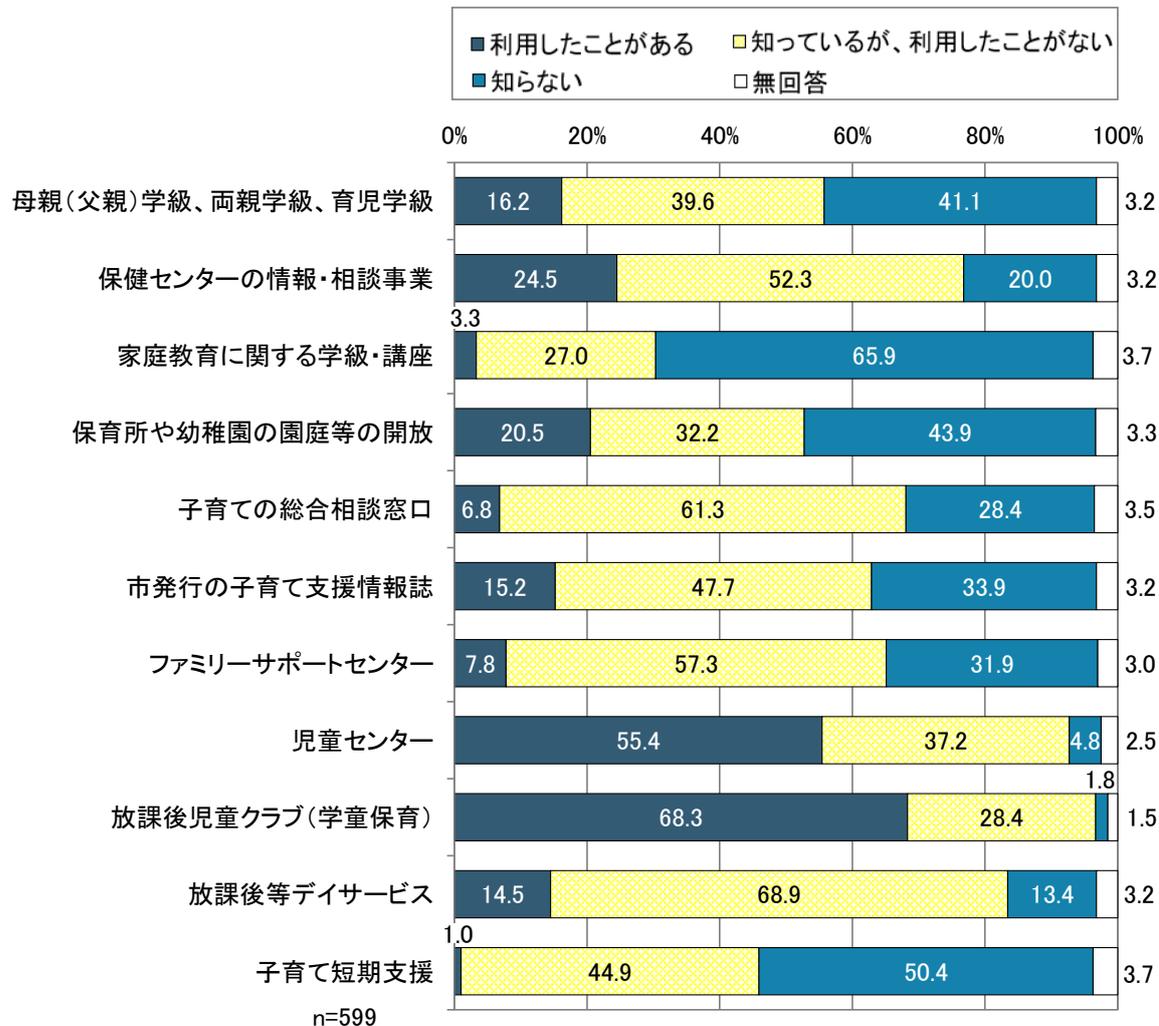
1日当たりの希望就労時間は、「6～7時間未満」が100.0%となっている。

3. 平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について

(1) 支援サービスの認知度・利用状況と今後の利用意向

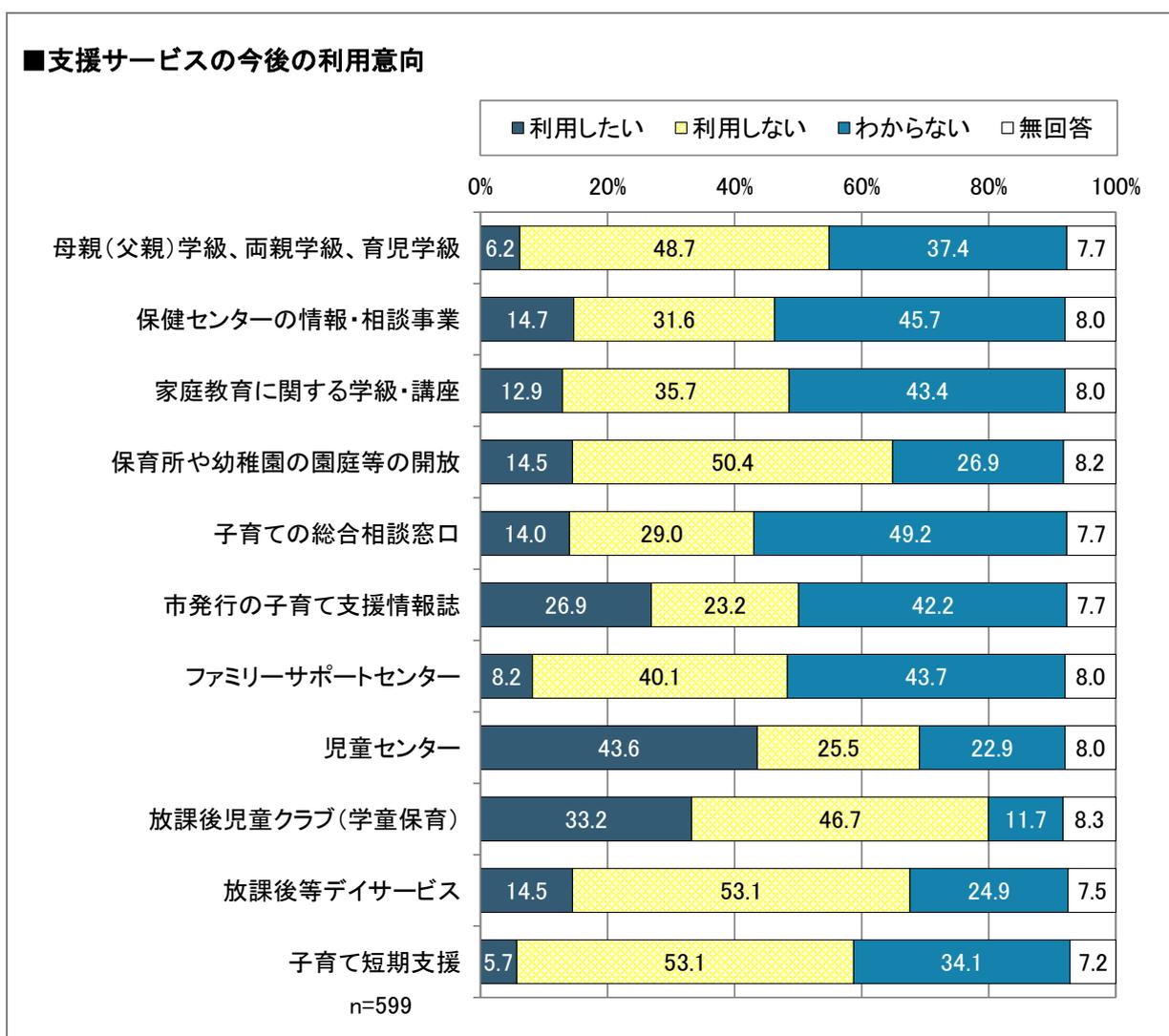
問11 下記の支援サービスをこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。それぞれのサービスごとに当てはまるものを選んでください。

■支援サービスの認知度・利用状況



支援サービスの「利用したことがある」が高い項目は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が68.3%と最も高く、次いで「児童センター」が55.4%、「保健センターの情報・相談事業」が24.5%となっている。

一方、「知らない」が高い項目は、「家庭教育に関する学級・講座」が65.9%と最も高く、次いで「子育て短期支援」が50.4%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が43.9%となっている。



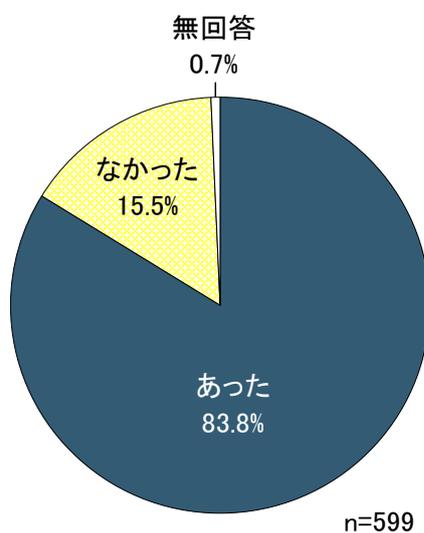
今後、支援サービスを「利用したい」が高い項目は、「児童センター」が43.6%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」が33.2%、「市発行の子育て支援情報誌」が26.9%となっている。

一方、今後「利用しない」が高い項目は、「放課後等デイサービス」「子育て短期支援」がそれぞれ53.1%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が50.4%、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が48.7%となっている。

4. 病気の際の対応について

(1) 病気やけがで学校を休まなければならなかった経験の有無

問12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。



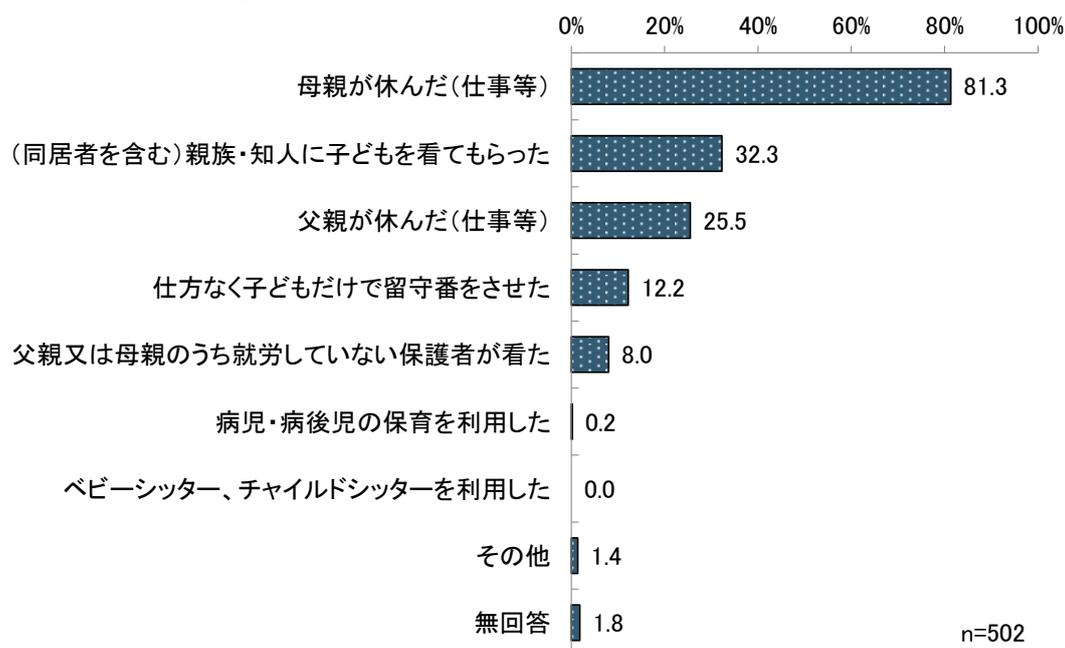
病気やけがで学校を休まなければならなかった経験の有無は、「あった」が 83.8%、「なかった」が 15.5%となっている。

(2) 病気やけがで学校を休んだり、事業の利用ができなかった際の対処方法・日数

問12で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。

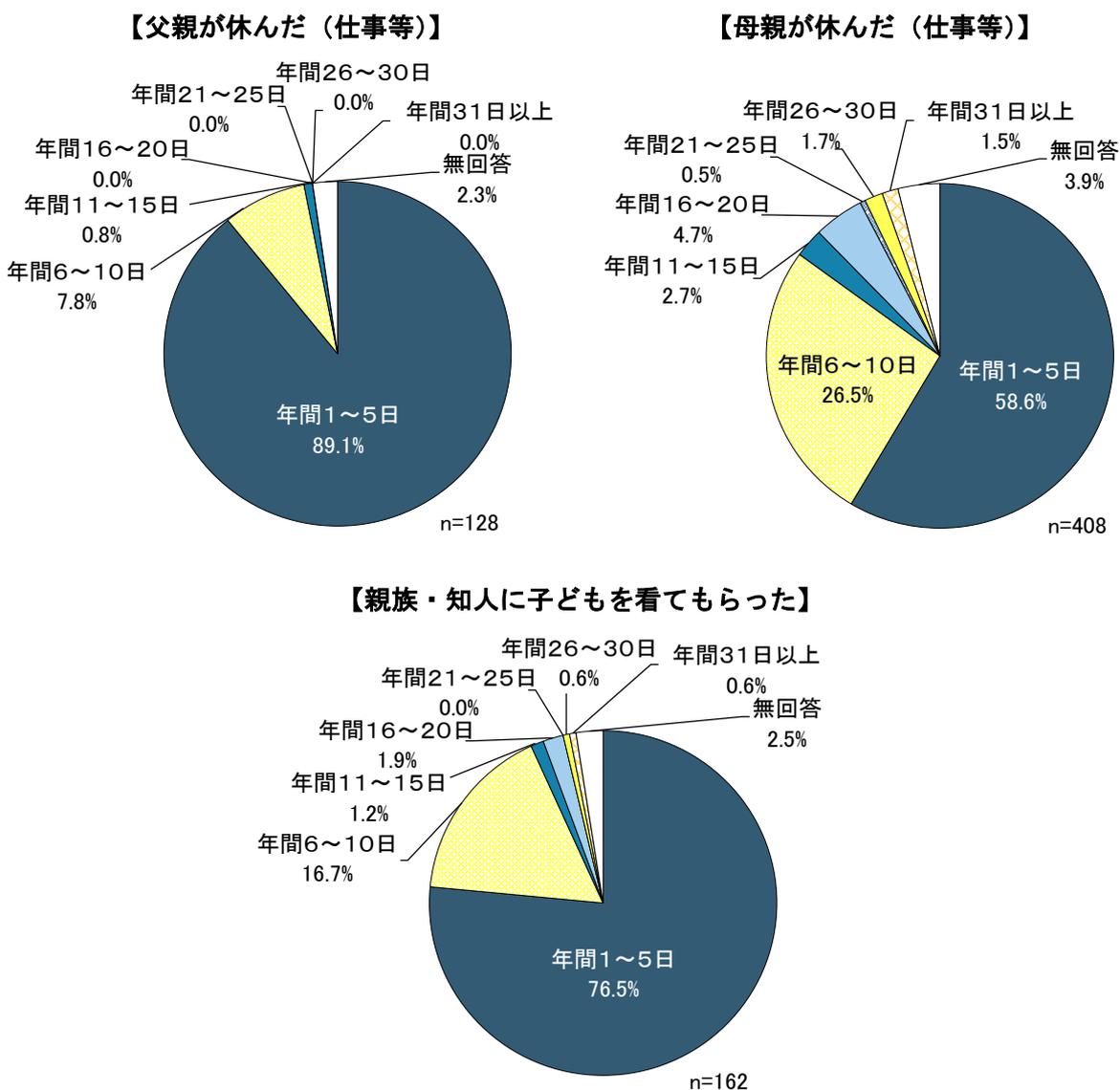
問12(1) お子さんが病気や病後(感染症など)、またはけがで学校を休んだり、放課後児童クラブ(学童保育所)などの預かりサービスが利用できなかったりしたことがあった場合の、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

■ 1年間に行った対処方法



病気やけがで学校を休んだり、事業の利用ができなかった際の対処方法は、「母親が休んだ(仕事等)」が81.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」が32.3%、「父親が休んだ(仕事等)」が25.5%となっている。

■ 1年間に行った対処方法別の日数（対処方法の上位3項目）



病気やけがで学校を休んだり、事業の利用ができなかった際の対処方法別の対処日数は、「父親が休んだ（仕事等）」では「年間1～5日」が89.1%と最も高く、次いで「年間6～10日」が7.8%、「年間11～15日」が0.8%となっている。

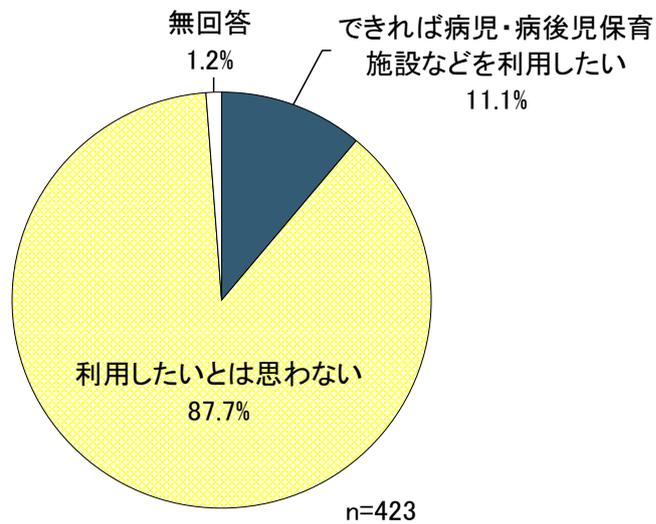
「母親が休んだ（仕事等）」では「年間1～5日」が58.6%と最も高く、次いで「年間6～10日」が26.5%、「年間16～20日」が4.7%となっている。

「親族・知人に子どもを看てもらった」では「年間1～5日」が76.5%と最も高く、次いで「年間6～10日」が16.7%、「年間16～20日」が1.9%となっている。

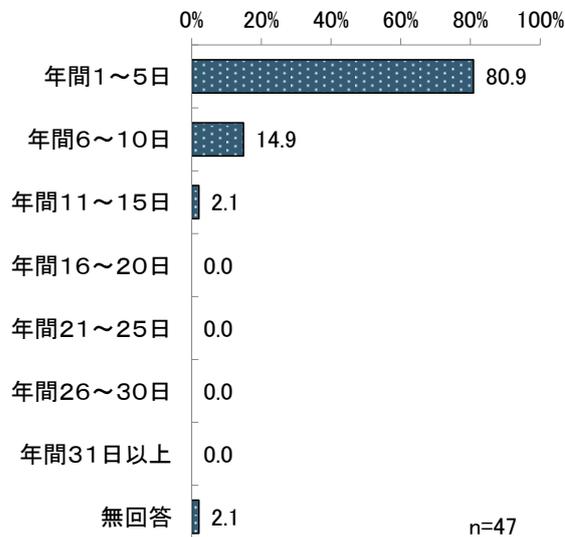
(3) 病児・病後児のための保育施設などの利用意向

問12(1)で「ア. 父親が休んだ(仕事等)」「イ. 母親が休んだ(仕事等)」のいずれかに回答した方にうかがいます。

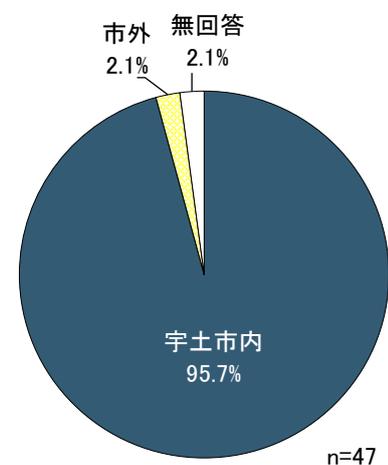
問12(2) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。



【利用を希望する日数】



【利用を希望する場所】

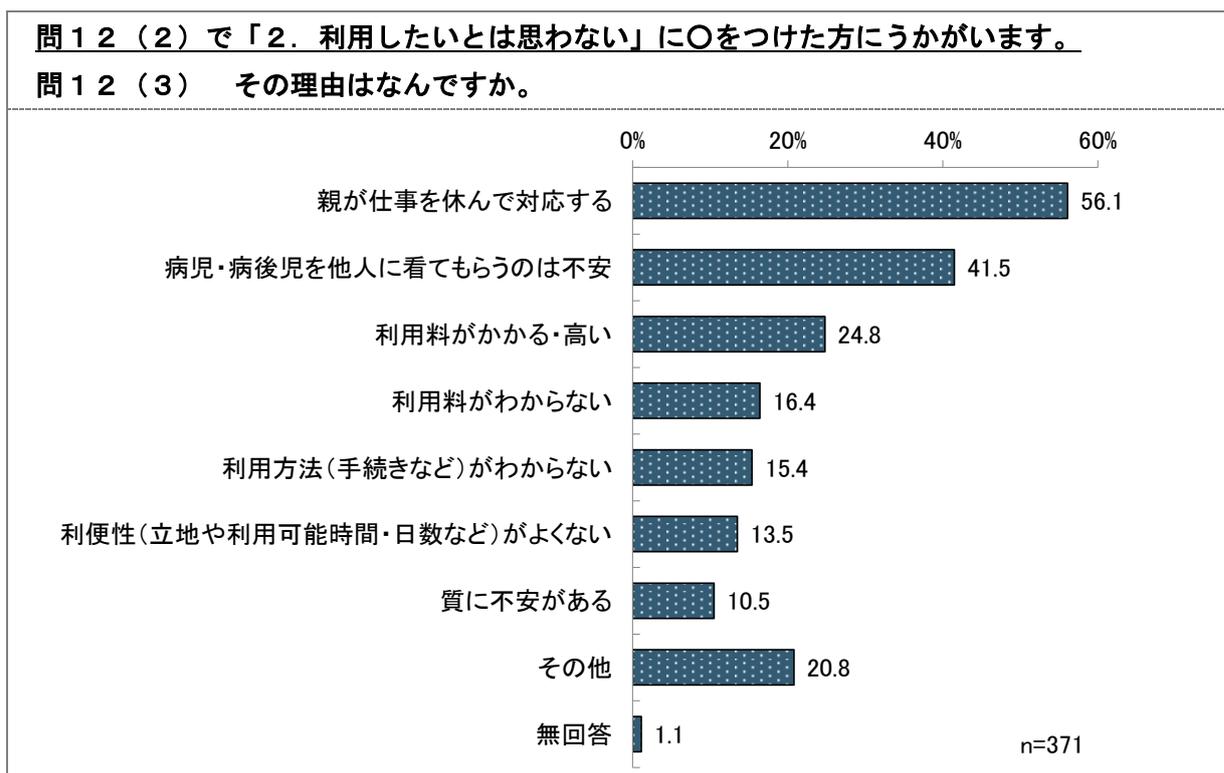


病児・病後児のための保育施設などの利用意向は、「利用したいとは思わない」が87.7%、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が11.1%となっている。

利用を希望する日数は、「年間1～5日」が80.9%と最も高く、次いで「年間6～10日」が14.9%、「年間11～15日」が2.1%となっている。

利用を希望する場所は、「宇土市内」が95.7%となっている。

(4) 病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由



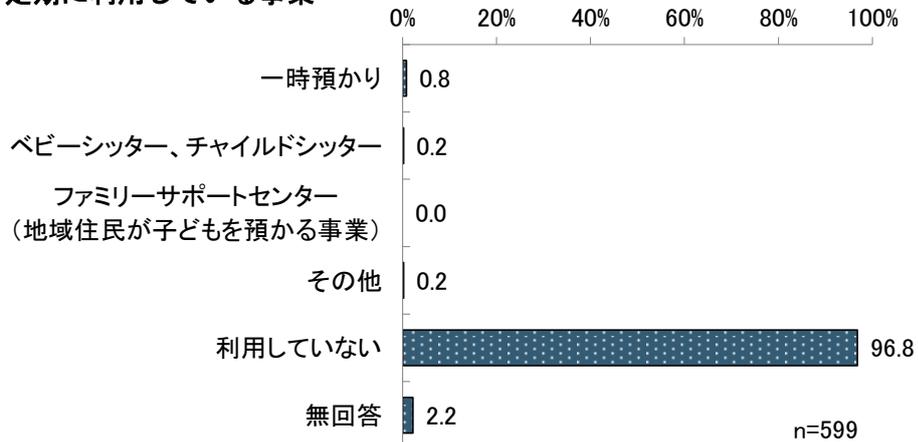
病児・病後児のための保育施設などを利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が56.1%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が41.5%、「利用料がかかる・高い」が24.8%となっている。

5. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

(1) 私用、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期的に利用している事業

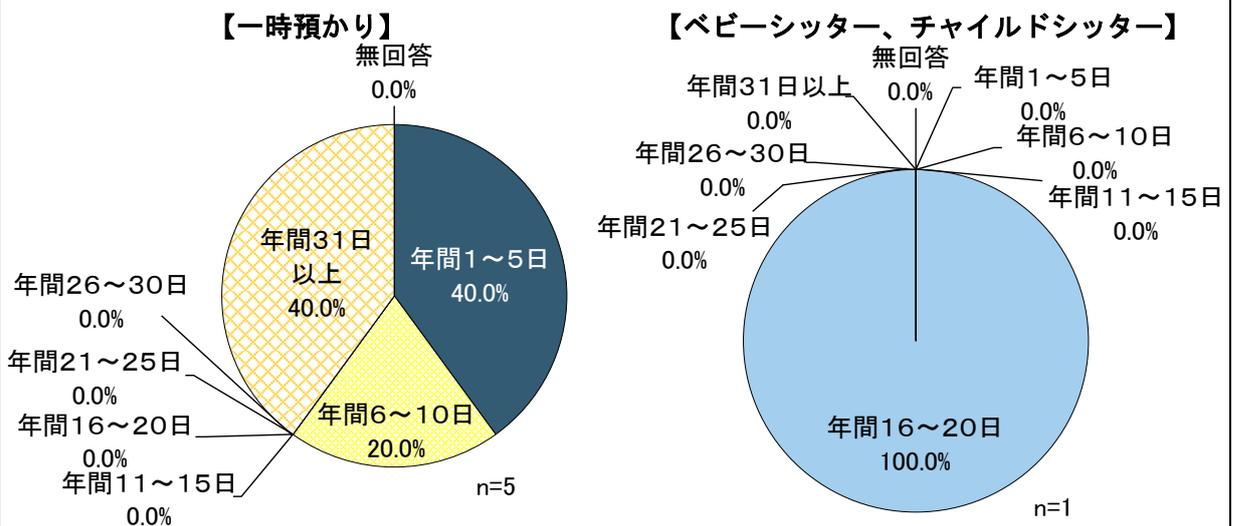
問13 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期的に利用している事業はありますか。

■ 1年間の不定期的に利用している事業



私用、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期的に利用している事業は、「一時預かり」が0.8%と最も高く、次いで「ベビーシッター、チャイルドシッター」が0.2%となっている。「利用していない」は、96.8%となっている。

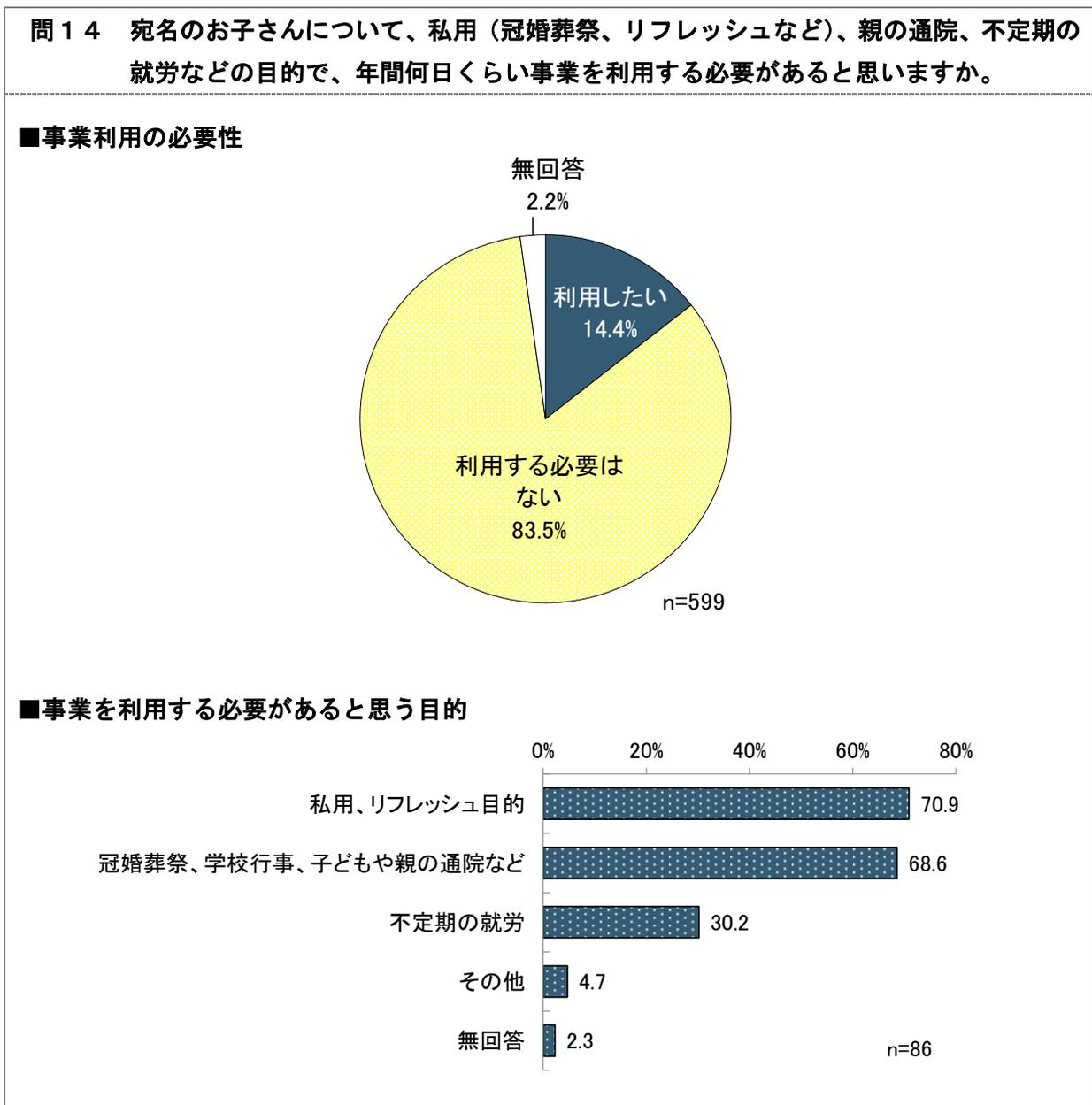
■ 1年間の不定期的に利用している事業別の日数



1年間の不定期的に利用している事業別の日数は、「一時預かり」では「年間1~5日」「年間31日以上」がそれぞれ40.0%と最も高く、次いで「年間6~10日」が20.0%となっている。

「ベビーシッター、チャイルドシッター」では「年間16~20日」が100.0%となっている。

(2) 私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業を利用する必要性

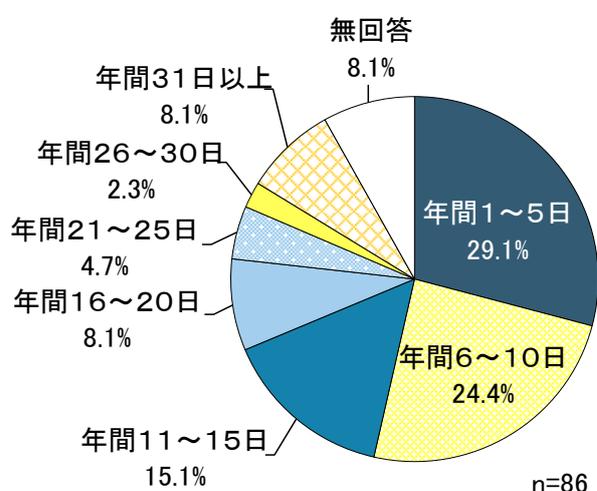


事業利用の必要性は、「利用する必要はない」が83.5%、「利用したい」が14.4%となっている。

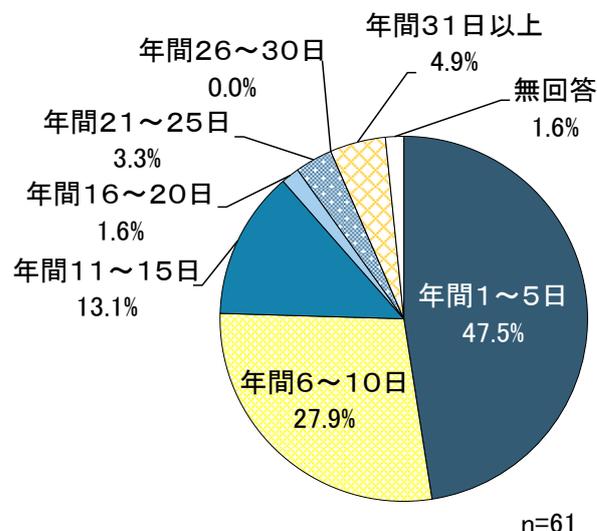
事業を利用する必要があると思う目的は、「私用、リフレッシュ目的」が70.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」が68.6%、「不定期の就労」が30.2%となっている。

■事業を利用する必要があると思う目的別の日数

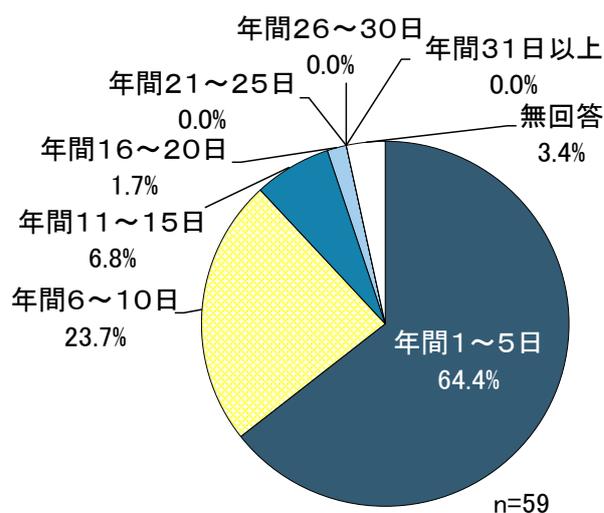
【目的別の日数の合計】



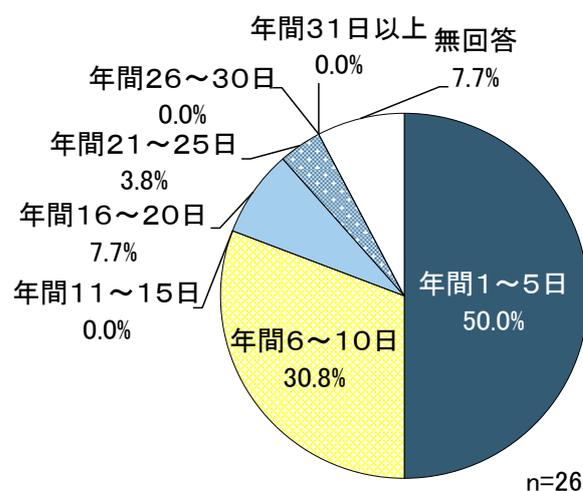
【私用、リフレッシュ目的】



【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など】



【不定期の就労】



事業を利用する必要があると思う目的別の日数の合計は、「年間1～5日」が29.1%と最も高く、次いで「年間6～10日」が24.4%、「年間11～15日」が15.1%となっている。

「私用、リフレッシュ目的」では「年間1～5日」が47.5%と最も高く、次いで「年間6～10日」が27.9%、「年間11～15日」が13.1%となっている。

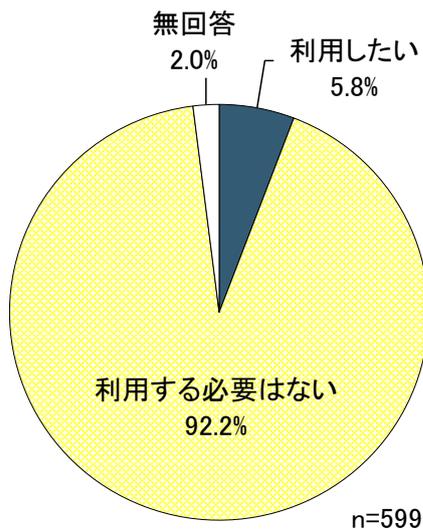
「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」では「年間1～5日」が64.4%と最も高く、次いで「年間6～10日」が23.7%、「年間11～15日」が6.8%となっている。

「不定期の就労」では「年間1～5日」が50.0%と最も高く、次いで「年間6～10日」が30.8%、「年間16～20日」が7.7%となっている。

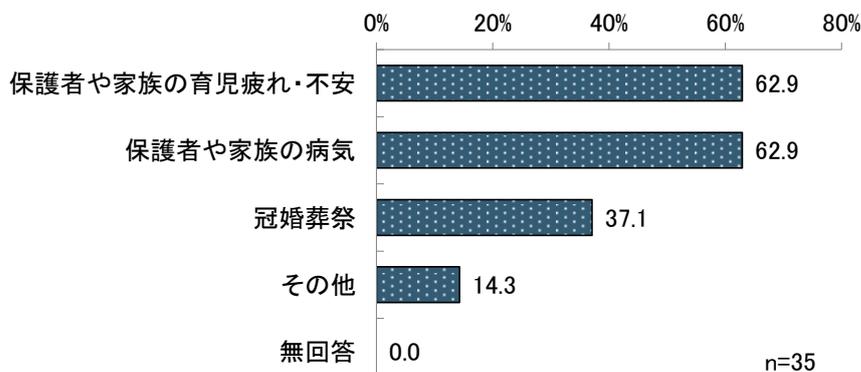
(3) 保護者の用事により泊りがけで家族以外に預ける必要があると思うか

問15 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください。）。

■短期入所生活援助事業の利用希望の有無



■短期入所生活援助事業を利用する必要があると思う目的

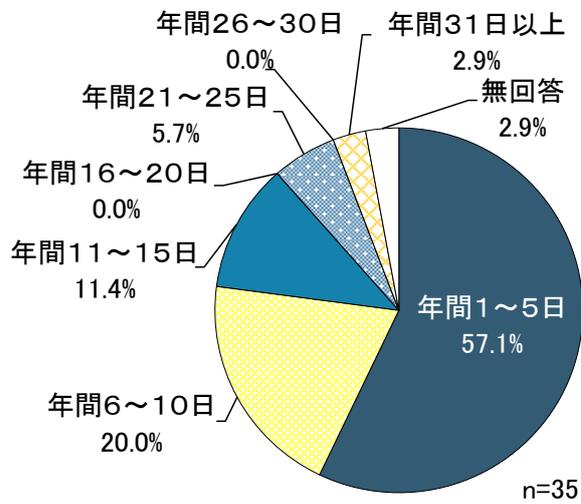


短期入所生活援助事業の利用希望の有無は、「利用する必要がある」が 92.2%、「利用したい」が 5.8%となっている。

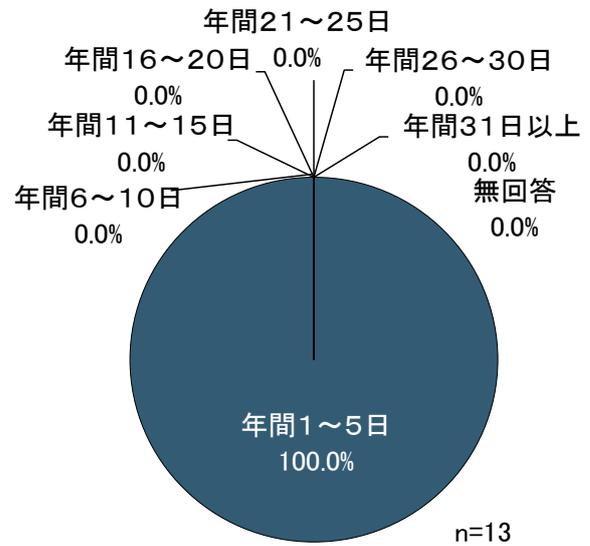
短期入所生活援助事業を利用する必要があると思う目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」がそれぞれ 62.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」が 37.1%となっている。

■短期入所生活援助事業を利用する必要があると思う目的別の泊数

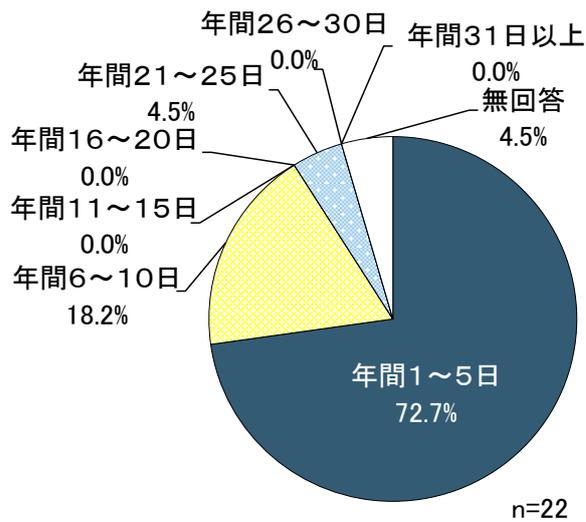
【目的別の泊数の合計】



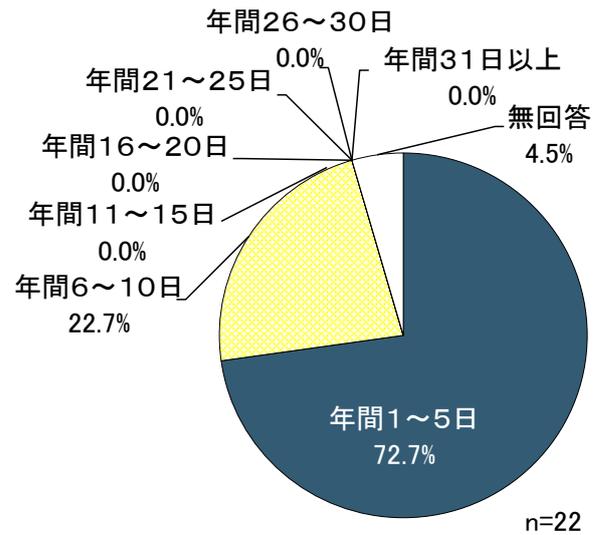
【冠婚葬祭】



【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



事業を利用する必要があると思う目的別の泊数の合計は、「年間1～5日」が57.1%と最も高く、次いで「年間6～10日」が20.0%、「年間11～15日」が11.4%となっている。

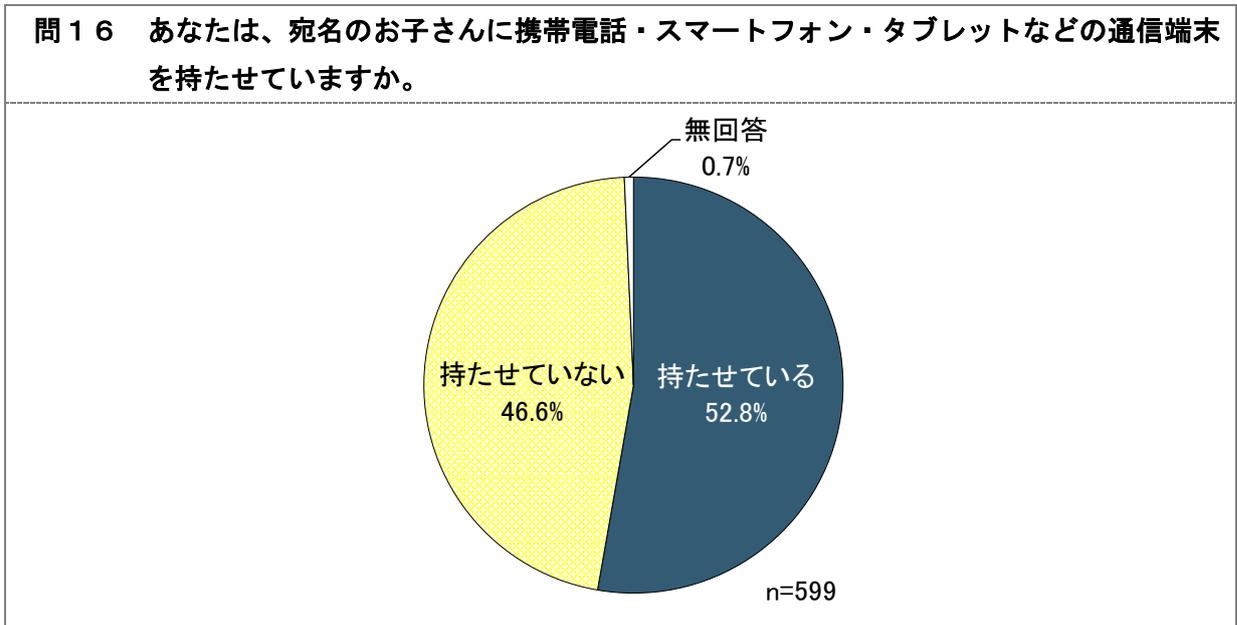
「冠婚葬祭」では「年間1～5日」が100.0%となっている。

「保護者や家族の育児疲れ・不安」では「年間1～5日」が72.7%と最も高く、次いで「年間6～10日」が18.2%、「年間21～25日」が4.5%となっている。

「保護者や家族の病気」では「年間1～5日」が72.7%と最も高く、次いで「年間6～10日」が22.7%となっている。

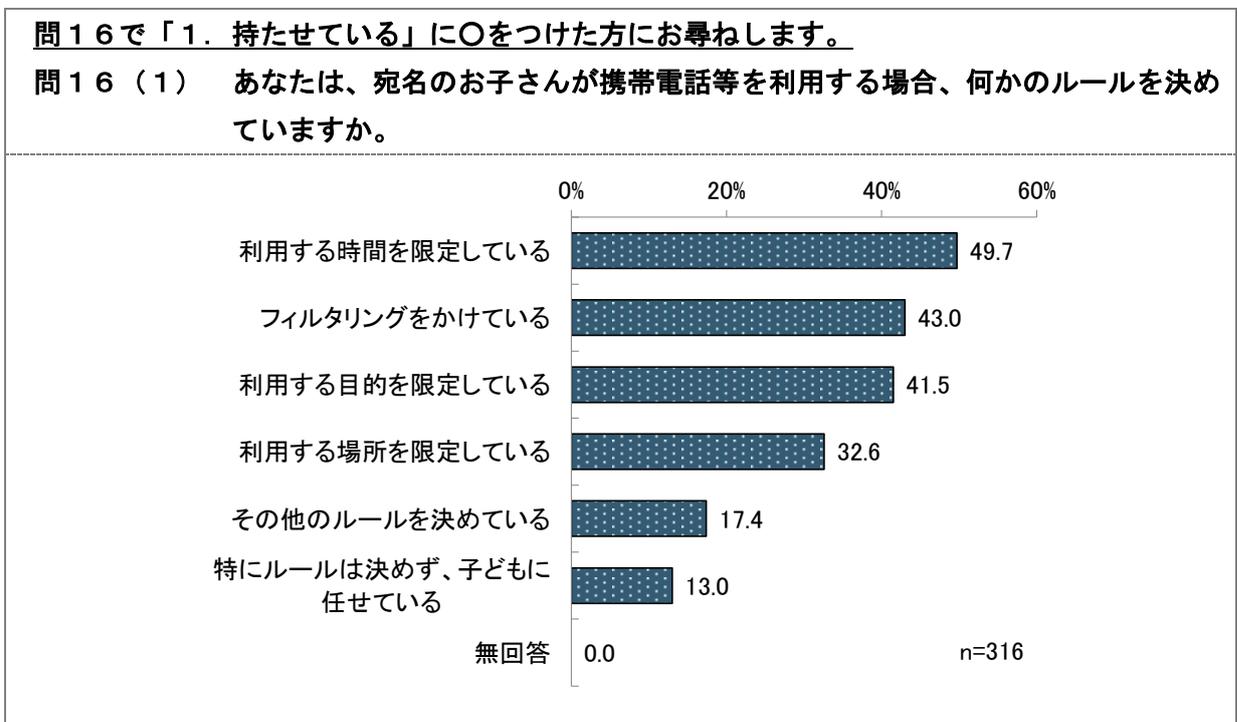
6. 通信端末の利用について

(1) 通信端末を持たせているか



通信端末を持たせているかは、「持っている」が52.8%、「持たせていない」が46.6%となっている。

(2) 携帯電話等を利用する場合のルールを決めているか

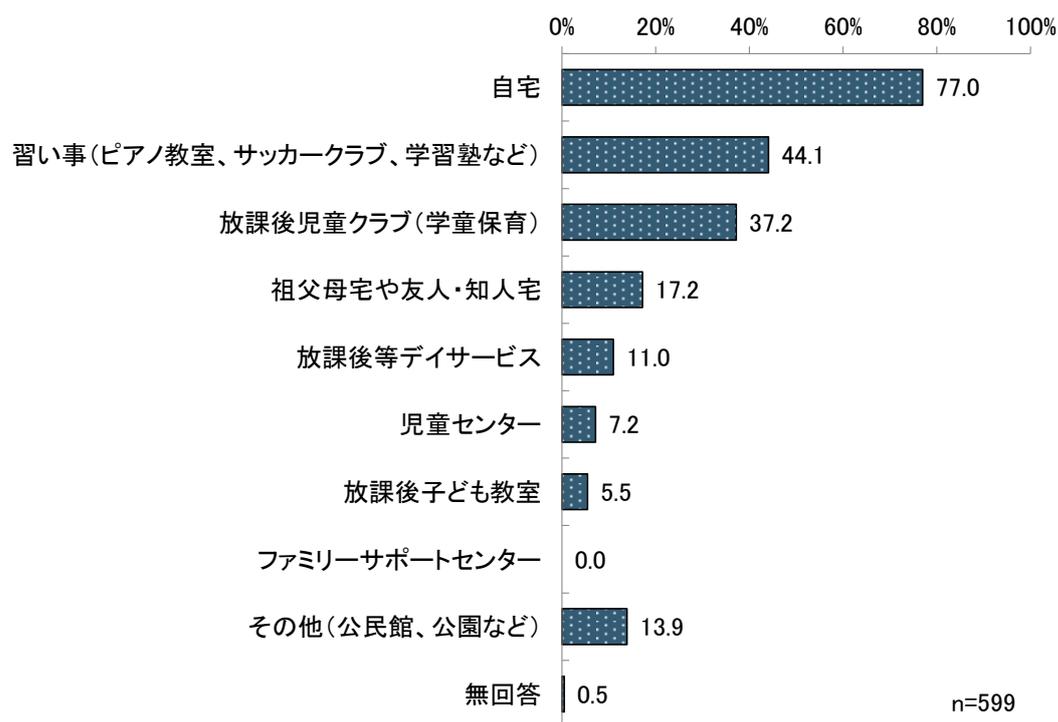


携帯電話等を利用する場合のルールを決めているかは、「利用する時間を限定している」が49.7%と最も高く、次いで「フィルタリングをかけている」が43.0%、「利用する目的を限定している」が41.5%となっている。

7. 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後に過ごしている場所

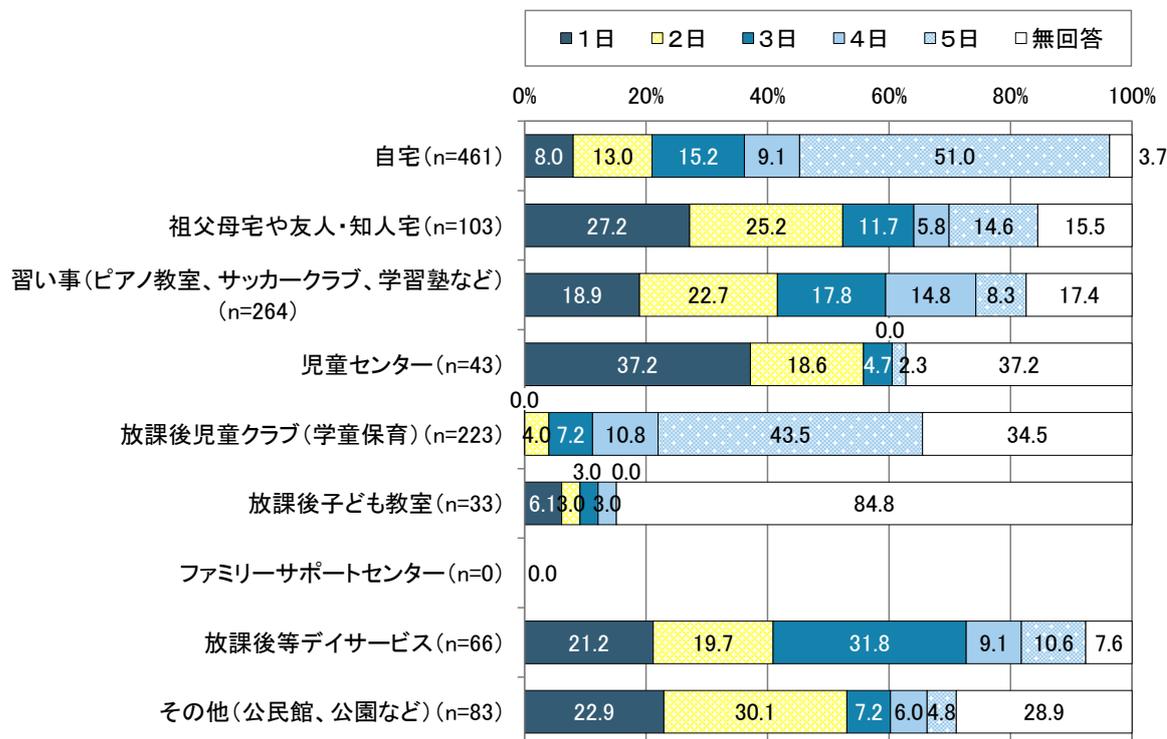
問17 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（過ごさせたいと思いますか）。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ現状と希望する（該当する）週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、現状の利用時間と利用を希望する時間も数字でご記入ください。



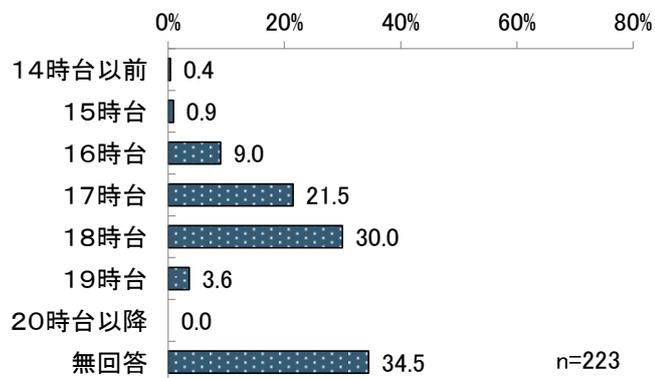
平日の放課後に過ごしている場所は、「自宅」が77.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が44.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が37.2%となっている。

■平日の放課後に過ごしている場所別の週あたりの日数

【現状】



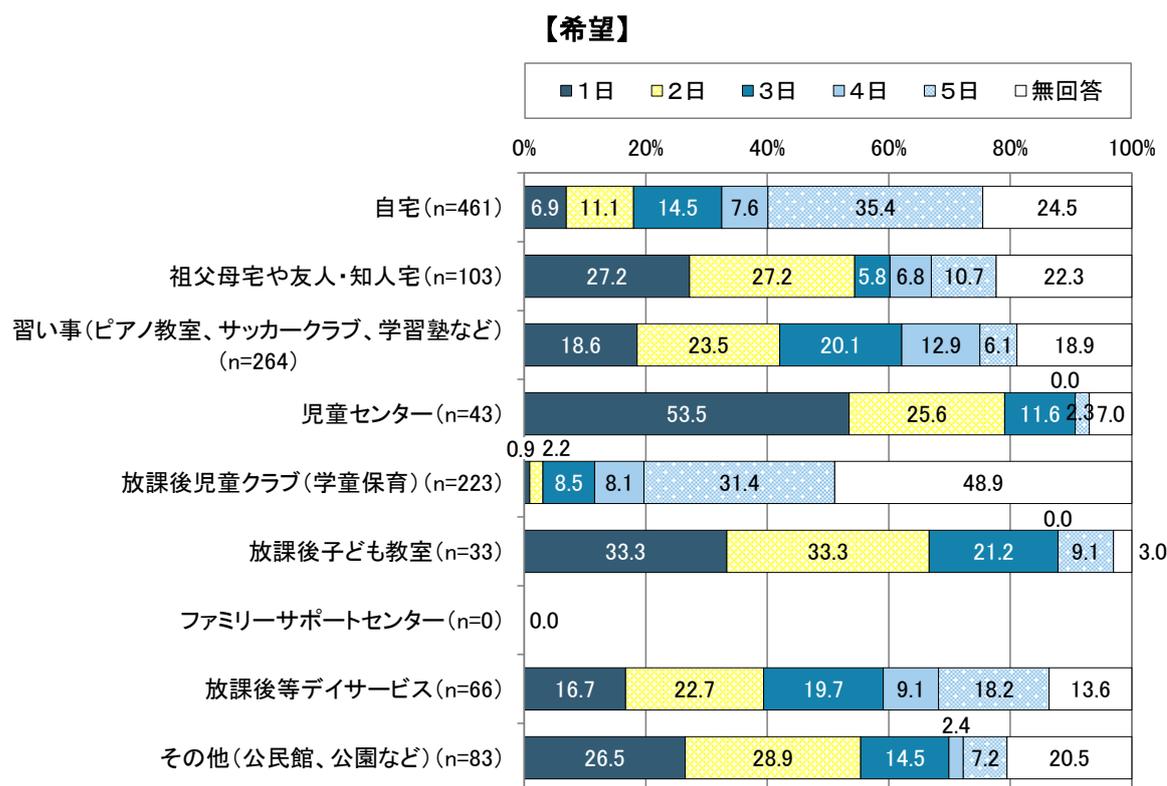
【放課後児童クラブで過ごしている下校時からの利用終了時間】



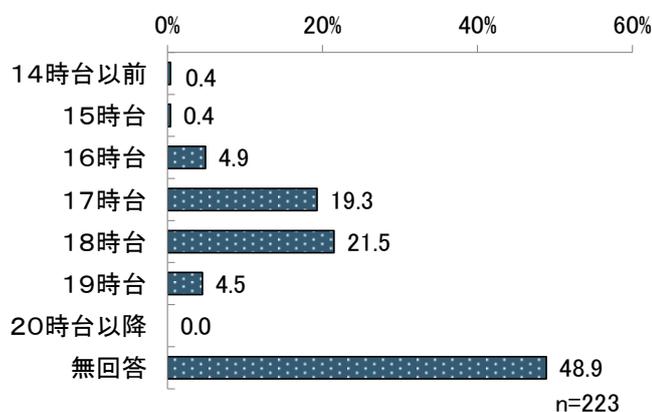
平日の放課後に過ごしている場所別の週あたりの日数は、自宅は「5日」(51.0%)、祖父母宅や友人・知人宅は「1日」(27.2%)、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)は「2日」(22.7%)、児童センターは「1日」(37.2%)、放課後児童クラブ(学童保育)は「5日」(43.5%)、放課後子ども教室は「1日」(6.1%)、放課後等デイサービスは「3日」(31.8%)がそれぞれ最も高くなっている。

放課後児童クラブで過ごしている下校時からの利用終了時間は、「18時台」が30.0%と最も高く、次いで「17時台」が21.5%、「16時台」が9.0%となっている。

■平日の放課後に過ごさせたいと思う場所別の週あたりの日数



【放課後児童クラブで過ごさせたいと思う下校時からの利用終了時間】



平日の放課後に過ごさせたいと思う場所別の週あたりの日数は、自宅は「5日」(35.4%)、祖父母宅や友人・知人宅は「1日」「2日」(それぞれ27.2%)、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)は「2日」(23.5%)、児童センターは「1日」(53.5%)、放課後児童クラブ(学童保育)は「5日」(31.4%)、放課後子ども教室は「1日」「2日」(それぞれ33.3%)、放課後等デイサービスは「2日」(22.7%)がそれぞれ最も高くなっている。

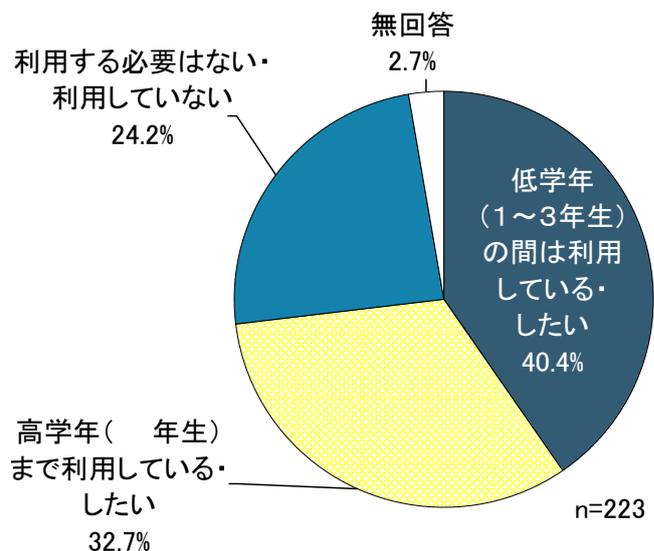
放課後児童クラブで過ごさせたいと思う下校時からの利用終了時間は、「18時台」が21.5%と最も高く、次いで「17時台」が19.3%、「16時台」が4.9%となっている。

(2) 平日、土曜日、日・祝日及び長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況

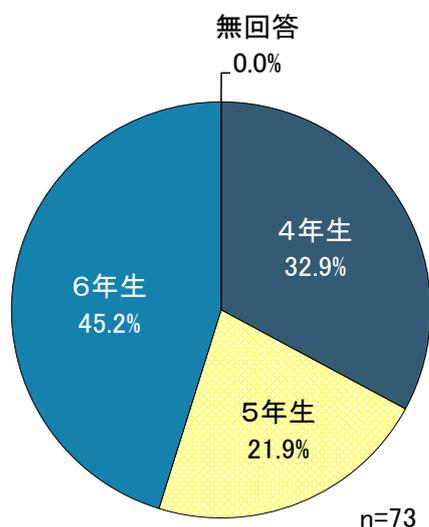
問17で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。

問18 宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか、また利用していますか。平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて回答してください。

■平日の利用状況と利用意向

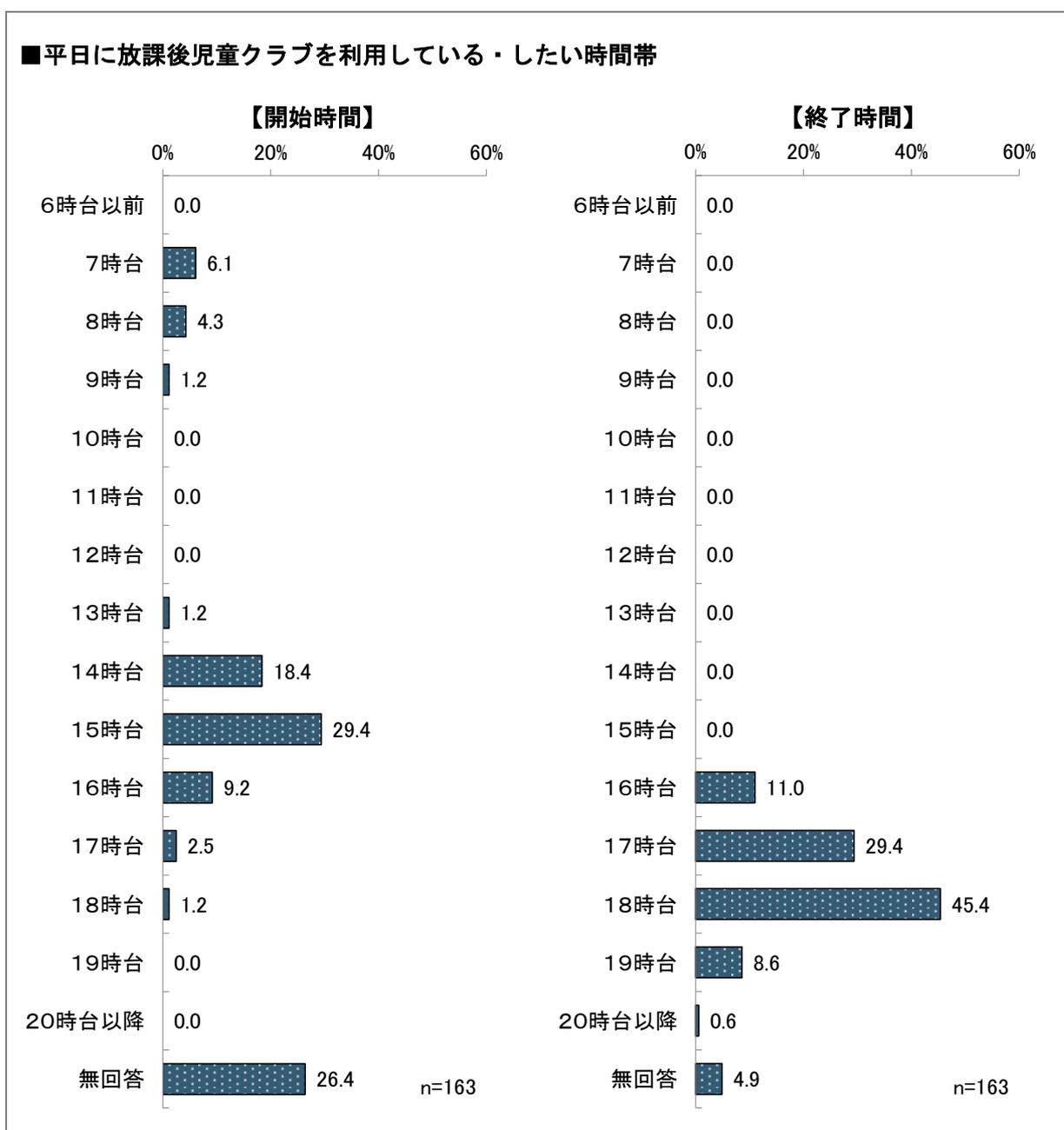


【高学年まで利用している・したい場合の学年】



平日の放課後児童クラブの利用状況と利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用している・したい」が40.4%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）まで利用している・したい」が32.7%、「利用する必要はない・利用していない」が24.2%となっている。

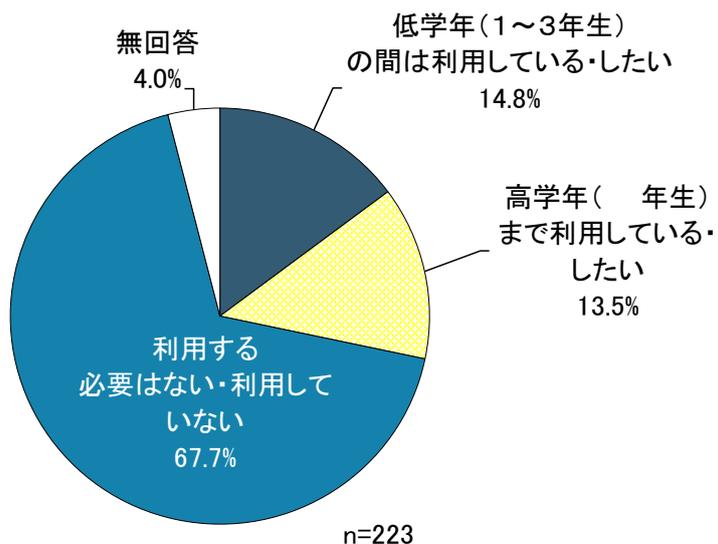
平日の高学年まで利用している・したい場合の学年は、「6年生」が45.2%と最も高く、次いで「4年生」が32.9%、「5年生」が21.9%となっている。



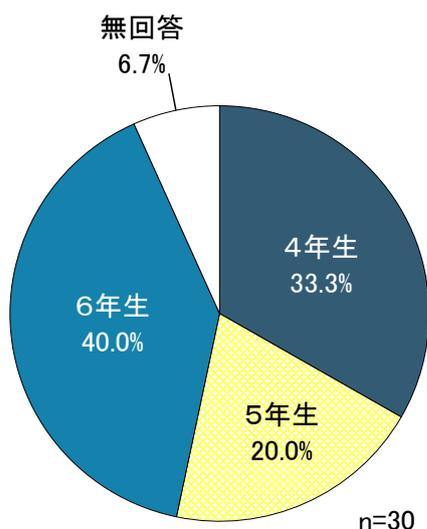
平日に放課後児童クラブを利用している・したい開始時間は、「15時台」が29.4%と最も高く、次いで「14時台」が18.4%、「16時台」が9.2%となっている。

平日に放課後児童クラブを利用している・したい終了時間は、「18時台」が45.4%と最も高く、次いで「17時台」が29.4%、「16時台」が11.0%となっている。

■土曜日の利用状況と利用意向

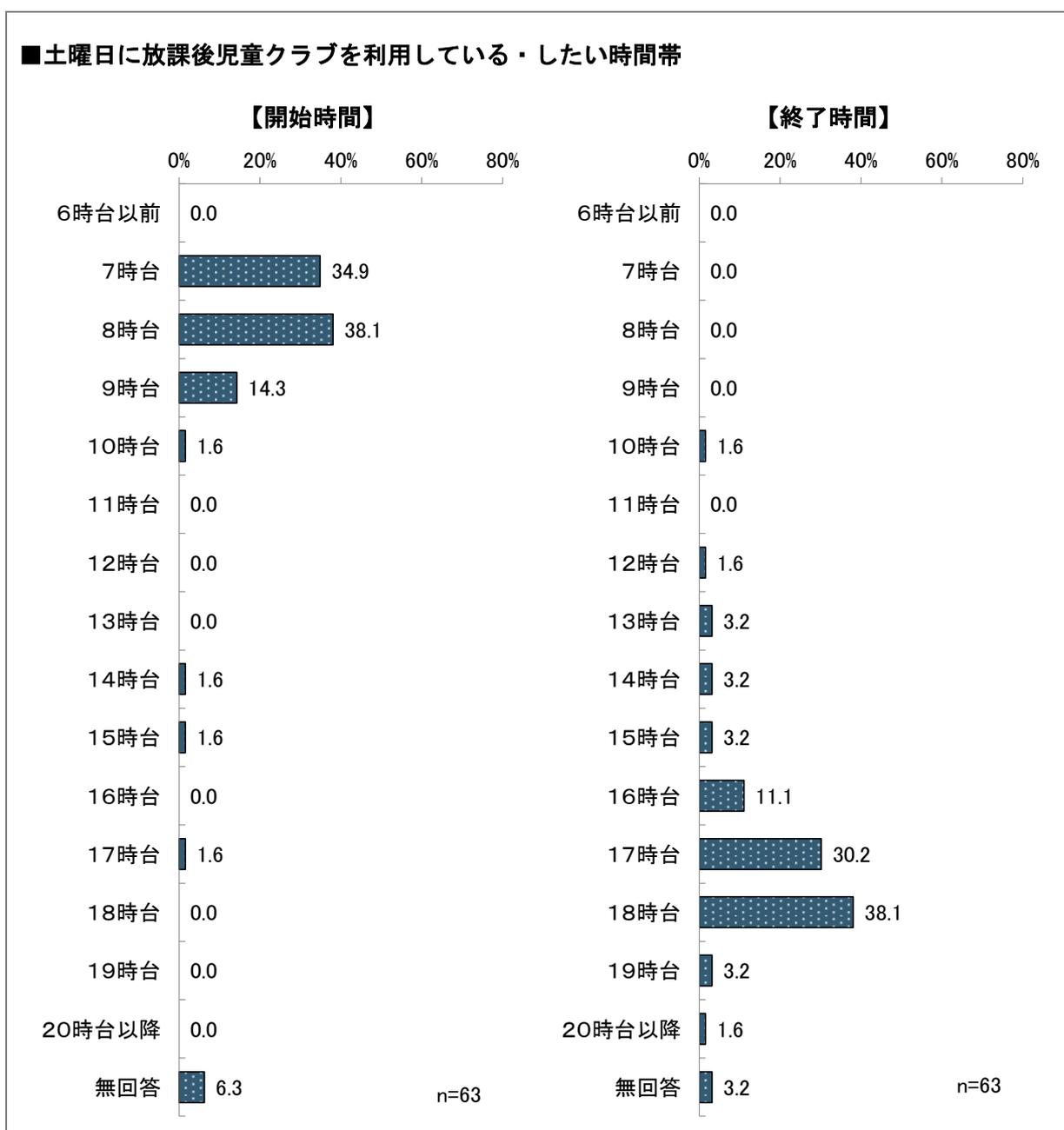


【高学年まで利用している・したい場合の学年】



土曜日の放課後児童クラブの利用状況と利用意向は、「利用する必要はない・利用していない」が67.7%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用している・したい」が14.8%、「高学年(4年生)まで利用している・したい」が13.5%となっている。

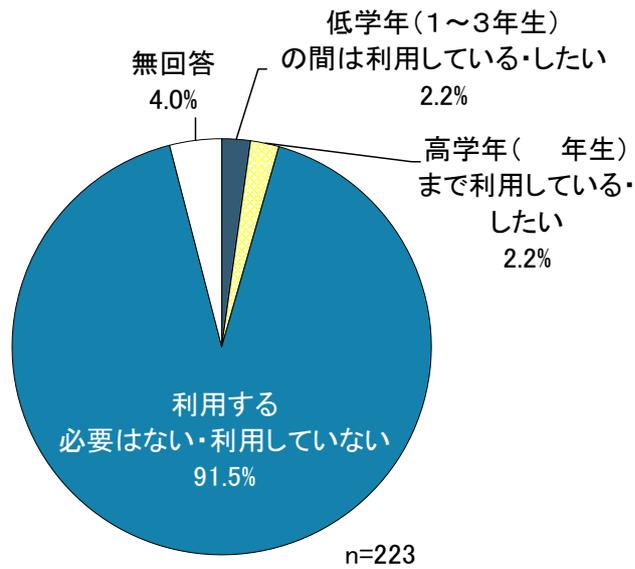
土曜日の高学年まで利用している・したい場合の学年は、「6年生」が40.0%と最も高く、次いで「4年生」が33.3%、「5年生」が20.0%となっている。



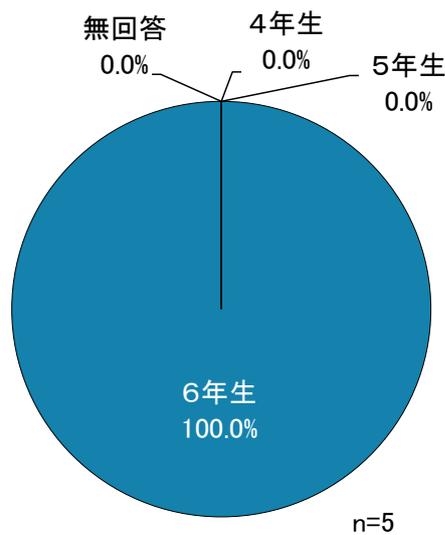
土曜日に放課後児童クラブを利用している・したい開始時間は、「8時台」が38.1%と最も高く、次いで「7時台」が34.9%、「9時台」が14.3%となっている。

土曜日に放課後児童クラブを利用している・したい終了時間は、「18時台」が38.1%と最も高く、次いで「17時台」が30.2%、「16時台」が11.1%となっている。

■日曜日・祝日の利用状況と利用意向

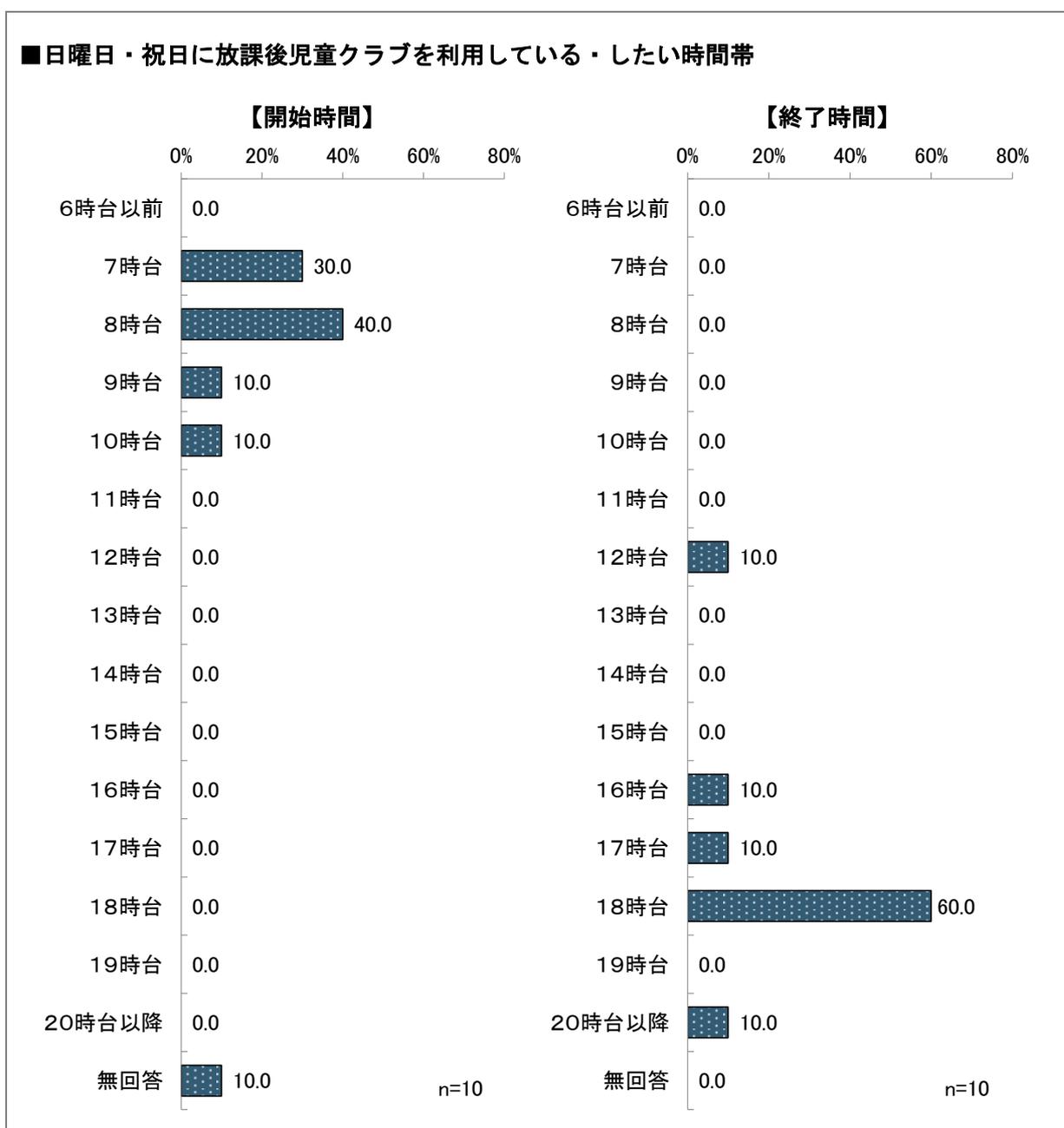


【高学年まで利用している・したい場合の学年】



日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用状況と利用意向は、「利用する必要はない・利用していない」が91.5%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用している・したい」「高学年(年生)まで利用している・したい」がそれぞれ2.2%となっている。

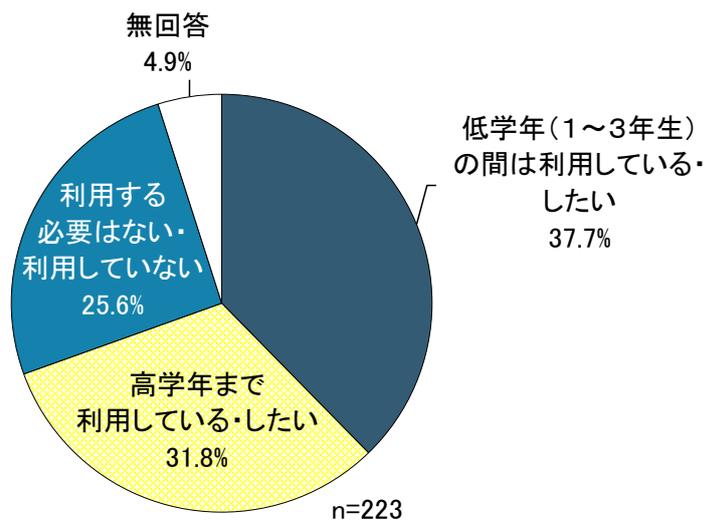
日曜日・祝日の高学年まで利用している・したい場合の学年は、「6年生」が100.0%となっている。



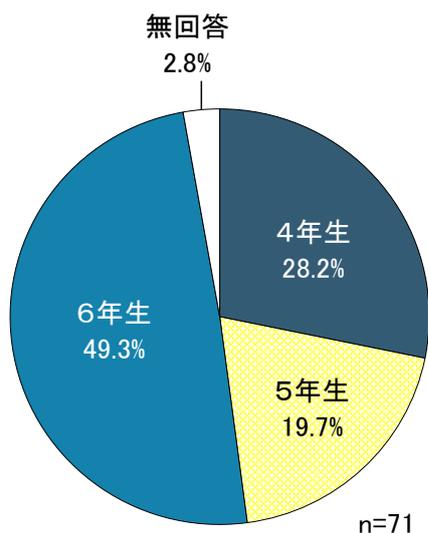
日曜日・祝日に放課後児童クラブを利用している・したい開始時間は、「8時台」が40.0%と最も高く、次いで「7時台」が30.0%、「9時台」「10時台」がそれぞれ10.0%となっている。

日曜日・祝日に放課後児童クラブを利用している・したい終了時間は、「18時台」が60.0%と最も高く、次いで「16時台」「17時台」「20時台以降」がそれぞれ10.0%となっている。

■長期休暇中の利用状況と利用意向



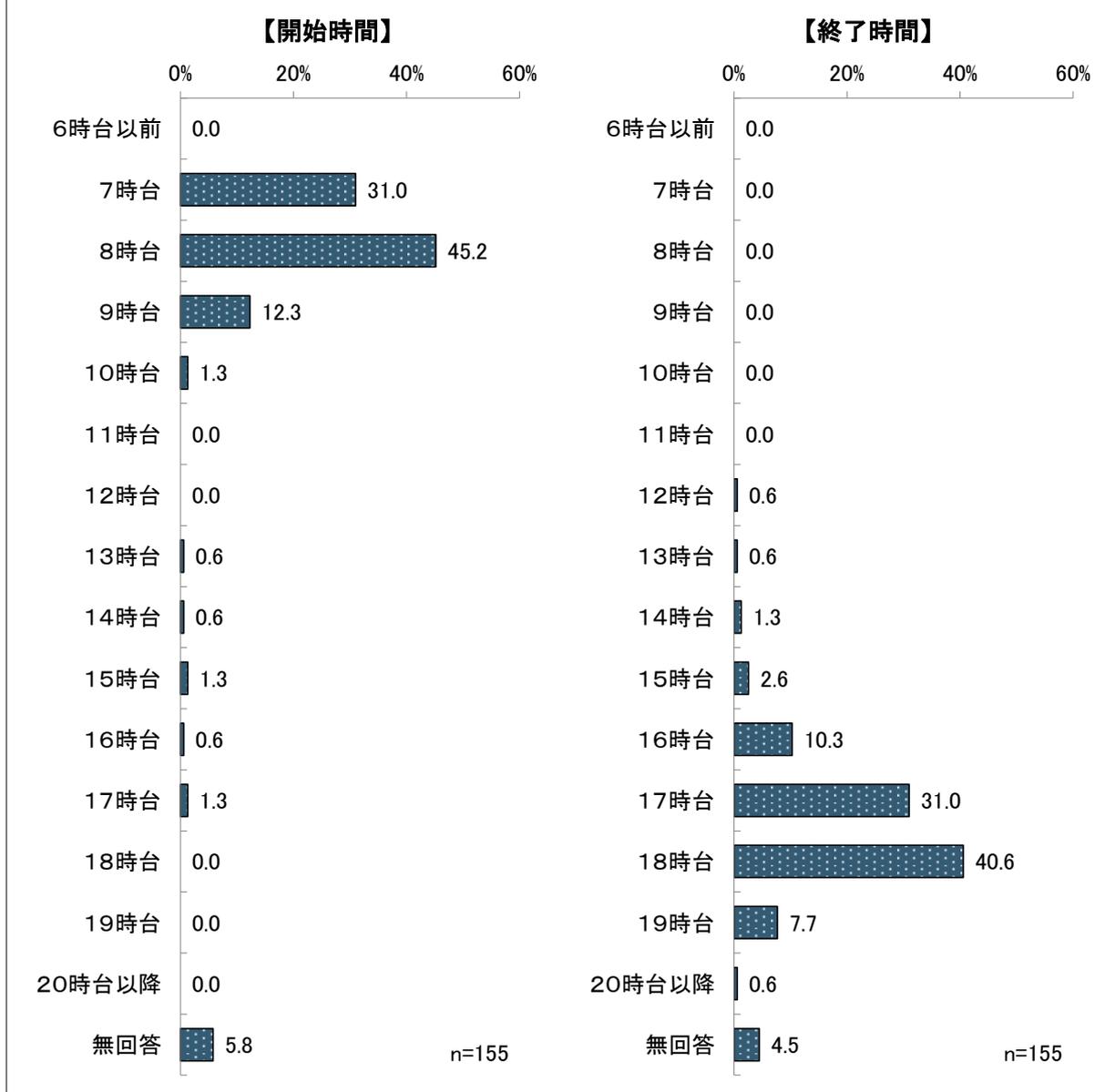
【高学年まで利用している・したい場合の学年】



長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況と利用意向は、「低学年（1～3年生）の間は利用している・したい」が37.7%と最も高く、次いで「高学年（ 年生）まで利用している・したい」が31.8%、「利用する必要はない・利用していない」が25.6%となっている。

長期休暇中の高学年まで利用している・したい場合の学年は、「6年生」が49.3%と最も高く、次いで「4年生」が28.2%、「5年生」が19.7%となっている。

■長期休暇中に放課後児童クラブを利用している・したい時間帯



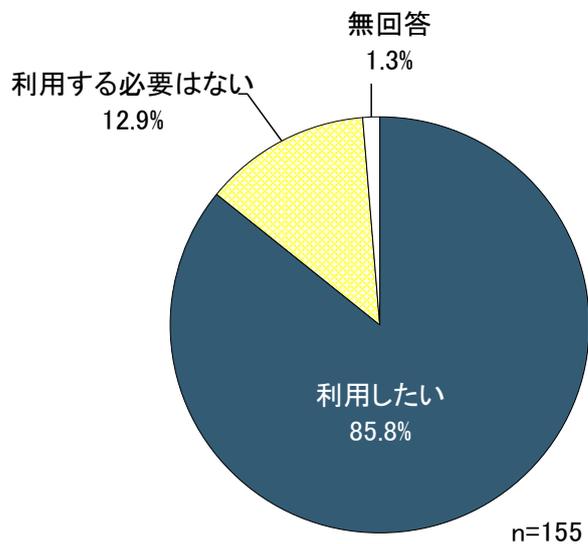
長期休暇中に放課後児童クラブを利用している・したい開始時間は、「8時台」が45.2%と最も高く、次いで「7時台」が31.0%、「9時台」が12.3%となっている。

長期休暇中に放課後児童クラブを利用している・したい終了時間は、「18時台」が40.6%と最も高く、次いで「17時台」が31.0%、「16時台」が10.3%となっている。

(3) 長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）で昼食提供があった場合の利用意向

問18(4)で「1、2」に○をつけた方にうかがいます。

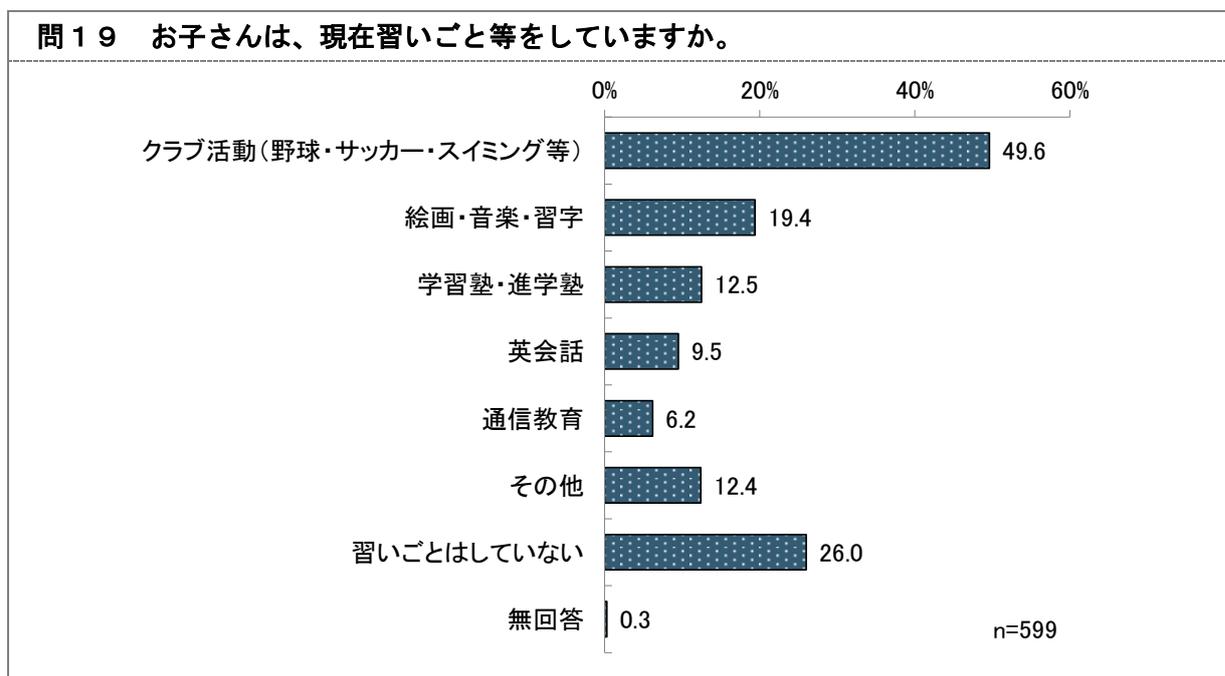
問18(4)－1 長期休暇中にお弁当等の昼食の提供（有料）があった場合、利用したいですか。



長期休暇中に放課後児童クラブ（学童保育）で昼食提供があった場合の利用意向は、「利用したい」が85.8%、「利用する必要はない」が12.9%となっている。

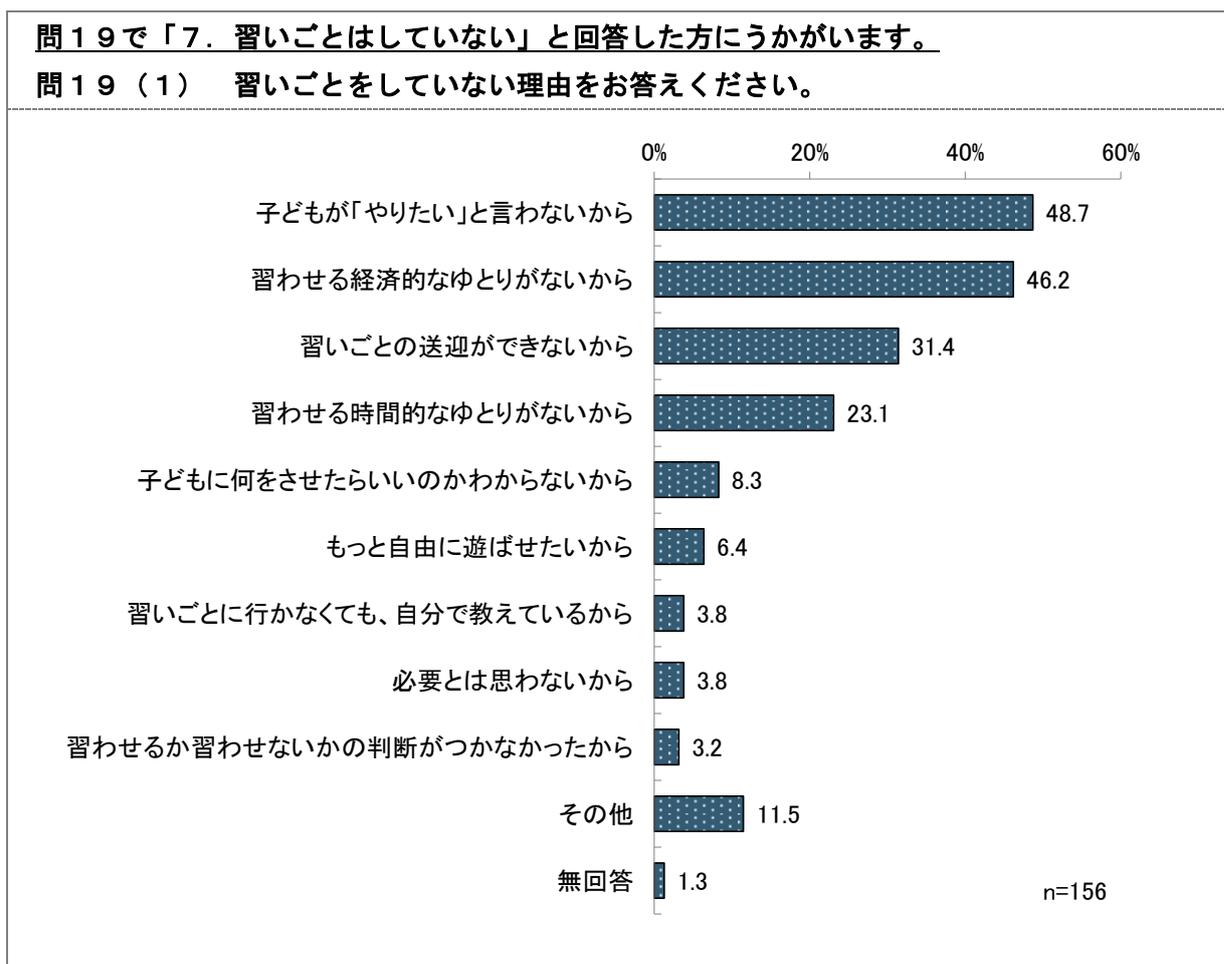
8. 習いごとについて

(1) 習いごとをしているか



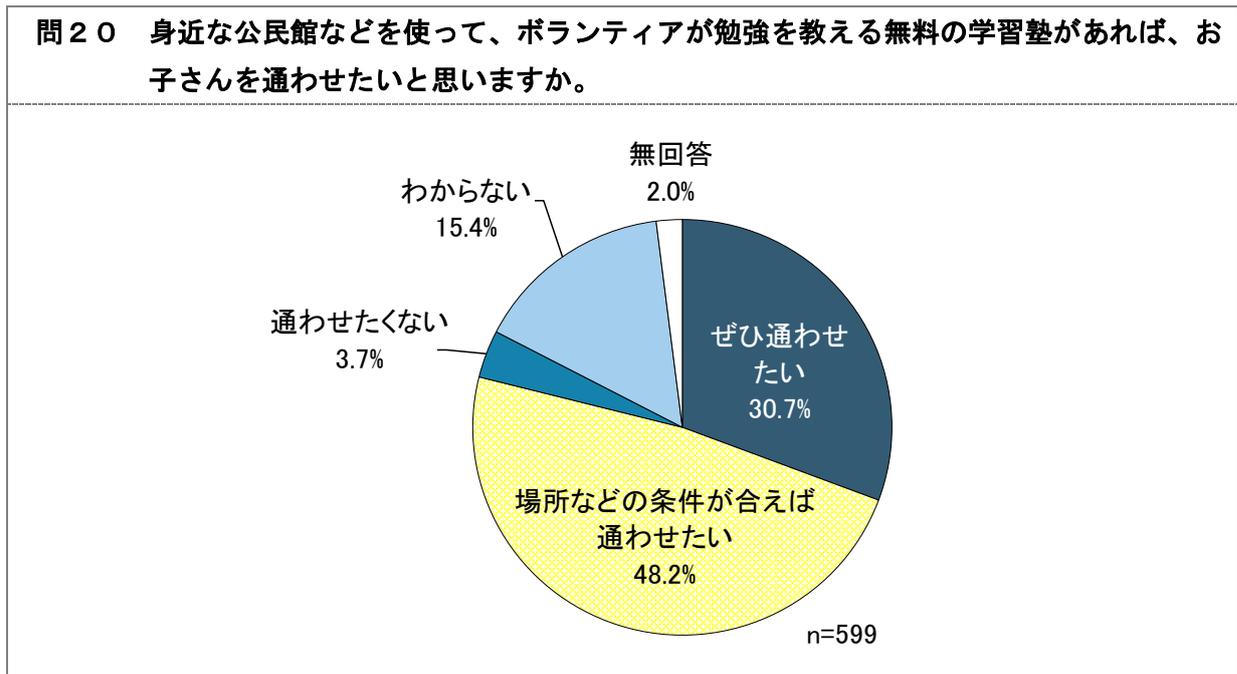
習いごとをしているかは、「クラブ活動(野球・サッカー・スイミング等)」が49.6%と最も高く、次いで「絵画・音楽・習字」が19.4%、「学習塾・進学塾」が12.5%となっている。「習いごとはしていない」は26.0%となっている。

(2) 習いごとをしていない理由



習いごとをしていない理由は、「子どもが「やりたい」と言わないから」が48.7%と最も高く、次いで「習わせる経済的なゆとりがないから」が46.2%、「習いごとの送迎ができないから」が31.4%となっている。

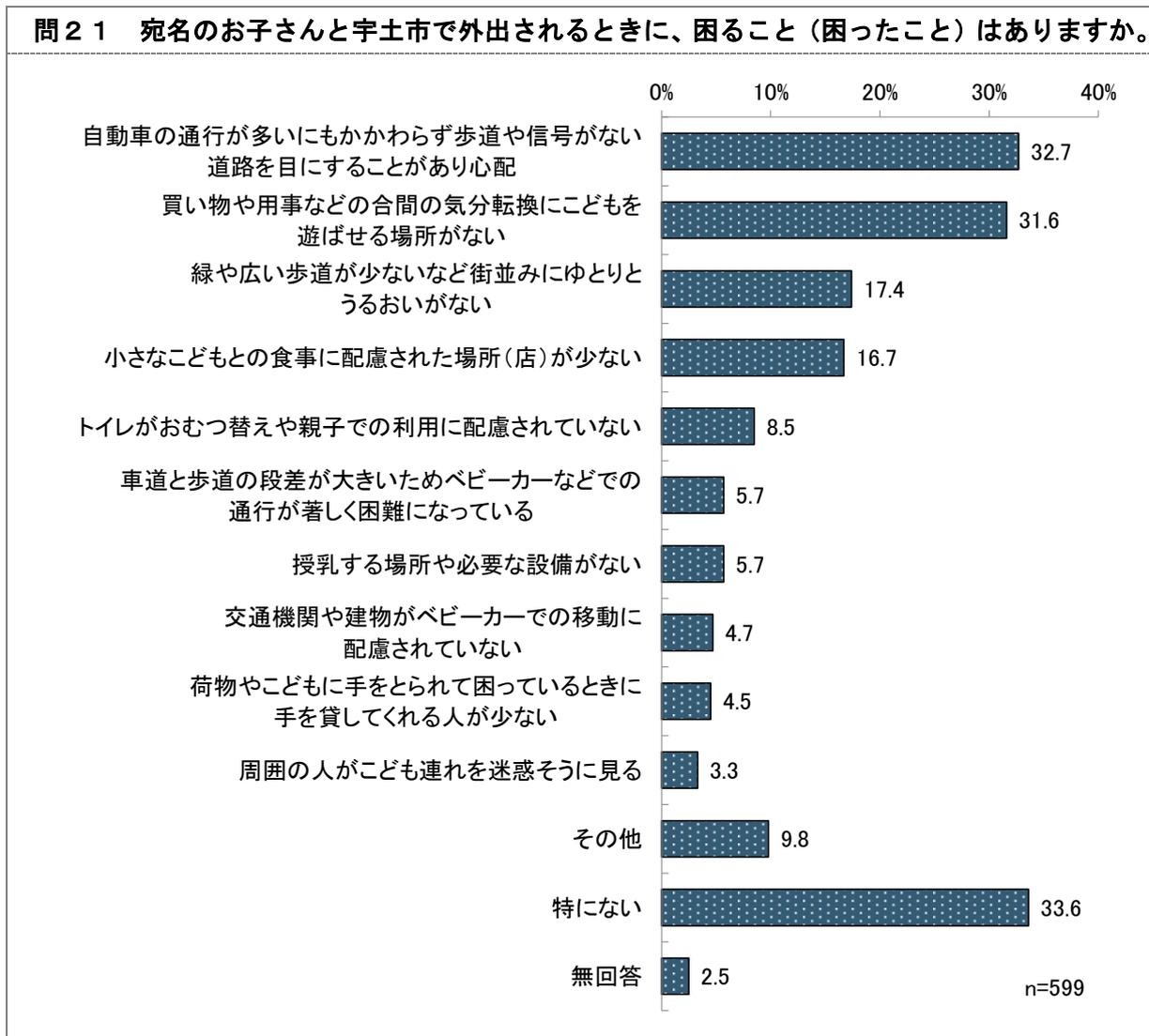
(3) 無料の学習塾があれば通わせたいと思うか



無料の学習塾があれば通わせたいと思うかは、「場所などの条件が合えば通わせたい」が48.2%と最も高く、次いで「ぜひ通わせたい」が30.7%、「わからない」が15.4%となっている。

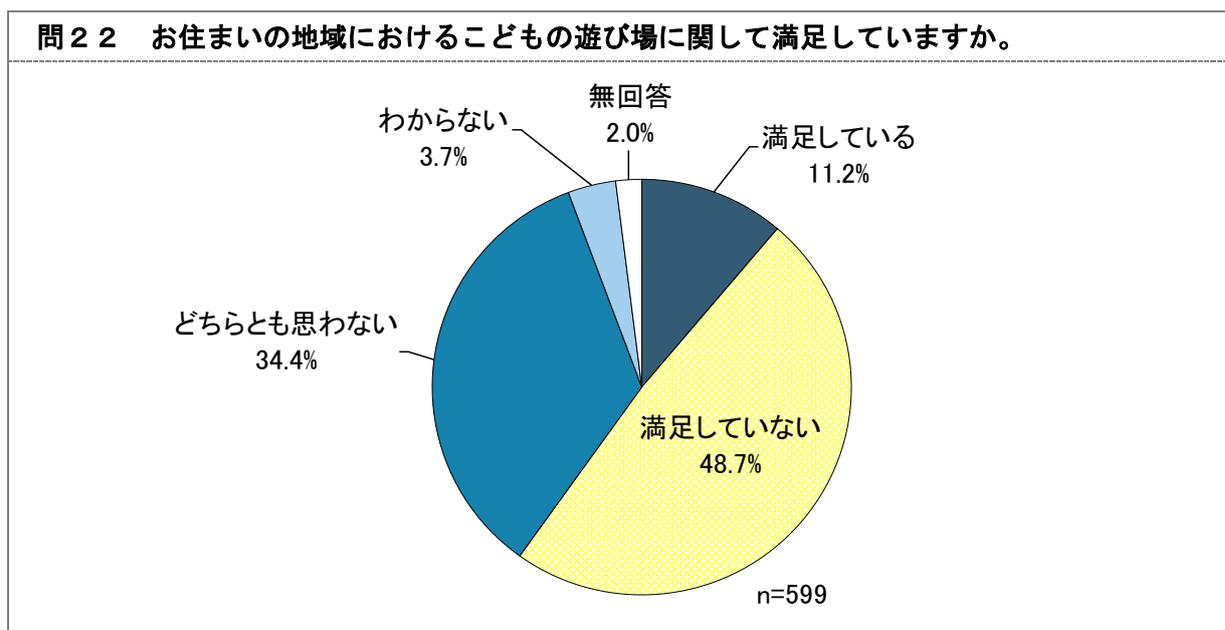
9. 子育てを支援する生活環境の整備について

(1) 外出先であった困った経験



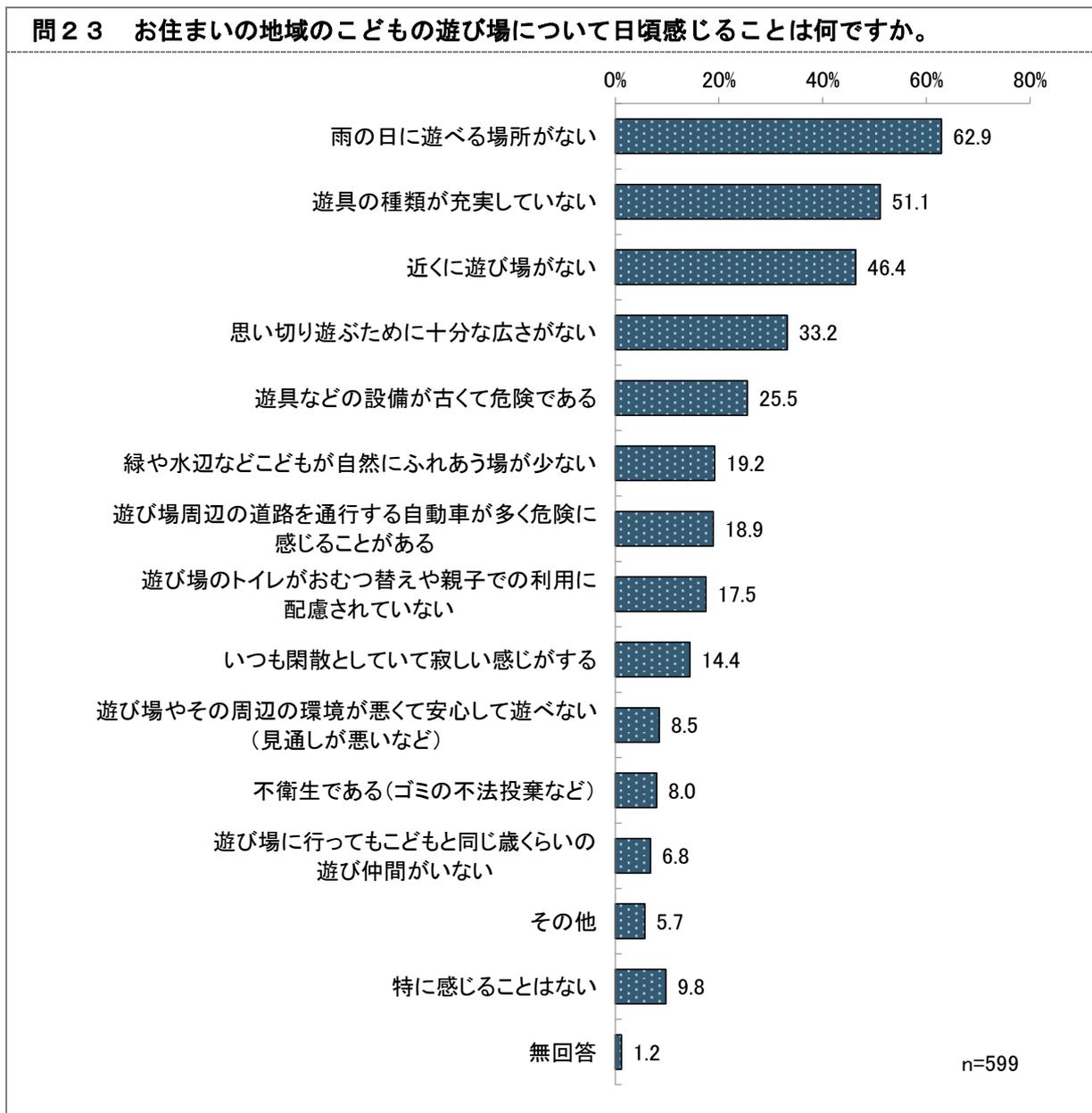
外出先であった困った経験は、「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路を目にすることがあり心配」が 32.7%と最も高く、次いで「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が 31.6%、「緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとるおいがない」が 17.4%となっている。「特にない」は 33.6%となっている。

(2) 地域におけるこどもの遊び場の満足度



地域におけるこどもの遊び場の満足度は、「満足していない」が48.7%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」が34.4%、「満足している」が11.2%となっている。

(3) 地域のこどもの遊び場について日頃感じること



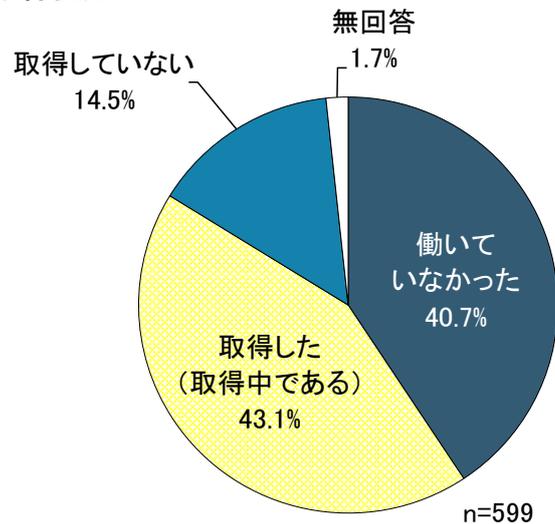
地域のこどもの遊び場について日頃感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が62.9%と最も高く、次いで「遊具の種類が充実していない」が51.1%、「近くに遊び場がない」が46.4%となっている。

10. 育児休業など職場の両立支援制度について

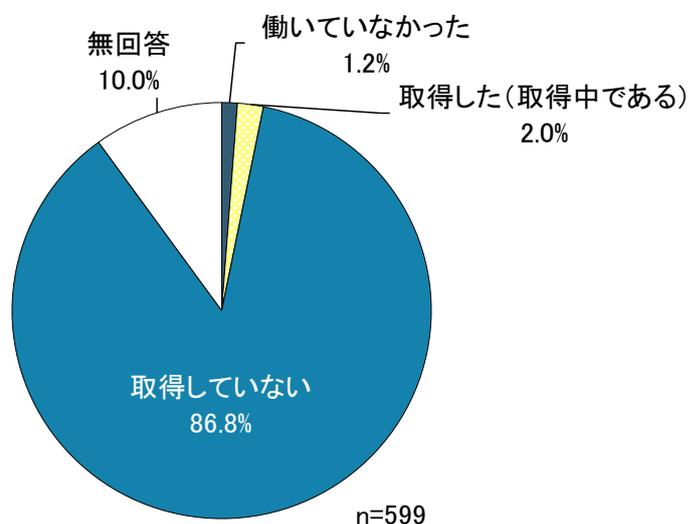
(1) 育児休業の取得状況

問24 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

■母親の育児休業の取得状況



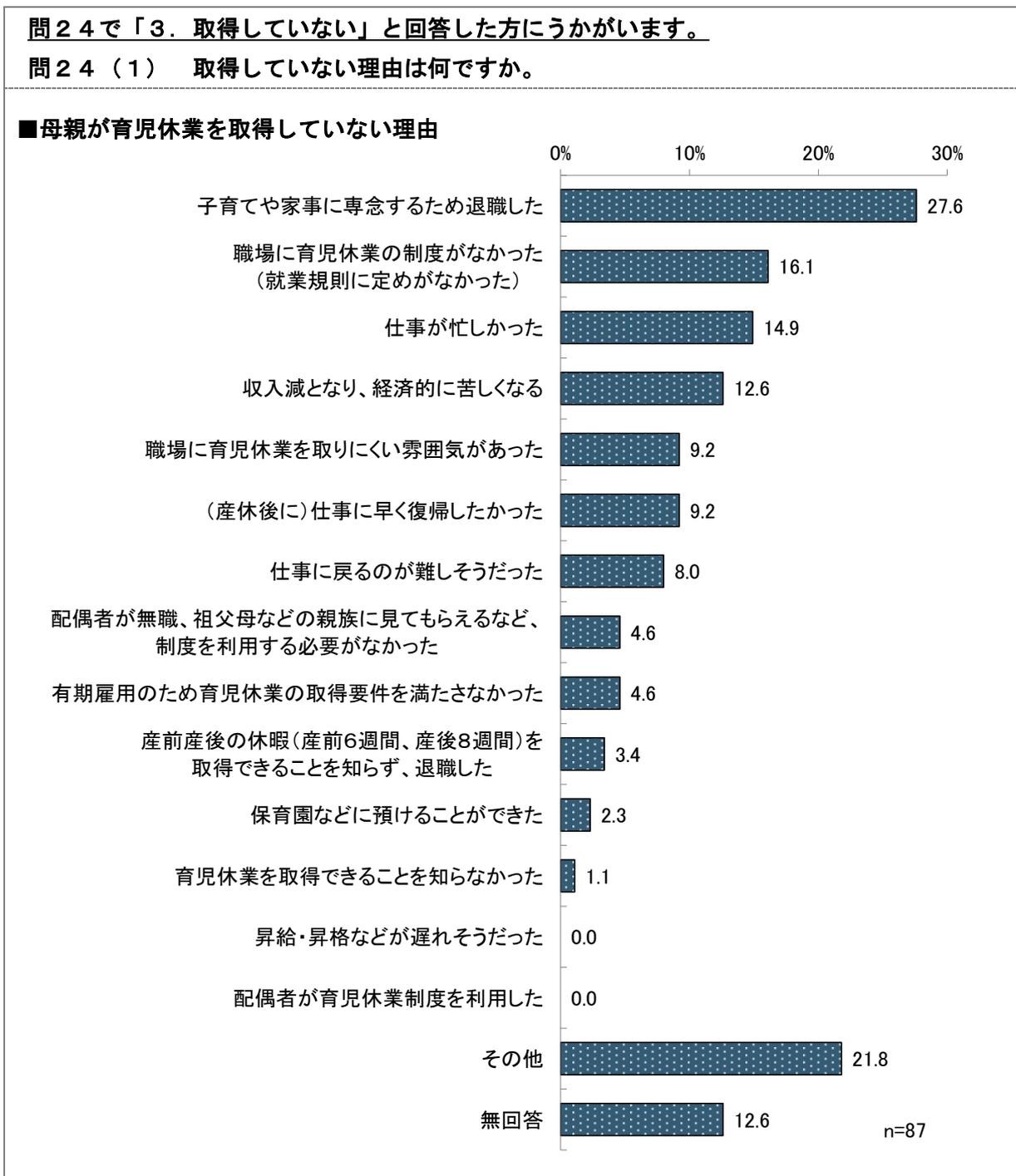
■父親の育児休業の取得状況



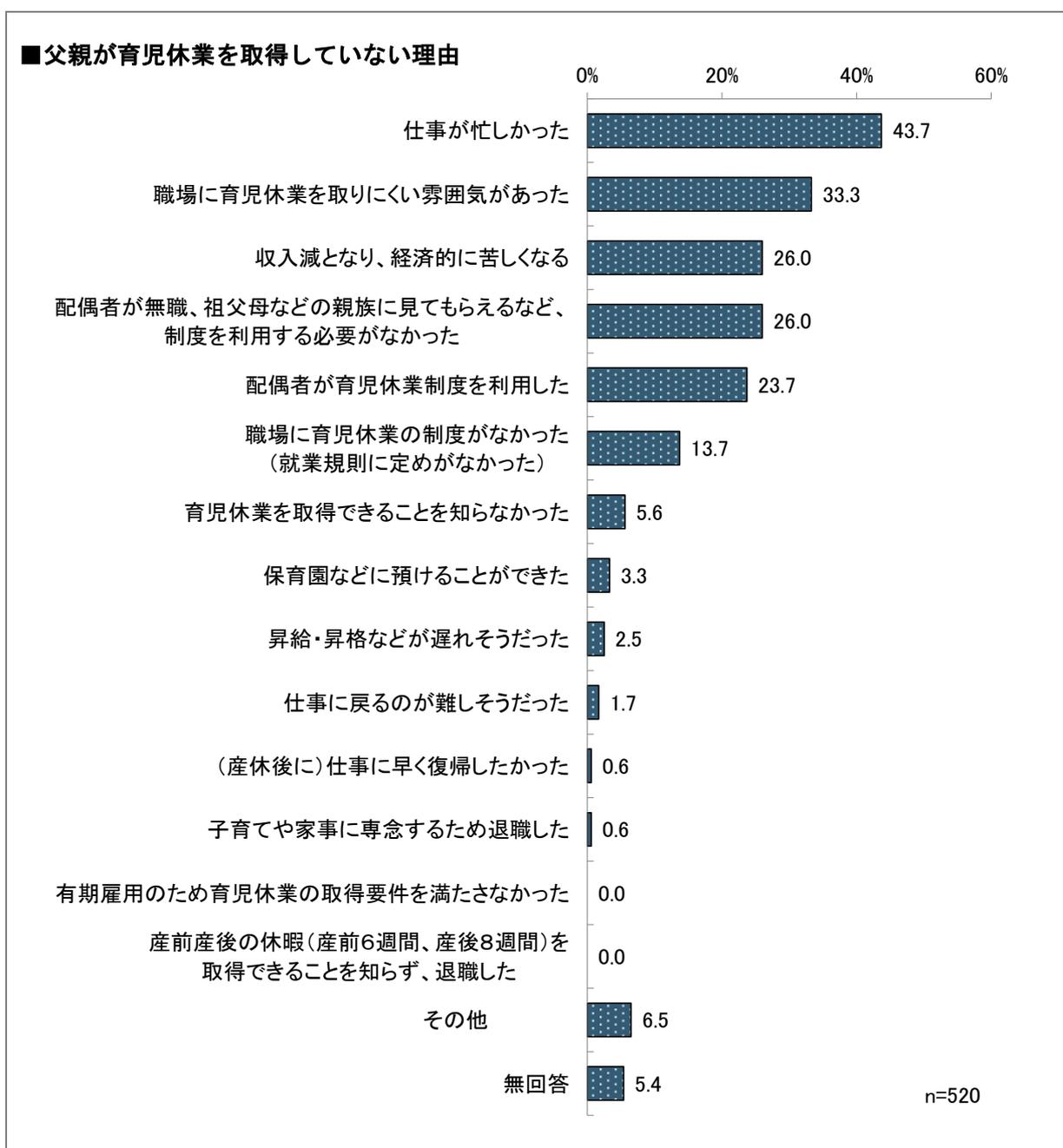
母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が43.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」が40.7%、「取得していない」が14.5%となっている。

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が86.8%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が2.0%、「働いていなかった」が1.2%となっている。

(2) 育児休業を取得していない理由



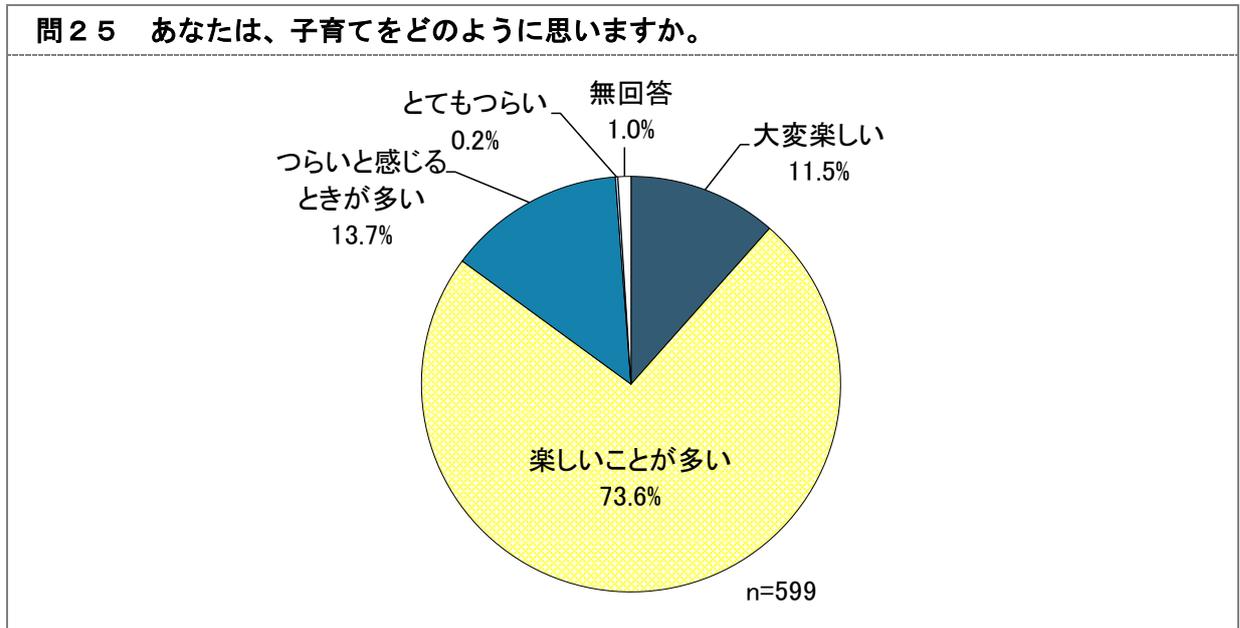
母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が27.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が16.1%、「仕事が忙しかった」が14.9%となっている。また、「その他」として、「自営業のため」等の回答があった。



父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が43.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が26.0%となっている。

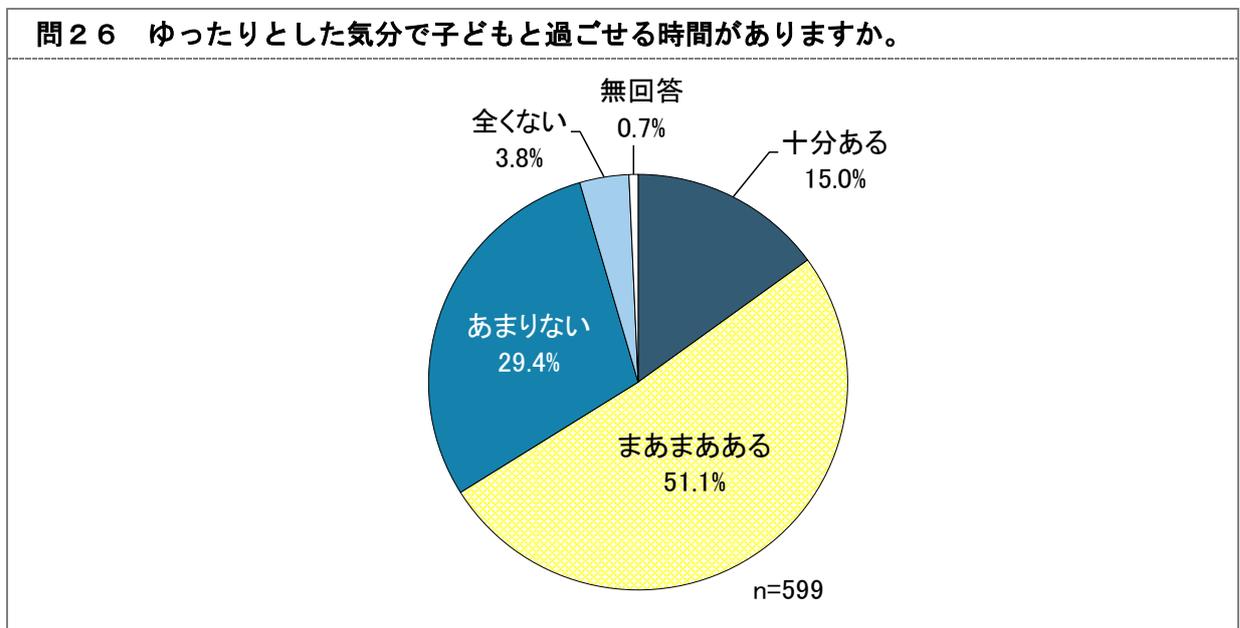
1.1. 子育て全般について

(1) 子育てをどのように思うか



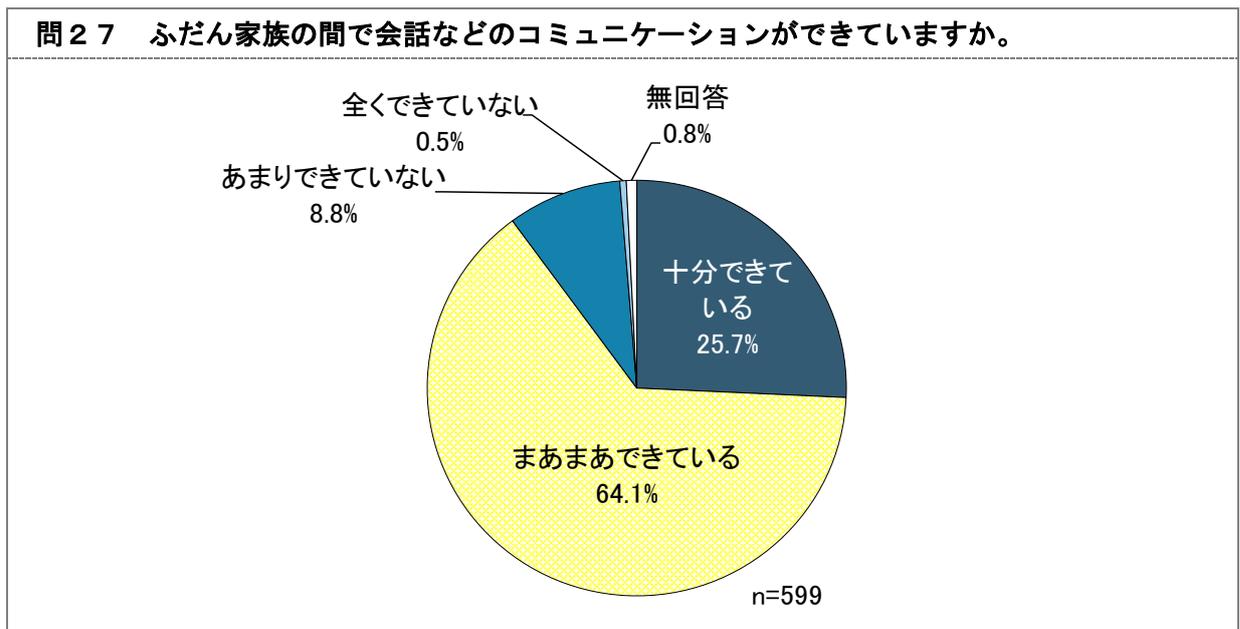
子育てをどのように思うかは、「楽しいことが多い」が73.6%と最も高く、次いで「つらいと感じるときが多い」が13.7%、「大変楽しい」が11.5%となっている。

(2) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるか



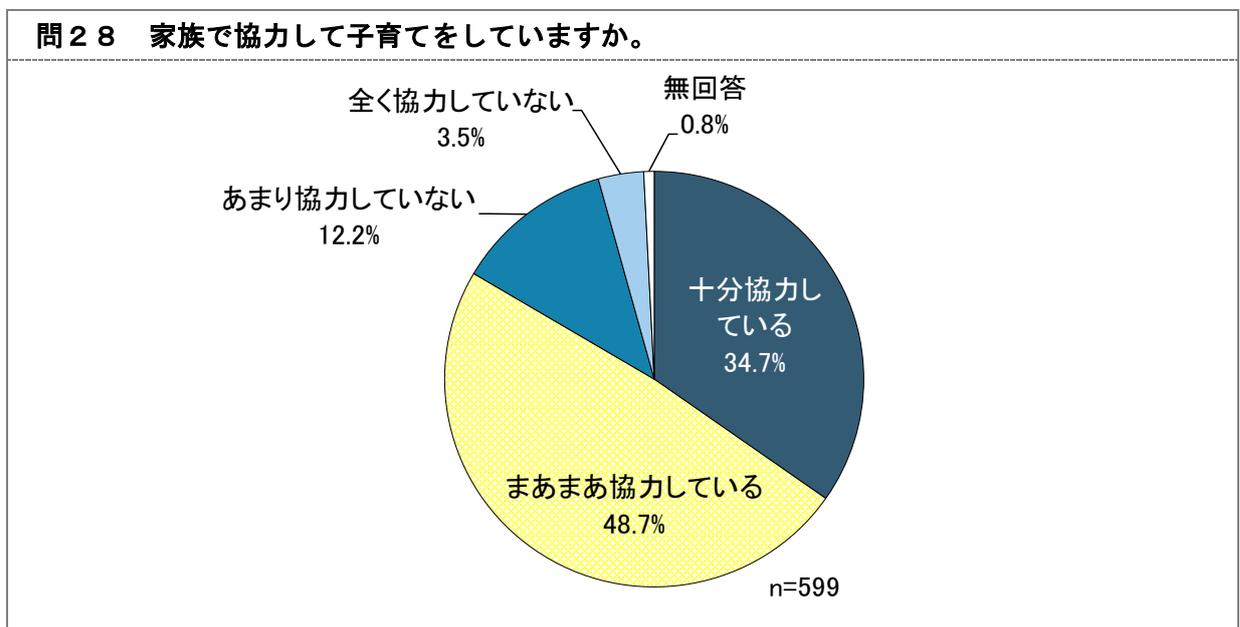
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるかは、「まあまあある」が51.1%と最も高く、次いで「あまりない」が29.4%、「十分ある」が15.0%となっている。

(3) 家族間でコミュニケーションができていますか



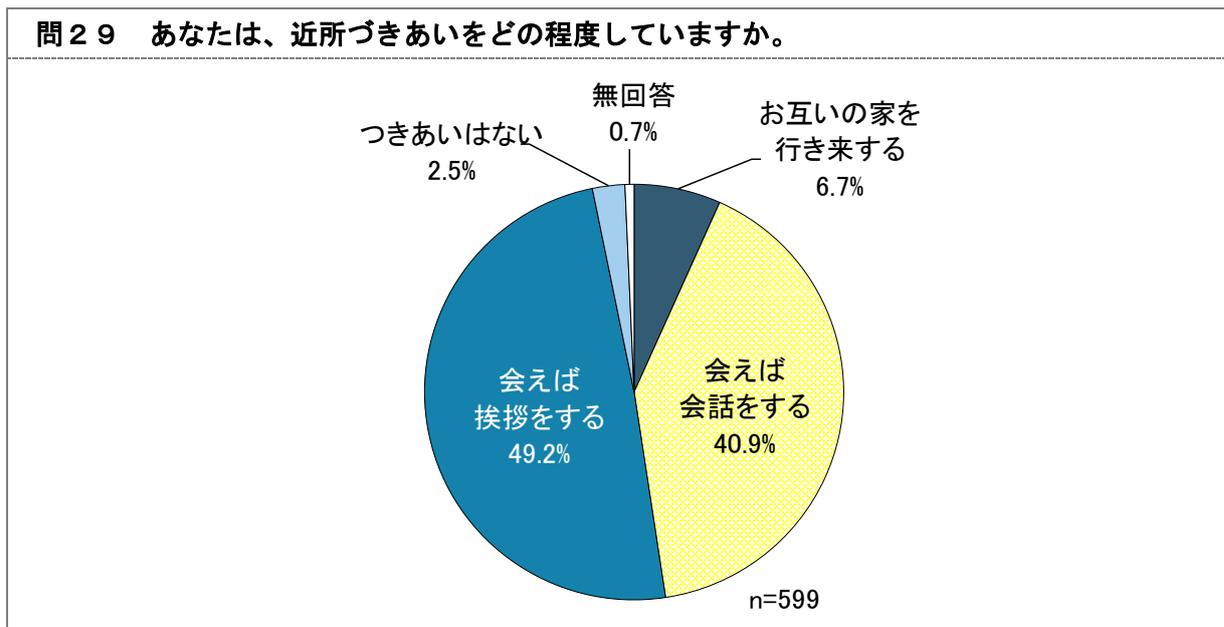
家族間でコミュニケーションができていますかは、「まあまあできている」が64.1%と最も高く、次いで「十分できている」が25.7%、「あまりできていない」が8.8%となっている。

(4) 家族で協力して子育てをしているか



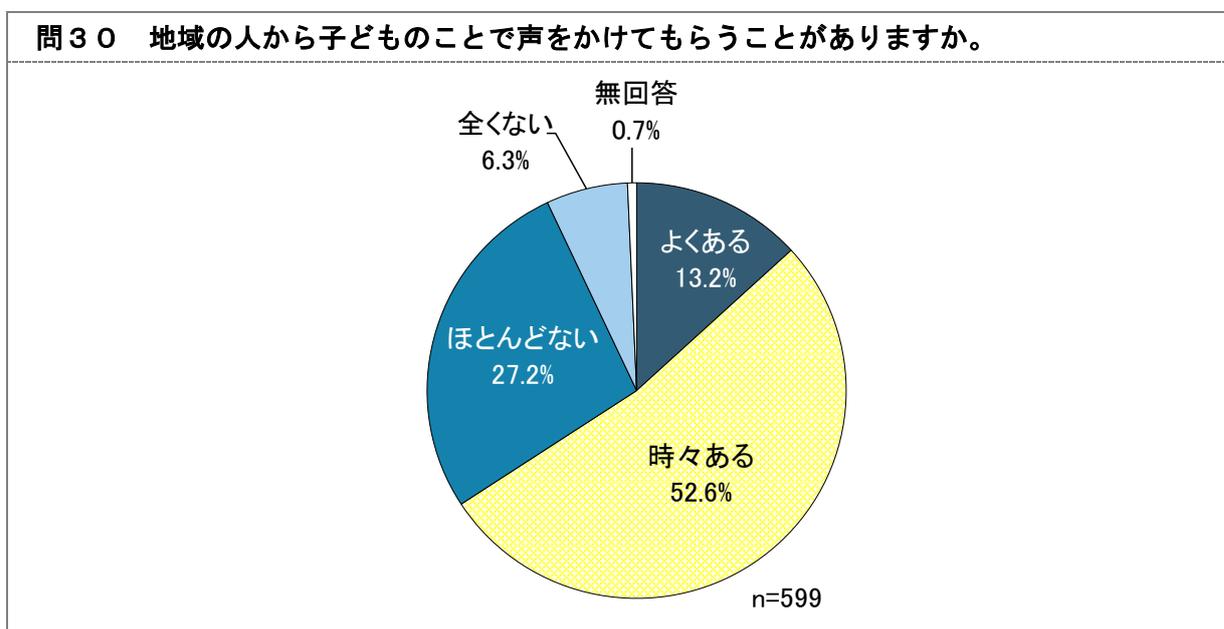
家族で協力して子育てをしているかは、「まあまあ協力している」が48.7%と最も高く、次いで「十分協力している」が34.7%、「あまり協力していない」が12.2%となっている。

(5) 近所づきあいの程度



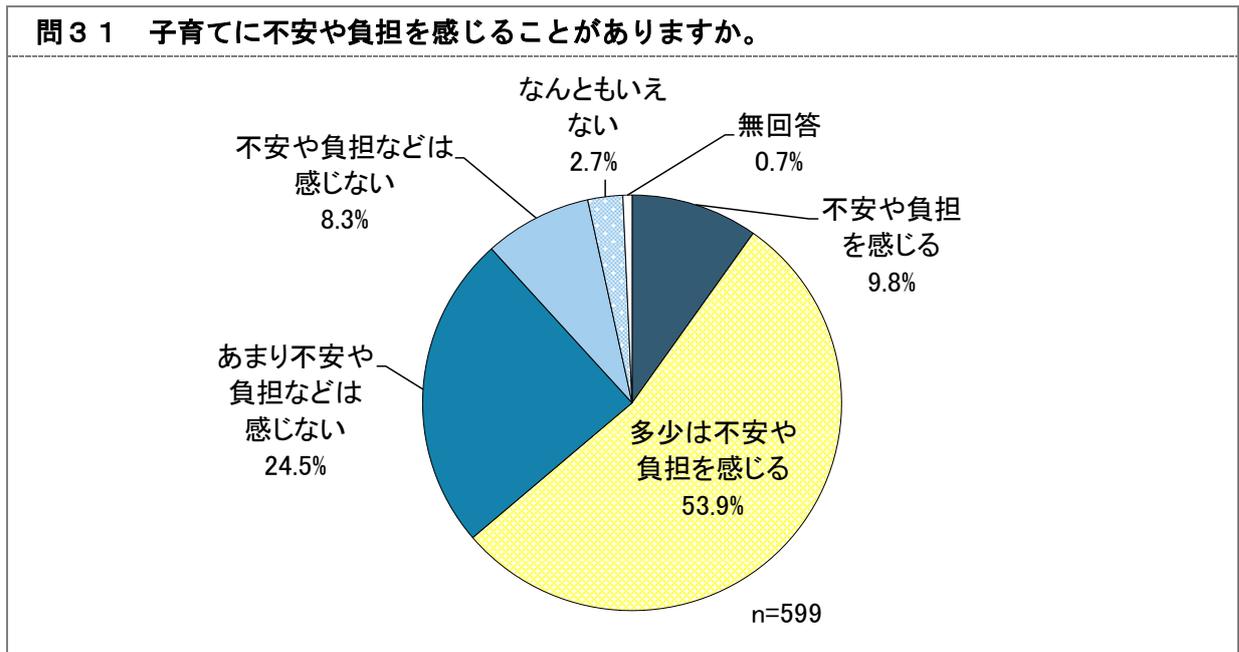
近所づきあいの程度は、「会えば挨拶をする」が49.2%と最も高く、次いで「会えば会話をする」が40.9%、「お互いの家を行き来する」が6.7%となっている。

(6) 地域の人から子どものことで声をかけてもらえる頻度



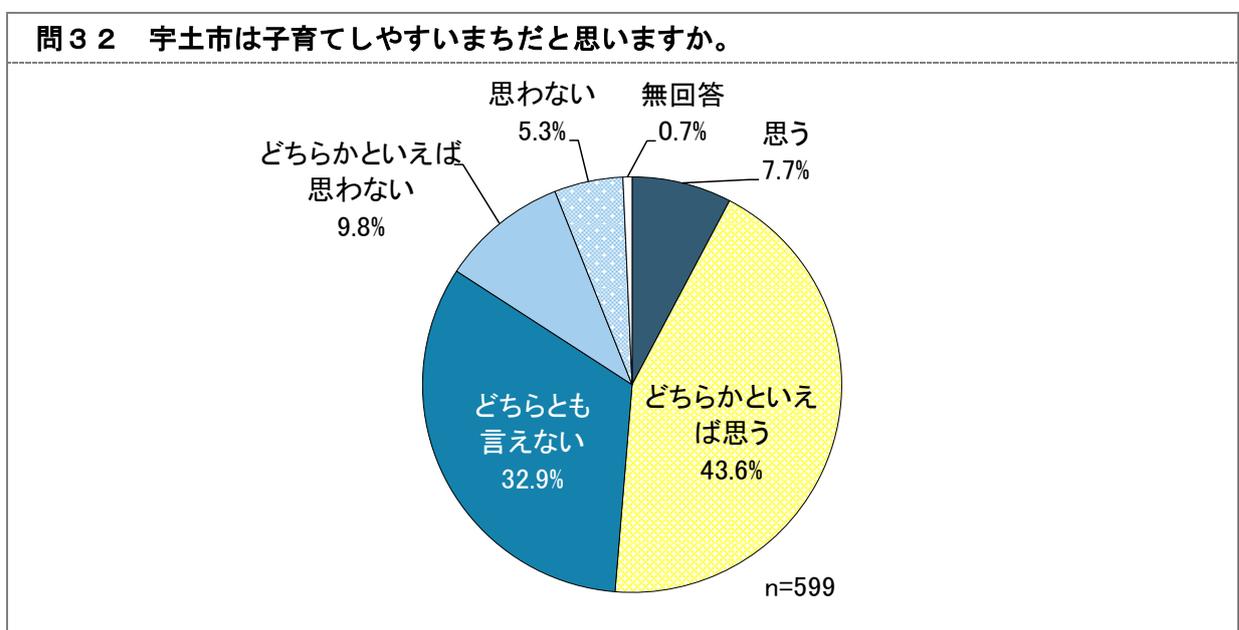
地域の人から子どものことで声をかけてもらえる頻度は、「時々ある」が52.6%と最も高く、次いで「ほとんどない」が27.2%、「よくある」が13.2%となっている。

(7) 子育てに感じる不安感や負担感



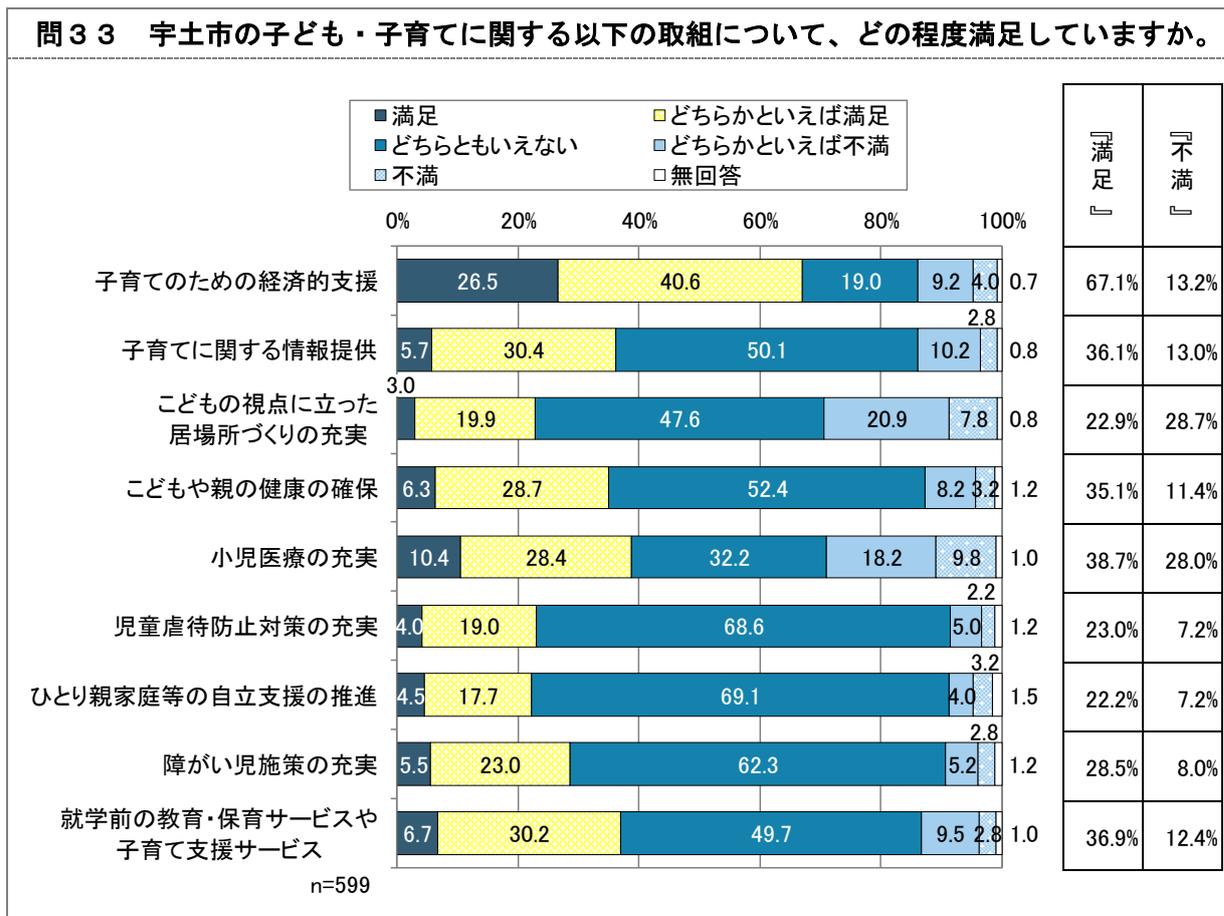
子育てに感じる不安感や負担感は、「多少は不安や負担を感じる」が53.9%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が24.5%、「不安や負担を感じる」が9.8%となっている。

(8) 宇土市は子育てしやすいまちだと思うか



宇土市は子育てしやすいまちだと思うかは、「どちらかといえば思う」が43.6%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が32.9%、「どちらかといえば思わない」が9.8%となっている。

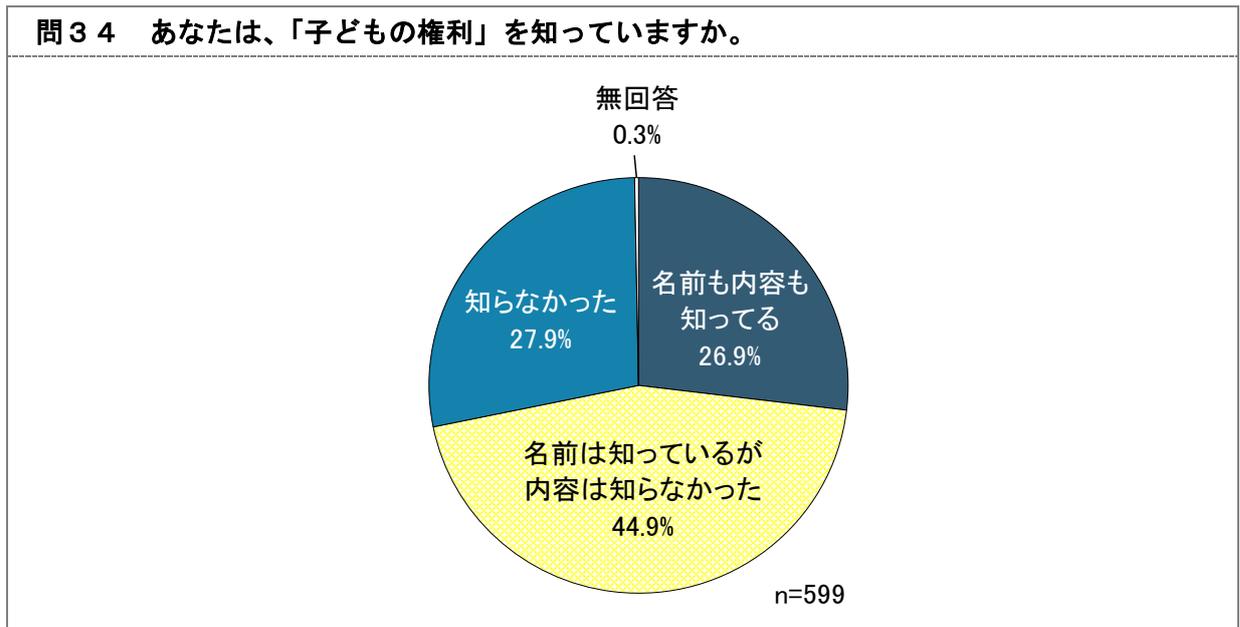
(9) 宇土市の子ども・子育てに関する取組の満足度



宇土市の子ども・子育てに関する取組として満足度の高い『満足』（「満足」「どちらかといえ
ば満足」を合わせた回答率）項目は、「子育てのための経済的支援」が67.1%と最も高く、次
いで「小児医療の充実」が38.7%、「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」が
36.9%となっている。

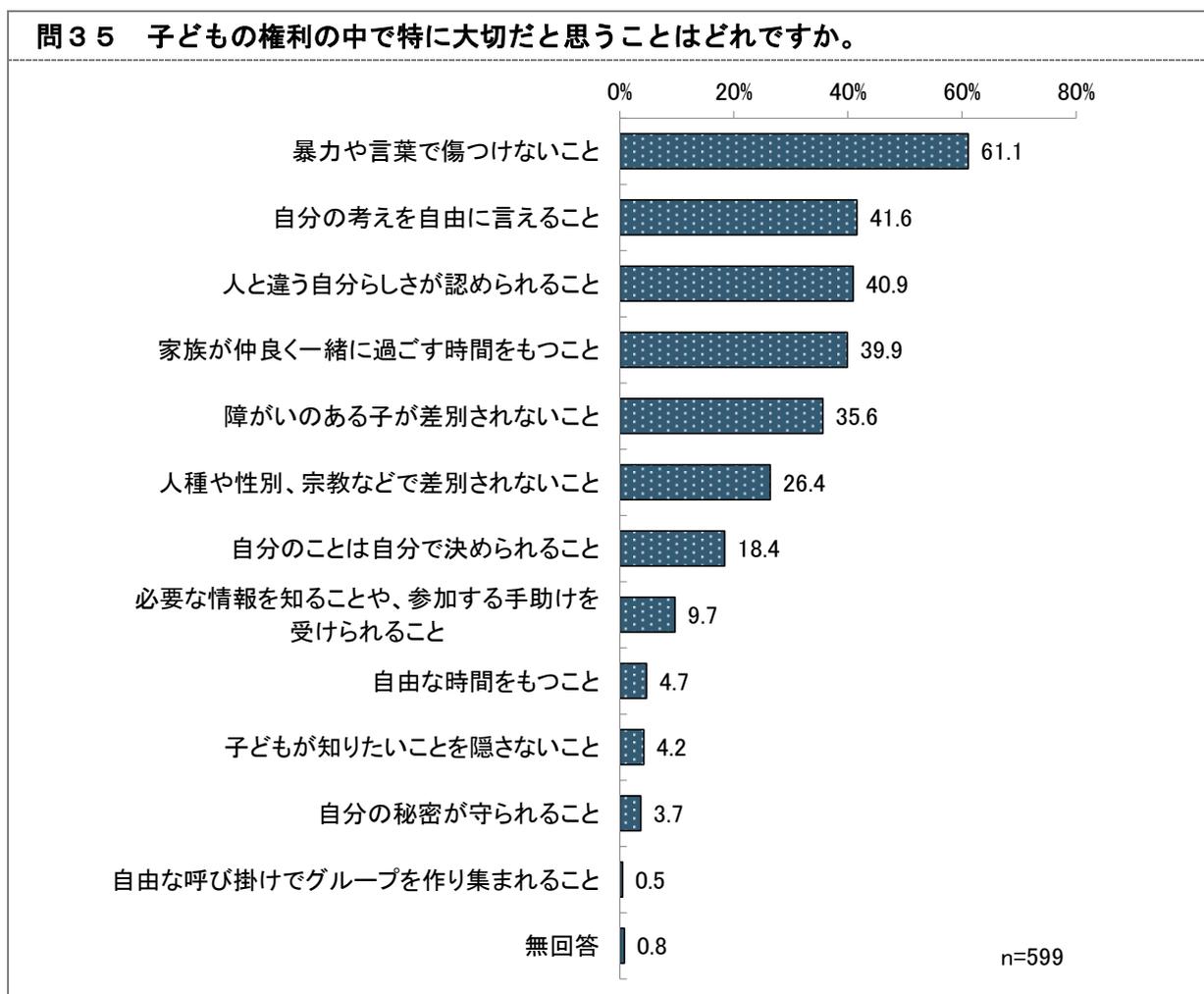
一方、宇土市の子ども・子育てに関する取組として満足度の低い『不満』（「どちらかといえ
ば不満」「不満」を合わせた回答率）項目は、「こどもの視点に立った居場所づくりの充実」が
28.7%と最も高く、次いで「小児医療の充実」が28.0%、「子育てのための経済的支援」が
13.2%となっている。

(10) 子どもの権利の概念の認識



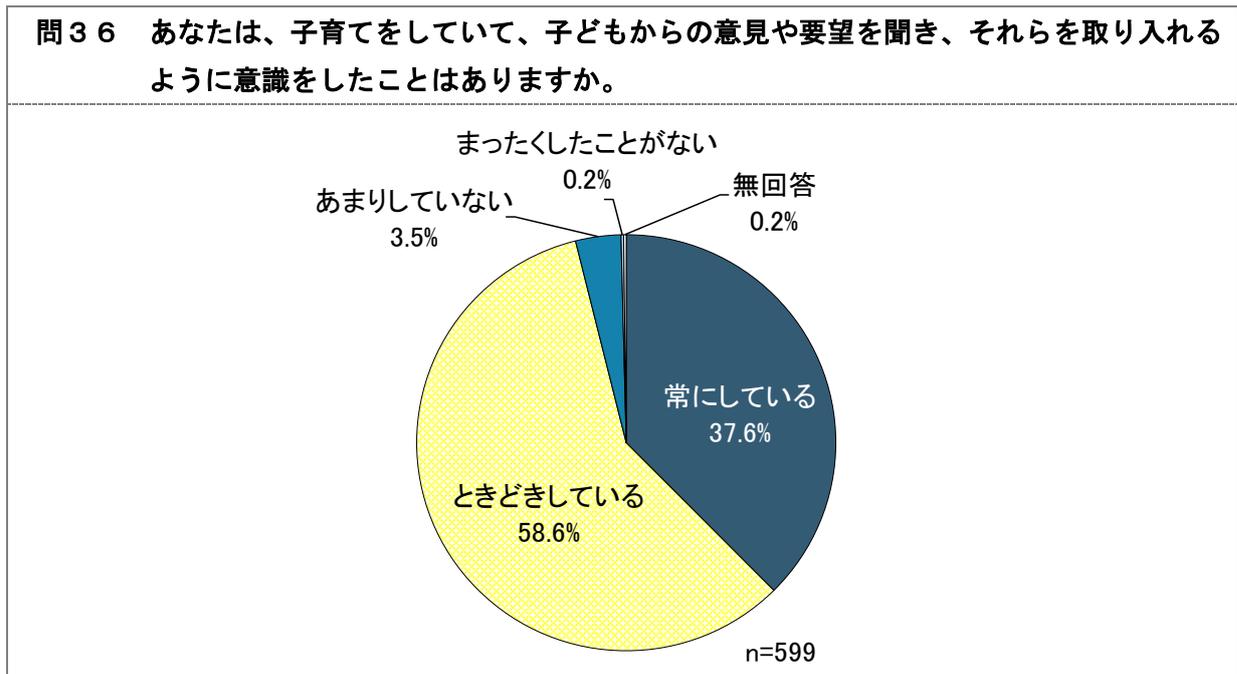
子どもの権利の概念の認識は、「名前を知っているが内容は知らなかった」が44.9%と最も高く、次いで「知らなかった」が27.9%、「名前も内容も知っている」が26.9%となっている。

(11) 子どもの権利の中で特に大切だと思うこと



子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「暴力や言葉で傷つけないこと」が61.1%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」が41.6%、「人と違う自分らしさが認められること」が40.9%となっている。

(12) 子どもの意見や要望を聞き、取り入れるよう意識しているか



子どもの意見や要望を聞き、取り入れるよう意識しているかは、「ときどきしている」が58.6%と最も高く、次いで「常にしている」が37.6%、「あまりしていない」が3.5%となっている。

(13) 子どもを健やかに生み育てるために宇土市に期待すること



子どもを健やかに生み育てるために宇土市に期待することは、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援」が69.3%と最も高く、次いで「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」が52.6%、「地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やす」が47.2%となっている。

(14) 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（自由記述）

問38 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

主な内容は、下記のとおりである。

【公園を作ってほしい】

- ・宇土市は全体的に公園が少なすぎる。近くの公園は、高齢者用のグラウンドのようになって満足に遊べない。
- ・街の中央に大きな公園があると嬉しいです。運動公園もあるけど遊具があるスペースは狭いし少ない。つつじヶ岡公園は夕方などは人気がなくとっても危険だと思います。
- ・子供が安心して遊べる公園を作ってほしいです。今ある公園は遊具が充実していなかったり、場所が不便でトイレも暗かったり、目の届かないところにあるため子供を安心して遊ばせることができません。

等

【子どもの遊び場や居場所づくり】

- ・小学校1、2年生は自転車に乗れるが、家の周り、4年生～は地区内となっていますが、近くに公園がなかったり、ボール遊びが出来るような場所もなく、子ども達だけで遊べるような場所が少ない様を感じています。親も仕事をしている家庭が多く、帰ってきてご飯を作っている間の少しの時間でも、外で遊べるような環境があると、より助かる様な気がしています。
- ・子供の居場所づくり。各家庭で生活状況は違い(学校に行ける、行けない等含む)、自由に外で遊べる子もいれば、自宅で遊べず外にいる子もいると思います。一人一人の子供に目を向けた環境づくりが必要で、地域との関わりをふやし、地域で育てる宇土市になってほしいです。
- ・宇土には子どもたちが十分に遊べる施設が少ないように思います。子どもたちが放課後集まって遊べる場所があれば嬉しいです。

等

【給食費の無償化】

- ・給食費の無償化が進んでいない。無償化によって、その費用を教育費に充てる事ができたり、家庭負担の軽減になる。子育て世帯として、子供の医療費助成や給食費の無償化は魅力の一つであり、長い目で見ると宇土市の人口増加にも繋がると思う。
- ・給食費の経済的負担が大きい。

等

【学童保育】

- ・学童を利用していないと夏休みなど長期休暇の時に利用できないのが不満です。週5で働いているので働いている時も心配です。夏休みだけでも利用できるようにしていただくと安心して働くことができます。
- ・学童クラブの利用料が高い。2人目が半額なのはありがたいけど、そもそもが高いから毎月きつい。

等

【その他の意見】

- ・道路交通環境の整備（自転車の安全確保、通学路の整備、速度違反等の取締り等）。
- ・不登校を抱える家庭の支援。
- ・義務教育期間は全ての子供が習いたいスポーツ、自由に選び部活動と同じ様な環境づくり。
- ・経済的支援（教育教材費、子育て世帯には平等に支援金や給付金を支給してほしい等）。

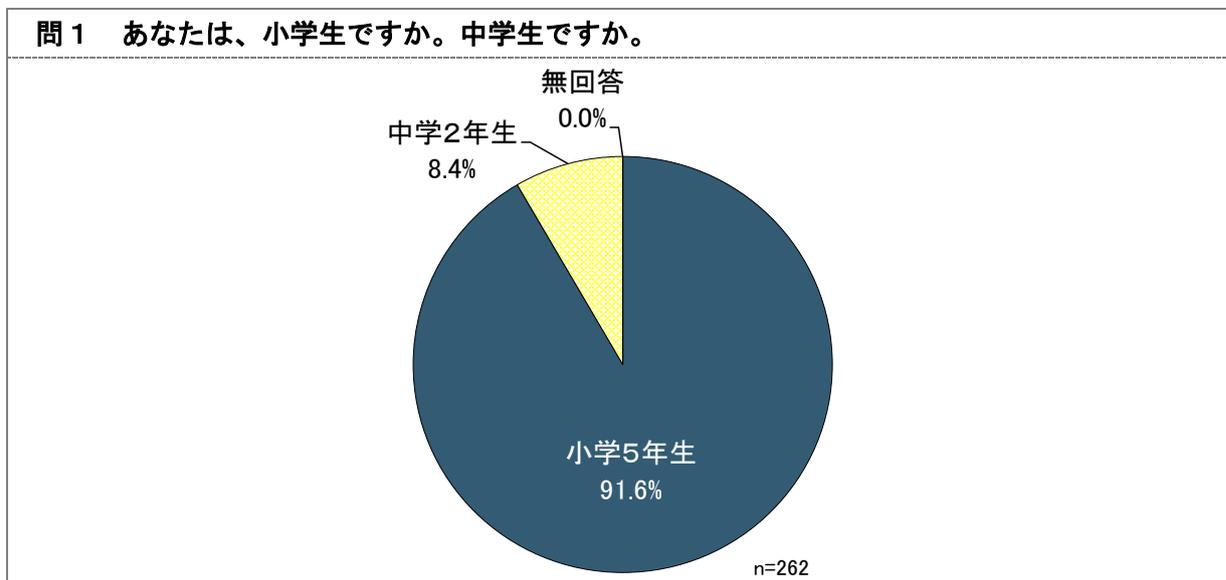
等

第2章 小学5年生・中学2年生とその保護者

I 小学5年生・中学2年生の調査結果

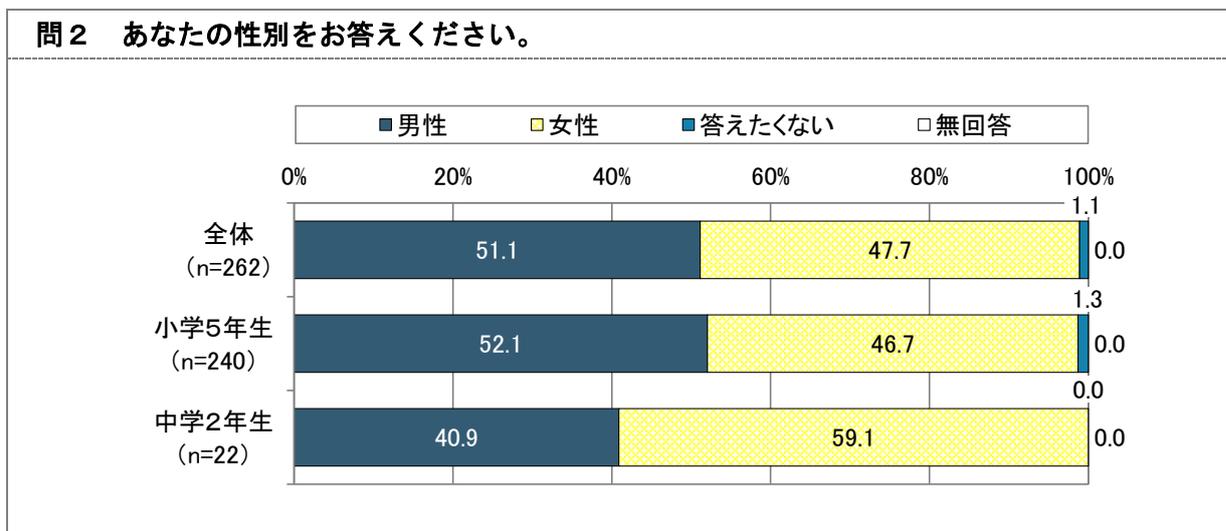
1. 属性

(1) 学年



学年は、「小学5年生」が91.6%、「中学2年生」が8.4%となっている。

(2) 性別

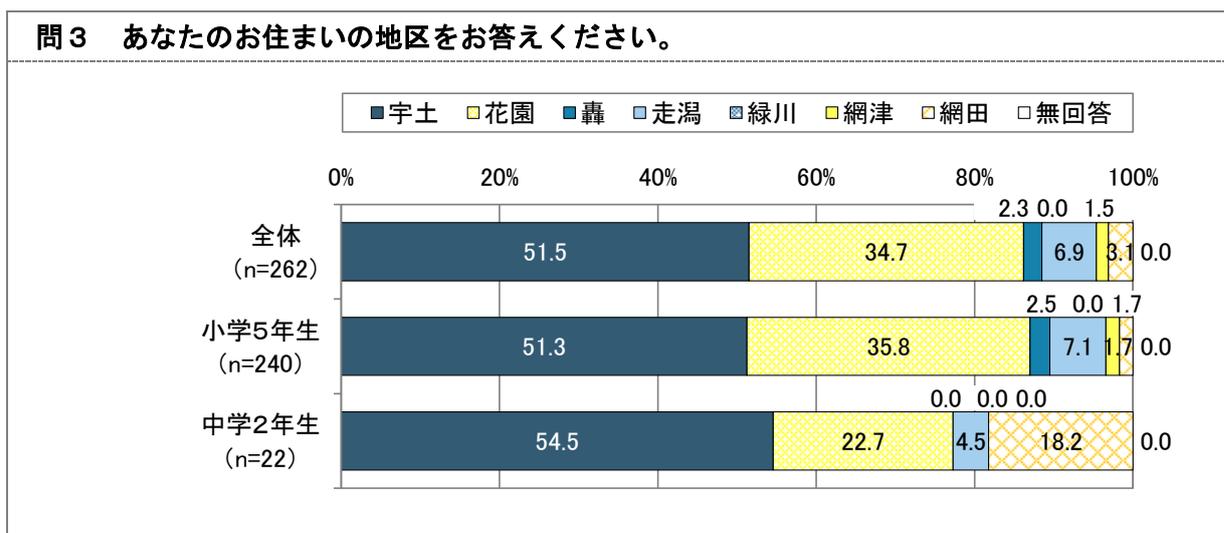


性別は、「男性」が51.1%、「女性」が47.7%、「答えたくない」が1.1%となっている。

小学5年生では、「男性」が52.1%、「女性」が46.7%、「答えたくない」が1.3%となっている。

中学2年生では、「女性」が59.1%、「男性」が40.9%となっている。

(3) 居住地

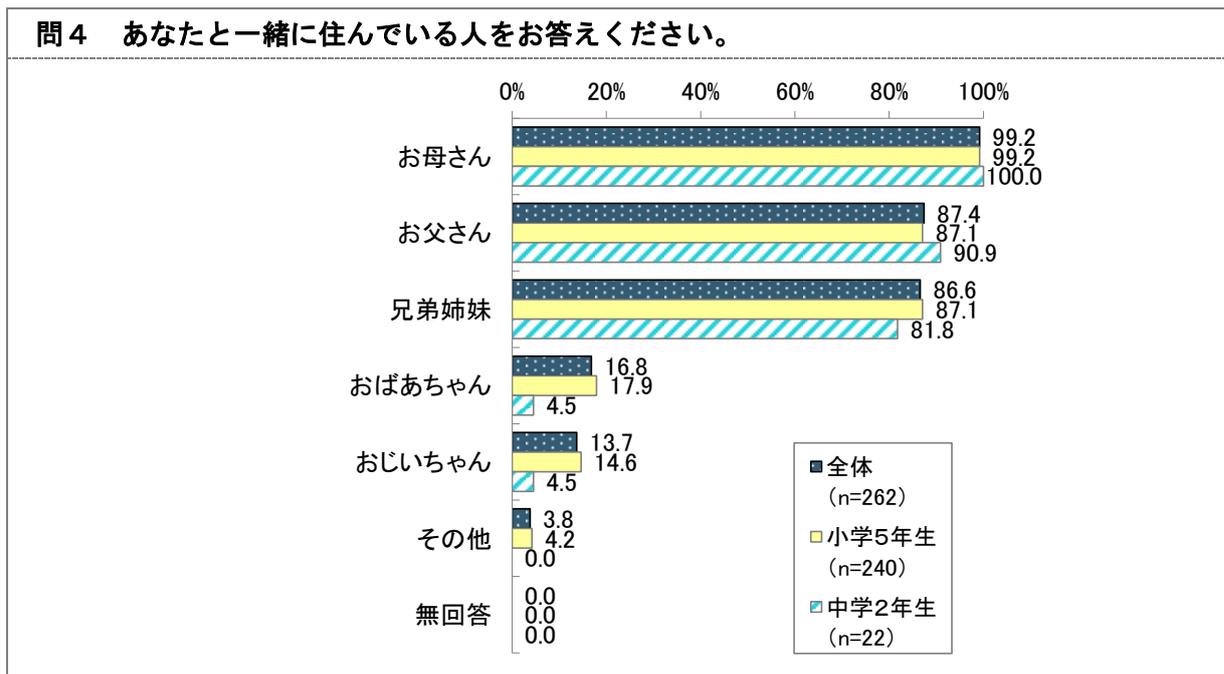


居住地は、「宇土」が51.5%と最も高く、次いで「花園」が34.7%、「走潟」が6.9%となっている。

小学5年生では、「宇土」が51.3%と最も高く、次いで「花園」が35.8%、「走潟」が7.1%となっている。

中学2年生では、「宇土」が54.5%と最も高く、次いで「花園」が22.7%、「網田」が18.2%となっている。

(4) 同居者



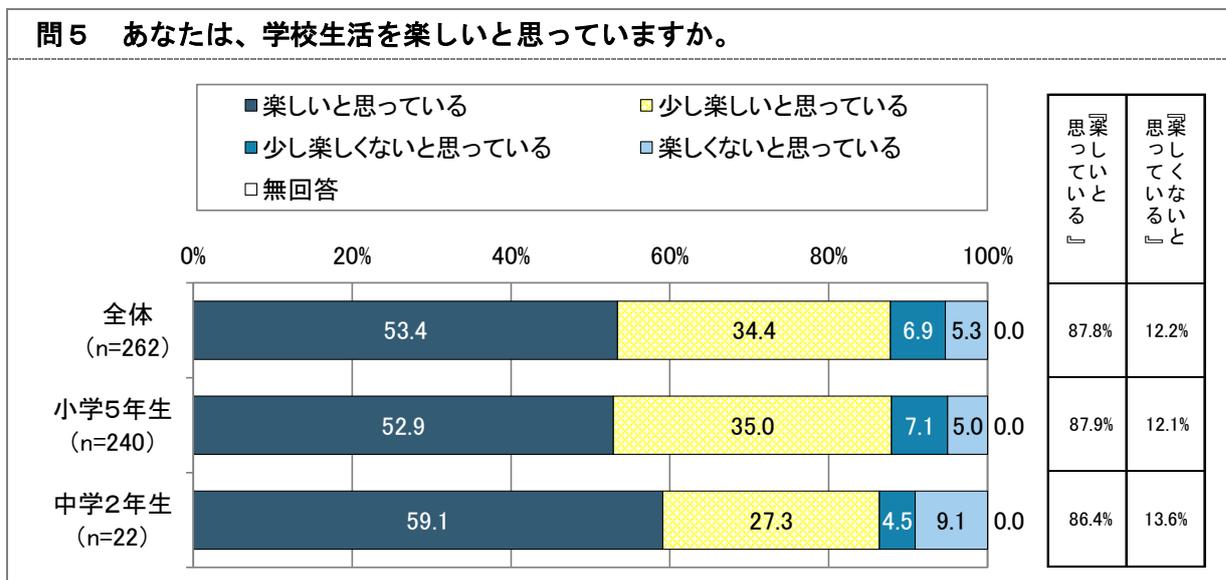
同居者は、「お母さん」が99.2%と最も高く、次いで「お父さん」が87.4%、「兄弟姉妹」が86.6%となっている。

小学5年生では、「お母さん」が99.2%と最も高く、次いで「お父さん」「兄弟姉妹」がそれぞれ87.1%、「おばあちゃん」が17.9%となっている。

中学2年生では、「お母さん」が100.0%と最も高く、次いで「お父さん」が90.9%、「兄弟姉妹」が81.8%となっている。

2. 学校や勉強のことについて

(1) 学校生活は楽しいと思うか

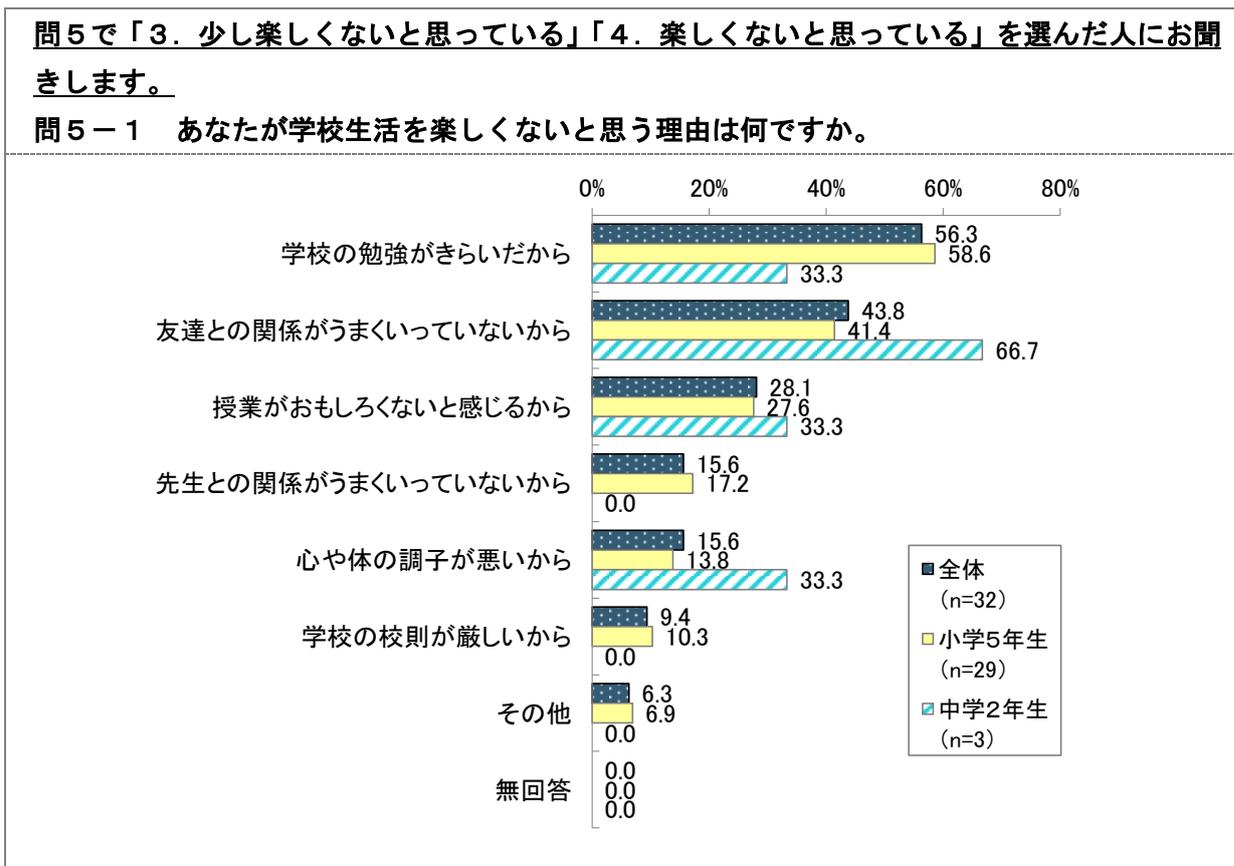


学校生活は楽しいと思うかは、「楽しいと思っている」が53.4%と最も高く、次いで「少し楽しいと思っている」が34.4%、「少し楽しくないと思っている」が6.9%となっている。

小学5年生では、「楽しいと思っている」が52.9%と最も高く、次いで「少し楽しいと思っている」が35.0%、「少し楽しくないと思っている」が7.1%となっている。

中学2年生では、「楽しいと思っている」が59.1%と最も高く、次いで「少し楽しいと思っている」が27.3%、「楽しくないと思っている」が9.1%となっている。

(2) 学校生活を楽しめないと思う理由



学校生活を楽しめないと思う理由は、「学校の勉強がきらいだから」が 56.3%と最も高く、次いで「友達との関係がうまくいっていないから」が 43.8%、「授業がおもしろくないと感じるから」が 28.1%となっている。

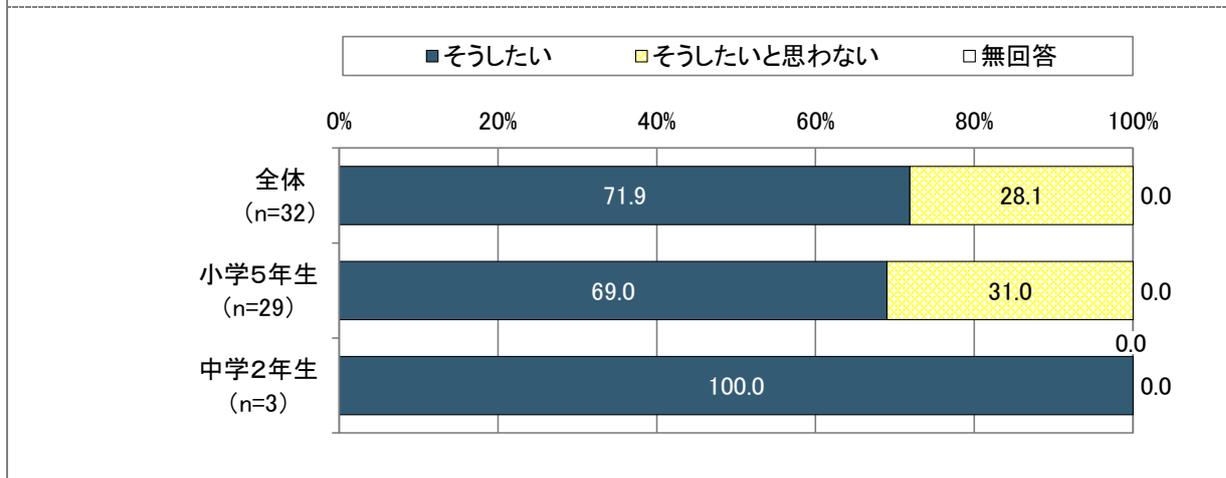
小学5年生では、「学校の勉強がきらいだから」が 58.6%と最も高く、次いで「友達との関係がうまくいっていないから」が 41.4%、「授業がおもしろくないと感じるから」が 27.6%となっている。

中学2年生では、「友達との関係がうまくいっていないから」が 66.7%と最も高く、次いで「学校の勉強がきらいだから」「授業がおもしろくないと感じるから」「心や体の調子が悪いから」がそれぞれ 33.3%となっている。

(3) 学校生活を楽しくないと思う理由を改善したいか

問5で「3. 少し楽しくないと思っている」「4. 楽しくないと思っている」を選んだ人にお聞きします。

問5-2 あなたは、今後楽しくないと思う理由を改善したいと思いますか。

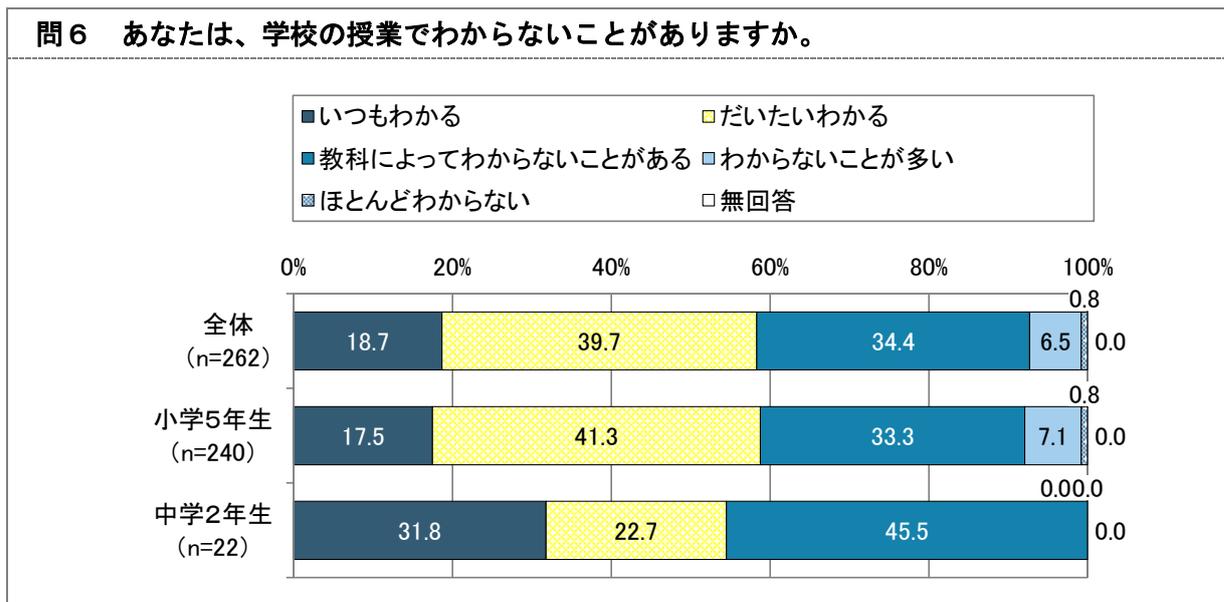


学校生活を楽しくないと思う理由を改善したいかは、「そうしたい」が71.9%、「そうしたいと思わない」が28.1%となっている。

小学5年生では、「そうしたい」が69.0%、「そうしたいと思わない」が31.0%となっている。

中学2年生では、「そうしたい」が100.0%となっている。

(4) 学校の授業の理解度

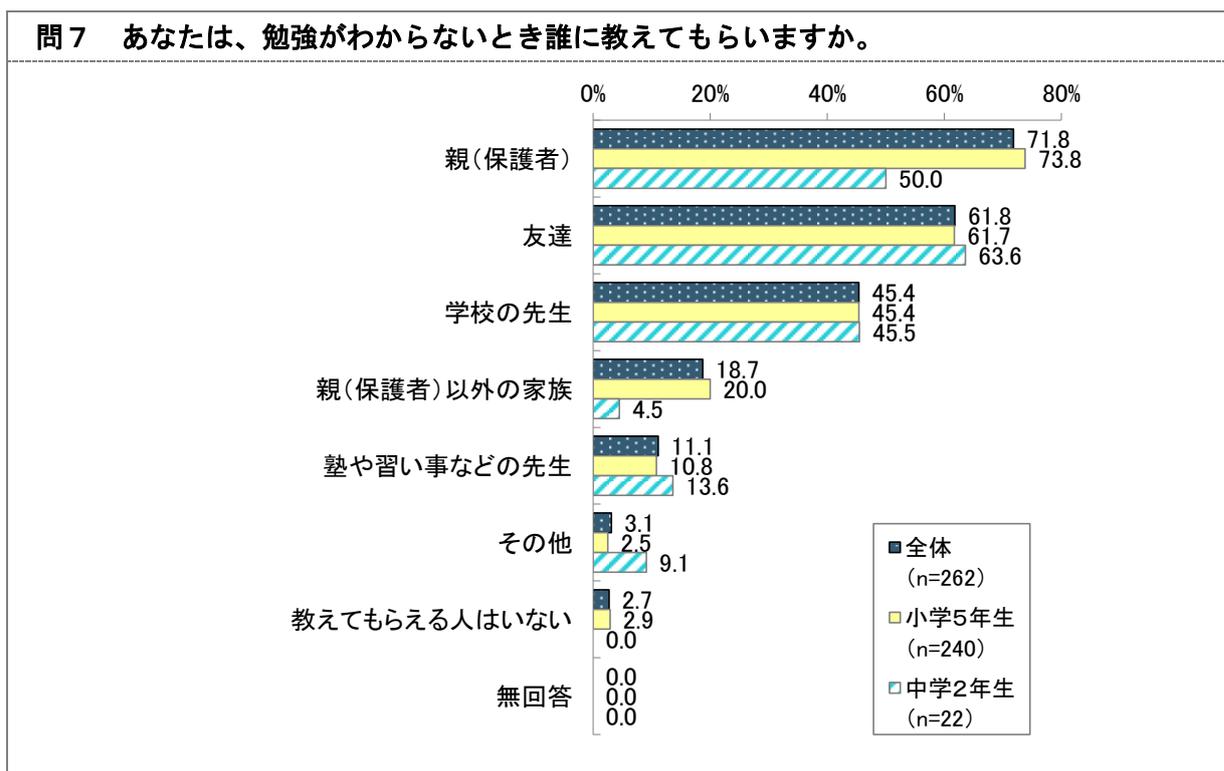


学校の授業の理解度は、「だいたいわかる」が39.7%と最も高く、次いで「教科によってわからないことがある」が34.4%、「いつもわかる」が18.7%となっている。

小学5年生では、「だいたいわかる」が41.3%と最も高く、次いで「教科によってわからないことがある」が33.3%、「いつもわかる」が17.5%となっている。

中学2年生では、「教科によってわからないことがある」が45.5%と最も高く、次いで「いつもわかる」が31.8%、「だいたいわかる」が22.7%となっている。

(5) 誰に勉強を教えてもらうか

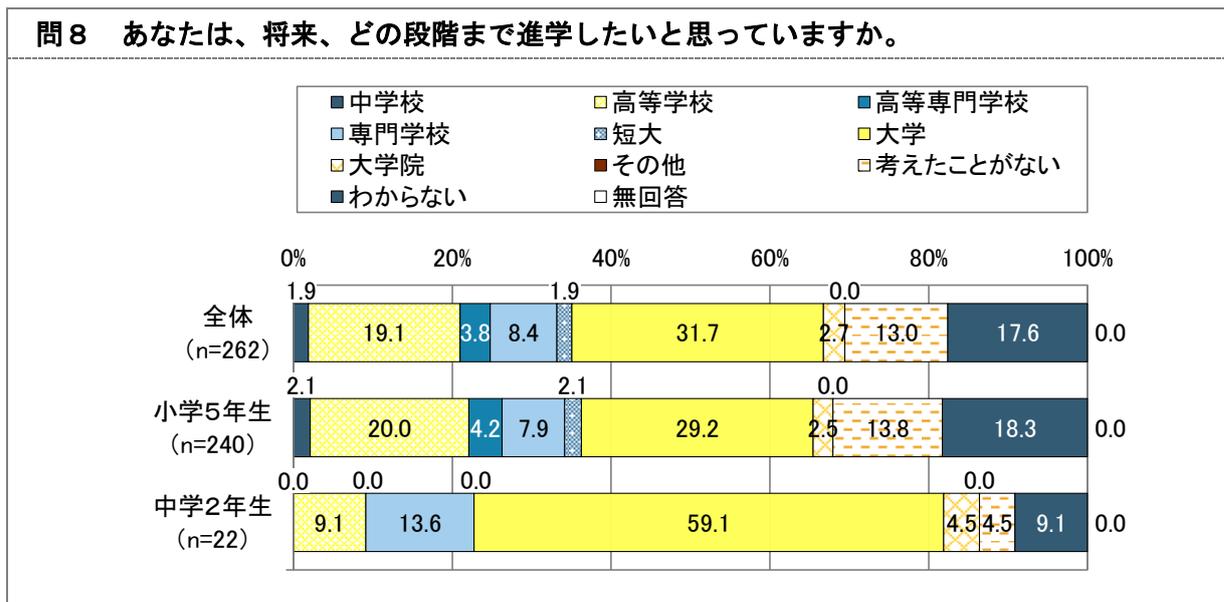


誰に勉強を教えてもらうかは、「親(保護者)」が71.8%と最も高く、次いで「友達」が61.8%、「学校の先生」が45.4%となっている。

小学5年生では、「親(保護者)」が73.8%と最も高く、次いで「友達」が61.7%、「学校の先生」が45.4%となっている。

中学2年生では、「友達」が63.6%と最も高く、次いで「親(保護者)」が50.0%、「学校の先生」が45.5%となっている。

(6) どの段階までの進学を希望しているか



どの段階までの進学を希望しているかは、「大学」が31.7%と最も高く、次いで「高等学校」が19.1%、「わからない」が17.6%となっている。

小学5年生では、「大学」が29.2%と最も高く、次いで「高等学校」が20.0%、「わからない」が18.3%となっている。

中学2年生では、「大学」が59.1%と最も高く、次いで「専門学校」が13.6%、「高等学校」「わからない」がそれぞれ9.1%となっている。

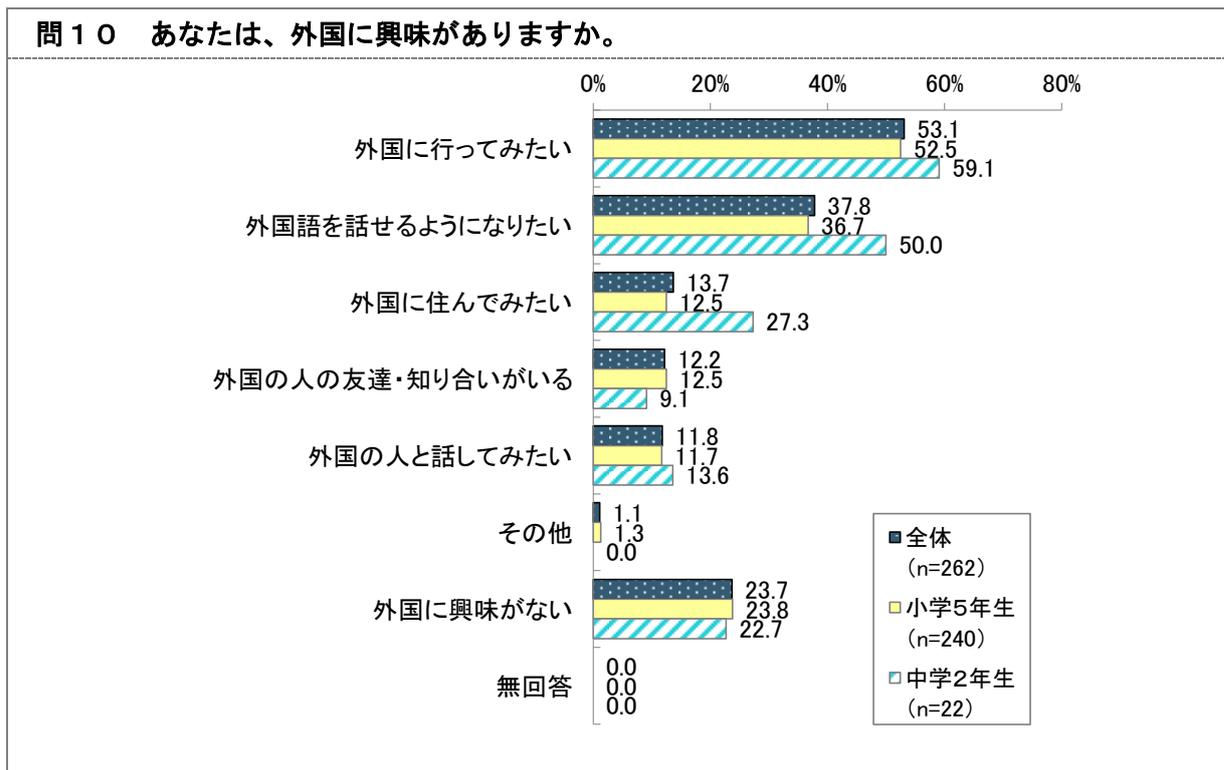
(7) 将来なりたい職業（自由記述）

問9 あなたが将来なりたい職業は何ですか。

記入件数 順位	将来なりたい職業 上位10項目	件数
1	保育士	21件
1	サッカー選手	21件
3	野球選手	16件
4	看護師	11件
5	美容師	10件
5	ユーチューバー	10件
7	ゲーム関係（プログラマー、ゲーマー）	9件
7	料理人（シェフ）	9件
9	薬剤師	6件
10	動物に関わる仕事（飼育員等）	5件
10	パン屋	5件
10	パティシエ	5件
10	バスケットボール選手	5件
10	ダンス（ダンスの先生、ダンサー等）	5件
10	漁業	5件
10	科学者	5件

将来なりたい職業は、「保育士」「サッカー選手」がそれぞれ21件と最も多く、次いで「野球選手」が16件、「看護師」が11件となっている。

(8) 外国に興味があるか



外国に興味があるかは、「外国に興味がない」を除くと、「外国に行ってみよう」が 53.1% と最も高く、次いで「外国語を話せるようになりたい」が 37.8%、「外国に住んでみたい」が 13.7%となっている。

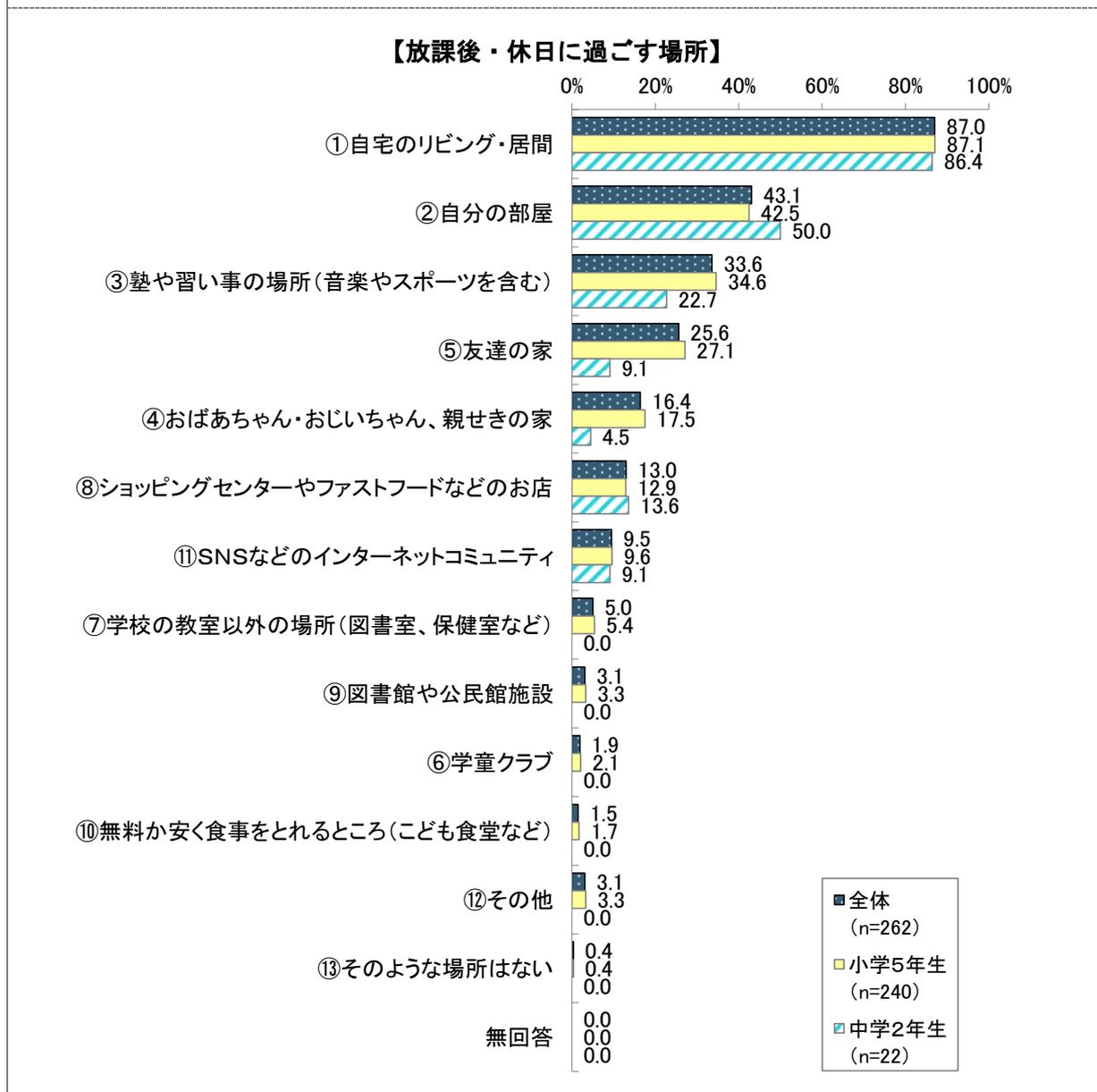
小学5年生では、「外国に興味がない」を除くと、「外国に行ってみよう」が 52.5%と最も高く、次いで「外国語を話せるようになりたい」が 36.7%、「外国に住んでみたい」「外国の人の友達・知り合いがいる」がそれぞれ 12.5%となっている。

中学2年生では、「外国に行ってみよう」が 59.1%と最も高く、次いで「外国語を話せるようになりたい」が 50.0%、「外国に住んでみたい」が 27.3%となっている。

3. 放課後や休日のことについて

(1) 放課後や休日に過ごしている場所とホッとできる・安心できる場所

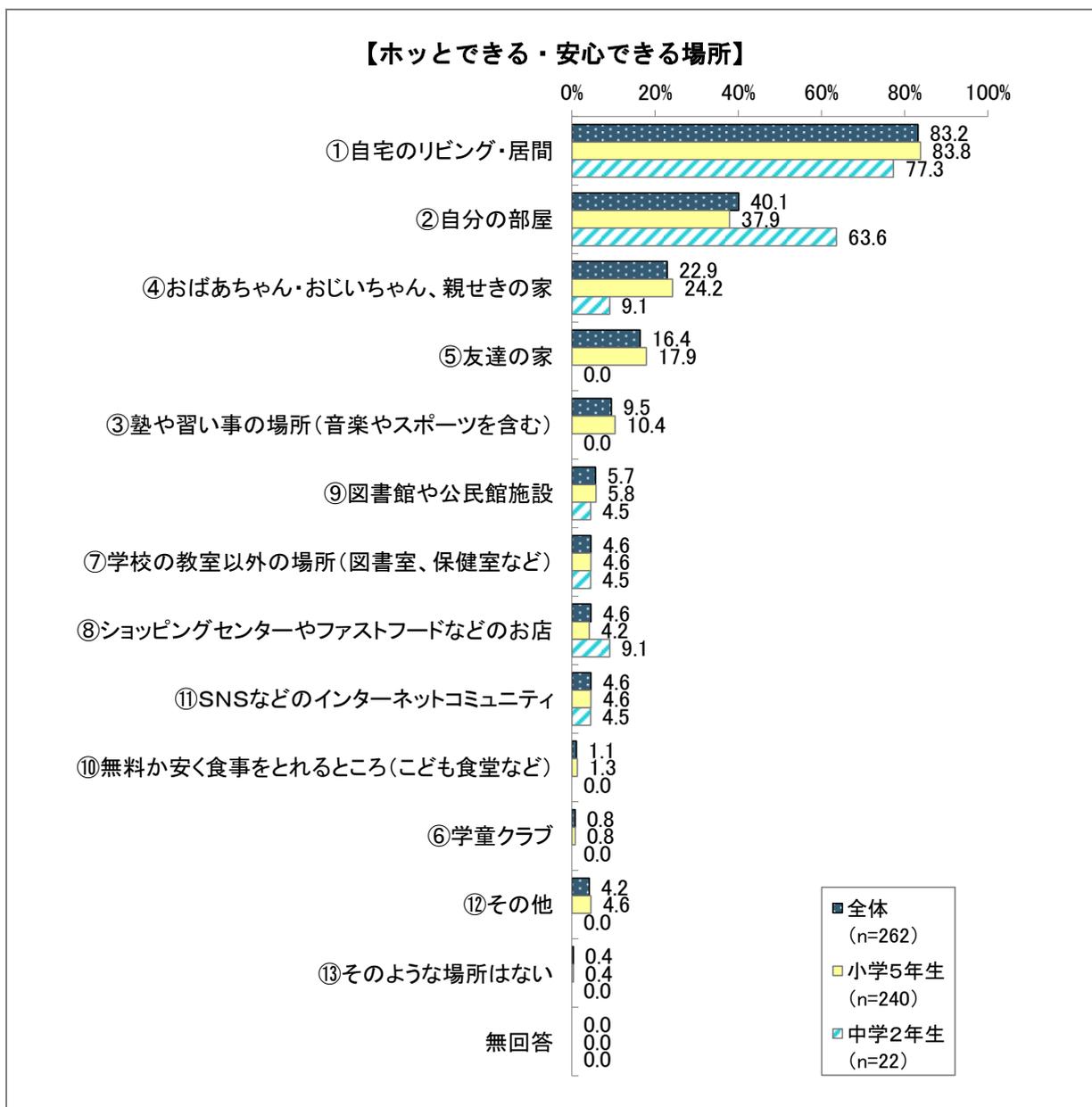
問11 あなたは、放課後、休日にどこで過ごすことが多いですか。また、あなたにとってホッとできる・安心できる場所はどこですか。



放課後・休日に過ごす場所は、「①自宅のリビング・居間」が87.0%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が43.1%、「③塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)」が33.6%となっている。

小学5年生では、「①自宅のリビング・居間」が87.1%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が42.5%、「③塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)」が34.6%となっている。

中学2年生では、「①自宅のリビング・居間」が86.4%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が50.0%、「③塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)」が22.7%となっている。



ホッとできる・安心できる場所は、「①自宅のリビング・居間」が83.2%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が40.1%、「④おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家」が22.9%となっている。

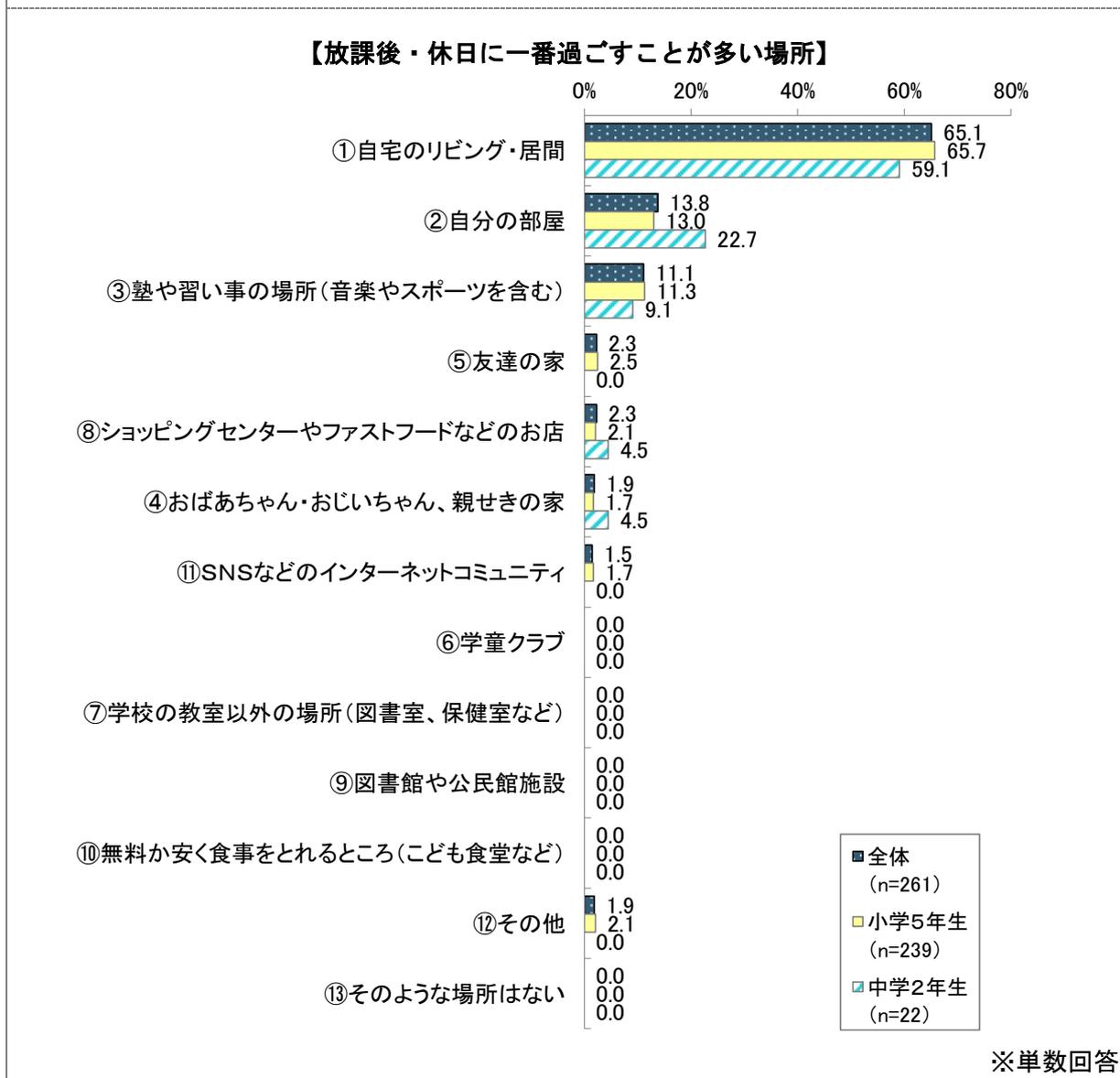
小学5年生では、「①自宅のリビング・居間」が83.8%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が37.9%、「④おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家」が24.2%となっている。

中学2年生では、「①自宅のリビング・居間」が77.3%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が63.6%、「④おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家」「⑧ショッピングセンターやファストフードなどのお店」がそれぞれ9.1%となっている。

(2) 放課後や休日が一番過ごしている場所とホッとできる・安心できる場所

問11で「①～⑫」をひとつでも選んだ人にお聞きします。

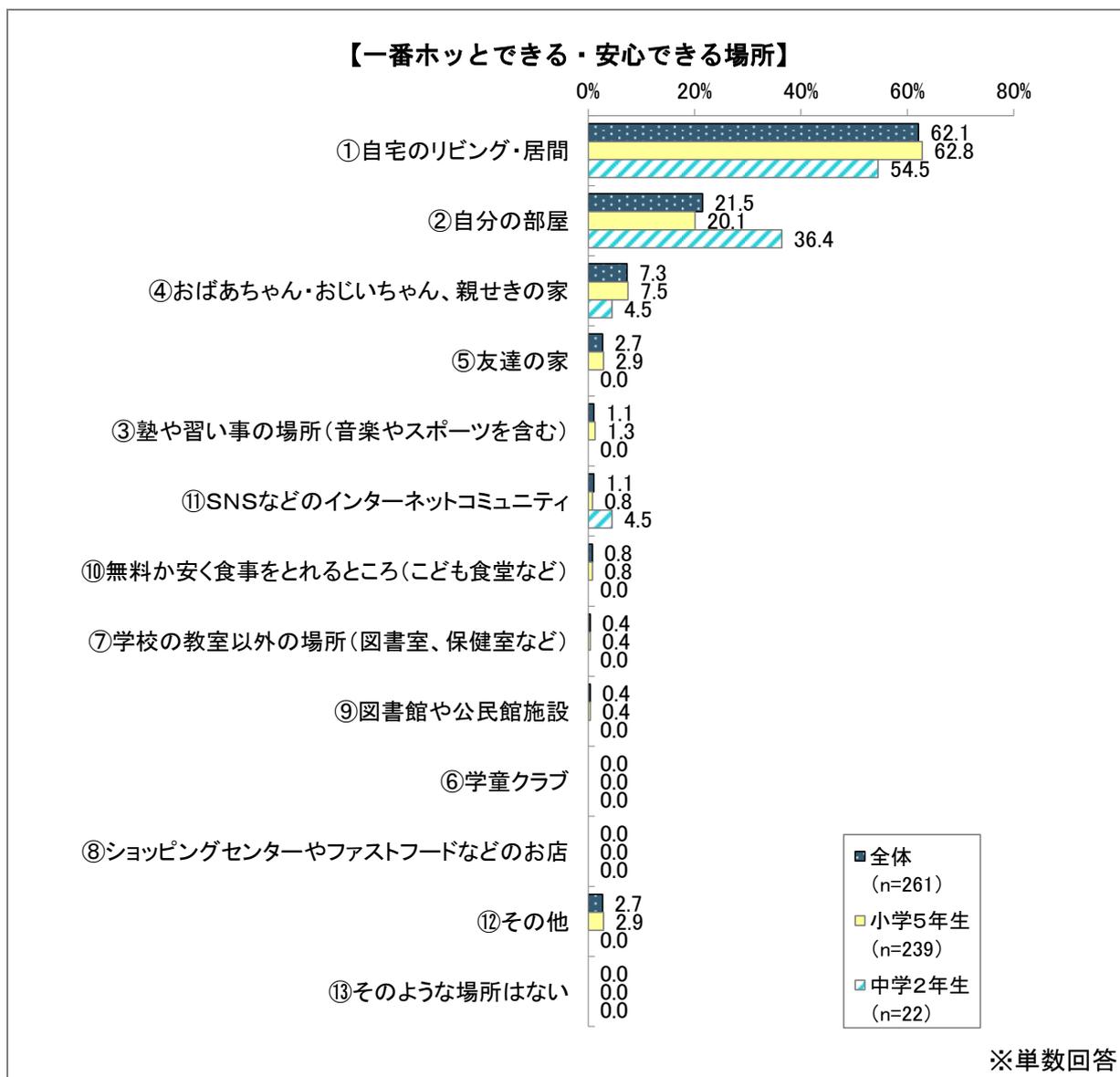
問11-1 あなたは、放課後、休日が一番過ごすことが多いところはどこですか。
また、あなたにとって一番ホッとできる・安心できる場所はどこですか。



放課後・休日が一番過ごすことが多い場所は、「①自宅のリビング・居間」が65.1%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が13.8%、「③塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)」が11.1%となっている。

小学5年生では、「①自宅のリビング・居間」が65.7%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が13.0%、「③塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)」が11.3%となっている。

中学2年生では、「①自宅のリビング・居間」が59.1%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が22.7%、「③塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)」が9.1%となっている。

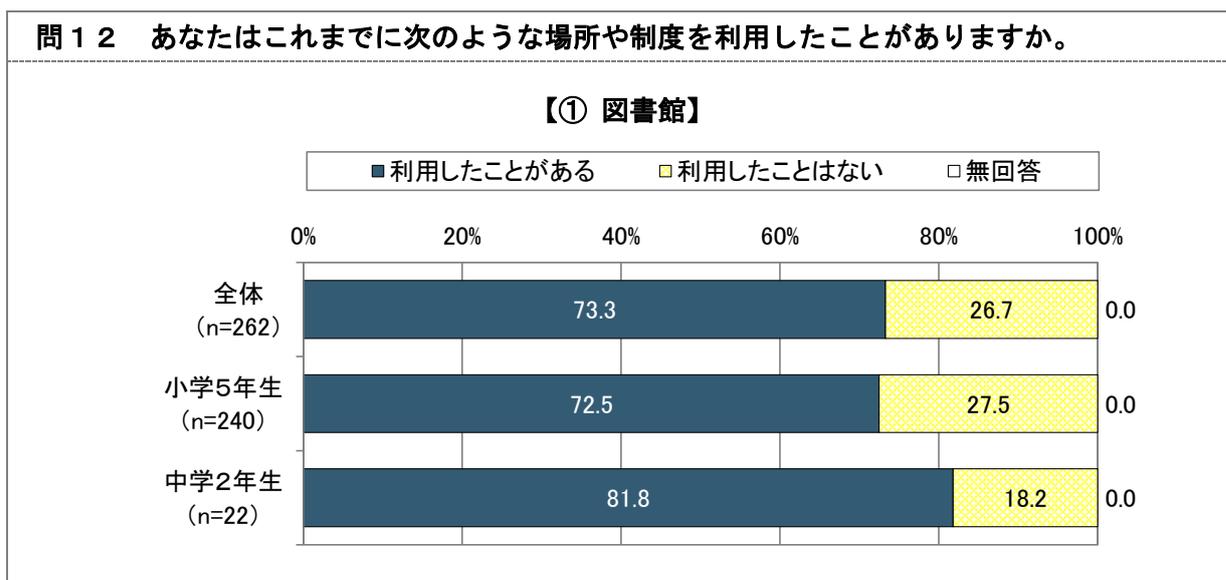


一番ホッとできる・安心できる場所は、「①自宅のリビング・居間」が62.1%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が21.5%、「④おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家」が7.3%となっている。

小学5年生では、「①自宅のリビング・居間」が62.8%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が20.1%、「④おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家」が7.5%となっている。

中学2年生では、「①自宅のリビング・居間」が54.5%と最も高く、次いで「②自分の部屋」が36.4%、「④おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家」「⑪SNSなどのインターネットコミュニティ」がそれぞれ4.5%となっている。

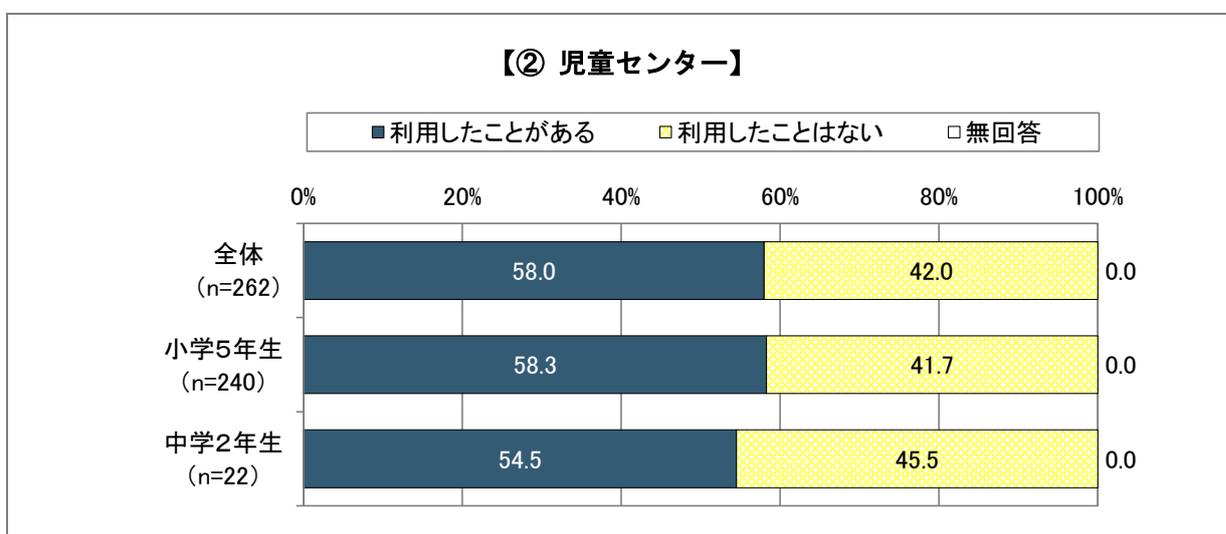
(3) 公共の場所や制度の利用経験の有無



①図書館の利用経験は、「利用したことがある」が73.3%、「利用したことはない」が26.7%となっている。

小学5年生では、「利用したことがある」が72.5%、「利用したことはない」が27.5%となっている。

中学2年生では、「利用したことがある」が81.8%、「利用したことはない」が18.2%となっている。

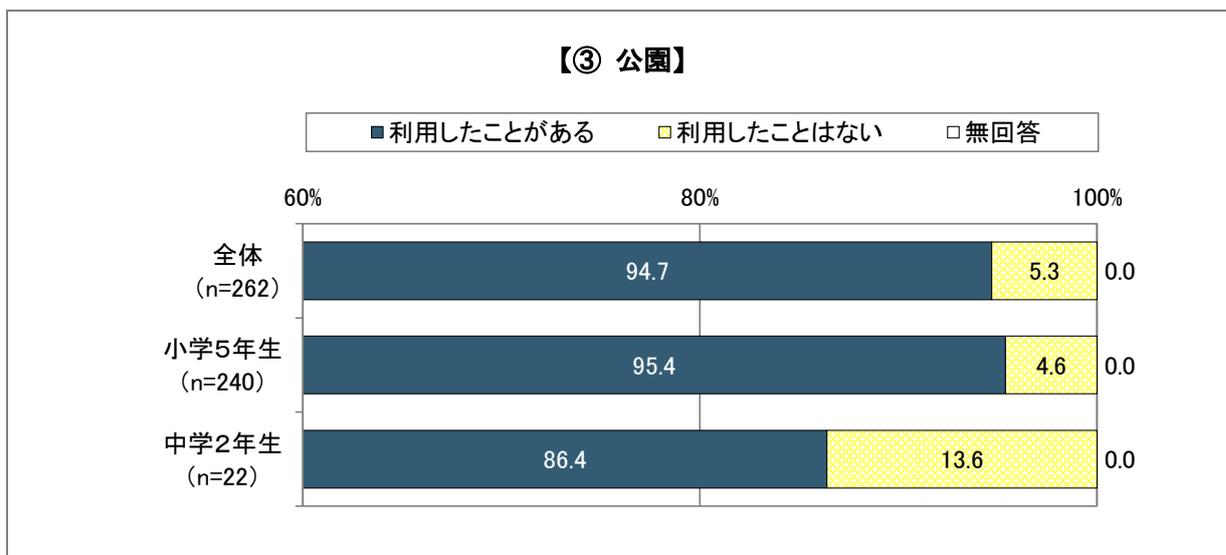


②児童センターの利用経験は、「利用したことがある」が58.0%、「利用したことはない」が42.0%となっている。

小学5年生では、「利用したことがある」が58.3%、「利用したことはない」が41.7%となっている。

中学2年生では、「利用したことがある」が54.5%、「利用したことはない」が45.5%となっている。

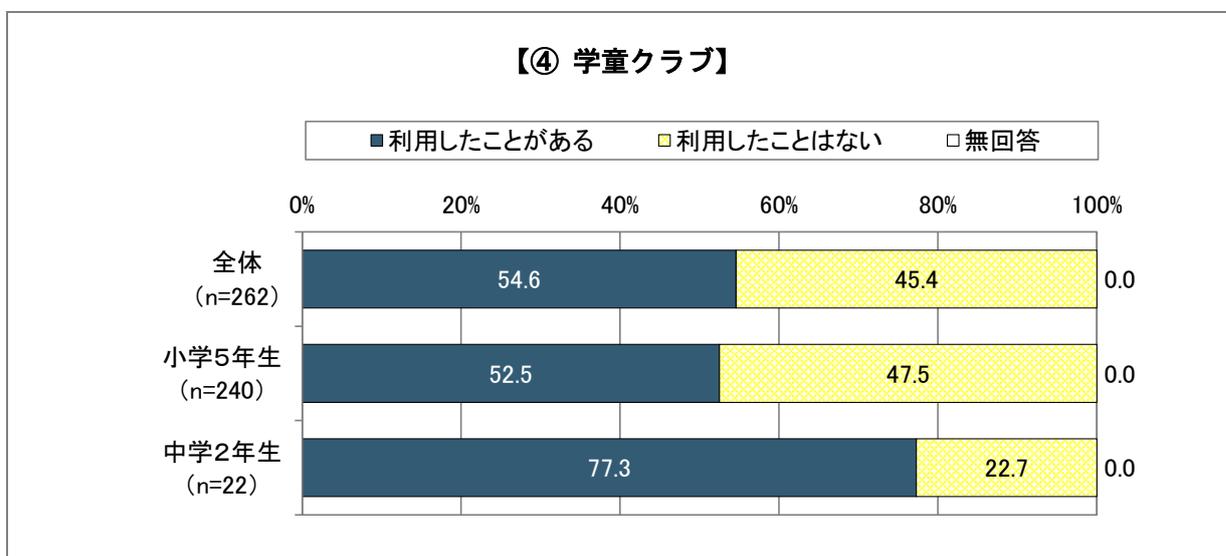
第2章 小学5年生・中学2年生



③公園の利用経験は、「利用したことがある」が94.7%、「利用したことはない」が5.3%となっている。

小学5年生では、「利用したことがある」が95.4%、「利用したことはない」が4.6%となっている。

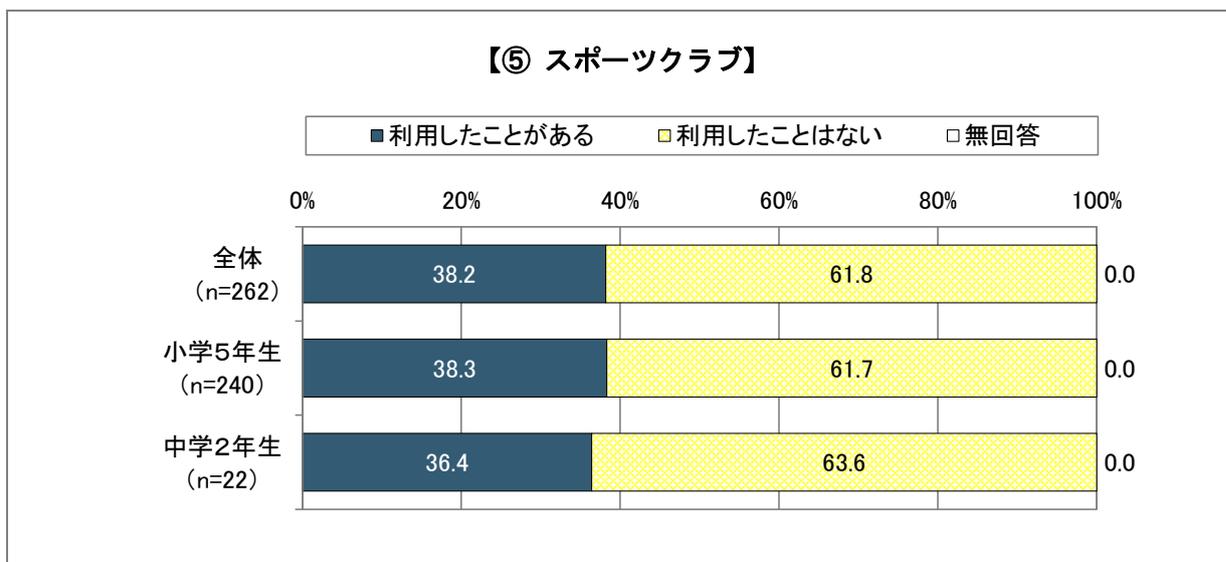
中学2年生では、「利用したことがある」が86.4%、「利用したことはない」が13.6%となっている。



④学童クラブの利用経験は、「利用したことがある」が54.6%、「利用したことはない」が45.4%となっている。

小学5年生では、「利用したことがある」が52.5%、「利用したことはない」が47.5%となっている。

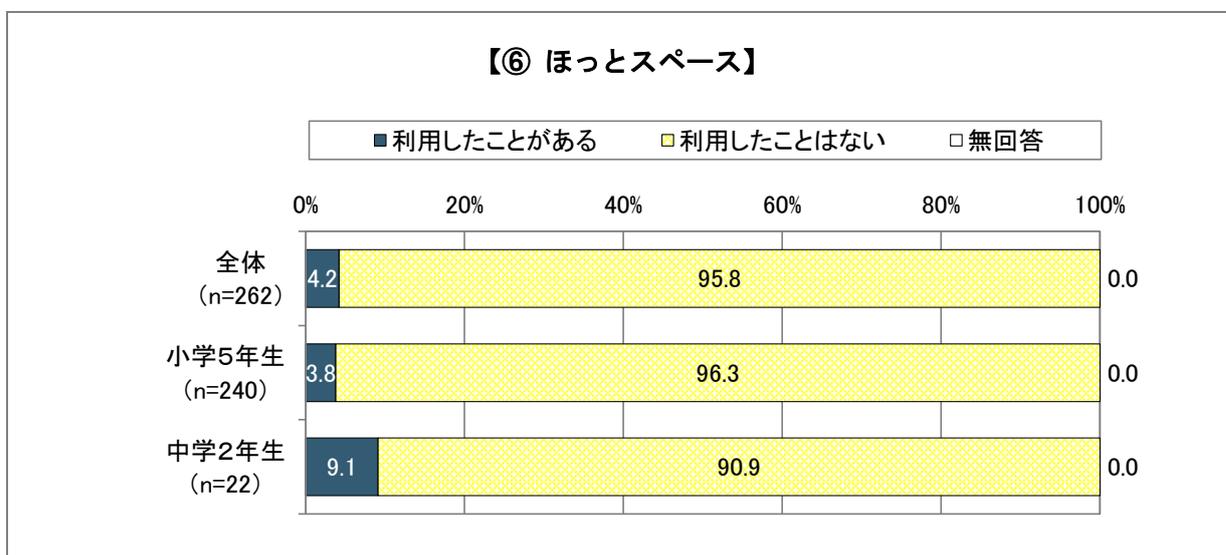
中学2年生では、「利用したことがある」が77.3%、「利用したことはない」が22.7%となっている。



⑤スポーツクラブの利用経験は、「利用したことはない」が61.8%、「利用したことがある」が38.2%となっている。

小学5年生では、「利用したことはない」が61.7%、「利用したことがある」が38.3%となっている。

中学2年生では、「利用したことはない」が63.6%、「利用したことがある」が36.4%となっている。

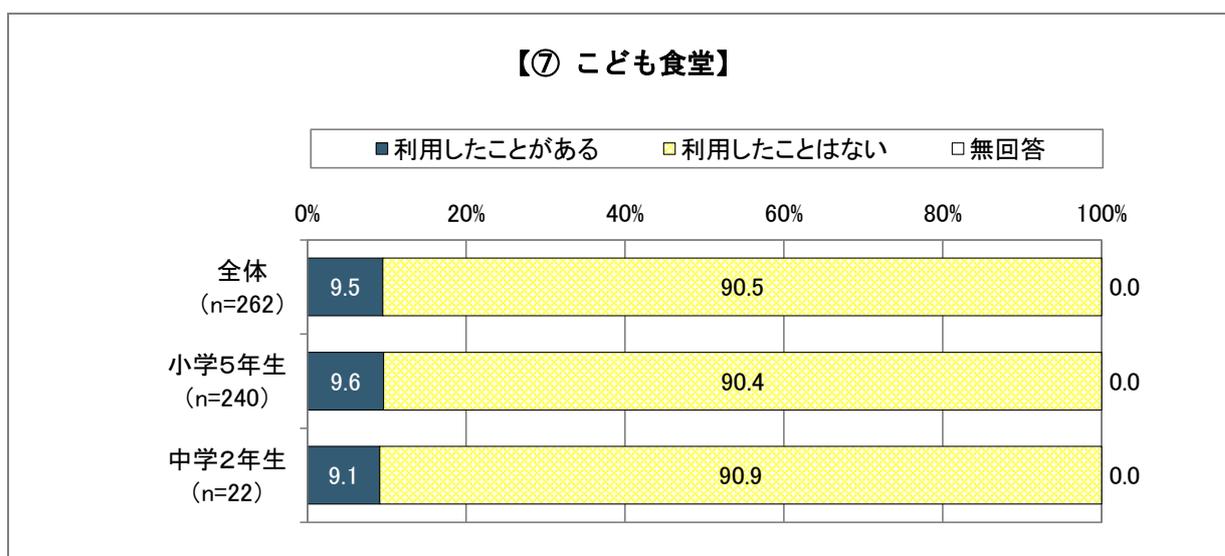


⑥ほっとスペースの利用経験は、「利用したことはない」が95.8%、「利用したことがある」が4.2%となっている。

小学5年生では、「利用したことはない」が96.3%、「利用したことがある」が3.8%となっている。

中学2年生では、「利用したことはない」が90.9%、「利用したことがある」が9.1%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生



⑦こども食堂の利用経験は、「利用したことはない」が 90.5%、「利用したことがある」が 9.5%となっている。

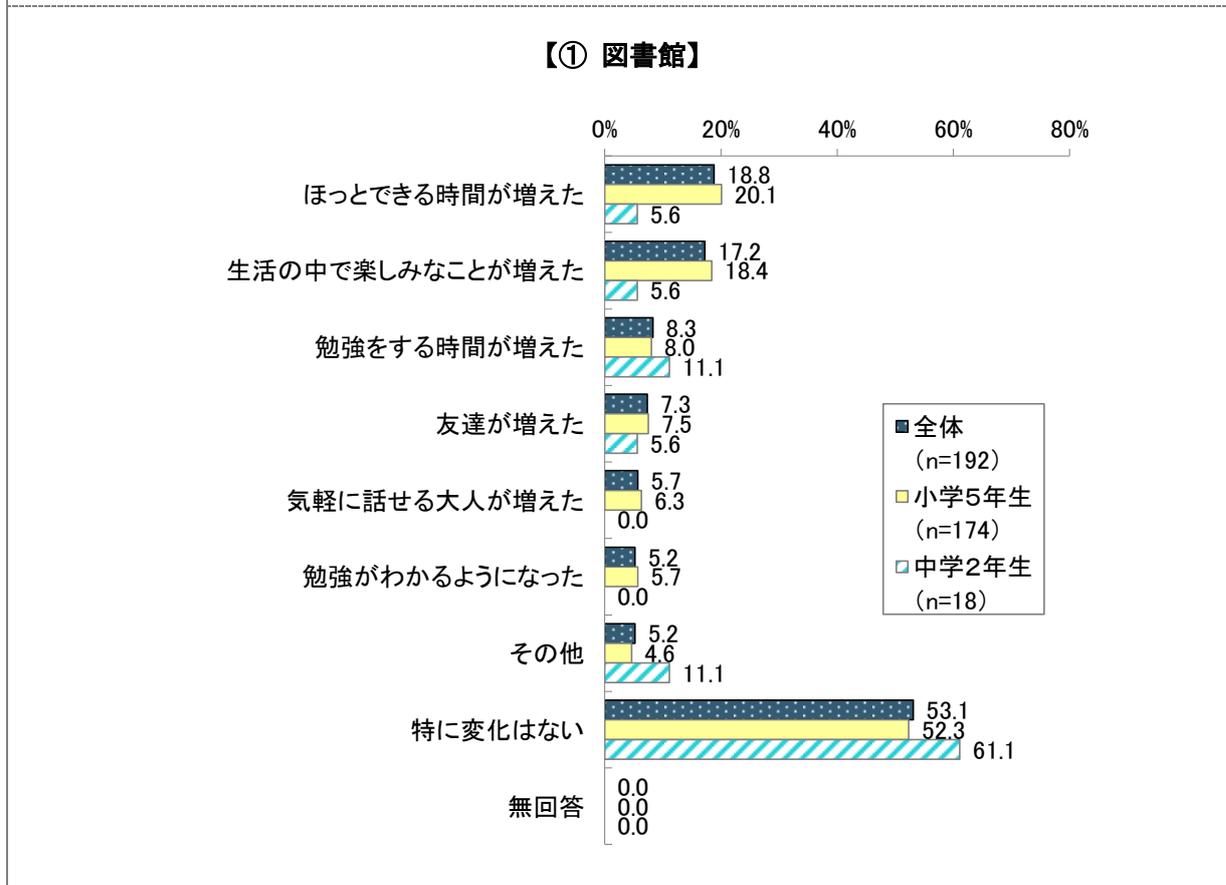
小学5年生では、「利用したことはない」が 90.4%、「利用したことがある」が 9.6%となっている。

中学2年生では、「利用したことはない」が 90.9%、「利用したことがある」が 9.1%となっている。

(4) 公共の場所や制度の利用後の変化

問12で「利用したことがある」を選んだ人にお聞きします。

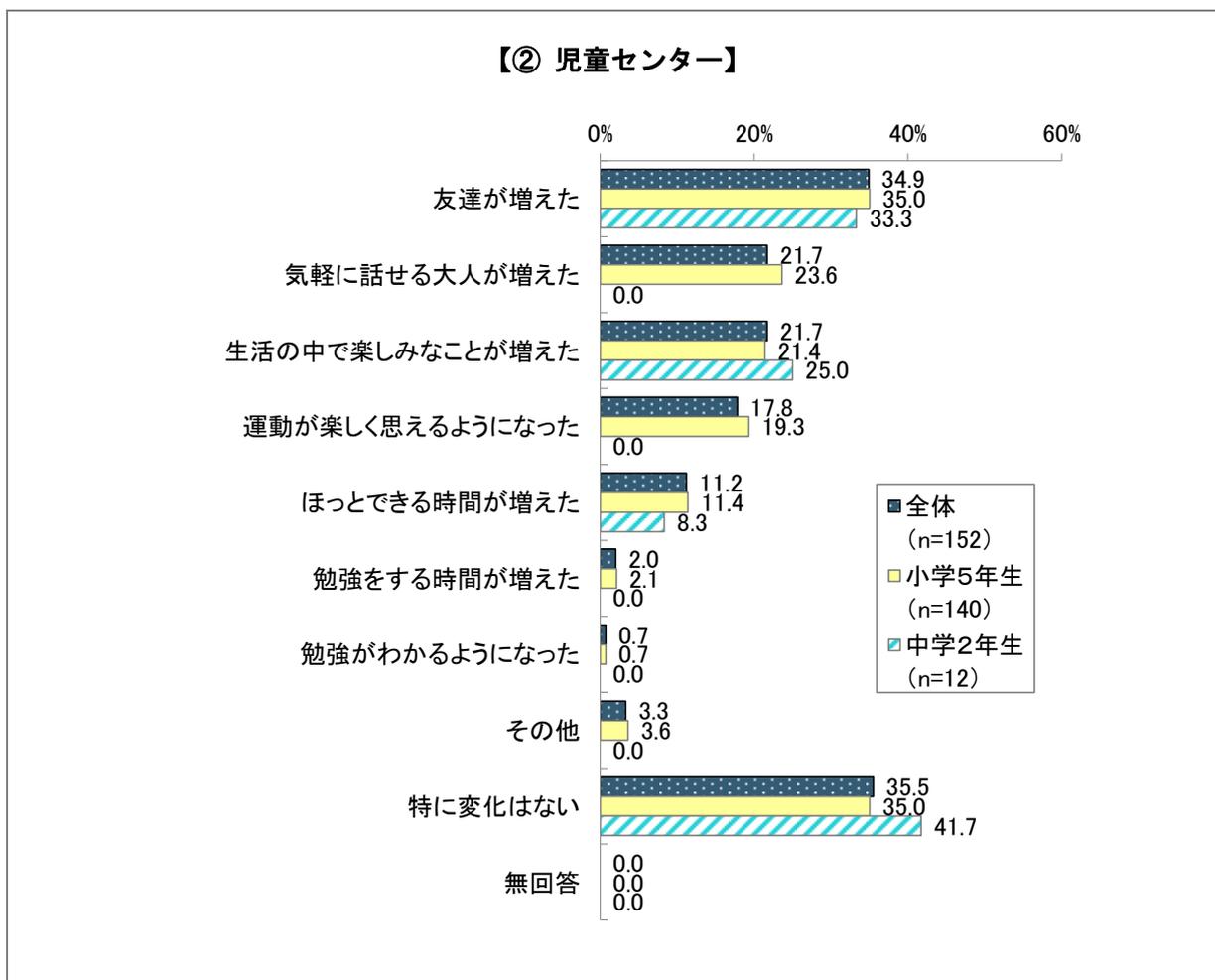
問12-1 あなたは、そこを利用してどのような変化がありましたか。



①図書館の利用後の変化は、「特に変化はない」を除くと、「ほっとできる時間が増えた」が18.8%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が17.2%、「勉強をする時間が増えた」が8.3%となっている。

小学5年生では、「特に変化はない」を除くと、「ほっとできる時間が増えた」が20.1%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が18.4%、「勉強をする時間が増えた」が8.0%となっている。

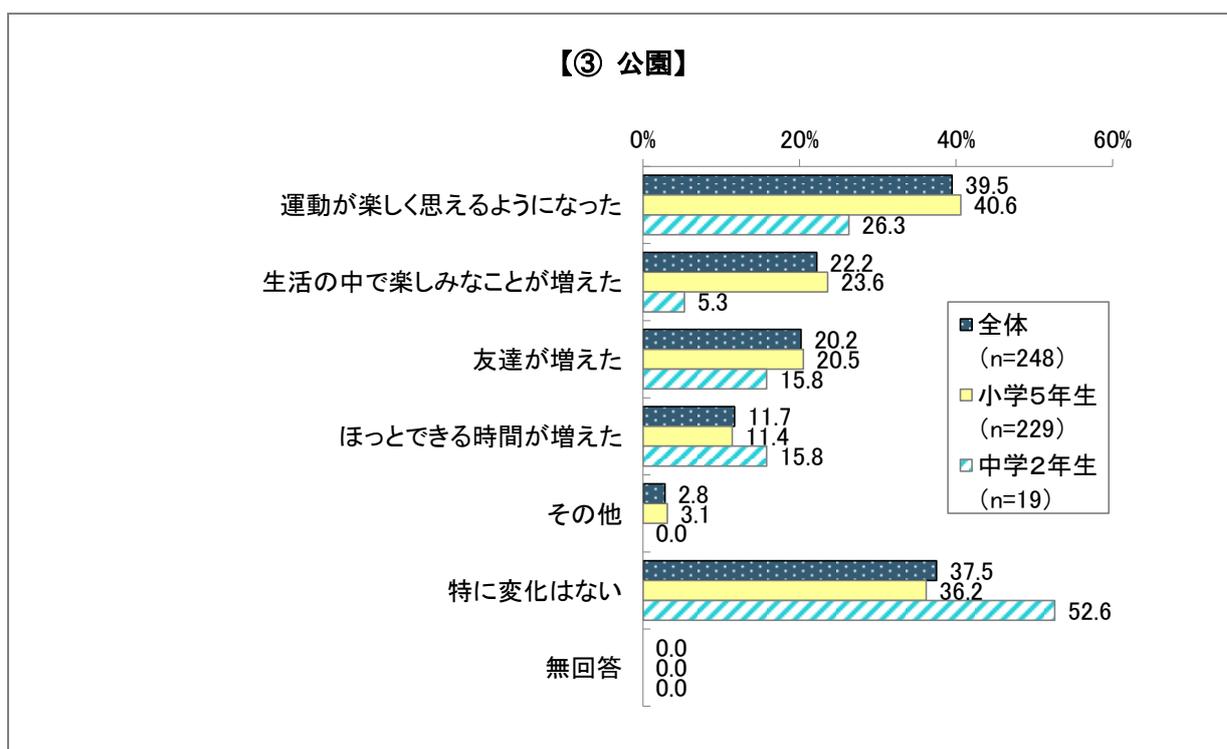
中学2年生では、「特に変化はない」を除くと、「勉強をする時間が増えた」が11.1%と最も高く、次いで「ほっとできる時間が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」「友達が増えた」がそれぞれ5.6%となっている。



②児童センターの利用後の変化は、「特に変化はない」を除くと、「友達が増えた」が34.9%と最も高く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」がそれぞれ21.7%、「運動が楽しく思えるようになった」が17.8%となっている。

小学5年生では、「特に変化はない」を除くと、「友達が増えた」が35.0%と最も高く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」が23.6%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が21.4%となっている。

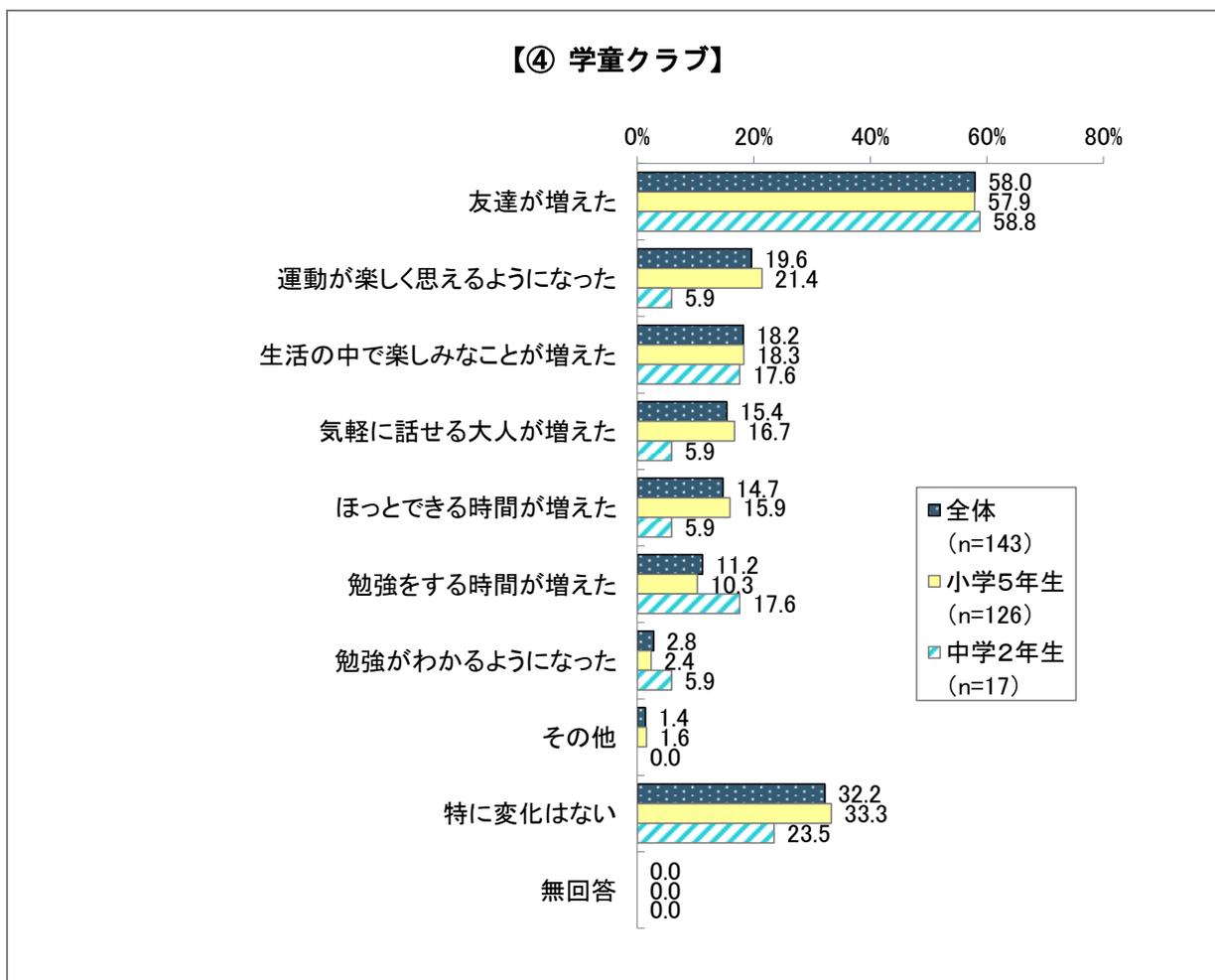
中学2年生では、「特に変化はない」を除くと、「友達が増えた」が33.3%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が25.0%、「ほっとできる時間が増えた」が8.3%となっている。



③公園の利用後の変化は、「特に変化はない」を除くと、「運動が楽しく思えるようになった」が39.5%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が22.2%、「友達が増えた」が20.2%となっている。

小学5年生では、「特に変化はない」を除くと、「運動が楽しく思えるようになった」が40.6%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が23.6%、「友達が増えた」が20.5%となっている。

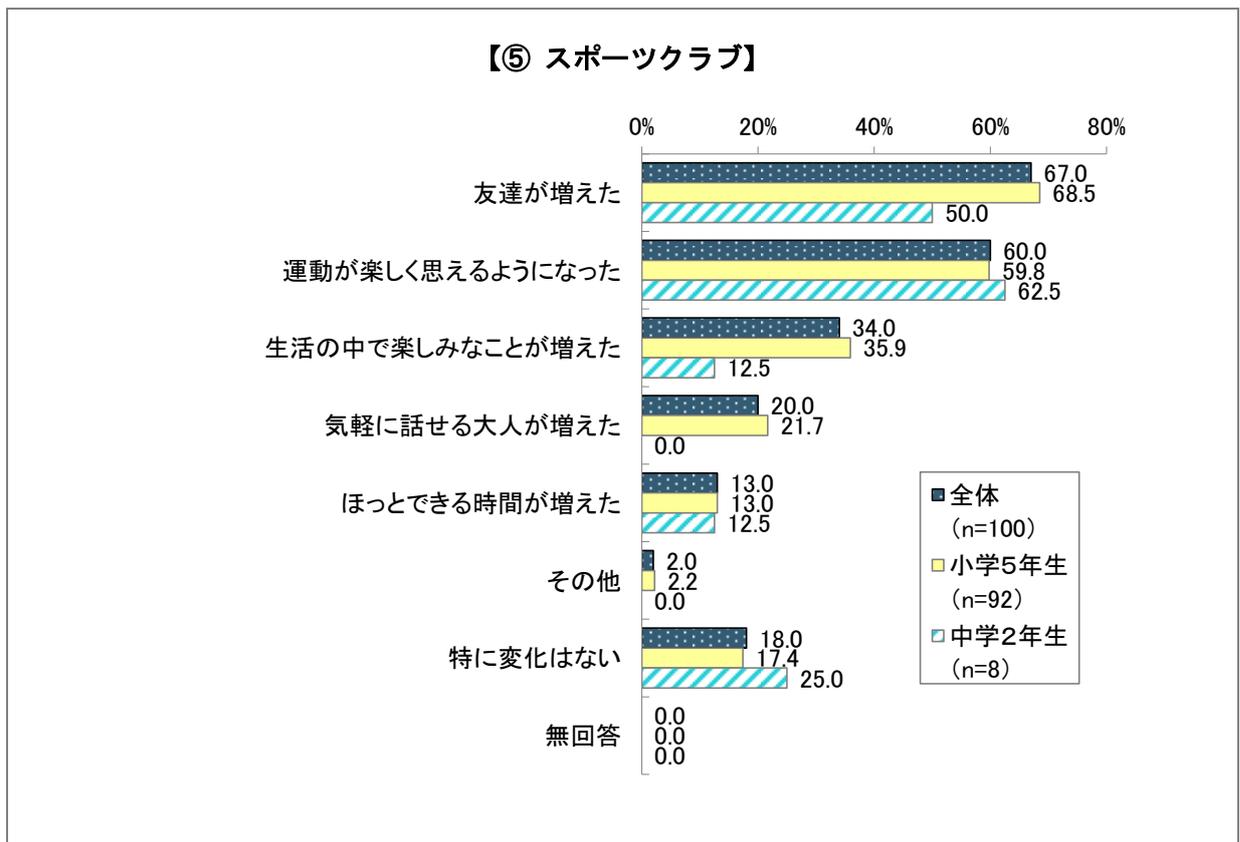
中学2年生では、「特に変化はない」を除くと、「運動が楽しく思えるようになった」が26.3%と最も高く、次いで「友達が増えた」「ほっとできる時間が増えた」がそれぞれ15.8%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が5.3%となっている。



④学童クラブの利用後の変化は、「特に変化はない」を除くと、「友達が増えた」が 58.0%と最も高く、次いで「運動が楽しく思えるようになった」が 19.6%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が 18.2%となっている。

小学5年生では、「特に変化はない」を除くと、「友達が増えた」が 57.9%と最も高く、次いで「運動が楽しく思えるようになった」が 21.4%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が 18.3%となっている。

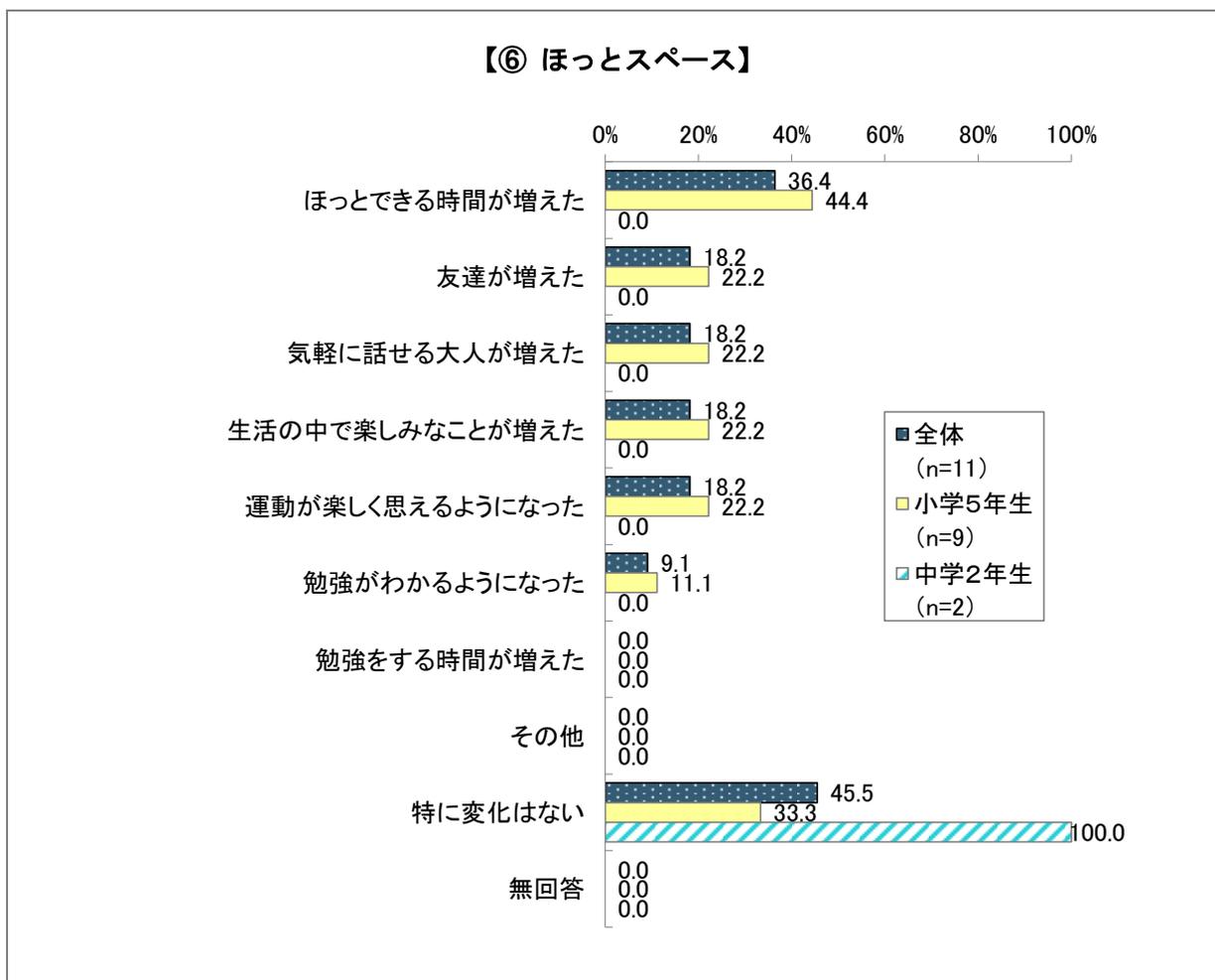
中学2年生では、「特に変化はない」を除くと、「友達が増えた」が 58.8%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」「勉強をする時間が増えた」がそれぞれ 17.6%、「運動が楽しく思えるようになった」「気軽に話せる大人が増えた」「ほっとできる時間が増えた」「勉強がわかるようになった」がそれぞれ 5.9%となっている。



⑤スポーツクラブの利用後の変化は、「友達が増えた」が67.0%と最も高く、次いで「運動が楽しく思えるようになった」が60.0%、「生活の中で楽しいことが増えた」が34.0%となっている。

小学5年生では、「友達が増えた」が68.5%と最も高く、次いで「運動が楽しく思えるようになった」が59.8%、「生活の中で楽しいことが増えた」が35.9%となっている。

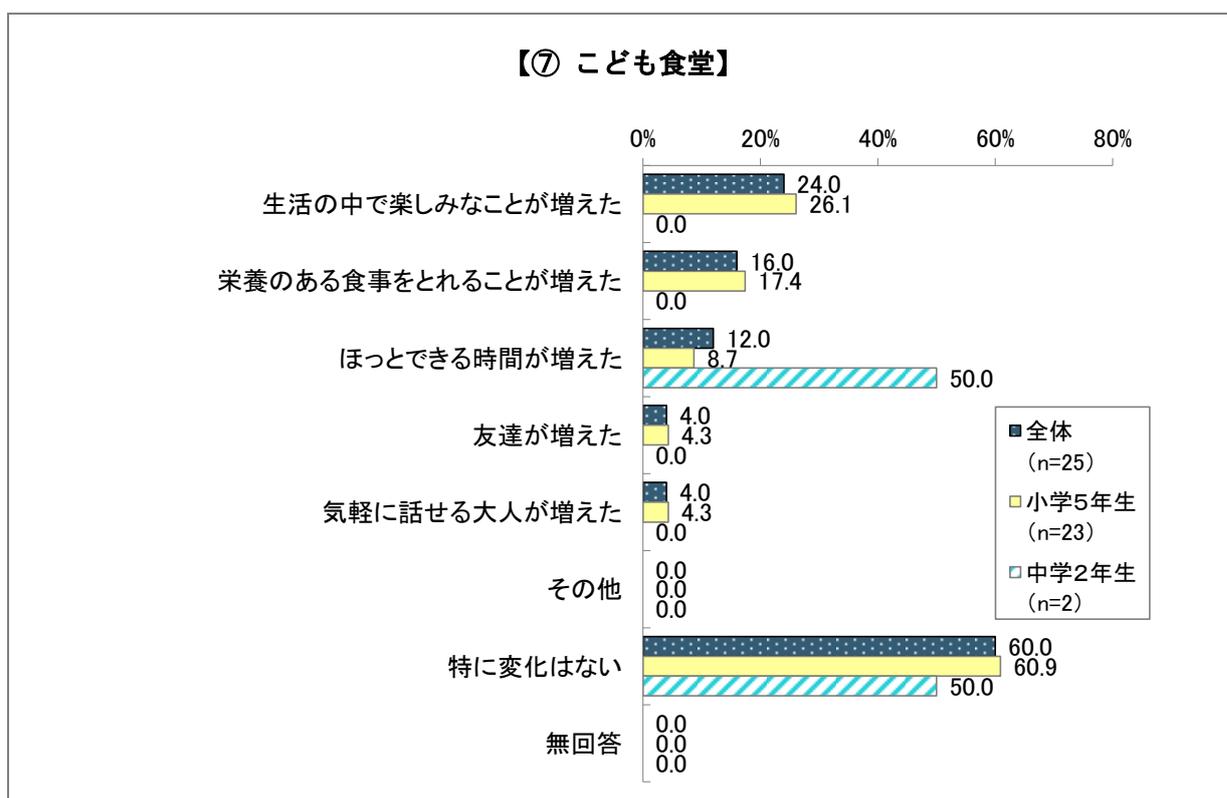
中学2年生では、「特に変化はない」を除くと、「運動が楽しく思えるようになった」が62.5%と最も高く、次いで「友達が増えた」が50.0%、「生活の中で楽しいことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」がそれぞれ12.5%となっている。



⑥ほっとスペースの利用後の変化は、「特に変化はない」を除くと、「ほっとできる時間が増えた」が36.4%と最も高く、次いで「友達が増えた」「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しいことが増えた」「運動が楽しく思えるようになった」がそれぞれ18.2%、「勉強がわかるようになった」が9.1%となっている。

小学5年生では、「特に変化はない」を除くと、「ほっとできる時間が増えた」が44.4%と最も高く、次いで「友達が増えた」「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しいことが増えた」「運動が楽しく思えるようになった」がそれぞれ22.2%、「勉強がわかるようになった」が11.1%となっている。

中学2年生では、「特に変化はない」が100.0%と最も高くなっている。

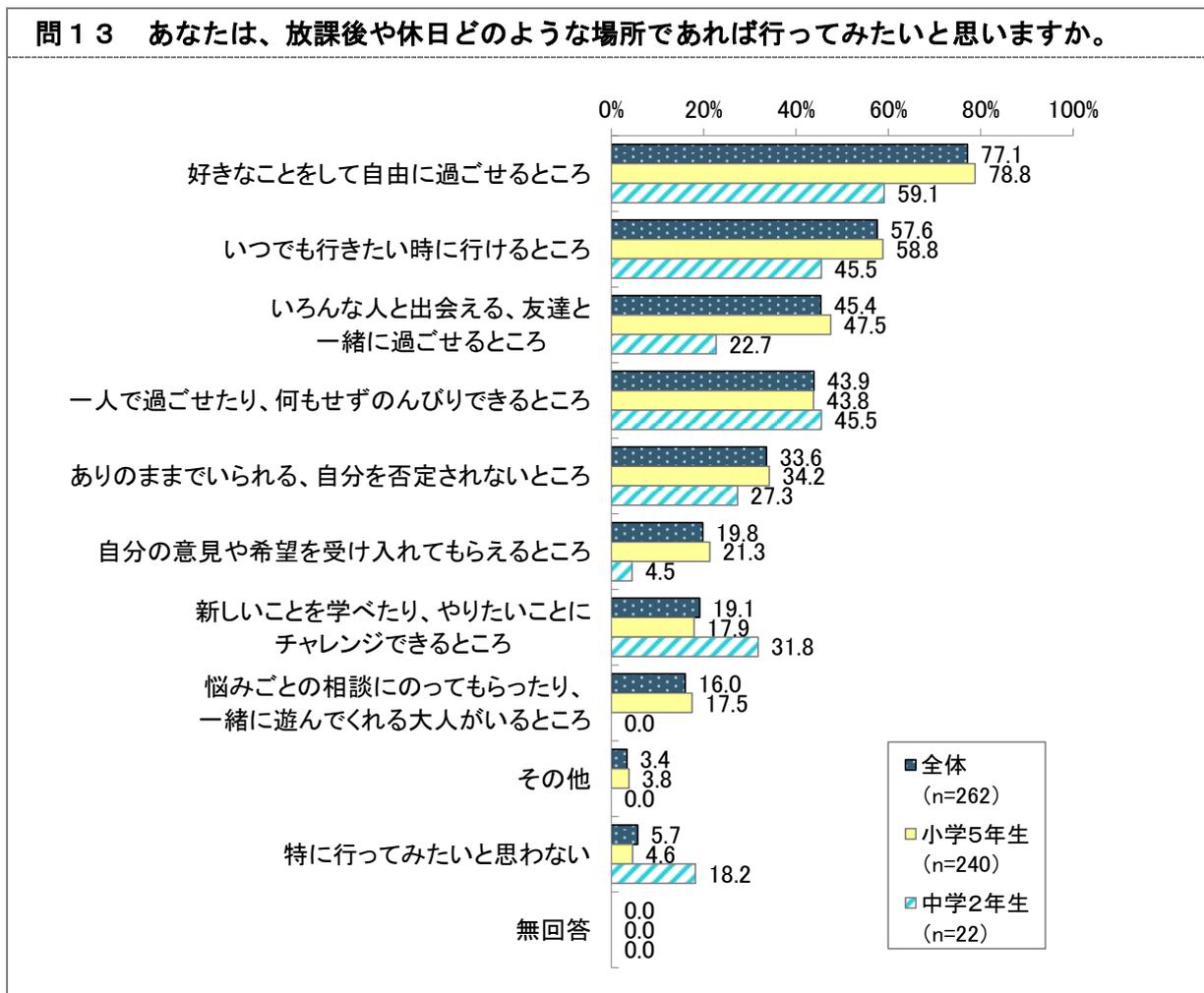


⑦こども食堂の利用後の変化は、「特に変化はない」を除くと、「生活の中で楽しみなことが増えた」が24.0%と最も高く、次いで「栄養のある食事をとれることが増えた」が16.0%、「ほっとできる時間が増えた」が12.0%となっている。

小学5年生では、「特に変化はない」を除くと、「生活の中で楽しみなことが増えた」が26.1%と最も高く、次いで「栄養のある食事をとれることが増えた」が17.4%、「ほっとできる時間が増えた」が8.7%となっている。

中学2年生では、「特に変化はない」を除くと、「ほっとできる時間が増えた」が50.0%と最も高くなっている。

(5) 放課後や休日に行ってみたい場所

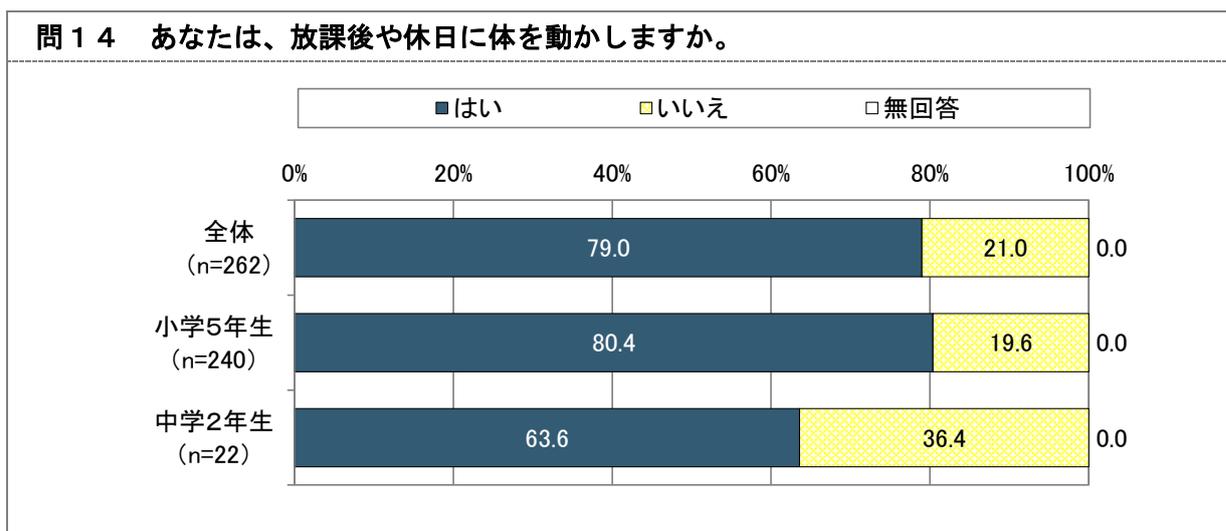


放課後や休日に行ってみたい場所は、「好きなことをして自由に過ごせるところ」が77.1%と最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行けるところ」が57.6%、「いろいろな人と出会える、友達と一緒に過ごせるところ」が45.4%となっている。

小学5年生では、「好きなことをして自由に過ごせるところ」が78.8%と最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行けるところ」が58.8%、「いろいろな人と出会える、友達と一緒に過ごせるところ」が47.5%となっている。

中学2年生では、「好きなことをして自由に過ごせるところ」が59.1%と最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行けるところ」「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできるところ」がそれぞれ45.5%、「新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできるところ」が31.8%となっている。

(6) 放課後や休日に体を動かしているか

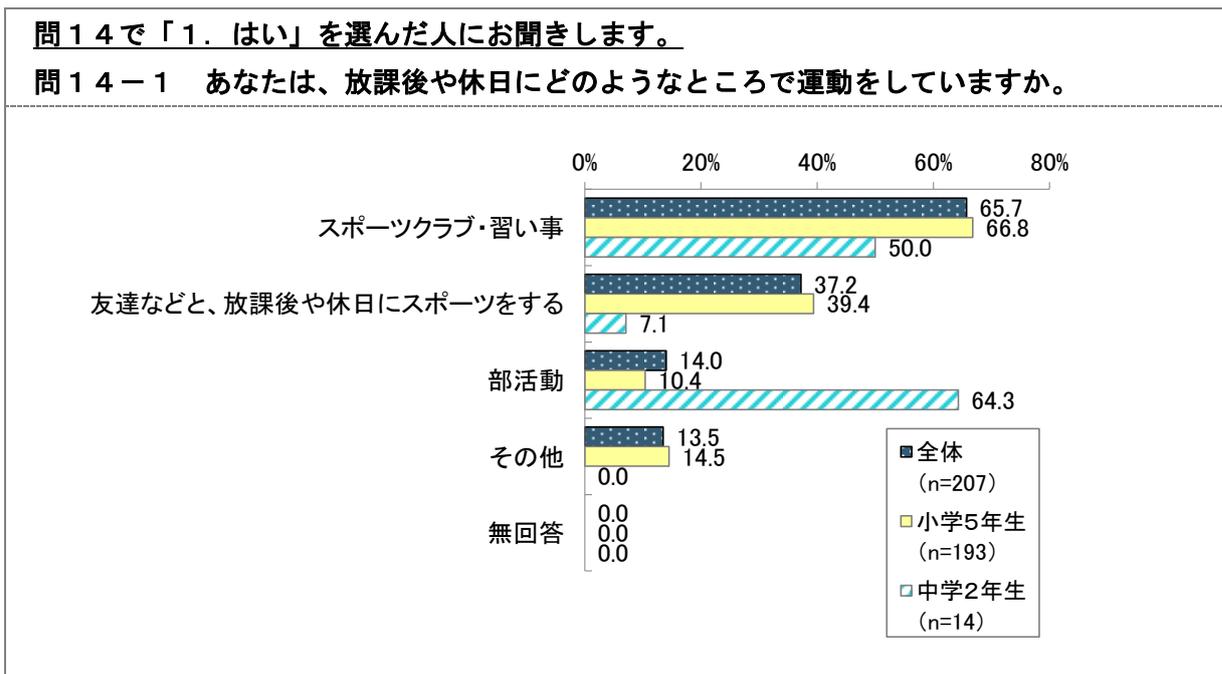


放課後や休日に体を動かしているかは、「はい」が79.0%、「いいえ」が21.0%となっている。

小学5年生では、「はい」が80.4%、「いいえ」が19.6%となっている。

中学2年生では、「はい」が63.6%、「いいえ」が36.4%となっている。

(7) 放課後や休日に運動している場所



放課後や休日に運動している場所は、「スポーツクラブ・習い事」が65.7%と最も高く、次いで「友達などと、放課後や休日にスポーツをする」が37.2%、「部活動」が14.0%となっている。

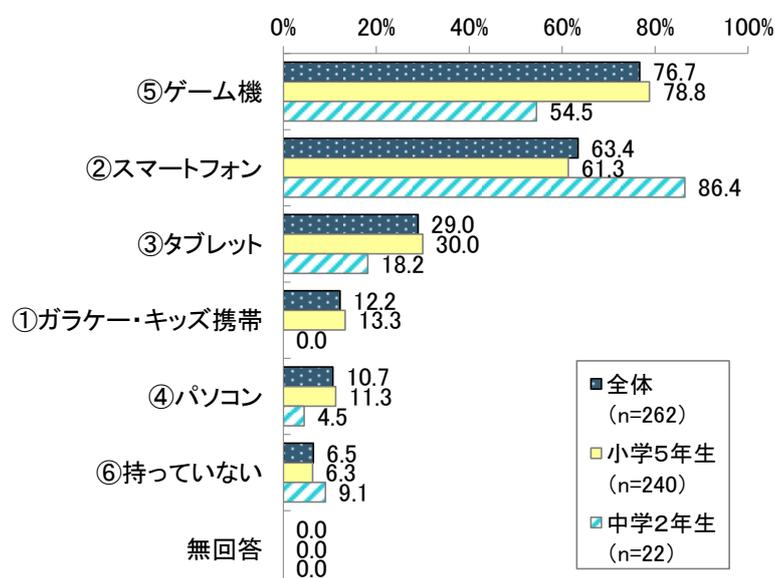
小学5年生では、「スポーツクラブ・習い事」が66.8%と最も高く、次いで「友達などと、放課後や休日にスポーツをする」が39.4%、「部活動」が10.4%となっている。

中学2年生では、「部活動」が64.3%と最も高く、次いで「スポーツクラブ・習い事」が50.0%、「友達などと、放課後や休日にスポーツをする」が7.1%となっている。

(8) スマートフォンなどの保有状況

問15 あなたは、自分のスマートフォンなどを持っていますか。または、親（保護者）などのものを使用していますか。

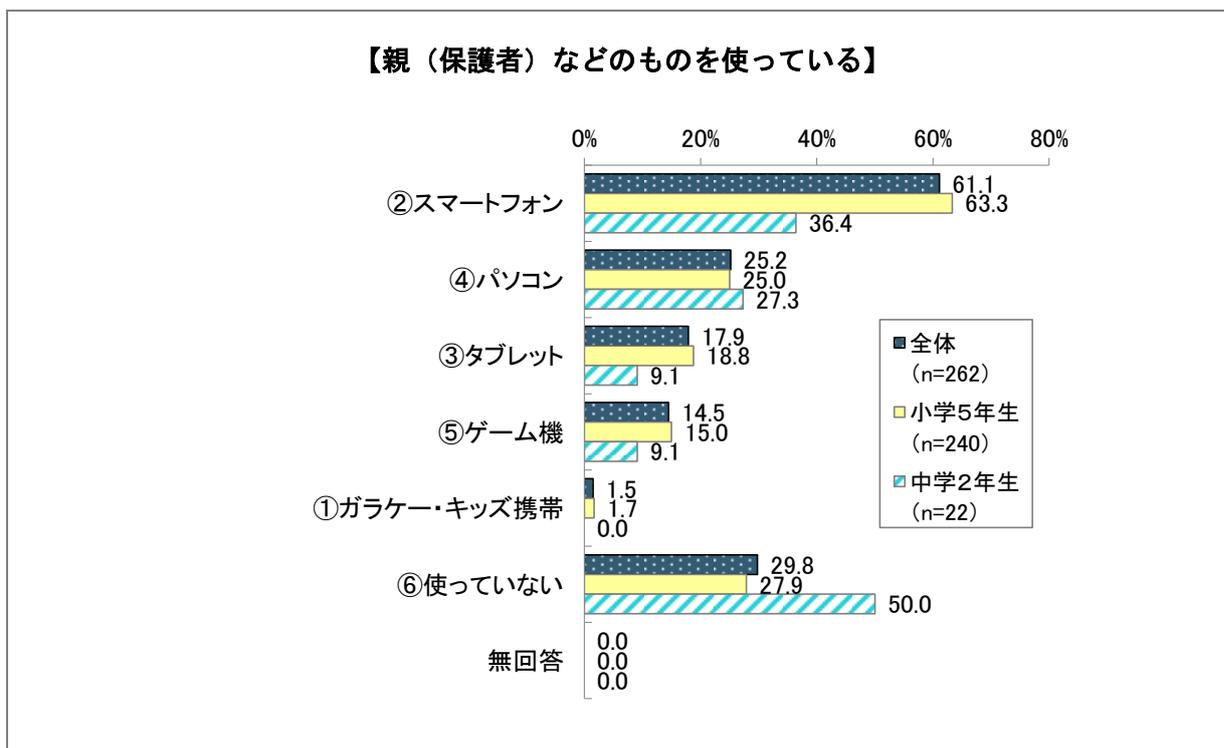
【自分のものを持っている】



自分のものを持っているは、「⑤ゲーム機」が76.7%と最も高く、次いで「②スマートフォン」が63.4%、「③タブレット」が29.0%となっている。

小学5年生では、「⑤ゲーム機」が78.8%と最も高く、次いで「②スマートフォン」が61.3%、「③タブレット」が30.0%となっている。

中学2年生では、「②スマートフォン」が86.4%と最も高く、次いで「⑤ゲーム機」が54.5%、「③タブレット」が18.2%となっている。



親（保護者）などのものを使っているは、「⑥使っていない」を除くと、「②スマートフォン」が61.1%と最も高く、次いで「④パソコン」が25.2%、「③タブレット」が17.9%となっている。

小学5年生では、「⑥使っていない」を除くと、「②スマートフォン」が63.3%と最も高く、次いで「④パソコン」が25.0%、「③タブレット」が18.8%となっている。

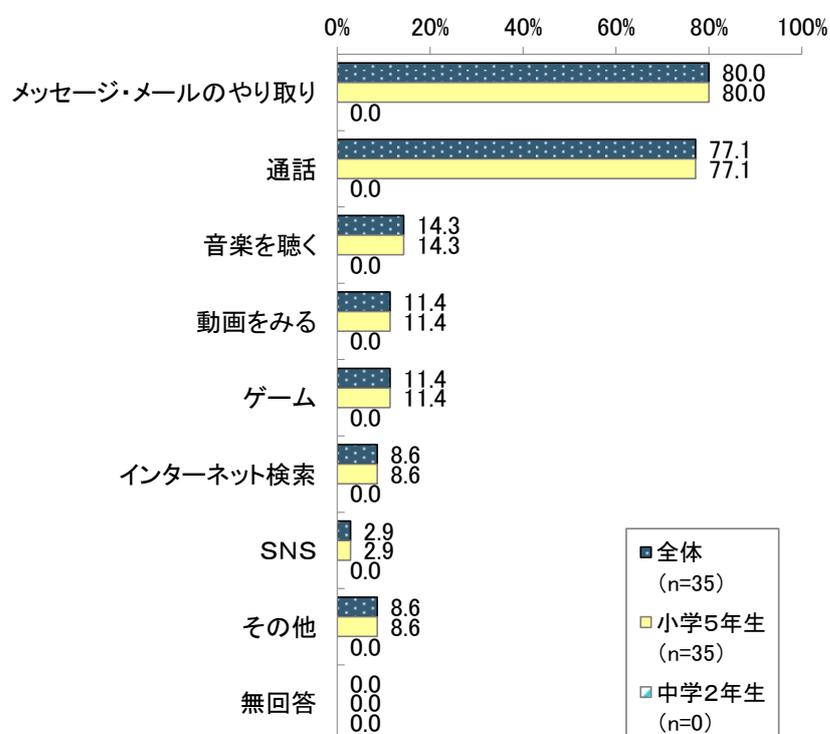
中学2年生では、「⑥使っていない」を除くと、「②スマートフォン」が36.4%と最も高く、次いで「④パソコン」が27.3%、「③タブレット」「⑤ゲーム機」がそれぞれ9.1%となっている。

(9) スマートフォンなどの使用目的

問15で「①」～「⑤」をひとつでも選んだ人にお聞きします。

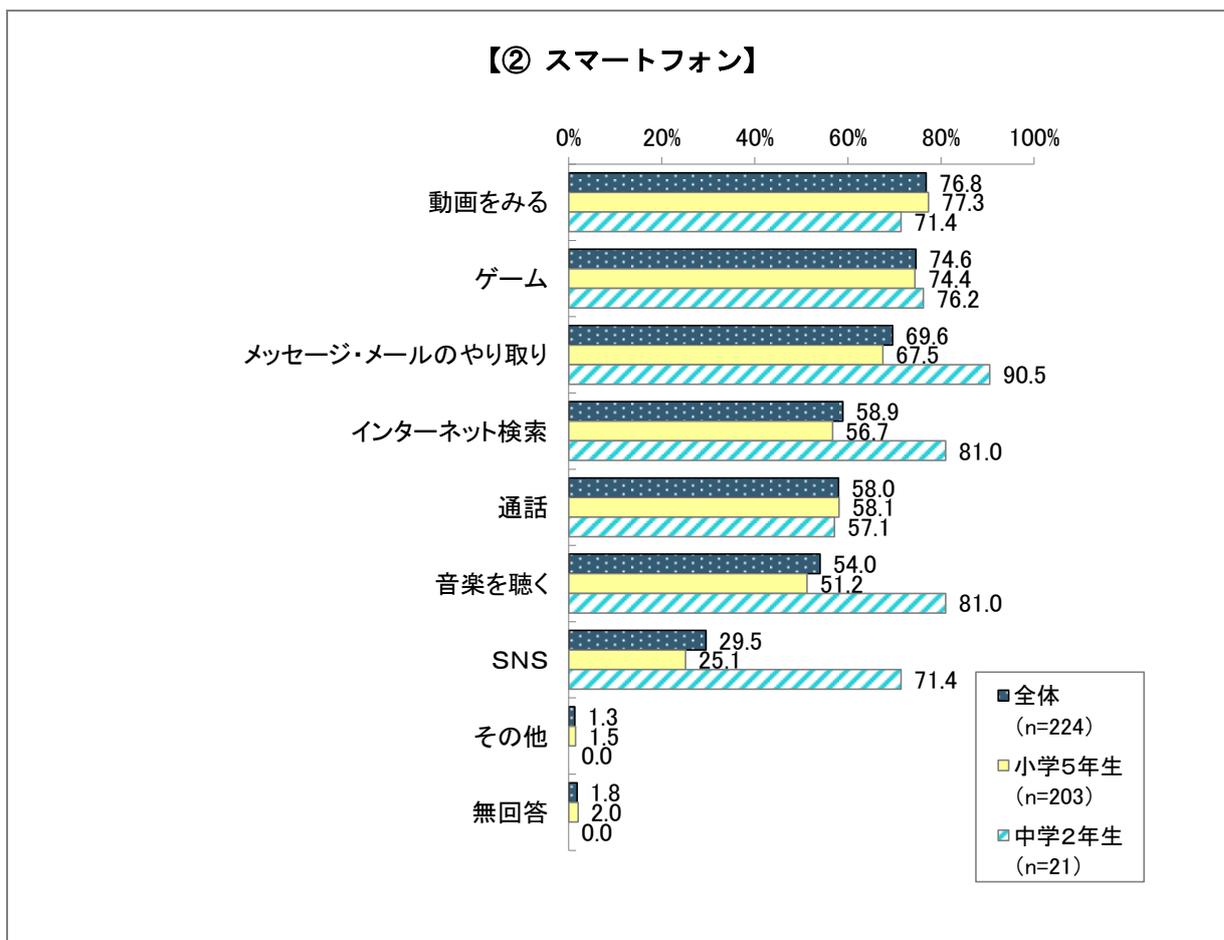
問15-1 あなたは、どのような目的でそれらを使用しますか。

【① ガラケー・キッズ携帯】



①ガラケー・キッズ携帯の使用目的は、小学5年生では、「メッセージ・メールのやり取り」が80.0%と最も高く、次いで「通話」が77.1%、「音楽を聴く」が14.3%となっている。

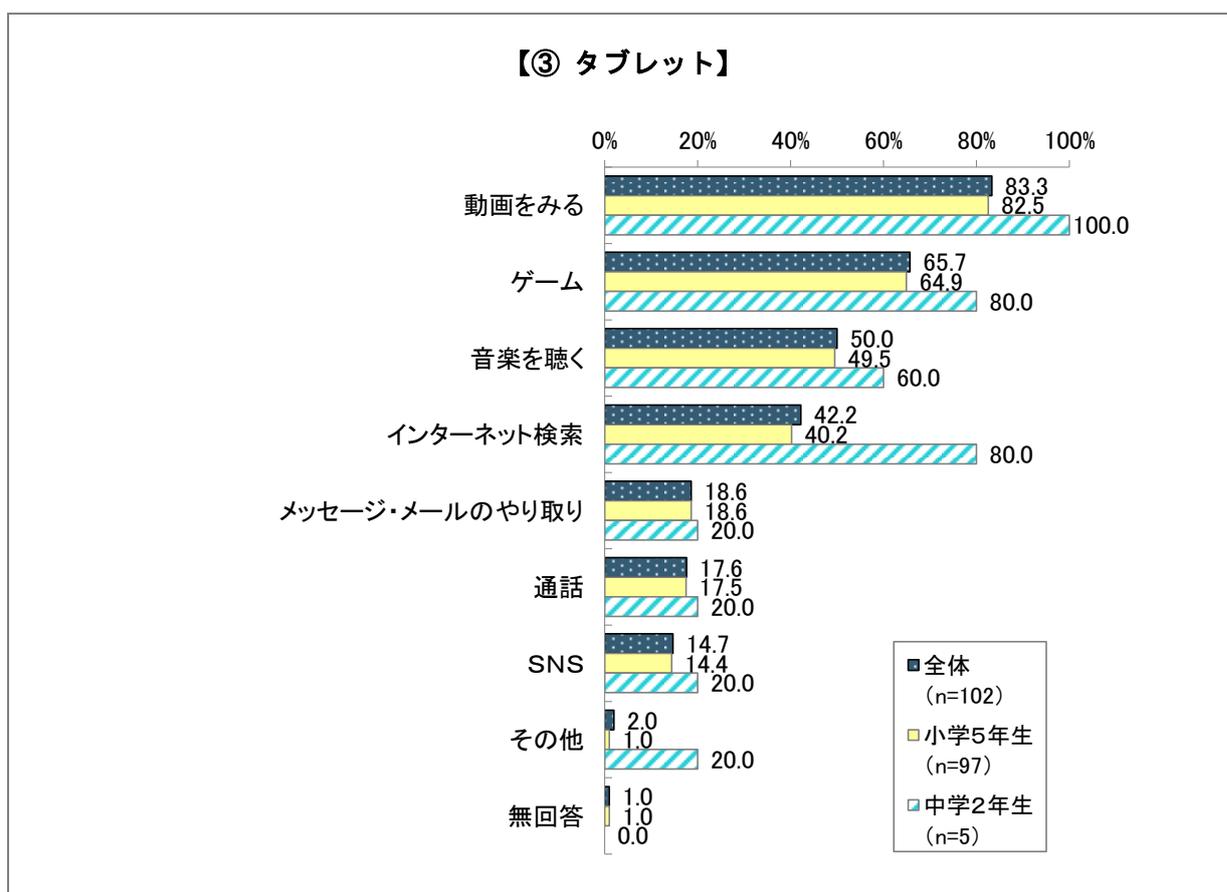
中学2年生では、該当者がいなかった。



②スマートフォンの使用目的は、「動画をみる」が76.8%と最も高く、次いで「ゲーム」が74.6%、「メッセージ・メールのやり取り」が69.6%となっている。

小学5年生では、「動画をみる」が77.3%と最も高く、次いで「ゲーム」が74.4%、「メッセージ・メールのやり取り」が67.5%となっている。

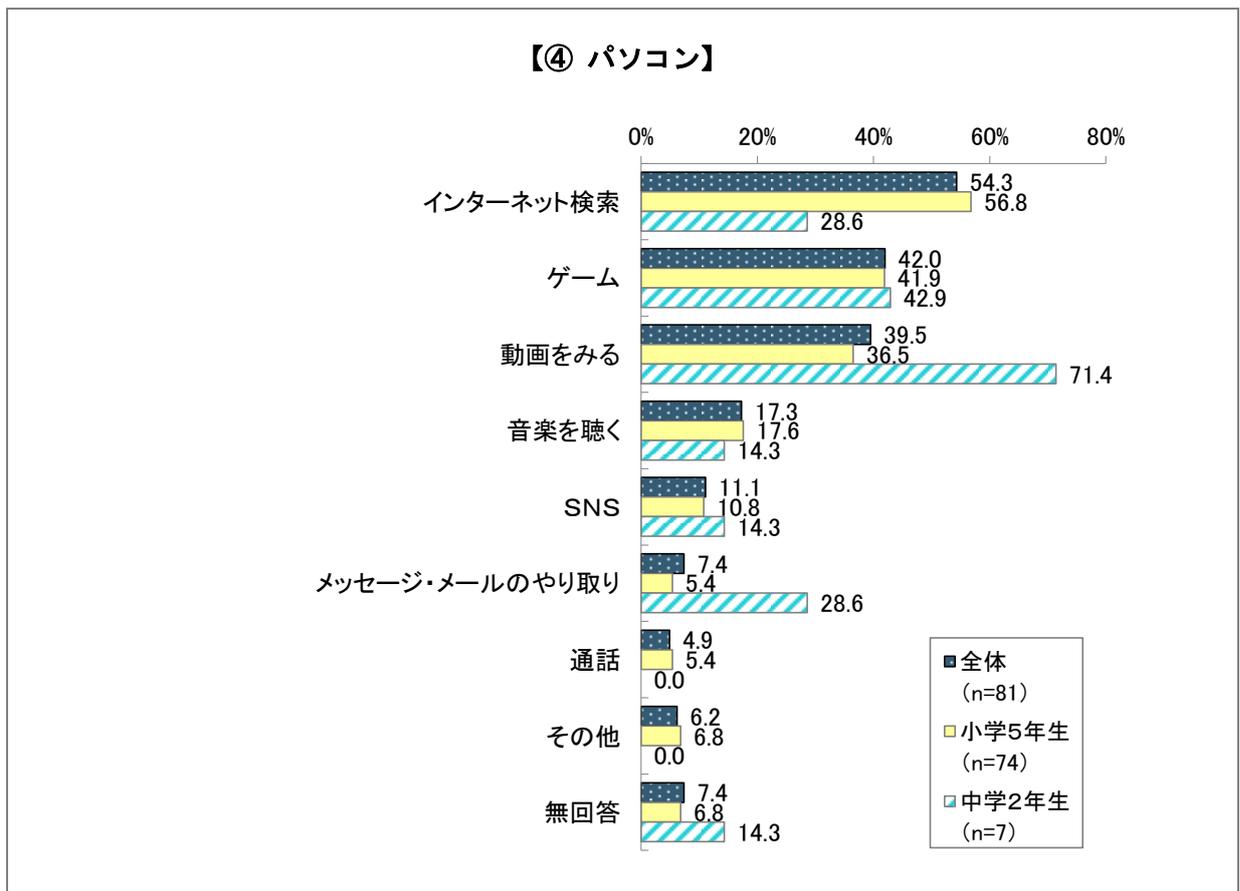
中学2年生では、「メッセージ・メールのやり取り」が90.5%と最も高く、次いで「インターネット検索」「音楽を聴く」がそれぞれ81.0%、「ゲーム」が76.2%となっている。



③タブレットの使用目的は、「動画をみる」が83.3%と最も高く、次いで「ゲーム」が65.7%、「音楽を聴く」が50.0%となっている。

小学5年生では、「動画をみる」が82.5%と最も高く、次いで「ゲーム」が64.9%、「音楽を聴く」が49.5%となっている。

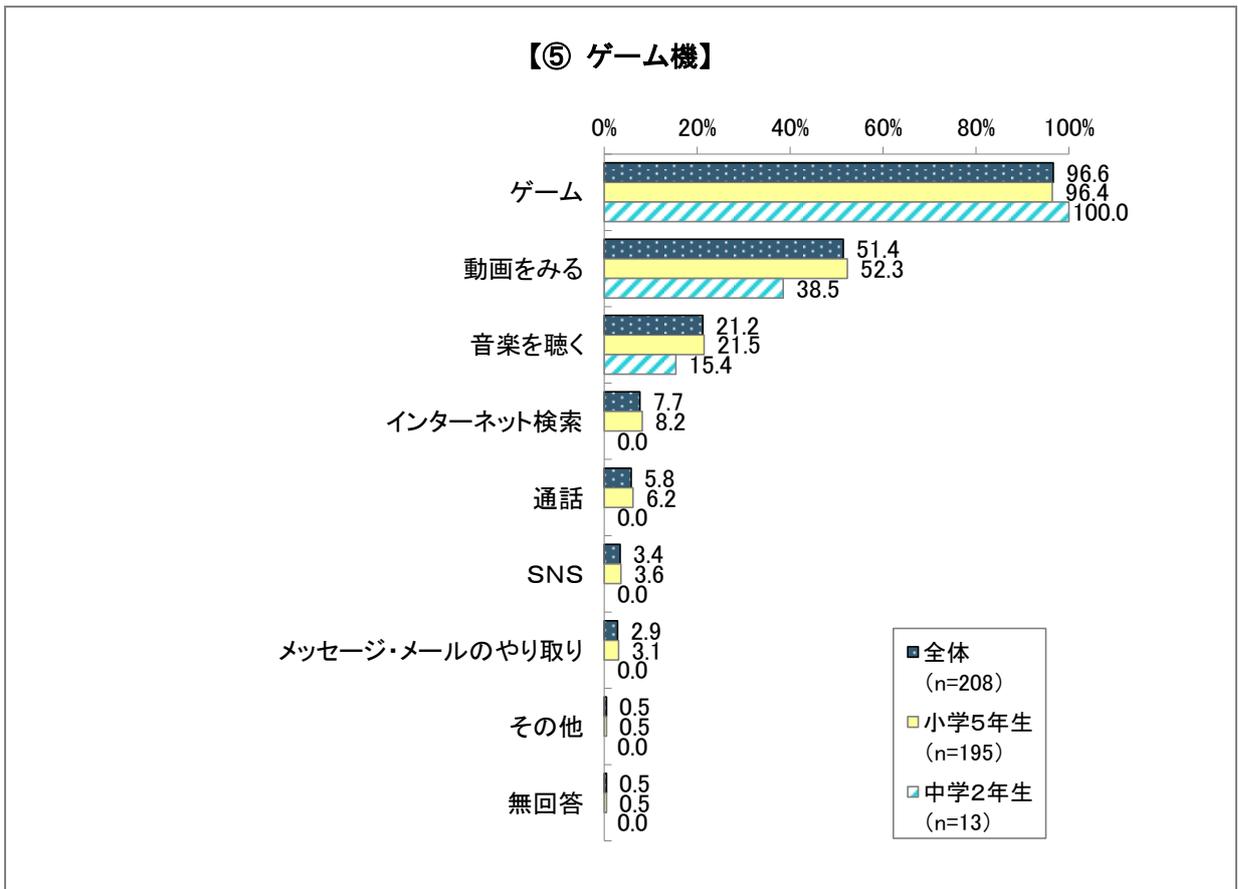
中学2年生では、「動画をみる」が100.0%と最も高く、次いで「ゲーム」「インターネット検索」がそれぞれ80.0%、「音楽を聴く」が60.0%となっている。



④パソコンの使用目的は、「インターネット検索」が 54.3%と最も高く、次いで「ゲーム」が 42.0%、「動画をみる」が 39.5%となっている。

小学5年生では、「インターネット検索」が 56.8%と最も高く、次いで「ゲーム」が 41.9%、「動画をみる」が 36.5%となっている。

中学2年生では、「動画をみる」が 71.4%と最も高く、次いで「ゲーム」が 42.9%、「インターネット検索」「メッセージ・メールのやり取り」がそれぞれ 28.6%となっている。

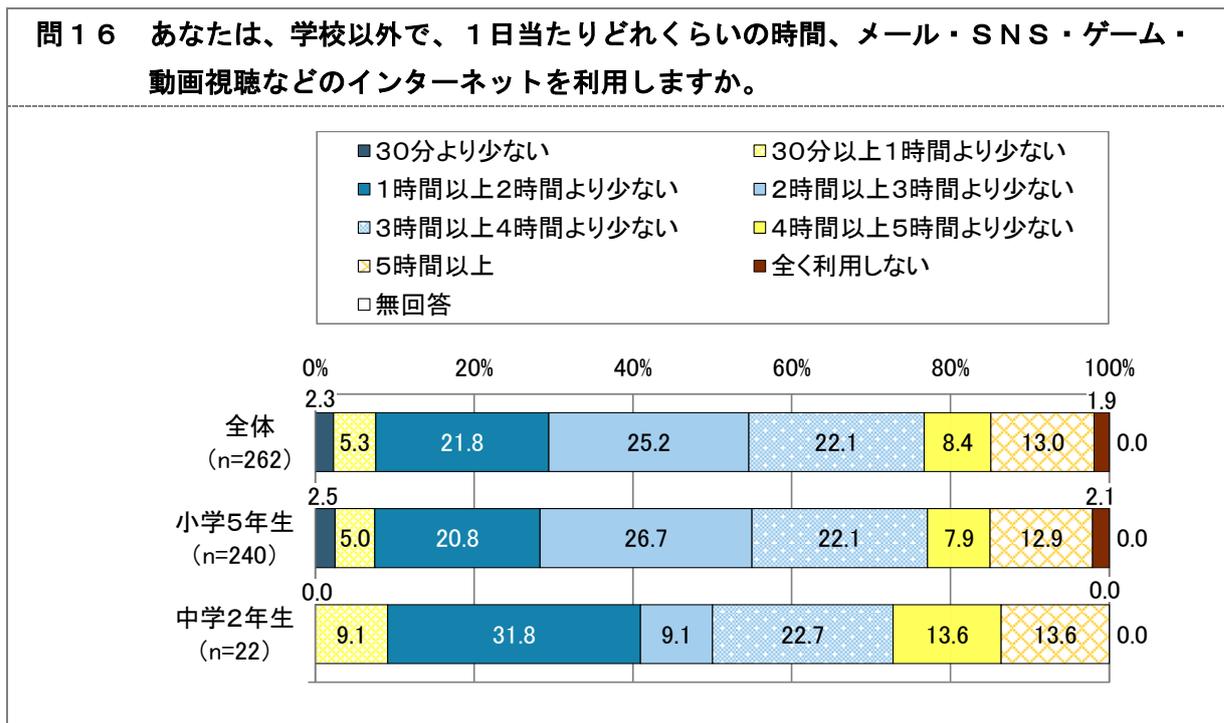


⑤ゲーム機の使用目的は、「ゲーム」が96.6%と最も高く、次いで「動画をみる」が51.4%、「音楽を聴く」が21.2%となっている。

小学5年生では、「ゲーム」が96.4%と最も高く、次いで「動画をみる」が52.3%、「音楽を聴く」が21.5%となっている。

中学2年生では、「ゲーム」が100.0%と最も高く、次いで「動画をみる」が38.5%、「音楽を聴く」が15.4%となっている。

(10) 学校以外でのインターネットの利用時間



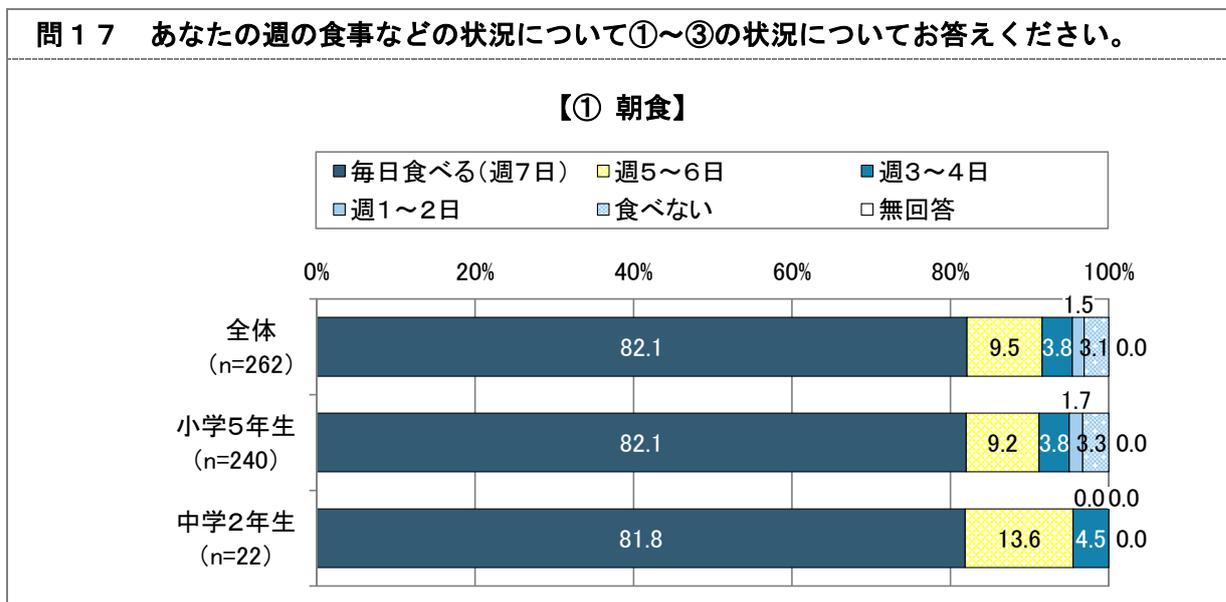
学校以外でのインターネットの利用時間は、「2時間以上3時間より少ない」が25.2%と最も高く、次いで「3時間以上4時間より少ない」が22.1%、「1時間以上2時間より少ない」が21.8%となっている。

小学5年生では、「2時間以上3時間より少ない」が26.7%と最も高く、次いで「3時間以上4時間より少ない」が22.1%、「1時間以上2時間より少ない」が20.8%となっている。

中学2年生では、「1時間以上2時間より少ない」が31.8%と最も高く、次いで「3時間以上4時間より少ない」が22.7%、「4時間以上5時間より少ない」「5時間以上」がそれぞれ13.6%となっている。

4. ふだんの生活のことについて

(1) 朝食・夕食・学校が休みの日の昼食の頻度

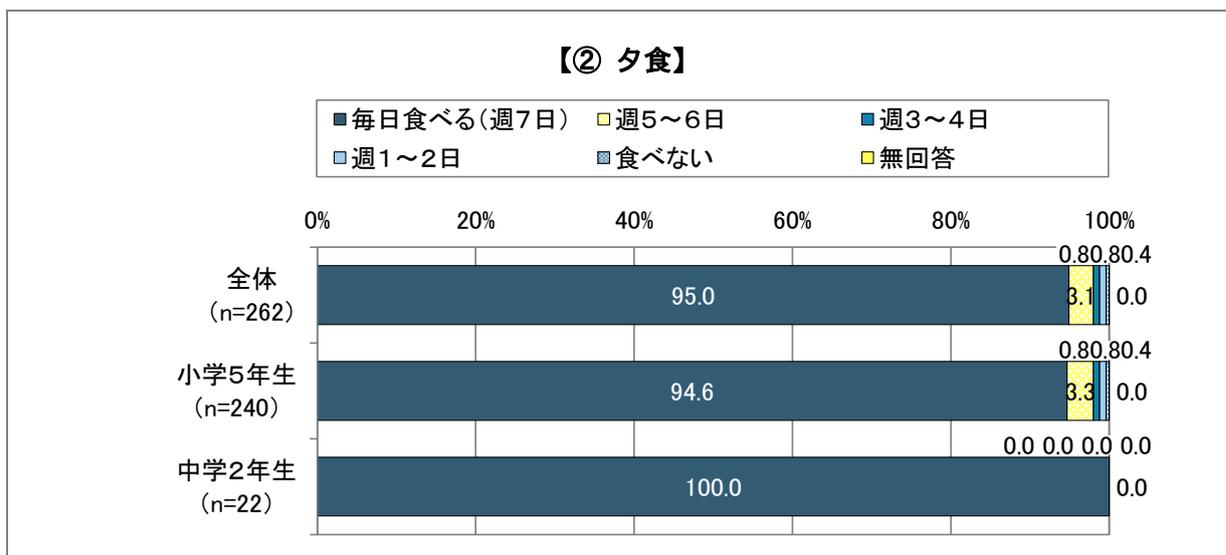


①朝食の頻度は、「毎日食べる(週7日)」が82.1%と最も高く、次いで「週5～6日」が9.5%、「週3～4日」が3.8%となっている。

小学5年生では、「毎日食べる(週7日)」が82.1%と最も高く、次いで「週5～6日」が9.2%、「週3～4日」が3.8%となっている。

中学2年生では、「毎日食べる(週7日)」が81.8%と最も高く、次いで「週5～6日」が13.6%、「週3～4日」が4.5%となっている。

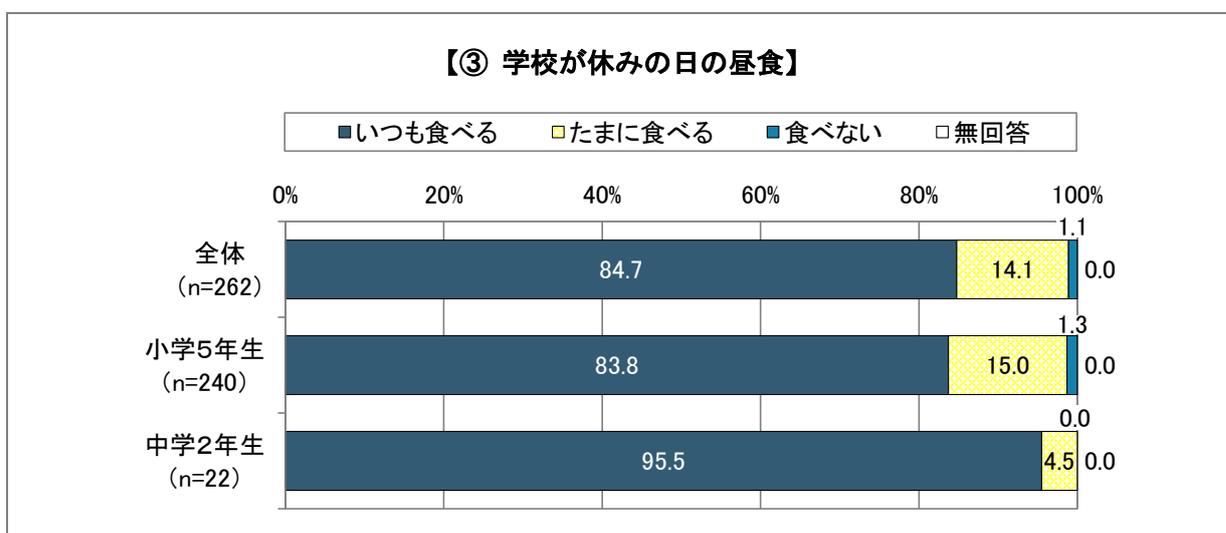
第2章 小学5年生・中学2年生



②夕食の頻度は、「毎日食べる(週7日)」が95.0%と最も高く、次いで「週5~6日」が3.1%、「週3~4日」「週1~2日」がそれぞれ0.8%となっている。

小学5年生では、「毎日食べる(週7日)」が94.6%と最も高く、次いで「週5~6日」が3.3%、「週3~4日」「週1~2日」がそれぞれ0.8%となっている。

中学2年生では、「毎日食べる(週7日)」が100.0%となっている。

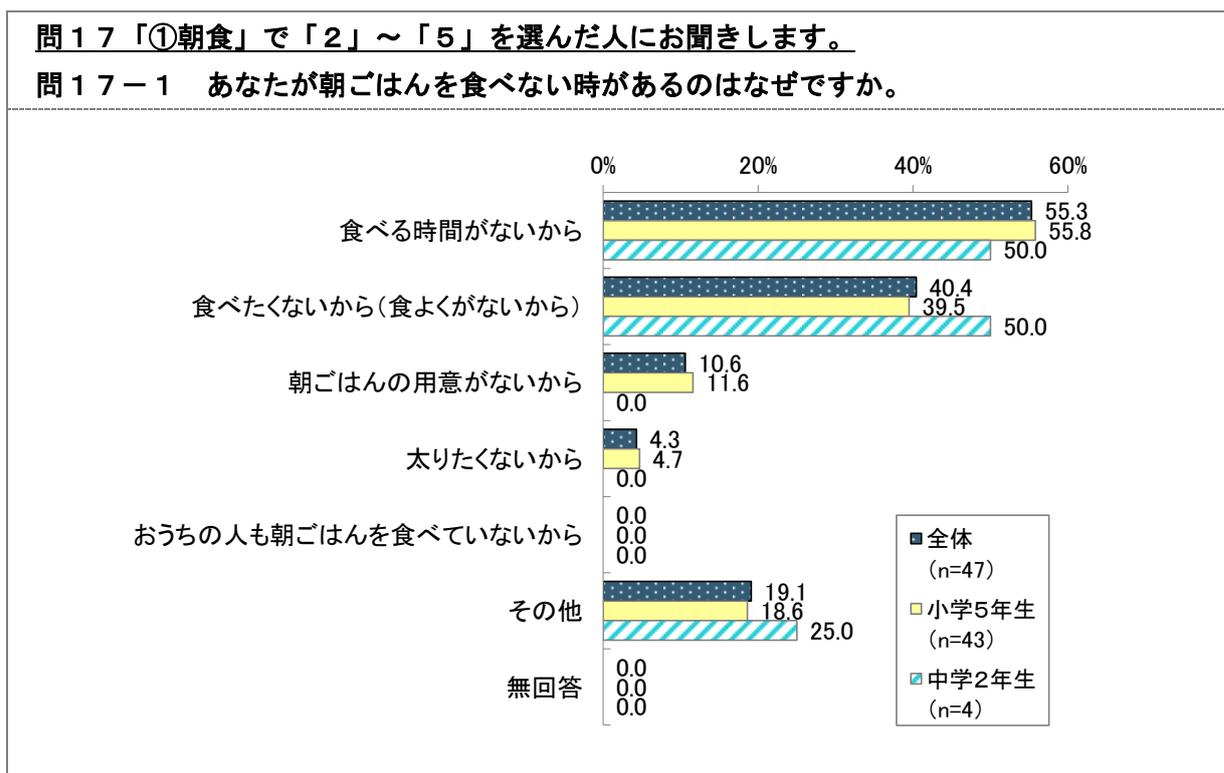


③学校が休みの日の昼食の頻度は、「いつも食べる」が84.7%と最も高く、次いで「たまに食べる」が14.1%、「食べない」が1.1%となっている。

小学5年生では、「いつも食べる」が83.8%と最も高く、次いで「たまに食べる」が15.0%、「食べない」が1.3%となっている。

中学2年生では、「いつも食べる」が95.5%と最も高く、次いで「たまに食べる」が4.5%となっている。

(2) 朝食を食べない時がある理由

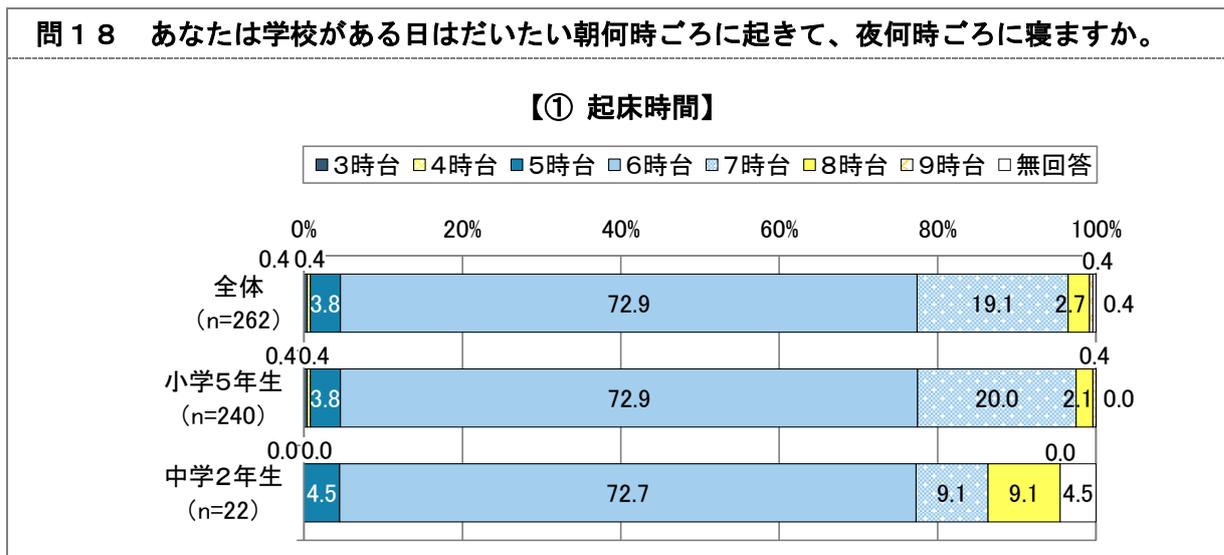


朝食を食べない時がある理由は、「食べる時間がないから」が55.3%と最も高く、次いで「食べたくないから(食よくがないから)」が40.4%、「朝ごはんの用意がないから」が10.6%となっている。

小学5年生では、「食べる時間がないから」が55.8%と最も高く、次いで「食べたくないから(食よくがないから)」が39.5%、「朝ごはんの用意がないから」が11.6%となっている。

中学2年生では、「食べる時間がないから」「食べたくないから(食よくがないから)」がそれぞれ50.0%と最も高くなっている。

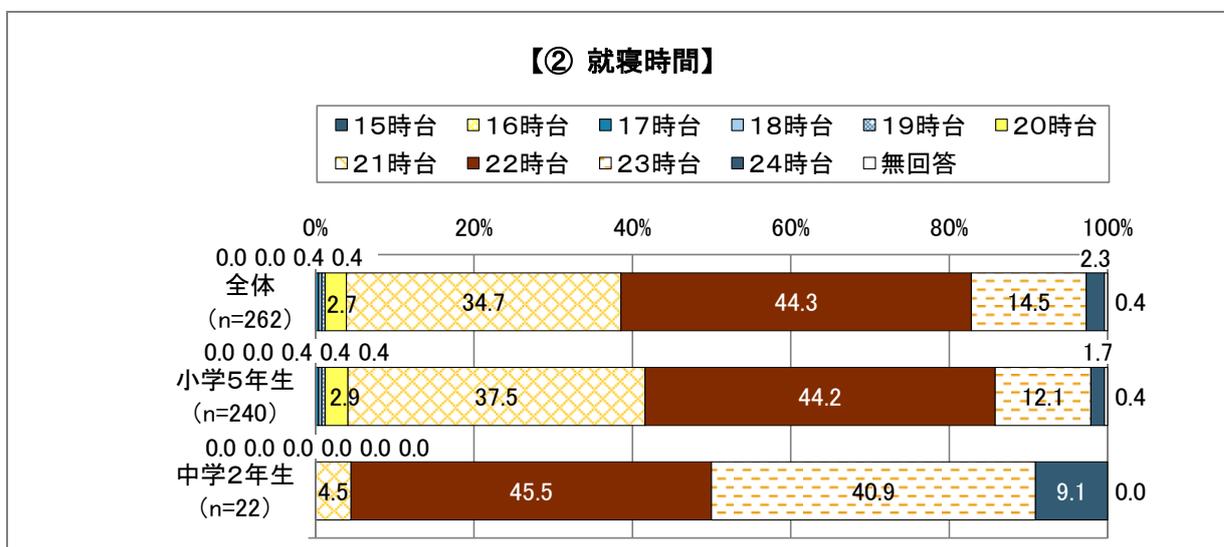
(3) 学校がある日の起床・就寝時間



起床時間は、「6時台」が72.9%と最も高く、次いで「7時台」が19.1%、「5時台」が3.8%となっている。

小学5年生では、「6時台」が72.9%と最も高く、次いで「7時台」が20.0%、「5時台」が3.8%となっている。

中学2年生では、「6時台」が72.7%と最も高く、次いで「7時台」「8時台」がそれぞれ9.1%、「5時台」が4.5%となっている。

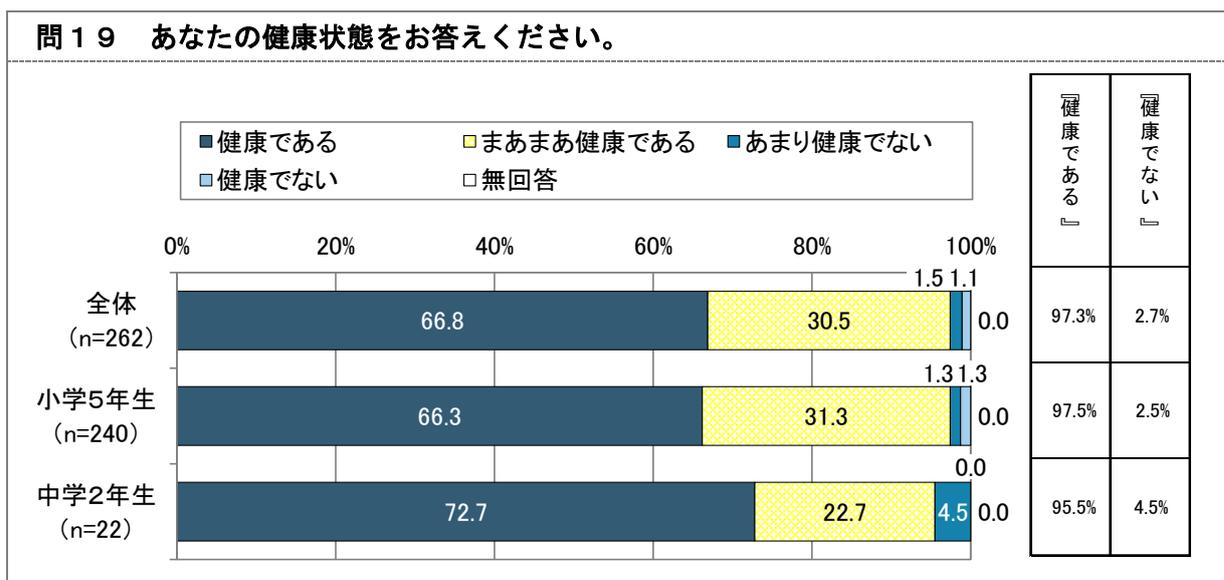


就寝時間は、「22時台」が44.3%と最も高く、次いで「21時台」が34.7%、「23時台」が14.5%となっている。

小学5年生では、「22時台」が44.2%と最も高く、次いで「21時台」が37.5%、「23時台」が12.1%となっている。

中学2年生では、「22時台」が45.5%と最も高く、次いで「23時台」が40.9%、「24時台」が9.1%となっている。

(4) 健康状態

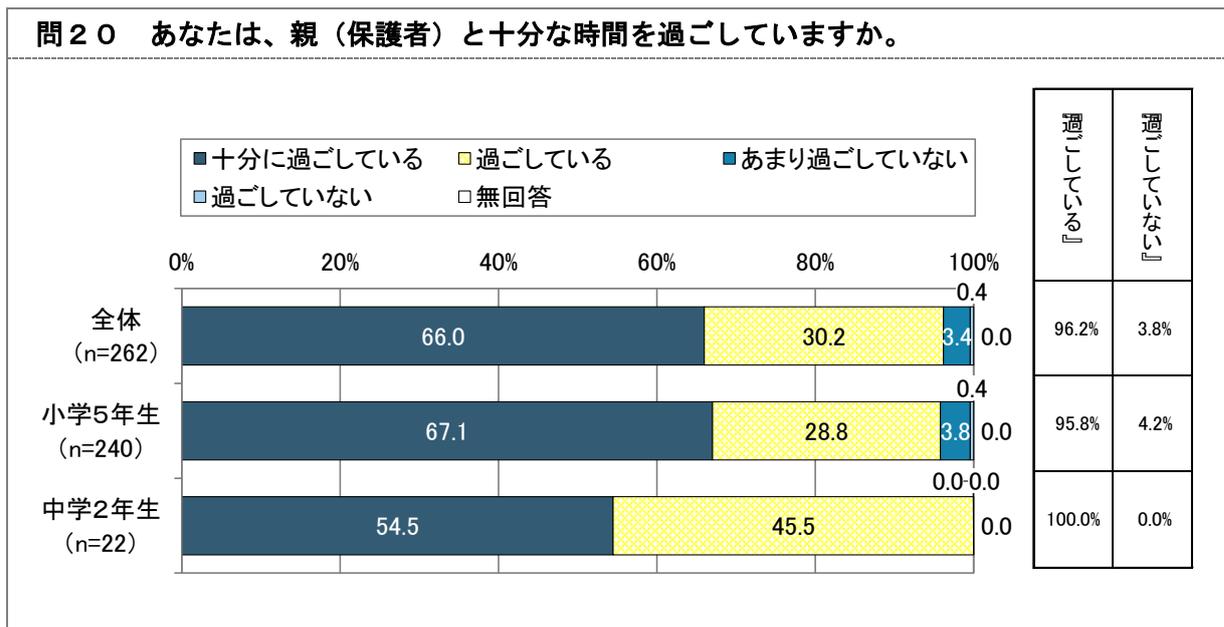


健康状態は、「健康である」が66.8%と最も高く、次いで「まあまあ健康である」が30.5%、「あまり健康でない」が1.5%となっている。

小学5年生では、「健康である」が66.3%と最も高く、次いで「まあまあ健康である」が31.3%、「あまり健康でない」「健康でない」がそれぞれ1.3%となっている。

中学2年生では、「健康である」が72.7%と最も高く、次いで「まあまあ健康である」が22.7%、「あまり健康でない」が4.5%となっている。

(5) 親（保護者）と十分な時間を過ごしているか

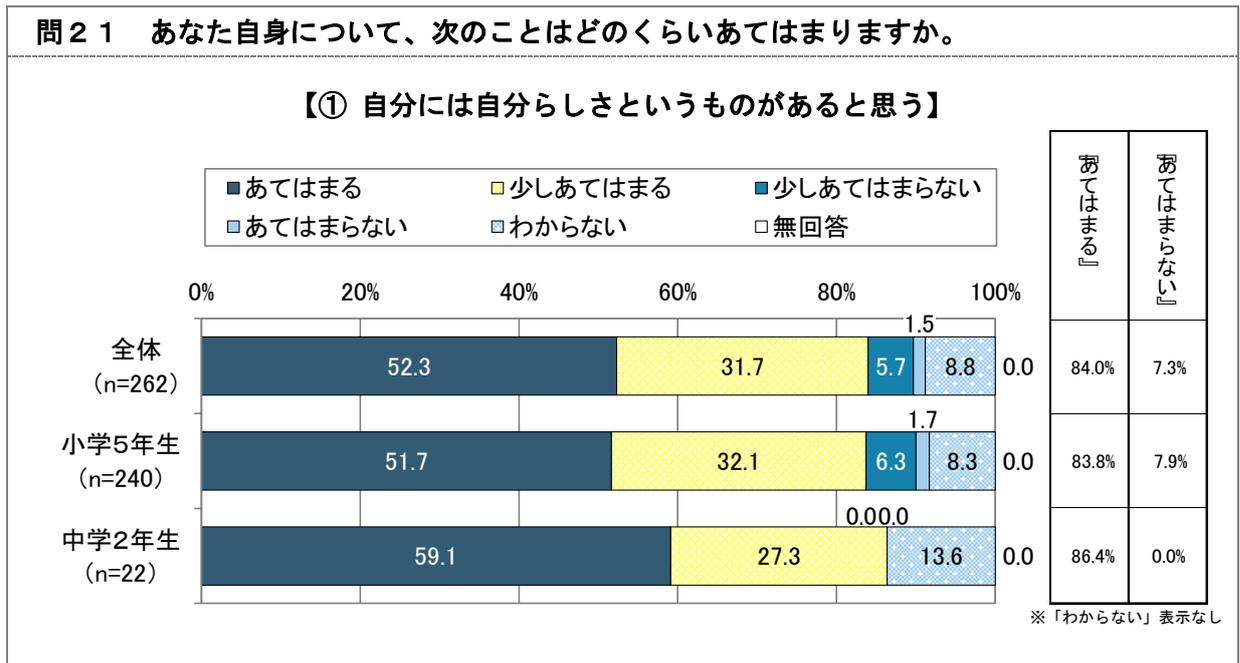


親（保護者）と十分な時間を過ごしているかは、「十分に過ごしている」が66.0%と最も高く、次いで「過ごしている」が30.2%、「あまり過ごしていない」が3.4%となっている。

小学5年生では、「十分に過ごしている」が67.1%と最も高く、次いで「過ごしている」が28.8%、「あまり過ごしていない」が3.8%となっている。

中学2年生では、「十分に過ごしている」が54.5%と最も高く、次いで「過ごしている」が45.5%となっている。

(6) 自分自身について

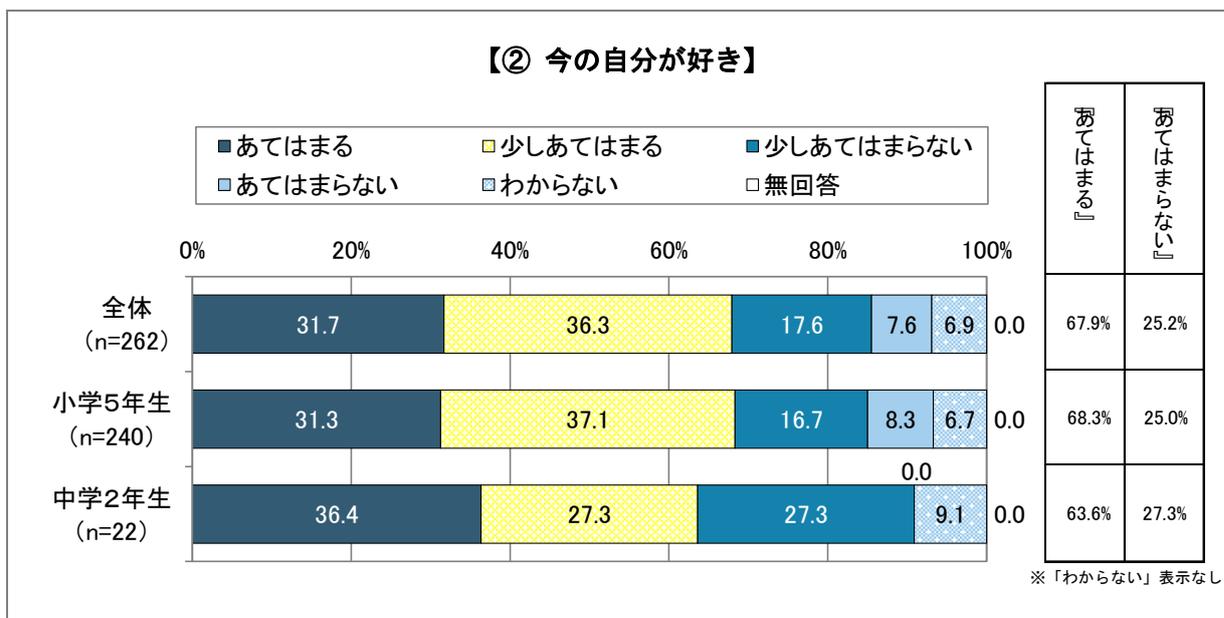


①自分には自分らしさというものがあると思うは、「あてはまる」が52.3%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が31.7%、「わからない」が8.8%となっている。

小学5年生では、「あてはまる」が51.7%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が32.1%、「わからない」が8.3%となっている。

中学2年生では、「あてはまる」が59.1%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が27.3%、「わからない」が13.6%となっている。

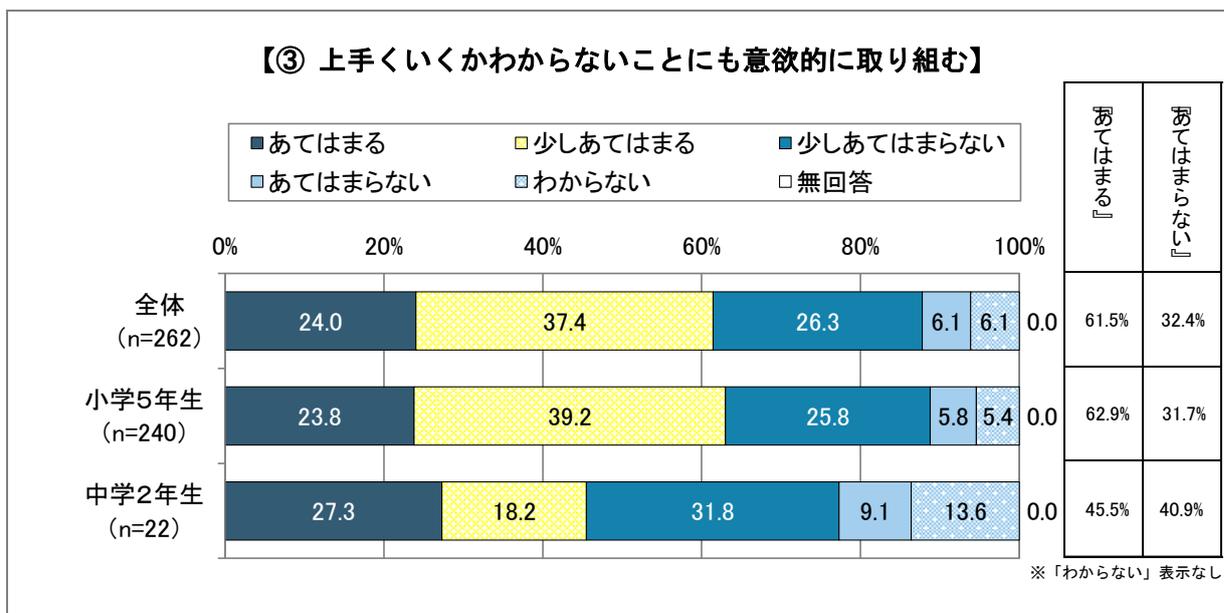
第2章 小学5年生・中学2年生



②今の自分が好きは、「少しあてはまる」が 36.3%と最も高く、次いで「あてはまる」が 31.7%、「少しあてはまらない」が 17.6%となっている。

小学5年生では、「少しあてはまる」が 37.1%と最も高く、次いで「あてはまる」が 31.3%、「少しあてはまらない」が 16.7%となっている。

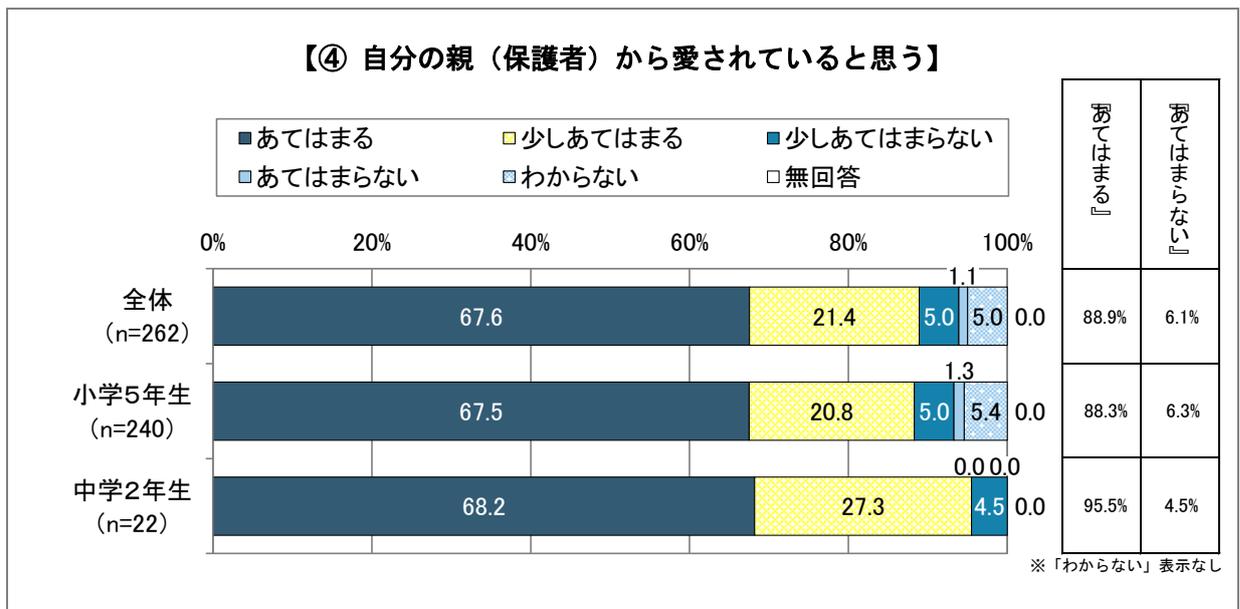
中学2年生では、「あてはまる」が 36.4%と最も高く、次いで「少しあてはまる」「少しあてはまらない」がそれぞれ 27.3%、「わからない」が 9.1%となっている。



③上手くいくかわからないことにも意欲的に取り組むは、「少しあてはまる」が37.4%と最も高く、次いで「少しあてはまらない」が26.3%、「あてはまる」が24.0%となっている。

小学5年生では、「少しあてはまる」が39.2%と最も高く、次いで「少しあてはまらない」が25.8%、「あてはまる」が23.8%となっている。

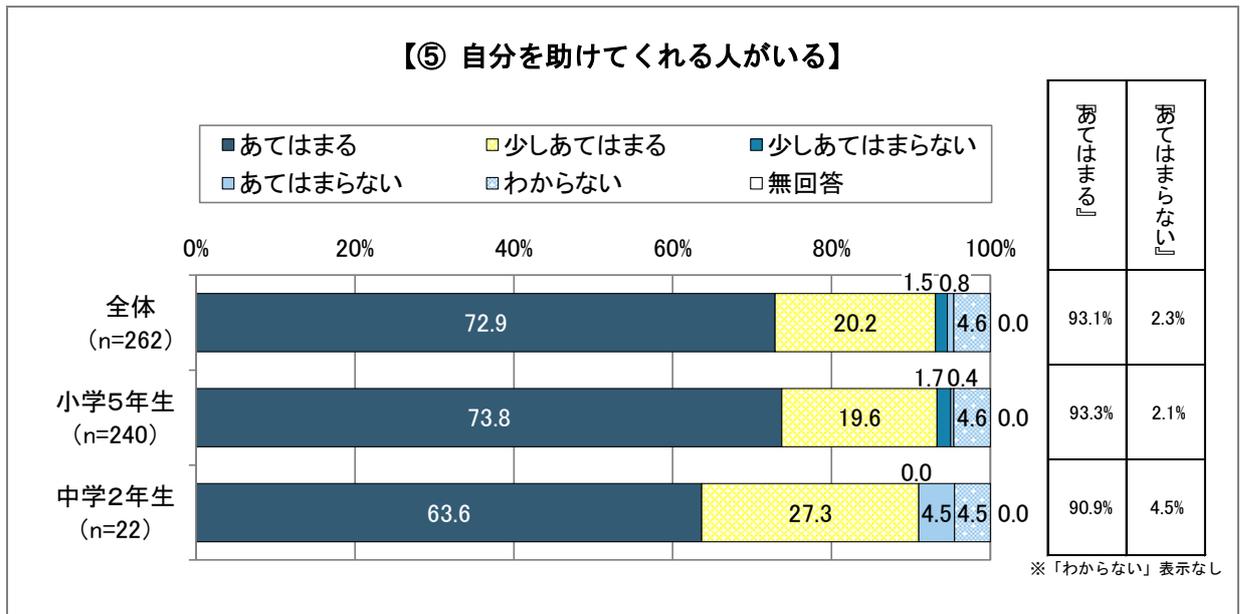
中学2年生では、「少しあてはまらない」が31.8%と最も高く、次いで「あてはまる」が27.3%、「少しあてはまる」が18.2%となっている。



④自分の親（保護者）から愛されていると思うは、「あてはまる」が67.6%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が21.4%、「少しあてはまらない」「わからない」がそれぞれ5.0%となっている。

小学5年生では、「あてはまる」が67.5%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が20.8%、「わからない」が5.4%となっている。

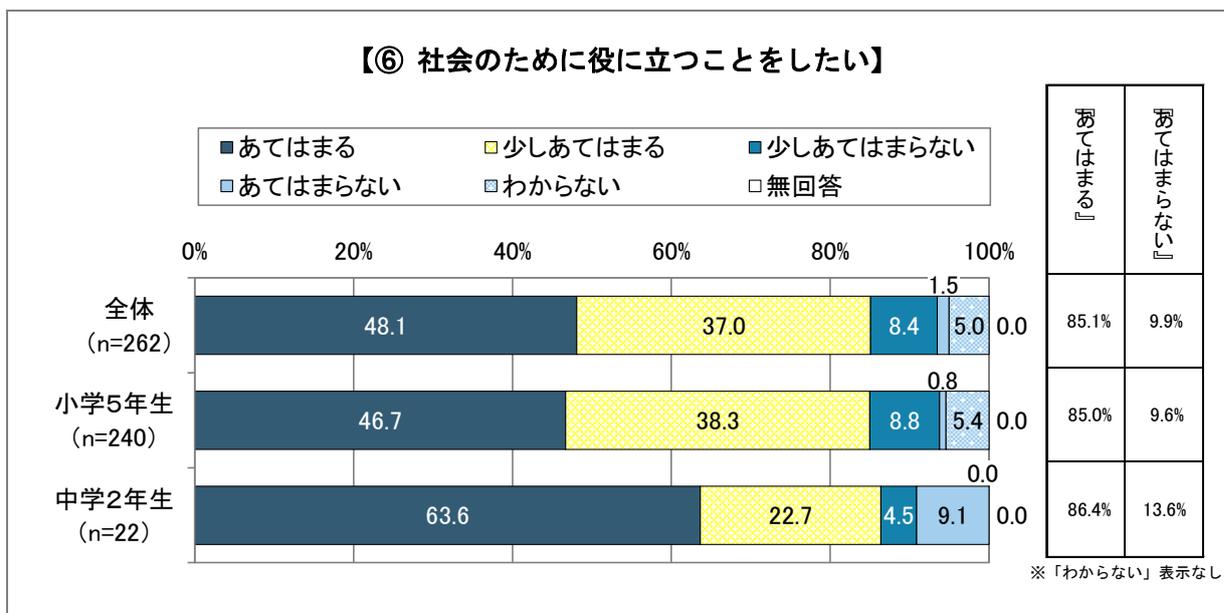
中学2年生では、「あてはまる」が68.2%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が27.3%、「少しあてはまらない」が4.5%となっている。



⑤自分を助けてくれる人がいるは、「あてはまる」が72.9%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が20.2%、「わからない」が4.6%となっている。

小学5年生では、「あてはまる」が73.8%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が19.6%、「わからない」が4.6%となっている。

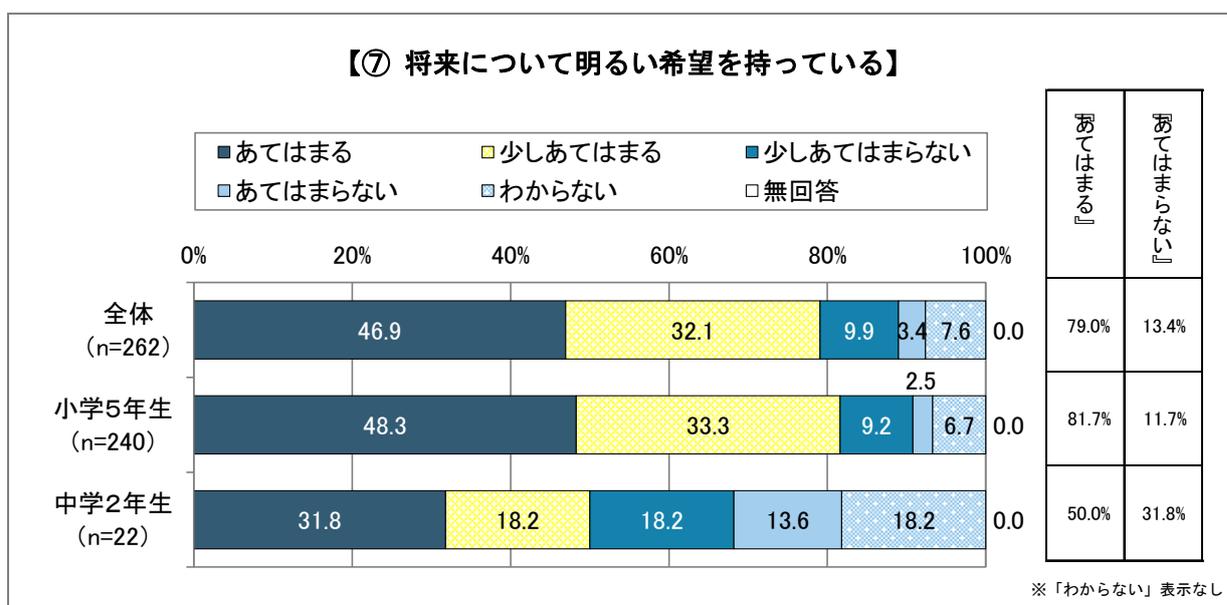
中学2年生では、「あてはまる」が63.6%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が27.3%、「あてはまらない」「わからない」がそれぞれ4.5%となっている。



⑥社会のために役に立つことをしたいは、「あてはまる」が48.1%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が37.0%、「少しあてはまらない」が8.4%となっている。

小学5年生では、「あてはまる」が46.7%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が38.3%、「少しあてはまらない」が8.8%となっている。

中学2年生では、「あてはまる」が63.6%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が22.7%、「あてはまらない」が9.1%となっている。

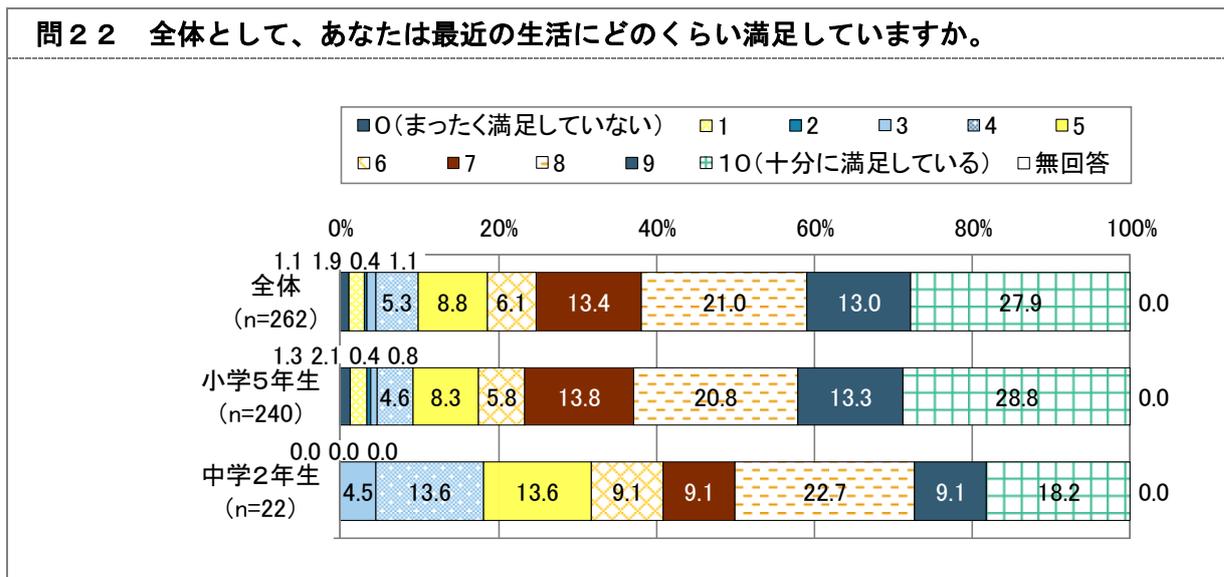


⑦将来について明るい希望を持っているは、「あてはまる」が46.9%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が32.1%、「少しあてはまらない」が9.9%となっている。

小学5年生では、「あてはまる」が48.3%と最も高く、次いで「少しあてはまる」が33.3%、「少しあてはまらない」が9.2%となっている。

中学2年生では、「あてはまる」が31.8%と最も高く、次いで「少しあてはまる」「少しあてはまらない」「わからない」がそれぞれ18.2%、「あてはまらない」が13.6%となっている。

(7) 生活の満足度

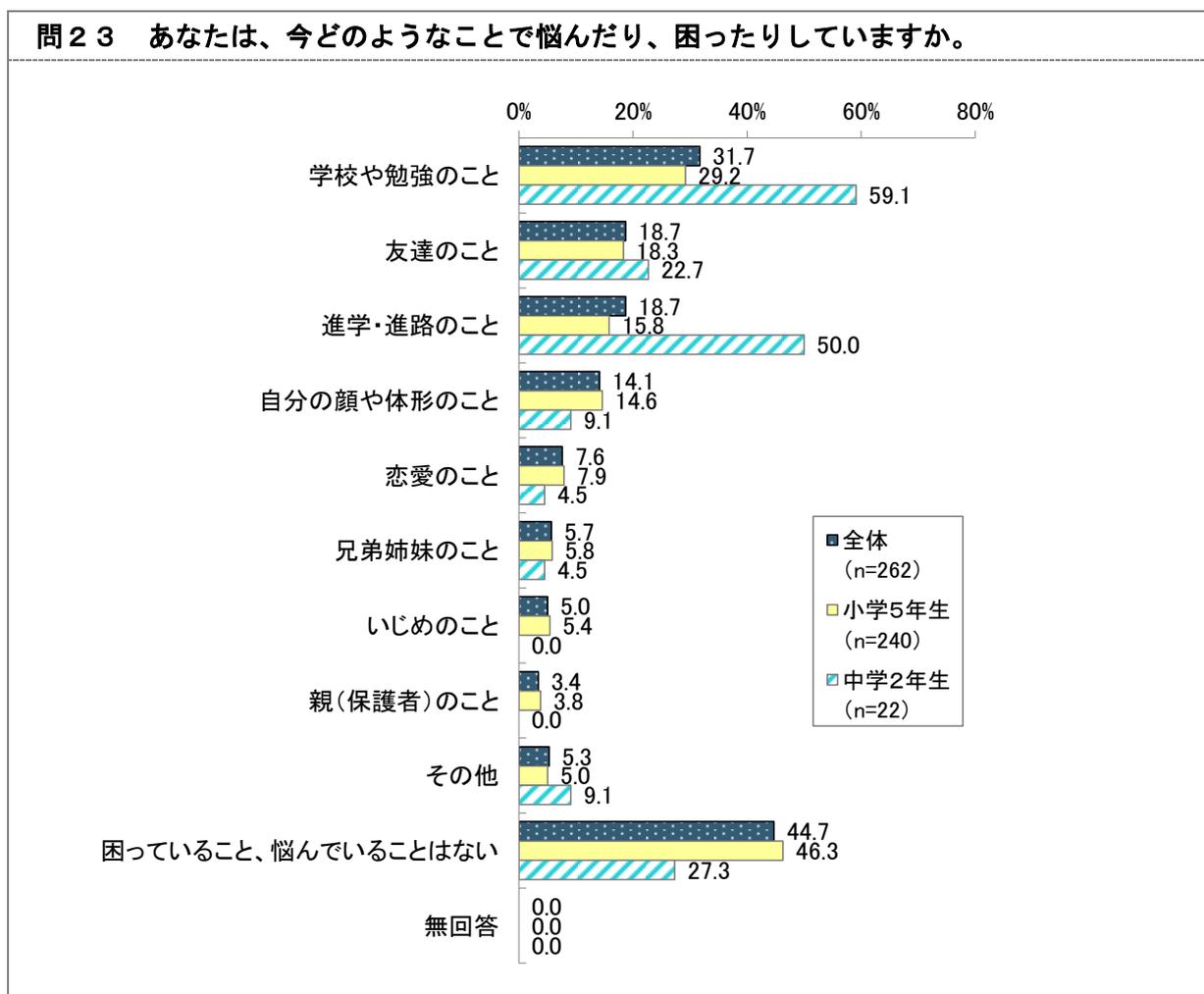


生活の満足度は、「10(十分に満足している)」が27.9%と最も高く、次いで「8」が21.0%、「7」が13.4%となっている。

小学5年生では、「10(十分に満足している)」が28.8%と最も高く、次いで「8」が20.8%、「7」が13.8%となっている。

中学2年生では、「8」が22.7%と最も高く、次いで「10(十分に満足している)」が18.2%、「4」「5」がそれぞれ13.6%となっている。

(8) 悩んだり、困っていること

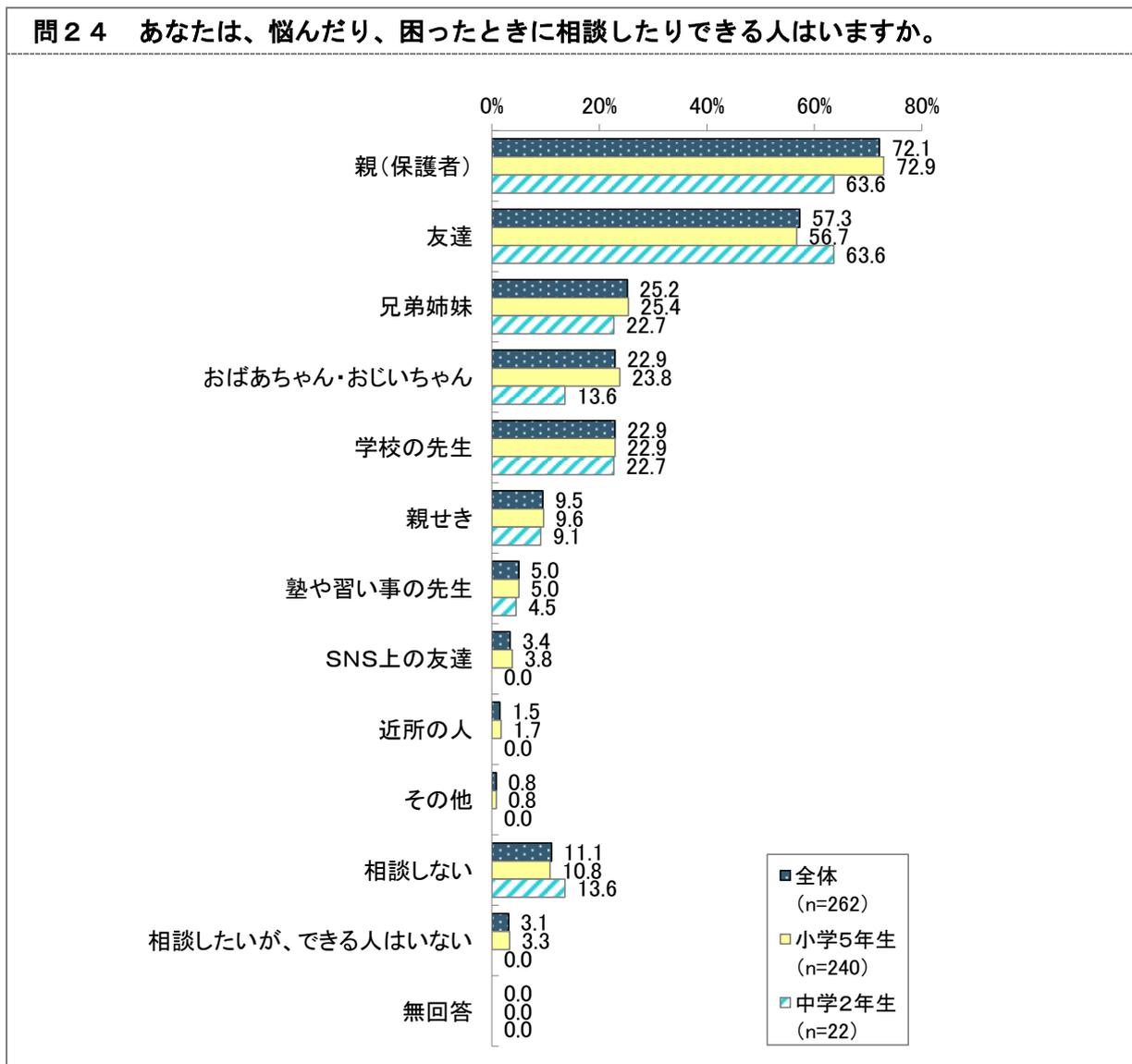


悩んだり、困っていることは、「困っていること、悩んでいることはない」を除くと、「学校や勉強のこと」が31.7%と最も高く、次いで「友達のこと」「進学・進路のこと」がそれぞれ18.7%、「自分の顔や体形のこと」が14.1%となっている。

小学5年生では、「困っていること、悩んでいることはない」を除くと、「学校や勉強のこと」が29.2%と最も高く、次いで「友達のこと」が18.3%、「進学・進路のこと」が15.8%となっている。

中学2年生では、「困っていること、悩んでいることはない」を除くと、「学校や勉強のこと」が59.1%と最も高く、次いで「進学・進路のこと」が50.0%、「友達のこと」が22.7%となっている。

(9) 悩んだり、困った時の相談先

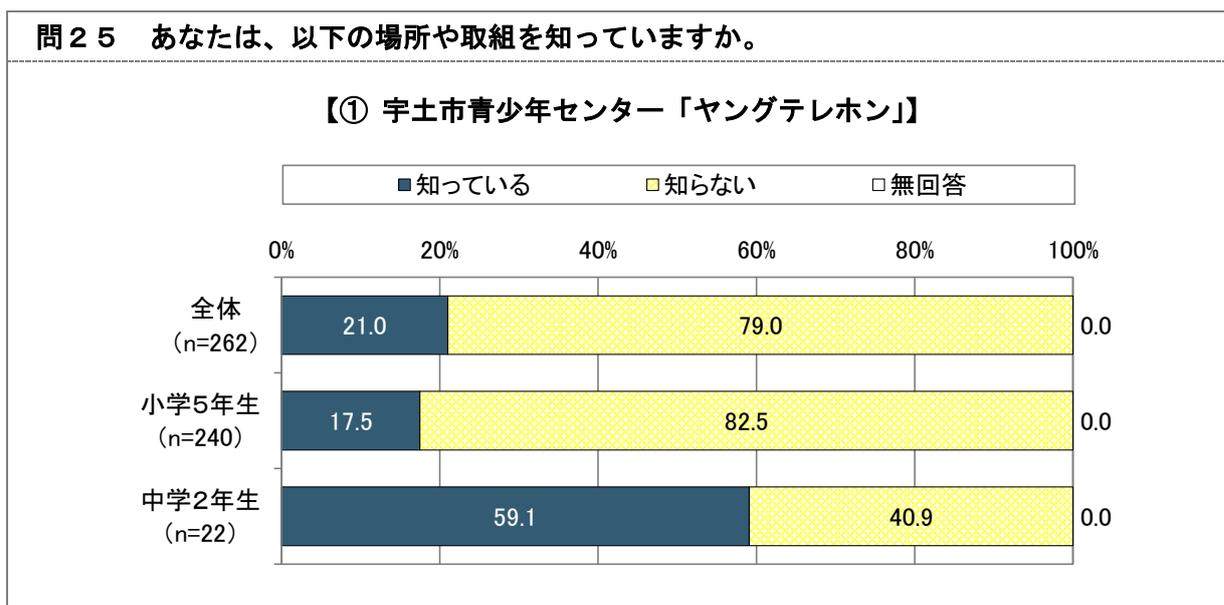


悩んだり、困った時の相談先は、「親（保護者）」が 72.1%と最も高く、次いで「友達」が 57.3%、「兄弟姉妹」が 25.2%となっている。

小学5年生では、「親（保護者）」が 72.9%と最も高く、次いで「友達」が 56.7%、「兄弟姉妹」が 25.4%となっている。

中学2年生では、「親（保護者）」「友達」がそれぞれ 63.6%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」「学校の先生」がそれぞれ 22.7%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が 13.6%となっている。

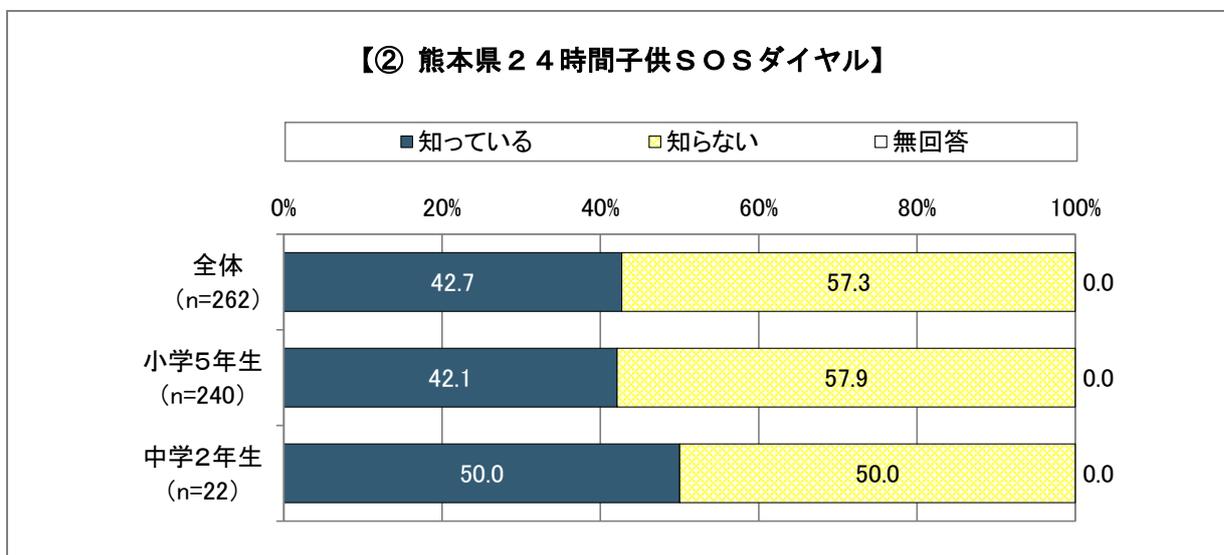
(10) 相談窓口や心を休める学校以外の教室の認知度



①宇土市青少年センター「ヤングテレホン」は、「知らない」が79.0%、「知っている」が21.0%となっている。

小学5年生では、「知らない」が82.5%、「知っている」が17.5%となっている。

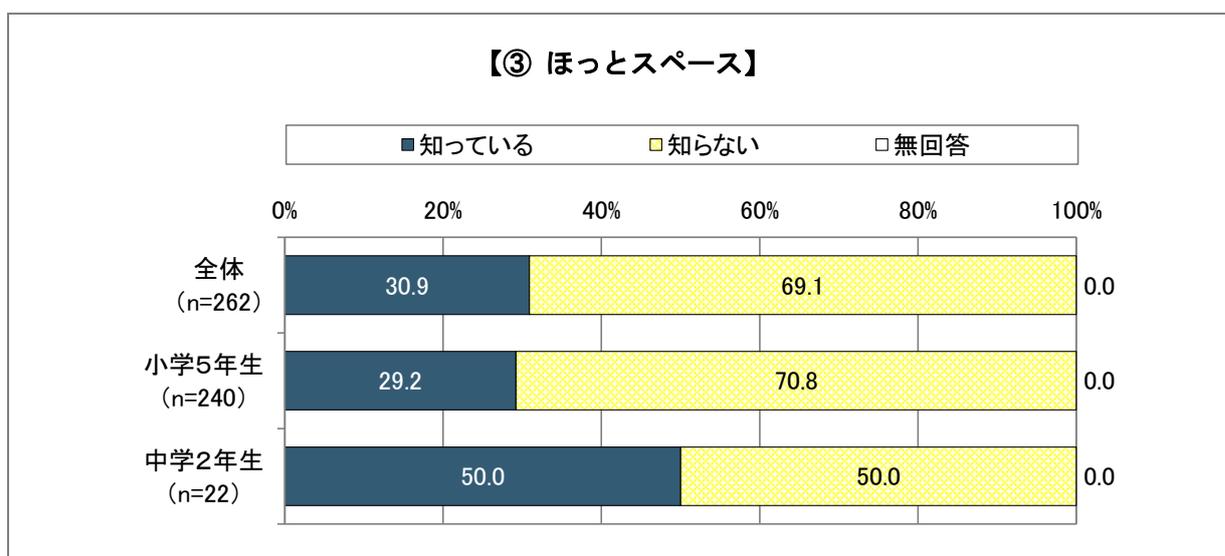
中学2年生では、「知っている」が59.1%、「知らない」が40.9%となっている。



②熊本県24時間子供SOSダイヤルは、「知らない」が57.3%、「知っている」が42.7%となっている。

小学5年生では、「知らない」が57.9%、「知っている」が42.1%となっている。

中学2年生では、「知っている」「知らない」がそれぞれ50.0%となっている。



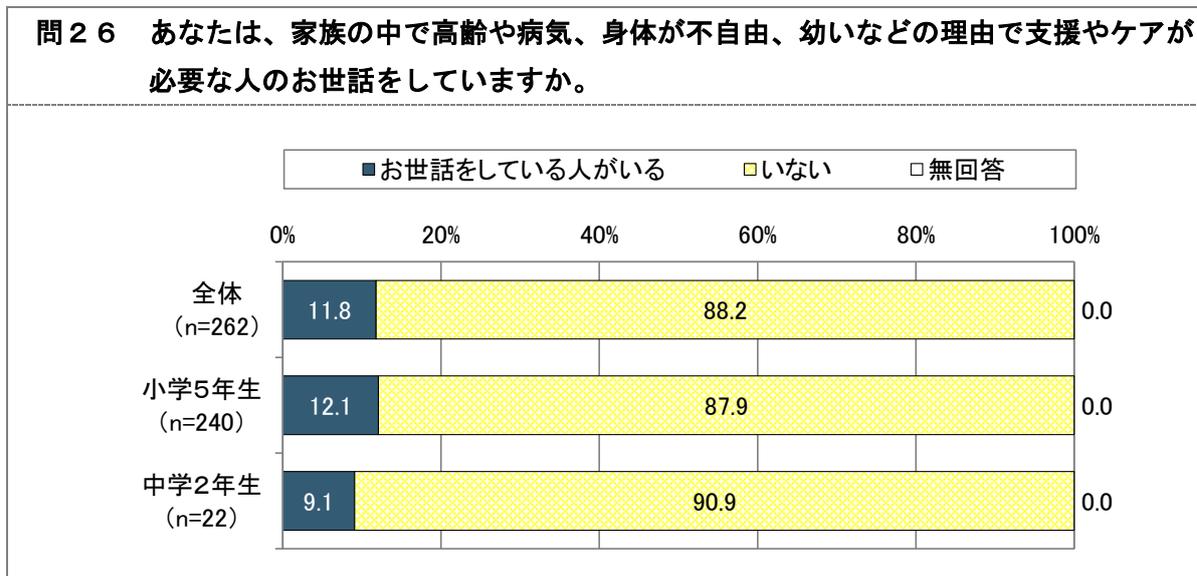
③ほっとスペースは、「知らない」が69.1%、「知っている」が30.9%となっている。

小学5年生では、「知らない」が70.8%、「知っている」が29.2%となっている。

中学2年生では、「知っている」「知らない」がそれぞれ50.0%となっている。

5. 家族のお世話の状況について

(1) 家族の中でお世話をしている人がいるか

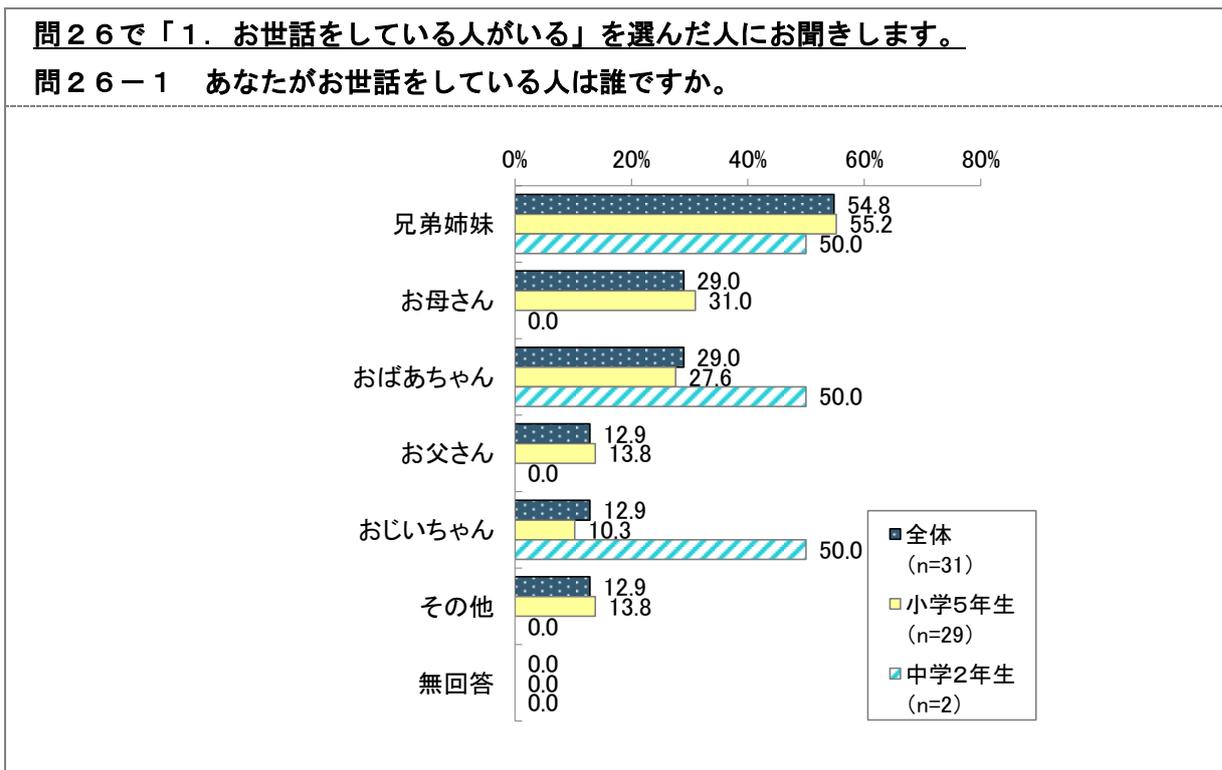


家族の中でお世話をしている人がいるかは、「いない」が 88.2%、「お世話をしている人がいる」が 11.8%となっている。

小学5年生では、「いない」が 87.9%、「お世話をしている人がいる」が 12.1%となっている。

中学2年生では、「いない」が 90.9%、「お世話をしている人がいる」が 9.1%となっている。

(2) お世話をしている人の種類

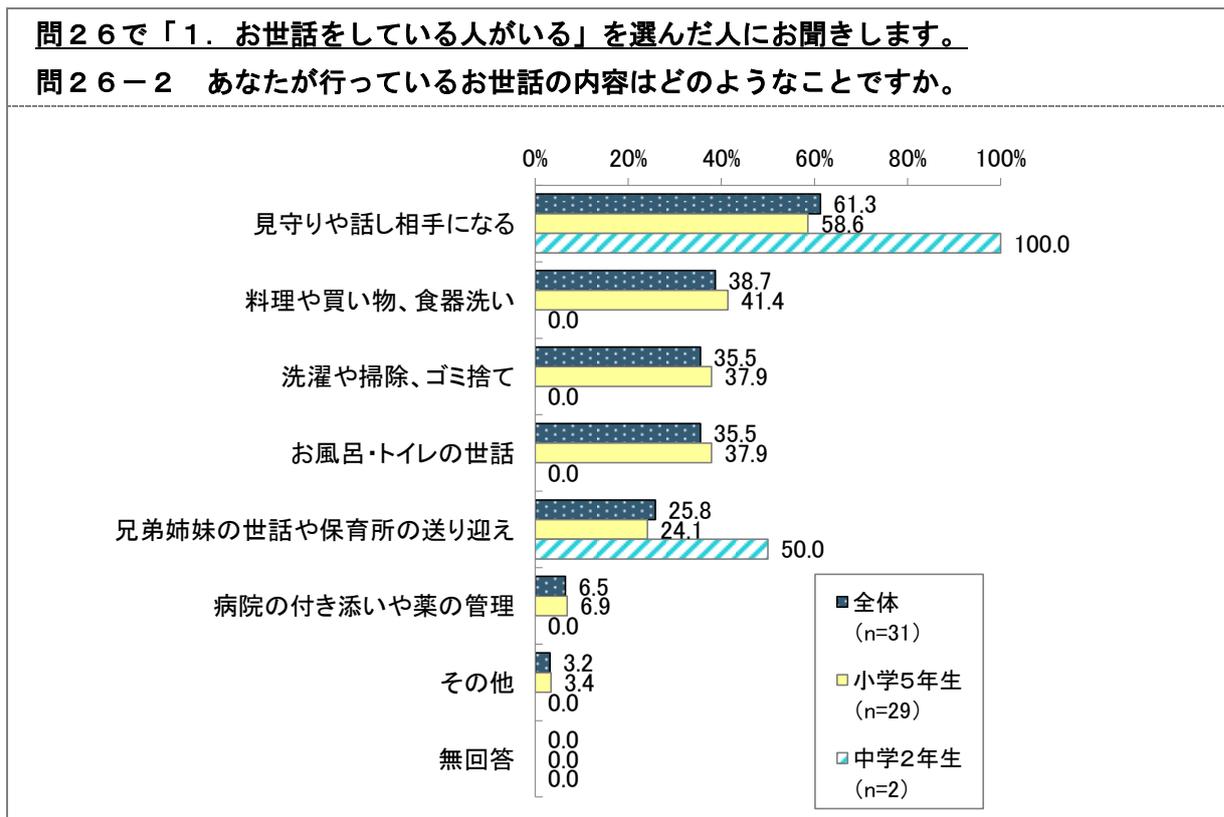


お世話をしている人の種類は、「兄弟姉妹」が54.8%と最も高く、次いで「お母さん」「おばあちゃん」がそれぞれ29.0%、「お父さん」「おじいちゃん」がそれぞれ12.9%となっている。

小学5年生では、「兄弟姉妹」が55.2%と最も高く、次いで「お母さん」が31.0%、「おばあちゃん」が27.6%となっている。

中学2年生では、「兄弟姉妹」「おばあちゃん」「おじいちゃん」がそれぞれ50.0%と最も高くなっている。

(3) お世話の内容

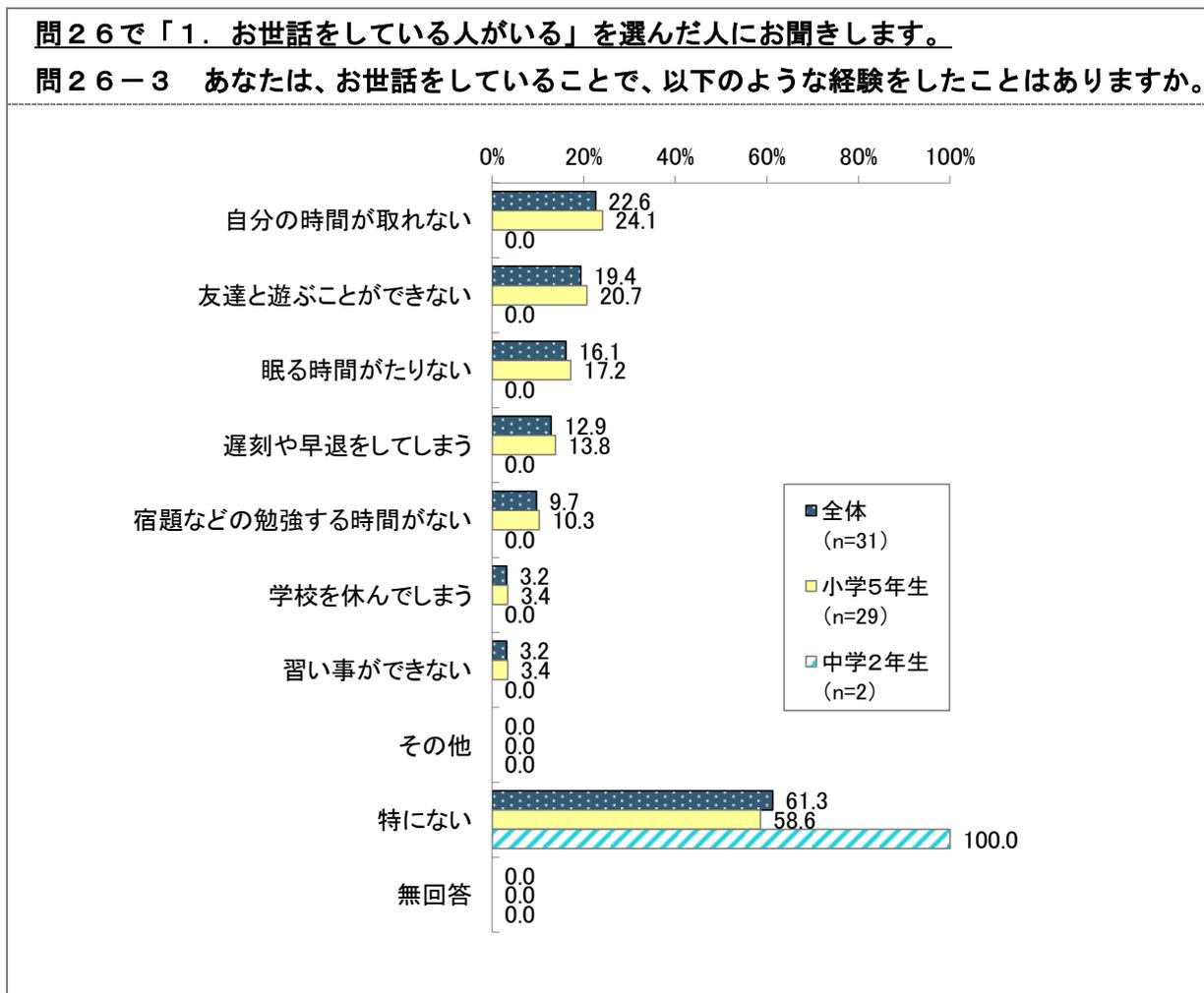


お世話の内容は、「見守りや話し相手になる」が61.3%と最も高く、次いで「料理や買い物、食器洗い」が38.7%、「洗濯や掃除、ゴミ捨て」「お風呂・トイレの世話」がそれぞれ35.5%となっている。

小学5年生では、「見守りや話し相手になる」が58.6%と最も高く、次いで「料理や買い物、食器洗い」が41.4%、「洗濯や掃除、ゴミ捨て」「お風呂・トイレの世話」がそれぞれ37.9%となっている。

中学2年生では、「見守りや話し相手になる」が100.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹の世話や保育所の送り迎え」が50.0%となっている。

(4) お世話をしているなかで経験したこと

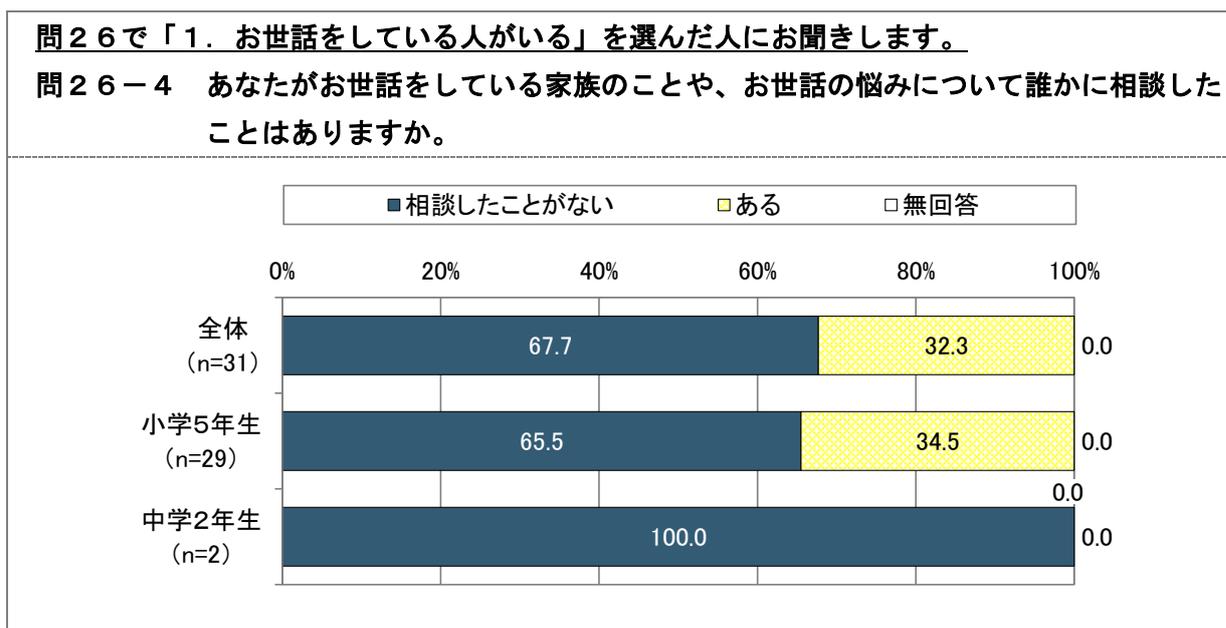


お世話をしているなかで経験したことは、「特にない」を除くと、「自分の時間が取れない」が22.6%と最も高く、次いで「友達と遊ぶことができない」が19.4%、「眠る時間がたりない」が16.1%となっている。

小学5年生では、「特にない」を除くと、「自分の時間が取れない」が24.1%と最も高く、次いで「友達と遊ぶことができない」が20.7%、「眠る時間がたりない」が17.2%となっている。

中学2年生では、「特にない」が100.0%となっている。

(5) お世話の悩みについての相談経験の有無

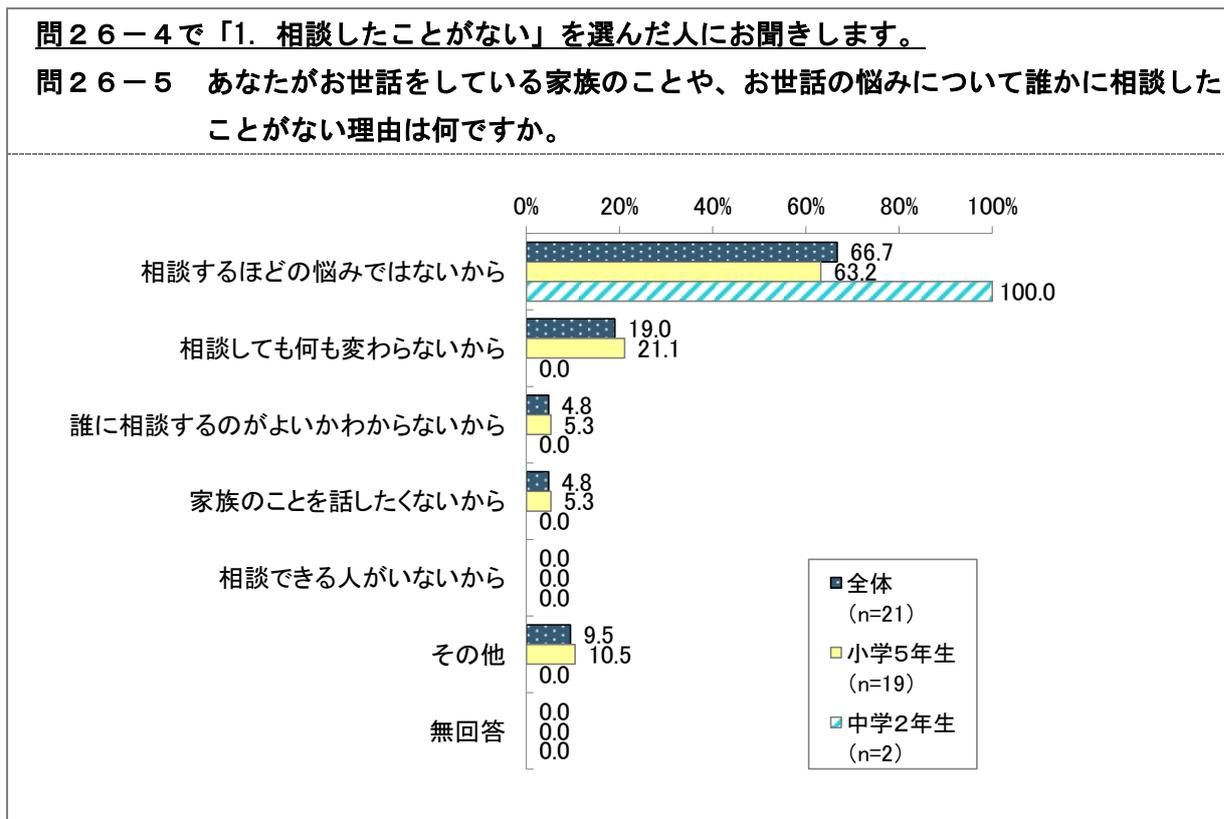


お世話の悩みについての相談経験の有無は、「相談したことがない」が67.7%、「ある」が32.3%となっている。

小学5年生では、「相談したことがない」が65.5%、「ある」が34.5%となっている。

中学2年生では、「相談したことがない」が100.0%となっている。

(6) お世話の悩みについて相談したことがない理由

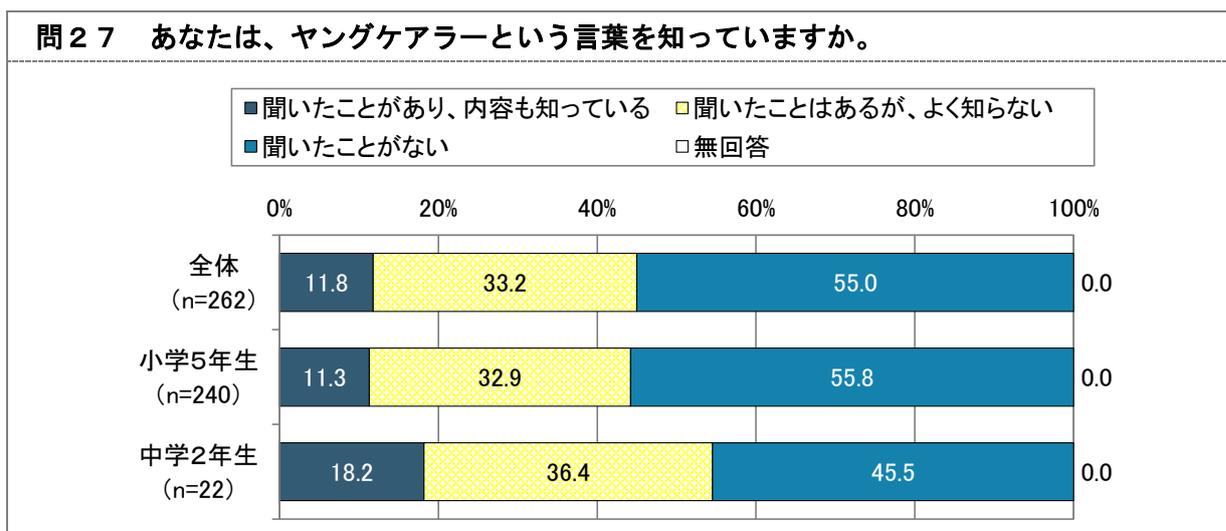


お世話の悩みについて相談したことがない理由は、「相談するほどの悩みではないから」が66.7%と最も高く、次いで「相談しても何も変わらないから」が19.0%、「誰に相談するのがよいかわからないから」「家族のことを話したくないから」がそれぞれ4.8%となっている。

小学5年生では、「相談するほどの悩みではないから」が63.2%と最も高く、次いで「相談しても何も変わらないから」が21.1%、「誰に相談するのがよいかわからないから」「家族のことを話したくないから」がそれぞれ5.3%となっている。

中学2年生では、「相談するほどの悩みではないから」が100.0%と最も高くなっている。

(7) ヤングケアラーの概念の認識



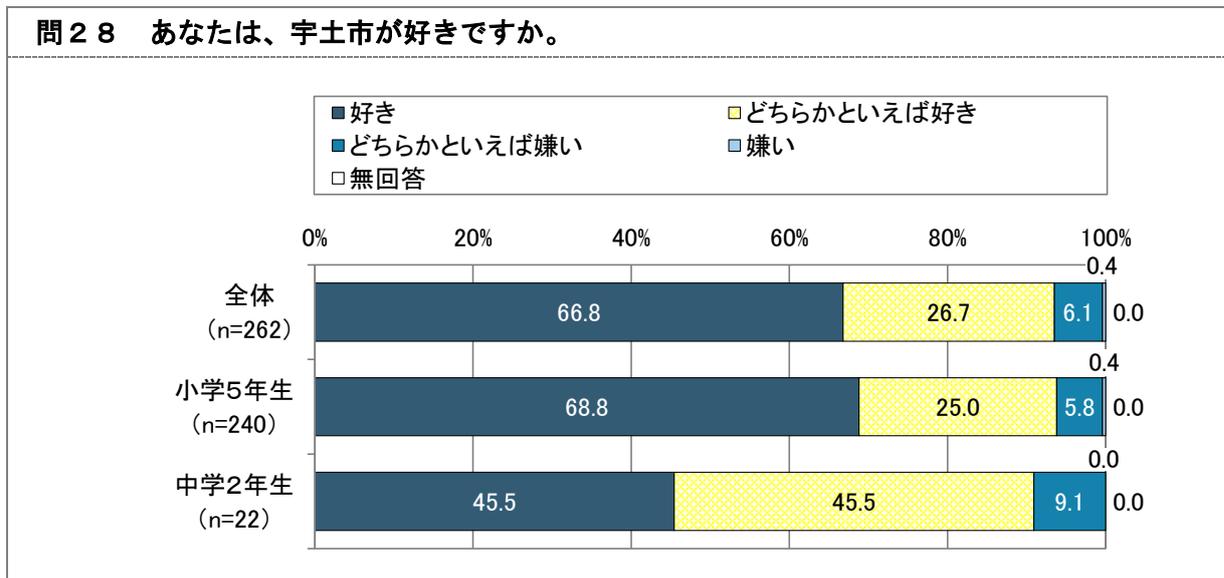
ヤングケアラーの概念の認識は、「聞いたことがない」が55.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が33.2%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が11.8%となっている。

小学5年生では、「聞いたことがない」が55.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が32.9%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が11.3%となっている。

中学2年生では、「聞いたことがない」が45.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が36.4%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が18.2%となっている。

6. 宇土市のことについて

(1) 宇土市が好きか



宇土市が好きかは、「好き」が66.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば好き」が26.7%、「どちらかといえば嫌い」が6.1%となっている。

小学5年生では、「好き」が68.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば好き」が25.0%、「どちらかといえば嫌い」が5.8%となっている。

中学2年生では、「好き」「どちらかといえば好き」がそれぞれ45.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば嫌い」が9.1%となっている。

(2) 宇土市が好きだったり嫌いだったりする理由（自由記述）

問29 好きだったり嫌いだったりする理由をお答えください。

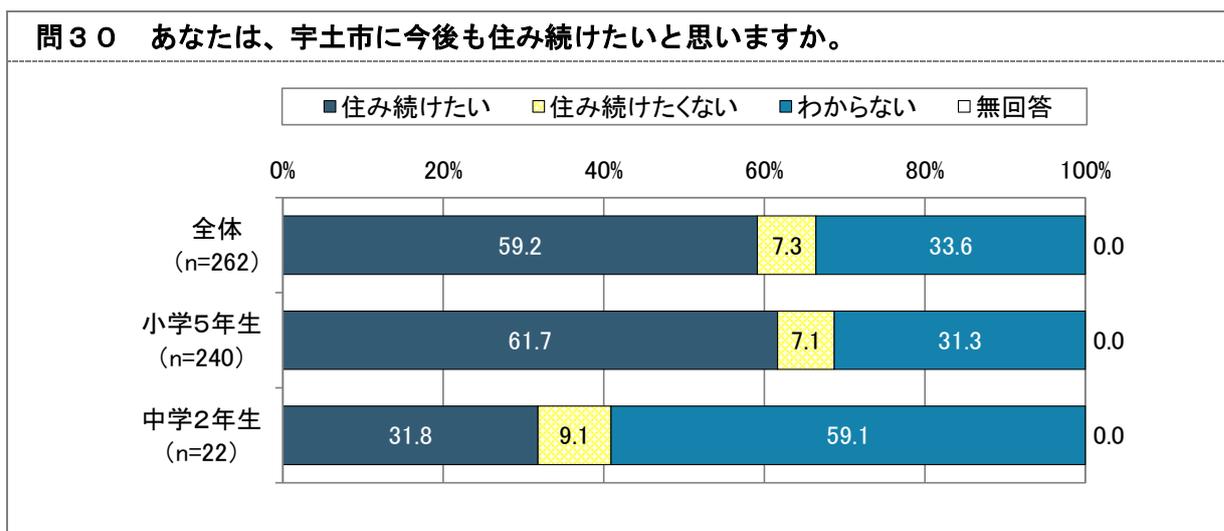
宇土市が好きな理由（上位5項目）	件数
自然・景観	49件
友達がたくさんいる	34件
楽しい	24件
人柄（優しい・親切）	24件
安心する、居心地がいい、穏やか	18件
生まれ育った地元だから	16件

宇土市が嫌いな理由（上位5項目）	件数
遊ぶ場所が少ない	5件
お店が少ない	4件
周辺環境（騒音、町で変な人がいたりする、野良猫）	3件
図書館（古い、本が少ない）	3件
何もないから	3件
人柄（挨拶しても無視される、悪口を言う）	3件
人間関係（いじめ、トラブル、仲間外れ）	3件
発展がない、さびれている	2件
人口が少ない 学校の先生が勉強をわかるまで教えてくれないし差別をされるから 公園設備が古い	各1件

宇土市が好きな理由は、「自然・景観」が49件と最も多く、次いで「友達がたくさんいる」が34件、「楽しい」「人柄（優しい・親切）」がそれぞれ24件となっている。

宇土市が嫌いな理由は、「遊ぶ場所が少ない」が5件と最も多く、次いで「お店が少ない」が4件、「周辺環境（騒音、町で変な人がいたりする、野良猫）」「図書館（古い、本が少ない）」「何もないから」「人柄（挨拶しても無視される、悪口を言う）」「人間関係（いじめ、トラブル、仲間外れ）」がそれぞれ3件となっている。

(3) 宇土市に今後も住みたいと思うか



宇土市に今後も住みたいと思うかは、「住みたい」が59.2%と最も高く、次いで「わからない」が33.6%、「住みたくない」が7.3%となっている。

小学5年生では、「住みたい」が61.7%と最も高く、次いで「わからない」が31.3%、「住みたくない」が7.1%となっている。

中学2年生では、「わからない」が59.1%と最も高く、次いで「住みたい」が31.8%、「住みたくない」が9.1%となっている。

(4) 毎日の生活や学校について感じていること（自由記述）

問31 最後に、毎日の生活や学校のことについて感じていることなどご意見があれば、ご自由にご記入ください。

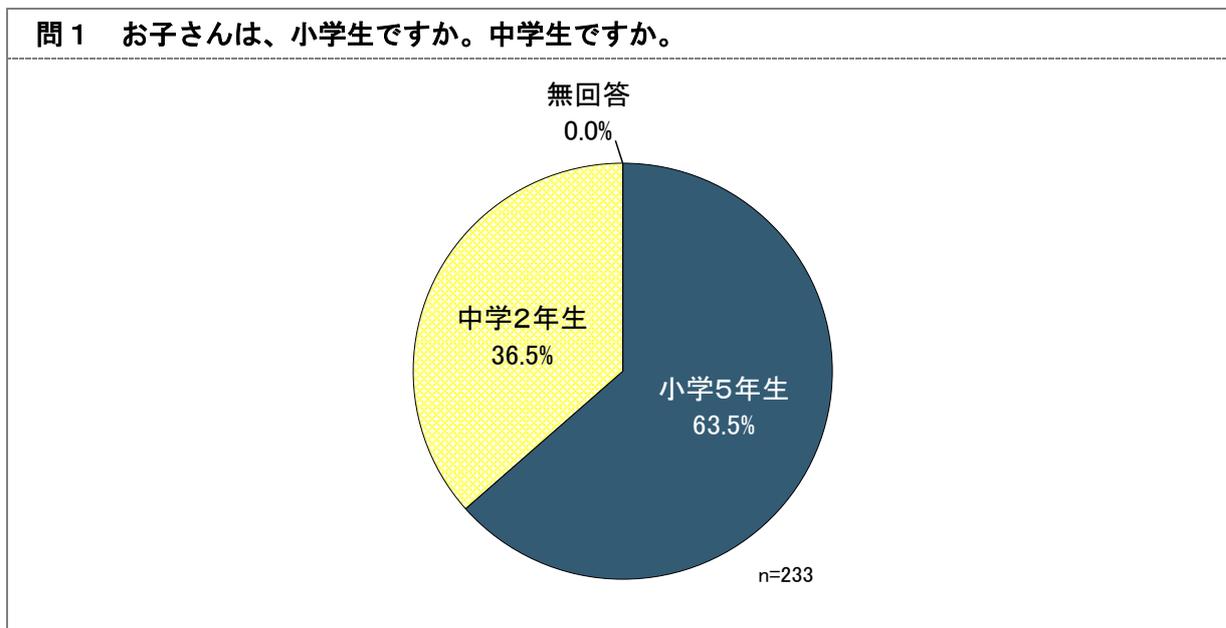
毎日の生活や学校のことについて感じていること	件数
楽しい	21件
勉強（難しい、もっとできるようになりたい等）	4件
先生（優しい、変わってほしい、不満しかない）	4件
友達（話せることが楽しい、もっと仲良くしたい、遊びたい等）	4件
みんなが優しいこと	2件
いじめられること、仲間外れにする人がいる	2件
友達とのトラブルや困っていることがある	2件
みんなが怖い、花が少ない、不満がたくさんある、教室がうるさい等	各1件

毎日の生活や学校について感じていることは、「楽しい」が21件と最も多く、次いで「勉強（難しい、もっとできるようになりたい等）」「先生（優しい、変わってほしい、不満しかない）」「友達（話せることが楽しい、もっと仲良くしたい、遊びたい等）」がそれぞれ4件、「みんなが優しいこと」「いじめられること、仲間外れにする人がいる」「友達とのトラブルや困っていることがある」がそれぞれ2件となっている。

Ⅱ 小学5年生・中学2年生の保護者の調査結果

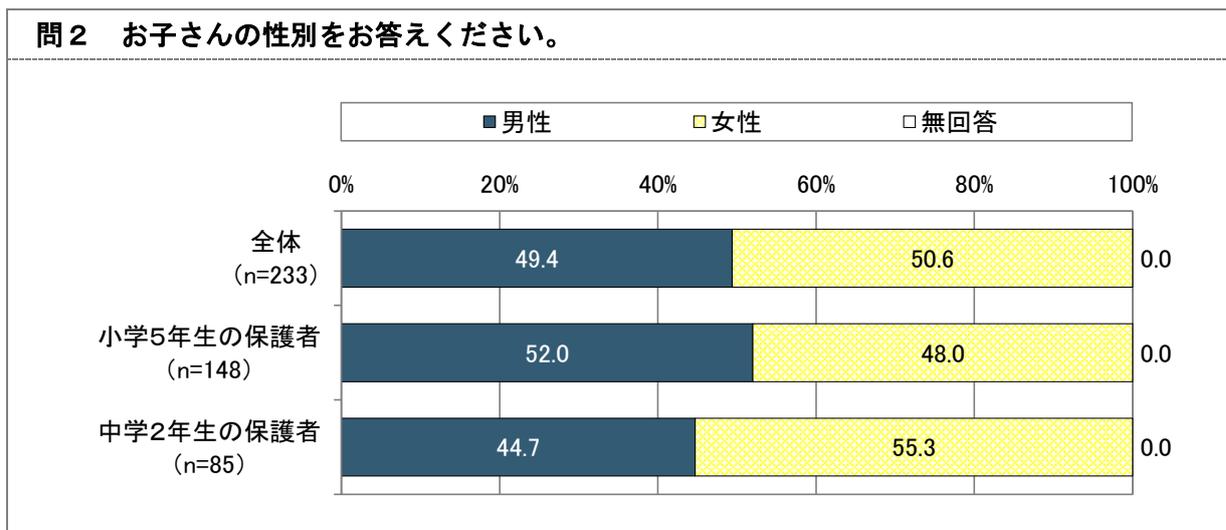
1. 子どもやご自身について

(1) 子どもの学年



子どもの学年は、「小学5年生」が63.5%、「中学2年生」が36.5%となっている。

(2) 子どもの性別

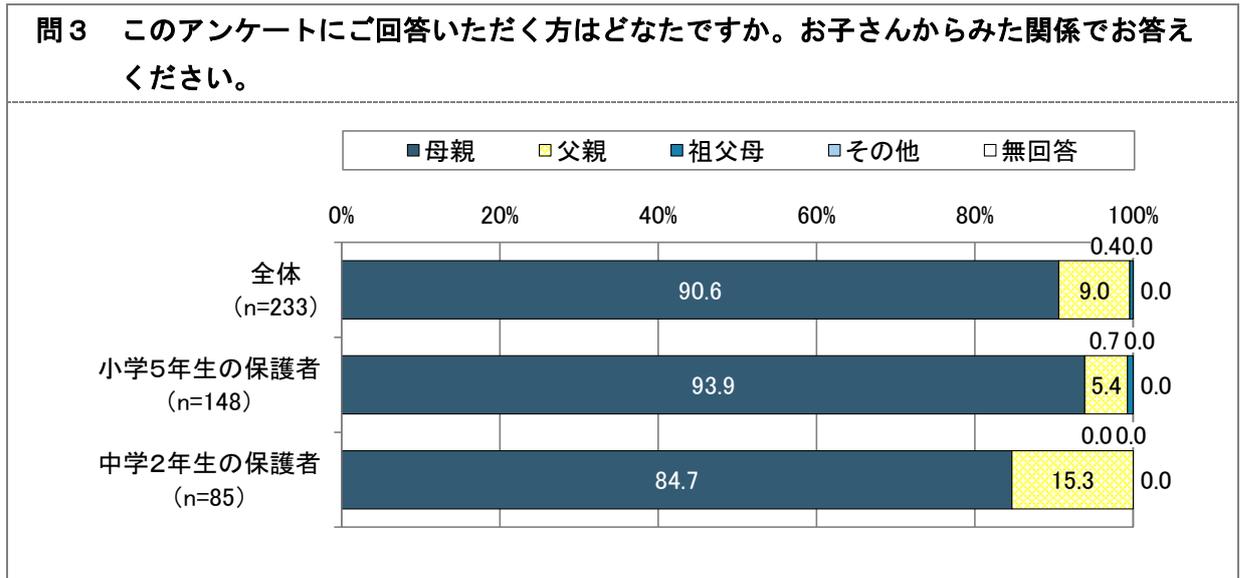


子どもの性別は、「女性」が50.6%、「男性」が49.4%となっている。

小学5年生の保護者では、「男性」が52.0%、「女性」が48.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「女性」が55.3%、「男性」が44.7%となっている。

(3) 回答者



回答者は、「母親」が90.6%と最も高く、次いで「父親」が9.0%、「祖父母」が0.4%となっている。

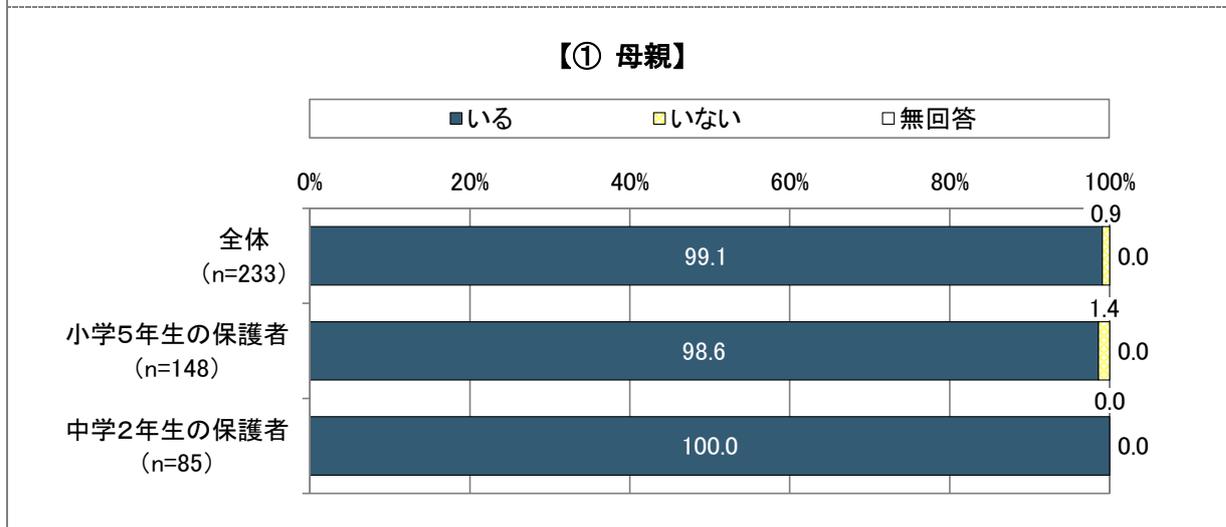
小学5年生の保護者では、「母親」が93.9%と最も高く、次いで「父親」が5.4%、「祖父母」が0.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「母親」が84.7%と最も高く、次いで「父親」が15.3%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(4) 家族構成

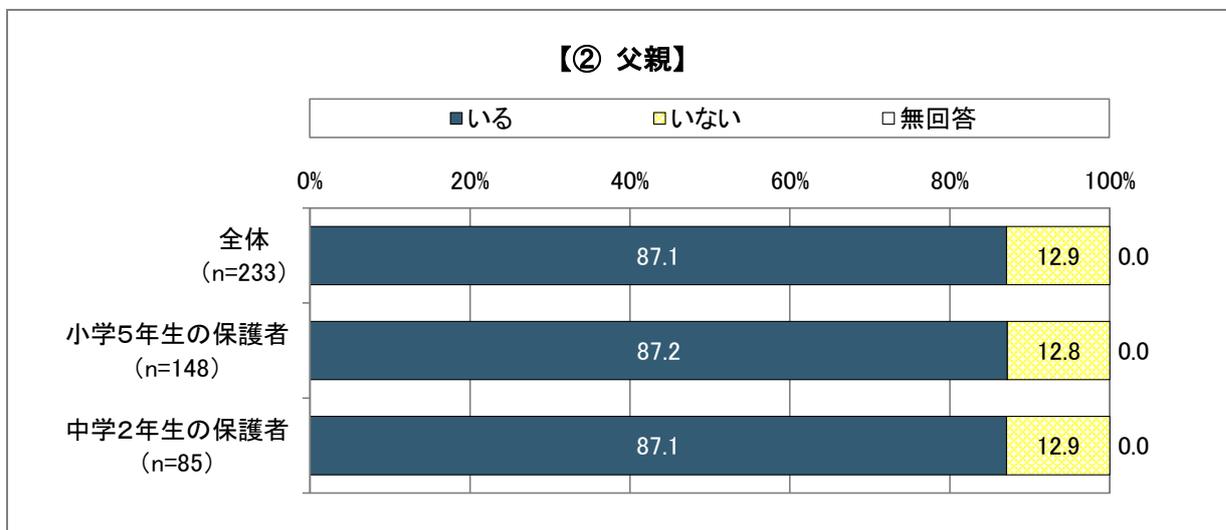
問4 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めてください。



①母親は、「いる」が99.1%、「いない」が0.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「いる」が98.6%、「いない」が1.4%となっている。

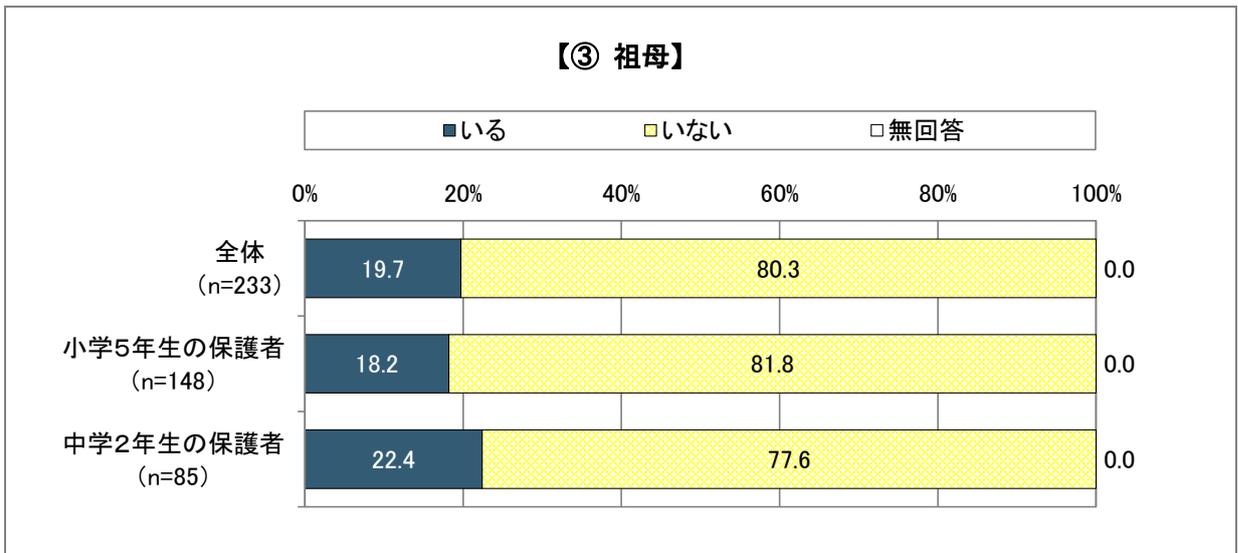
中学2年生の保護者では、「いる」が100.0%となっている。



②父親は、「いる」が87.1%、「いない」が12.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「いる」が87.2%、「いない」が12.8%となっている。

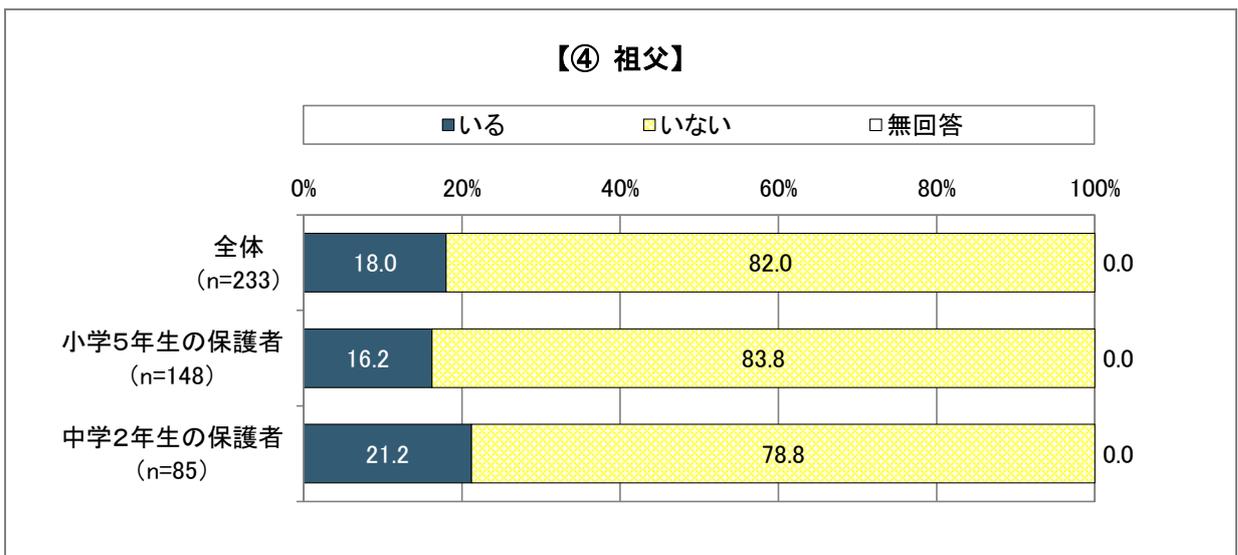
中学2年生の保護者では、「いる」が87.1%、「いない」が12.9%となっている。



③祖母は、「いない」が80.3%、「いる」が19.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「いない」が81.8%、「いる」が18.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「いない」が77.6%、「いる」が22.4%となっている。

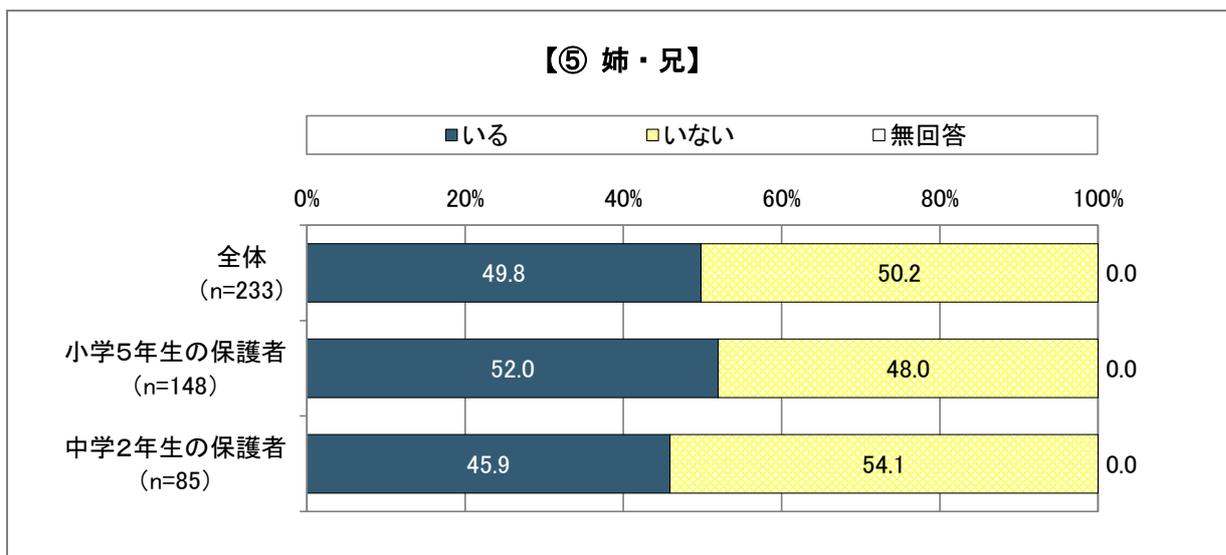


④祖父は、「いない」が82.0%、「いる」が18.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「いない」が83.8%、「いる」が16.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「いない」が78.8%、「いる」が21.2%となっている。

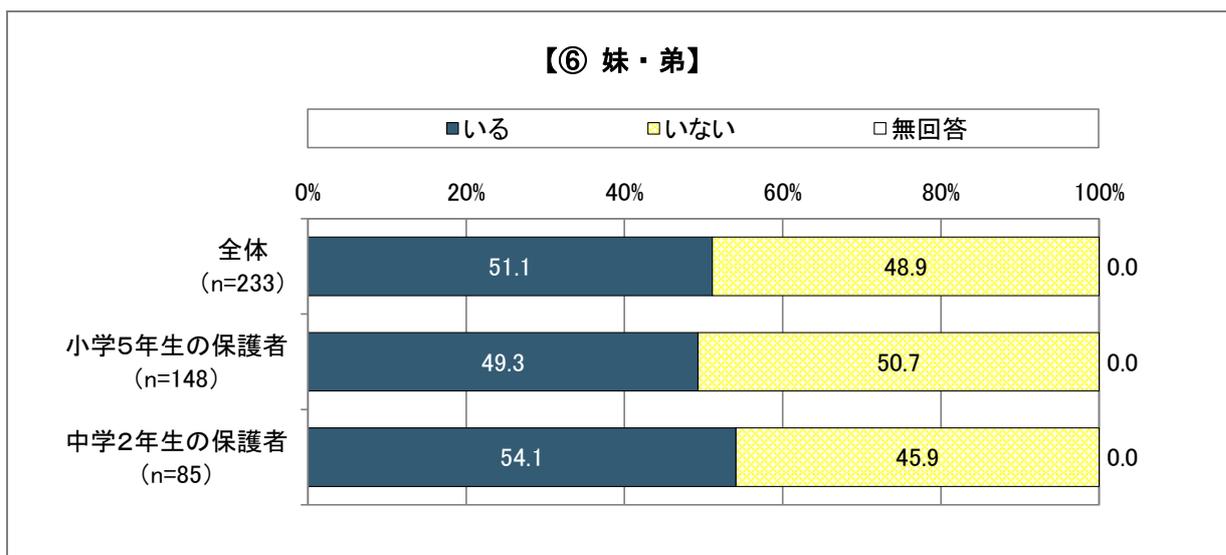
第2章 小学5年生・中学2年生の保護者



⑤姉・兄は、「いない」が50.2%、「いる」が49.8%となっている。

小学5年生の保護者では、「いる」が52.0%、「いない」が48.0%となっている。

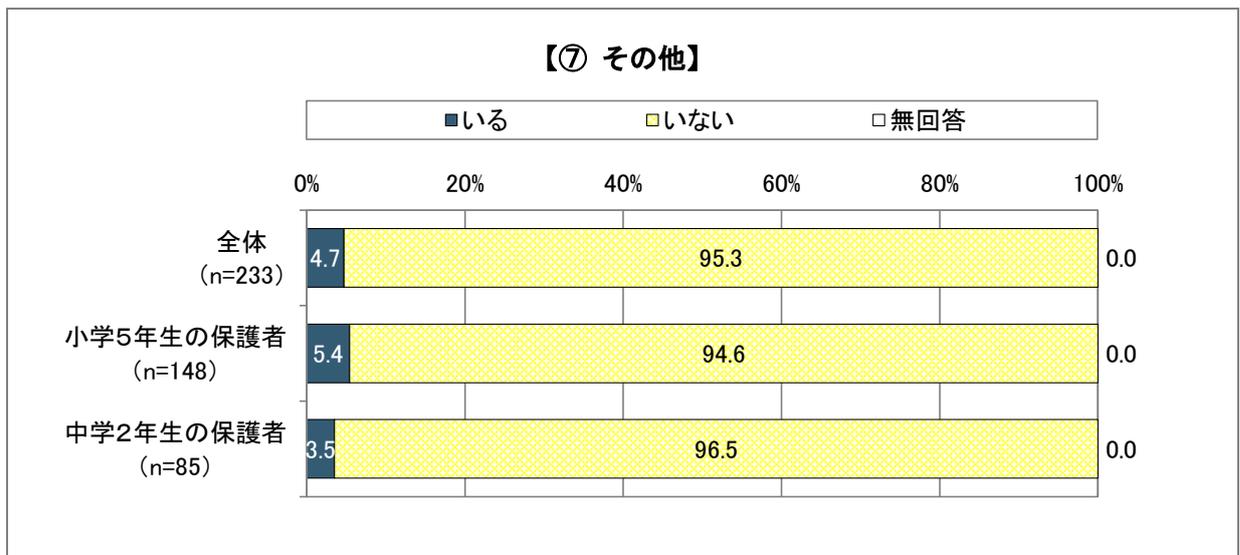
中学2年生の保護者では、「いない」が54.1%、「いる」が45.9%となっている。



⑥妹・弟は、「いる」が51.1%、「いない」が48.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「いない」が50.7%、「いる」が49.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「いる」が54.1%、「いない」が45.9%となっている。

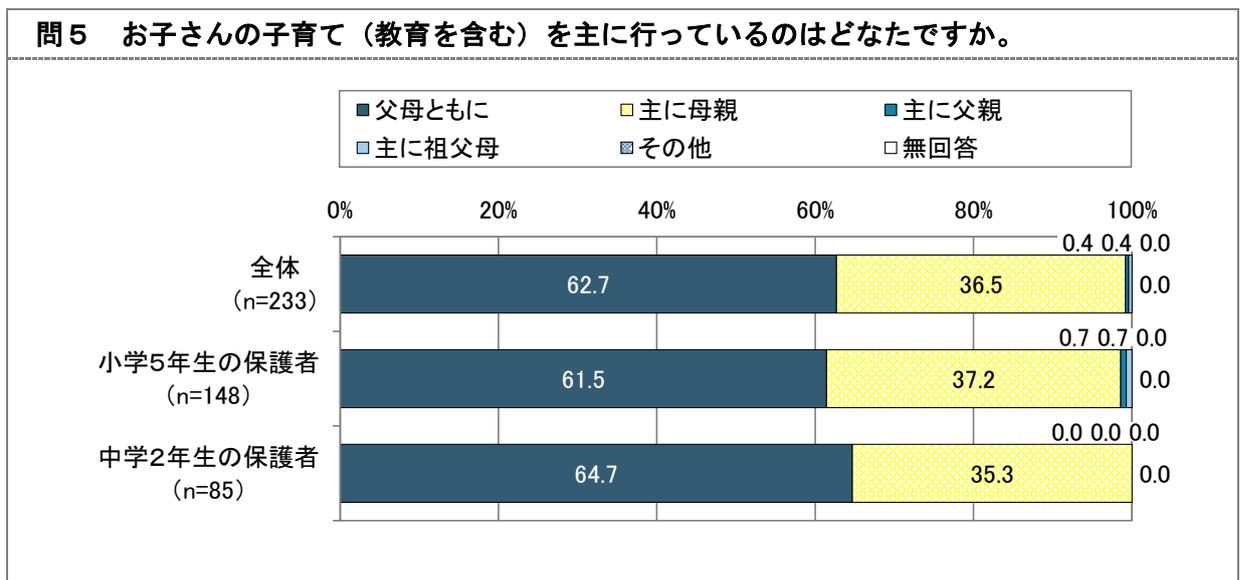


⑦その他は、「いない」が95.3%、「いる」が4.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「いない」が94.6%、「いる」が5.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「いる」が96.5%、「いない」が3.5%となっている。

(5) 子育て（教育を含む）を主に行っている人



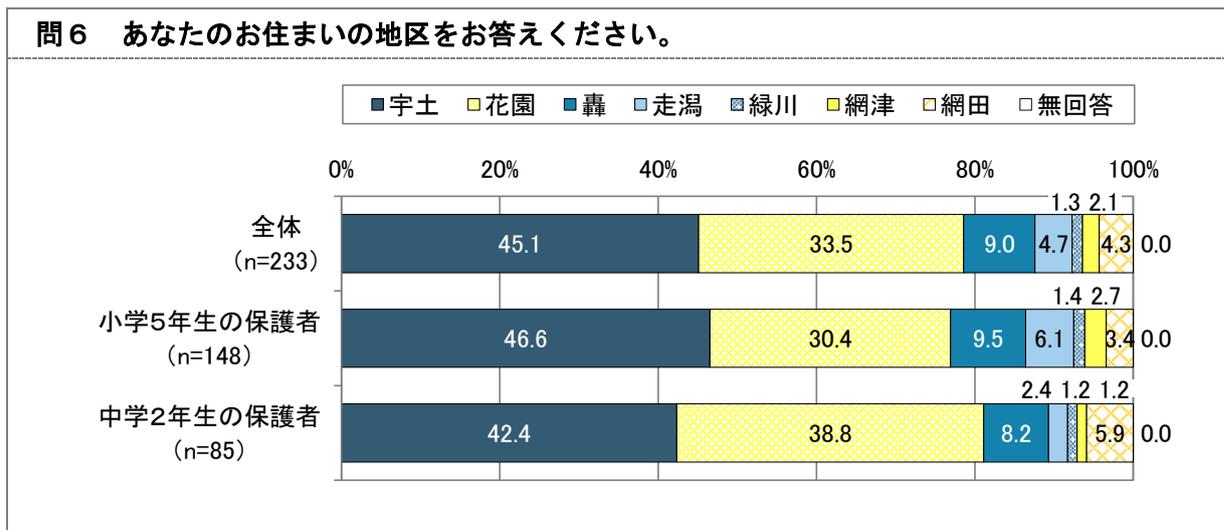
子育て（教育を含む）を主に行っている人は、「父母ともに」が62.7%と最も高く、次いで「主に母親」が36.5%、「主に父親」「主に祖父母」がそれぞれ0.4%となっている。

小学5年生の保護者では、「父母ともに」が61.5%と最も高く、次いで「主に母親」が37.2%、「主に父親」「主に祖父母」がそれぞれ0.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「父母ともに」が64.7%と最も高く、次いで「主に母親」が35.3%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(6) 居住地

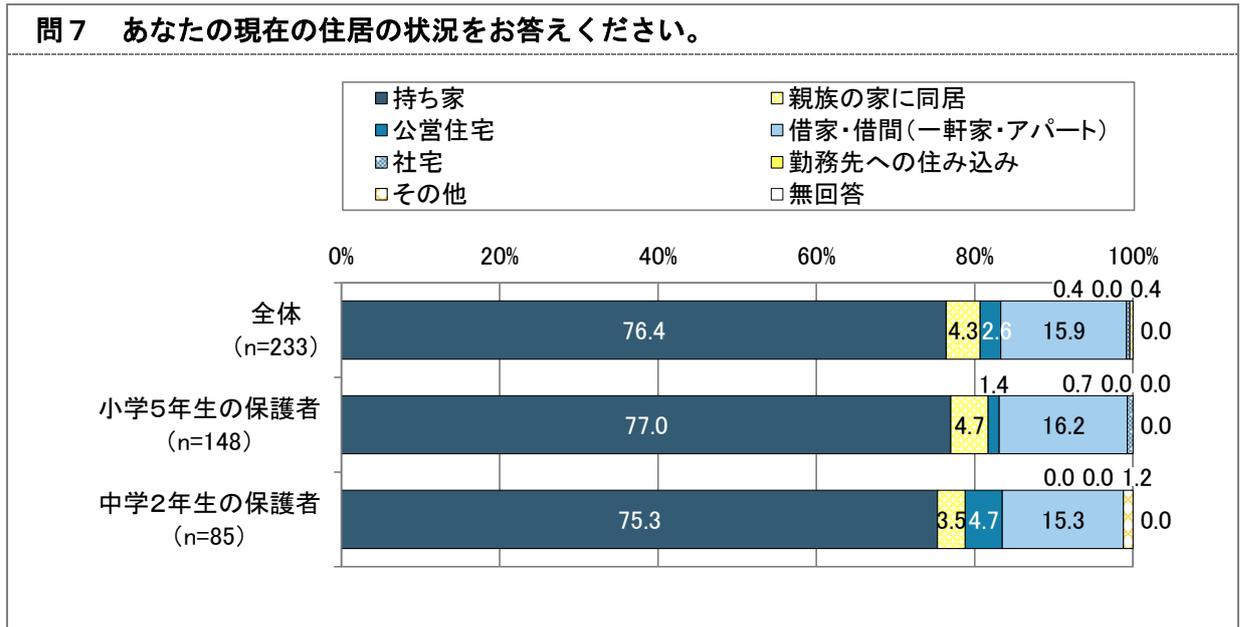


居住地は、「宇土」が45.1%と最も高く、次いで「花園」が33.5%、「轟」が9.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「宇土」が46.6%と最も高く、次いで「花園」が30.4%、「轟」が9.5%となっている。

中学2年生の保護者では、「宇土」が42.4%と最も高く、次いで「花園」が38.8%、「轟」が8.2%となっている。

(7) 居住形態



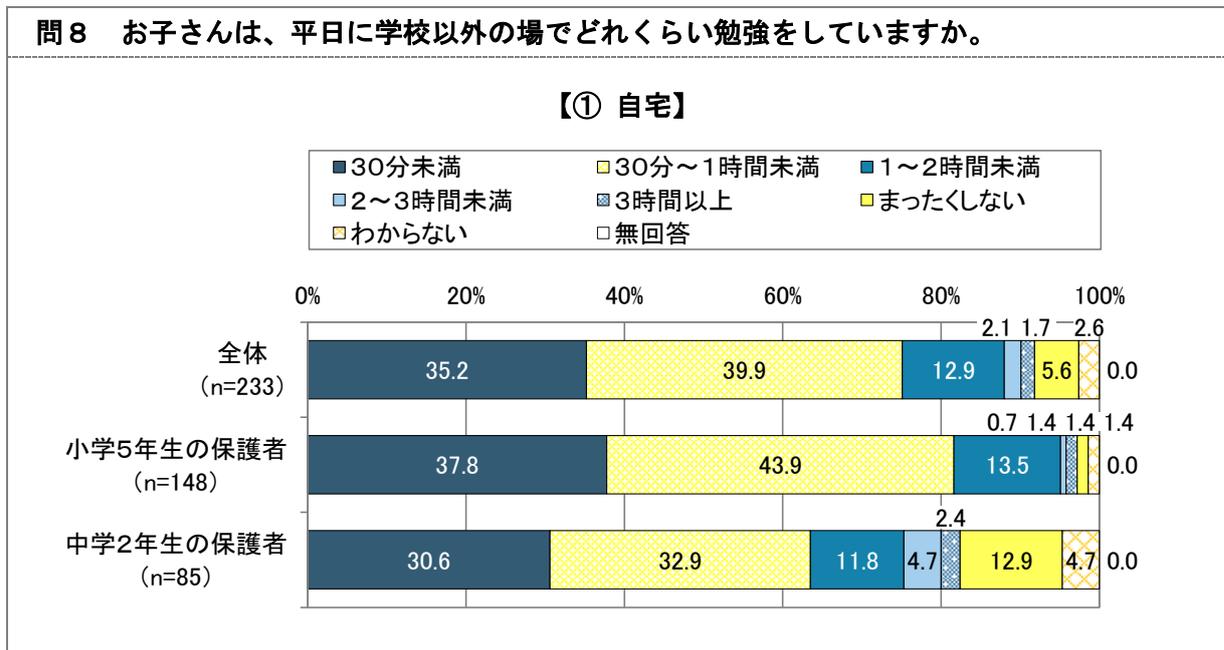
居住形態は、「持ち家」が76.4%と最も高く、次いで「借家・借間（一軒家・アパート）」が15.9%、「親族の家に同居」が4.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「持ち家」が77.0%と最も高く、次いで「借家・借間（一軒家・アパート）」が16.2%、「親族の家に同居」が4.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「持ち家」が75.3%と最も高く、次いで「借家・借間（一軒家・アパート）」が15.3%、「公営住宅」が4.7%となっている。

2. お子さんの学習状況などについて

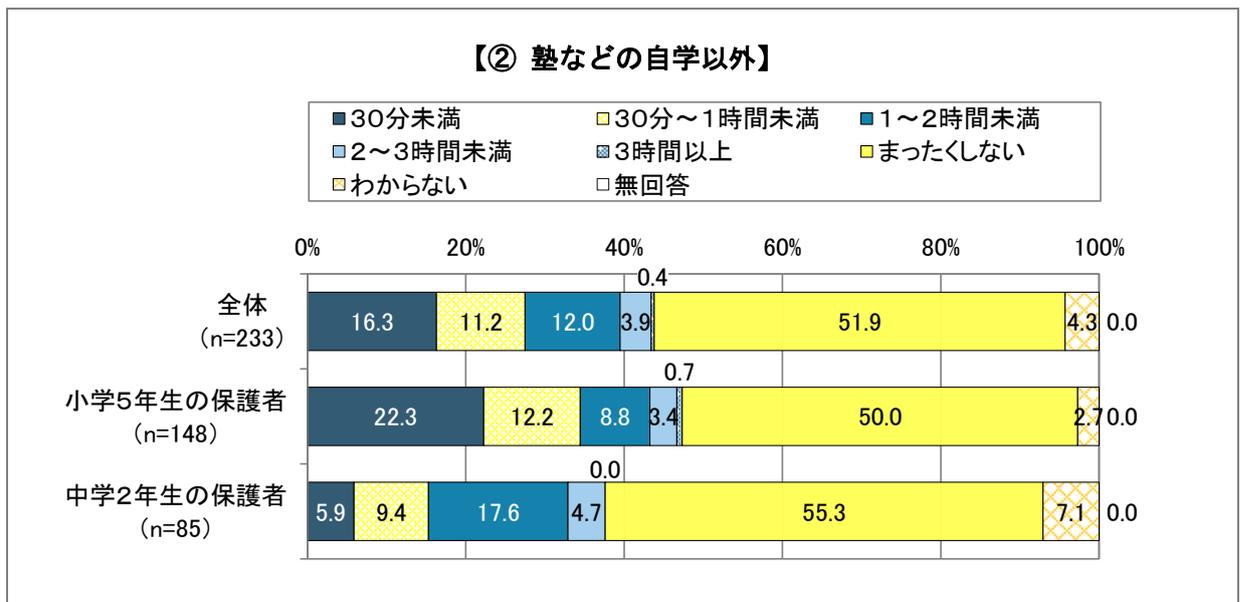
(1) 平日の学校以外の場での勉強時間



平日の自宅での勉強時間は、「30分～1時間未満」が39.9%と最も高く、次いで「30分未満」が35.2%、「1～2時間未満」が12.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「30分～1時間未満」が43.9%と最も高く、次いで「30分未満」が37.8%、「1～2時間未満」が13.5%となっている。

中学2年生の保護者では、「30分～1時間未満」が32.9%と最も高く、次いで「30分未満」が30.6%、「まったくしない」が12.9%となっている。

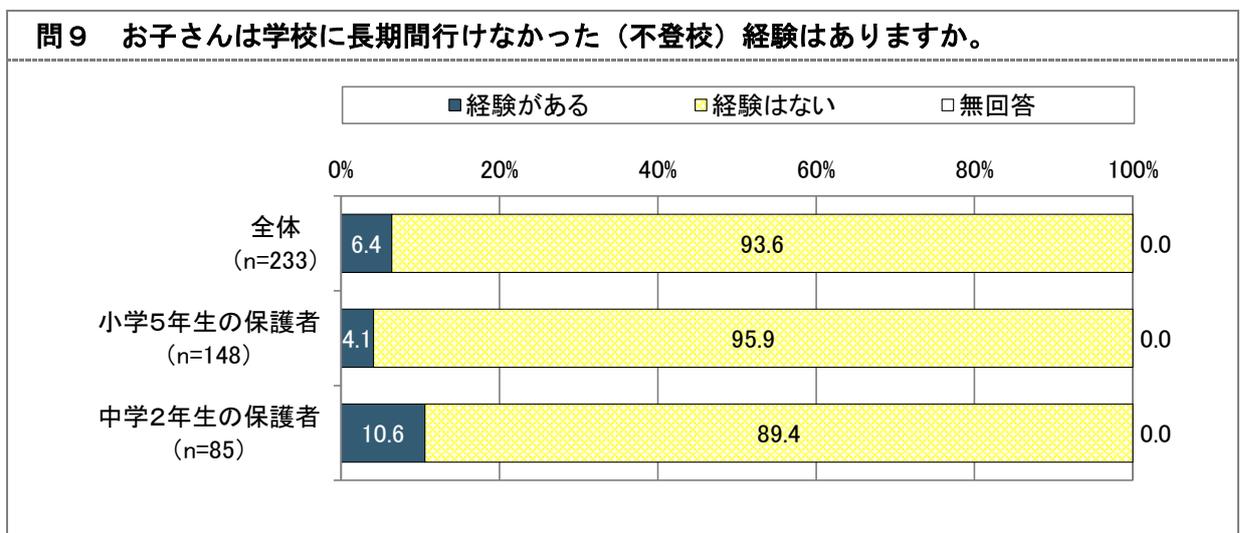


平日の塾などの自学以外での勉強時間は、「まったくしない」が51.9%と最も高く、次いで「30分未満」が16.3%、「1～2時間未満」が12.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「まったくしない」が50.0%と最も高く、次いで「30分未満」が22.3%、「30分～1時間未満」が12.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「まったくしない」が55.3%と最も高く、次いで「1～2時間未満」が17.6%、「30分～1時間未満」が9.4%となっている。

(2) 子どもの不登校の経験の有無



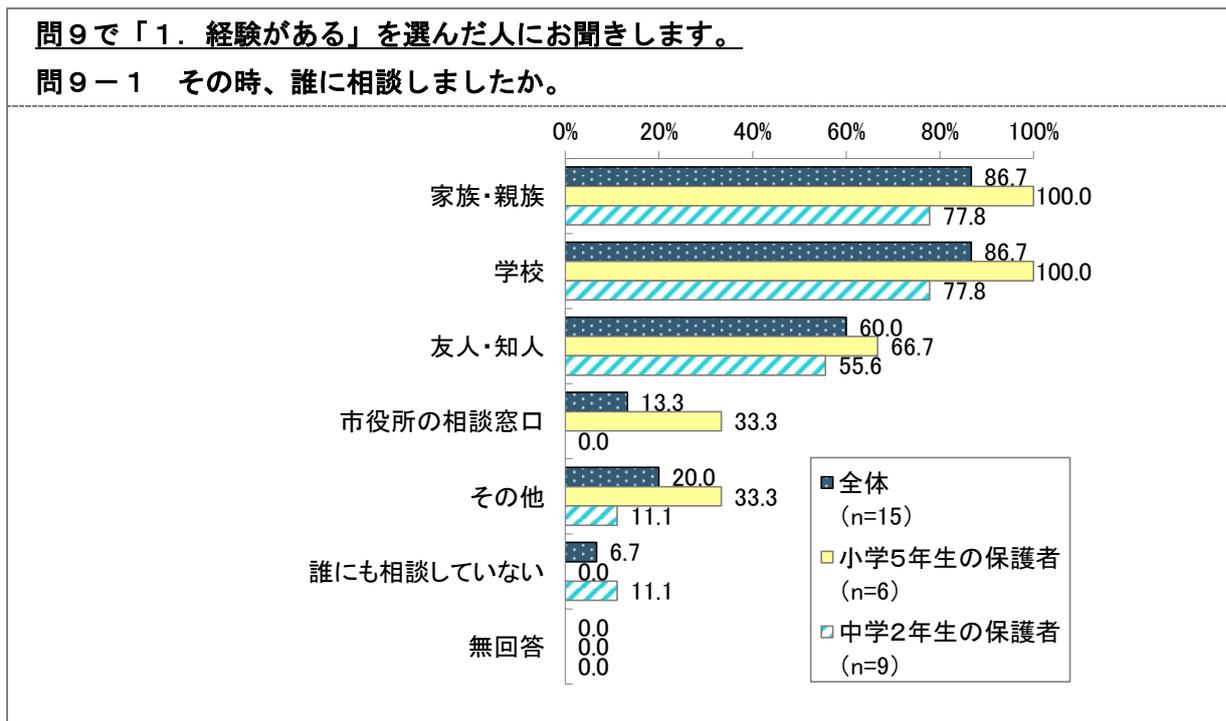
子どもの不登校の経験の有無は、「経験はない」が93.6%、「経験がある」が6.4%となっている。

小学5年生の保護者では、「経験はない」が95.9%、「経験がある」が4.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「経験はない」が89.4%、「経験がある」が10.6%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(3) 子どもが不登校だった経験がある場合の相談先

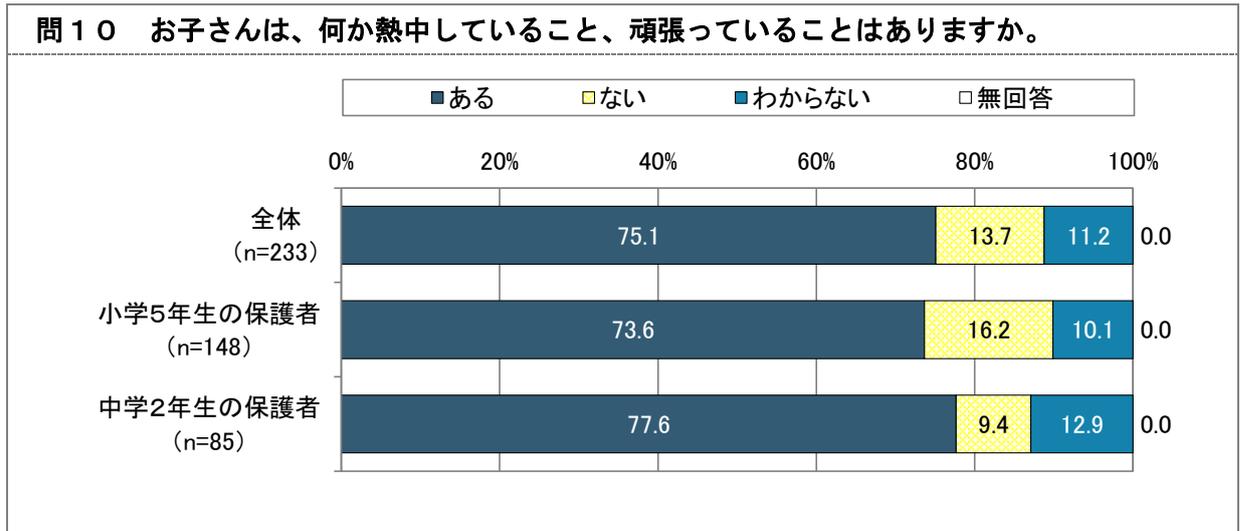


子どもが不登校だった経験がある場合の相談先は、「家族・親族」「学校」がそれぞれ86.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が60.0%、「市役所の相談窓口」が13.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「家族・親族」「学校」がそれぞれ100.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が66.7%、「市役所の相談窓口」が33.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「家族・親族」「学校」がそれぞれ77.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が55.6%となっている。

(4) 子どもが熱中していること、頑張っていることはあるか



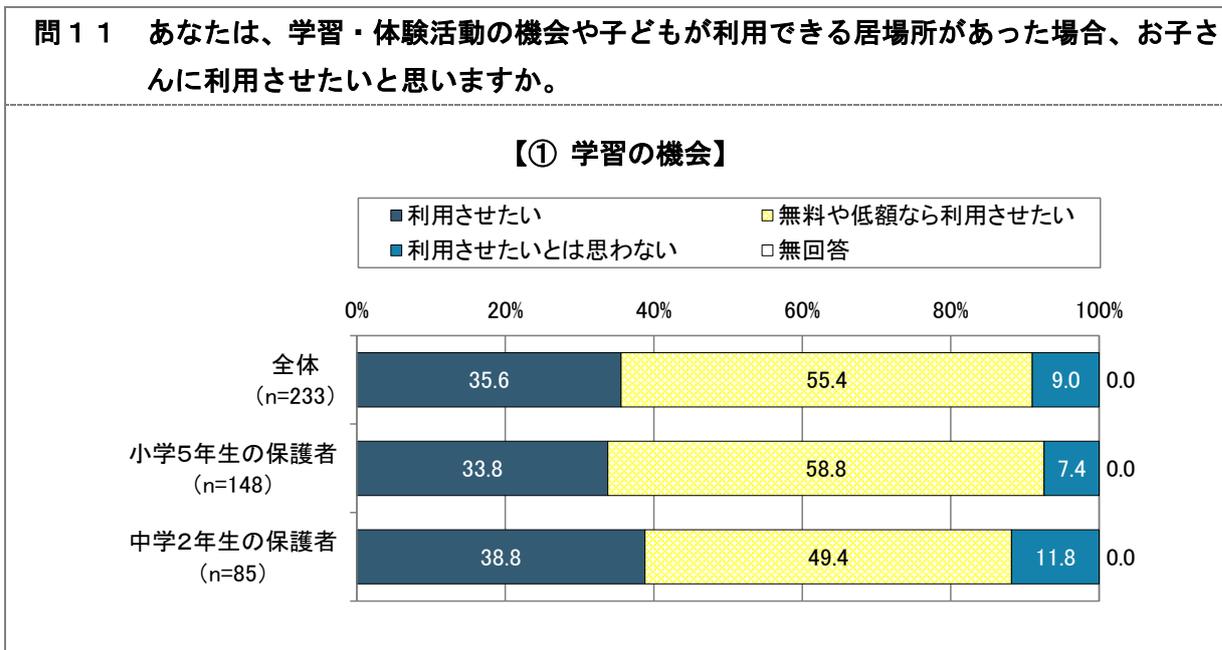
子どもが熱中していること、頑張っていることはあるかは、「ある」が75.1%と最も高く、次いで「ない」が13.7%、「わからない」が11.2%となっている。

小学5年生の保護者では、「ある」が73.6%と最も高く、次いで「ない」が16.2%、「わからない」が10.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある」が77.6%と最も高く、次いで「わからない」が12.9%、「ない」が9.4%となっている。

3. 子育ての状況について

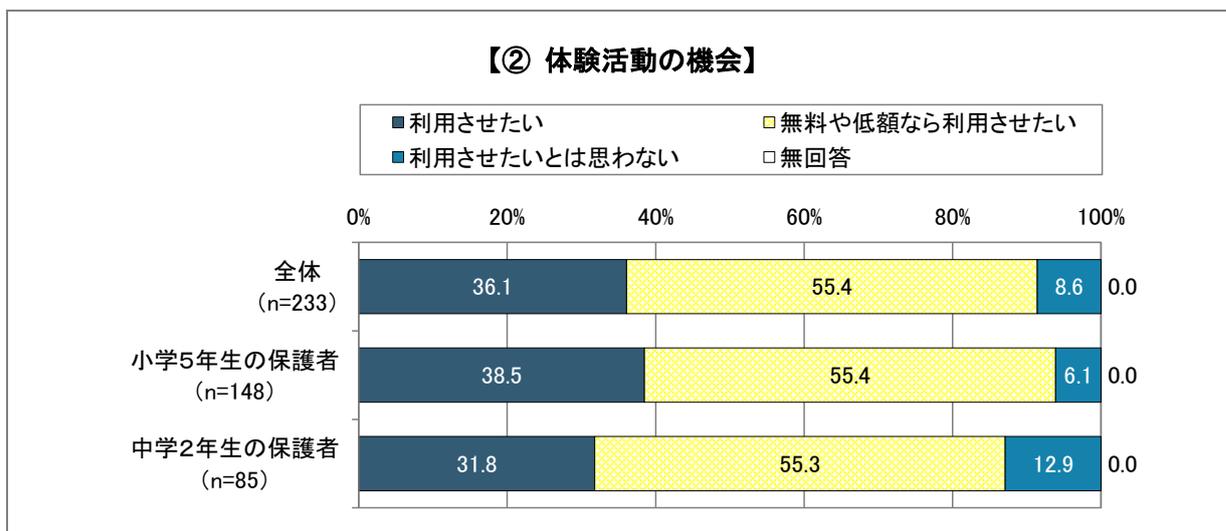
(1) 学習・体験活動の機会や子どもの居場所を利用させたいと思うか



①学習の機会を利用させたいと思うかは、「無料や低額なら利用させたい」が55.4%と最も高く、次いで「利用させたい」が35.6%、「利用させたいとは思わない」が9.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「無料や低額なら利用させたい」が58.8%と最も高く、次いで「利用させたい」が33.8%、「利用させたいとは思わない」が7.4%となっている。

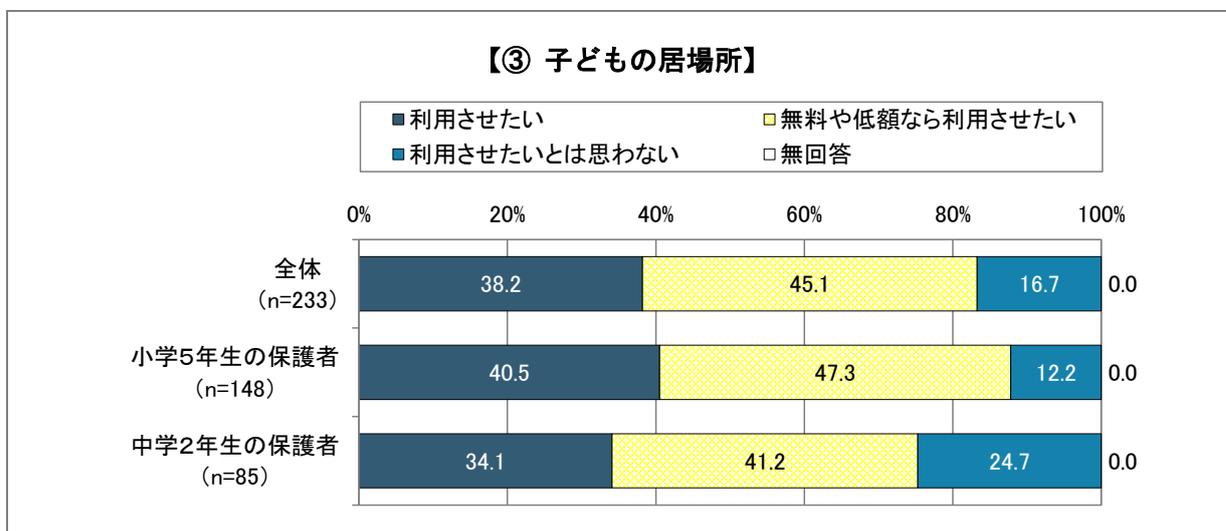
中学2年生の保護者では、「無料や低額なら利用させたい」が49.4%と最も高く、次いで「利用させたい」が38.8%、「利用させたいとは思わない」が11.8%となっている。



②体験活動の機会を利用させたいと思うかは、「無料や低額なら利用させたい」が55.4%と最も高く、次いで「利用させたい」が36.1%、「利用させたいとは思わない」が8.6%となっている。

小学5年生の保護者では、「無料や低額なら利用させたい」が55.4%と最も高く、次いで「利用させたい」が38.5%、「利用させたいとは思わない」が6.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「無料や低額なら利用させたい」が55.3%と最も高く、次いで「利用させたい」が31.8%、「利用させたいとは思わない」が12.9%となっている。

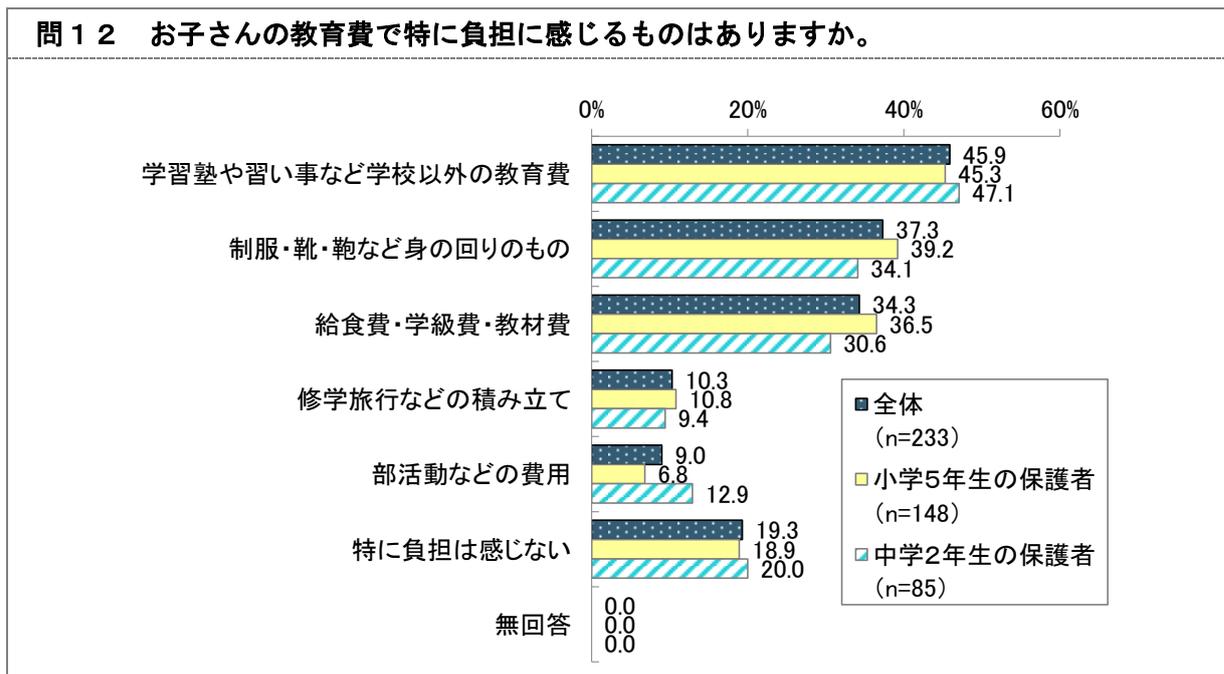


③子どもの居場所を利用させたいと思うかは、「無料や低額なら利用させたい」が45.1%と最も高く、次いで「利用させたい」が38.2%、「利用させたいとは思わない」が16.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「無料や低額なら利用させたい」が47.3%と最も高く、次いで「利用させたい」が40.5%、「利用させたいとは思わない」が12.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「無料や低額なら利用させたい」が41.2%と最も高く、次いで「利用させたい」が34.1%、「利用させたいとは思わない」が24.7%となっている。

(2) 教育で特に負担に感じるもの

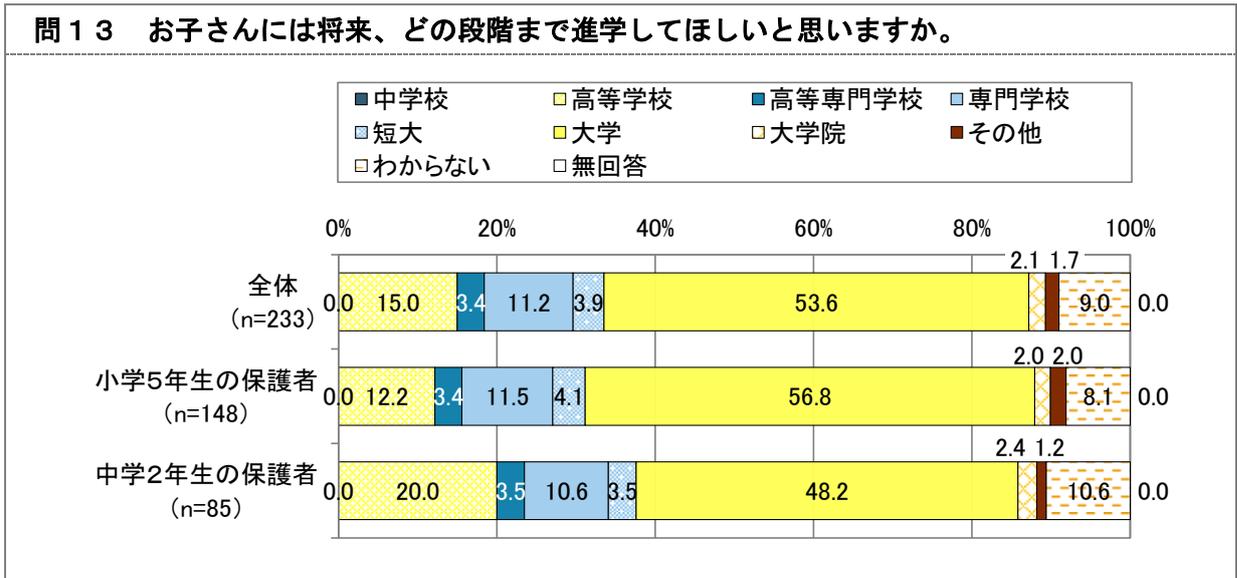


教育で特に負担に感じるものは、「学習塾や習い事など学校以外の教育費」が45.9%と最も高く、次いで「制服・靴・鞆など身の回りのもの」が37.3%、「給食費・学級費・教材費」が34.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「学習塾や習い事など学校以外の教育費」が45.3%と最も高く、次いで「制服・靴・鞆など身の回りのもの」が39.2%、「給食費・学級費・教材費」が36.5%となっている。

中学2年生の保護者では、「学習塾や習い事など学校以外の教育費」が47.1%と最も高く、次いで「制服・靴・鞆など身の回りのもの」が34.1%、「給食費・学級費・教材費」が30.6%となっている。

(3) 子どもに進学してほしい段階

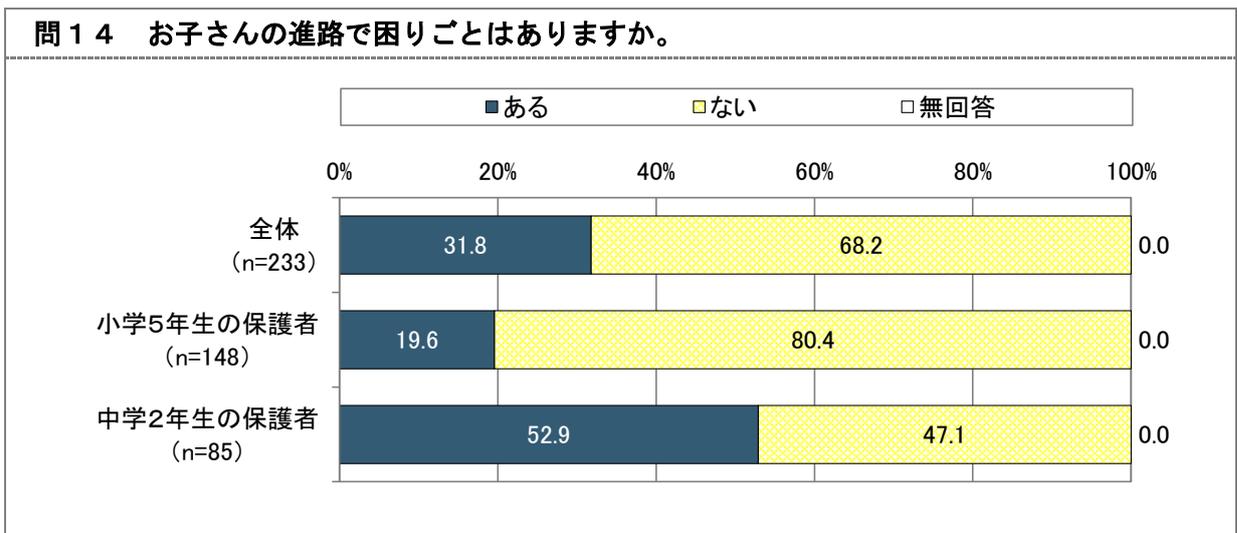


子どもに進学してほしい段階は、「大学」が53.6%と最も高く、次いで「高等学校」が15.0%、「専門学校」が11.2%となっている。

小学5年生の保護者では、「大学」が56.8%と最も高く、次いで「高等学校」が12.2%、「専門学校」が11.5%となっている。

中学2年生の保護者では、「大学」が48.2%と最も高く、次いで「高等学校」が20.0%、「専門学校」「わからない」がそれぞれ10.6%となっている。

(4) 子どもの進路で困りごとがあるか



進路での困りごとの有無は、「ない」が68.2%、「ある」が31.8%となっている。

小学5年生の保護者では、「ない」が80.4%、「ある」が19.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある」が52.9%、「ない」が47.1%となっている。

(5) 子どもの進路について困っている内容（自由記述）

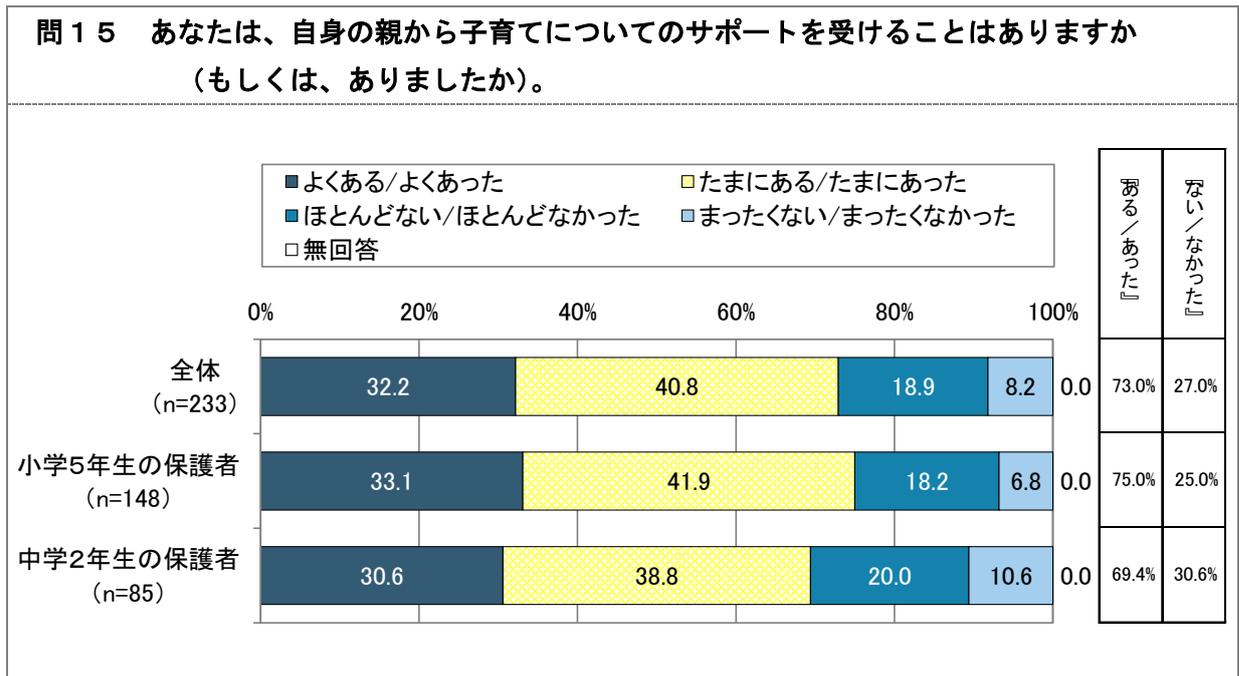
問14で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。

問14-1 お子さんの進路についての困りごとの内容を教えてください。

子どもの進路について困っている内容	件数
進路が決まっていない (目標がない、やりたいことがはっきりしない等)	25件
成績 (学力に見合った高校がない、学力が足りず進学の実選択肢が狭い等)	19件
金銭面	12件
進学先の情報がない(情報が欲しい)	4件
中学受験をするかどうか	3件
塾に行くべきかどうか	2件
友達付き合いがない、現実をみてほしい、障がいがある等	各1件

子どもの進路について困っている内容は、「進路が決まっていない」が25件と最も多く、次いで「成績」が19件、「金銭面」が12件となっている。

(6) 自身の親から子育てについてのサポートを受けた経験の有無



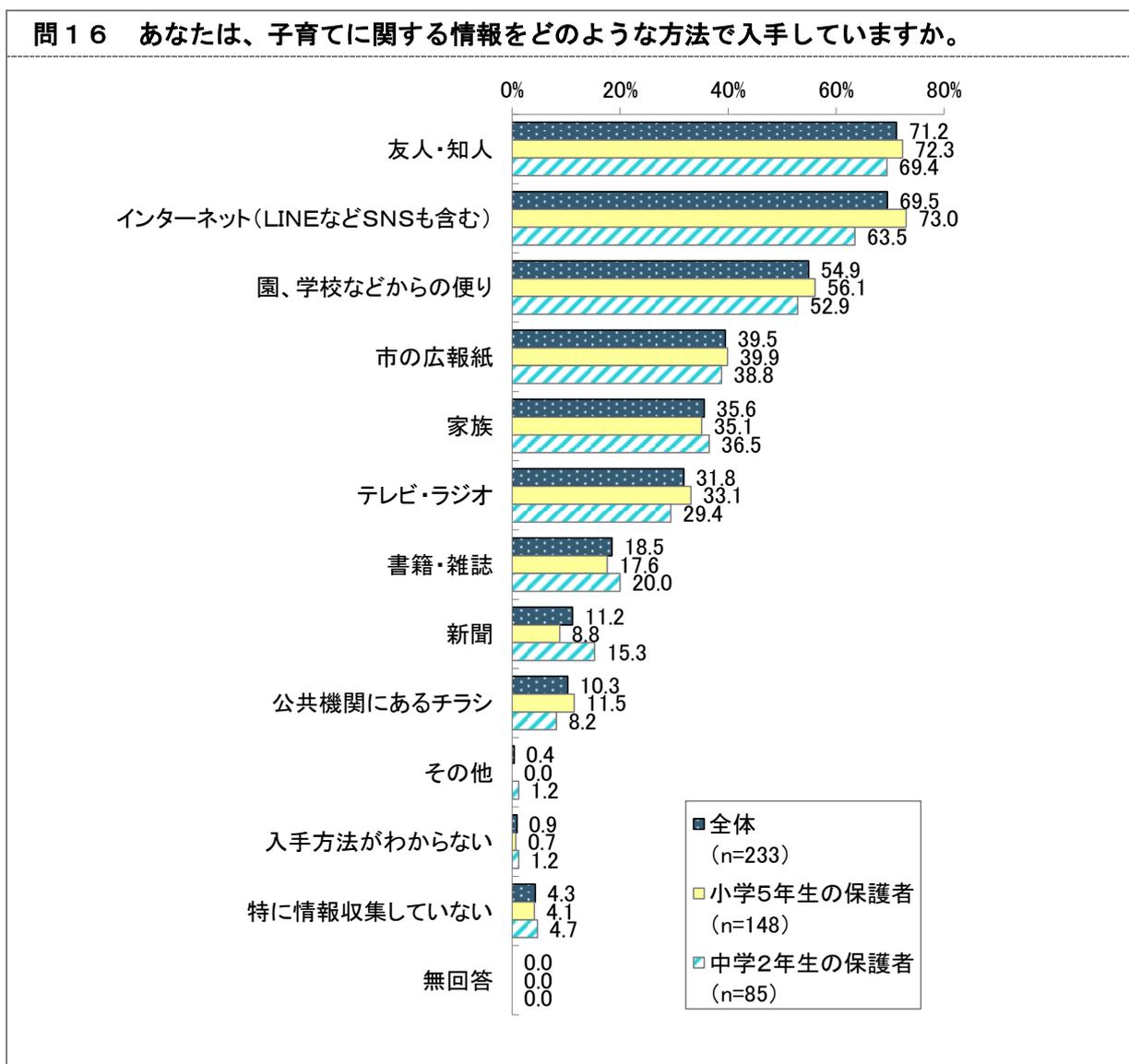
自身の親から子育てについてのサポートを受けた経験の有無は、「たまにある/たまにあった」が40.8%と最も高く、次いで「よくある/よくあった」が32.2%、「ほとんどない/ほとんどなかった」が18.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「たまにある/たまにあった」が41.9%と最も高く、次いで「よくある/よくあった」が33.1%、「ほとんどない/ほとんどなかった」が18.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「たまにある/たまにあった」が38.8%と最も高く、次いで「よくある/よくあった」が30.6%、「ほとんどない/ほとんどなかった」が20.0%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(7) 子育てに関する情報の入手方法

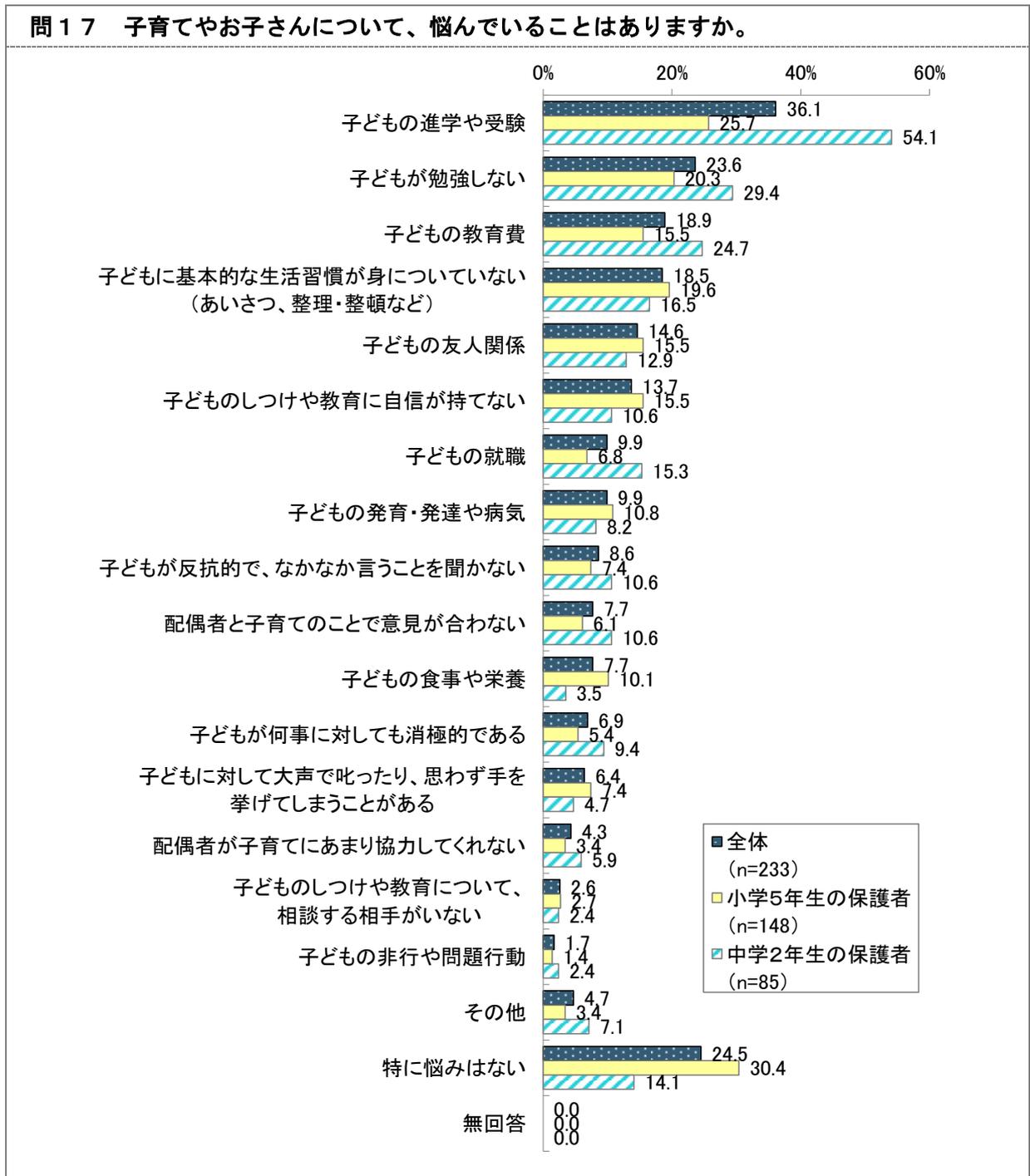


子育てに関する情報の入手方法は、「友人・知人」が71.2%と最も高く、次いで「インターネット（LINEなどSNSも含む）」が69.5%、「園、学校などからの便り」が54.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「インターネット（LINEなどSNSも含む）」が73.0%と最も高く、次いで「友人・知人」が72.3%、「園、学校などからの便り」が56.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「友人・知人」が69.4%と最も高く、次いで「インターネット（LINEなどSNSも含む）」が63.5%、「園、学校などからの便り」が52.9%となっている。

(8) 子育てについて悩んでいること



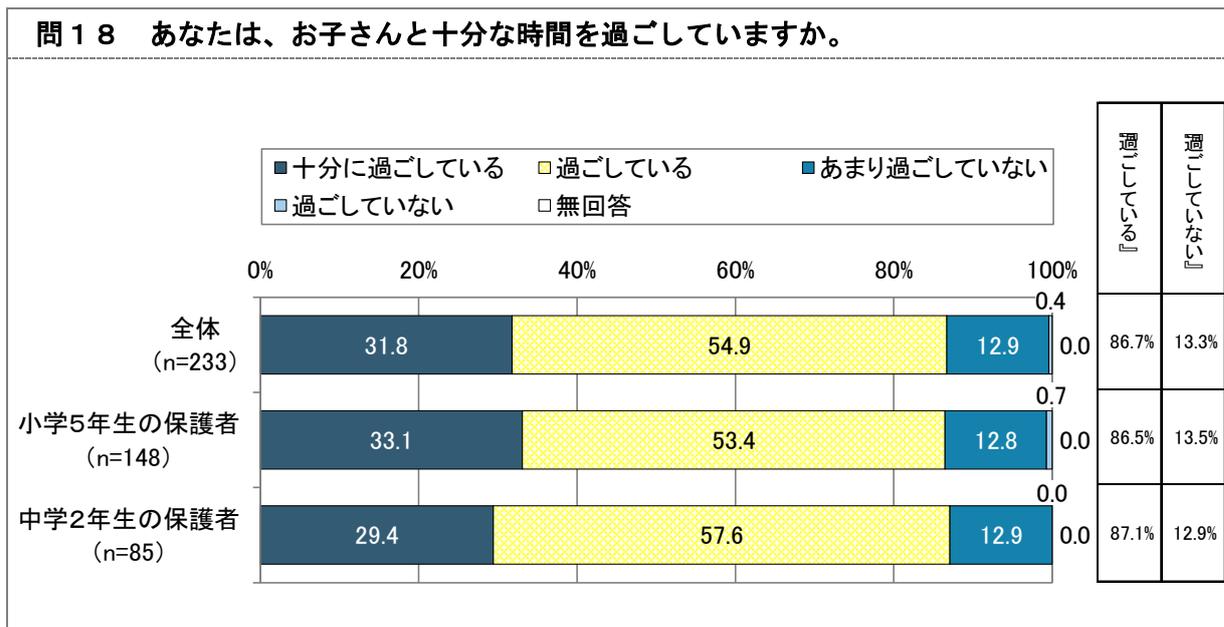
子育てについて悩んでいることは、「子どもの進学や受験」が36.1%と最も高く、次いで「子どもが勉強しない」が23.6%、「子どもの教育費」が18.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「子どもの進学や受験」が25.7%と最も高く、次いで「子どもが勉強しない」が20.3%、「子どもに基本的な生活習慣が身についていない（あいさつ、整理・整頓など）」が19.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「子どもの進学や受験」が54.1%と最も高く、次いで「子どもが勉強しない」が29.4%、「子どもの教育費」が24.7%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(9) 子どもと十分な時間を過ごしているか

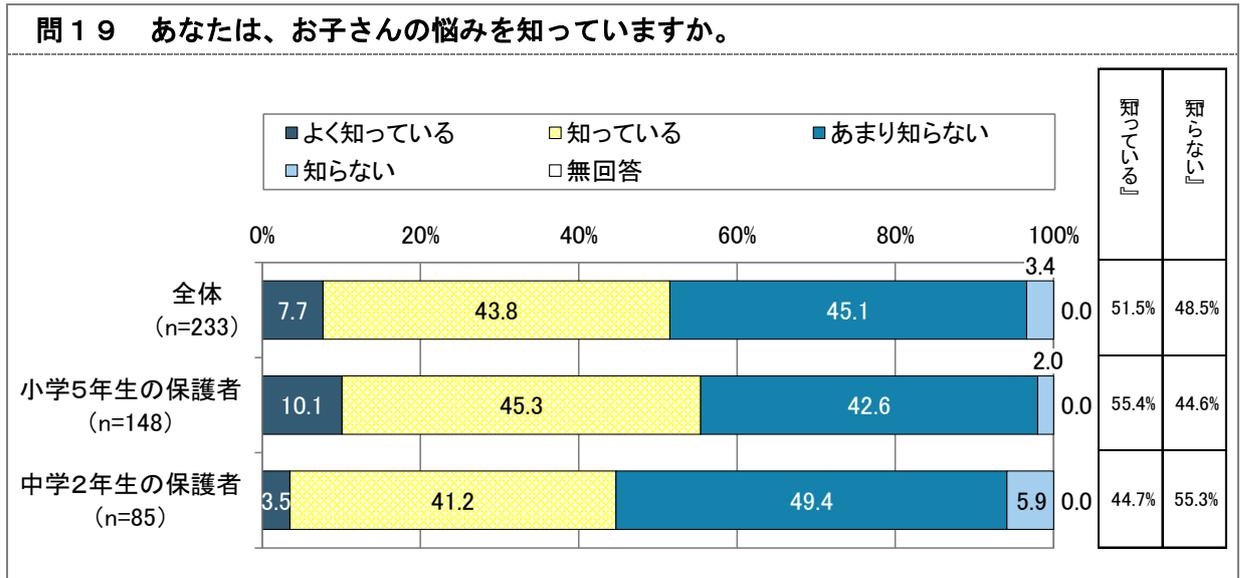


子どもと十分な時間を過ごしているかは、「過ごしている」が54.9%と最も高く、次いで「十分に過ごしている」が31.8%、「あまり過ごしていない」が12.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「過ごしている」が53.4%と最も高く、次いで「十分に過ごしている」が33.1%、「あまり過ごしていない」が12.8%となっている。

中学2年生の保護者では、「過ごしている」が57.6%と最も高く、次いで「十分に過ごしている」が29.4%、「あまり過ごしていない」が12.9%となっている。

(10) 子どもの悩みを知っているか



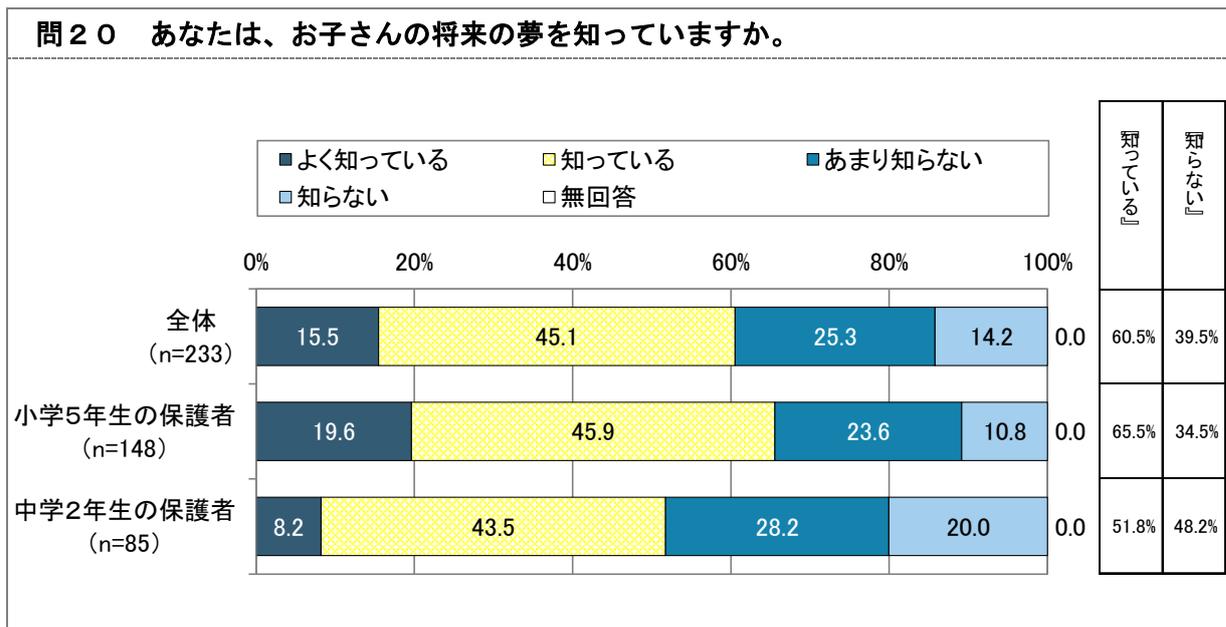
子どもの悩みを知っているかは、「あまり知らない」が45.1%と最も高く、次いで「知っている」が43.8%、「よく知っている」が7.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「知っている」が45.3%と最も高く、次いで「あまり知らない」が42.6%、「よく知っている」が10.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「あまり知らない」が49.4%と最も高く、次いで「知っている」が41.2%、「知らない」が5.9%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(11) 子どもの将来の夢を知っているか

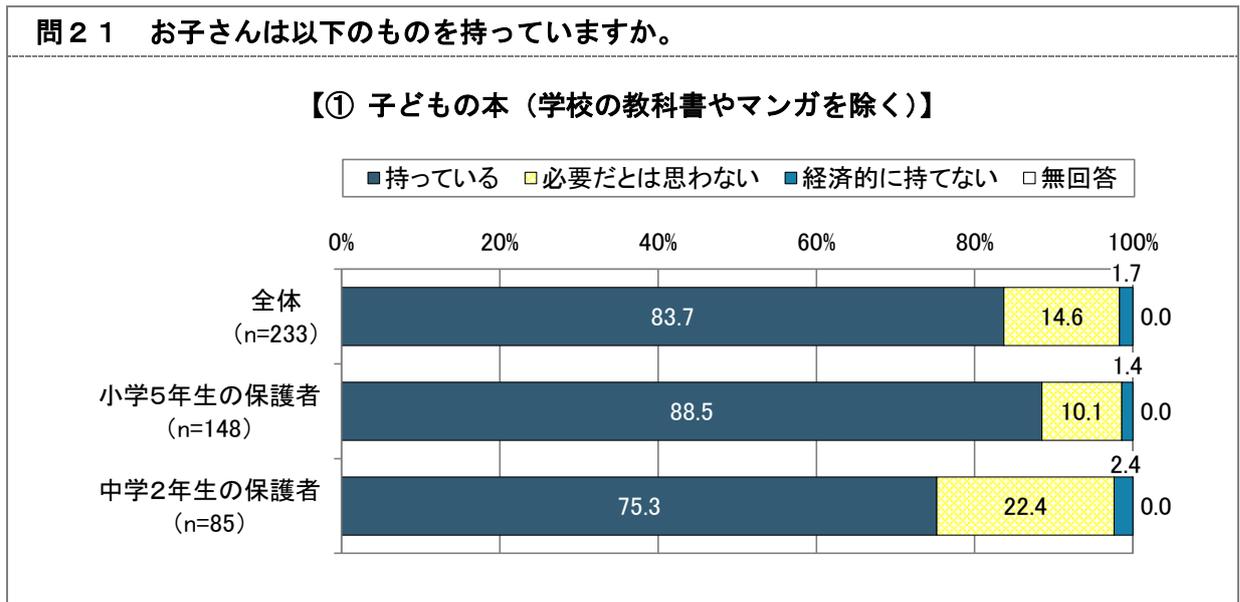


子どもの将来の夢を知っているかは、「知っている」が45.1%と最も高く、次いで「あまり知らない」が25.3%、「よく知っている」が15.5%となっている。

小学5年生の保護者では、「知っている」が45.9%と最も高く、次いで「あまり知らない」が23.6%、「よく知っている」が19.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「知っている」が43.5%と最も高く、次いで「あまり知らない」が28.2%、「知らない」が20.0%となっている。

(12) 子どもの所有物の状況

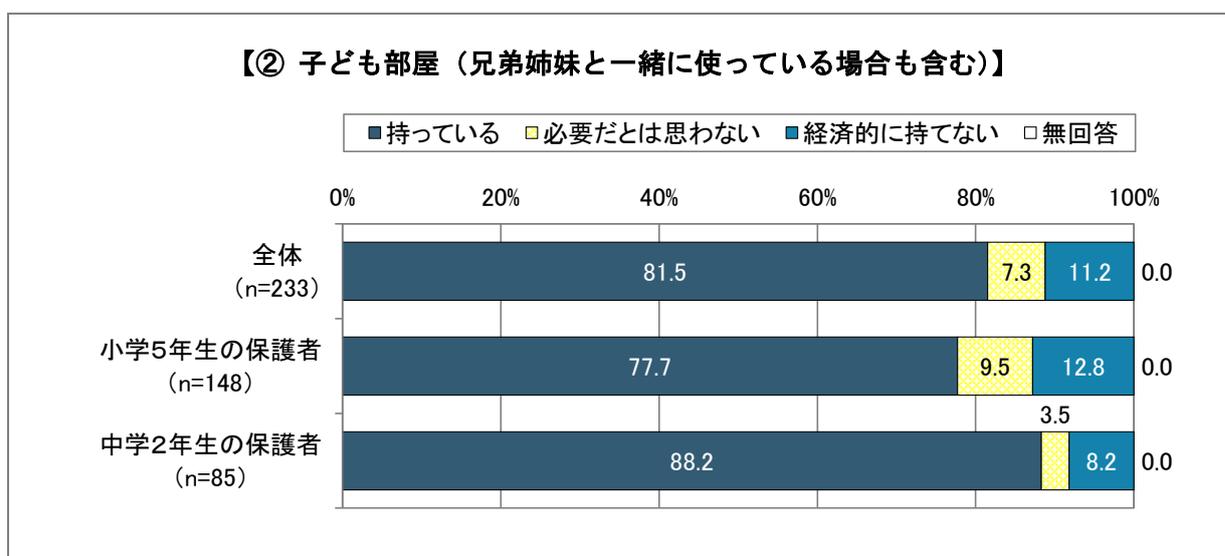


①子どもの本（学校の教科書やマンガを除く）は、「持っている」が83.7%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が14.6%、「経済的に持てない」が1.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が88.5%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が10.1%、「経済的に持てない」が1.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「持っている」が75.3%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が22.4%、「経済的に持てない」が2.4%となっている。

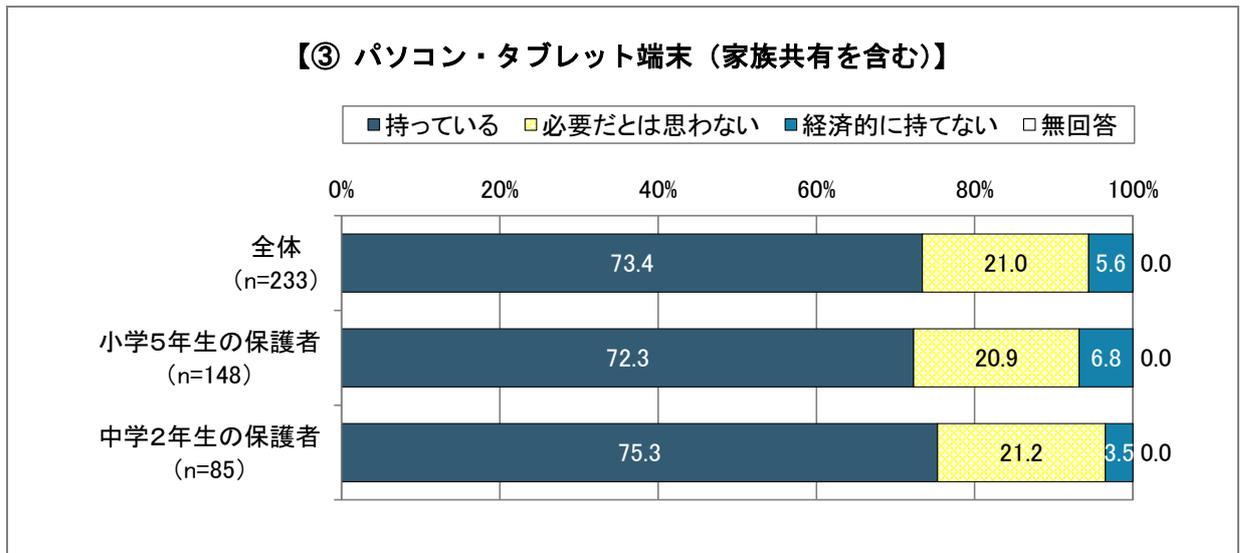
第2章 小学5年生・中学2年生の保護者



②子ども部屋（兄弟姉妹と一緒に使っている場合も含む）は、「持っている」が81.5%と最も高く、次いで「経済的に持てない」が11.2%、「必要だとは思わない」が7.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が77.7%と最も高く、次いで「経済的に持てない」が12.8%、「必要だとは思わない」が9.5%となっている。

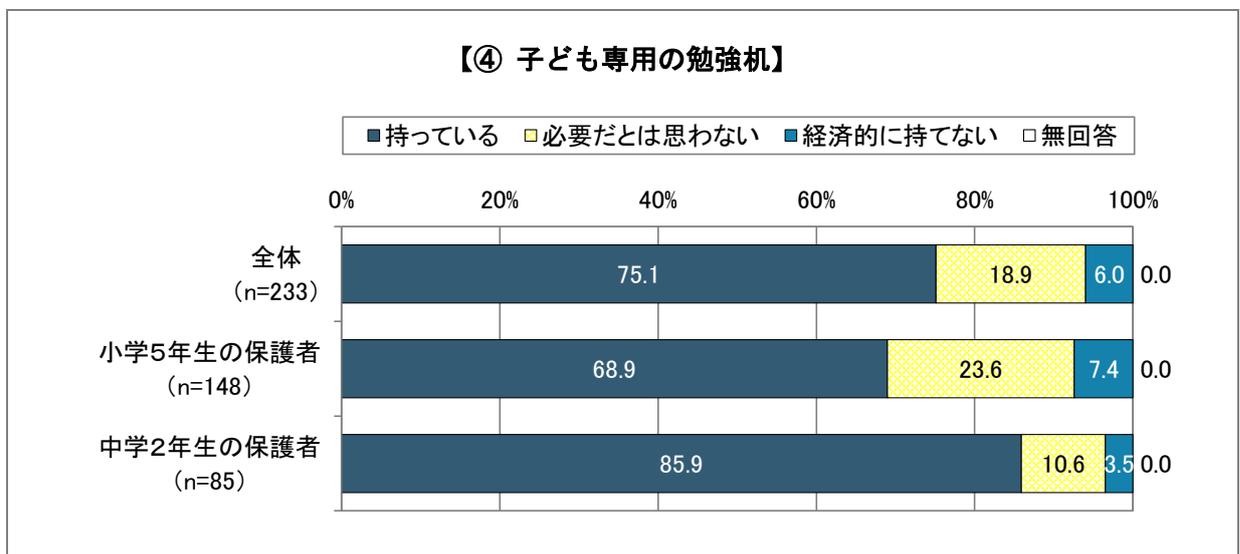
中学2年生の保護者では、「持っている」が88.2%と最も高く、次いで「経済的に持てない」が8.2%、「必要だとは思わない」が3.5%となっている。



③パソコン・タブレット端末（家族共有を含む）は、「持っている」が73.4%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が21.0%、「経済的に持てない」が5.6%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が72.3%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が20.9%、「経済的に持てない」が6.8%となっている。

中学2年生の保護者では、「持っている」が75.3%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が21.2%、「経済的に持てない」が3.5%となっている。

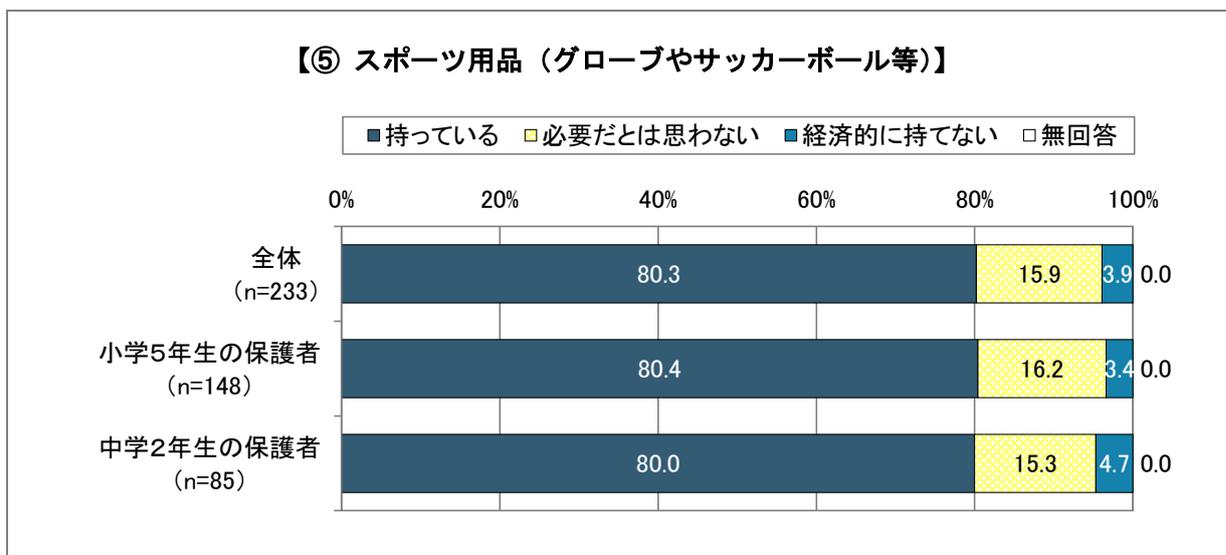


④子ども専用の勉強机は、「持っている」が75.1%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が18.9%、「経済的に持てない」が6.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が68.9%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が23.6%、「経済的に持てない」が7.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「持っている」が85.9%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が10.6%、「経済的に持てない」が3.5%となっている。

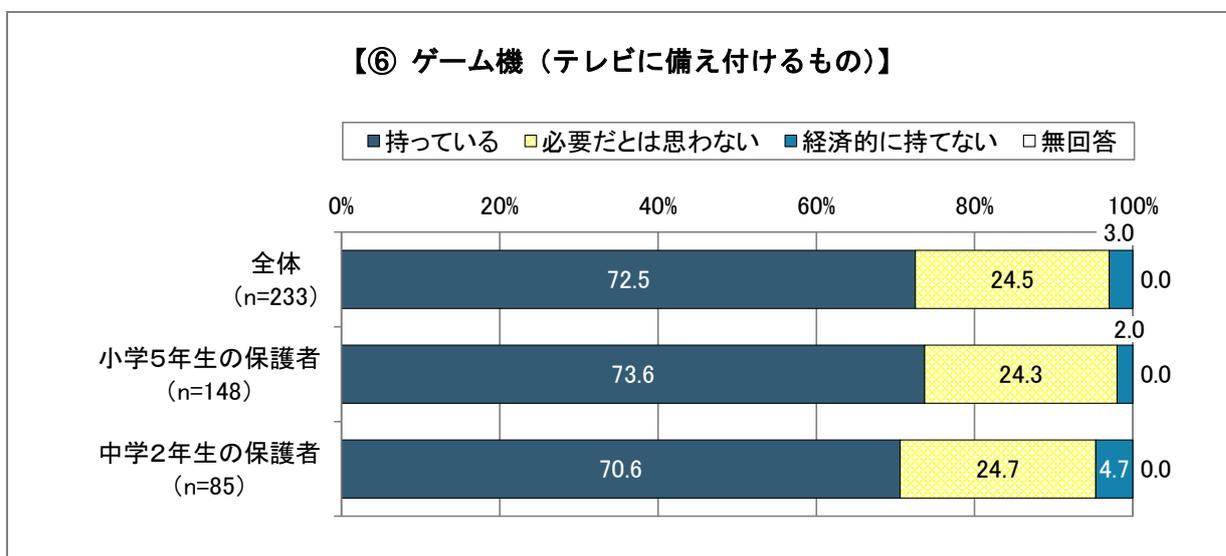
第2章 小学5年生・中学2年生の保護者



⑤スポーツ用品（グローブやサッカーボール等）は、「持っている」が80.3%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が15.9%、「経済的に持てない」が3.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が80.4%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が16.2%、「経済的に持てない」が3.4%となっている。

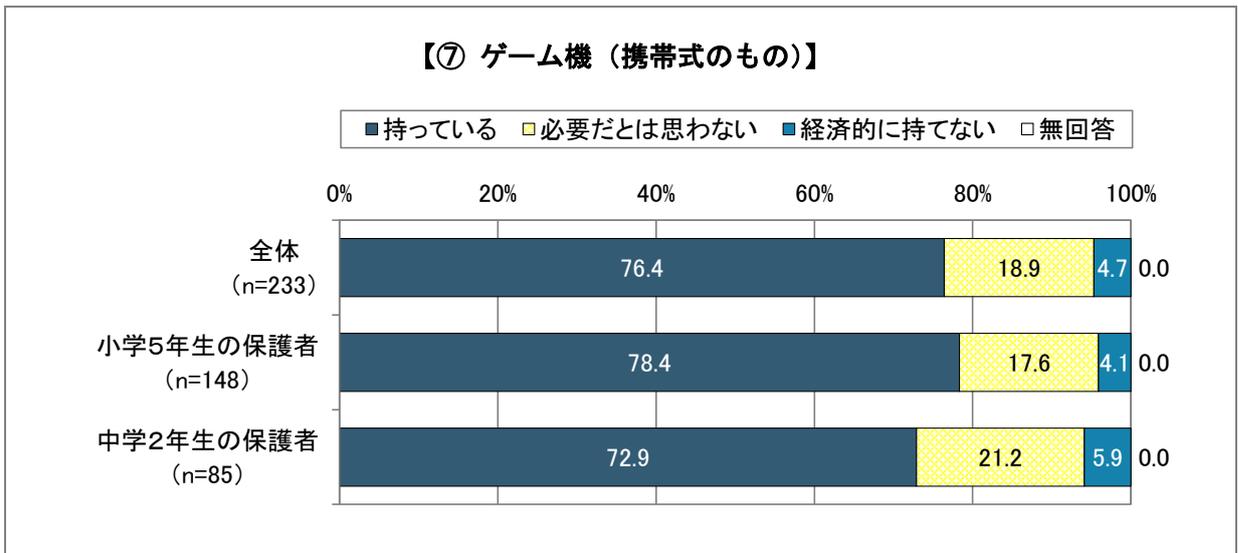
中学2年生の保護者では、「持っている」が80.0%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が15.3%、「経済的に持てない」が4.7%となっている。



⑥ゲーム機（テレビに備え付けるもの）は、「持っている」が72.5%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が24.5%、「経済的に持てない」が3.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が73.6%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が24.3%、「経済的に持てない」が2.0%となっている。

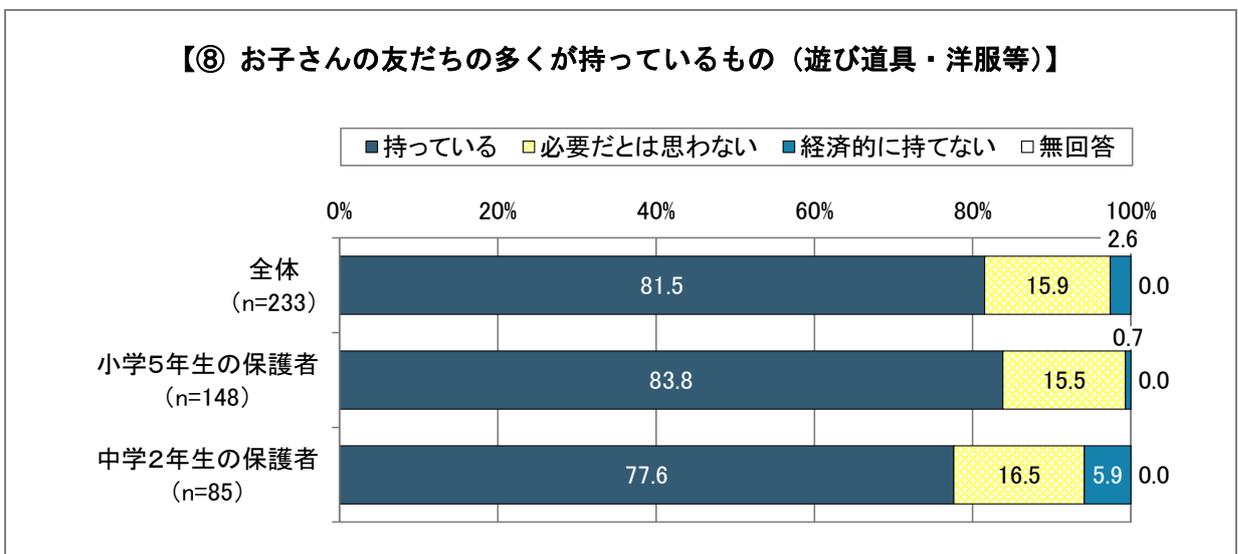
中学2年生の保護者では、「持っている」が70.6%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が24.7%、「経済的に持てない」が4.7%となっている。



⑦ゲーム機（携帯式のもの）は、「持っている」が76.4%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が18.9%、「経済的に持てない」が4.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が78.4%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が17.6%、「経済的に持てない」が4.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「持っている」が72.9%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が21.2%、「経済的に持てない」が5.9%となっている。

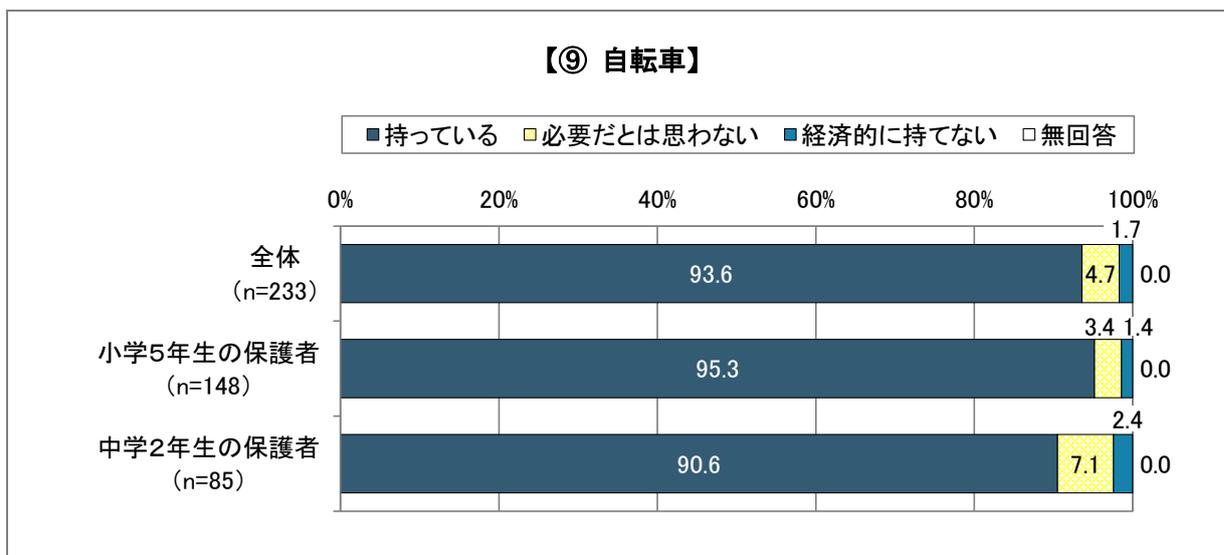


⑧お子さんの友だちの多くが持っているもの（遊び道具・洋服等）は、「持っている」が81.5%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が15.9%、「経済的に持てない」が2.6%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が83.8%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が15.5%、「経済的に持てない」が0.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「持っている」が77.6%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が16.5%、「経済的に持てない」が5.9%となっている。

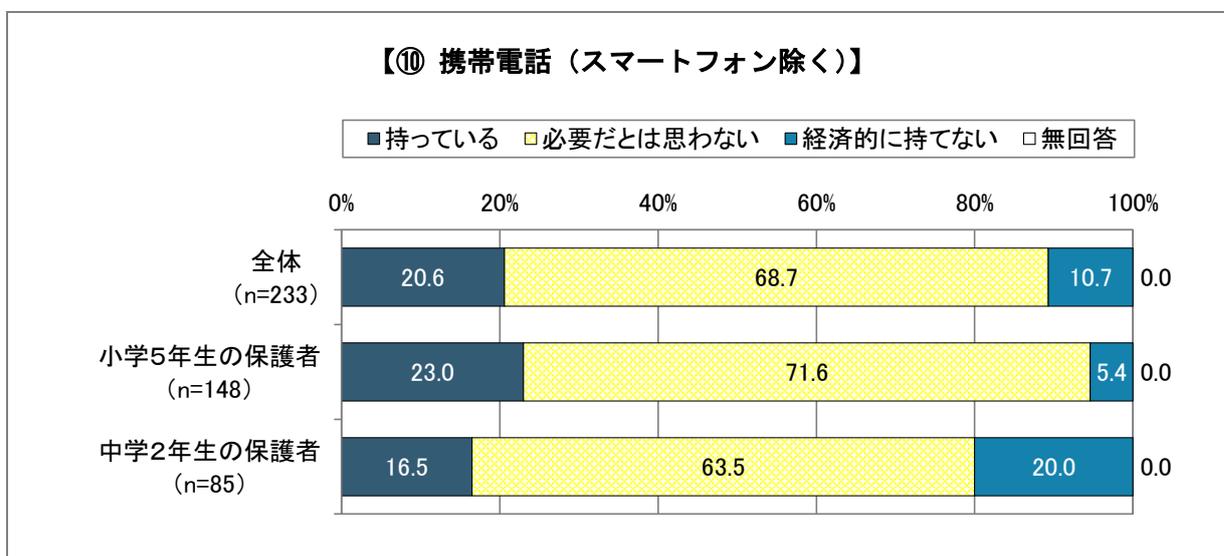
第2章 小学5年生・中学2年生の保護者



⑨自転車は、「持っている」が93.6%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が4.7%、「経済的に持てない」が1.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が95.3%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が3.4%、「経済的に持てない」が1.4%となっている。

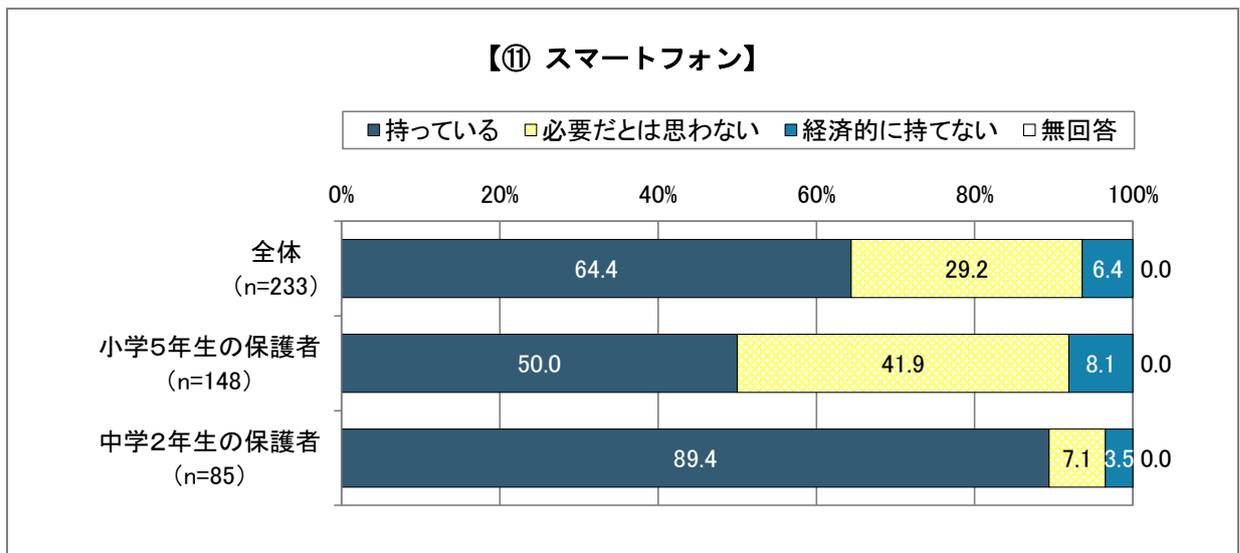
中学2年生の保護者では、「持っている」が90.6%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が7.1%、「経済的に持てない」が2.4%となっている。



⑩携帯電話（スマートフォン除く）は、「必要だとは思わない」が68.7%と最も高く、次いで「持っている」が20.6%、「経済的に持てない」が10.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「必要だとは思わない」が71.6%と最も高く、次いで「持っている」が23.0%、「経済的に持てない」が5.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「必要だとは思わない」が63.5%と最も高く、次いで「持っている」が16.5%、「経済的に持てない」が20.0%となっている。



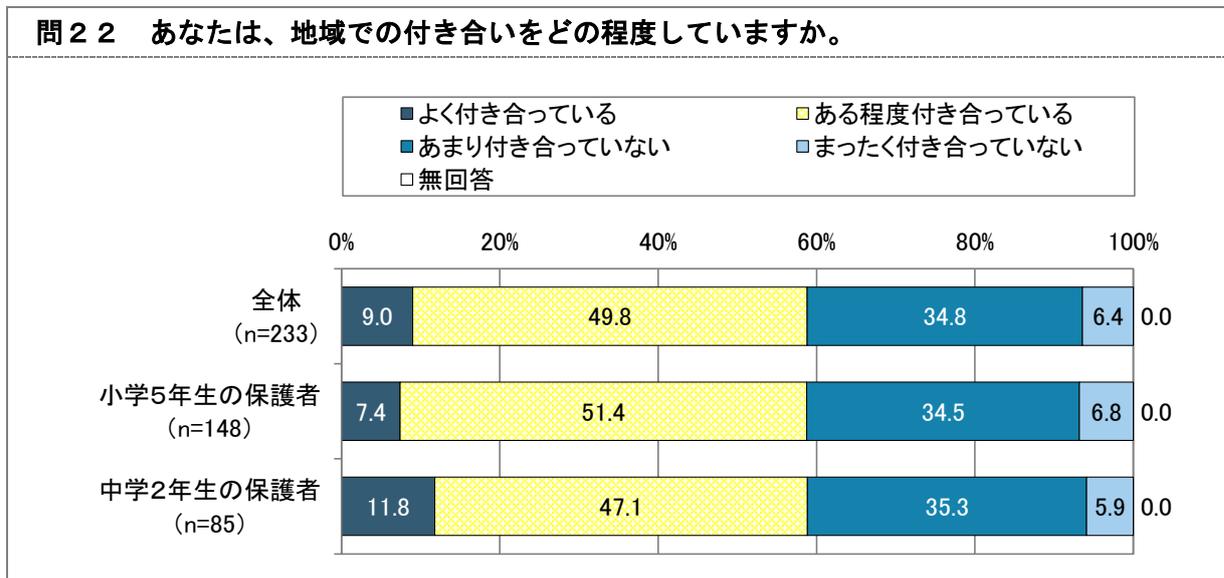
⑪スマートフォンは、「持っている」が64.4%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が29.2%、「経済的に持てない」が6.4%となっている。

小学5年生の保護者では、「持っている」が50.0%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が41.9%、「経済的に持てない」が8.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「持っている」が89.4%と最も高く、次いで「必要だとは思わない」が7.1%、「経済的に持てない」が3.5%となっている。

4. 家庭の状況などについて

(1) 地域付き合いの程度

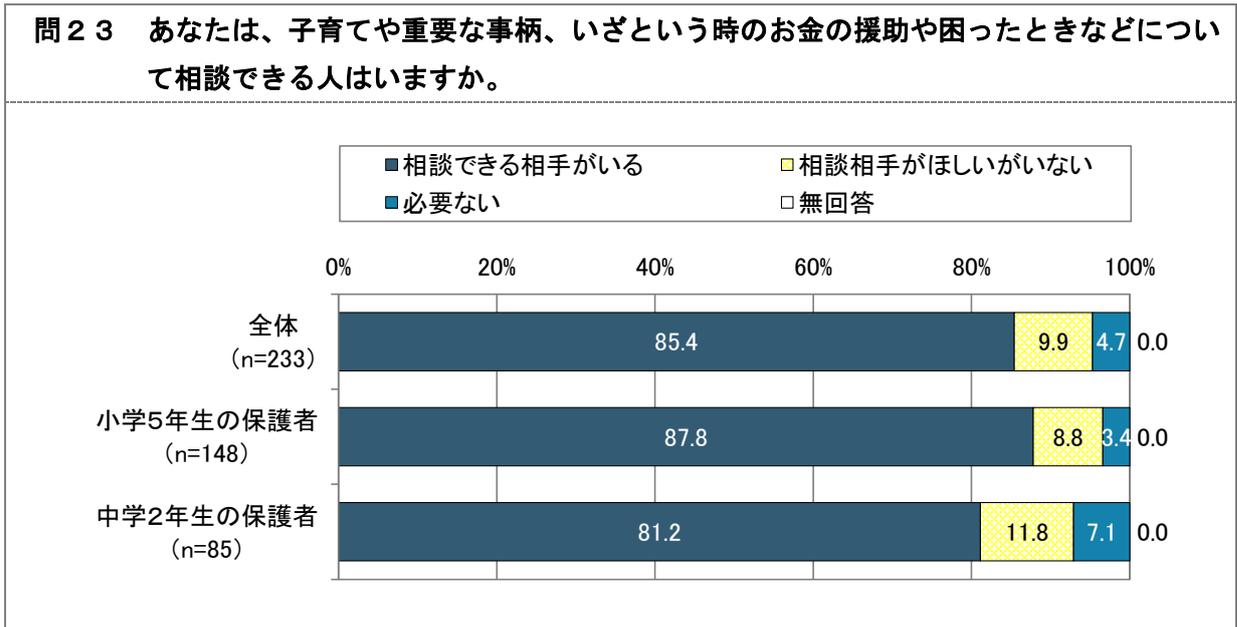


地域付き合いの程度は、「ある程度付き合っている」が49.8%と最も高く、次いで「あまり付き合っていない」が34.8%、「よく付き合っている」が9.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「ある程度付き合っている」が51.4%と最も高く、次いで「あまり付き合っていない」が34.5%、「よく付き合っている」が7.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「ある程度付き合っている」が47.1%と最も高く、次いで「あまり付き合っていない」が35.3%、「よく付き合っている」が11.8%となっている。

(2) 子育て等の相談先の有無



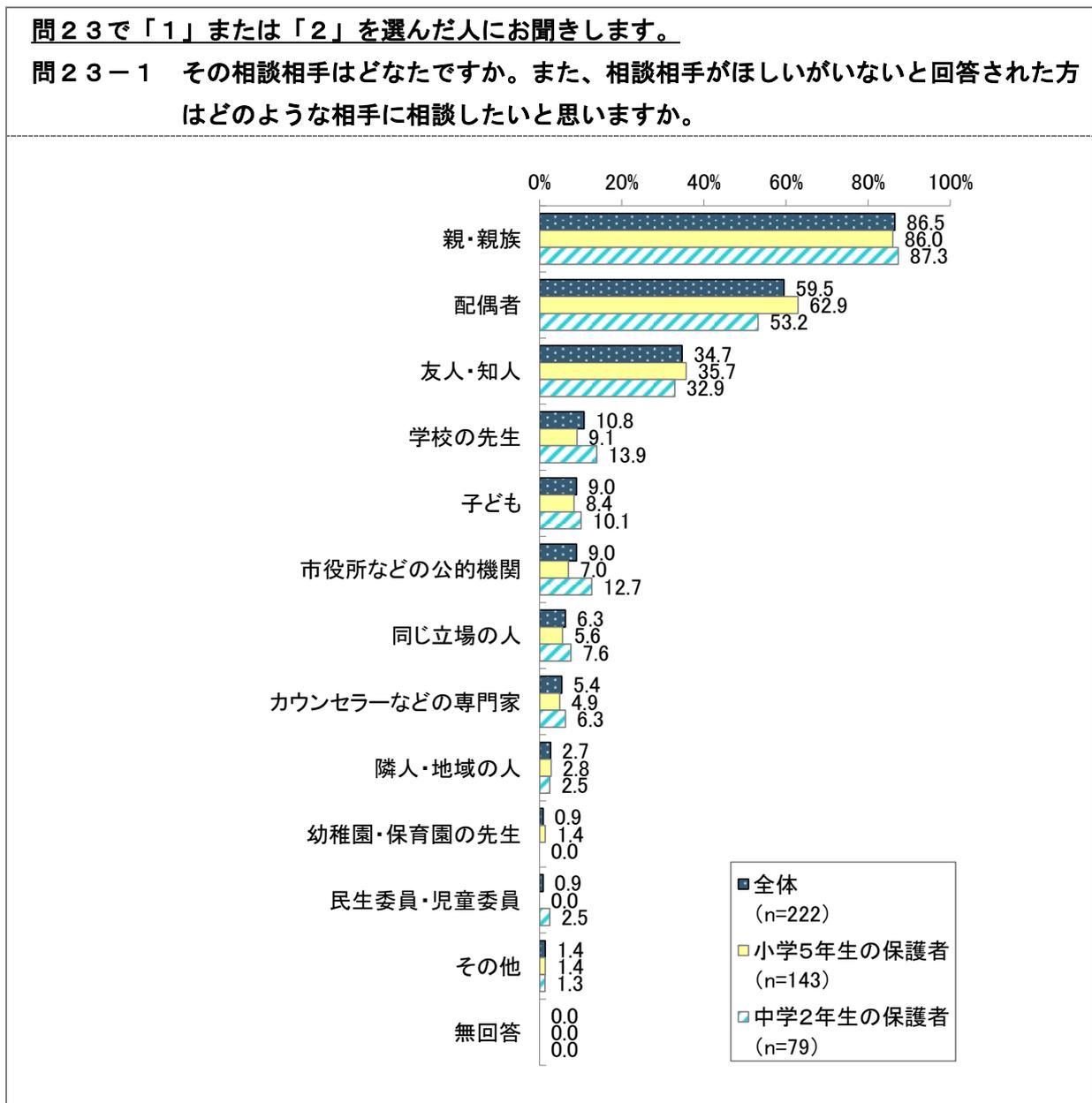
子育て等の相談先の有無は、「相談できる相手がいる」が85.4%と最も高く、次いで「相談相手がほしいがない」が9.9%、「必要ない」が4.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「相談できる相手がいる」が87.8%と最も高く、次いで「相談相手がほしいがない」が8.8%、「必要ない」が3.4%となっている。

中学2年生の保護者では、「相談できる相手がいる」が81.2%と最も高く、次いで「相談相手がほしいがない」が11.8%、「必要ない」が7.1%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(3) 子育て等の相談先

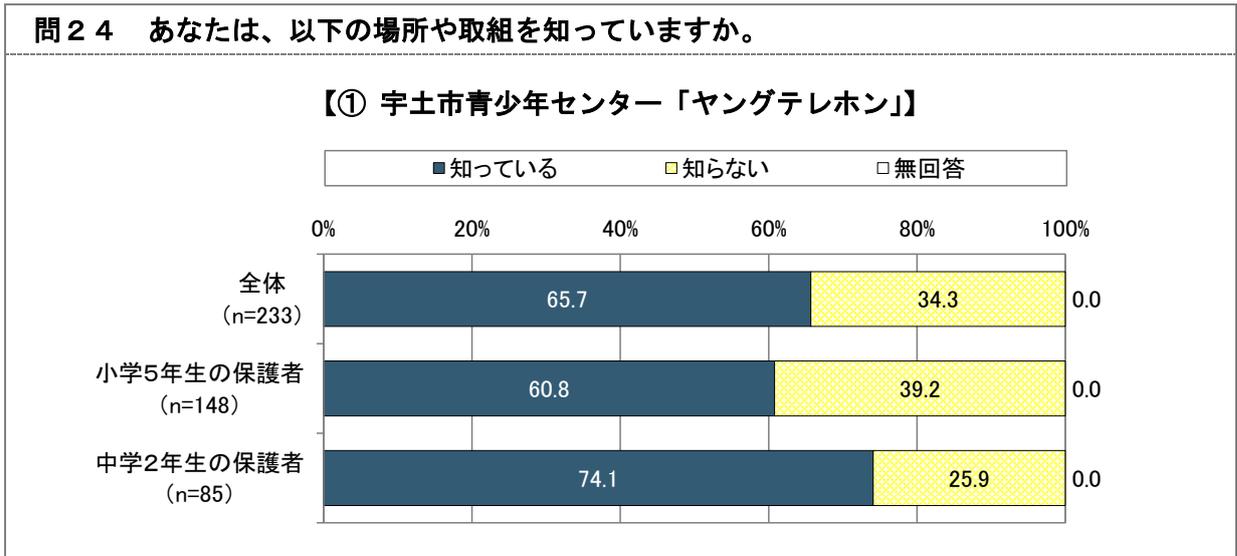


子育て等の相談先は、「親・親族」が86.5%と最も高く、次いで「配偶者」が59.5%、「友人・知人」が34.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「親・親族」が86.0%と最も高く、次いで「配偶者」が62.9%、「友人・知人」が35.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「親・親族」が87.3%と最も高く、次いで「配偶者」が53.2%、「友人・知人」が32.9%となっている。

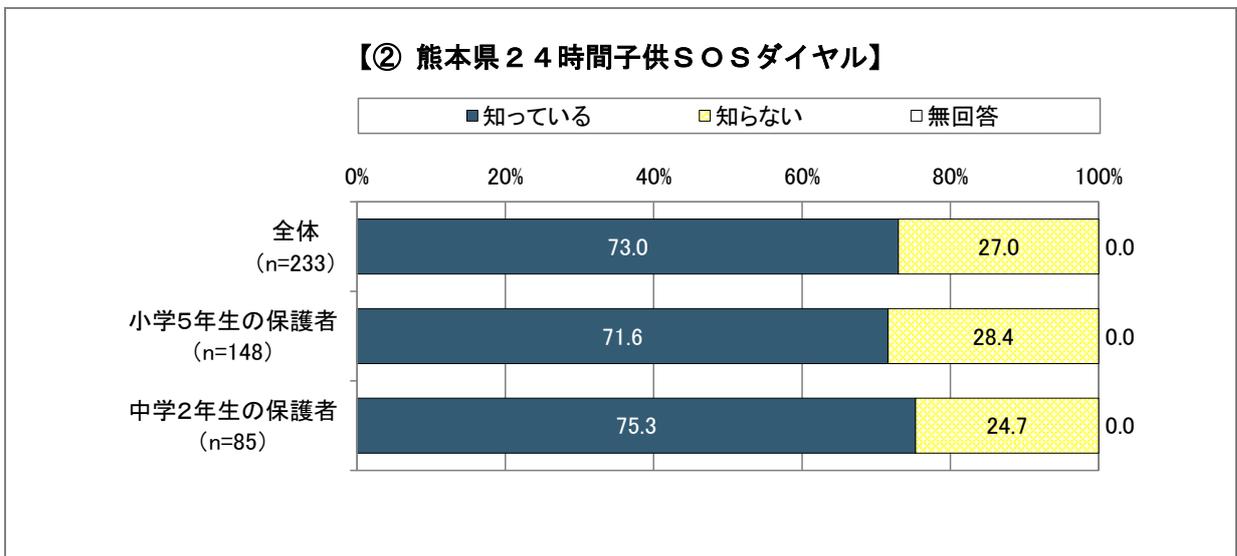
(4) 相談窓口や心を休める学校以外の教室の認知度



①宇土市青少年センター「ヤングテレホン」は、「知っている」が65.7%、「知らない」が34.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「知っている」が60.8%、「知らない」が39.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「知っている」が74.1%、「知らない」が25.9%となっている。

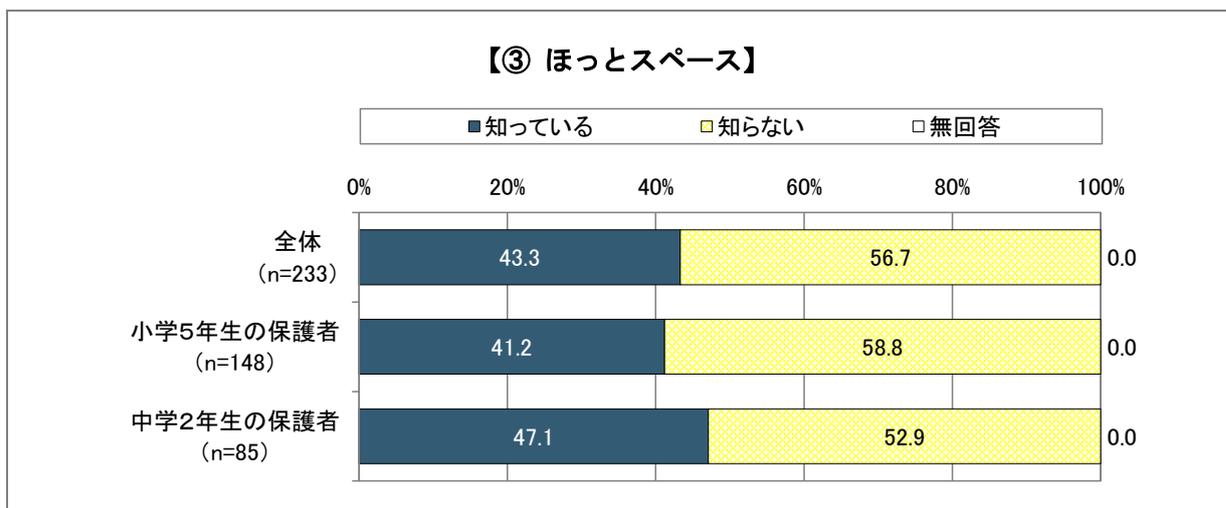


②熊本県24時間子供SOSダイヤルは、「知っている」が73.0%、「知らない」が27.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「知っている」が71.6%、「知らない」が28.4%となっている。

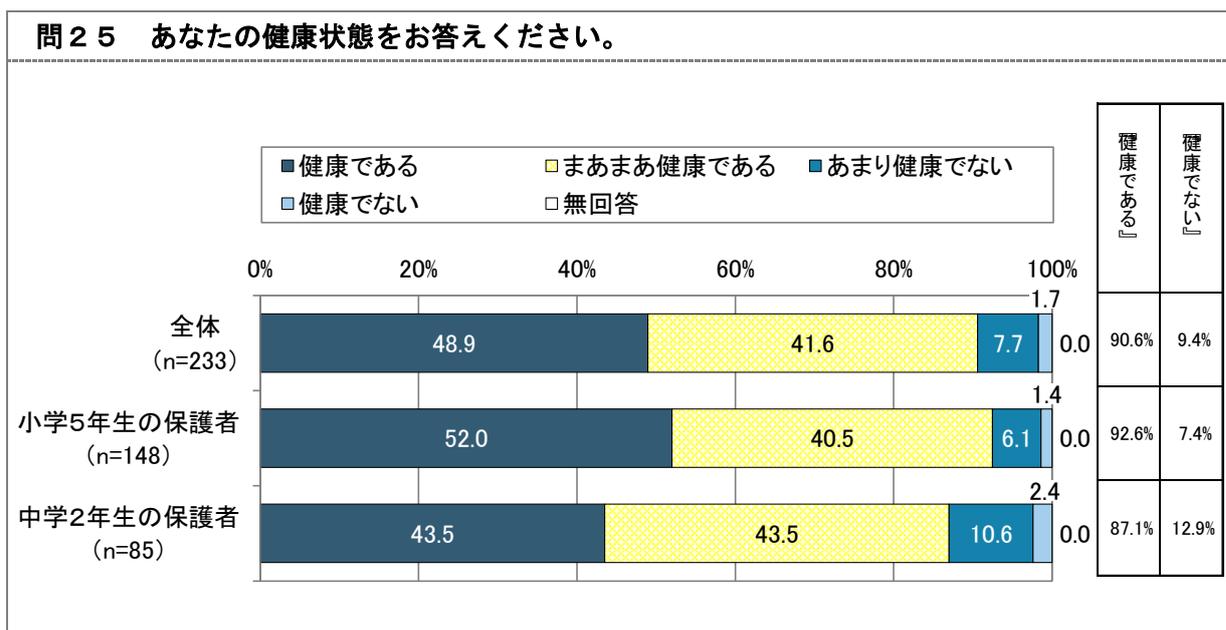
中学2年生の保護者では、「知っている」が75.3%、「知らない」が24.7%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者



③ ほっとスペースは、「知らない」が56.7%、「知っている」が43.3%となっている。
 小学5年生の保護者では、「知らない」が58.8%、「知っている」が41.2%となっている。
 中学2年生の保護者では、「知らない」が52.9%、「知っている」が47.1%となっている。

(5) 健康状態

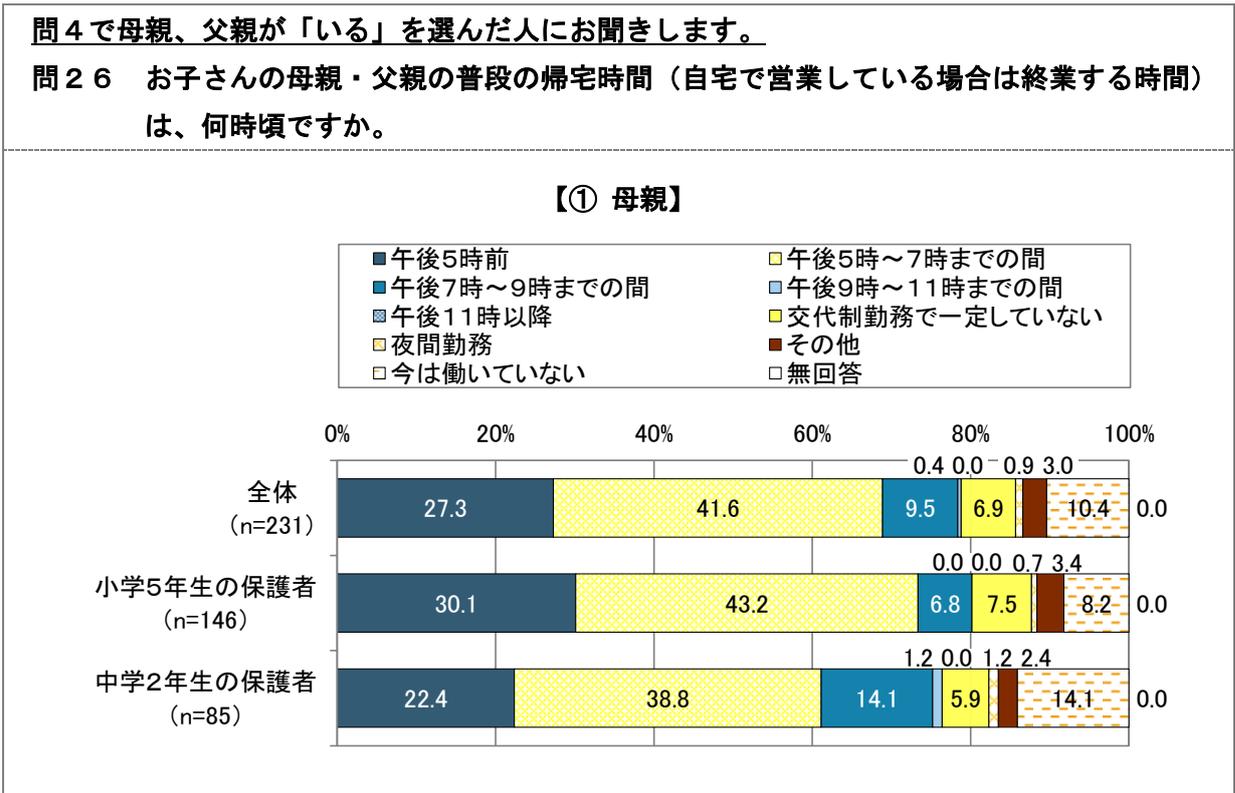


健康状態は、「健康である」が48.9%と最も高く、次いで「まあまあ健康である」が41.6%、「あまり健康でない」が7.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「健康である」が52.0%と最も高く、次いで「まあまあ健康である」が40.5%、「あまり健康でない」が6.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「健康である」「まあまあ健康である」がそれぞれ43.5%と最も高く、次いで「あまり健康でない」が10.6%、「健康でない」が2.4%となっている。

(6) 母親と父親の帰宅時間

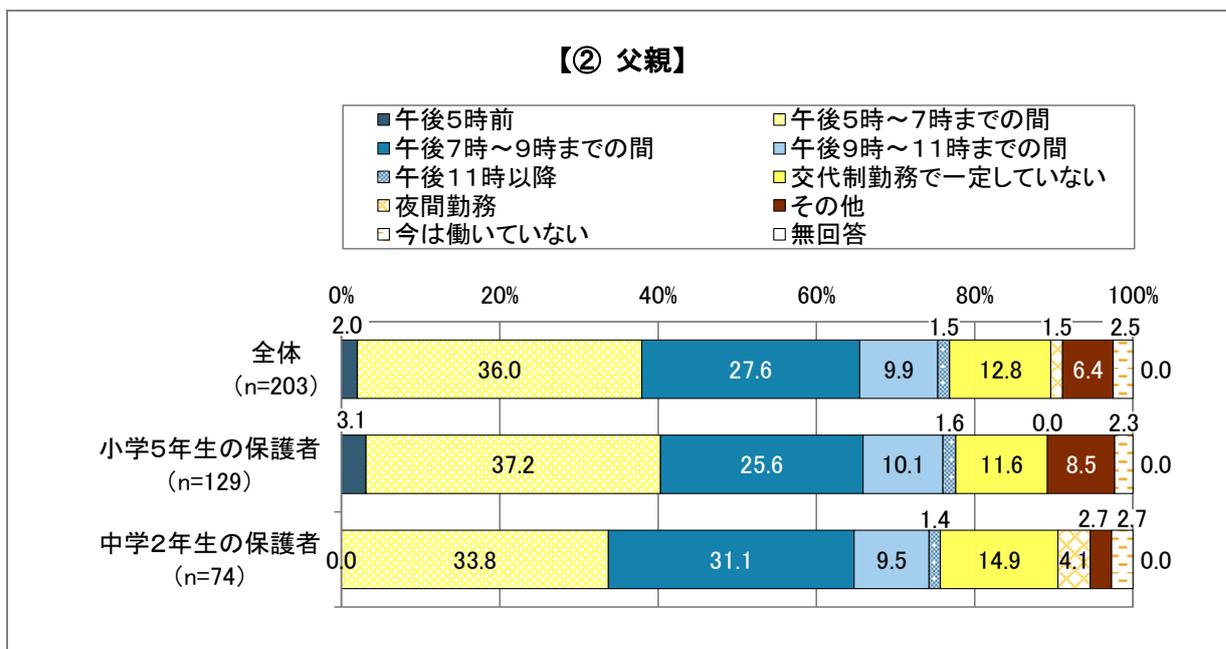


①母親の帰宅時間は、「午後5時～7時までの間」が41.6%と最も高く、次いで「午後5時前」が27.3%、「今は働いていない」が10.4%となっている。

小学5年生の保護者では、「午後5時～7時までの間」が43.2%と最も高く、次いで「午後5時前」が30.1%、「今は働いていない」が8.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「午後5時～7時までの間」が38.8%と最も高く、次いで「午後5時前」が22.4%、「午後7時～9時までの間」「今は働いていない」がそれぞれ14.1%となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

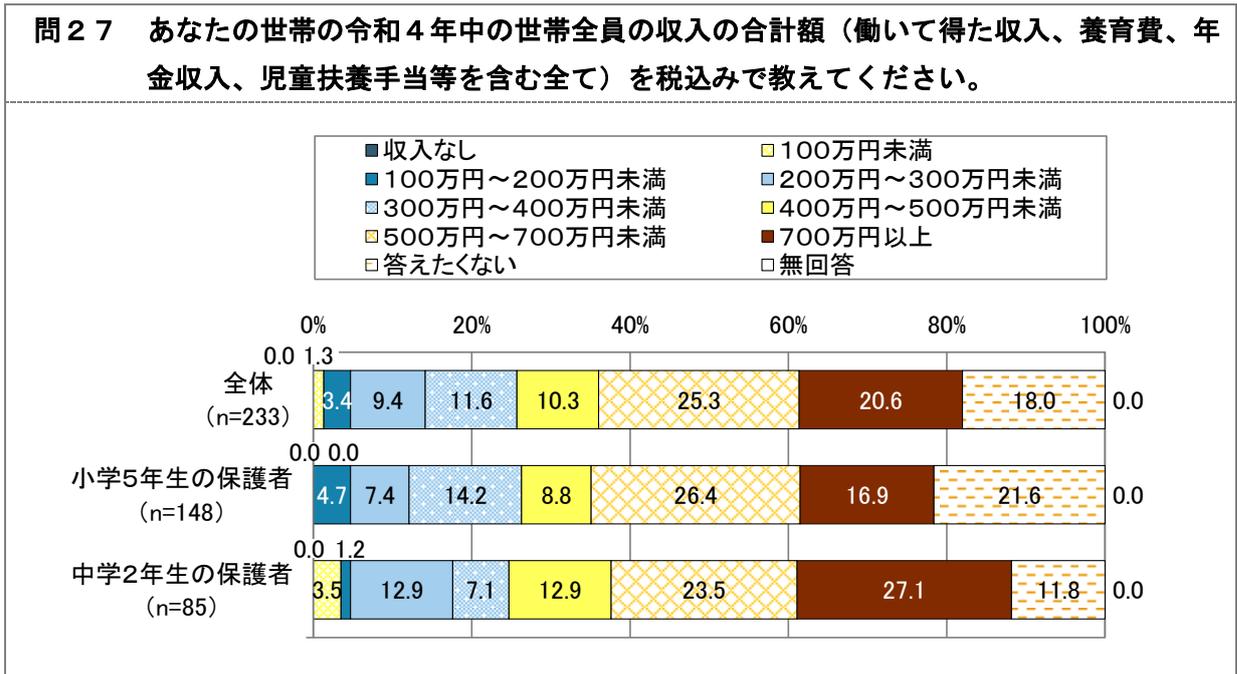


②父親の帰宅時間は、「午後5時～7時までの間」が36.0%と最も高く、次いで「午後7時～9時までの間」が27.6%、「交代制勤務で一定していない」が12.8%となっている。

小学5年生の保護者では、「午後5時～7時までの間」が37.2%と最も高く、次いで「午後7時～9時までの間」が25.6%、「交代制勤務で一定していない」が11.6%となっている。

中学2年生の保護者では、「午後5時～7時までの間」が33.8%と最も高く、次いで「午後7時～9時までの間」が31.1%、「交代制勤務で一定していない」が14.9%となっている。

(7) 世帯全員の収入合計額

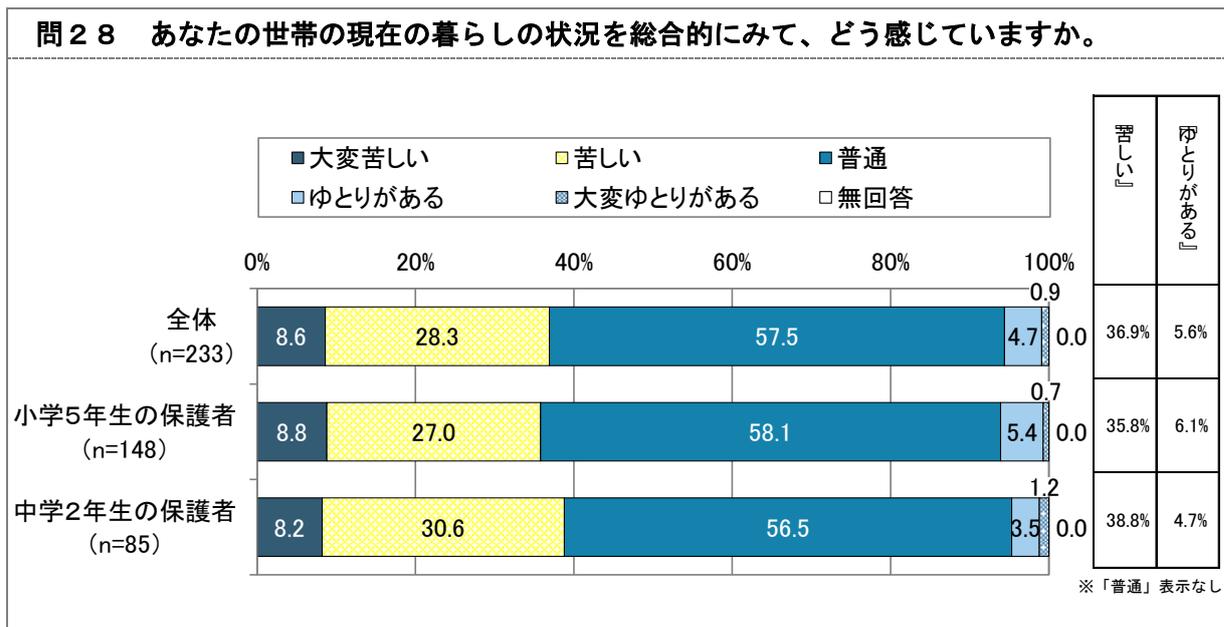


世帯全員の収入合計額は、「500万円～700万円未満」が25.3%と最も高く、次いで「700万円以上」が20.6%、「答えたくない」が18.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「500万円～700万円未満」が26.4%と最も高く、次いで「答えたくない」が21.6%、「700万円以上」が16.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「700万円以上」が27.1%と最も高く、次いで「500万円～700万円未満」が23.5%、「200万円～300万円未満」「400万円～500万円未満」がそれぞれ12.9%となっている。

(8) 暮らしの状況

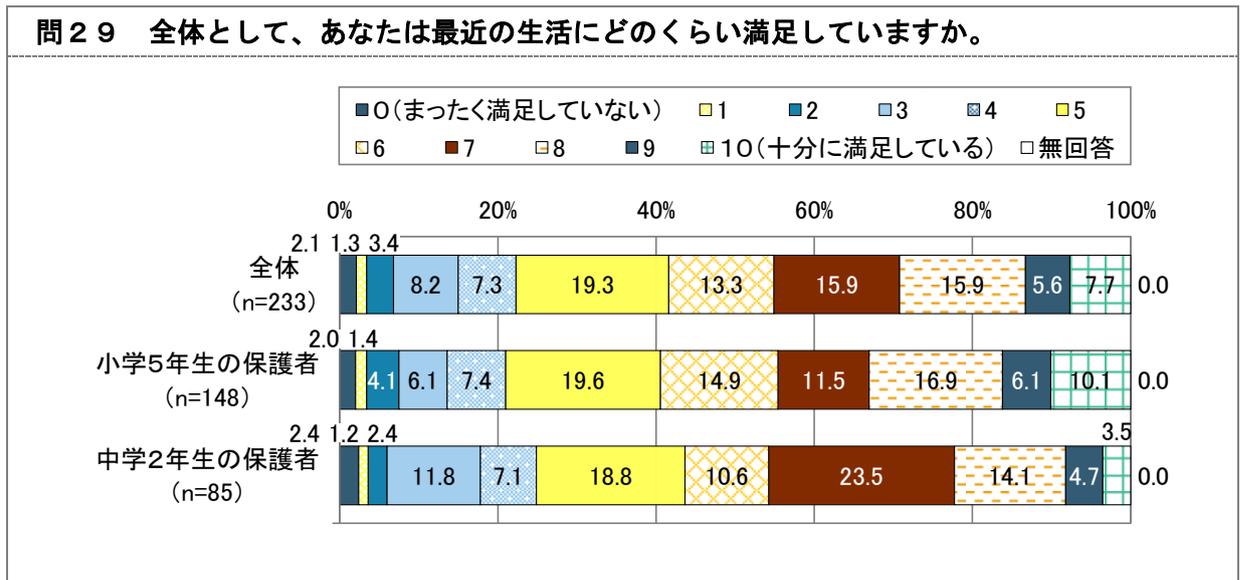


暮らしの状況は、「普通」が57.5%と最も高く、次いで「苦しい」が28.3%、「大変苦しい」が8.6%となっている。

小学5年生の保護者では、「普通」が58.1%と最も高く、次いで「苦しい」が27.0%、「大変苦しい」が8.8%となっている。

中学2年生の保護者では、「普通」が56.5%と最も高く、次いで「苦しい」が30.6%、「大変苦しい」が8.2%となっている。

(9) 生活の満足度



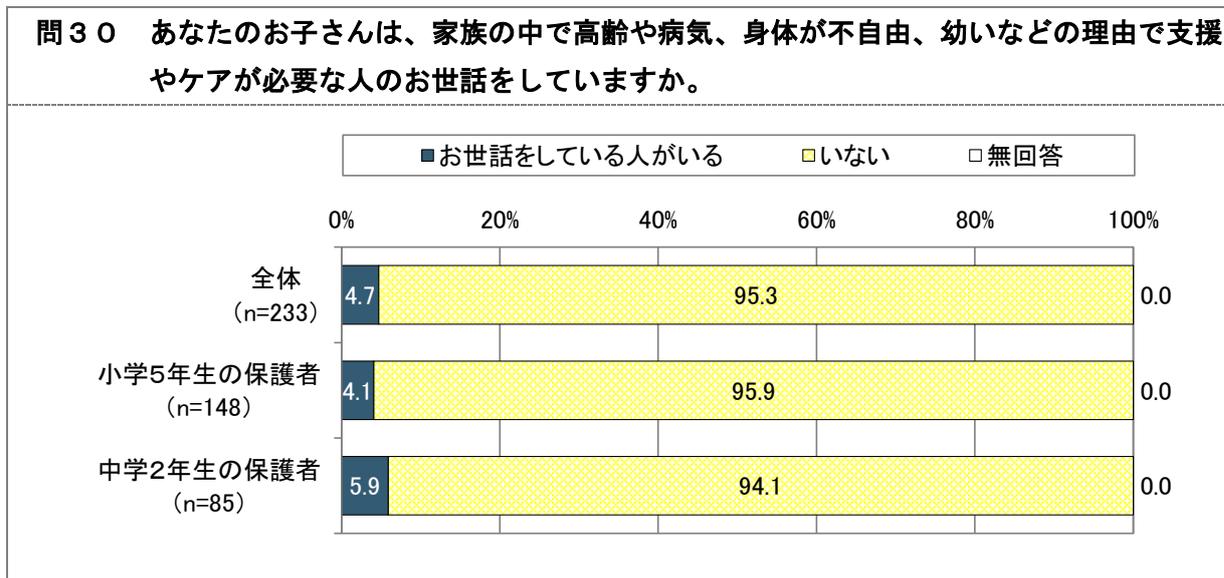
生活の満足度は、「5」が19.3%と最も高く、次いで「7」「8」がそれぞれ15.9%、「6」が13.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「5」が19.6%と最も高く、次いで「8」が16.9%、「6」が14.9%となっている。

中学2年生の保護者では、「7」が23.5%と最も高く、次いで「5」が18.8%、「8」が14.1%となっている。

5. 子どもの家族のお世話の状況について

(1) 子どもが家族の中でお世話をしている人がいるか

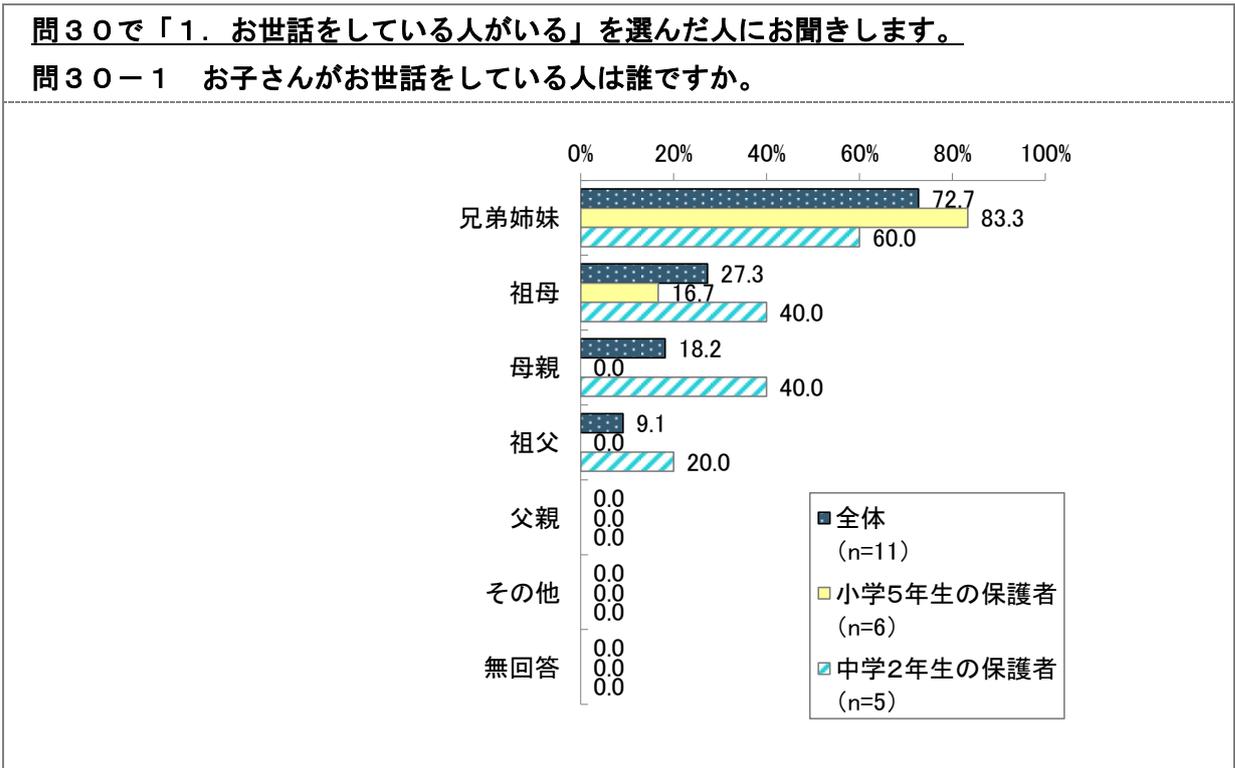


家族の中でお世話をしている人がいるかは、「いない」が 95.3%、「お世話をしている人がいる」が 4.7%となっている。

小学5年生の保護者では、「いない」が 95.9%、「お世話をしている人がいる」が 4.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「いない」が 94.1%、「お世話をしている人がいる」が 5.9%となっている。

(2) 子どもがお世話をしている人の種類

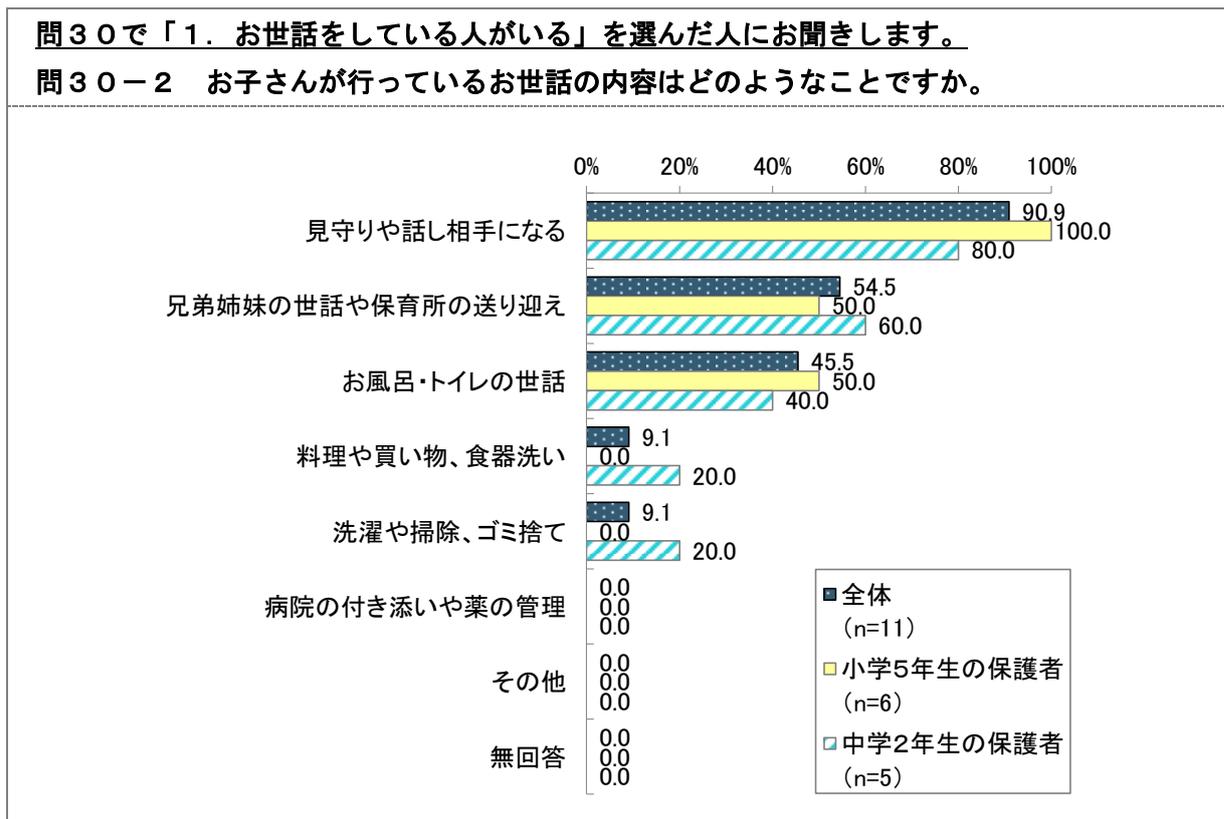


お世話をしている人の種類は、「兄弟姉妹」が72.7%と最も高く、次いで「祖母」が27.3%、「母親」が18.2%となっている。

小学5年生の保護者では、「兄弟姉妹」が83.3%と最も高く、次いで「祖母」が16.7%となっている。

中学2年生の保護者では、「兄弟姉妹」が60.0%と最も高く、次いで「祖母」「母親」がそれぞれ40.0%、「祖父」が20.0%となっている。

(3) 子どもが行っているお世話の内容

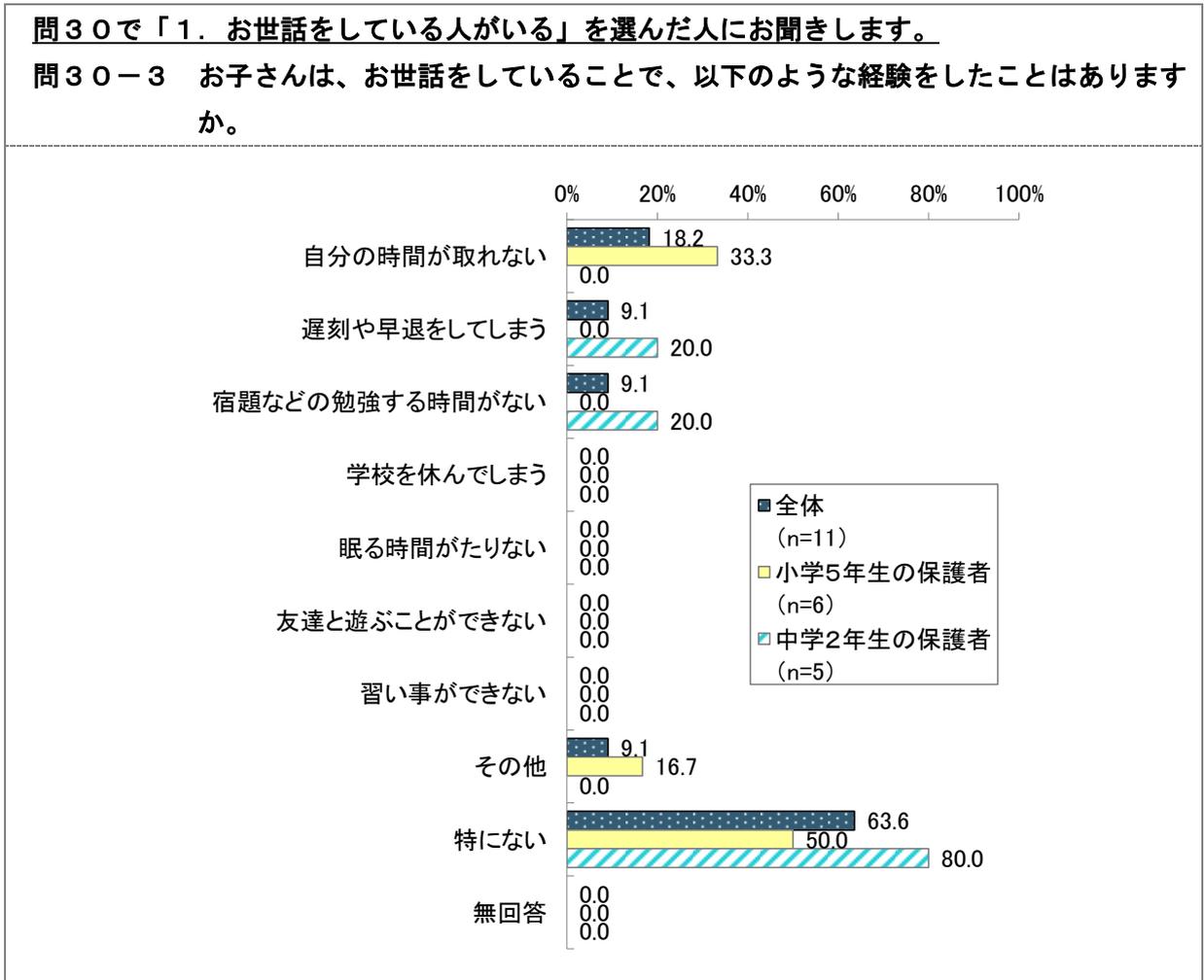


お世話の内容は、「見守りや話し相手になる」が90.9%と最も高く、次いで「兄弟姉妹の世話や保育所の送り迎え」が54.5%、「お風呂・トイレの世話」が45.5%となっている。

小学5年生の保護者では、「見守りや話し相手になる」が100.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹の世話や保育所の送り迎え」「お風呂・トイレの世話」がそれぞれ50.0%となっている。

中学2年生の保護者では、「見守りや話し相手になる」が80.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹の世話や保育所の送り迎え」が60.0%、「お風呂・トイレの世話」が40.0%となっている。

(4) 子どもがお世話をしているなかで経験したこと



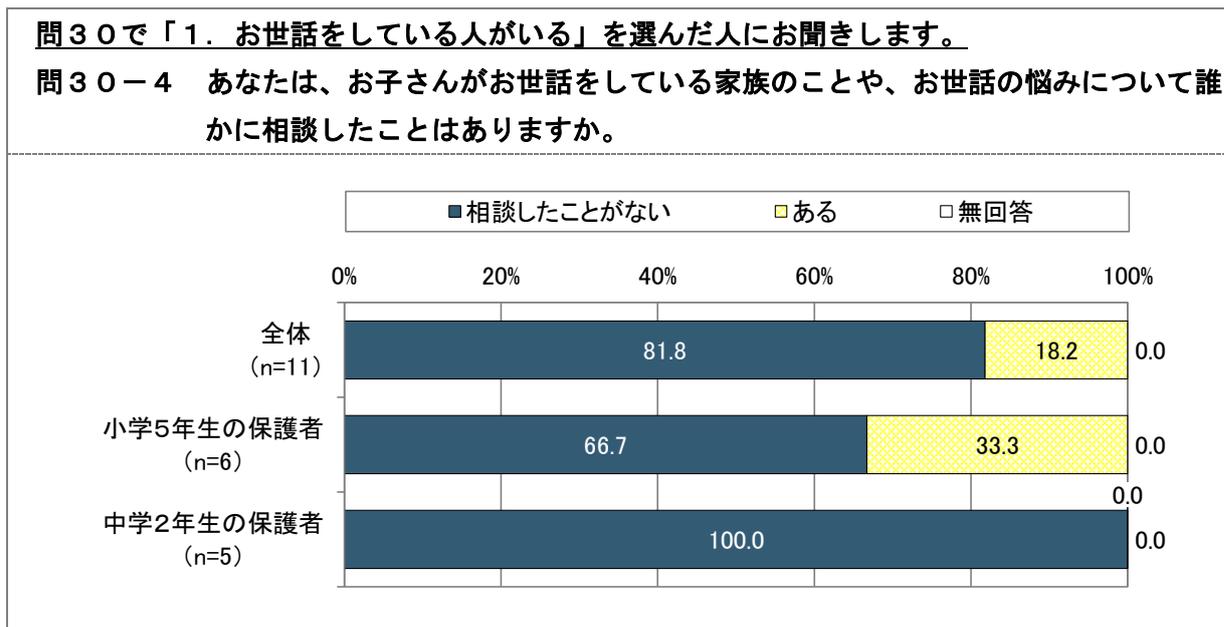
お世話をしているなかで経験したことは、「特にない」を除くと、「自分の時間が取れない」が18.2%と最も高く、次いで「遅刻や早退をしてしまう」「宿題などの勉強する時間がない」がそれぞれ9.1%となっている。

小学5年生の保護者では、「特にない」を除くと、「自分の時間が取れない」が33.3%と最も高くなっている。

中学2年生の保護者では、「特にない」を除くと、「遅刻や早退をしてしまう」「宿題などの勉強する時間がない」がそれぞれ20.0%と最も高くなっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(5) 子どもがお世話をしている家族のことや悩みについての相談経験の有無

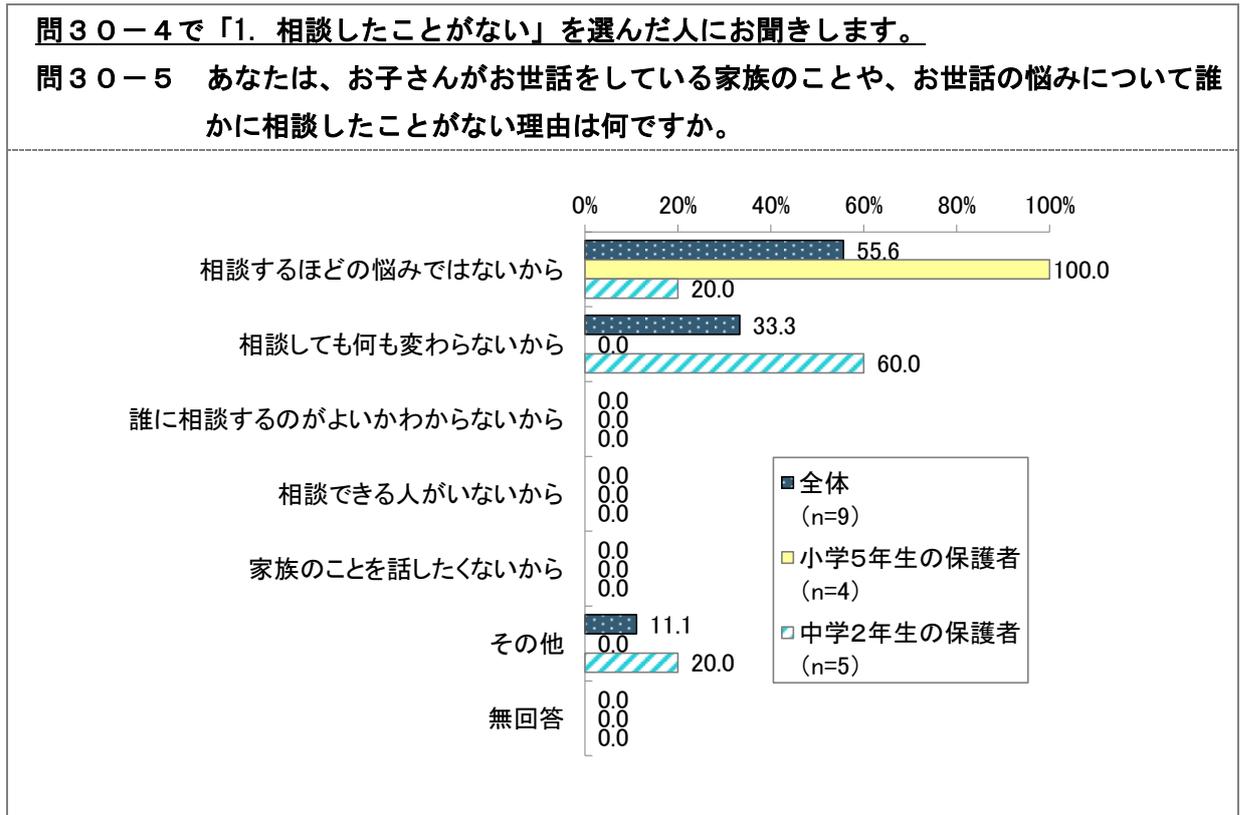


子どもがお世話をしている家族のことや悩みについての相談経験の有無は、「相談したことがない」が81.8%、「ある」が18.2%となっている。

小学5年生の保護者では、「相談したことがない」が66.7%、「ある」が33.3%となっている。

中学2年生の保護者では、「相談したことがない」が100.0%となっている。

(6) 子どもがお世話をしている家族のことや悩みについて相談したことがない理由

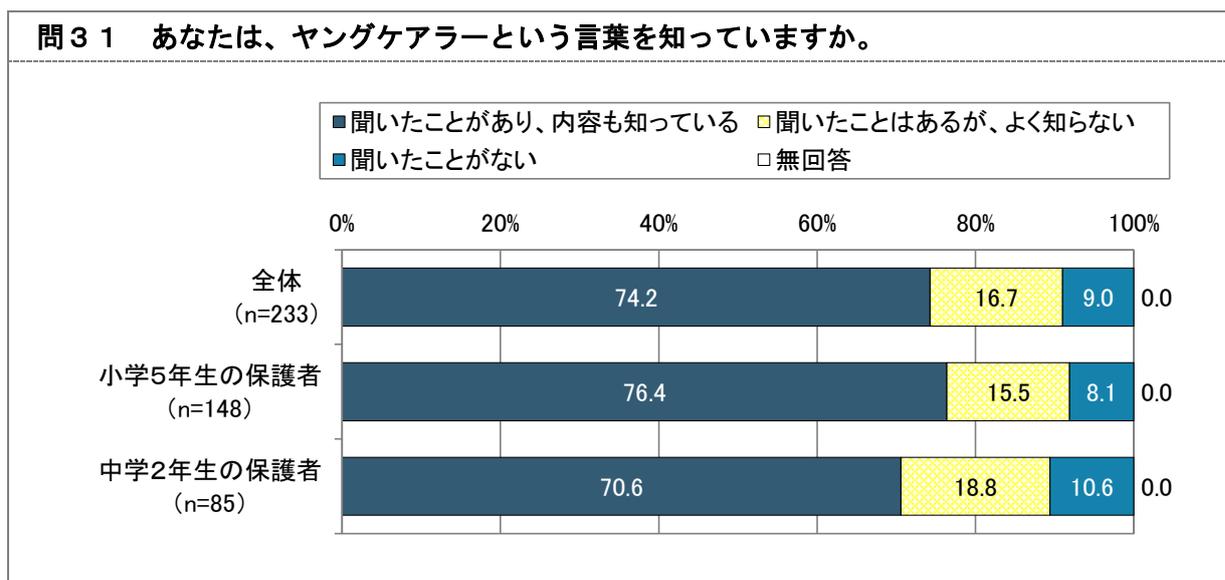


子どもがお世話をしている家族のことや悩みについて相談したことがない理由は、「相談するほどの悩みではないから」が55.6%と最も高く、次いで「相談しても何も変わらないから」が33.3%となっている。

小学5年生の保護者では、「相談するほどの悩みではないから」が100.0%と最も高くなっている。

中学2年生の保護者では、「相談しても何も変わらないから」が60.0%と最も高く、次いで「相談するほどの悩みではないから」が20.0%となっている。

(7) ヤングケアラーの概念の認識



ヤングケアラーの概念の認識は、「聞いたことがあります、内容も知っている」が74.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.7%、「聞いたことがない」が9.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「聞いたことがあります、内容も知っている」が76.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が15.5%、「聞いたことがない」が8.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「聞いたことがあります、内容も知っている」が70.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が18.8%、「聞いたことがない」が10.6%となっている。

6. 宇土市のことについて

(1) 宇土市のいいと思うところ（自由記述）

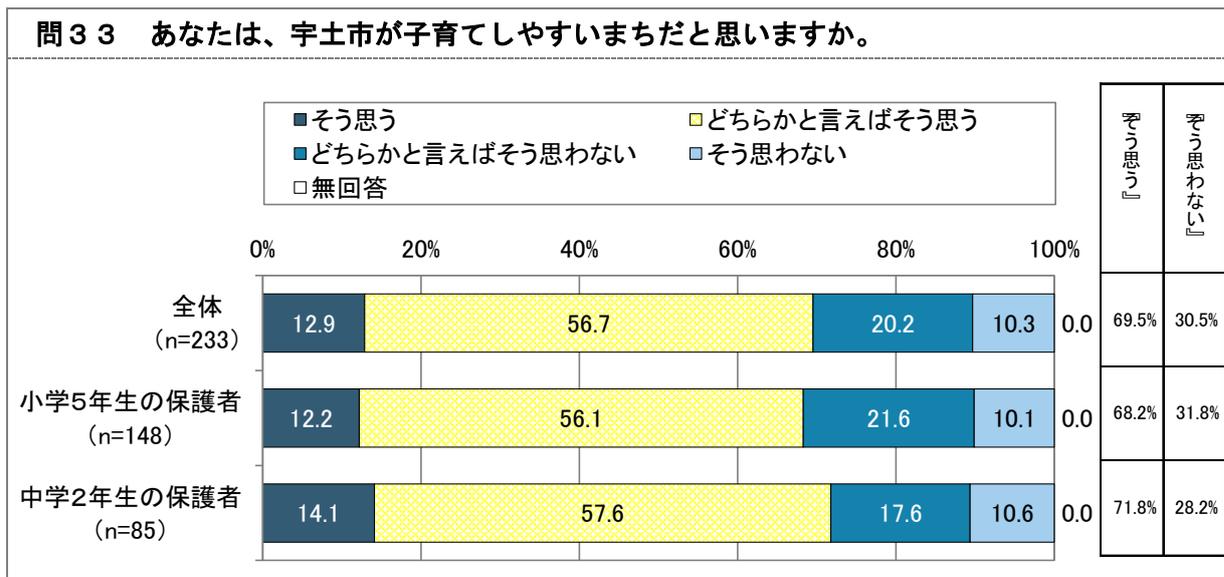
問32 宇土市のいいところは何だと思えますか。

宇土市のいいと思うところ	件数
自然・景観（自然が豊か、海・山・川がある）	51件
交通アクセス（熊本の中心で移動やすい、熊本市に近い等）	40件
住みやすい・暮らしやすい（静か、のどか、利便性が良い等）	33件
子ども医療費助成制度	28件
生活に必要なものは近場で揃う（買い物が便利、商業施設、公共施設の充実）	24件
ほどよい田舎（田舎すぎず、都会すぎず）	15件
子育て環境（支援や施設の充実、遊べる公園がある、子育てしやすい）	16件
行政支援や取り組み（物価高騰対策商品券、「行長しゃん」等）	11件
地域での活動、住民とのつながりや交流（伝統行事（祭り）、交流の場）	10件
名所・歴史（轟水源、文化財等）	8件
食べ物がおいしい（海苔、野菜や果物）	7件
人柄（優しい、親切等）	6件
市としてのサイズ感がちょうどいい（大きすぎず小さすぎない、良い意味で狭い）	4件
スポーツが盛ん	4件
学校（宇土中学校があること、学校にエレベーターが設置されている）	3件

宇土市のいいと思うところは、「自然・景観」が51件と最も多く、次いで「交通アクセス」が40件、「住みやすい・暮らしやすい」が33件となっている。

第2章 小学5年生・中学2年生の保護者

(2) 子育てしやすいまちだと思うか

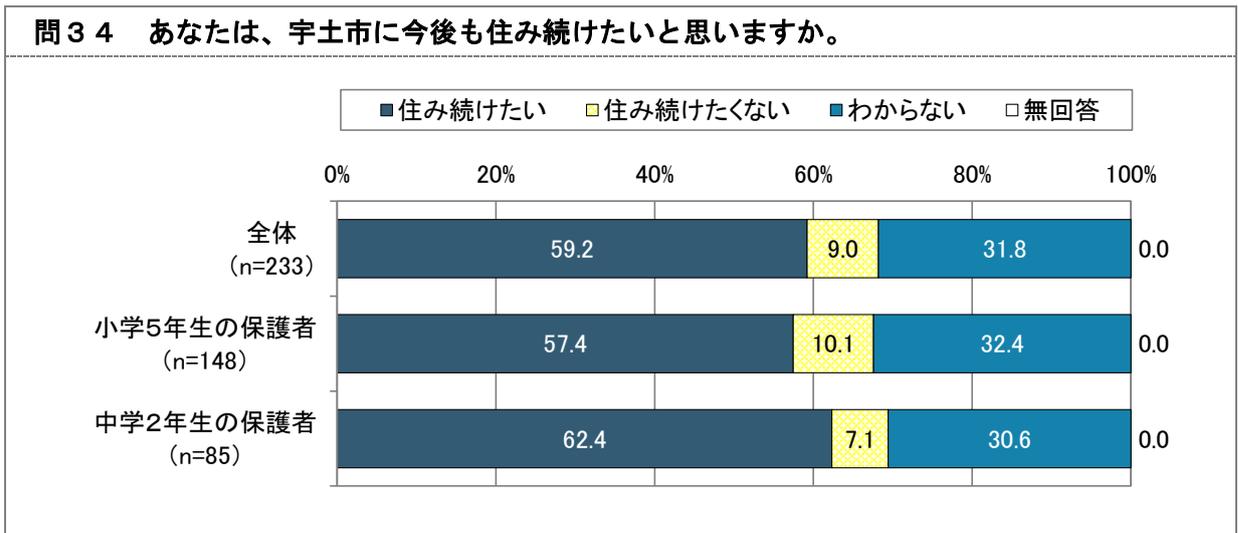


子育てしやすいまちだと思うかは、「どちらかと言えばそう思う」が56.7%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が20.2%、「そう思う」が12.9%となっている。

小学5年生の保護者では、「どちらかと言えばそう思う」が56.1%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が21.6%、「そう思う」が12.2%となっている。

中学2年生の保護者では、「どちらかと言えばそう思う」が57.6%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が17.6%、「そう思う」が14.1%となっている。

(3) 宇土市に今後も住みたいと思うか



宇土市に今後も住みたいと思うかは、「住みたい」が59.2%と最も高く、次いで「わからない」が31.8%、「住みたくない」が9.0%となっている。

小学5年生の保護者では、「住みたい」が57.4%と最も高く、次いで「わからない」が32.4%、「住みたくない」が10.1%となっている。

中学2年生の保護者では、「住みたい」が62.4%と最も高く、次いで「わからない」が30.6%、「住みたくない」が7.1%となっている。

(4) 毎日の生活や学校について感じていること（自由記述）

問35 最後に、宇土市での子育て環境について感じていることなどご意見があれば、ご自由にご記入ください。

主な内容は、下記のとおりである。

【図書館の整備】

- ・図書館など文化施設や体験型の学びの機会があればうれしい。
- ・図書館がもっと明るく広いものであればと思います。
- ・大きな図書館付属で子どもメインのイベントや気軽に一般のワークショップが開けそうな施設があったら憧れます。

等

【公園の充実】

- ・緑の多い公園が少ない、子どもが遊ぶ場所が確保出来ていないと感じます。
- ・子どもが遊べる安全で環境の良い公園が少ない。

等

【道路交通環境整備】

- ・通学路に街灯が少ない所がある。
- ・子どもは自転車通学をしているが、ガードレールのない道路や狭い道が多い上に、そんな所でもスピードを出すドライバーが多く、ヒヤリとする事があるらしく、事故があつてからでは遅いので、ガードレールの設置や自転車専用道路、バス通学などできればいいと思う。
- ・交通整備がされてなくてどこも渋滞していて、通勤に時間がかかりすぎるため、きちんと道路工事をして渋滞緩和してほしいです。

等

【給食費無償化】

- ・給食費など子どもに関する助成をふやしていただきたい。
- ・給食費の援助があると助かる。

等

【子どもの遊び場、居場所づくり】

- ・小学生までは児童センターのような居場所がありますが、中学生からは子どもが集まる場所がありません。部活動もなくなっていくので、活動の場や同世代の子どもたちが気軽に集まれるような場所があると安心できます。
- ・日曜日は児童センターや、駄菓子屋さんがお休みなので子どもが遊べる場所がもっとあるといい。寒い日や、雨の日など遊ぶところがない。宇土シティは子どもだけでは行ったらいけないと学校の決まりでダメなので本当遊ぶところが少ないです。
- ・学校に行きたくても行けない子や、自宅に居たくない子が自由に学習したり出来るようなオープンな場所があったら大人も子どもも居場所があると安心感がある。

等

【その他の意見】

- ・共働き世帯が多く核家族の子育て支援。
- ・高齢者優位で、子育て世代への政策が他の地域よりはるかに遅い。
- ・低所得家庭、片親、多子家庭等関係なく、減免や助成の幅を広げてほしい。
- ・学校教育費（学校で使う学用品、ドリル、テストなど購入物が多すぎる、制服費用を補助して欲しい、義務教育期間の教材等、制服、体操服等も支給等）
- ・地域環境（地域と学校との行事が多い、窮屈なところがある。封建的、男尊女卑、古風、家長制度がまだまだ感じられる、新しい人を受け入れる感じがしない等）

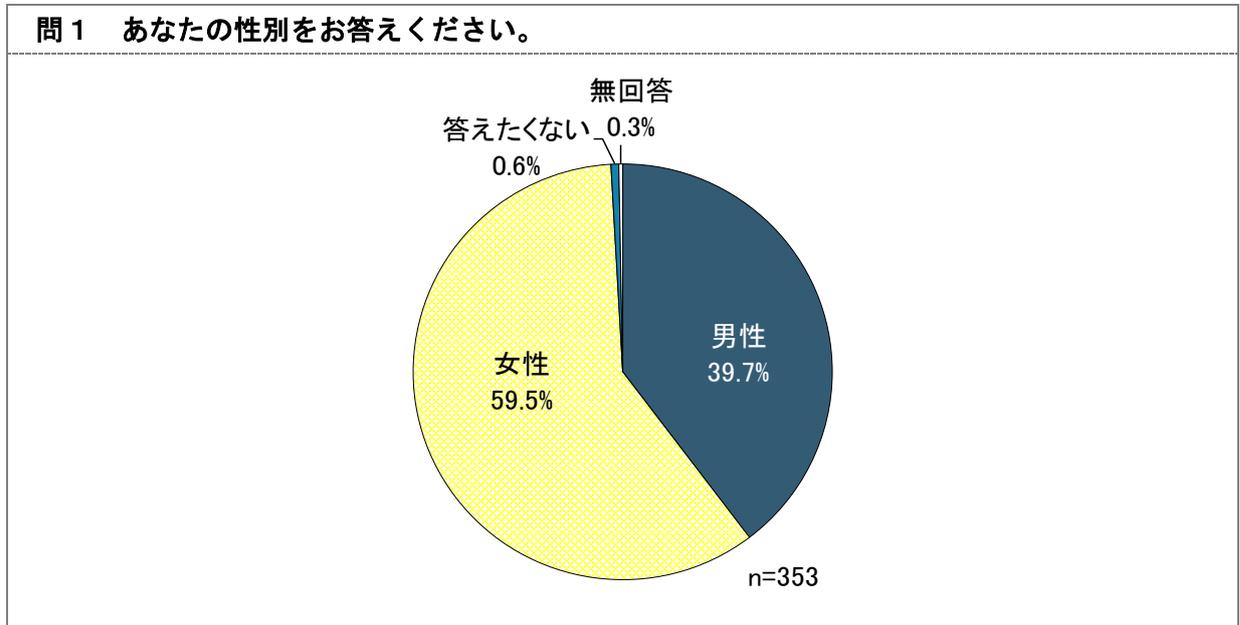
等

第3章 こども・若者(18～39歳)

I こども・若者（18～39歳）の調査結果

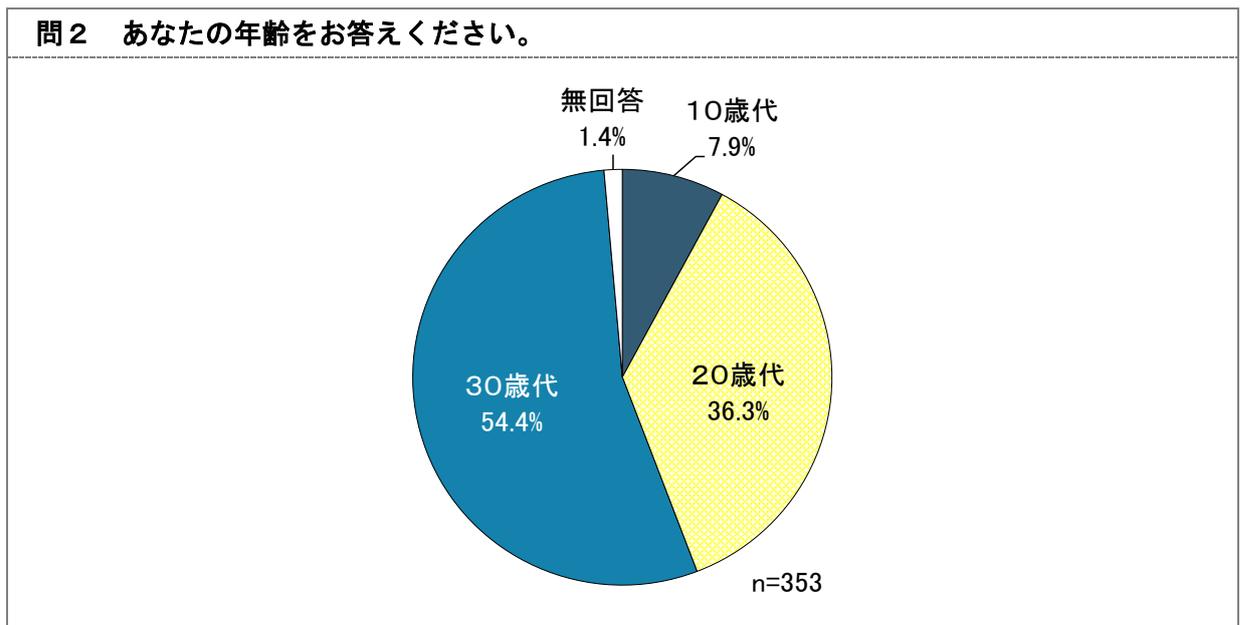
1. 属性

(1) 性別



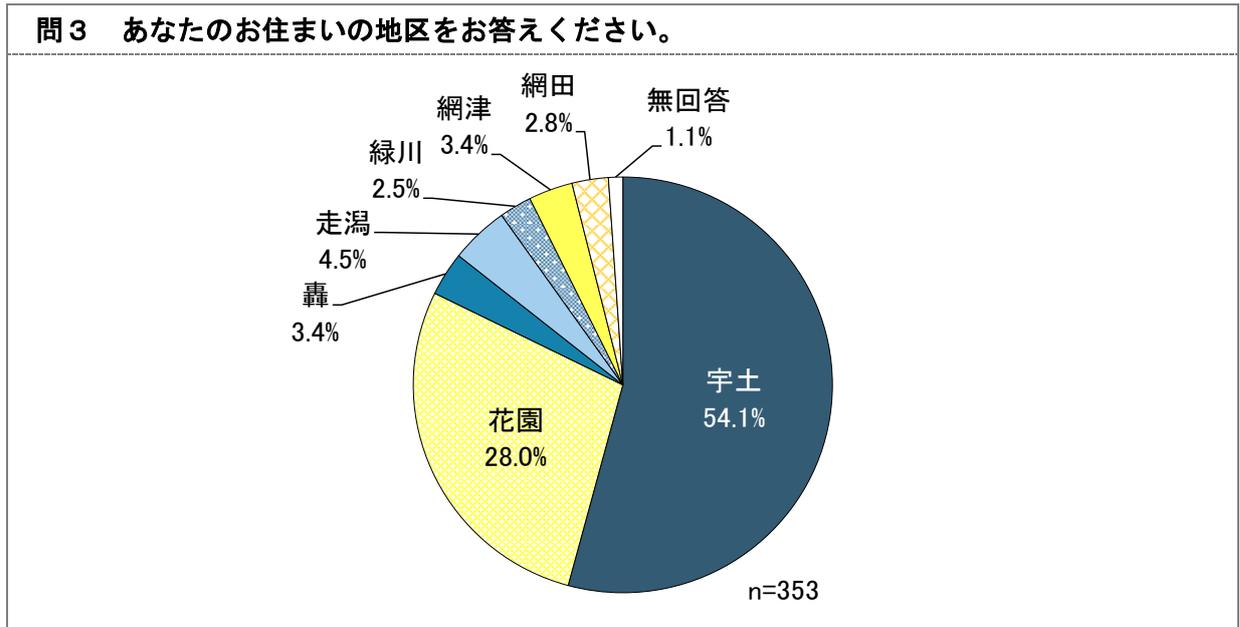
性別は、「女性」が59.5%、「男性」が39.7%となっている。

(2) 年齢



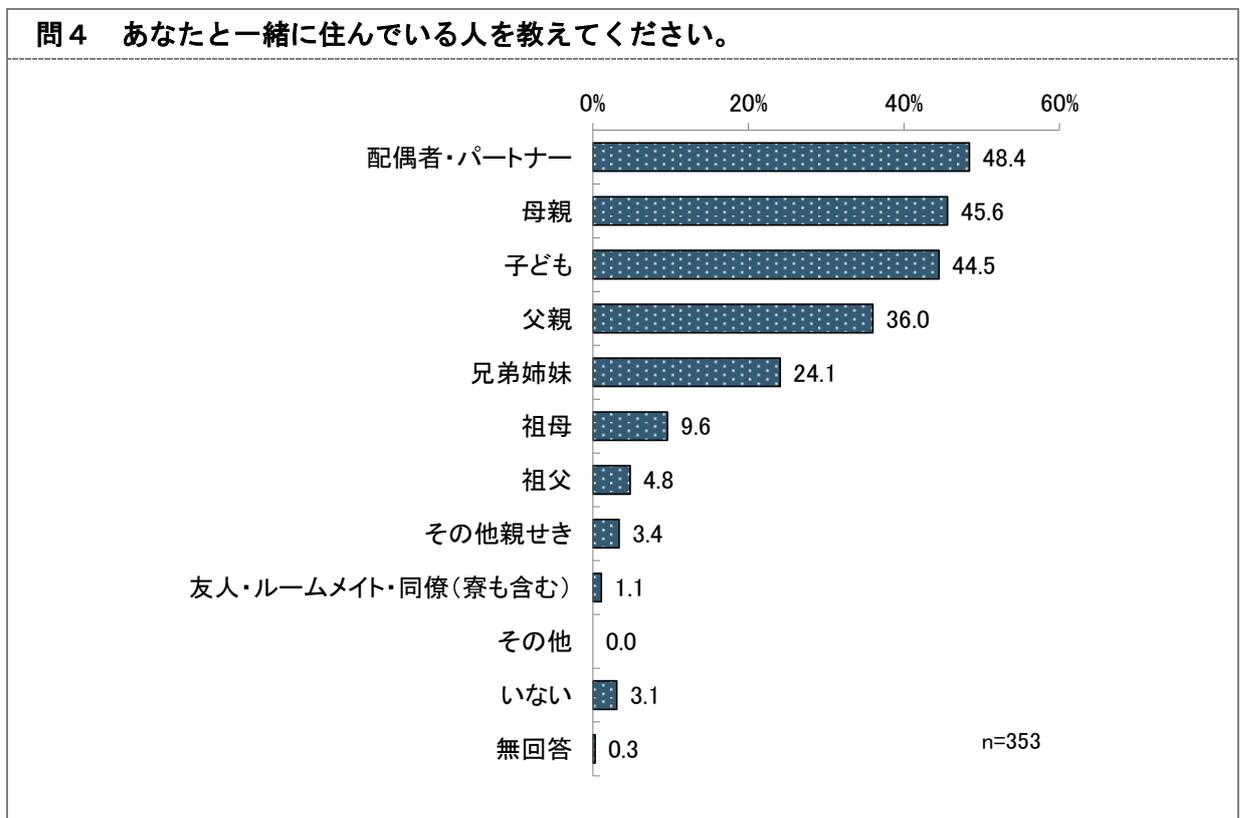
年齢は、「30歳代」が54.4%と最も高く、次いで「20歳代」が36.3%、「10歳代」が7.9%となっている。

（3）居住地



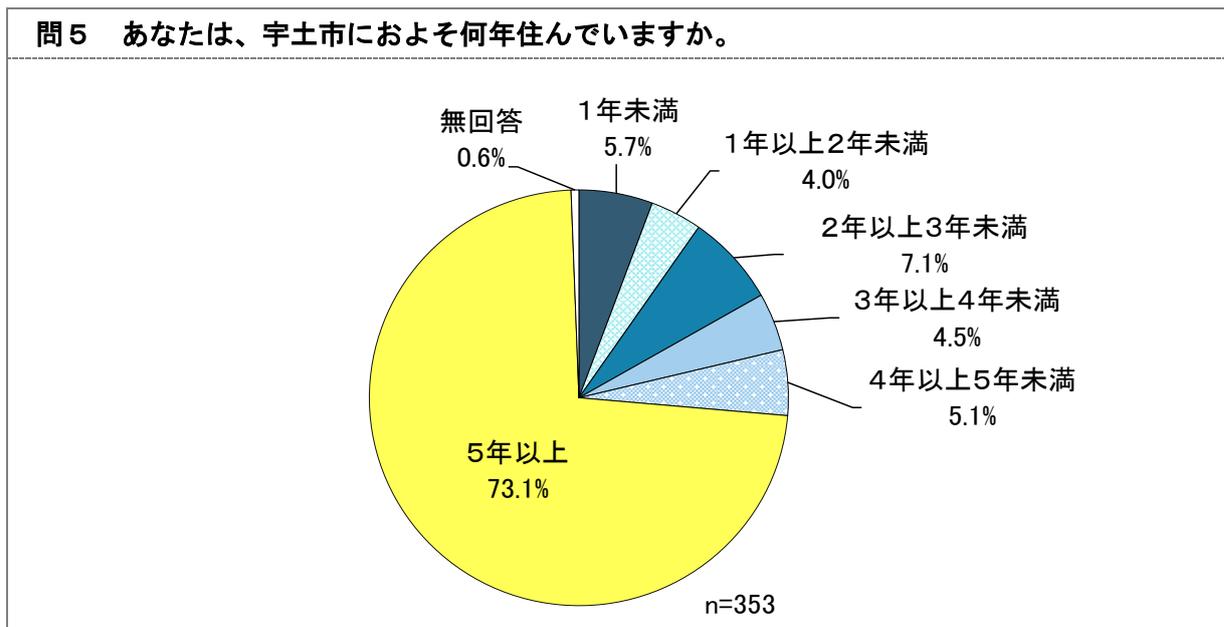
居住地は、「宇土」が54.1%と最も高く、次いで「花園」が28.0%、「走湯」が4.5%となっている。

（4）同居者



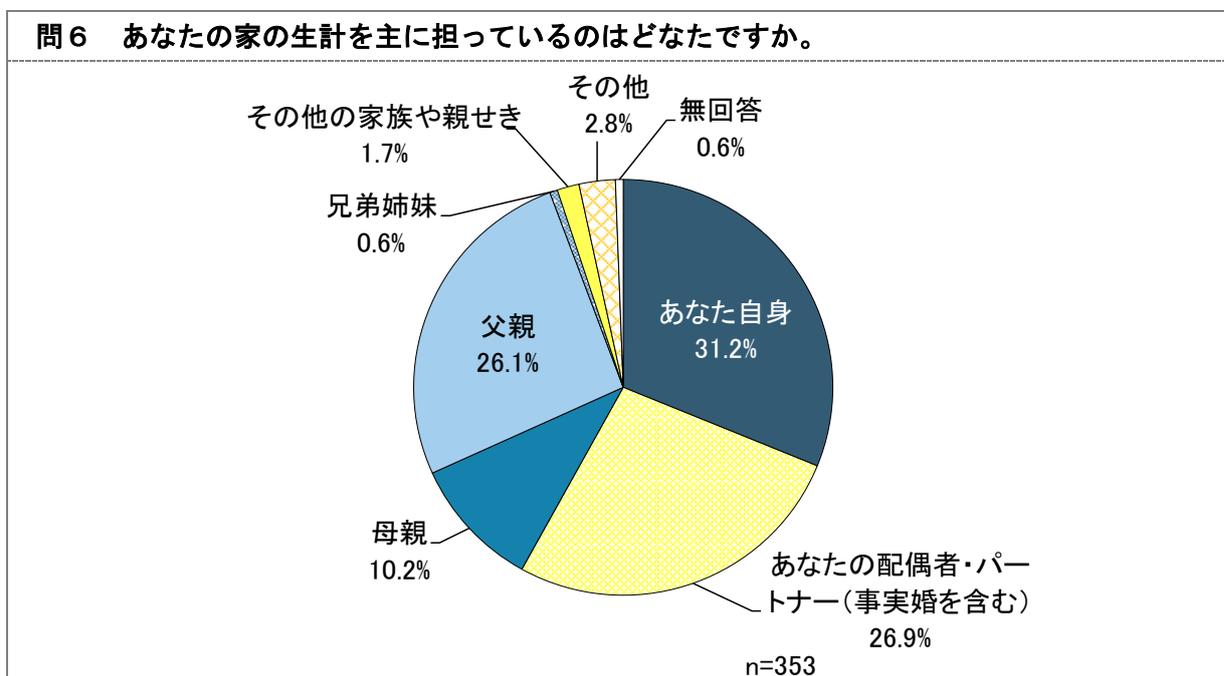
同居者は、「配偶者・パートナー」が48.4%と最も高く、次いで「母親」が45.6%、「子ども」が44.5%となっている。

（5）居住年数



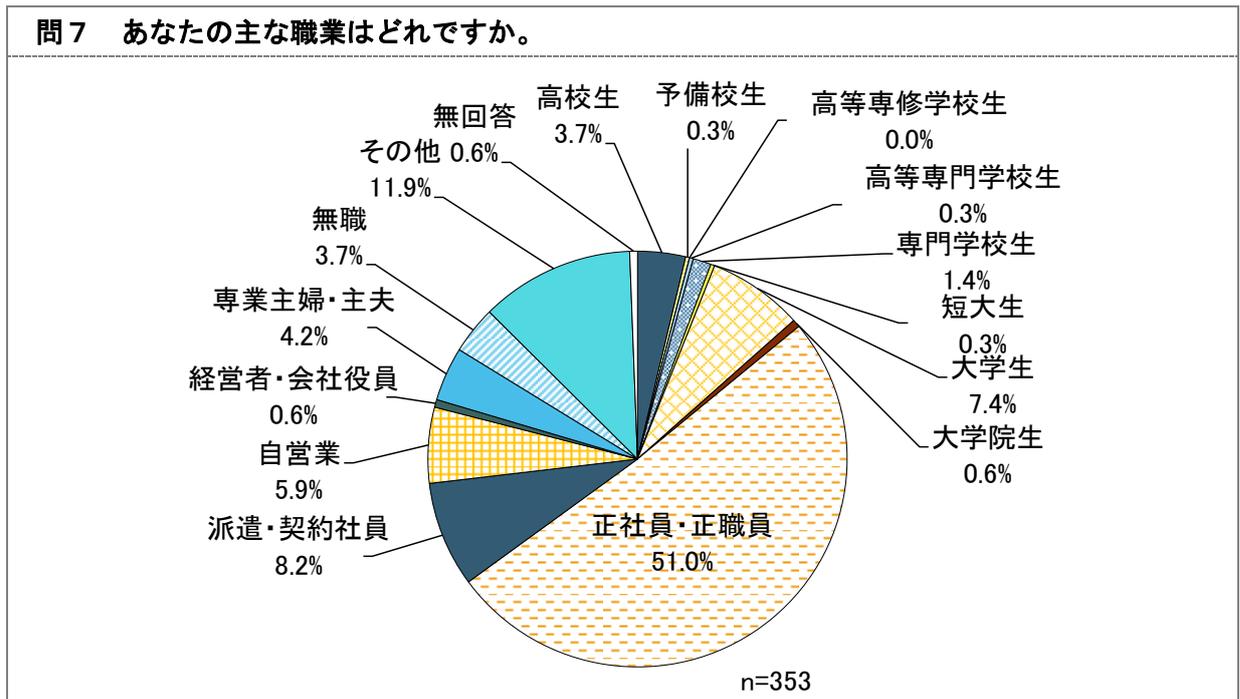
居住年数は、「5年以上」が73.1%と最も高く、次いで「2年以上3年未満」が7.1%、「1年未満」が5.7%となっている。

（6）生計の主体者



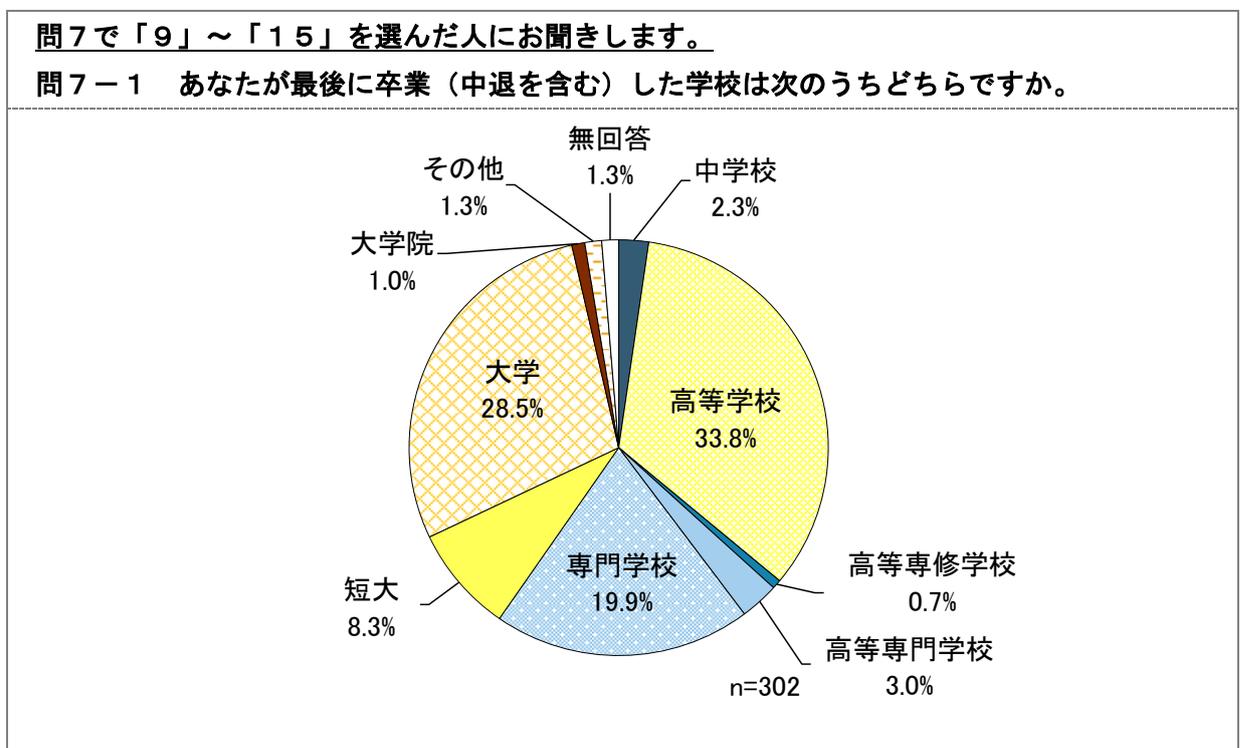
生計の主体者は、「あなた自身」が31.2%と最も高く、次いで「あなたの配偶者・パートナー（事実婚を含む）」が26.9%、「父親」が26.1%となっている。

(7) 職業



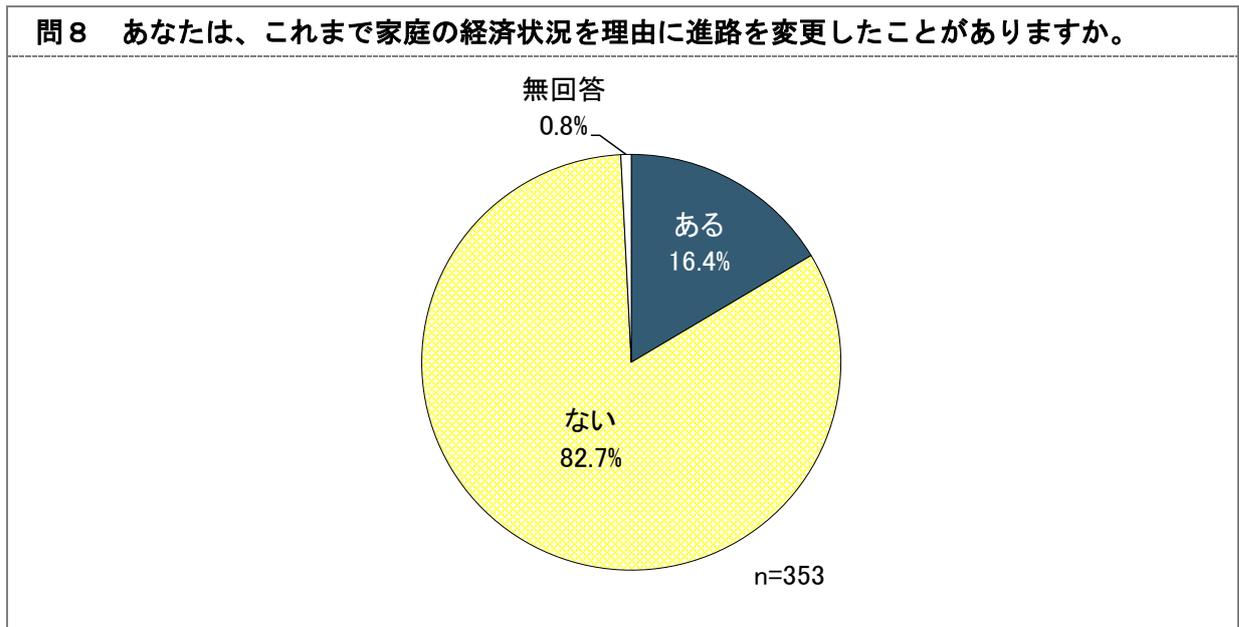
職業は、「正社員・正職員」が51.0%と最も高く、次いで「派遣・契約社員」が8.2%、「大学生」が7.4%となっている。

(8) 最終学歴



最終学歴は、「高等学校」が33.8%と最も高く、次いで「大学」が28.5%、「専門学校」が19.9%となっている。

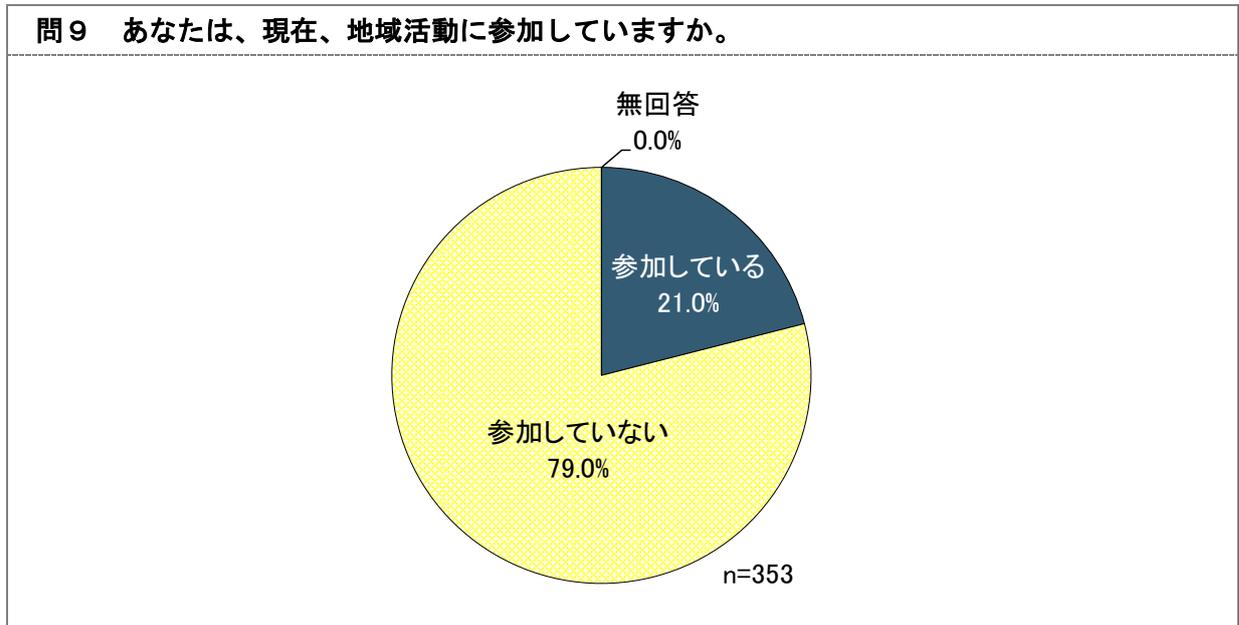
（9）家庭の経済状況での進路変更の有無



家庭の経済状況での進路変更の有無は、「ない」が82.7%、「ある」が16.4%となっている。

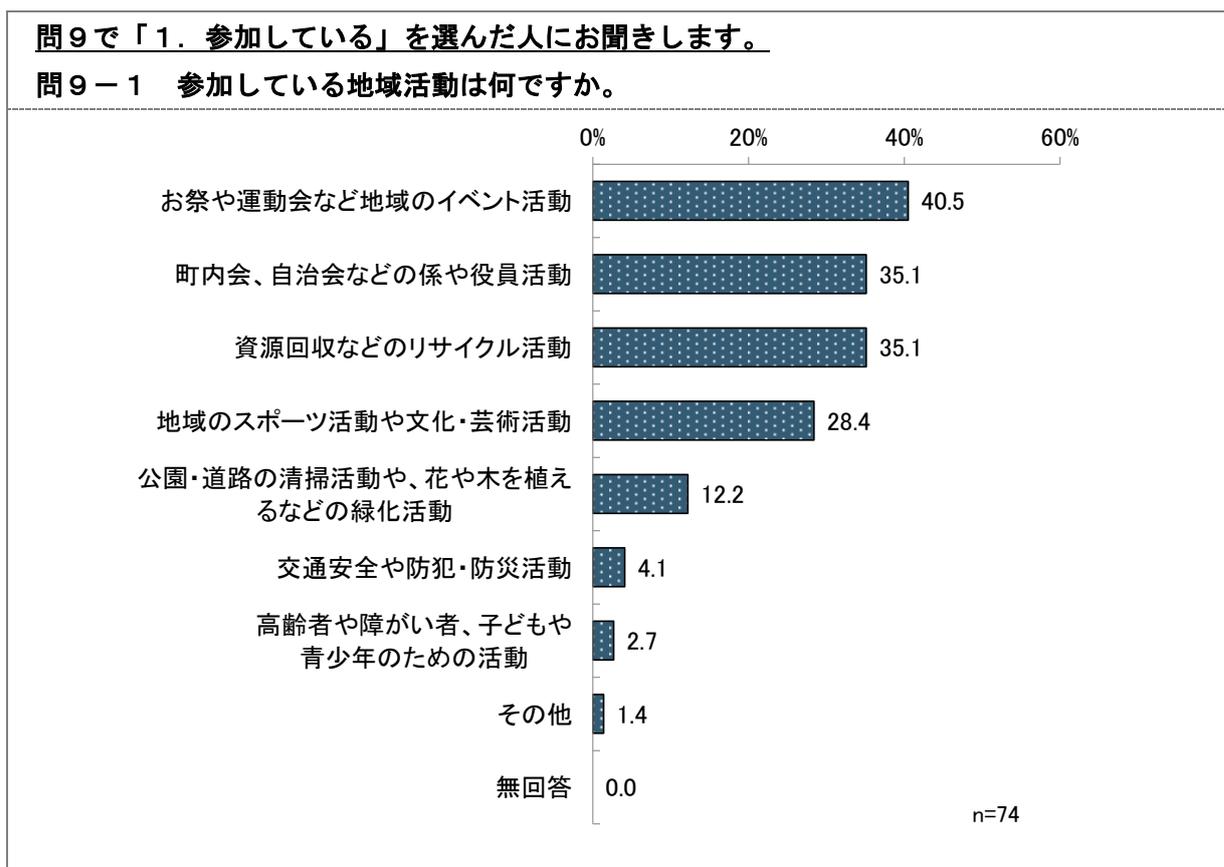
2. 普段の生活について

(1) 地域活動への参加状況



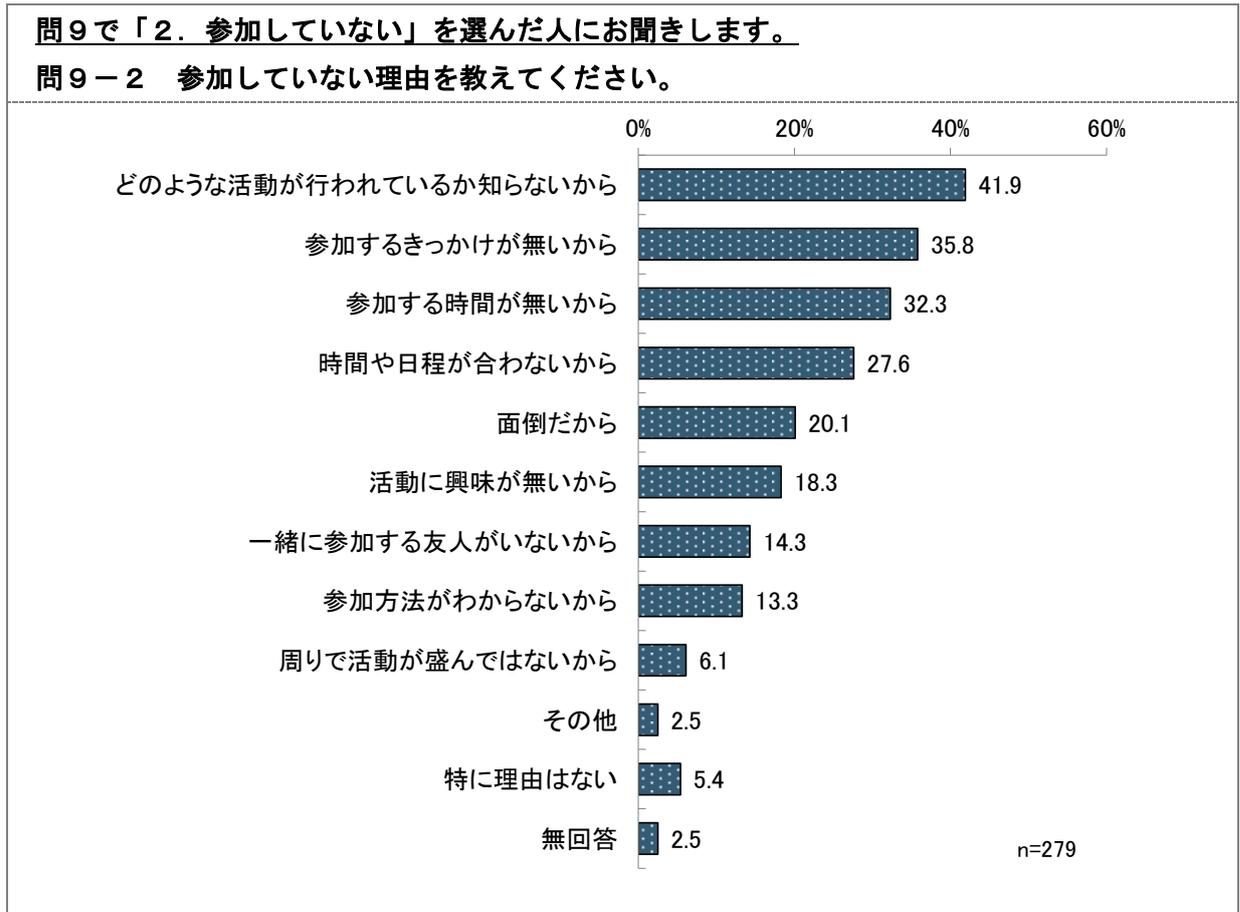
地域活動への参加状況は、「参加していない」が79.0%、「参加している」が21.0%となっている。

（2）参加している地域活動



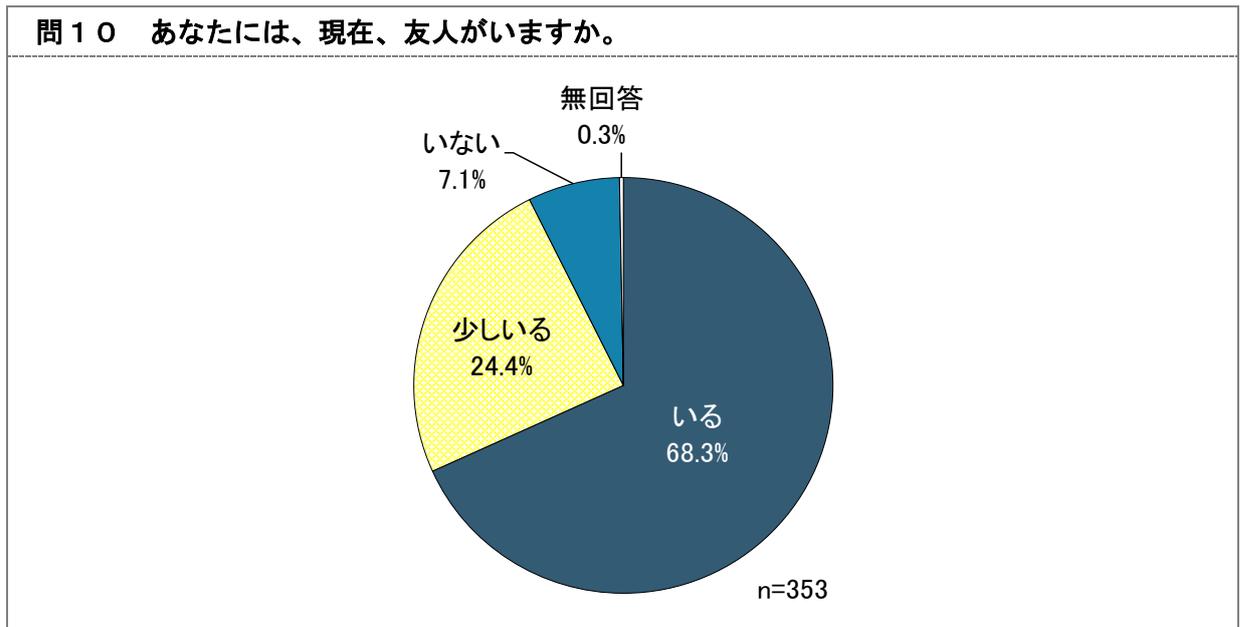
参加している地域活動は、「お祭や運動会など地域のイベント活動」が 40.5%と最も高く、次いで「町内会、自治会などの係や役員活動」「資源回収などのリサイクル活動」がそれぞれ 35.1%、「地域のスポーツ活動や文化・芸術活動」が 28.4%となっている。

(3) 地域活動に参加していない理由



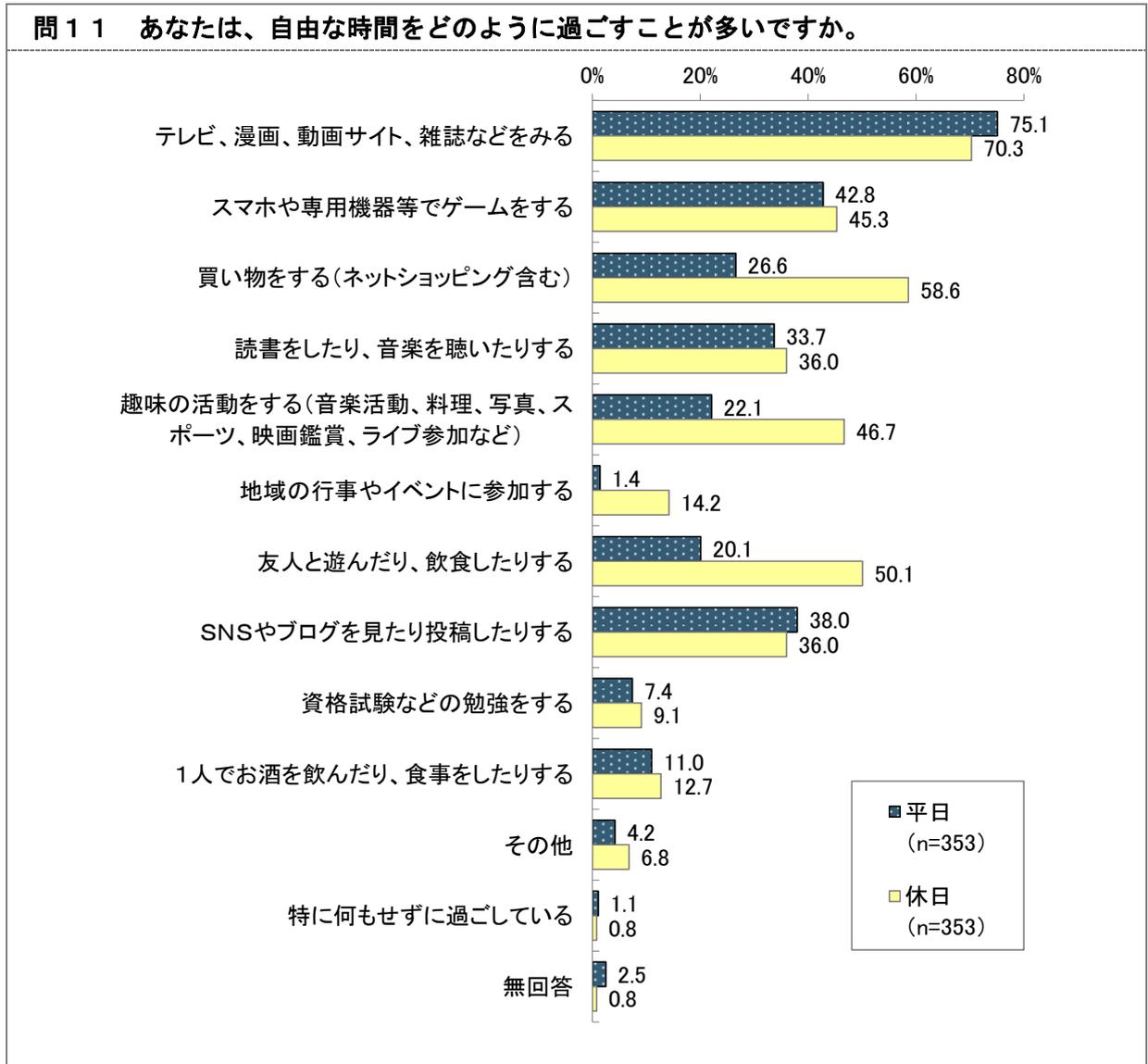
地域活動に参加していない理由は、「どのような活動が行われているか知らないから」が41.9%と最も高く、次いで「参加するきっかけが無いから」が35.8%、「参加する時間が無いから」が32.3%となっている。

（4）友人の有無



友人の有無は、「いる」が68.3%と最も高く、次いで「少しいる」が24.4%、「いない」が7.1%となっている。

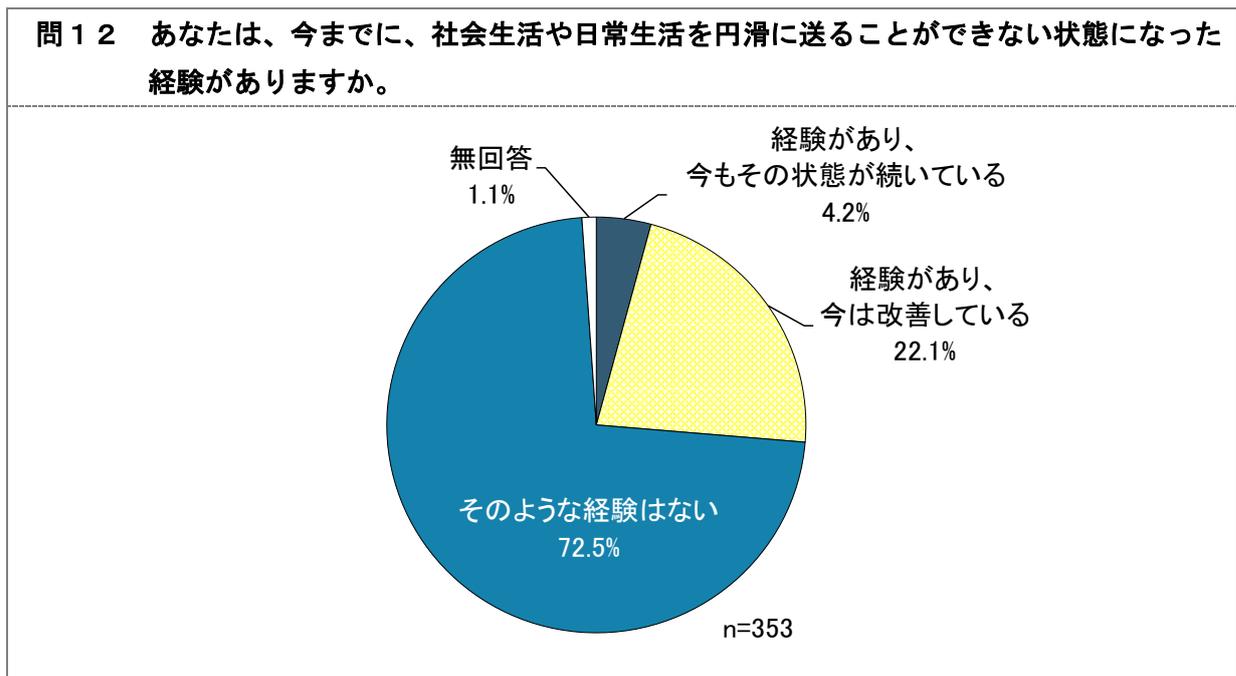
（5）平日・休日の自由な時間の過ごし方



平日の自由な時間の過ごし方は、「テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる」が75.1%と最も高く、次いで「スマホや専用機器等でゲームをする」が42.8%、「SNSやブログを見たり投稿したりする」が38.0%となっている。

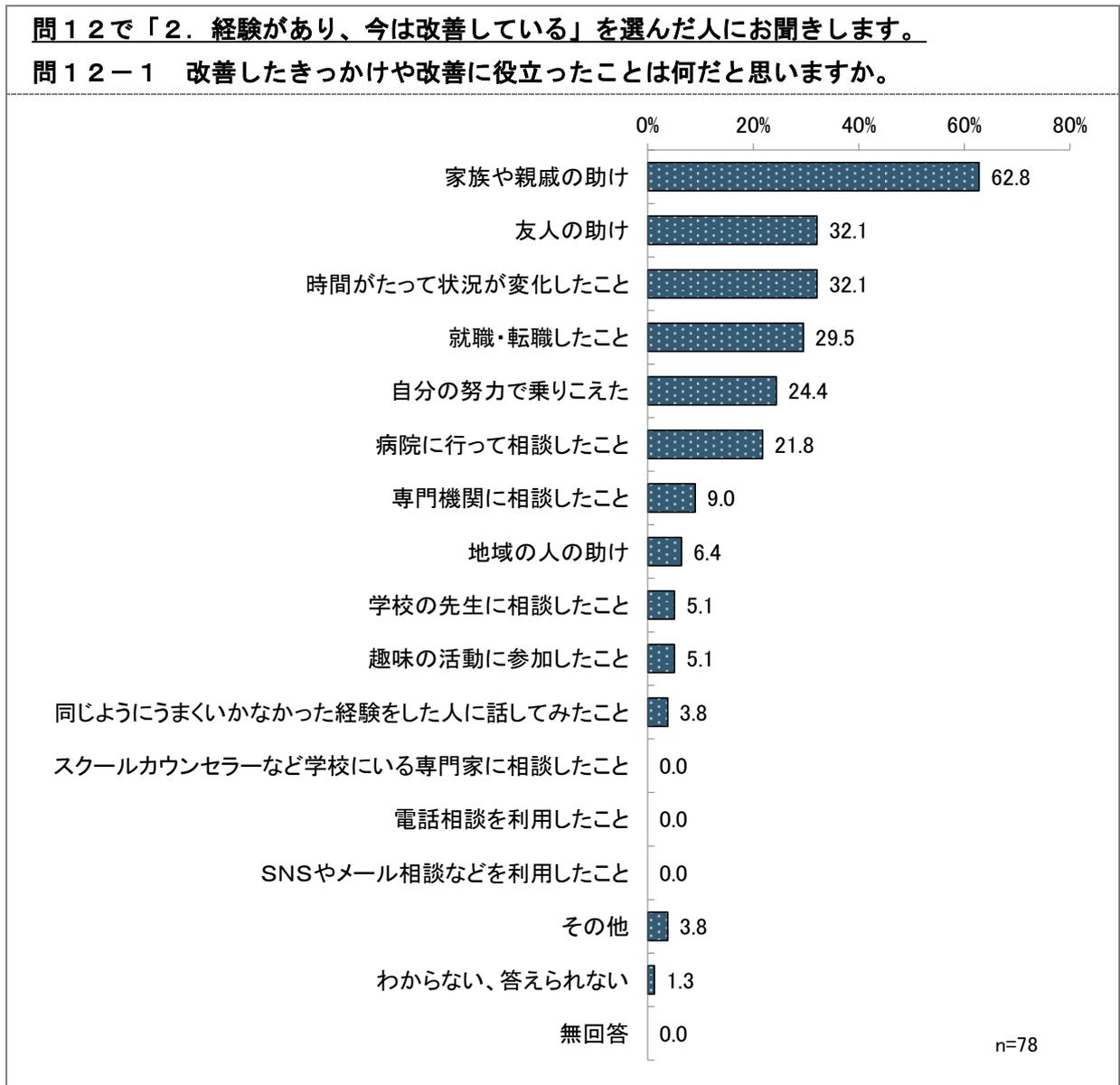
休日の自由な時間の過ごし方は、「テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる」が70.3%と最も高く、次いで「買い物をする（ネットショッピング含む）」が58.6%、「友人と遊んだり、飲食したりする」が50.1%となっている。

（6）社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になった経験があるか



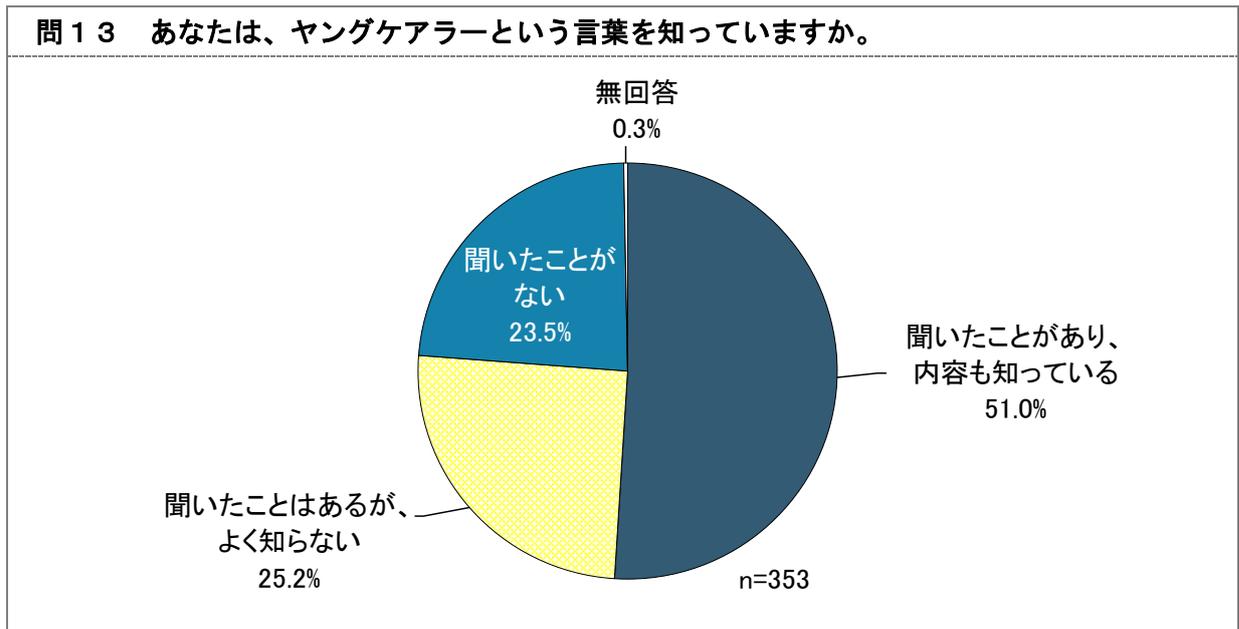
社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になった経験があるかは、「そのような経験はない」が72.5%と最も高く、次いで「経験があり、今は改善している」が22.1%、「経験があり、今もその状態が続いている」が4.2%となっている。

（7）社会生活や日常生活を円滑に送るための改善に役立ったこと



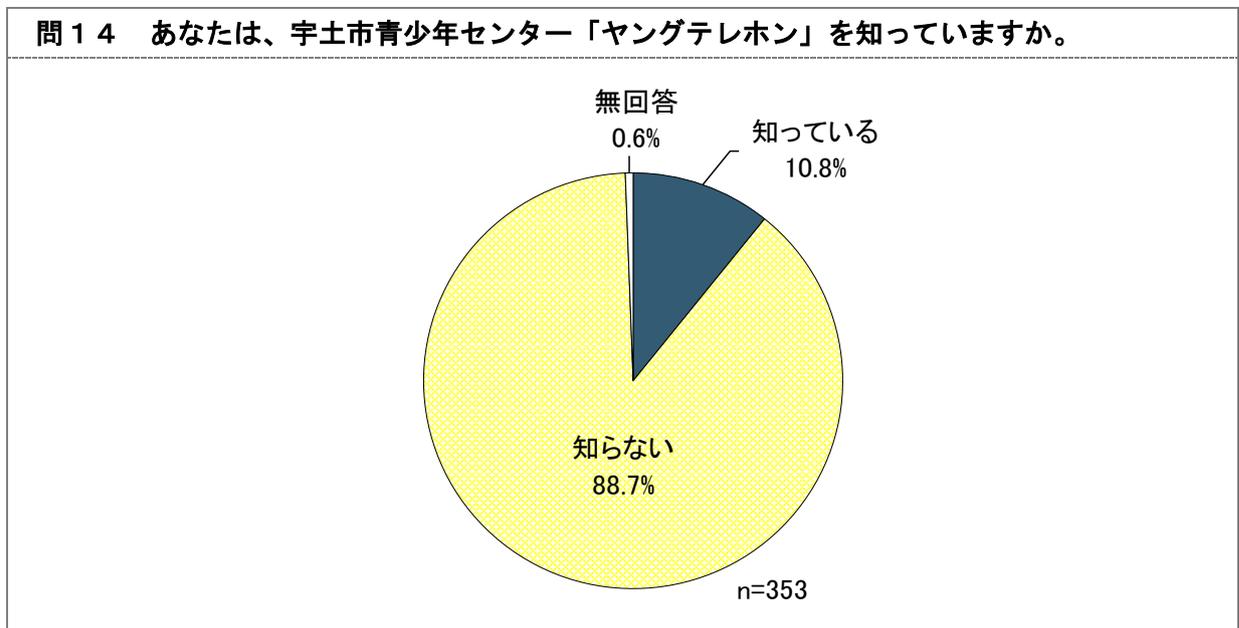
社会生活や日常生活を円滑に送るための改善に役立ったことは、「家族や親戚の助け」が62.8%と最も高く、次いで「友人の助け」「時間がたって状況が変化したこと」がそれぞれ32.1%、「就職・転職したこと」が29.5%となっている。

（8）ヤングケアラーの概念の認識



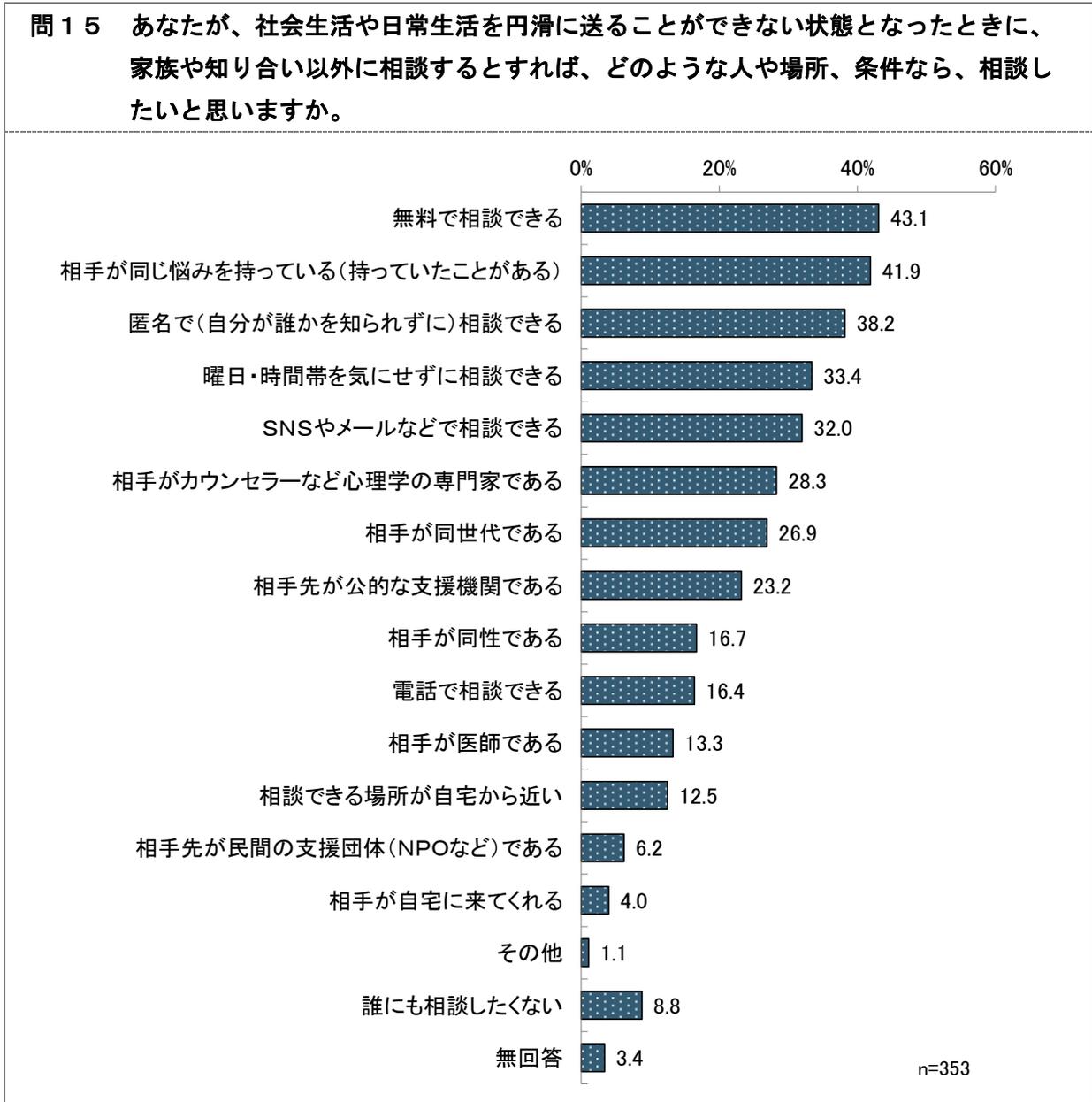
ヤングケアラーの概念の認識は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が51.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が25.2%、「聞いたことがない」が23.5%となっている。

（9）宇土市青少年センター「ヤングテレホン」の認知度



宇土市青少年センター「ヤングテレホン」の認知度は、「知らない」が88.7%、「知っている」が10.8%となっている。

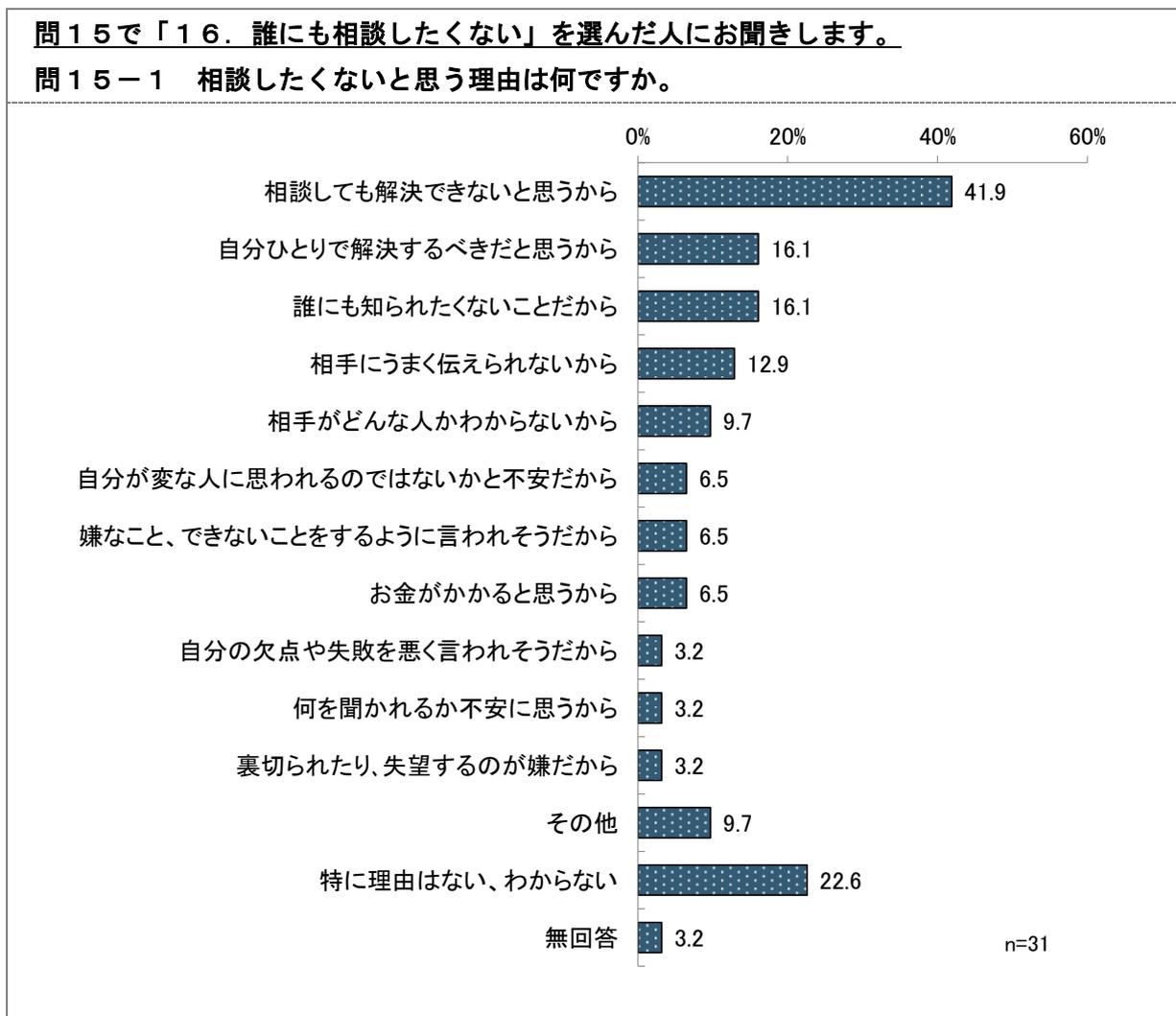
（10）社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談したいと思う人や場所、条件



社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談したいと思う人や場所、条件は、「無料で相談できる」が43.1%と最も高く、次いで「相手が同じ悩みを持っている（持っていたことがある）」が41.9%、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が38.2%となっている。

第3章 こども・若者（18～39歳）

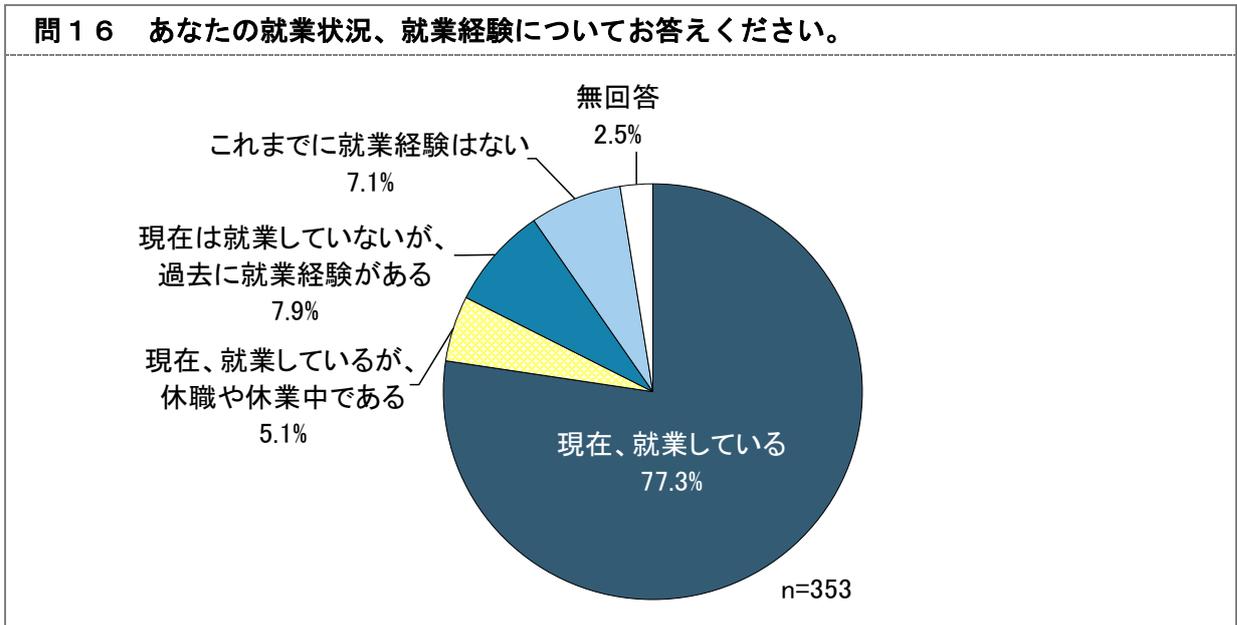
（11）社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外の誰にも相談したくない理由



社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外の誰にも相談したくない理由は、「相談しても解決できないと思うから」が41.9%と最も高く、次いで「自分ひとりで解決すべきだと思うから」「誰にも知られたくないことだから」がそれぞれ16.1%、「相手にうまく伝えられないから」が12.9%となっている。

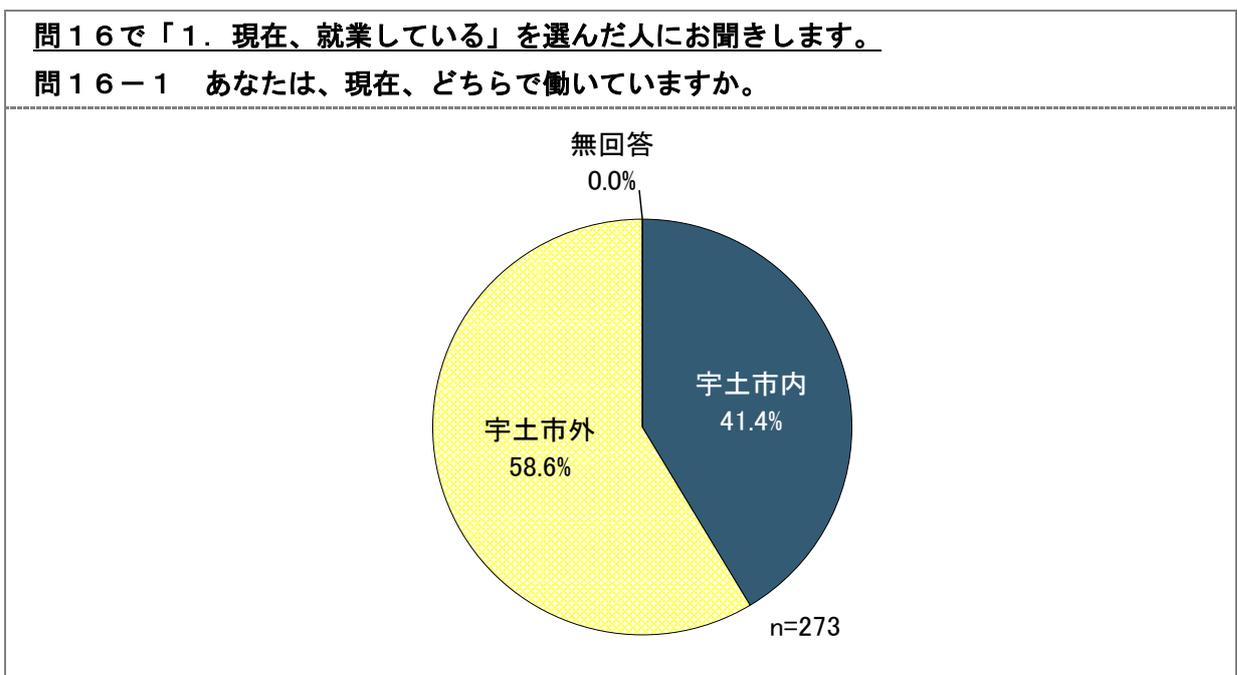
3. 職業経験について

(1) 就業状況、就業経験



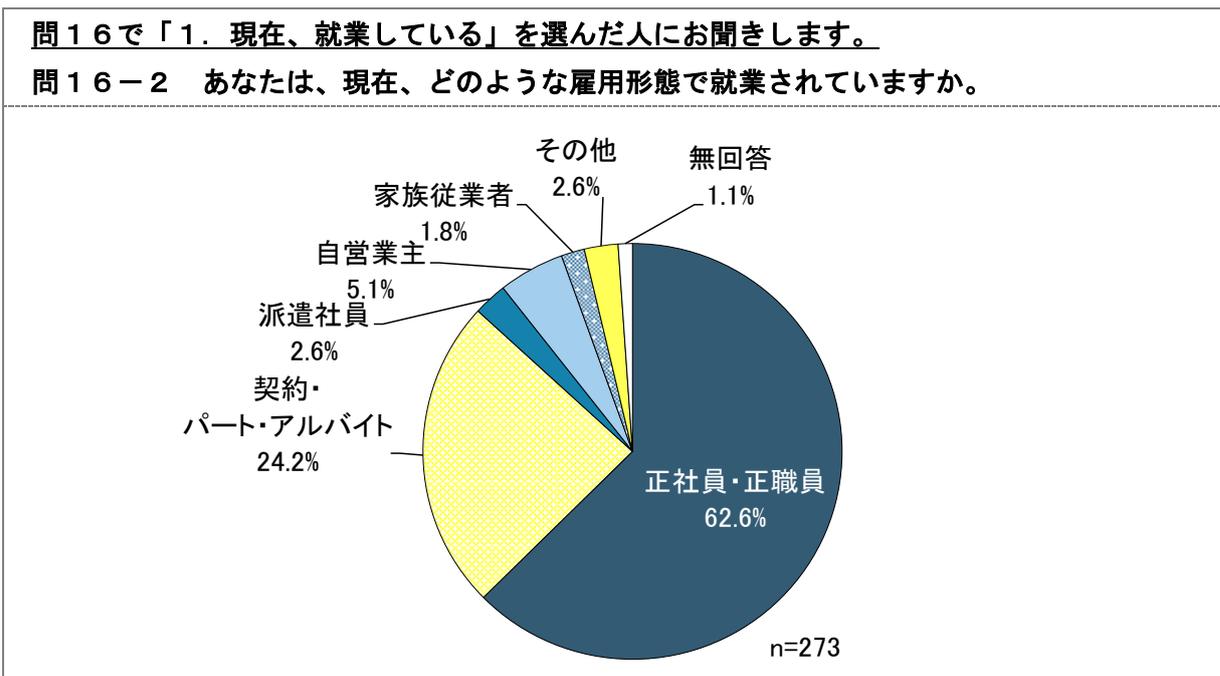
就業状況、就業経験は、「現在、就業している」が77.3%と最も高く、次いで「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が7.9%、「これまでに就業経験はない」が7.1%となっている。

(2) 就業場所



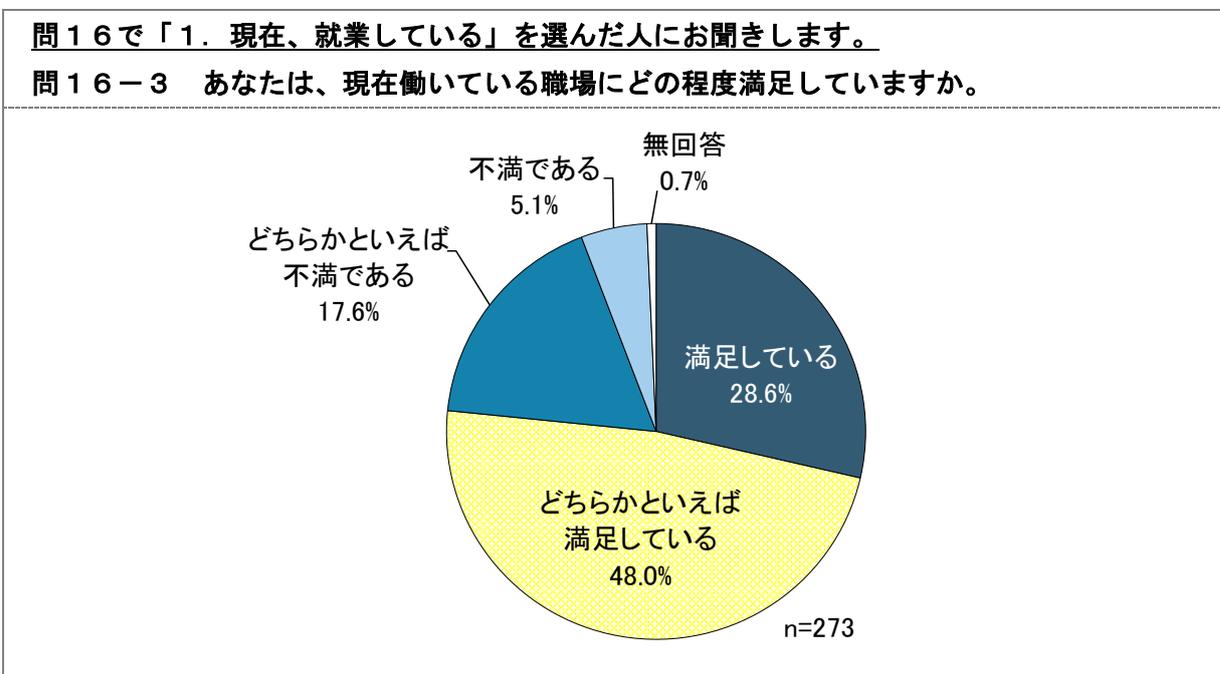
就業場所は、「宇土市外」が58.6%、「宇土市内」が41.4%となっている。

（3）雇用形態



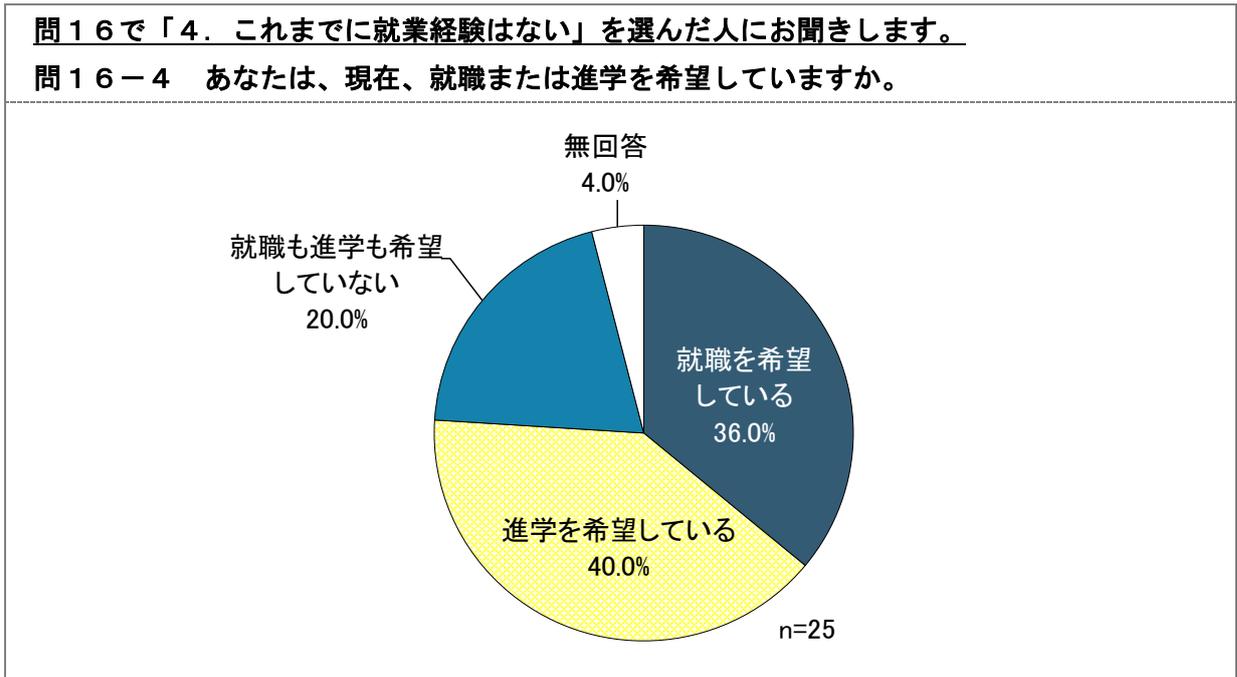
雇用形態は、「正社員・正職員」が62.6%と最も高く、次いで「契約・パート・アルバイト」が24.2%、「自営業主」が5.1%となっている。

（4）職場の満足度



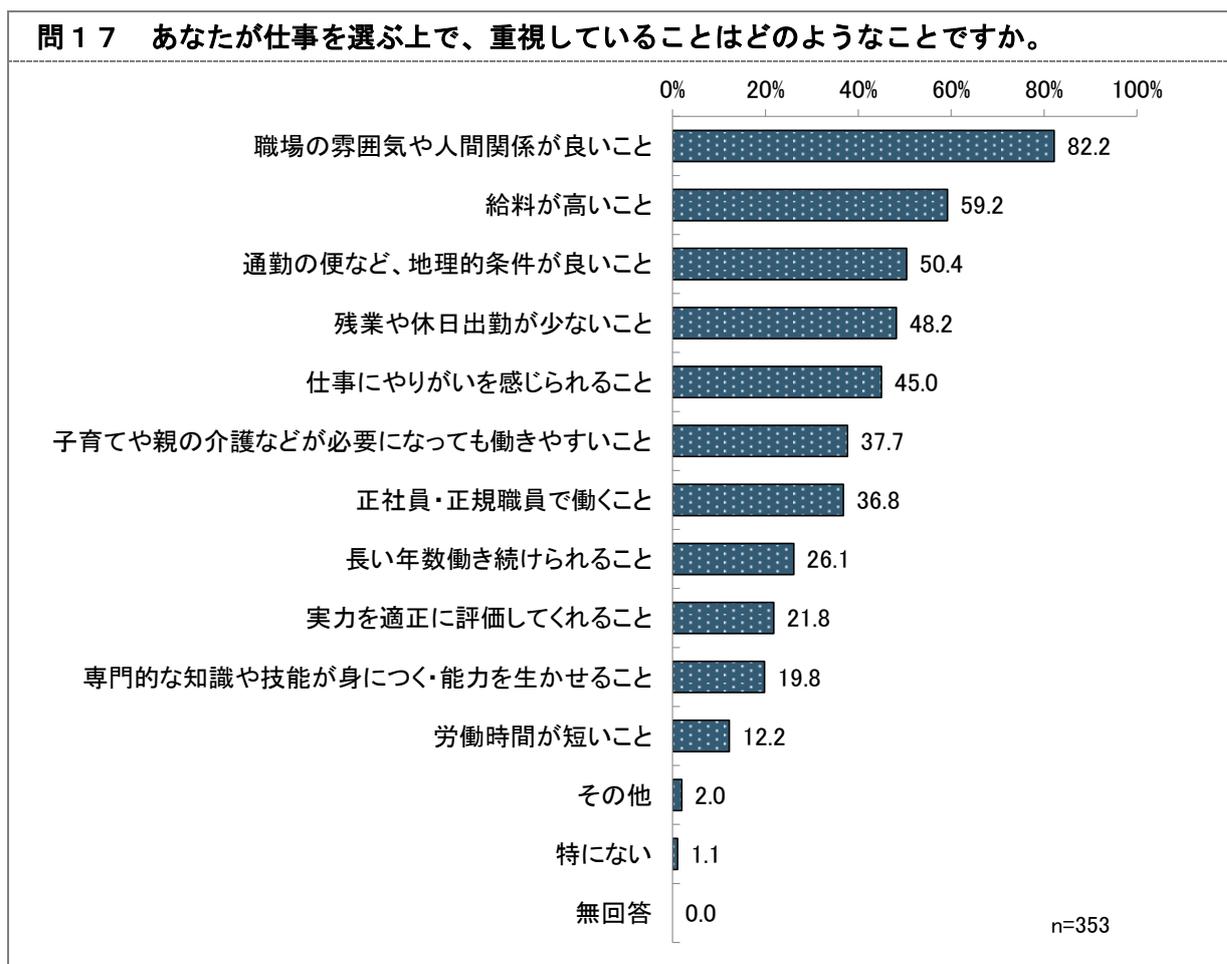
職場の満足度は、「どちらかといえば満足している」が48.0%と最も高く、次いで「満足している」が28.6%、「どちらかといえば不満である」が17.6%となっている。

（5）就職または進学希望の有無



就職または進学希望の有無は、「進学を希望している」が40.0%と最も高く、次いで「就職を希望している」が36.0%、「就職も進学も希望していない」が20.0%となっている。

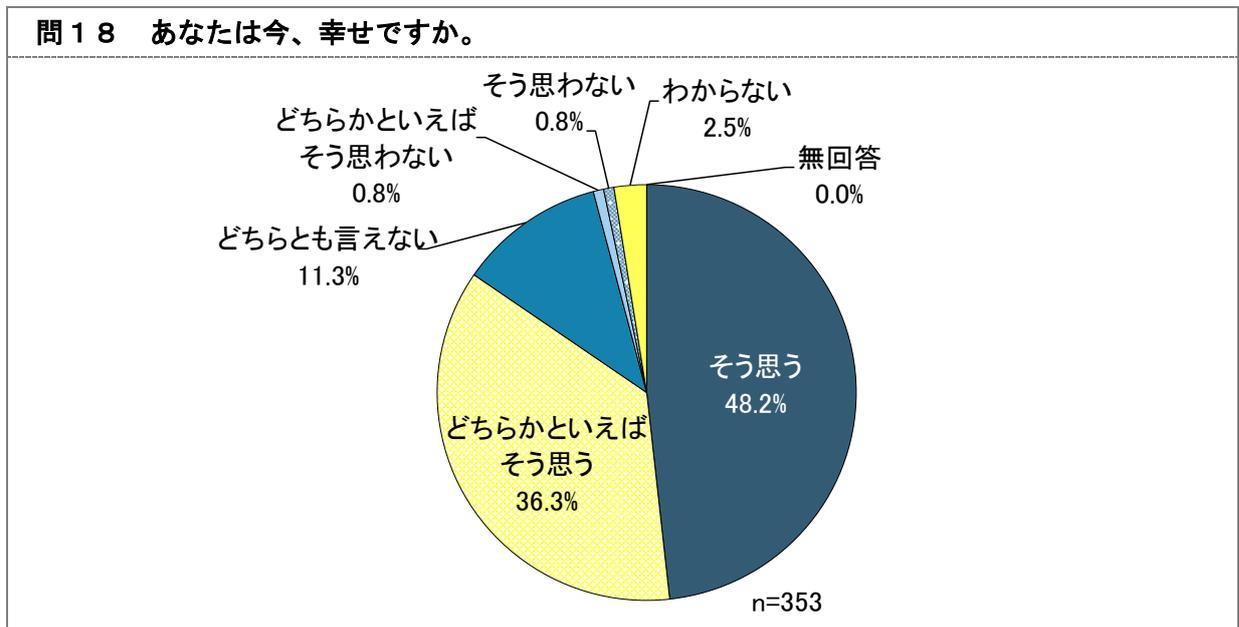
（6）仕事を選ぶ上で重視していること



仕事を選ぶ上で重視していることは、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が82.2%と最も高く、次いで「給料が高いこと」が59.2%、「通勤の便など、地理的条件が良いこと」が50.4%となっている。

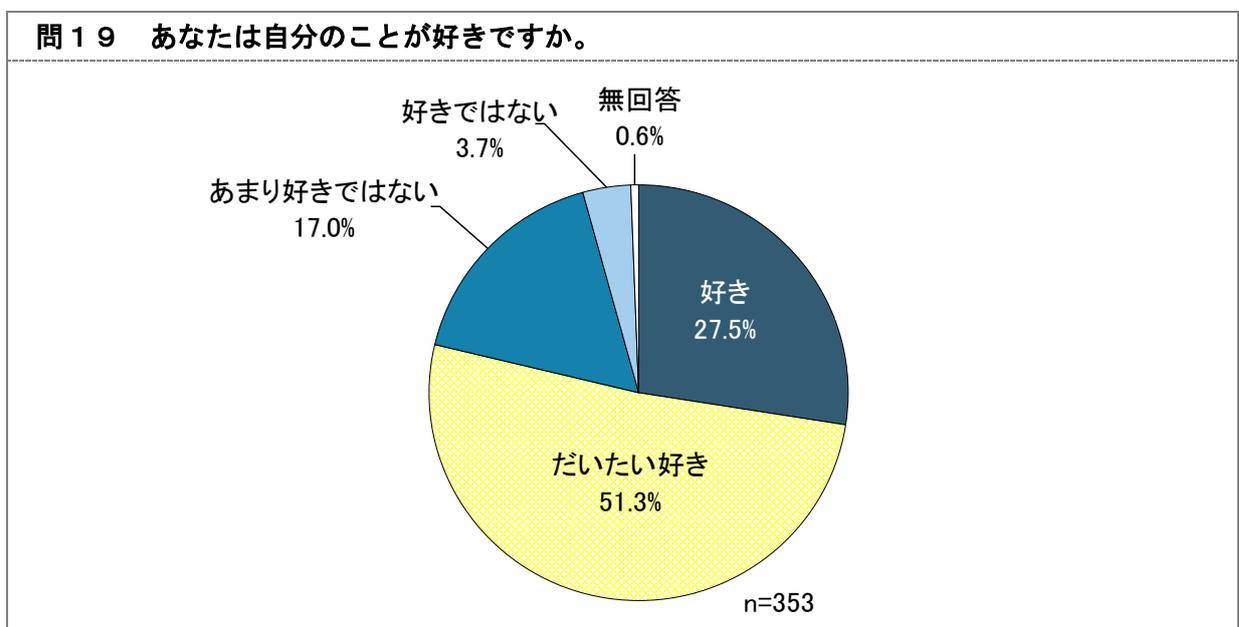
4. 現在の生活に対する考えについて

(1) 今、幸せだと思うか



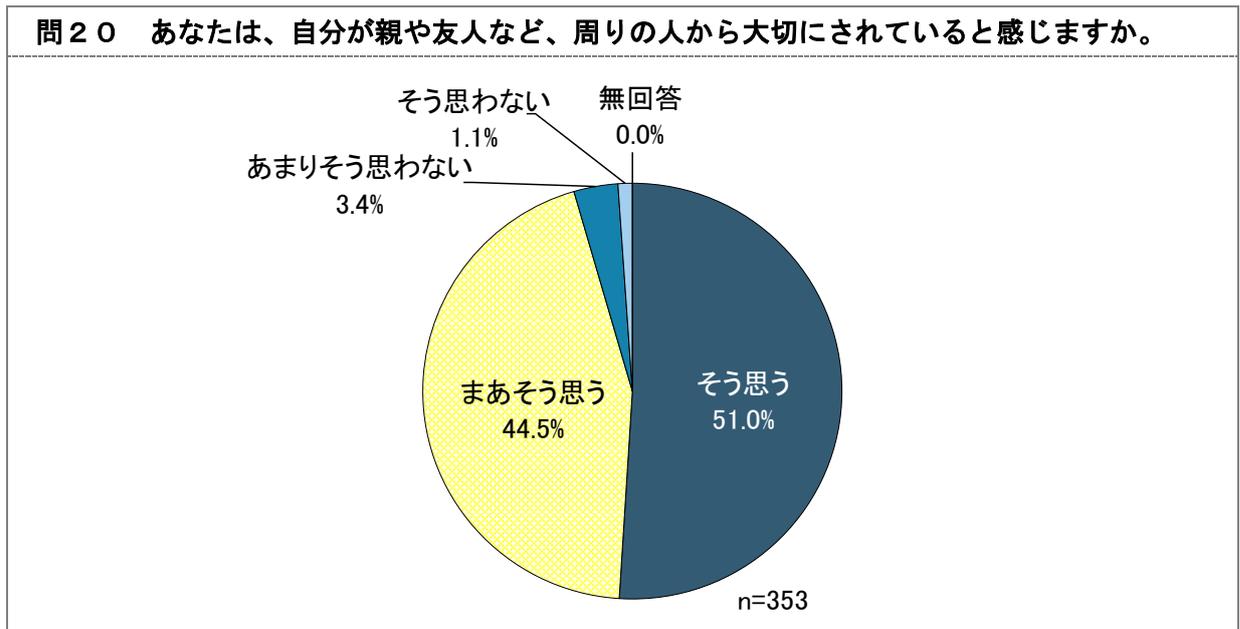
今、幸せだと思うかは、「そう思う」が48.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が36.3%、「どちらとも言えない」が11.3%となっている。

(2) 自分のことが好きか



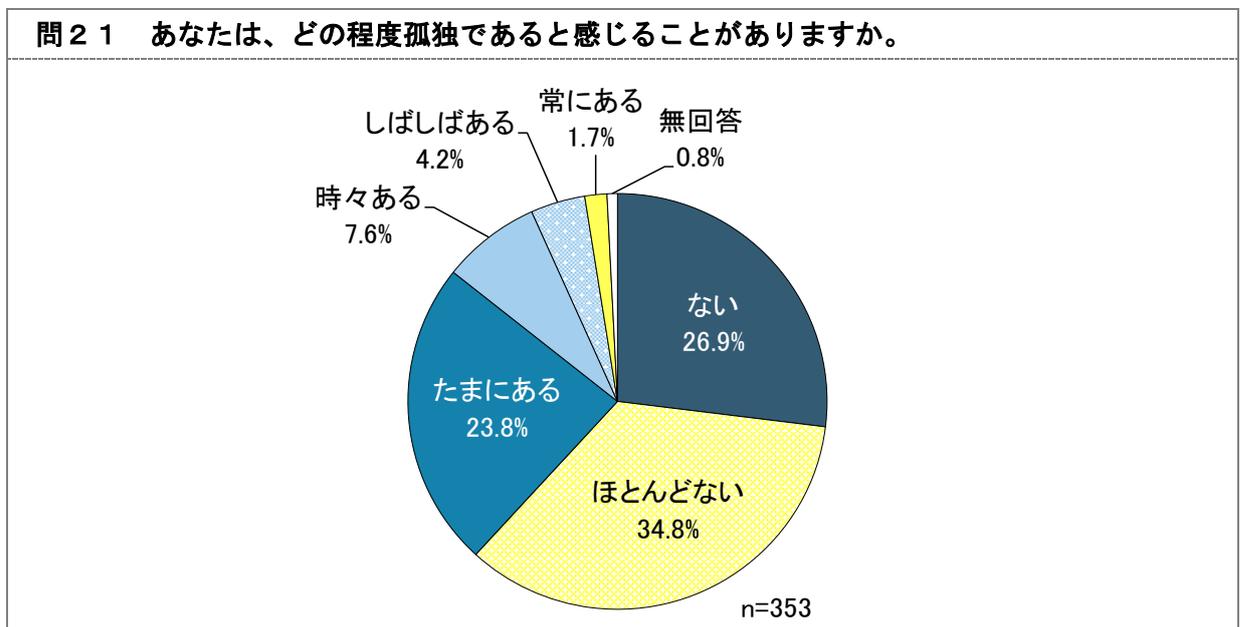
自分のことが好きかは、「大好き」が51.3%と最も高く、次いで「好き」が27.5%、「あまり好きではない」が17.0%となっている。

（3）周りの人から大切にされていると感じるか



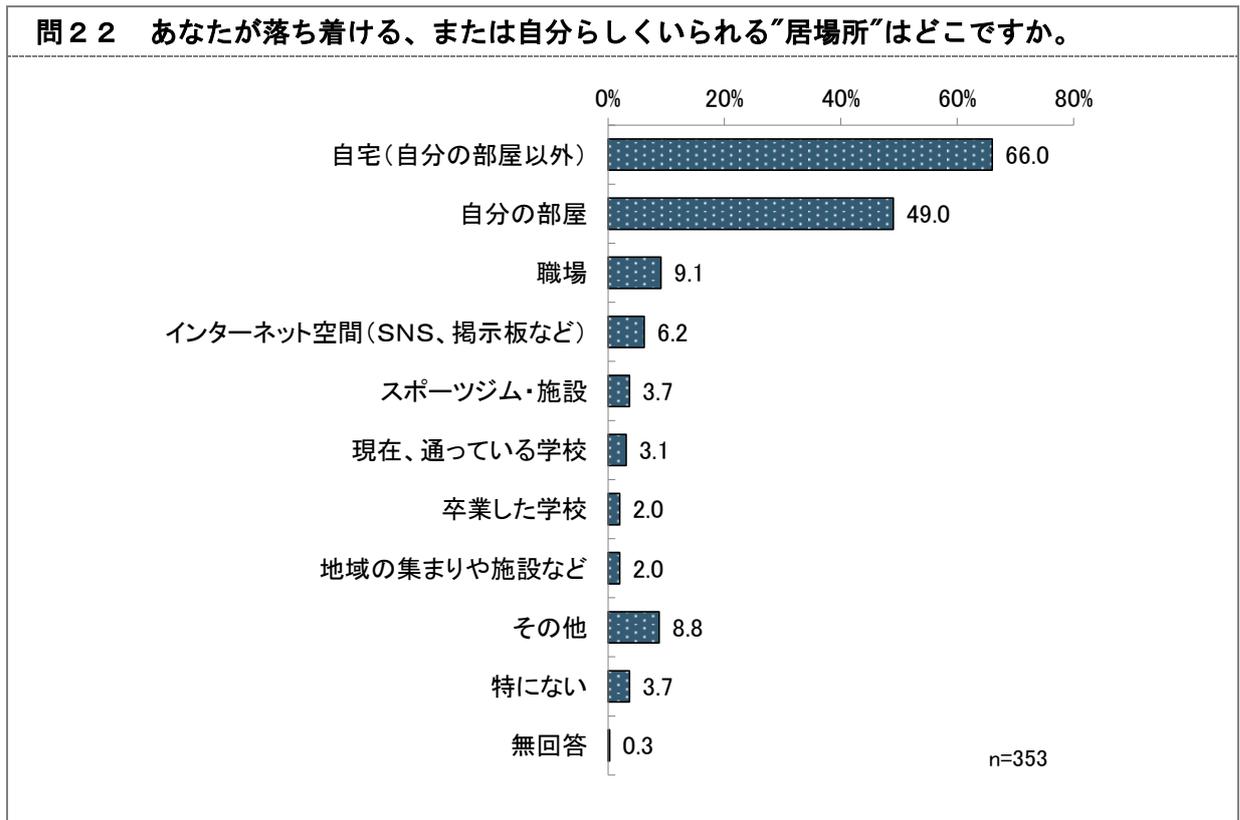
周りの人から大切にされていると感じるかは、「そう思う」が51.0%と最も高く、次いで「まあそう思う」が44.5%、「あまりそう思わない」が3.4%となっている。

（4）孤独感



孤独感は、「ほとんどない」が34.8%と最も高く、次いで「ない」が26.9%、「たまにある」が23.8%となっている。

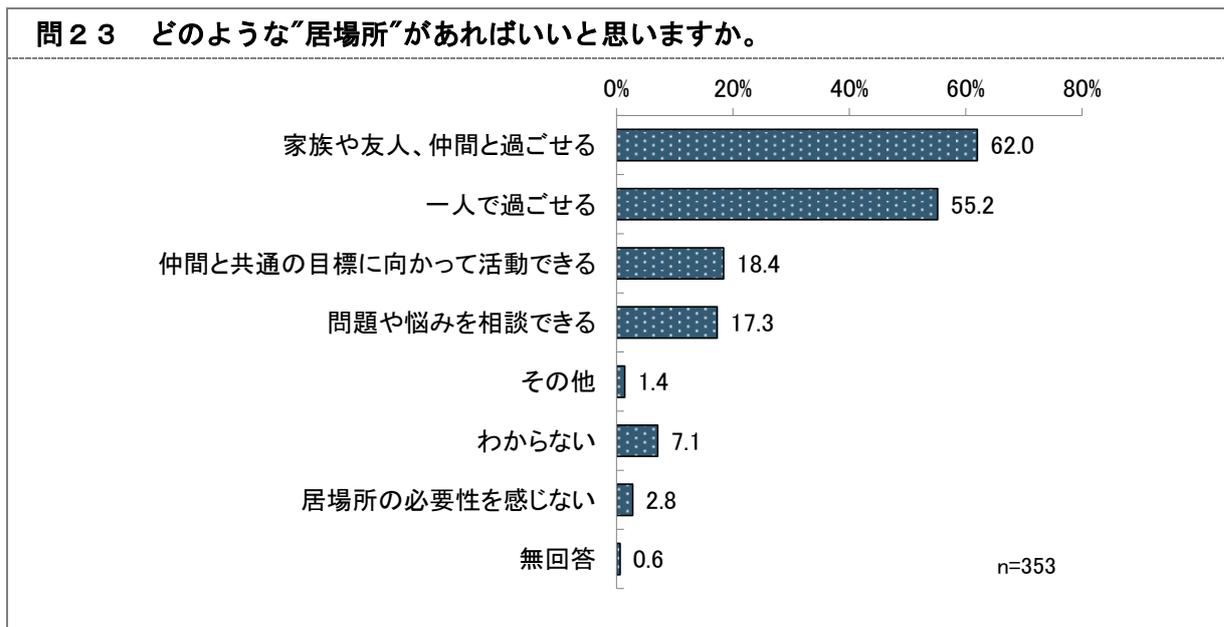
（5）自分らしくいられる居場所



自分らしくいられる居場所は、「自宅（自分の部屋以外）」が66.0%と最も高く、次いで「自分の部屋」が49.0%、「職場」が9.1%となっている。

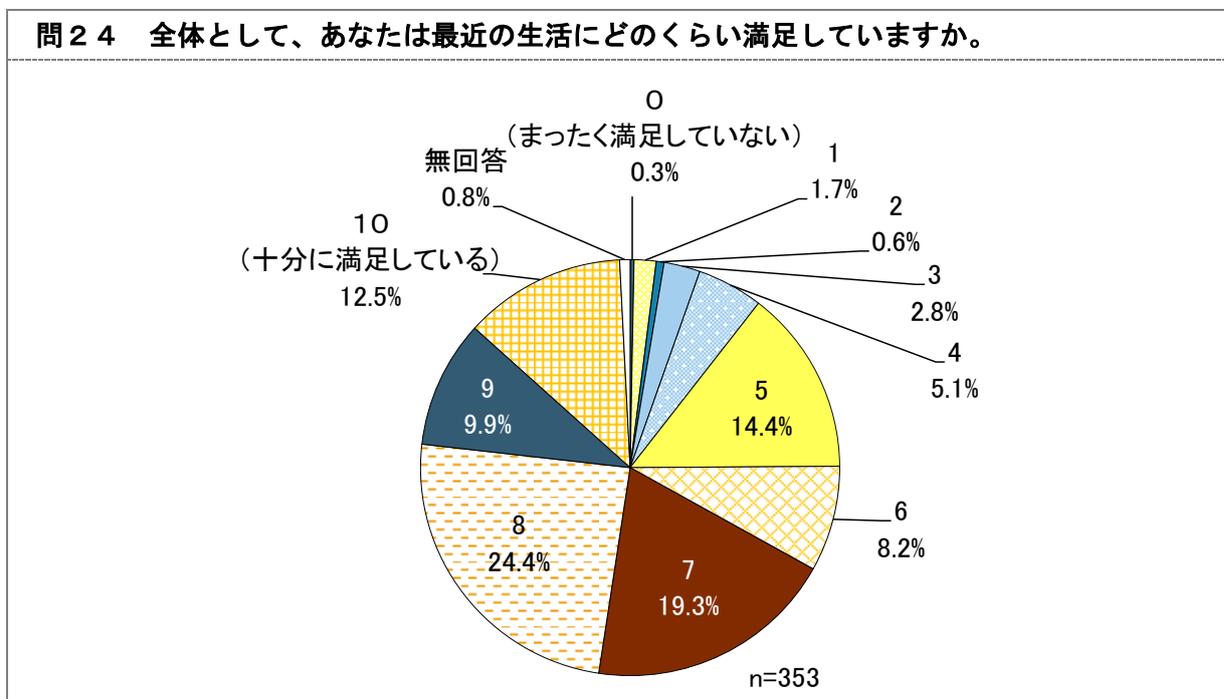
第3章 こども・若者（18～39歳）

（6）あればいいと思う居場所



あればいいと思う居場所は、「家族や友人、仲間と過ごせる」が62.0%と最も高く、次いで「一人で過ごせる」が55.2%、「仲間と共通の目標に向かって活動できる」が18.4%となっている。

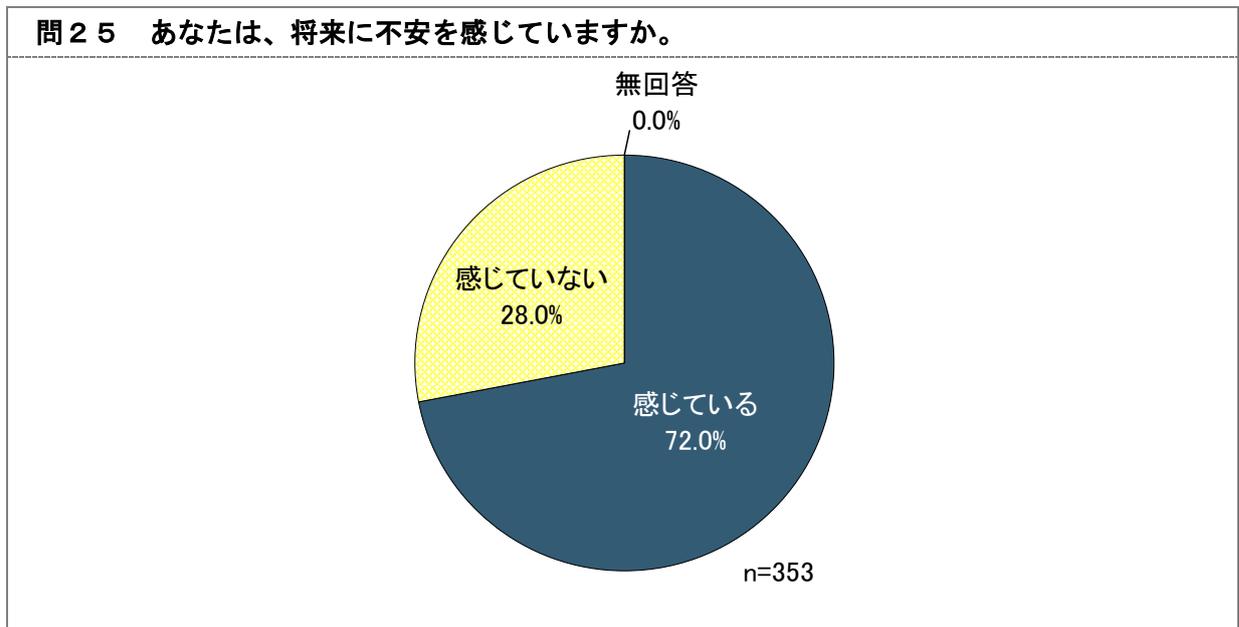
（7）生活の満足度



生活の満足度は、「8」が24.4%と最も高く、次いで「7」が19.3%、「5」が14.4%となっている。

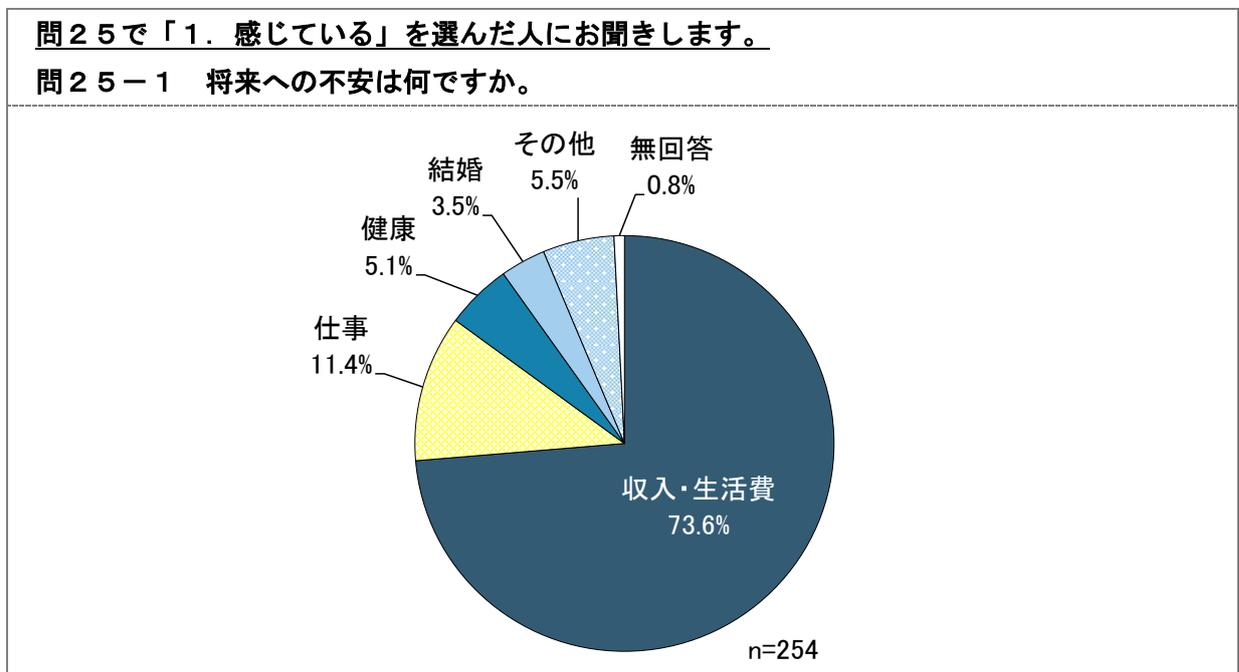
5. 将来への考えについて

(1) 将来への不安感



将来への不安感は、「感じている」が72.0%、「感じていない」が28.0%となっている。

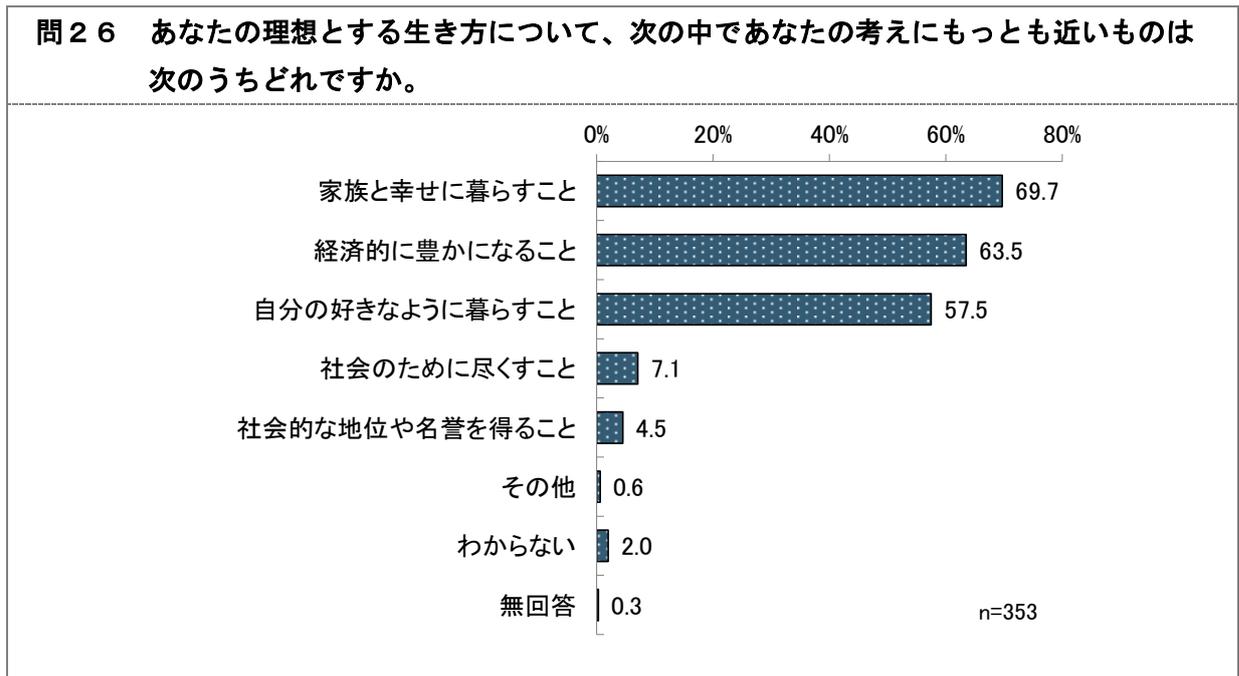
(2) 将来に不安を感じる主な要因



将来に不安を感じる主な要因は、「収入・生活費」が73.6%と最も高く、次いで「仕事」が11.4%、「健康」が5.1%となっている。

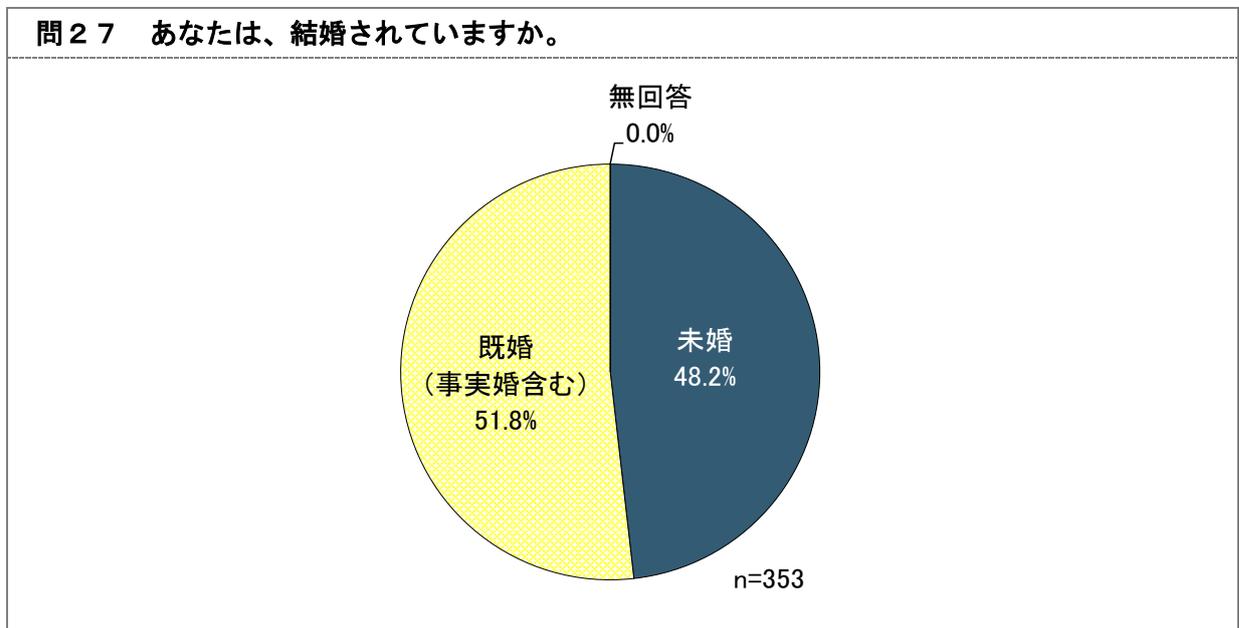
第3章 こども・若者（18～39歳）

（3）理想とする生き方



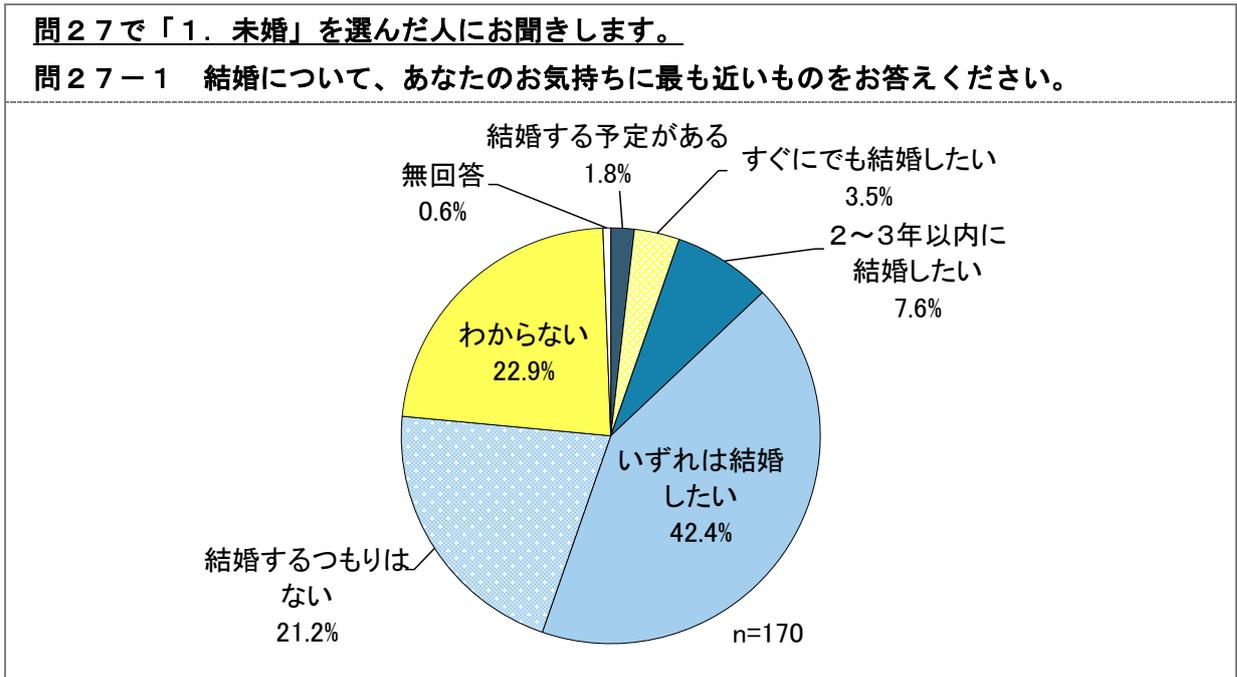
理想とする生き方は、「家族と幸せに暮らすこと」が69.7%と最も高く、次いで「経済的に豊かになること」が63.5%、「自分の好きなように暮らすこと」が57.5%となっている。

（4）婚姻状況



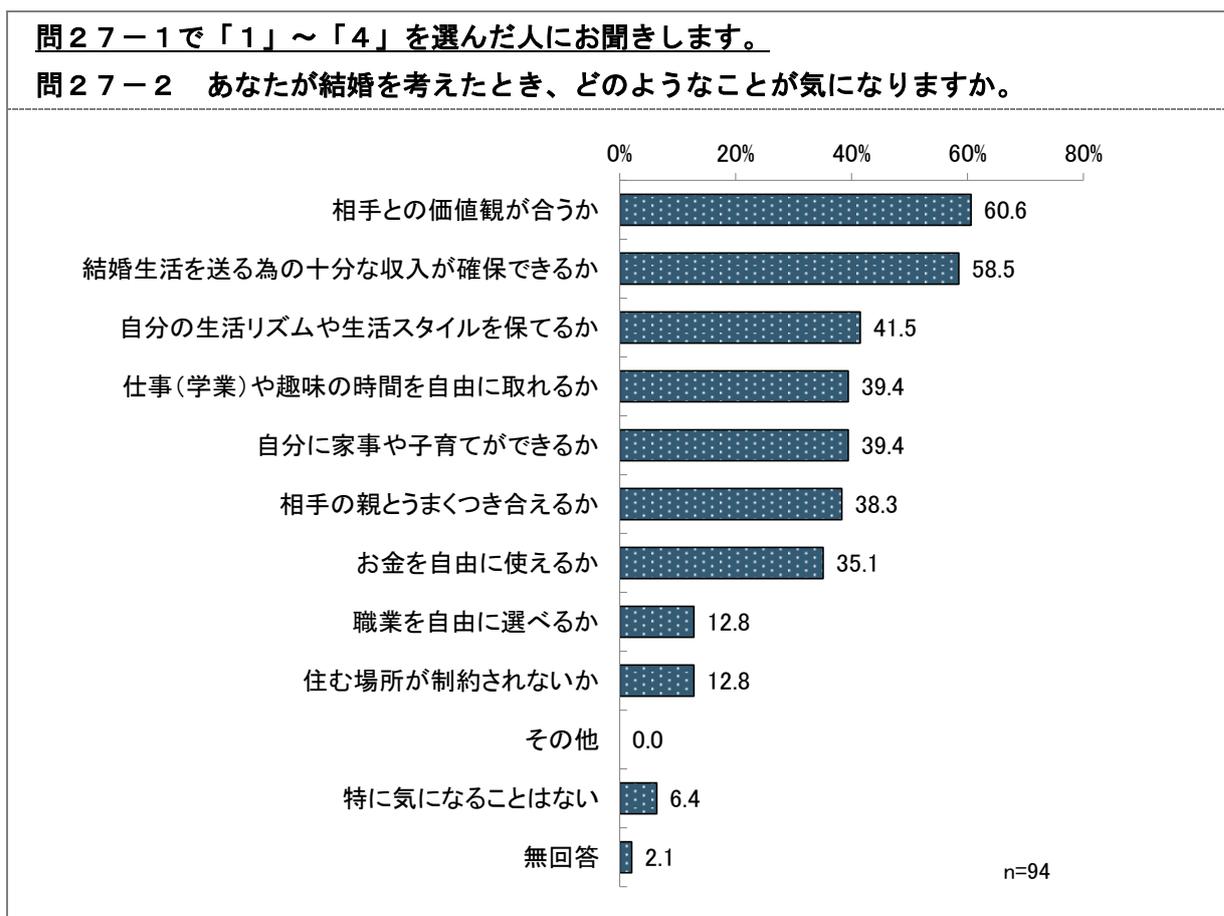
婚姻状況は、「既婚（事実婚含む）」が51.8%、「未婚」が48.2%となっている。

（5）結婚への気持ち



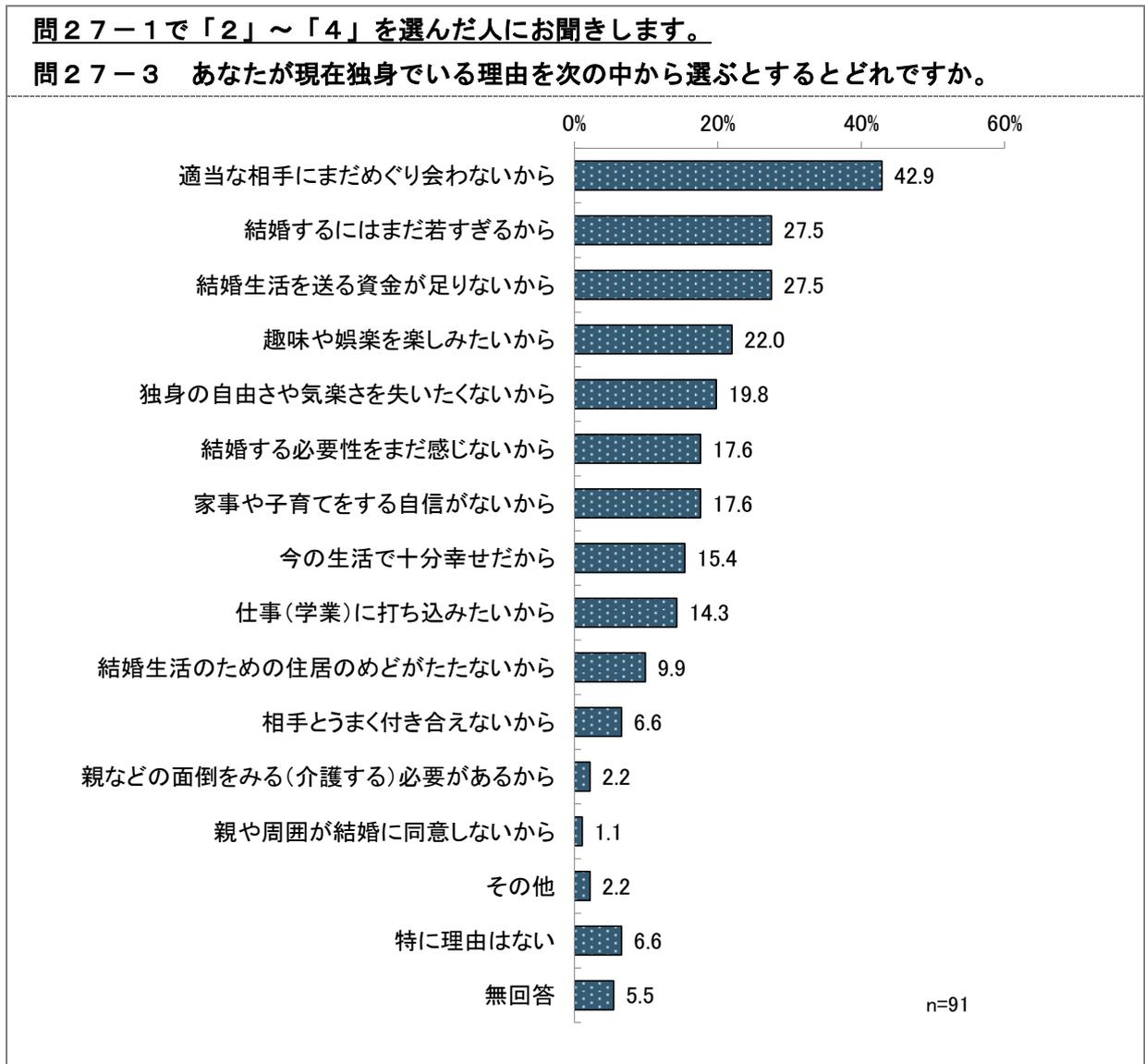
結婚への気持ちは、「いずれは結婚したい」が42.4%と最も高く、次いで「わからない」が22.9%、「結婚するつもりはない」が21.2%となっている。

（6）結婚を考えたときに気になること



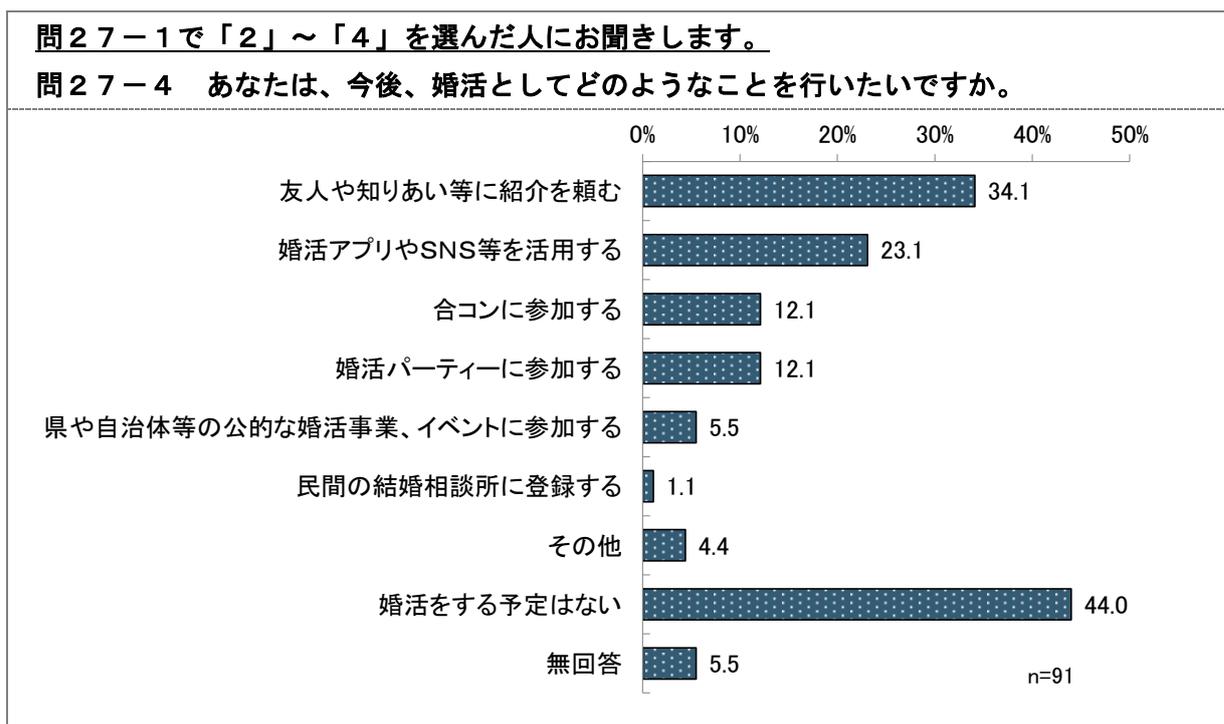
結婚を考えたときに気になることは、「相手との価値観が合うか」が60.6%と最も高く、次いで「結婚生活を送る為の十分な収入が確保できるか」が58.5%、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が41.5%となっている。

(7) 独身でいる理由



独身でいる理由は、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が42.9%と最も高く、次いで「結婚するにはまだ若すぎるから」「結婚生活を送る資金が足りないから」がそれぞれ27.5%、「趣味や娯楽を楽しみたいから」が22.0%となっている。

（8）婚活の方法

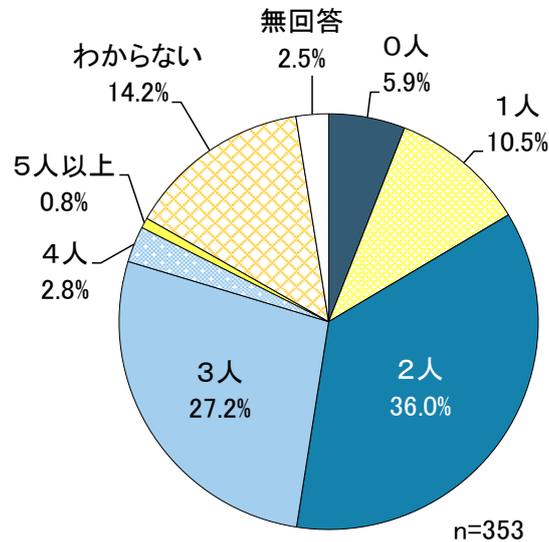


婚活の方法は、「友人や知りあい等に紹介を頼む」が34.1%と最も高く、次いで「婚活アプリやSNS等を活用する」が23.1%、「合コンに参加する」「婚活パーティーに参加する」がそれぞれ12.1%となっている。「婚活をする予定はない」は、44.0%となっている。

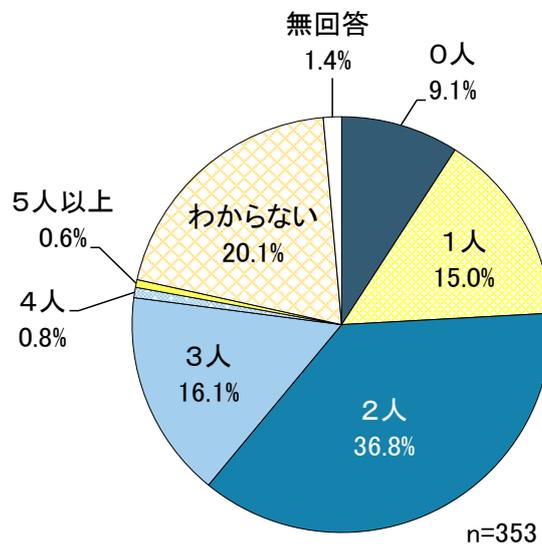
（9）理想と実際に持つ子どもの人数

問28 あなたにとって「①理想とする子どもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか。

【①理想とする子どもの人数】



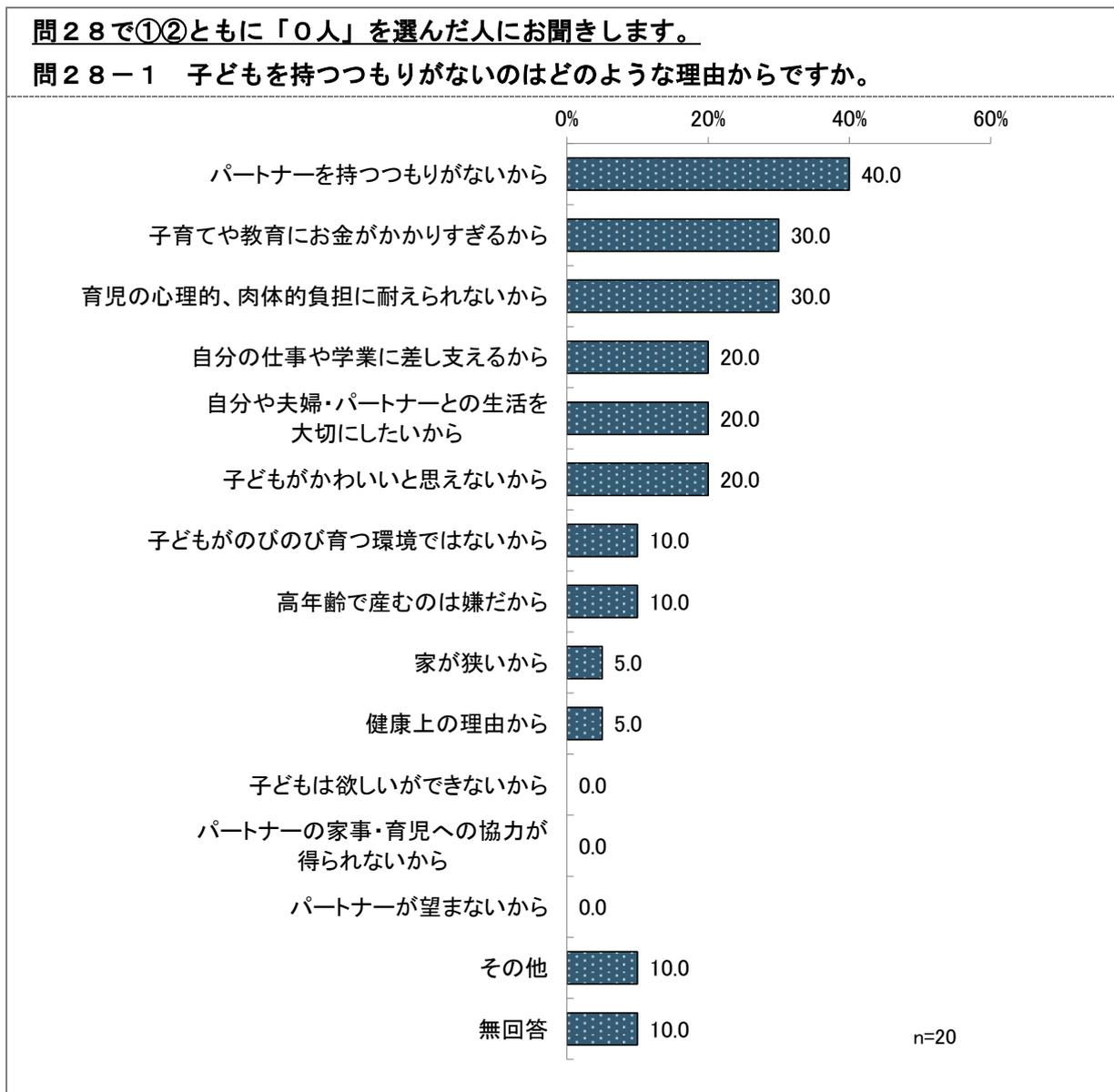
【②実際に持つつもりの子どもの人数】



理想とする子どもの人数は、「2人」が36.0%と最も高く、次いで「3人」が27.2%、「わからない」が14.2%となっている。

実際に持つつもりの子どもの人数は、「2人」が36.8%と最も高く、次いで「わからない」が20.1%、「3人」が16.1%となっている。

（10）子どもを持つつもりがない理由

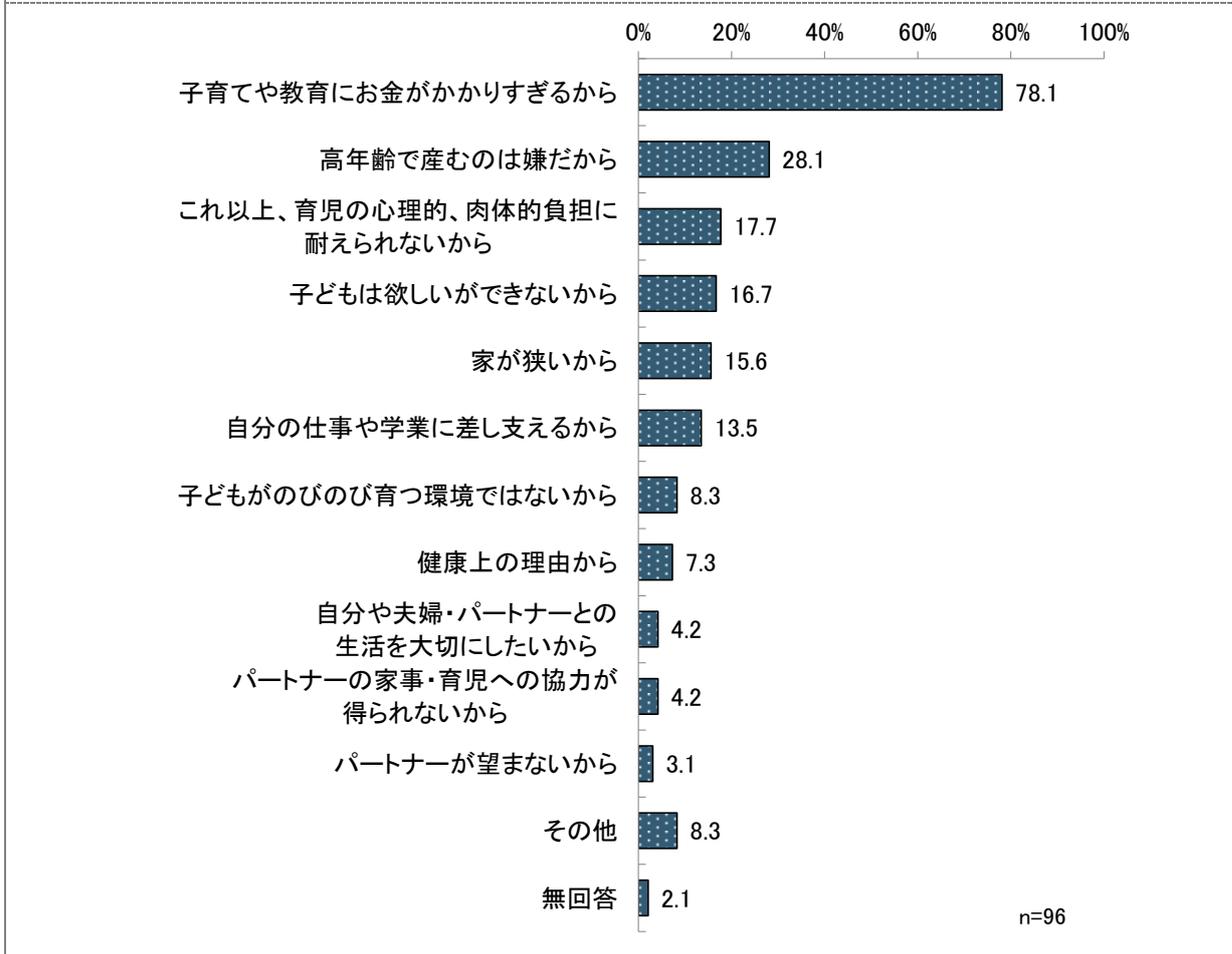


子どもを持つつもりがない理由は、「パートナーを持つつもりがないから」が40.0%と最も高く、次いで「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」がそれぞれ30.0%、「自分の仕事や学業に差し支えるから」「自分や夫婦・パートナーとの生活を大切にしたいから」「子どもがかわいいと思えないから」がそれぞれ20.0%となっている。

（11）実際に持つつもりの子どもの人数が理想より少ない理由

問28で①理想とする子どもの数より②実際に持つつもりの子どもの数が少ない人にお聞きします。

問28-2 理想としている子どもの数より、実際に持つつもりの子どもの数が少ない理由は何ですか。



実際に持つつもりの子どもの人数が理想より少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が78.1%と最も高く、次いで「高年齢で産むのは嫌だから」が28.1%、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」が17.7%となっている。

6. 宇土市のことについて

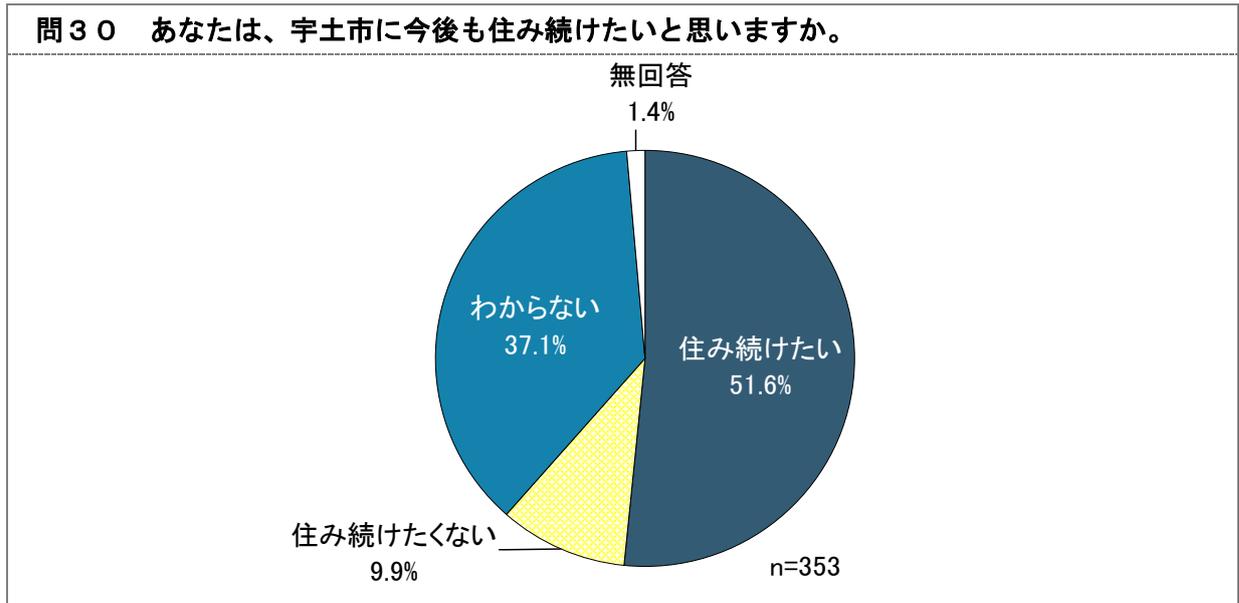
（1）宇土市のいいと思うところ（自由記述）

問29 あなたは、宇土市のいいところは何だと思えますか。

宇土市のいいと思うところ	件数
交通アクセス（熊本県の真ん中、熊本市に近い、渋滞が少ない等）	85件
生活する上で公共施設や商業施設が充実している（買い物等が便利）	58件
自然・景観（自然豊か、海が近い等）	57件
住みやすい・生活しやすい（利便性の良さ、治安が良い）	44件
静かで過ごしやすい	17件
子育て支援の充実（医療費助成制度、子育てしやすい等）	16件
人柄（優しい、温かい）	16件
ほどよい田舎	16件
行政支援の充実（商品券、補助金、検診等）	15件
熊本県の中央	7件
名所（長部田海床路、住吉自然公園、大樟、西岡台、御輿来海岸の夕焼け、轟水源等）	7件
食べ物がおいしい（海苔、野菜）	6件
祭り等の地域行事が盛ん	4件
人口密度（人が多すぎず、少なすぎず）	3件
部活動が盛ん	2件

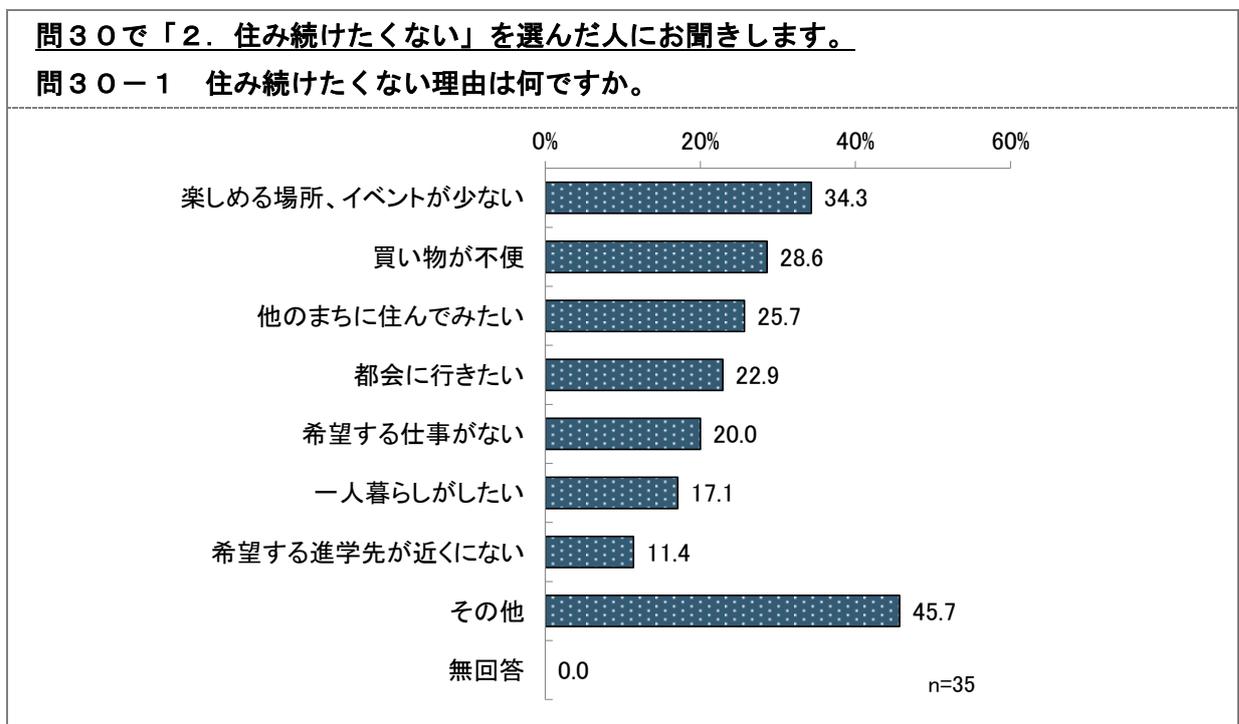
宇土市のいいと思うところは、「交通アクセス」が85件と最も多く、次いで「生活する上で公共施設や商業施設が充実している」が58件、「自然・景観」が57件となっている。

(2) 宇土市に住み続けたいと思うか



宇土市に住み続けたいと思うかは、「住み続けたい」が51.6%と最も高く、次いで「わからない」が37.1%、「住み続けたくない」が9.9%となっている。

(3) 宇土市に住み続けたくない理由



宇土市に住み続けたくない理由は、「楽しめる場所、イベントが少ない」が34.3%と最も高く、次いで「買い物が不便」が28.6%、「他のまちに住んでみたい」が25.7%となっている。また、「その他」として、「子育て環境（子どもの遊ぶところが少ない、保育園の入園ができない、子育て世帯に十分優しいとは感じない、給食費が無償ではない等）」「職場が市内にある」「通学路が危険。夜道が暗すぎる」等の回答があった。

（4）もっと住みやすいまちにするために必要なこと（自由記述）

問31 最後に、今後も宇土市に住み続けるため、また、もっと住みやすいまちにするために必要なことは何だと思えますか。ご自由にご記入ください。

主な内容は、下記のとおりである。

【商業施設の充実】

- ・遊ぶ場所を増やす（映画館、遊具がある施設）。
- ・商業施設の充実。
- ・少しでも若い人が集まるような店があれば、若い世代の人たちが宇土から出て行くことは少なくなるのではないかと思う。

等

【公園や遊び場の充実】

- ・公園の遊具を充実させて欲しい。
- ・小さい公園がたくさんあるよりもきちんと整備されて遊具やベンチ、植物（花や芝生）が豊富な公園がひとつある方が利用しやすい（駐車場も欲しい）。ムダな公園が多すぎると思う（その経費をまわすべき）。土日雨の日利用できる施設が欲しい。

等

【子育て支援の充実】

- ・保育所や病児施設の充実。熊本市との連携をお願いします。または宇土市の病児施設「バンド」の充実をお願いします。
- ・地域が活性化するような取り組み、子どもの医療費や育児にかかる支援金。
- ・子供（子育て）への手厚さにもっと力を入れるとこれから先、宇土市を出ずに、今の若者たちが宇土市で暮らし、宇土市で新しい家庭を築いていって欲しいと思います。

等

【道路交通環境整備】

- ・通学に歩道のないところがあるので作ってほしい。
- ・道にゴミが多い。ゴミ拾い活動をした方がいい。道のデコボコが気になるので早急に対応してほしい。
- ・冠水、水害対策。
- ・渋滞緩和、道路の消えた白線の補正。

等

【交通網の整備】

- ・バス停が少ない。
- ・公共交通機関を増やす。

等

【その他の意見】

- ・就労環境（企業の誘致、給料の底上げ、就職を宇土市内でもできるようにすること等）
- ・待機児童の解消、保育園の職員数の増員。
- ・図書館と児童センターの建物の見直し。
- ・障害があったり高齢になったときに孤独にならないような環境づくり。
- ・子育てがしやすい街づくり、老後も安心して住み続けることができる市になってほしい。
- ・市の発展と繁栄につながるための施策。人口を増やすために教育施設の拡充や交通インフラの改善、雇用機会の拡大。
- ・まちの活性化。

等

資料編

I 調査票

1. 子育て支援に関するアンケート

(1) 就学前児童



就学前児童の保護者用

子育て支援に関するアンケート

いただいた回答は宇土市の子育て支援の充実に生かされます

【ご協力をお願い】

宇土市では、第2期宇土市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～6年度）に基づき、「宇土っ子のゆたかな心と 元気な体を育む」を基本理念として様々な事業を実施してきました。

引き続き、こどもの笑顔があふれるまちづくりを進めるため、「第3期宇土市子ども・子育て支援事業計画（宇土市子ども計画）」を作成します。

この計画を作るにあたっては、保育や子育て支援などについて、どのようなサービスがどれだけ必要かを把握することが欠かせません。

そこで、就学前のお子さま約 1,000 人の方に調査票を送付して、その保護者の方にアンケートを行います。このアンケートは、日ごろのみなさんの考えや気持ちをお答えいただき、子どもが宇土市に住みたい、そして、住み続けたいと思えるような宇土市をつくるために貴重なご意見をいただくためのアンケートです。

寄せられたご意見・ご要望は計画書作成の基礎資料として大切に活用させていただきますので、ぜひとも皆さまのご協力をお願いします。

令和6年4月

宇土市長 元松茂樹

〈パソコンやスマートフォン等からオンラインで回答も可能です〉

以下のQRコードを読み込むか、URLを入力してアクセスしてください。
回答時には以下ログインIDとパスワードが必要になります。

QRコード



URL

https://src3.webcas.net/form/pub/src3/uto_maehogosya

※オンラインで回答した場合、この調査票の返送は不要です。

【ご記入のお願い】

1. 特にただし書きのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がご回答ください。
3. 回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ただし書きや矢印に従ってご回答ください。
5. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に封入して郵便ポストにご投入いただくか、**宛名のお子さんが市内保育園・幼稚園に入園中の場合は、通われている園へ提出してください。4月30日（火）までに提出をお願いします。**
6. ご不明な点、その他アンケートに関して疑問な点などがございましたら、下記にお問い合わせください。

宇土市 健康福祉部 子育て支援課 保育支援係
電話：0964-27-3323

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

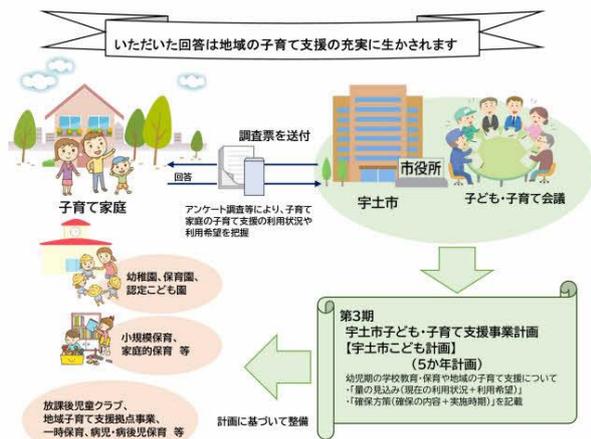
なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、国が推進している「子ども・子育て支援新制度」は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者の、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、頼りとしての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



1 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問 1 あなたの住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つだけ○)

1. 宇土 2. 花園 3. 轟 4. 走湯
5. 緑川 6. 網津 7. 網田

問 2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

西暦()年 ()月生まれ

問 3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含まれた人数()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいられる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月:西暦()年 ()月生まれ

問 4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つだけ○)

1. 母親 2. 父親
3. その他()

問 5 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つだけ○)

1. 配偶者がいる(事実婚を含む) 2. 配偶者はいない

問 6 宛名のお子さんと一緒に暮らしている人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○) ご回答いただいている方で一緒に暮らしているのであればお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟・姉妹 4. 祖父
5. 祖母 6. その他()

問 7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父祖母 5. その他()

問 8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。(1つだけ○)

1. いる/ある 問 9 (1)へ 2. いない/ない 問 10へ

問 9 で「1. いる/ある」に○をつけた方うかがいます。

問 9 (1) お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者 2. その他の家族・親族
3. 近所の人 4. 知人や友人
5. 保育所・幼稚園など 6. 子育て支援センターなどの行政機関や相談窓口
7. 医師・看護師などの医療機関の職員 8. 民生委員・児童委員、主任児童委員
9. インターネットの相談窓口やネット仲間 10. その他()

問 10 現在の生活に経済的なゆとりがありますか。(1つだけ○)

1. かなりある 2. まあまあある 3. ふつう 4. あまりない 5. まったくない

2 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労

問 11 (1) 母親【母親がいない場合は記入は不要です】(1つだけ○)

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. これまで就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問 11 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方うかがいます。

問 11 (1) - 1 「就労日数」、「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり()日 1日当たり()時間

問 11 (1) - 2 「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。

時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は「9時~18時」のように24時間制でご記入ください。

家を出る時刻()時()分頃 帰宅時刻()時()分頃

問 11 (1) で「3、4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方うかがいます。

問 11 (1) - 3 フルタイムへの転換(就労形態の転換)希望はありますか。(1つだけ○)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問 11 (1) で「5、6」に○をつけた方うかがいます。

問 11 (1) - 4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→1週当たり()日 1日当たり()時間

問 11 (2) 父親【父親がない場合は記入は不要です】 (1つだけ○)

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問 11 (2) で「1～4」(就労している)に○をつけた方うかがいます。

問 11 (2) -1 「就労日数」、「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

問 11 (2) -2 「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。

時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

家を出る時刻 () 時 () 分頃 帰宅時刻 () 時 () 分頃

問 11 (2) で「3、4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方うかがいます。

問 11 (2) -3 フルタイムへの転換(就労形態の転換)希望がありますか。(1つだけ○)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問 11 (2) で「5、6」に○をつけた方うかがいます。

問 11 (2) -4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったときに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
→1週当たり () 日 1日当たり () 時間

3 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ ここでは「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 12 (1) に示した事業が含まれます。

問 12 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つだけ○)

1. 利用している **問 12 (1) へ** 2. 利用していない **問 12 (4) へ**

問 12 で「1.利用している」に○をつけた方うかがいます。

問 12 (1) 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(園)(国が定める最低基準に適合した施設で定員20人以上の県の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ県の認可を受けた施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した定員6～19人の市町村の認可を受けた施設)
6. 家庭的保育(保育者の家庭などで5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
10. ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()

問 12 (2) 平日定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時～何時まで)かを、() 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず24時間制(例:9時～18時)でご記入ください。日数、時間については、平均でお答えください。

(1) 現在 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 () 時～ () 時
(2) 希望 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 () 時～ () 時

問 12 (3) 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。

1. 宇土市内 2. 他の市町村

問 12 で「2.利用していない」に○をつけた方うかがいます。

問 12 (4) 利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で教育・保育の事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため () 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他 ()

すべての方うかがいます。

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(園)(国が定める最低基準に適合した施設で定員20人以上の県の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ県の認可を受けた施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した定員6～19人の市町村の認可を受けた施設)
6. 家庭的保育(保育者の家庭などで5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
10. ファミリーサポートセンター(地域住民が子どもを預かる事業)
11. その他 ()
12. 利用する必要はない **問 14 へ**

問 13 (1) 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(1つだけ○)

1. 宇土市内 2. 他の市町村

問 13 で「1」または「2」に○をつけ、かつ「3～11」にも○をつけた方うかがいます。

問 13 (2) 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つだけ○)

1. はい 2. いいえ

4 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を () 内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
→ 1週当たり () 回 もしくは 1か月当たり () 回 程度
2. その他宇土市で実施している類似の事業(具体名:)
→ 1週当たり () 回 もしくは 1か月当たり () 回 程度
3. 利用していないし、今後もしない
4. 利用していないが、今後利用したい

問 15 問 14 のような地域子育て支援拠点事業について、今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いますが、あてはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を () 内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 今後利用したい
→ 1週当たり () 回 もしくは 1か月当たり () 回 程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
→ 1週当たり 更に () 回 もしくは 1か月当たり 更に () 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問 16 下記の支援サービスをこれまでにご利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。それぞれのサービスごとにあてはまるものを選んでください。

	認知度・利用状況			今後の利用意向		
	利用したことがありません	利用しているが、利用したことがない	知らない	利用したい	利用しない	わからない
1 地域子育て支援拠点事業 (親子が集まって過ごしたり、相談をする場) つどいの広場、子育て支援センターなど	1	2	3	1	2	3
2 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	1	2	3	1	2	3
3 保健センターの情報・相談事業	1	2	3	1	2	3
4 家庭教育に関する学級・講座	1	2	3	1	2	3
5 保育所や幼稚園の園庭等の開放	1	2	3	1	2	3
6 子育ての総合相談窓口	1	2	3	1	2	3
7 市発行の子育て支援情報誌	1	2	3	1	2	3
8 ファミリーサポートセンター	1	2	3	1	2	3
9 産後ママサポート	1	2	3	1	2	3
10 子育て短期支援 (ショートステイ、トワイライトステイ)	1	2	3	1	2	3
11 チャイルドシートの貸し出し	1	2	3	1	2	3

5 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業[※]の利用希望について

※ 教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制(例：9時～18時)でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

問 17(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい } → 利用したい時間帯 () 時～() 時まで

問 17(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい } → 利用したい時間帯 () 時～() 時まで

問 18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、24時間制(例：9時～18時)でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい } → 利用したい時間帯 () 時～() 時まで

6 宛名のお子さんの病気の際の対応について
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問 20 にお進みください。

問 19 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかったことはありますか。

1. あった 問 19(1)へ
2. なかった 問 20へ

問 19(1) 宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育所などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ(仕事等)	() 日
イ. 母親が休んだ(仕事等)	() 日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	() 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない保護者が働いた	() 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	() 日
カ. ベビーシッターを利用した	() 日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
ク. その他()	() 日

問 19(2)へ

問 20へ

問 19(1)で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 19(2) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい
⇒ 利用を希望する日数 () 日
⇒ 利用を希望する場所
ア. 宇土市内 イ. 市外 () 市・町
2. 利用したいとは思わない

問 19(2)で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。

問 19(3) 利用したいとは思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 質に不安がある
3. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. 利用方法(手続きなど)がわからない
8. その他()



7 宛名のお子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不規則の就労などの目的で不規則に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ）	（ ）日
3. ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）	（ ）日
4. ベビーシッター	（ ）日
5. その他（ ）	（ ）日
6. 利用していない	問 20（1）へ

問 20 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 20（1） 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 質に不安がある	4. 利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
7. 利用料がわからない	8. その他（ ）
9. 利用方法（手続きなど）がわからない	

問 21 宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不規則の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の買い物など）、リフレッシュ目的	（ ）日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	（ ）日
ウ. 不規則の就労	（ ）日
エ. その他（ ）	（ ）日
2. 利用する必要はない	

問 22 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計（ ）泊
ア. 冠婚葬祭	（ ）泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	（ ）泊
ウ. 保護者や家族の病気	（ ）泊
エ. その他（ ）	（ ）泊
2. 利用する必要はない	

8 育児休業など職場の両立支援制度について

問 23 宛名のお子さんが出産した時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、お答えください（ひとり親家庭の場合は、いずれかで結構です）。（1つだけ○）

母親	父親
1. 働いていなかった 問 24 へ	1. 働いていなかった 問 24 へ
2. 取得した（取得中である） 問 23（1）へ	2. 取得した（取得中である） 問 23（1）へ
3. 取得していない 問 23（3）へ	3. 取得していない 問 23（3）へ

問 23 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 23（1） 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つだけ○）

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である 問 23（2）へ	2. 現在も育児休業中である 問 23（2）へ
3. 育児休業中に退職した	3. 育児休業中に退職した



問 23（1）で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

該当しない方は問 24 へ

問 23（2） 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（1つだけ○）

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問 23 で「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問 23（3） 取得していない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、あてはまるすべての番号を（ ）内に数字でご記入ください。

母親（ ）	父親（ ）
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	
2. 仕事が忙しかった	
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった	
4. 仕事に戻るのが難しかった	
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	
7. 保育園などに預けることができた	
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	
9. 配偶者が無職、祖父母などの親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	
10. 子育てや家事に専念するため退職した	
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	
15. その他（ ）	

問 31 宇土市の子ども・子育てに関する以下の取組について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つだけ○)

	満足	子どもの権利保障	子どもの権利保障	子どもの権利保障	子どもの権利保障	不満
1 子育てのための経済的支援 (医療費助成などの子育てのための支援がある)	1	2	3	4	5	
2 子育てに関する情報提供 (困ったときに必要な情報が受け取れる・相談ができる)	1	2	3	4	5	
3 こどもの視点に立った居場所づくりの充実 (こどもが過ごす場所がある)	1	2	3	4	5	
4 こどもや親の健康の確保 (乳幼児期までの親と子の心と身体の健康づくり支援がある)	1	2	3	4	5	
5 小児医療の充実 (こどもが病気の時でも安心できる医療体制がある)	1	2	3	4	5	
6 児童虐待防止対策の充実 (虐待を防ぐための支援やすぐに発見・対応できる体制がある)	1	2	3	4	5	
7 ひとり親家庭等の自立支援の推進 (ひとり親家庭などさまざまな状況にある家庭への支援がある)	1	2	3	4	5	
8 障がい児施策の充実 (障害や特性に応じた支援が受けられる)	1	2	3	4	5	
9 就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス (幼児教育・保育の環境やサービスの体制が整えられている)	1	2	3	4	5	

問 32 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てに関する相談や保護者同士が交流できる場を増やす
2. 子育ての意義・大切さなどの啓発
3. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援
4. 母子保健サービスや子どもの救急医療の体制の整備
5. 子どもの発達、気になる情緒や行動に関する支援の充実
6. 虐待防止など、子どもの人権を守る取り組みを進める
7. 延長保育などいろいろなニーズに合った保育サービスの充実
8. ひとり親家庭などそれぞれの家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
9. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動を活発にする
10. 放課後児童クラブや児童センターのほかにも、子どもの放課後の居場所を増やす
11. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やす
12. 子どもの「生きる力」を育むための教育の充実
13. 非行防止などの青少年健全育成対策の充実
14. 仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについての企業への啓発
15. 道路や施設などのバリアフリー化を進める
16. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める
17. その他 ()
18. 特になし

問 33 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご返函ください。



(2) 小学生



小学生の保護者用

子育て支援に関するアンケート

いただいた回答は宇土市の子育て支援の充実に生かされます

【ご協力をお願い】

宇土市では、第2期宇土市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～6年度）に基づき、「宇土市のゆたかな心と 元気な体を育む」を基本理念として様々な事業を実施してきました。

引き続き、こどもの笑顔があふれるまちづくりを進めるため、「第3期宇土市子ども・子育て支援事業計画（宇土市こども計画）」を作成します。

この計画を作るにあたっては、保育や子育て支援などについて、どのようなサービスがどれだけ必要かを把握することが欠かせません。

そこで、小学生のお子さま約 1,000 人の方へ調査票を送付して、その保護者の方にアンケートを行います。このアンケートは、日ごろのみなさんの考えや気持ちをお答えいただき、子どもが宇土市に住みたい、そして、住み続けたいと思えるような宇土市をつくるために貴重な意見をいただくためのアンケートです。

寄せられたご意見・ご要望は計画書作成の基礎資料として大切に活用させていただきますので、ぜひとも皆さまのご協力をお願いします。

令和6年4月

宇土市長 元松茂樹

（パソコンやスマートフォン等からオンラインで回答も可能です）

以下のQRコードを読み込むか、URLを入力してアクセスしてください。
回答時には以下ログインIDとパスワードが必要になります。



URL
https://src3.webcas.net/form/pub/src3/uto_syogakuoya

※オンラインで回答した場合、この調査票の返送は不要です。

【ご記入のお願い】

1. 特にただし書きのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がご回答ください。
3. 回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ただし書きや矢印に従ってご回答ください。
5. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて4月30日（火）までにご投函ください。
6. ご不明な点、その他アンケートに関して疑問な点などがございましたら、下記にお問い合わせください。

宇土市 健康福祉部 子育て支援課 保育支援係
電話：0964-27-3323

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

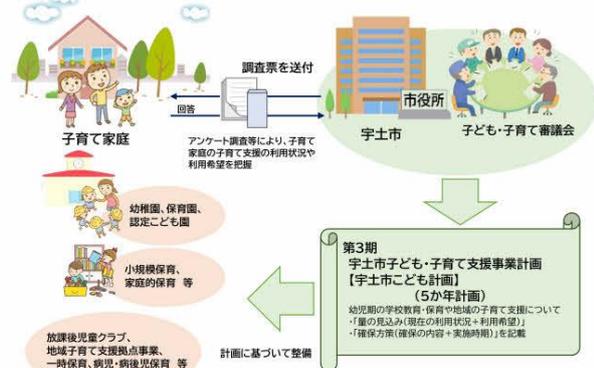
また、国が推進している「子ども・子育て支援新制度」は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者の、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



1 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

- 問 1 あなたの住まいの地区は次のうちどちらですか。（1つだけ○）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 宇土 | 2. 花園 | 3. 轟 | 4. 走湯 |
| 5. 錦川 | 6. 網津 | 7. 網田 | |
- 問 2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。（（ ）内に数字でご記入ください。）
- 小学（ ）年生
- 問 3 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ○）
1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）
- 問 4 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つだけ○）
1. 配偶者がいる（事実婚を含む） 2. 配偶者はいない
- 問 5 宛名のお子さんと一緒に暮らしている人は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）
ご回答いただいている方で一緒に暮らしているのであれば全てお答えください。
1. 母親 2. 父親 3. 兄弟・姉妹 4. 祖父
5. 祖母 6. その他（ ）
- 問 6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。
1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他（ ）
- 問 7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（当てはまるものすべてに○）
1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる
 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもない

問 8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。（1つだけ）

1. いる/ある 問 8 (1) へ 2. いない/ない 問 9 へ

問 8 で「1.いる/ある」に○をつけた方うかがいます。

問 8 (1) お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. その他の家族・親族 |
| 3. 隣近所の人 | 4. 知人・友人 |
| 5. 学校 | 6. 子育て支援センターなどの行政機関や相談窓口 |
| 7. 医師・看護師などの医療機関の職員 | 8. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 9. インターネットの相談窓口やネット仲間 | 10. その他（ ） |

問 9 現在の生活に経済的なゆとりがありますか。（1つだけ）

1. かなりある 2. まあまあある 3. ぶつう 4. あまりない 5. まったくない



2 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

問 10 (1) 母親【母親がいない場合は記入は不要です】（1つだけ）

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

問 10 (1) で「1～4」（就労している）に○をつけた方うかがいます。

問 10 (1) -1 「就労日数」、「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

問 10 (1) -2 「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。

時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

家を出る時刻（ ）時（ ）分頃 帰宅時刻（ ）時（ ）分頃

問 10 (1) で「3、4」（パート・アルバイトなどで就労している）に○をつけた方うかがいます。

問 10 (1) -3 フルタイムへの転換（就労形態の転換）希望はありますか。（1つだけ）

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している
- パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問 10 (1) で「5、6」に○をつけた方うかがいます。

問 10 (1) -4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったときに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

問 10 (2) 父親【父親がいない場合は記入は不要です】（1つだけ）

- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

問 10 (2) で「1～4」（就労している）に○をつけた方うかがいます。

問 10 (2) -1 「就労日数」、「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

問 10 (2) -2 「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。

時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

家を出る時刻（ ）時（ ）分頃 帰宅時刻（ ）時（ ）分頃

問 10 (2) で「3、4」（パート・アルバイトなどで就労している）に○をつけた方うかがいます。

問 10 (2) -3 フルタイムへの転換（就労形態の転換）希望はありますか。（1つだけ）

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している
- パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

問 10 (2) で「5、6」に○をつけた方うかがいます。

問 10 (2) -4 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったときに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

3 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業等の利用状況について

問 11 下記の支援サービスをこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思えますか。それぞれのサービスごとに当てはまるものを選んでください。

	認知度・利用状況			今後の利用意向		
	利用したことがある	利用しているが、利用していないことがある	知らない	利用したい	利用しない	わからない
1 母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1	2	3	1	2	3
2 保健センターの情報・相談事業	1	2	3	1	2	3
3 家庭教育に関する学級・講座	1	2	3	1	2	3
4 保育所や幼稚園の園庭等の開放	1	2	3	1	2	3
5 子育ての総合相談窓口	1	2	3	1	2	3
6 市発行の子育て支援情報誌	1	2	3	1	2	3
7 ファミリーサポートセンター	1	2	3	1	2	3
8 児童センター	1	2	3	1	2	3
9 放課後児童クラブ（学童保育）※1	1	2	3	1	2	3
10 放課後等デイサービス	1	2	3	1	2	3
11 子育て短期支援（ショートステイ、トワイライトステイ）	1	2	3	1	2	3

※1 「放課後児童クラブ（学童保育）」…保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもに生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

4 宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。

1. あった [問 12 \(1\) ^](#) 2. なかった [問 13 ^](#)

問 12 (1) お子さんが病気や病後（感染症など）、またはけがで学校を休んだり、放課後児童クラブ（学童保育所）などの預かりサービスが利用できなかったりしたことがあった場合の、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ（仕事等）	() 日
イ. 母親が休んだ（仕事等）	() 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	() 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない保護者が看た	() 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	() 日
カ. ベビーシッター、チャイルドシッターを利用した	() 日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
ク. その他 ()	() 日

[問 12 \(2\) ^](#)

[問 13 ^](#)

問 12 (1) で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 12 (2) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい
⇒ 利用を希望する日数 () 日
⇒ 利用を希望する場所

ア. 宇土市内 イ. 市外 () 市・町

2. 利用したいとは思わない

[問 13 ^](#)

[問 12 \(3\) ^](#)

問 12 (2) で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 12 (3) その理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
2. 質に不安がある
3. 利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. 利用方法（手続きなど）がわからない
8. その他 ()

5 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 13 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに認定こども園や一部の認可保育所などで一時的に子どもを預かる事業）	() 日
2. ファミリーサポートセンター（地域住民が子どもを預かる事業）	() 日
3. ベビーシッター、チャイルドシッター	() 日
4. その他 ()	() 日
5. 利用していない	

問 14 宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計() 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない	

問 15 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計() 泊
ア. 冠婚葬祭	() 泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	() 泊
ウ. 保護者や家族の病気	() 泊
エ. その他 ()	() 泊
2. 利用する必要はない	

6 通信端末の利用についておうかがいします。

問 16 あなたは、宛名のお子さんに携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの通信端末を持たせていますか。（1つだけ○）

1. 持たせている [問 16 \(1\) ^](#)
2. 持たせていない [問 17 ^](#)

問 16 で「1. 持たせている」に○をつけた方にお尋ねします。

問 16 (1) あなたは、宛名のお子さんが携帯電話等を利用する場合、何かのルールを決めていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用する時間を限定している
2. 利用する場所を限定している
3. 利用する目的を限定している
4. フィルタリングをかけている
5. その他のルールを決めている ()
6. 特にルールは決めず、子どもに任せている

10 すべての方に、育児休業など職場の両立支援制度について

問 24 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない

問 24 で「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問 24 (1) 取得していない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、当てはまるすべての番号を（ ）内に数字でご記入ください。

母親	父親
()	()
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母などの親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他()	

11 宛名のお子さんにかかわらず、子育て全般についてうかがいます。

問 25 あなたは、子育てをどのように思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 大変楽しい | 2. 楽しいことが多い |
| 3. つらいと感じるときが多い | 4. とてもつらい |

問 26 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか。(1つだけ○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 十分ある | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない |

問 27 ふだん家族の間で会話などのコミュニケーションができていますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 十分できている | 2. まあまあできている |
| 3. あまりできていない | 4. 全くできていない |

問 28 家族で協力して子育てをしていますか。(1つだけ○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 十分協力している | 2. まあまあ協力している |
| 3. あまり協力していない | 4. 全く協力していない |

問 29 あなたは、近所つきあいをどの程度していますか。(1つだけ○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. お互いの家を行き来する | 2. 会えば会話をする |
| 3. 会えば挨拶をする | 4. つきあいはない |

問 30 地域の人から子どものことで声をかけてもらうことがありますか。(1つだけ○)

- | | |
|-----------|---------|
| 1. よくある | 2. 時々ある |
| 3. ほとんどない | 4. 全くない |

問 31 子育てに不安や負担を感じることはありませんか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 不安や負担を感じる | 2. 多少は不安や負担を感じる |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | 4. 不安や負担などは感じない |
| 5. なんともいえない | |

問 32 宇土市は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 思う | 2. どちらかといえば思う |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかといえば思わない |
| 5. 思わない | |

問 33 宇土市の子ども・子育てに関する以下の取組について、どの程度満足していますか。(それぞれ1つだけ○)

	満足	やや満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
1 子育てのための経済的支援 (医療費助成などの子育てのための支援がある)	1	2	3	4	5
2 子育てに関する情報提供 (困ったときに必要な情報が受け取れる・相談ができる)	1	2	3	4	5
3 子どもの視点に立った居場所づくりの充実 (子どもが過ごす場所がある)	1	2	3	4	5
4 子どもや親の健康の確保 (乳幼児期までの親と子の心と身体の健康づくり支援がある)	1	2	3	4	5
5 小児医療の充実 (子どもが病気の時でも安心できる医療体制がある)	1	2	3	4	5
6 児童虐待防止対策の充実 (虐待を防ぐための支援やすぐに発見・対応できる体制がある)	1	2	3	4	5
7 ひとり親家庭等の自立支援の推進 (ひとり親家庭などさまざまな状況にある家庭への支援がある)	1	2	3	4	5
8 障がい児施策の充実 (障害や特性に応じた支援が受けられる)	1	2	3	4	5
9 就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス (幼児教育・保育の環境やサービスの体制が整えられている)	1	2	3	4	5

問 34 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。(1つだけ○)

- ※「子どもの権利」とは、「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。
- ① 生きる権利…住む場所や食べ物がある。医療が受けられる。命が守られる。
 - ② 育つ権利…教育が受けられる。持っている能力を伸ばせる。
 - ③ 守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。幸せを奪われない。
 - ④ 参加する権利…自分の意見を自由に言える。団体活動や集会を開ける。

- | |
|-----------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前は知っているが内容は知らなかった |
| 3. 知らなかった |

問 35 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと |
| 2. 障がいのある子が差別されないこと |
| 3. 子どもが知りたいことを隠さないこと |
| 4. 暴力や言葉で傷つけないこと |
| 5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと |
| 6. 自分の考えを自由に言えること |
| 7. 人と違う自分らしさが認められること |
| 8. 自分の秘密が守られること |
| 9. 自分のことは自分で決められること |
| 10. 自由な時間をもつこと |
| 11. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること |
| 12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること |

問 36 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(1つだけ○)

- | |
|----------------|
| 1. 常に行っている |
| 2. ときどきしている |
| 3. あまりしていない |
| 4. まったくしたことがない |

資料編

問 37 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てに関する相談や保護者同士が交流できる場を増やす
2. 子育ての意義・大切さなどの啓発
3. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援
4. 母子保健サービスや子どもの救急医療の体制の整備
5. 子どもの発達、気になる情緒や行動に関する支援の充実
6. 虐待防止など、子どもの人権を守る取り組みを進める
7. 延長保育などいろいろなニーズに合った保育サービスの充実
8. ひとり親家庭などそれぞれの家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
9. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動を活発にする
10. 放課後児童クラブや児童センターのほかにも、子どもの放課後の居場所を増やす
11. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やす
12. 子どもの「生きる力」を育むための教育の充実
13. 非行防止などの青少年健全育成対策の充実
14. 仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについての企業への啓発
15. 道路や施設などのバリアフリー化を進める
16. 子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める
17. その他 ()
18. 特にない

問 38 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。切手は封らずに同封の封筒に入れ、ご返送ください。

2. 子どもの生活に関するアンケート

(1) 小学生5年生・中学生2年生

小学生・中学生対象

宇土市 子どもの生活に関するアンケート

1

1. あなたのことについてお答えください。

問1 あなたは、小学生ですか？中学生ですか？(○は1つ)

1. 小学5年生 2. 中学2年生

問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1. 宇土 2. 花園 3. 轟 4. 走湯
5. 緑川 6. 網津 7. 網田

問4 あなたと一緒に住んでいる人をお答えください。(○はいくつでも)

1. お母さん 2. お父さん 3. おばあちゃん
4. おじいちゃん 5. 兄弟姉妹 6. その他()

2

2. 学校や勉強のことでお答えください。

問5 あなたは、学校生活を楽しいと思っていますか？(○は1つ)

- 1. 楽しいと思っている ■問6
- 2. 少し楽しいと思っている ■問6
- 3. 少し楽しくないと思っている ■問5-1～問5-2
- 4. 楽しくないと思っている ■問5-1～問5-2

この質問は、問5で「3」または「4」を選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問6から答えてください。

問5-1 あなたが学校生活を楽しくないと思う理由は何ですか？(○はいくつでも)

- 1. 学校の勉強がきらいだから
- 2. 授業がおもしろくないと感じるから
- 3. 学校の校則が厳しいから
- 4. 友達との関係がうまくいっていないから
- 5. 先生との関係がうまくいっていないから
- 6. 心や体の調子が悪いから
- 7. その他 ()

この質問は、問5で「3」または「4」を選んだ人にお聞きします。

問5-2 あなたは、今後楽しくないと思う理由を改善したいと思いませんか？(○は1つ)

- 1. そうしたい
- 2. そうしたいと思わない

ここからは、すべての方にお聞きします。

問6 あなたは、学校の授業でわからないことがありますか？(○は1つ)

- 1. いつもわかる
- 2. だいたいわかる
- 3. 教科によってわからないことがある
- 4. わからないことが多い
- 5. ほとんどわからない

問7 あなたは、勉強がわからないとき誰に教えてもらいますか？(○はいくつでも)

- 1. 親(保護者)
- 2. 親(保護者)以外の家族
- 3. 友達
- 4. 学校の先生
- 5. 塾や習い事などの先生
- 6. その他 ()
- 7. 教えてもらえる人はいない

問8 あなたは、将来、どの段階まで進学したいと思っていますか？(○は1つ)

- 1. 中学校
- 2. 高等学校
- 3. 高等専門学校
- 4. 専門学校
- 5. 短大
- 6. 大学
- 7. 大学院
- 8. その他 ()
- 9. 考えたことがない
- 10. わからない

問9 あなたが将来なりたい職業は何ですか？ご自由にお書きください。

問10 あなたは、外国に興味がありますか？(○はいくつでも)

- 1. 外国に行ってみたい
- 2. 外国に住んでみたい
- 3. 外国語を話せるようになりたい
- 4. 外国の人の友達・知り合いがいたい
- 5. 外国の人と話してみたい
- 6. その他 ()
- 7. 外国に興味がない

3. 放課後や休日のことについてお答えください。

問11 あなたは、放課後、休日にどこで過ごすことが多いですか？また、あなたにとってホットできる・安心できる場所はどこですか？(○はいくつでも)

	放課後・休日に通う場所	ホットできる場所・安心できる場所
① 自宅のリビング・居間	1	1
② 自分の部屋	2	2
③ 塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)	3	3
④ おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家	4	4
⑤ 友達の家	5	5
⑥ 学童クラブ	6	6
⑦ 学校の教室以外の場所(図書室、保健室など)	7	7
⑧ ショッピングセンターやファストフードなお店	8	8
⑨ 図書館や公民館施設	9	9
⑩ 無料が安く食事をとれるところ(子ども食堂など)	10	10
⑪ SNSなどのインターネットコミュニティ	11	11
⑫ その他 ()	12	12
⑬ そのような場所はない	13	13

この質問は、問11で「①」～「⑫」をひとつでも選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問12から答えてください。

問11-1 あなたは、放課後、休日に一番過ごすことが多いところはどこですか？また、あなたにとって一番ホットできる・安心できる場所はどこですか？(○は1つ)

問11で選んだ選択肢のみ表示	放課後・休日に通う場所	ホットできる場所・安心できる場所
① 自宅のリビング・居間	1	1
② 自分の部屋	2	2
③ 塾や習い事の場所(音楽やスポーツを含む)	3	3
④ おばあちゃん・おじいちゃん、親せきの家	4	4
⑤ 友達の家	5	5
⑥ 学童クラブ	6	6
⑦ 学校の教室以外の場所(図書室、保健室など)	7	7
⑧ ショッピングセンターやファストフードなお店	8	8
⑨ 図書館や公民館施設	9	9
⑩ 無料が安く食事をとれるところ(子ども食堂など)	10	10
⑪ SNSなどインターネットコミュニティ	11	11
⑫ その他 ()	12	12

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 12 あなたはこれまでに次のような場所や制度を利用したことがありますか？
(○はそれぞれ1ずつ)

	利用したことがある	利用したことはない
① 図書館	1	2
② 児童センター	1	2
③ 公園	1	2
④ 学童クラブ	1	2
⑤ スポーツクラブ	1	2
⑥ ほっとスペース	1	2
⑦ こども食堂	1	2

この質問は、問 12 で「利用したことがある」を選んだ人にお聞きします。
それ以外の方は問 13 から答えてください。

問 12-1 あなたは、そこを利用してどのような変化がありましたか？
(○はそれぞれいくつでも)

① 図書館	1. 友達が増えた 2. 気軽に話せる大人が増えた 3. 生活の中で楽しみが増えた 4. ほっとできる時間が増えた 5. 勉強がわかるようになった 6. 勉強をする時間が増えた 7. その他 () 8. 特に変化はない
-------	---

7

② 児童センター	1. 友達が増えた 2. 気軽に話せる大人が増えた 3. 生活の中で楽しみが増えた 4. ほっとできる時間が増えた 5. 勉強がわかるようになった 6. 勉強をする時間が増えた 7. 運動が楽しく思えるようになった 8. その他 () 9. 特に変化はない
③ 公園	1. 友達が増えた 2. 生活の中で楽しみが増えた 3. ほっとできる時間が増えた 4. 運動が楽しく思えるようになった 5. その他 () 6. 特に変化はない
④ 学童クラブ	1. 友達が増えた 2. 気軽に話せる大人が増えた 3. 生活の中で楽しみが増えた 4. ほっとできる時間が増えた 5. 勉強がわかるようになった 6. 勉強をする時間が増えた 7. 運動が楽しく思えるようになった 8. その他 () 9. 特に変化はない
⑤ スポーツクラブ	1. 友達が増えた 2. 気軽に話せる大人が増えた 3. 生活の中で楽しみが増えた 4. ほっとできる時間が増えた 5. 運動が楽しく思えるようになった 6. その他 () 7. 特に変化はない

8

⑥ ほっとスペース	1. 友達が増えた 2. 気軽に話せる大人が増えた 3. 生活の中で楽しみが増えた 4. ほっとできる時間が増えた 5. 勉強がわかるようになった 6. 勉強をする時間が増えた 7. 運動が楽しく思えるようになった 8. その他 () 9. 特に変化はない
⑦ こども食堂	1. 友達が増えた 2. 気軽に話せる大人が増えた 3. 生活の中で楽しみが増えた 4. ほっとできる時間が増えた 5. 栄養のある食事をとれることが増えた 6. その他 () 7. 特に変化はない

9

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 13 あなたは、放課後や休日どのような場所であれば行ってみたいと思いますか？
(○はいくつでも)

1. いつでも行きたい時に行けるところ
2. 一人で過ごせたり、何もせずのんびりできるところ
3. ありのままにいられる、自分を否定されないところ
4. 好きなことをして自由に過ごせるところ
5. 新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできるところ
6. 悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいるところ
7. いろんな人と出会える、友達と一緒に過ごせるところ
8. 自分の意見や希望を受け入れてもらえるところ
9. その他 ()
10. 特に行ってみたいと思わない

問 14 あなたは、放課後や休日に体を動かしますか？(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

この質問は、問 14 で「1.はい」を選んだ人にお聞きします。
それ以外の方は問 15 から答えてください。

問 14-1 あなたは、放課後や休日にどのようなところで運動をしていますか？
(○はいくつでも)

1. 部活動
2. スポーツクラブ・習い事
3. 友達などと、放課後や休日にスポーツをする
4. その他 ()

10

問 15 あなたは、自分のスマートフォンなどを持っていますか？または、親(保護者)などのものを使用していますか？※学校で配布されているものは除く。(〇はいくつでも)

	自分 のもの を持っ ていま いる	親(保 護者) など の物 を使 って いる
① ガラケー・キッズ携帯	1	1
② スマートフォン	2	2
③ タブレット	3	3
④ パソコン	4	4
⑤ ゲーム機	5	5
⑥ 持っていない/使っていない	6	6

この質問は、問 15 で「①」～「⑤」をひとつでも選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問 16 から答えてください。

問 15-1 あなたは、どのような目的でそれらを使用しますか？(〇はそれぞれいくつでも)

① ガラケー・キッズ携帯	1. メッセージ・メールのやり取り 2. 通話 3. SNS 4. 音楽を聴く 5. 動画を見る 6. インターネット検索 7. ゲーム 8. その他()
② スマートフォン	1. メッセージ・メールのやり取り 2. 通話 3. SNS 4. 音楽を聴く 5. 動画を見る 6. インターネット検索 7. ゲーム 8. その他()
③ タブレット	1. メッセージ・メールのやり取り 2. 通話 3. SNS 4. 音楽を聴く 5. 動画を見る 6. インターネット検索 7. ゲーム 8. その他()
④ パソコン	1. メッセージ・メールのやり取り 2. 通話 3. SNS 4. 音楽を聴く 5. 動画を見る 6. インターネット検索 7. ゲーム 8. その他()
⑤ ゲーム機	1. メッセージ・メールのやり取り 2. 通話 3. SNS 4. 音楽を聴く 5. 動画を見る 6. インターネット検索 7. ゲーム 8. その他()

問 16 あなたは、学校以外で、1日当たりどれくらいの時間、メール・SNS・ゲーム・動画視聴などのインターネットを利用しますか？(〇は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 30分より少ない | 2. 30分以上1時間より少ない |
| 3. 1時間以上2時間より少ない | 4. 2時間以上3時間より少ない |
| 5. 3時間以上4時間より少ない | 6. 4時間以上5時間より少ない |
| 7. 5時間以上 | 8. 全く利用しない |

4. ふだんの生活のことについてお答えください。

問 17 あなたの週の食事などの状況について①～③の状況についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

① 朝食	1. 毎日食べる(週7日) 3. 週3～4日 5. 食べない	2. 週5～6日 4. 週1～2日
② 夕食	1. 毎日食べる(週7日) 3. 週3～4日 5. 食べない	2. 週5～6日 4. 週1～2日
③ 学校が休みの時の昼食	1. いつも食べる	2. たまに食べる 3. 食べない

この質問は、問 17「①朝食」で「2」～「5」を選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問 18 から答えてください。

問 17-1 あなたが朝ごはんを食べない時があるのはなぜですか？(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 食べる時間がないから | 2. 食べたくないから(食よくないから) |
| 3. 太りたくないから | 4. 朝ごはんの用意がないから |
| 5. おうちの人も朝ごはんを食べていないから | 6. その他() |

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 18 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きて、夜何時ごろに寝ますか？時間を 24 時間制で記入してください。
例「午後 9 時 30 分」の場合→「21 時 30 分」と記入してください。

① 起床	() 時 () 分 ごろ
② 就寝	() 時 () 分 ごろ

問 19 あなたの健康状態をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 健康である | 2. まあまあ健康である |
| 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |

問 20 あなたは、親(保護者)と十分な時間を過ごしていますか？(○は1つ)

1. 十分に過ごしている 2. 過ごしている
3. あまり過ごしていない 4. 過ごしていない

問 21 あなた自身について、次のことはどのくらいあてはまりますか？(○はそれぞれ1つずつ)

	あてはまる	少しあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	わからない
① 自分には自分らしさというものがあと思う	1	2	3	4	5
② 今の自分が好き	1	2	3	4	5
③ 上手くいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4	5
④ 自分の親(保護者)から愛されていると思う	1	2	3	4	5
⑤ 自分を助けてくれる人がいる	1	2	3	4	5
⑥ 社会のために役に立つことをしたい	1	2	3	4	5
⑦ 将来について明るい希望を持っている	1	2	3	4	5

問 22 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか？(○は1つ) 「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字でお答えください。

○：まったく満足していない 十分に満足している：10

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問 23 あなたは、今のようなことで悩んだり、困ったりしていますか？(○はいくつでも)

1. 学校や勉強のこと 2. 自分の顔や体形のこと
3. 親(保護者)のこと 4. 兄弟姉妹のこと
5. 友達のこと 6. 恋愛のこと
7. 進学・進路のこと 8. いじめのこと
9. その他() 10. 困っていること、悩んでいることはない

問 24 あなたは、悩んだり、困ったときに相談したりできる人はいますか？(○はいくつでも)

1. 親(保護者) 2. 兄弟姉妹 3. おばあちゃん・おじいちゃん
4. 親せき 5. 友達 6. 学校の先生
7. 塾や習い事の先生 8. SNS上の友達 9. 近所の人
10. その他()
11. 相談しない 12. 相談したいが、できる人はいない

問 25 あなたは、以下の場所や取組を知っていますか？(○は1つ)

	知っている	知らない
① 宇土市青少年センター「ヤングテレホン」※1	1	2
② 熊本県24時間子供SOSダイヤル※2	1	2
③ ほっとスペース※3	1	2

※1 「ヤングテレホン」とは、青少年の悩みごとの相談について、青少年センター指導員が対応する相談窓口のことで、
※2 「熊本県24時間子供SOSダイヤル」とは、いじめ問題やその他の子どものSOS全般に悩む子どもや保護者等が、いつでも相談機関に相談できる、熊本県の24時間対応可能な相談窓口のことで、
※3 「ほっとスペース」とは、いろいろなことが原因で学校に行きづらくなったとき、心を休める、学校以外の教室のことで、

5. 家族のお世話の状況について教えてください。

問 26 あなたは、家族の中で高齢や病氣、身体が不自由、幼いなどの理由で支援やケアが必要な人のお世話をしていますか？(○は1つ)

※ここでいう「お世話」とは、本来大人が行うような家事(料理や買い物、掃除、洗濯など)や家族のお世話(見守り、保育所の送り迎え、病院の付き添い、お風呂・トイレの世話など)を、あなたがしていることをいいます。ちょっとしたお手伝いやペットの世話は入りません。

1. お世話をしている人がいる ■問 26-1～問 26-5
2. いない ■問 27

この質問は、問 26 で「1. お世話をしている人がいる」を選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問 27 から答えてください。

問 26-1 あなたがお世話をしている人は誰ですか？(○はいくつでも)

1. お母さん 2. お父さん
3. おばあちゃん 4. おじいちゃん
5. 兄弟姉妹 6. その他()

この質問は、問 26 で「1. お世話をしている人がいる」を選んだ人にお聞きします。

問 26-2 あなたが行っているお世話の内容はどのようなことですか？(○はいくつでも)

1. 料理や買い物、食器洗い 2. 洗濯や掃除、ゴミ捨て
3. 兄弟姉妹の世話や保育所の送り迎え 4. 病院の付き添いや薬の管理
5. お風呂・トイレの世話 6. 見守りや話し相手になる
7. その他()

この質問は、問 26 で「1. お世話をしている人がいる」を選んだ人にお聞きします。

問 26-3 あなたは、お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか？(○はいくつでも)

1. 学校を休んでしまう 2. 遅刻や早退をしてしまう
3. 密着などの勉強する時間がない 4. 眠る時間がたりない
5. 友達と遊ぶことができない 6. 習い事ができない
7. 自分の時間が取れない 8. その他()
9. 特になし

この質問は、問 26 で「1. お世話をしている人がいる」を選んだ人にお聞きします。

問 26-4 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか？(○はいくつでも)

1. 相談したことがない ■問 26-5
2. ある ■問 27

この質問は、問 26-4 で「1. 相談したことがない」を選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問 27 から答えてください。

問 26-5 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことがない理由は何ですか？(○はいくつでも)

1. 相談するほどの悩みではないから 2. 誰に相談するのがよいかかわからないから
3. 相談できる人がいないから 4. 家族のことを話したくないから
5. 相談しても何も変わらないから 6. その他()

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 27 あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか？(○は1つ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことがない

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病氣のある家族にむけ、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をこなしている
家族にむけ、幼い子どもに代わりお世話をしている
障がいや病氣のあるきょうだいの世話や見守りを行っている
目を離せない家族の留守の代わりにお世話をしている
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている
家族を支えるために家事をして、障がいや病氣のある家族のケアを担っている
アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族のケアを行っている
障がいや病氣のある家族の身の回りのお世話をしている
障がいや病氣のある家族の入院や退院のサポートを行っている

6. 宇土市のことについて教えてください。

問 28 あなたは、宇土市が好きですか？(○は1つ)

1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. どちらかといえば嫌い 4. 嫌い

問 29 好きだったり嫌いだったりする理由をお答えください。

問 30 あなたは、宇土市に今後も住み続けたいと思いますか？(○は1つ)

1. 住み続けたい 2. 住み続けたくない 3. わからない

問 31 最後に、毎日の生活や学校のことについて感じていることなどご意見があれば、ご自由にご記入ください。

(2) 小学生5年生・中学生2年生の保護者

小・中保護者対象

宇土市 子どもの生活に関するアンケート

お子さんとは、以下の「アンケートご協力をお願い」を持ち帰ったお子さんのことです。

令和6年2月

宇土市 健康福祉部 子育て支援課 保育子育て支援係



子どもの生活に関するアンケート
アンケートご協力をお願い

みなさんの本当の気持ちや考えを教えてください

宇土市では、小学生・中学生及び保護者のみなさんを対象に、「第9期宇土市子ども子育て支援事業計画(宇土市こども計画)」をつくるためのアンケートを行うこととしました。

このアンケートは、日ごろのみなさんの考えや気持ちをお答えいただき、子どもが宇土市に住みたい、そして、住み続けたいと思えるような宇土市をつくるために貴重なご意見をいただくためのアンケートです。

このアンケートは目的以外に使用したり、他に譲らしたりすることはありません。また、名前を入力しないので、誰がどのように答えたかは誰にもわかりません。どうぞみなさんの本当の気持ちや考えを教えてください。

ご回答受付期間

2/21(水)から

3/6(水)まで

～ご回答にあたって～

- ・ タブレットやスマートフォンなどで、下記のQRコードからアクセスしてアンケートに回答してください。
- ・ IDとパスワードを入力して回答してください。
- ・ QRコードは「保護者用」と「子ども用」に分かれています。お間違いないようお願いいたします。

保護者用

ID

パスワード

子ども用

ID

パスワード

保護者用URL: https://arc3.webcaas.net/forms/pub/arc3/utostl_hogoya

子ども用URL: https://arc3.webcaas.net/forms/pub/arc3/utostl_s42

【ご不明な点、その他アンケートに関するお問い合わせ先】

宇土市 健康福祉部 子育て支援課 保育子育て支援係
電話:0964-27-3323

1

1. お子さんやあなたご自身などのことについてお尋ねします。

問1 お子さんは、小学生ですか？中学生ですか？(○は1つ)

1. 小学5年生 2. 中学2年生

問2 お子さんの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

問3 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか？お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他()

問4 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数を含めてください。

	③～⑦でいる場合は人数もご記入ください。
① 母親	1. いる 2. いない
② 父親	1. いる 2. いない
③ 祖母	1. いる ()人 2. いない
④ 祖父	1. いる ()人 2. いない
⑤ 姉・兄	1. いる ()人 2. いない
⑥ 妹・弟	1. いる ()人 2. いない
⑦ その他	1. いる ()人 2. いない

2

問5 お子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか？(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他()

問6 あなたのお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1. 宇土 2. 花園 3. 轟 4. 走潟
5. 緑川 6. 網津 7. 網田

問7 あなたの現在の住居の状況をお答えください。(○は1つ)

1. 持ち家 2. 親族の家に同居
3. 公営住宅 4. 借家・借間(一軒家・アパート)
5. 社宅 6. 勤務先への住み込み
7. その他()

3

2. お子さんの学習状況などについてお尋ねします。

問8 お子さんは、平日に学校以外の場でどれくらい勉強をしていますか？(○はそれぞれ1つずつ)

① 自宅	1. 30分未満 2. 30分～1時間未満 3. 1～2時間未満 4. 2～3時間未満 5. 3時間以上 6. まったくしない 7. わからない
② 塾などの自学以外	1. 30分未満 2. 30分～1時間未満 3. 1～2時間未満 4. 2～3時間未満 5. 3時間以上 6. まったくしない 7. わからない

問9 お子さんは学校に長期間行けなかった(不登校)経験はありますか？(○は1つ)

1. 経験がある⇒問9-1 2. 経験はない⇒問10

この質問は、問9で「1. 経験がある」を選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問10から答えてください。

問9-1 その時、誰に相談しましたか？(○はいくつでも)

1. 家族・親族 2. 友人・知人
3. 学校 4. 市役所の相談窓口
5. その他() 6. 誰にも相談していません

問10 お子さんは、何か熱中していること、頑張っていることはありますか？(○は1つ)

1. ある ()
2. ない
3. わからない

4

3. 子育ての状況についてお尋ねします。

問 11 あなたは、学習・体験活動の機会や子どもが利用できる居場所があった場合、お子さんに利用させたいと思いますか？(○はそれぞれ1つずつ)

① 学習の機会	1. 利用させたい 3. 利用させたいとは思わない	2. 無料や低額なら利用させたい
② 体験活動の機会	1. 利用させたい 3. 利用させたいとは思わない	2. 無料や低額なら利用させたい
③ 子どもの居場所	1. 利用させたい 3. 利用させたいとは思わない	2. 無料や低額なら利用させたい

問 12 お子さんの教育費で特に負担に感じるものはありますか？(○は2つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 給食費・学級費・教材費 | 2. 制服・靴・鞆など身の回りのもの |
| 3. 部活動などの費用 | 4. 修学旅行などの積み立て |
| 5. 学習塾や習い事など学校以外の教育費 | 6. 特に負担は感じない |

問 13 お子さんには将来、どの段階まで進学してほしいと思いますか？(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高等専門学校 |
| 4. 専門学校 | 5. 短大 | 6. 大学 |
| 7. 大学院 | 8. その他() | 9. わからない |

問 14 お子さんの進路で困りごとはありますか？(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

この質問は、問 14 で「1. ある」を選んだ人にお聞きします。それ以外の方は問 15 から答えてください。

問 14-1 お子さんの進路についての困りごとの内容を教えてください。

問 15 あなたは、自身の親から子育てについてのサポートを受けることはありますか(もしくは、ありましたか)？(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. よくある/よくあった | 2. たまにある/たまにあった |
| 3. ほとんどない/ほとんどなかった | 4. まったくない/まったくなかった |

問 16 あなたは、子育てに関する情報をどのような方法で入手していますか？(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ・ラジオ |
| 3. インターネット(LINE など SNS も含む) | 4. 市の広報紙 |
| 5. 園、学校などからの便り | 6. 公共機関にあるチラシ |
| 7. 友人・知人 | 8. 家族 |
| 9. 書籍・雑誌 | 10. その他() |
| 11. 入手方法がわからない | 12. 特に情報収集していない |

問 17 子育てやお子さんについて、悩んでいることはありますか？(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 子どものしつけや教育に自信が持てない |
| 2. 子どものしつけや教育について、相談する相手がいない |
| 3. 子どもに対して大声で叱ったり、思わず手を挙げてしまうことがある |
| 4. 配偶者が子育てにあまり協力してくれない |
| 5. 配偶者と子育てのことで意見が合わない |
| 6. 子どもに基本的な生活習慣が身につけていない(あいさつ、整理・整頓など) |
| 7. 子どもが勉強しない |
| 8. 子どもの進学や受験 |
| 9. 子どもの就職 |
| 10. 子どもが反抗的で、なかなか言うことを聞かない |
| 11. 子どもが何事に対しても消極的である |
| 12. 子どもの友人関係 |
| 13. 子どもの発達や病状 |
| 14. 子どもの非行や問題行動 |
| 15. 子どもの教育費 |
| 16. 子どもの食事や栄養 |
| 17. その他() |
| 18. 特に悩みはない |

問 18 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごしていますか？(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 十分に過ごしている | 2. 過ごしている |
| 3. あまり過ごしていない | 4. 過ごしていない |

問 19 あなたは、お子さんの悩みを知っていますか？(○は1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 知らない |

問 20 あなたは、お子さんの将来の夢を知っていますか？(○は1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 知らない |

問 21 お子さんは以下のものを持っていますか？(○はそれぞれ1つずつ)
※学校から貸与されているタブレットは含みません。

	持っています	必要だとは思わない	経済的に持てない
① 子どもの本(学校の教科書やマンガを除く)	1	2	3
② 子ども部屋(兄弟姉妹と一緒に使っている場合も含む)	1	2	3
③ パソコン・タブレット端末(家族共有を含む)	1	2	3
④ 子ども専用の勉強机	1	2	3
⑤ スポーツ用品(グローブやサッカーボール等)	1	2	3
⑥ ゲーム機(テレビに備え付けのもの)	1	2	3
⑦ ゲーム機(携帯式のもの)	1	2	3
⑧ お子さんの友だちの多くが持っているもの(遊び道具・洋服等)	1	2	3
⑨ 自転車	1	2	3
⑩ 携帯電話(スマートフォン除く)	1	2	3
⑪ スマートフォン	1	2	3

4. あなたや家庭の状況などについてお尋ねします。

問 22 あなたは、地域での付き合いをどの程度していますか？(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. よく付き合っている | 2. ある程度付き合っている |
| 3. あまり付き合っていない | 4. まったく付き合っていない |

問 23 あなたは、子育てや重要な事柄、いざという時のお金の援助や困ったときなどについて相談できる人はいますか？(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 相談できる相手がいる | ➡問 23-1 |
| 2. 相談相手がほしいがない | ➡問 23-1 |
| 3. 必要ない | ➡問 24 |

この質問は、問 23 で「1」または「2」を選んだ人にお聞きします。
それ以外の方は問 24 から答えてください。

問 23-1 その相談相手はどなたですか？
また、相談相手がほしいがないと回答された方はどのような相手に相談した
と思いますか？(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 親・親族 |
| 3. 子ども | 4. 友人・知人 |
| 5. 隣人・地域の人 | 6. 幼稚園・保育園の先生 |
| 7. 学校の先生 | 8. カウンセラーなどの専門家 |
| 9. 市役所などの公的機関 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. 同じ立場の人 | 12. その他 () |

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 24 あなたは、以下の場所や取組を知っていますか？
(○は1つ)

	知っている	知らない
① 宇土市青少年センター「ヤングテレホン」※1	1	2
② 熊本県24時間子供SOSダイヤル※2	1	2
③ ほっとスペース※2	1	2

※1 「ヤングテレホン」とは、青少年の悩みごとの相談について、青少年センター指導員が対応する相談窓口のことです。

※2 「熊本県24時間子供SOSダイヤル」とは、いじめ問題やその他の子どものSOS全般に悩む子どもや保護者等が、いつでも相談機関に相談できる、熊本県の24時間対応可能な相談窓口のことです。

※3 「ほっとスペース」とは、いろいろなことが原因で学校に行きづらくなったとき、心を休める、学校以外の教室のことです。

問 25 あなたの健康状態をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 健康である | 2. まあまあ健康である |
| 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |

問 26 お子さんの母親・父親の普段の帰宅時間(自宅で営業している場合は終業する時間)は、何時頃ですか？(○は1つ)

①母親	1. 午後5時前 2. 午後5時～7時までの間 3. 午後7時～9時までの間 4. 午後9時～11時までの間 5. 午後11時以降 6. 交代制勤務で一定していない 7. 夜間勤務 8. その他 () 9. 今は働いていない
②父親	1. 午後5時前 2. 午後5時～7時までの間 3. 午後7時～9時までの間 4. 午後9時～11時までの間 5. 午後11時以降 6. 交代制勤務で一定していない 7. 夜間勤務 8. その他 () 9. 今は働いていない

問 27 あなたの世帯の令和4年中の世帯全員の収入の合計額(働いて得た収入、養育費、年金収入、児童扶養手当等を含む全て)を税込みで教えてください。
(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 収入なし | 2. 100万円未満 |
| 3. 100万円～200万円未満 | 4. 200万円～300万円未満 |
| 5. 300万円～400万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 |
| 7. 500万円～700万円未満 | 8. 700万円以上 |
| 9. 答えたくない | |

問 28 あなたの世帯の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか？
(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. 苦しい | 3. 普通 |
| 4. ゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問 29 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか？(○は1つ)
「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字でお答えください。

0:まったく満足していない										十分に満足している:10									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10									

3. こども・若者生活実態等アンケート

(1) こども・若者（18～39歳）



宇土市
こども・若者生活実態等アンケート
いただいた回答は宇土市の計画に生かされます

【ご協力をお願い】

宇土市では、第2期宇土市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～6年度)に基づき、「宇土っ子のゆたかな心と元気な体を育む」を基本理念として様々な事業を実施してきました。

引き続き、子どもの笑顔があふれるまちづくりを進めるため、「第3期宇土市子ども・子育て支援事業計画(宇土市こども計画)」を作成します。

この計画を作るにあたっては、今宇土市に住んでいるこども・若者のみなさんの日頃の状況やお考え等を把握する必要があります。

そこで、18歳～39歳の1,000人の方に調査票を送付してアンケートを行います。宇土市に住みたい、そして住み続けたいと思えるような宇土市をつくるために貴重なご意見をいただくためのアンケートです。

寄せられたご意見・ご要望は計画書作成の基礎資料として大切に活用させていただきますので、ぜひとも皆さまのご協力をお願いします。

令和6年2月

宇土市長 元松茂樹

【ご記入のお願い】

- ご回答は、あて名の本人が記入してください。
(ご本人による記入が難しい場合は代理人による代筆で結構です。)
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ただし書きに従ってご回答ください。
- ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて3月20日(水)までにご投函ください。
- ご不明な点、その他アンケートに関して疑問な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

宇土市 健康福祉部 子育て支援課 保育子育て支援係
電話：0964-27-3323

1

1. あなた自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

問2 あなたの年齢をお答えください。

()歳 令和6年2月1日現在

問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1. 宇土 2. 花園 3. 轟 4. 走湯
5. 緑川 6. 網津 7. 網田

問4 あなたと一緒に住んでいる人を教えてください。(○はいくつでも)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母
4. 祖父 5. 兄弟姉妹 6. 配偶者・パートナー
7. 子ども 8. その他親せき 9. 友人・ルームメイト・同僚(寮も含む)
10. その他() 11. いない

問5 あなたは、宇土市におよそ何年住んでいますか？(○は1つ)

※通算してお答えください。

1. 1年未満 2. 1年以上2年未満 3. 2年以上3年未満
4. 3年以上4年未満 5. 4年以上5年未満 6. 5年以上

2

問 6 あなたの家の生計を主に担っているのはどなたですか？(○は1つ)
仕送りや生計を立てている方は、その仕送りをしてくれている人をお答えください。

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 1. あなた自身 | 2. あなたの配偶者・パートナー（事実婚を含む） |
| 3. 母親 | 4. 父親 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. その他の家族や親せき |
| 7. その他（ ） | |

問 7 あなたの主な職業はどれですか？(○は1つ)

- | | | |
|-------------|----------|--------------|
| 1. 高校生 | 2. 予備校生 | 3. 高等専修学校生 |
| 4. 高等専門学校生 | 5. 専門学校生 | 6. 短大生 |
| 7. 大学生 | 8. 大学院生 | 9. 正社員・正職員 |
| 10. 派遣・契約社員 | 11. 自営業 | 12. 経営者・会社役員 |
| 13. 専業主婦・主夫 | 14. 無職 | |
| 15. その他（ ） | | |

この質問は、問 7 で「9」～「15」を選んだ人にお聞きします。

問 7-1 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校は次のうちどちらですか？(○は1つ)

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高等専修学校 |
| 4. 高等専門学校 | 5. 専門学校 | 6. 短大 |
| 7. 大学 | 8. 大学院 | |
| 9. その他（ ） | | |

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 8 あなたは、これまで家庭の経済状況を理由に進路を変更したことがありますか？(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

2. 普段の生活についてお尋ねします。

問 9 あなたは、現在、地域活動に参加していますか？(○は1つ)

- | | |
|------------|--------|
| 1. 参加している | ⇒問 9-1 |
| 2. 参加していない | ⇒問 9-2 |

この質問は、問 9 で「1. 参加している」を選んだ人にお聞きします。

問 9-1 参加している地域活動は何ですか？(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 町内会、自治会などの係や役員活動 |
| 2. お祭や運動会など地域のイベント活動 |
| 3. 地域のスポーツ活動や文化・芸術活動
(地域の野球チームやサッカーチーム、音楽・ダンスサークルに所属している等) |
| 4. 公園・道路の清掃活動や、花や木を植えるなどの緑化活動 |
| 5. 交通安全や防犯・防災活動 |
| 6. 資源回収などのリサイクル活動 |
| 7. 高齢者や障がい者、子どもや青少年のための活動 |
| 8. その他（ ） |

この質問は、問 9 で「2. 参加していない」を選んだ人にお聞きします。

問 9-2 参加していない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1. どのような活動が行われているか知らないから |
| 2. 参加するきっかけが無いから |
| 3. 一緒に参加する友人がいないから |
| 4. 参加方法がわからないから |
| 5. 時間や日程が合わないから |
| 6. 参加する時間が無いから |
| 7. 活動に興味が無いから |
| 8. 周りで活動が盛んではないから |
| 9. 面倒だから |
| 10. その他（ ） |
| 11. 特に理由はない |

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 10 あなたには、現在、友人がいますか？(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|--------|
| 1. いる | 2. 少しいる | 3. いない |
|-------|---------|--------|

問 11 あなたは、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか？
(①平日と②休日それぞれ○はいくつでも)

	①平日	②休日
テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる	1	1
スマホや専用機器等でゲームをする	2	2
買い物をする(ネットショッピング含む)	3	3
読書をしたり、音楽を聴いたりする	4	4
趣味の活動をする(音楽活動、料理、写真、スポーツ、映画鑑賞、ライブ参加など)	5	5
地域の行事やイベントに参加する	6	6
友人と遊んだり、飲食したりする	7	7
SNS やブログを見たり投稿したりする	8	8
資格試験などの勉強をする	9	9
1人でお酒を飲んだり、食事をしたりする	10	10
その他（ ）	11	11
特に何もせずに過ごしている	12	12

問 12 あなたは、今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になった経験がありますか？(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 経験があり、今もその状態が続いている | ⇒問 12-1 |
| 2. 経験があり、今は改善している | |
| 3. そのような経験はない | |

この質問は、問 12 で「2. 経験があり、今は改善している」を選んだ人にお聞きします。

問 12-1 改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか？
(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 家族や親戚の助け |
| 2. 友人の助け |
| 3. 地域の人の助け |
| 4. 学校の先生に相談したこと |
| 5. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと |
| 6. 病院に行って相談したこと |
| 7. 専門機関に相談したこと |
| 8. 電話相談を利用したこと |
| 9. SNS やメール相談などを利用したこと |
| 10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと |
| 11. 就職・転職したこと |
| 12. 時間がたって状況が変化したこと |
| 13. 趣味の活動に参加したこと |
| 14. 自分の努力で乗りこえた |
| 15. その他（ ） |
| 16. わからない、答えられない |

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 13 あなたは、ヤングケアラーという言葉を知っていますか？(○は1つ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことがない

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
障がいや病気のある家族の身の回りや声かけなどの気づかいをしている
障がいや病気のある家族の身の回りや声かけなどの気づかいをしている
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている
障がいや病気のある家族の身の回りや声かけなどの気づかいをしている
障がいや病気のある家族の身の回りや声かけなどの気づかいをしている
障がいや病気のある家族の身の回りや声かけなどの気づかいをしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / Illustration: Izumi Shiga

問 14 あなたは、宇土市青少年センター「ヤングテレホン」を知っていますか？(○は1つ)

※「ヤングテレホン」とは、青少年の悩みごとの相談について、青少年センター指導員が対応する相談窓口のことです。

1. 知っている 2. 知らない

問 15 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所、条件なら、相談したいと思いますか？(○はいくつでも)

1. 相手と同じ悩みを持っている (持っていたことがある)
2. 相手が同世代である
3. 相手が同性である
4. 匿名で (自分が誰かを知られずに) 相談できる
5. 電話で相談できる
6. SNS やメールなどで相談できる
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる
8. 相談できる場所が自宅から近い
9. 相手が自宅に来てくれる
10. 無料で相談できる
11. 相手先が公的な支援機関である
12. 相手先が民間の支援団体 (NPO など) である
13. 相手が医師である
14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である
15. その他 ()
16. 誰にも相談したくない ➡問 15-1

この質問は、問 15 で「16. 誰にも相談したくない」を選んだ人にお聞きします。

問 15-1 相談したくないと思う理由は何ですか？(○はいくつでも)

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決すべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他 ()
13. 特に理由はない、わからない

3. 職業経験についてお尋ねします。

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 16 あなたの就業状況、就業経験についてお答えください。(○は1つ)
※パート・アルバイトでの勤務も含めてください

1. 現在、就業している ➡問 16-1
2. 現在、就業しているが、休職や休業中である
3. 現在は就業していないが、過去に就業経験がある
4. これまでに就業経験はない ➡問 16-4

この質問は、問 16 で「1. 現在、就業している」を選んだ人にお聞きします。

問 16-1 あなたは、現在、どちらで働いていますか？(○は1つ)

1. 宇土市内 2. 宇土市外 (都道府県 市町村)

この質問は、問 16 で「1. 現在、就業している」を選んだ人にお聞きします。

問 16-2 あなたは、現在、どのような雇用形態で就業されていますか？(○は1つ)

1. 正社員・正職員 2. 契約・パート・アルバイト
3. 派遣社員 4. 自営業主
5. 家族従業者 6. その他 ()

この質問は、問 16 で「1. 現在、就業している」を選んだ人にお聞きします。

問 16-3 あなたは、現在働いている職場にどの程度満足していますか？(○は1つ)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば不満である 4. 不満である

この質問は、問 16 で「4. これまでに就業経験はない」を選んだ人にお聞きします。

問 16-4 あなたは、現在、就職または進学を希望していますか？(○は1つ)

1. 就職を希望している 2. 進学を希望している
3. 就職も進学も希望していない

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 17 あなたが仕事を選ぶ上で、重視していることはどのようなことですか？(○はいくつでも)

1. 職場の雰囲気や人間関係が良いこと
2. 仕事にやりがいを感じられること
3. 給料が高いこと
4. 通勤の便など、地理的条件が良いこと
5. 正社員・正規職員で働くこと
6. 残業や休日出勤が少ないこと
7. 実力を適正に評価してくれること
8. 専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること
9. 子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと
10. 長い年数働き続けられること
11. 労働時間が短いこと
12. その他 ()
13. 特にない

4. 現在の生活に対する考えについてお尋ねします。

問 18 あなたは今、幸せですか？(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらとも言えない
- 4. どちらかといえばそう思わない
- 5. そう思わない
- 6. わからない

問 19 あなたは自分のことが好きですか？(○は1つ)

- 1. 好き
- 2. だいたい好き
- 3. あまり好きではない
- 4. 好きではない

問 20 あなたは、自分が親や友人など、周りの人から大切にされていると感じますか？(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. まあそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない

問 21 あなたは、どの程度孤独であると感じることがありますか？(○は1つ)

- 1. ない
- 2. ほとんどない
- 3. たまにある
- 4. 時々ある
- 5. しばしばある
- 6. 常にある

問 22 あなたが落ち着ける、または自分らしくいられる“居場所”はどこですか？(○はいくつでも)

- 1. 自分の部屋
- 2. 自宅(自分の部屋以外)
- 3. 現在、通っている学校
- 4. 卒業した学校
- 5. 職場
- 6. 地域の集まりや施設など
- 7. スポーツジム・施設
- 8. インターネット空間(SNS、掲示板など)
- 9. その他()
- 10. 特になし

問 23 どのような“居場所”があればいいと思いますか？(○はいくつでも)

- 1. 一人で過ごせる
- 2. 家族や友人、仲間と過ごせる
- 3. 仲間と共通の目標に向かって活動できる
- 4. 問題や悩みを相談できる
- 5. その他()
- 6. わからない
- 7. 居場所の必要性を感じない

問 24 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか？(○は1つ)
「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字でお答えください。

0:まったく満足していない						十分に満足している:10				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

5. 将来への考えについてお尋ねします。

問 25 あなたは、将来に不安を感じていますか？(○は1つ)

- 1. 感じている
- 2. 感じていない

この質問は、問 25 で「1. 感じている」を選んだ人にお聞きします。

問 25-1 将来への不安は何ですか？(○は1つ)

- 1. 収入・生活費
- 2. 仕事
- 3. 健康
- 4. 結婚
- 5. その他()

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 26 あなたの理想とする生き方について、次の中であなたの考えにもっとも近いものは次のうちどれですか？(○はいくつでも)

- 1. 経済的に豊かになること
- 2. 社会的な地位や名誉を得ること
- 3. 自分の好きなように暮らすこと
- 4. 社会のために尽くすこと
- 5. 家族と幸せに暮らすこと
- 6. その他()
- 7. わからない

問 27 あなたは、結婚されていますか？(○は1つ)

- 1. 未婚
- 2. 既婚(事実婚含む)

この質問は、問 27 で「1. 未婚」を選んだ人にお聞きします。

問 27-1 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

- 1. 結婚する予定がある
- 2. すぐにでも結婚したい
- 3. 2~3年以内に結婚したい
- 4. いずれは結婚したい
- 5. 結婚するつもりはない
- 6. わからない

この質問は、問 27-1 で「1」~「4」を選んだ人にお聞きします。

問 27-2 あなたが結婚を考えたとき、どのようなことが気になりますか？(○はいくつでも)

- 1. お金を自由に使えるか
- 2. 職業を自由に選べるか
- 3. 仕事(学業)や趣味の時間を自由に取れるか
- 4. 住む場所が制約されないか
- 5. 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか
- 6. 相手との価値観が合うか
- 7. 相手の親とうまくつき合えるか
- 8. 自分に家事や子育てができるか
- 9. 結婚生活を送るための十分な収入が確保できるか
- 10. その他()
- 11. 特に気になることはない

この質問は、問 27-1 で「2」~「4」を選んだ人にお聞きします。

問 27-3 あなたが現在独身でいる理由を次の中から選ぶとするとどれですか？(○はいくつでも)

- 1. 結婚するにはまだ若すぎるから
- 2. 結婚する必要性をまだ感じないから
- 3. 仕事(学業)に打ち込みたいから
- 4. 趣味や娯楽を楽しみたいから
- 5. 自身の自由さや気楽さを失いたくないから
- 6. 適当な相手にまだめぐり会わないから
- 7. 相手とうまく付き合えないから
- 8. 結婚生活を送る資金が足りないから
- 9. 家事や子育てををする自信がないから
- 10. 結婚生活のための住居のめどがたないから
- 11. 親や周囲が結婚に同意しないから
- 12. 親などの面倒をみる(介護する)必要があるから
- 13. 今の生活で十分幸せだから
- 14. その他()
- 15. 特に理由はない

この質問は、問 27-1 で「2」～「4」を選んだ人にお聞きします。

問 27-4 あなたは、今後、婚活としてどのようなことを行いたいですか？
(〇はいくつでも)

1. 友人や知りあい等に紹介を頼む
2. 合コンに参加する
3. 婚活アプリやSNS等を活用する
4. 婚活パーティーに参加する
5. 民間の結婚相談所に登録する
6. 県や自治体等の公的な婚活事業、イベントに参加する
7. その他 ()
8. 婚活をする予定はない

ここからは、すべての方にお聞きします。

問 28 あなたにとって「①理想とする子どもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか？(①・②それぞれについて〇は1つずつ)

※お子さんがおられる方は②実際に持つつもりの子どもの人数に現在のお子さんの数も含めて人数をお選びください。

	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	わからない
①理想とする人数	1	2	3	4	5	6	7
②実際に持つつもり的人数	1	2	3	4	5	6	7

15

この質問は、問 28 で①②ともに「0人」を選んだ人にお聞きします。

問 28-1 子どもを持つつもりがないのはどのような理由からですか？
(〇はいくつでも)

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 自分の仕事や学業に差し支えるから
4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
5. 自分や夫婦・パートナーとの生活を大切にしたいから
6. 高齢で産むのは嫌だから
7. 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8. 健康上の理由から
9. 子どもは欲しいができないから
10. パートナーの家事・育児への協力が得られないから
11. パートナーが望まないから
12. パートナーを持つつもりがないから
13. 子どもがかわいいと思えないから
14. その他 ()

この質問は、問 28 で①理想とする子どもの数より②実際に持つつもりの子どもの数が少ない人にお聞きします。

(例えば、①理想とする子ども数が3人、②実際に持つつもりの子どもの数が2人など)

問 28-2 理想としている子どもの数より、実際に持つつもりの子どもの数が少ない理由は何ですか？(〇はいくつでも)

1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2. 家が狭いから
3. 自分の仕事や学業に差し支えるから
4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
5. 自分や夫婦・パートナーとの生活を大切にしたいから
6. 高齢で産むのは嫌だから
7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8. 健康上の理由から
9. 子どもは欲しいができないから
10. パートナーの家事・育児への協力が得られないから
11. パートナーが望まないから
12. その他 ()

16

6. 宇土市のことについてお尋ねします。

問 29 あなたは、宇土市のいいところは何だと思えますか？

問 30 あなたは、宇土市に今後も住み続けたいと思えますか？(〇は1つ)

1. 住み続けたい
2. 住み続けたくない →問 30-1
3. わからない

この質問は、問 30 で「2. 住み続けたくない」を選んだ人にお聞きします。

問 30-1 住み続けたくない理由は何ですか？(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 希望する仕事がない | 2. 希望する進学先が近くにない |
| 3. 買い物不便 | 4. 楽しめる場所、イベントが少ない |
| 5. 都会に行きたい | 6. 他のまちに住んでみたい |
| 7. 一人暮らしがしたい | 8. その他 () |

問 31 最後に、今後も宇土市に住み続けるため、また、もっと住みやすいまちにするために必要なことは何だと思えますか？ご自由にご記入ください。

17

宇土市
こども計画
(第3期宇土市子ども・子育て支援事業計画)
作成のためのアンケート調査
結果報告書

令和6年7月

編集・発行 宇土市 子育て支援課
〒869-0492 熊本県宇土市浦田町5-1
TEL 0964-27-3323 FAX 0964-46-5170
